全員協議会提出議題

日時　令和８年10月21日（水）
午前９時30分

１　報告事項

(1) 令和７年度厚木市民実感度調査結果について（資料１）

【企画政策課】

(2) 令和８年度施策評価結果について（資料２）

【企画政策課】

(3) あつぎＳＤＧｓフェスティバルの実施結果について

・実施日　９月26日　延べ来場者数約2,800人

【企画政策課】

(4) あつぎオレンジフェスタ2026の実施結果について

・実施日　９月26日　講座等に延べ約300人が来場

【地域包括ケア推進課】

(5) 第80回あつぎ鮎まつりの実施結果について

・実施期間　10月10日～11日

・花火大会での約12万５千人を含め、２日間で延べ約33万５千人が来場

【商業観光課】

資料1

令和７年度市民実感度調査の結果について

市内在住の満18歳以上5,000人を対象／令和７年11月27日～12月17日／有効回収数 2,354人・回収率 47.1%（前年度 40.2%）／
実感度・重要度77項目、行動変容27項目、幸福度、新規項目11項目（P.1～2）

実感度（全体平均）

42.9%

2.1ポイント上昇

前年度 40.8%
（図表15 P.46）

重要度（全体平均）

79.5%

0.6ポイント低下

前年度 80.1%
（図表16 P.50）

行動変容（全体平均）

62.3%

0.8ポイント低下

前年度 63.1%
（図表18 P.55）

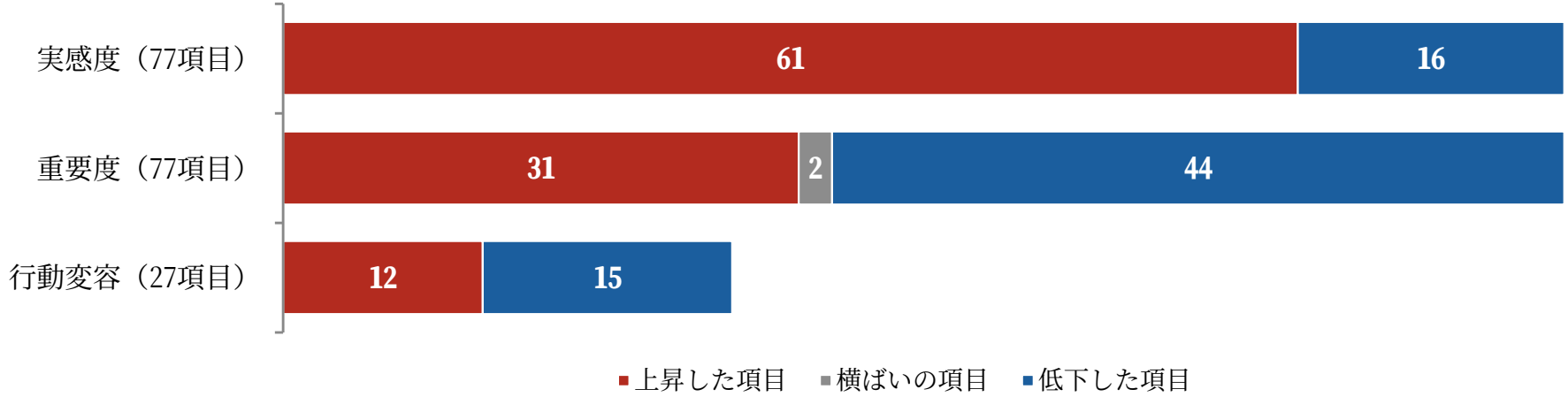
幸福度

49.0%

1.3ポイント低下

前年度 50.3%
（図表17 P.52）

77項目・27項目の増減内訳　（図表15 P.46、図表16 P.50、図表18 P.55）



1　市民の実感と行動の状況

(1)　実感している人の割合が高い項目　（P.10）

日常生活に必要な施設が身近にある	80.6%
消防・救急・救助体制の充実	74.2%
子育てサービスの充実	68.6%

(2)　実感している人の割合が低い項目　（P.10）

住環境の整備の取組	18.0%
平和についての啓発の推進	20.5%
定住促進の取組	21.1%

(3)　実感度の上昇幅が大きい項目　（P.45）

家庭・地域・学校の協働の推進	39.1% (+9.6)
社会教育の取組	36.9% (+8.4)
景観が守られている	55.0% (+7.1)

(4)　基本政策別の実感度　（図表１　P.12・13）

安心政策	46.2%	輝き政策	46.2%
成長政策	41.4%	発展政策	41.4%
潤い政策	40.2%	共創政策	42.3%

(5)　行動変容の実績値　（P.55）

実績値が高い項目

資源の分別を意識している	97.4%
健康増進のために取り組んでいることがある	90.1%

実績値が低い項目

市内で文化芸術に親しんでいる	23.8%
図書館を利用している	25.0%

2　結果から読み取れる三つの動き

動　き	考察
1　実感度の上昇と幸福度の低下	実感度は77項目中61項目で上昇し、低下16項目となった。市の施策に対して市民が一定の評価をしていることがうかがえる。 最も上昇した項目は「家庭・地域・学校の協働の推進」（9.6ポイント増）、最も低下した項目は「広域的な課題に対する近隣市町村等との連携」（4.0ポイント減）である。 一方、幸福度は「とても幸せ」12.6%、「幸せ」36.4%の合計が49.0%で1.3ポイント低下し、「あまり幸せではない」「幸せではない」の合計は6.0%で0.8ポイント上昇した。「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」の合計は94.0%で、0.9ポイント減少している。
2　重要度の動き	重要視している割合が高い項目は「消防・救急・救助体制の充実」「日常生活に必要な施設が身近にある」「安心・安全に通行できる道路環境」の順となっており、市民が安心・安全に対する取組を重要視しているものと考えられる。 低い項目は「国内友好都市との交流」「互いの違いを尊重できるまちづくり」「あつぎ郷土博物館の取組」の順となっている。 前年度調査と比較して最も上昇した項目は「社会教育の取組」（4.7ポイント増）、最も低下した項目は「災害に備えたハード整備」（6.1ポイント減）となっている。
3　行動変容の低下	実績値が高い項目は「資源の分別を意識している」97.4%、「健康増進のために取り組んでいることがある」90.1%、「防犯等の対策について心掛けていることがある」88.9%の順である。 低い項目は「市内で文化芸術に親しんでいる」23.8%、「図書館を利用している」25.0%、「運動やスポーツを週３回以上行っている」25.1%の順となっている。 前年度調査と比較して最も上昇した項目は「市内で文化芸術に親しんでいる」（4.1ポイント増）、最も低下した項目は「認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある」（5.2ポイント減）となっている。

令和７年度 厚木市民実感度調査報告書

厚木市

目次

1　調査の概要 1

1-1　調査の目的 1

1-2　調査の概要 1

（1）調査項目 1

（2）調査設計 2

（3）回収結果 2

1-3　報告書の見方 2

1-4　各設問の標本誤差 3

2　調査結果 4

2-1　回答者の属性 4

（1）性別 4

（2）年代 5

（3）家族構成 6

（4）居住地区 8

（5）居住年数 9

2-2　項目別実感度・重要度、幸福度 10

（1）市の施策に対する実感度（A・B：問1） 10

（2）市の施策に対する重要度（A・B：問1） 24

（3）実感度と重要度の関係 38

（4）項目別ニーズ得点 42

（５）前年度調査との比較 45

（６）幸福度（A・B：問 22、図表 17） 52

2-3　行動変容（市の施策による市民の行動の変化） 54

2-3-1　安心政策 56

2-3-2　輝き政策 66

2-3-3　成長政策 78

2-3-4　発展政策 94

2-3-5　潤い政策 102

2-3-6　共創政策 108

2-4　令和７年度新規調査項目 114

3　総括 136

4　調査票様式 139

4-1　調査票 A 139

4-2　調査票 B 151

＜参考資料＞ 162

1　調査の概要

1-1　調査の目的

本調査は、市の施策や事業に関する市民の実感度及び重要度の調査、集計及び分析を行うことにより、今後の市政運営及び第10次厚木市総合計画（以下「総合計画」という。）の進行管理の基礎資料等とすることを目的とする。

1-2　調査の概要

（1）調査項目

ア　項目別実感度・重要度

分野	調査票A	調査票B
①　安心政策（命、財産を守り抜くまち）	6項目	3項目
②　輝き政策（支えあい、生き生きと暮らせるまち）	8項目	9項目
③　成長政策（夢や希望を持ち、自己実現ができるまち）	6項目	8項目
④　発展政策（人が集い、交流し、新たな価値を生むまち）	9項目	12項目
⑤　潤い政策（環境に優しく、自然と共生するまち）	6項目	4項目
⑥　共創政策（市民と共に確かな成長を創り出すまち）	2項目	4項目
合計	37項目	40項目

※分野は、総合計画に定めた六つのまちづくりのビジョン（基本政策）別に分類した。

イ　行動変容（市の施策による市民の行動の変化）

分野	調査票A	調査票B
①　安心政策（命、財産を守り抜くまち）	3項目	2項目
②　輝き政策（支えあい、生き生きと暮らせるまち）	3項目	3項目
③　成長政策（夢や希望を持ち、自己実現ができるまち）	3項目	5項目
④　発展政策（人が集い、交流し、新たな価値を生むまち）	2項目	1項目
⑤　潤い政策（環境に優しく、自然と共生するまち）	1項目	2項目
⑥　共創政策（市民と共に確かな成長を創り出すまち）	－項目	2項目
合計	12項目	15項目

ウ　令和7年度新規調査項目

区分	調査票A	調査票B
新規調査項目	7項目	4項目

エ　幸福度（市民がどの程度幸せと感じているか）

（２）調査設計

ア　調査地域 厚木市全域
イ　調査対象 厚木市在住の満 18 歳以上の男女（外国人住民を含む。）
ウ　調査対象者数 5,000 人
エ　抽出方法 住民基本台帳を基に無作為抽出
（年代及び居住地区は、全体の構成比に基づく。）
オ　調査方法 「調査票Ａ」、「調査票Ｂ」に分け、それぞれ 2,500 人に郵送配布し、郵送又はインターネット回答
カ　調査期間 令和 7 年 11 月 27 日(木)から 12 月 17 日(水)まで

（３）回収結果

有効回収数及び回収率は次のとおり
ア　有効回収数　2,354 人（調査票Ａ：1,194 人、調査票Ｂ：1,160 人）
イ　回収率　47.1%（調査票Ａ：47.8%、調査票Ｂ：46.4%）

1-3　報告書の見方

（１）図表中の「ｎ」(Number of Cases の略)は、各設問の回答者数のことである。なお、質問内容について、身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は無回答であり、「ｎ」には含めない。
（２）集計は、小数点第２位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0%ちょうどにならない場合がある。
（３）回答の比率（%）は、各設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
（４）本報告書における令和６年度の結果については、「令和６年度市民実感度調査（以下「前年度調査」という。)」の結果を使用している。

1-4　各設問の標本誤差

標本誤差は、次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数(ｎ)、②回答の比率(ｐ)によって誤差幅が異なる。

標本誤差＝ $\pm 1.96\sqrt{\frac{N-n}{N-1}\times\frac{p(100-p)}{n}}$

(注)$\frac{N-n}{N-1}\fallingdotseq 1$

N=母集団数　193,393
※令和７年９月１日現在の 18 歳以上の住民基本台帳人口
n=比率算出の基数(回答者数)
p＝回答の比率(%)

今回の調査結果の標本誤差は、次表のようになる。(この表の計算式の信頼度は 95.0%)

n ＼ p	回答比率				
	90%または 10%	80%または 20%	70%または 30%	60%または 40%	50%
2,354	±1.20	±1.61	±1.84	±1.97	±2.01
2,000	±1.31	±1.74	±2.00	±2.14	±2.18
1,500	±1.51	±2.02	±2.31	±2.47	±2.52
1,000	±1.85	±2.47	±2.83	±3.03	±3.09
500	±2.63	±3.50	±4.01	±4.29	±4.38
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

※例えば、ある質問の回答者数が 2,354 人で、「そう思う」の回答比率が 20.0%だった場合、信頼度が 95%の回答比率に対する標本誤差は、上記表の通り±1.61 であり、その質問に対する 18 歳以上の厚木市在住者全体の回答比率は、18.39%～21.61%の範囲にあると考えられる。

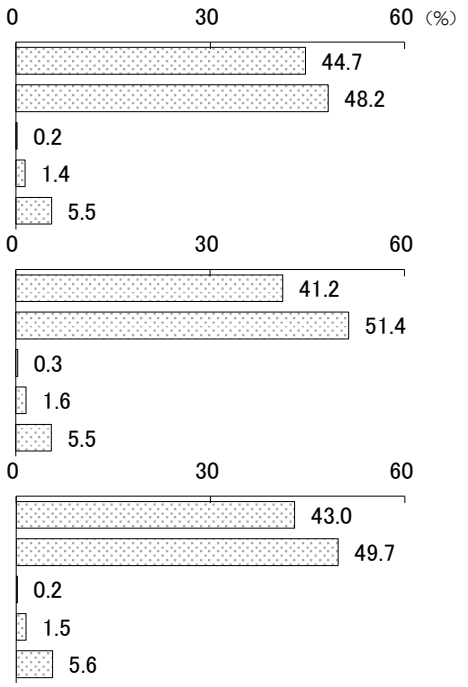
2　調査結果

2-1　回答者の属性

※ 調査対象者の抽出条件とした項目については、発送数を参考に掲載している。

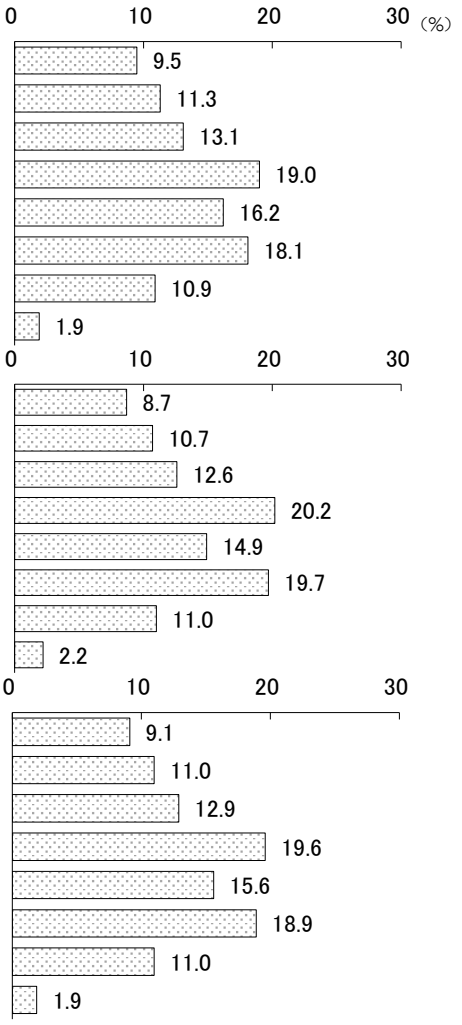
（1）性別

	区　分	発送数（人）	回答者数（人）	回収率（%）	構成比（%）
調査票A	男性	1,250	534	42.72	44.7
	女性	1,250	575	46.00	48.2
	その他	-	2	-	0.2
	答えたくない	-	17	-	1.4
	無回答	-	66	-	5.5
	全体	2,500	1,194	47.76	100.0
調査票B	男性	1,250	478	38.24	41.2
	女性	1,250	596	47.68	51.4
	その他	-	3	-	0.3
	答えたくない	-	18	-	1.6
	無回答	-	65	-	5.5
	全体	2,500	1,160	46.40	100.0
合計	男性	2,500	1,012	40.48	43.0
	女性	2,500	1,171	46.84	49.7
	その他	-	5	-	0.2
	答えたくない	-	35	-	1.5
	無回答	-	131	-	5.6
	全体	5,000	2,354	47.08	100.0



（2）年代

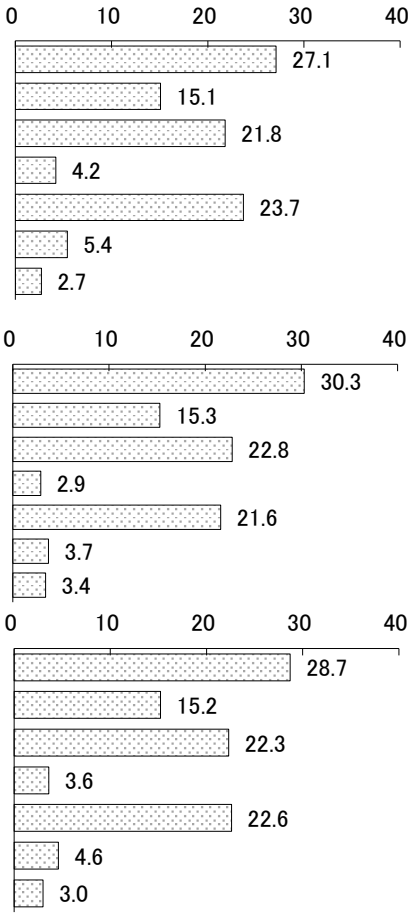
	区　分	発送数（人）	回答者数（人）	回収率（%）	構成比（%）
調査票A	10代・20代	400	113	28.25	9.5
	30代	344	135	39.24	11.3
	40代	376	157	41.76	13.1
	50代	464	227	48.92	19.0
	60代	320	194	60.63	16.2
	70代	358	216	60.34	18.1
	80代以上	238	130	54.62	10.9
	無回答	-	22	-	1.9
	全体	2,500	1,194	47.76	100.0
調査票B	10代・20代	396	101	25.51	8.7
	30代	344	124	36.05	10.7
	40代	378	146	38.62	12.6
	50代	466	234	50.21	20.2
	60代	314	173	55.10	14.9
	70代	362	229	63.26	19.7
	80代以上	240	128	53.33	11.0
	無回答	-	25	-	2.2
	全体	2,500	1,160	46.40	100.0
合計	10代・20代	796	214	26.88	9.1
	30代	688	259	37.65	11.0
	40代	754	303	40.19	12.9
	50代	930	461	49.57	19.6
	60代	634	367	57.89	15.6
	70代	720	445	61.81	18.9
	80代以上	478	258	53.97	11.0
	無回答	-	47	-	1.9
	全体	5,000	2,354	47.08	100.0



（3）家族構成

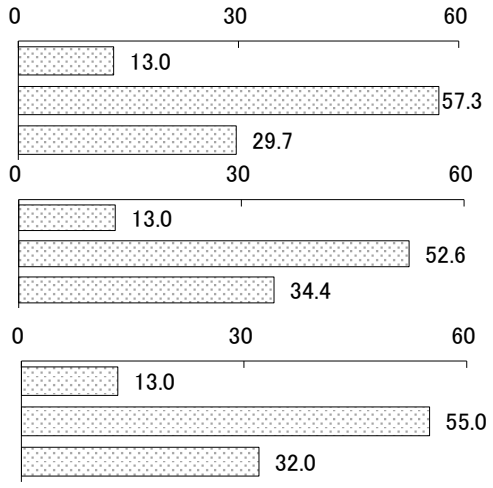
	区　　分	回答者数（人）	構成比（%）
調査票A	夫婦	324	27.1
	親子（親との二世代）	180	15.1
	親子（子との二世代）	260	21.8
	親子孫（三世代）	50	4.2
	一人暮らし	283	23.7
	その他	65	5.4
	無回答	32	2.7
	全体	1,194	100.0
調査票B	夫婦	352	30.3
	親子（親との二世代）	178	15.3
	親子（子との二世代）	264	22.8
	親子孫（三世代）	34	2.9
	一人暮らし	250	21.6
	その他	43	3.7
	無回答	39	3.4
	全体	1,160	100.0
合計	夫婦	676	28.7
	親子（親との二世代）	358	15.2
	親子（子との二世代）	524	22.3
	親子孫（三世代）	84	3.6
	一人暮らし	533	22.6
	その他	108	4.6
	無回答	71	3.0
	全体	2,354	100.0

（%）



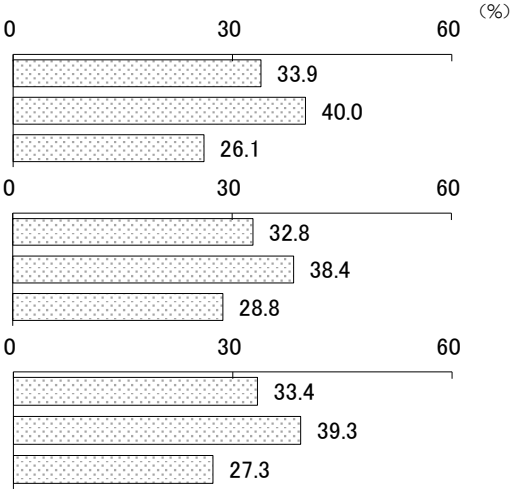
ア　家族の中に中学生以下のこどもがいる世帯

	区　　分	回答者数（人）	構成比（%）
調査票A	いる世帯	155	13.0
	いない世帯	684	57.3
	無回答	355	29.7
	全体	1,194	100.0
調査票B	いる世帯	151	13.0
	いない世帯	610	52.6
	無回答	399	34.4
	全体	1,160	100.0
合計	いる世帯	306	13.0
	いない世帯	1,294	55.0
	無回答	754	32.0
	全体	2,354	100.0



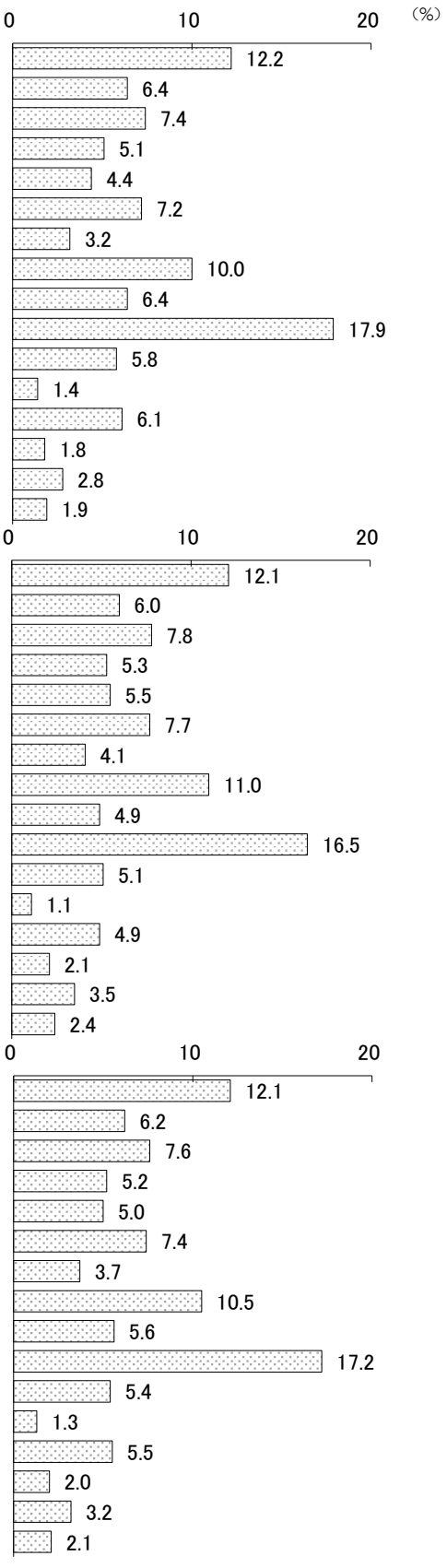
イ　家族の中に６５歳以上の方がいる世帯（本人を含む。）

	区　　分	回答者数（人）	構成比（%）
調査票A	いる世帯	405	33.9
	いない世帯	478	40.0
	無回答	311	26.1
	全体	1,194	100.0
調査票B	いる世帯	381	32.8
	いない世帯	446	38.4
	無回答	333	28.8
	全体	1,160	100.0
合計	いる世帯	786	33.4
	いない世帯	924	39.3
	無回答	644	27.3
	全体	2,354	100.0



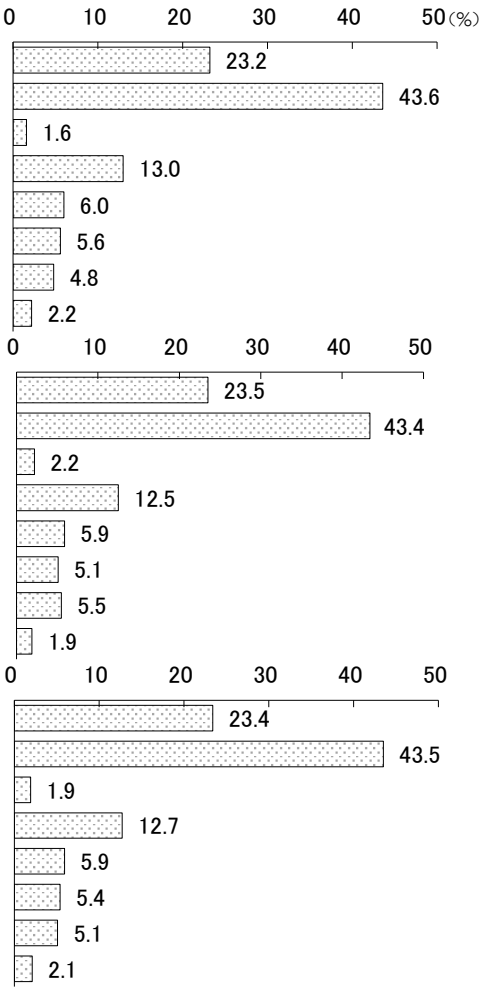
（４）居住地区

	区　分	発送数（人）	回答者数（人）	回収率（%）	構成比（%）
調査票A	厚木北	293	146	49.83	12.2
	厚木南	132	77	58.33	6.4
	依知北	213	88	41.31	7.4
	依知南	152	61	40.13	5.1
	睦合北	120	53	44.17	4.4
	睦合南	223	86	38.57	7.2
	睦合西	103	38	36.89	3.2
	荻野	271	119	43.91	10.0
	小鮎	151	76	50.33	6.4
	南毛利	410	214	52.20	17.9
	南毛利南	125	69	55.20	5.8
	玉川	35	17	48.57	1.4
	相川	153	73	47.71	6.1
	緑ケ丘	50	22	44.00	1.8
	森の里	69	34	49.28	2.8
	無回答	-	21	-	1.9
	全体	2,500	1,194	47.76	100.0
調査票B	厚木北	289	140	48.44	12.1
	厚木南	129	70	54.26	6.0
	依知北	216	91	42.13	7.8
	依知南	145	61	42.07	5.3
	睦合北	118	64	54.24	5.5
	睦合南	227	89	39.21	7.7
	睦合西	101	48	47.52	4.1
	荻野	273	128	46.89	11.0
	小鮎	148	57	38.51	4.9
	南毛利	410	191	46.59	16.5
	南毛利南	129	59	45.74	5.1
	玉川	34	13	38.24	1.1
	相川	154	57	37.01	4.9
	緑ケ丘	57	24	42.11	2.1
	森の里	70	41	58.57	3.5
	無回答	-	27	-	2.4
	全体	2,500	1,160	46.40	100.0
合計	厚木北	582	286	49.14	12.1
	厚木南	261	147	56.32	6.2
	依知北	429	179	41.72	7.6
	依知南	297	122	41.08	5.2
	睦合北	238	117	49.16	5.0
	睦合南	450	175	38.89	7.4
	睦合西	204	86	42.16	3.7
	荻野	544	247	45.40	10.5
	小鮎	299	133	44.48	5.6
	南毛利	820	405	49.39	17.2
	南毛利南	254	128	50.39	5.4
	玉川	69	30	43.48	1.3
	相川	307	130	42.35	5.5
	緑ケ丘	107	46	42.99	2.0
	森の里	139	75	53.96	3.2
	無回答	-	48	-	2.1
	全体	5,000	2,354	47.08	100.0



（5）居住年数

	区　　分	回答者数（人）	構成比（%）
調査票A	20年以上（生まれてからずっと）	277	23.2
	20年以上（転入して以来）	521	43.6
	10～19年（生まれてからずっと）	19	1.6
	10～19年（転入して以来）	155	13.0
	5～9年	72	6.0
	3～4年	67	5.6
	2年以下	57	4.8
	無回答	26	2.2
	全体	1,194	100.0
調査票B	20年以上（生まれてからずっと）	273	23.5
	20年以上（転入して以来）	503	43.4
	10～19年（生まれてからずっと）	25	2.2
	10～19年（転入して以来）	145	12.5
	5～9年	68	5.9
	3～4年	59	5.1
	2年以下	64	5.5
	無回答	23	1.9
	全体	1,160	100.0
合計	20年以上（生まれてからずっと）	550	23.4
	20年以上（転入して以来）	1,024	43.5
	10～19年（生まれてからずっと）	44	1.9
	10～19年（転入して以来）	300	12.7
	5～9年	140	5.9
	3～4年	126	5.4
	2年以下	121	5.1
	無回答	49	2.1
	全体	2,354	100.0



2-2　項目別実感度・重要度、幸福度

（1）市の施策に対する実感度（A・B：問1）

ア　基本政策別の傾向（図表1、図表2）

（ア）実感している人の割合（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）が高い政策

① 安心政策（平均値 46.2%）

① 輝き政策（平均値 46.2%）

③ 共創政策（平均値 42.3%）

（イ）実感していない人の割合（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）が高い政策

① 発展政策（平均値 25.9%）

② 潤い政策（平均値 22.3%）

③ 安心政策（平均値 19.8%）

イ　77 項目別の傾向

（ア）実感している人の割合が高い項目（図表3）

① 日常生活に必要な施設が身近にある（80.6%）

② 消防・救急・救助体制の充実（74.2%）

③ 子育てサービスの充実（68.6%）

④ 緑豊かな生活環境（66.9%）

⑤ 清潔で快適な生活環境（66.0%）

（イ）実感している人の割合が低い項目（図表3）

① 住環境の整備の取組（18.0%）

② 平和についての啓発の推進（20.5%）

③ 定住促進の取組（21.1%）

④ 農地有効利用の取組（24.3%）

⑤ 山林の再生の推進（24.4%）

（ウ）実感していない人の割合が高い項目（図表4）

① 住環境の整備の取組（40.6%）

② 定住促進の取組（34.8%）

③ 先端技術産業の推進（33.4%）

④ 中心市街地のにぎわい（32.8%）

⑤ 省エネの取組（31.6%）

（エ）実感していない人の割合が低い項目（図表4）

① 消防・救急・救助体制の充実（4.3%）

② 親と子の健康づくりの取組（6.8%）

③ 子育てサービスの充実（7.4%）

④ 保育と幼児教育の充実（9.5%）

⑤ 健康づくりの取組（10.9%）

ウ　無回答者の割合

（ア）無回答者の割合が高い政策（図表５）

① 成長政策（平均値 29.1％）

② 共創政策（平均値 22.3％）

③ 輝き政策（平均値 21.3％）

（イ）無回答者の割合が低い政策（図表５）

① 安心政策（平均値 15.0％）

② 発展政策（平均値 19.3％）

③ 潤い政策（平均値 20.0％）

（ウ）無回答者の割合が高い項目（図表６）

① 教育支援体制の充実（40.9％）

② こどもたちが安心して共に学べる取組（40.4％）

③ こどもたちが自ら課題に取り組む（38.3％）

④ 安全な教育環境の整備（38.2％）

⑤ 青少年の健全育成の取組（37.1％）

（エ）無回答者の割合が低い項目（図表６）

① 日常生活に必要な施設が身近にある（4.7％）

② 日常生活における移動がスムーズ（5.9％）

③ 緑豊かな生活環境（6.0％）

④ 清潔で快適な生活環境（7.1％）

⑤ 安心・安全に通行できる道路環境（7.2％）

図表１　実感度（基本政策別・項目別一覧表）1/2

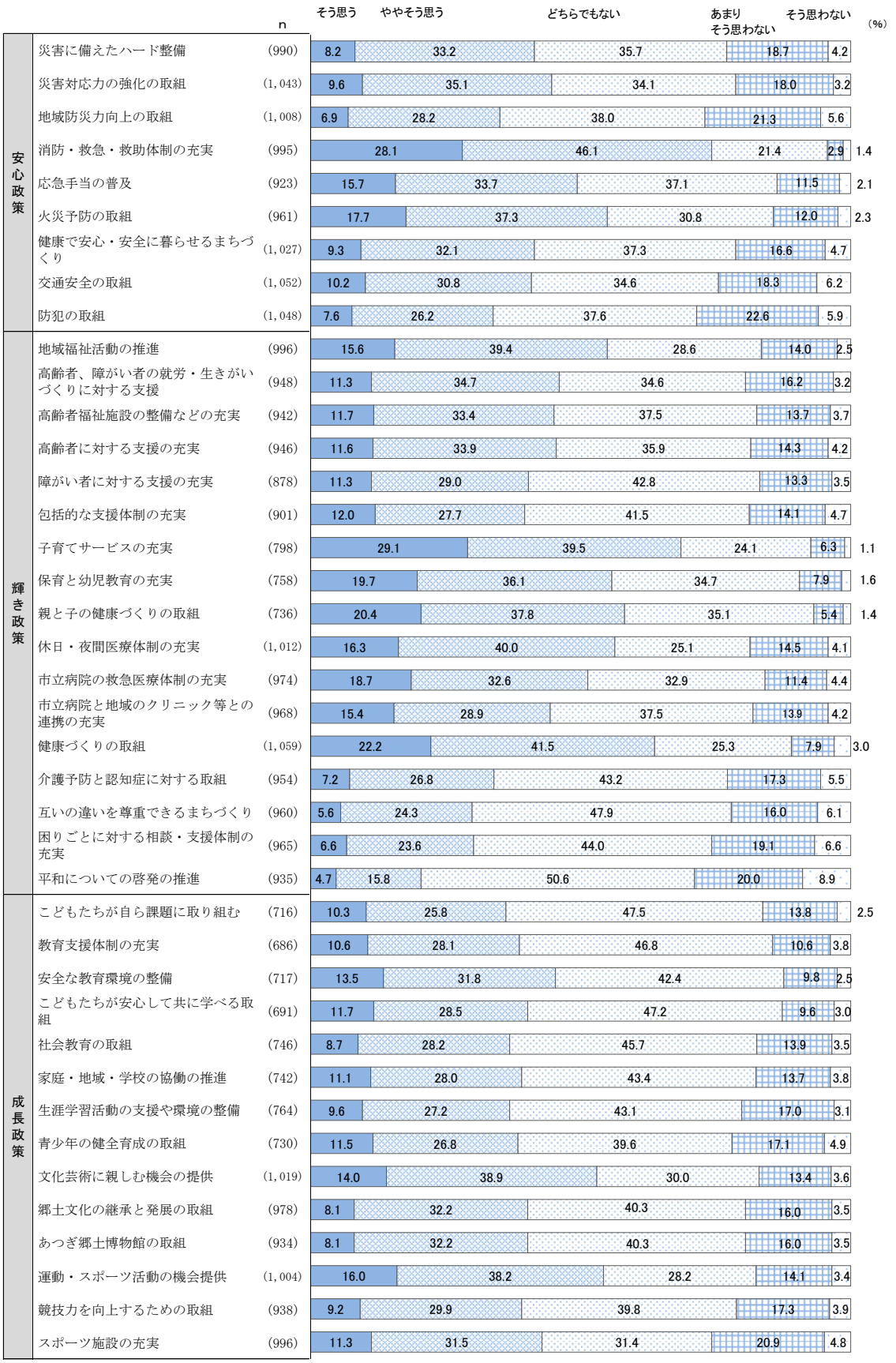
基本政策	項目	n	そう思う（A）	ややそう思う（B）	どちらでもない（C）	あまりそう思わない（D）	そう思わない（E）	実感している ※1（A＋B）	実感していない ※2（D＋E）	R7年度目標値	実感度順位 ※3
安心政策	災害に備えたハード整備	(990)	8.2	33.2	35.7	18.7	4.2	41.4	22.9	44.3	38
	災害対応力の強化の取組	(1,043)	9.6	35.1	34.1	18.0	3.2	44.7	21.2	58.3	33
	地域防災力向上の取組	(1,008)	6.9	28.2	38.0	21.3	5.6	35.1	26.9	47.9	56
	消防・救急・救助体制の充実	(995)	28.1	46.1	21.4	2.9	1.4	74.2	4.3	74.6	2
	応急手当の普及	(923)	15.7	33.7	37.1	11.5	2.1	49.4	13.6	53.8	24
	火災予防の取組	(961)	17.7	37.3	30.8	12.0	2.3	55.0	14.3	58.9	13
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(1,027)	9.3	32.1	37.3	16.6	4.7	41.4	21.3	52.3	38
	交通安全の取組	(1,052)	10.2	30.8	34.6	18.3	6.2	41.0	24.5	50.4	40
	防犯の取組	(1,048)	7.6	26.2	37.6	22.6	5.9	33.8	28.5	50.0	58
安心政策　平均値			12.6	33.6	34.1	15.8	4.0	46.2	19.8	－	①
輝き政策	地域福祉活動の推進	(996)	15.6	39.4	28.6	14.0	2.5	55.0	16.5	58.0	13
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(948)	11.3	34.7	34.6	16.2	3.2	46.0	19.4	48.0	28
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(942)	11.7	33.4	37.5	13.7	3.7	45.1	17.4	49.4	32
	高齢者に対する支援の充実	(946)	11.6	33.9	35.9	14.3	4.2	45.5	18.5	49.0	29
	障がい者に対する支援の充実	(878)	11.3	29.0	42.8	13.3	3.5	40.3	16.8	49.0	42
	包括的な支援体制の充実	(901)	12.0	27.7	41.5	14.1	4.7	39.7	18.8	48.0	45
	子育てサービスの充実	(798)	29.1	39.5	24.1	6.3	1.1	68.6	7.4	67.0	3
	保育と幼児教育の充実	(758)	19.7	36.1	34.7	7.9	1.6	55.8	9.5	56.4	12
	親と子の健康づくりの取組	(736)	20.4	37.8	35.1	5.4	1.4	58.2	6.8	54.0	10
	休日・夜間医療体制の充実	(1,012)	16.3	40.0	25.1	14.5	4.1	56.3	18.6	58.5	11
	市立病院の救急医療体制の充実	(974)	18.7	32.6	32.9	11.4	4.4	51.3	15.8	57.5	20
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(968)	15.4	28.9	37.5	13.9	4.2	44.3	18.1	47.0	35
	健康づくりの取組	(1,059)	22.2	41.5	25.3	7.9	3.0	63.7	10.9	74.0	6
	介護予防と認知症に対する取組	(954)	7.2	26.8	43.2	17.3	5.5	34.0	22.8	38.0	57
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(960)	5.6	24.3	47.9	16.0	6.1	29.9	22.1	29.5	62
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(965)	6.6	23.6	44.0	19.1	6.6	30.2	25.7	29.5	61
	平和についての啓発の推進	(935)	4.7	15.8	50.6	20.0	8.9	20.5	28.9	36.0	76
輝き政策　平均値			14.1	32.1	36.5	13.3	4.0	46.2	17.3	－	①
成長政策	こどもたちが自ら課題に取り組む	(716)	10.3	25.8	47.5	13.8	2.5	36.1	16.3	35.0	54
	教育支援体制の充実	(686)	10.6	28.1	46.8	10.6	3.8	38.7	14.4	34.0	48
	安全な教育環境の整備	(717)	13.5	31.8	42.4	9.8	2.5	45.3	12.3	39.3	30
	こどもたちが安心して共に学べる取組	(691)	11.7	28.5	47.2	9.6	3.0	40.2	12.6	35.0	44
	社会教育の取組	(746)	8.7	28.2	45.7	13.9	3.5	36.9	17.4	31.0	51
	家庭・地域・学校の協働の推進	(742)	11.1	28.0	43.4	13.7	3.8	39.1	17.5	38.0	46
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(764)	9.6	27.2	43.1	17.0	3.1	36.8	20.1	35.0	52
	青少年の健全育成の取組	(730)	11.5	26.8	39.6	17.1	4.9	38.3	22.0	39.5	49
	文化芸術に親しむ機会の提供	(1,019)	14.0	38.9	30.0	13.4	3.6	52.9	17.0	45.0	18
	郷土文化の継承と発展の取組	(978)	8.1	32.2	40.3	16.0	3.5	40.3	19.5	43.0	42
	あつぎ郷土博物館の取組	(934)	9.2	28.7	42.3	14.9	4.9	37.9	19.8	43.0	50
	運動・スポーツ活動の機会提供	(1,004)	16.0	38.2	28.2	14.1	3.4	54.2	17.5	55.0	16
	競技力を向上するための取組	(938)	9.2	29.9	39.8	17.3	3.9	39.1	21.2	36.0	46
	スポーツ施設の充実	(996)	11.3	31.5	31.4	20.9	4.8	42.8	25.7	47.0	36
成長政策　平均値			11.1	30.3	40.6	14.4	3.7	41.4	18.1	－	④

図表１　実感度（基本政策別・項目別一覧表）2/2

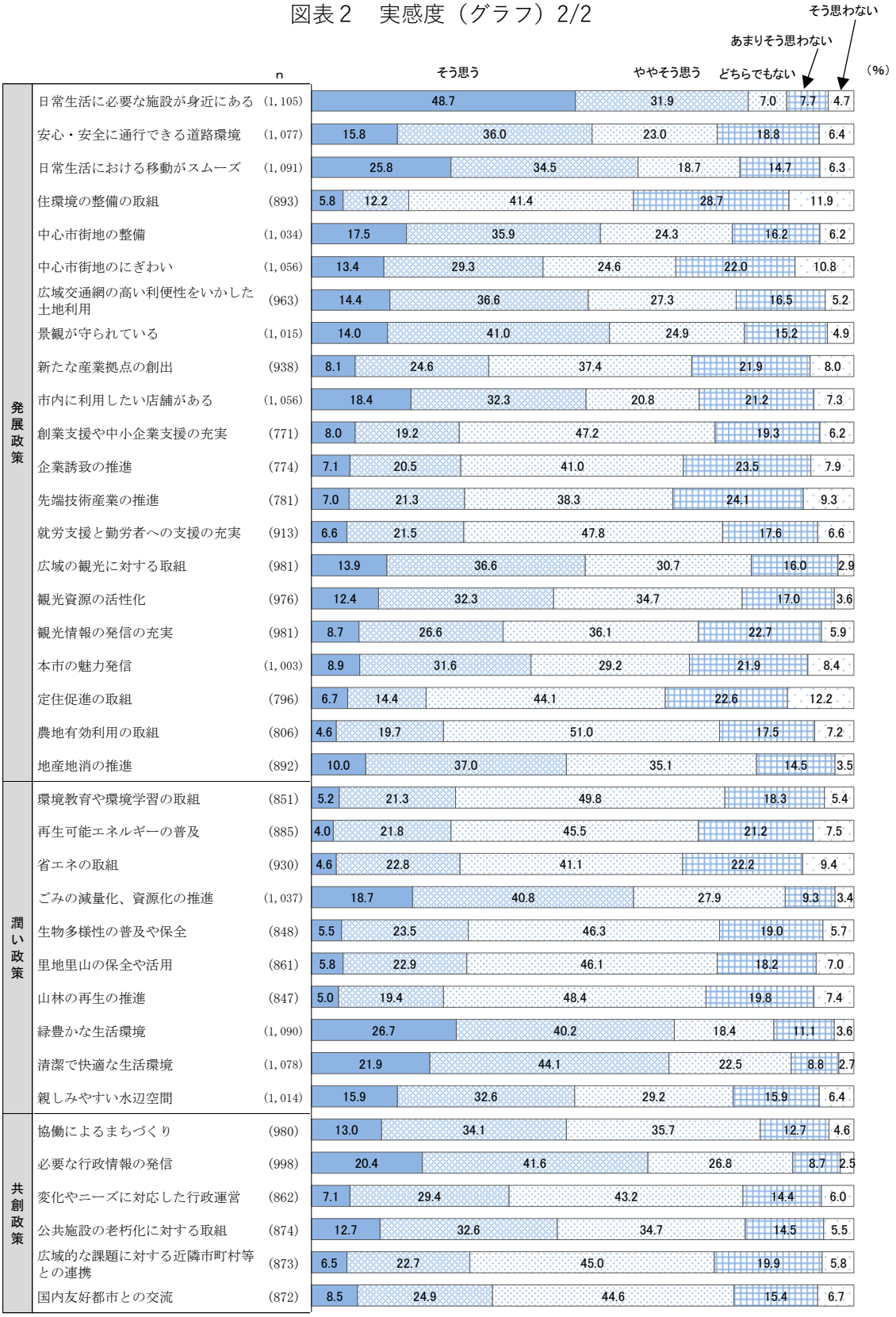
基本政策	項目	n	そう思う（A）	ややそう思う（B）	どちらでもない（C）	あまりそう思わない（D）	そう思わない（E）	実感している ※1（A＋B）	実感していない ※2（D＋E）	R7年度目標値	実感度順位 ※3
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(1,105)	48.7	31.9	7.0	7.7	4.7	80.6	12.4	80.6	1
	安心・安全に通行できる道路環境	(1,077)	15.8	36.0	23.0	18.8	6.4	51.8	25.2	42.5	19
	日常生活における移動がスムーズ	(1,091)	25.8	34.5	18.7	14.7	6.3	60.3	21.0	62.4	8
	住環境の整備の取組	(893)	5.8	12.2	41.4	28.7	11.9	18.0	40.6	44.0	77
	中心市街地の整備	(1,034)	17.5	35.9	24.3	16.2	6.2	53.4	22.4	50.0	17
	中心市街地のにぎわい	(1,056)	13.4	29.3	24.6	22.0	10.8	42.7	32.8	48.0	37
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(963)	14.4	36.6	27.3	16.5	5.2	51.0	21.7	59.2	21
	景観が守られている	(1,015)	14.0	41.0	24.9	15.2	4.9	55.0	20.1	48.2	13
	新たな産業拠点の創出	(938)	8.1	24.6	37.4	21.9	8.0	32.7	29.9	32.0	60
	市内に利用したい店舗がある	(1,056)	18.4	32.3	20.8	21.2	7.3	50.7	28.5	45.5	22
	創業支援や中小企業支援の充実	(771)	8.0	19.2	47.2	19.3	6.2	27.2	25.5	24.0	70
	企業誘致の推進	(774)	7.1	20.5	41.0	23.5	7.9	27.6	31.4	30.0	68
	先端技術産業の推進	(781)	7.0	21.3	38.3	24.1	9.3	28.3	33.4	24.0	66
	就労支援と勤労者への支援の充実	(913)	6.6	21.5	47.8	17.6	6.6	28.1	24.2	29.0	67
	広域の観光に対する取組	(981)	13.9	36.6	30.7	16.0	2.9	50.5	18.9	49.0	23
	観光資源の活性化	(976)	12.4	32.3	34.7	17.0	3.6	44.7	20.6	48.5	33
	観光情報の発信の充実	(981)	8.7	26.6	36.1	22.7	5.9	35.3	28.6	44.0	55
	本市の魅力発信	(1,003)	8.9	31.6	29.2	21.9	8.4	40.5	30.3	48.7	41
	定住促進の取組	(796)	6.7	14.4	44.1	22.6	12.2	21.1	34.8	61.0	75
	農地有効利用の取組	(806)	4.6	19.7	51.0	17.5	7.2	24.3	24.7	26.0	74
	地産地消の推進	(892)	10.0	37.0	35.1	14.5	3.5	47.0	18.0	48.0	27
発展政策　平均値			13.1	28.3	32.6	19.0	6.9	41.4	25.9	－	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(851)	5.2	21.3	49.8	18.3	5.4	26.5	23.7	45.0	71
	再生可能エネルギーの普及	(885)	4.0	21.8	45.5	21.2	7.5	25.8	28.7	36.0	72
	省エネの取組	(930)	4.6	22.8	41.1	22.2	9.4	27.4	31.6	50.0	69
	ごみの減量化、資源化の推進	(1,037)	18.7	40.8	27.9	9.3	3.4	59.5	12.7	77.0	9
	生物多様性の普及や保全	(848)	5.5	23.5	46.3	19.0	5.7	29.0	24.7	41.0	64
	里地里山の保全や活用	(861)	5.8	22.9	46.1	18.2	7.0	28.7	25.2	46.0	65
	山林の再生の推進	(847)	5.0	19.4	48.4	19.8	7.4	24.4	27.2	33.0	73
	緑豊かな生活環境	(1,090)	26.7	40.2	18.4	11.1	3.6	66.9	14.7	65.9	4
	清潔で快適な生活環境	(1,078)	21.9	44.1	22.5	8.8	2.7	66.0	11.5	68.0	5
	親しみやすい水辺空間	(1,014)	15.9	32.6	29.2	15.9	6.4	48.5	22.3	47.2	25
潤い政策　平均値			11.3	28.9	37.5	16.4	5.9	40.2	22.3	－	⑥
共創政策	協働によるまちづくり	(980)	13.0	34.1	35.7	12.7	4.6	47.1	17.3	45.9	26
	必要な行政情報の発信	(998)	20.4	41.6	26.8	8.7	2.5	62.0	11.2	61.0	7
	変化やニーズに対応した行政運営	(862)	7.1	29.4	43.2	14.4	6.0	36.5	20.4	46.6	53
	公共施設の老朽化に対する取組	(874)	12.7	32.6	34.7	14.5	5.5	45.3	20.0	46.6	30
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(873)	6.5	22.7	45.0	19.9	5.8	29.2	25.7	46.3	63
	国内友好都市との交流	(872)	8.5	24.9	44.6	15.4	6.7	33.4	22.1	47.0	59
共創政策　平均値			11.4	30.9	38.3	14.3	5.2	42.3	19.5	－	③
平均値			12.5	30.4	36.2	15.8	5.1	42.9	20.9	－	－

（※１）「実感している人の割合」は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計を示す。
（※２）「実感していない人の割合」は、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計を示す。
（※３）「実感度順位」は、「実感している人の割合」の大きい順に第１位～第77位の順位を示す。
　　なお、 網かけは、「実感度順位」の上位５位までの項目を示す。

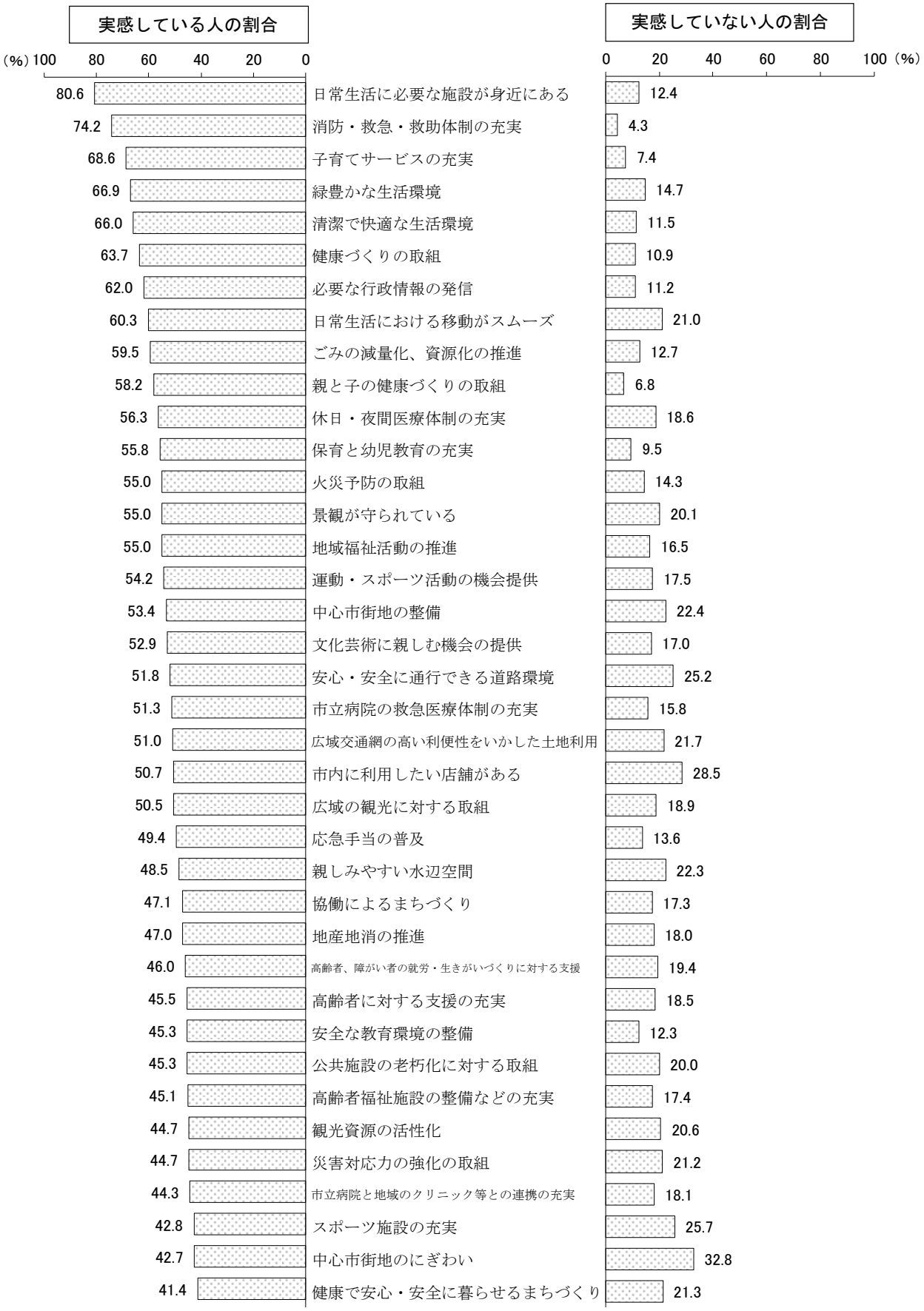
図表２　実感度（グラフ）1/2



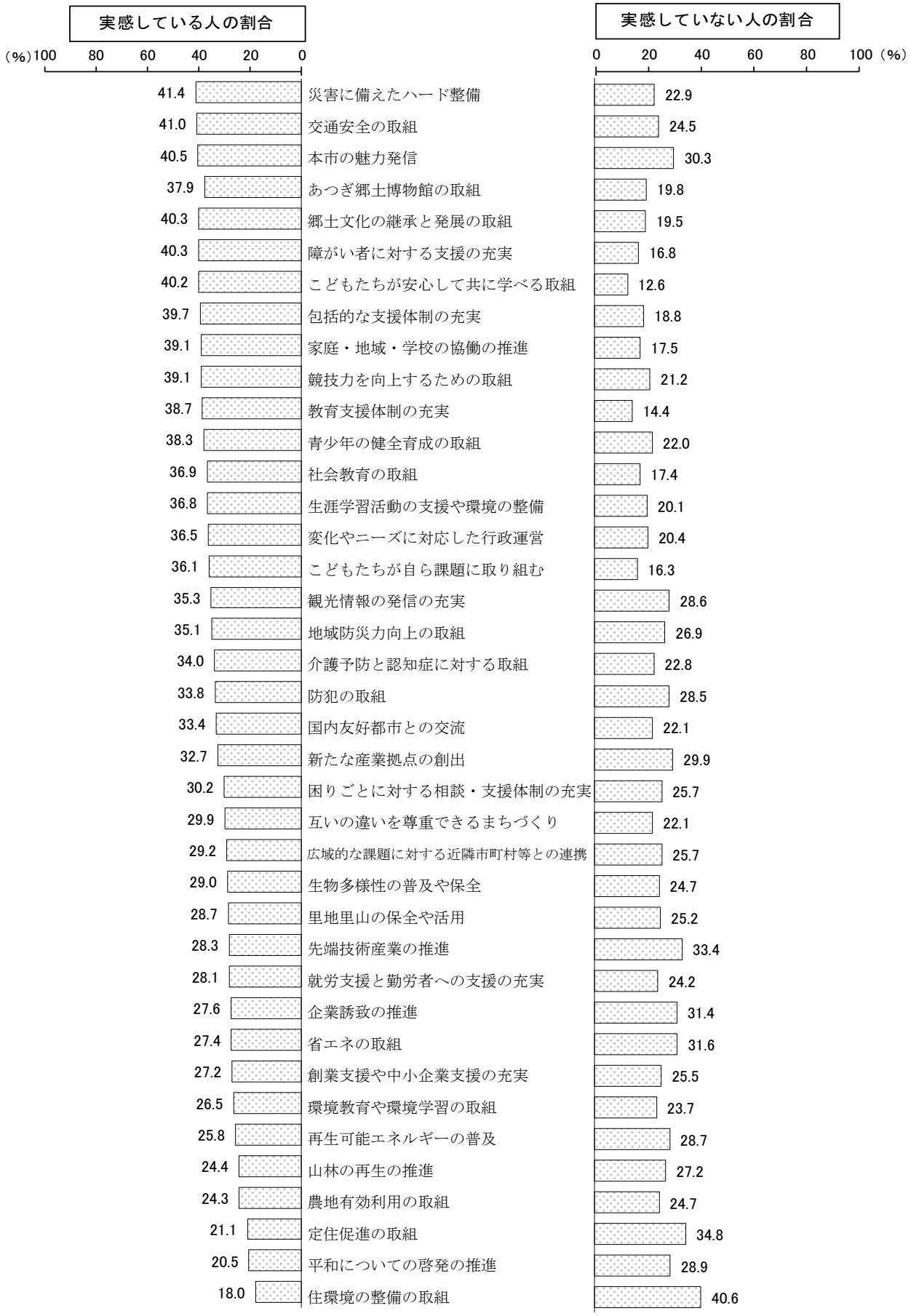
図表２　実感度（グラフ）2/2



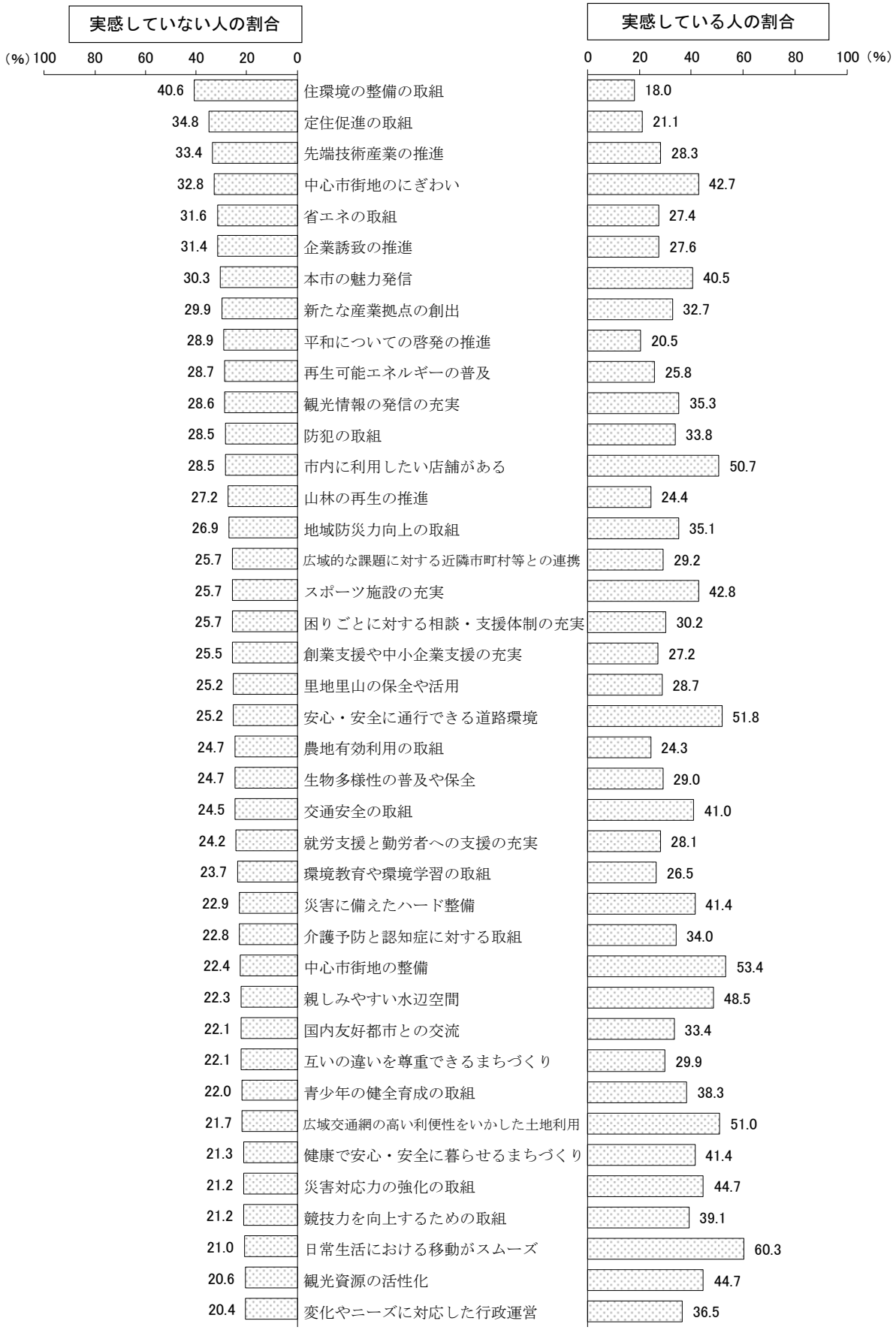
図表３　実感度（実感している人の割合が高い順）1/2



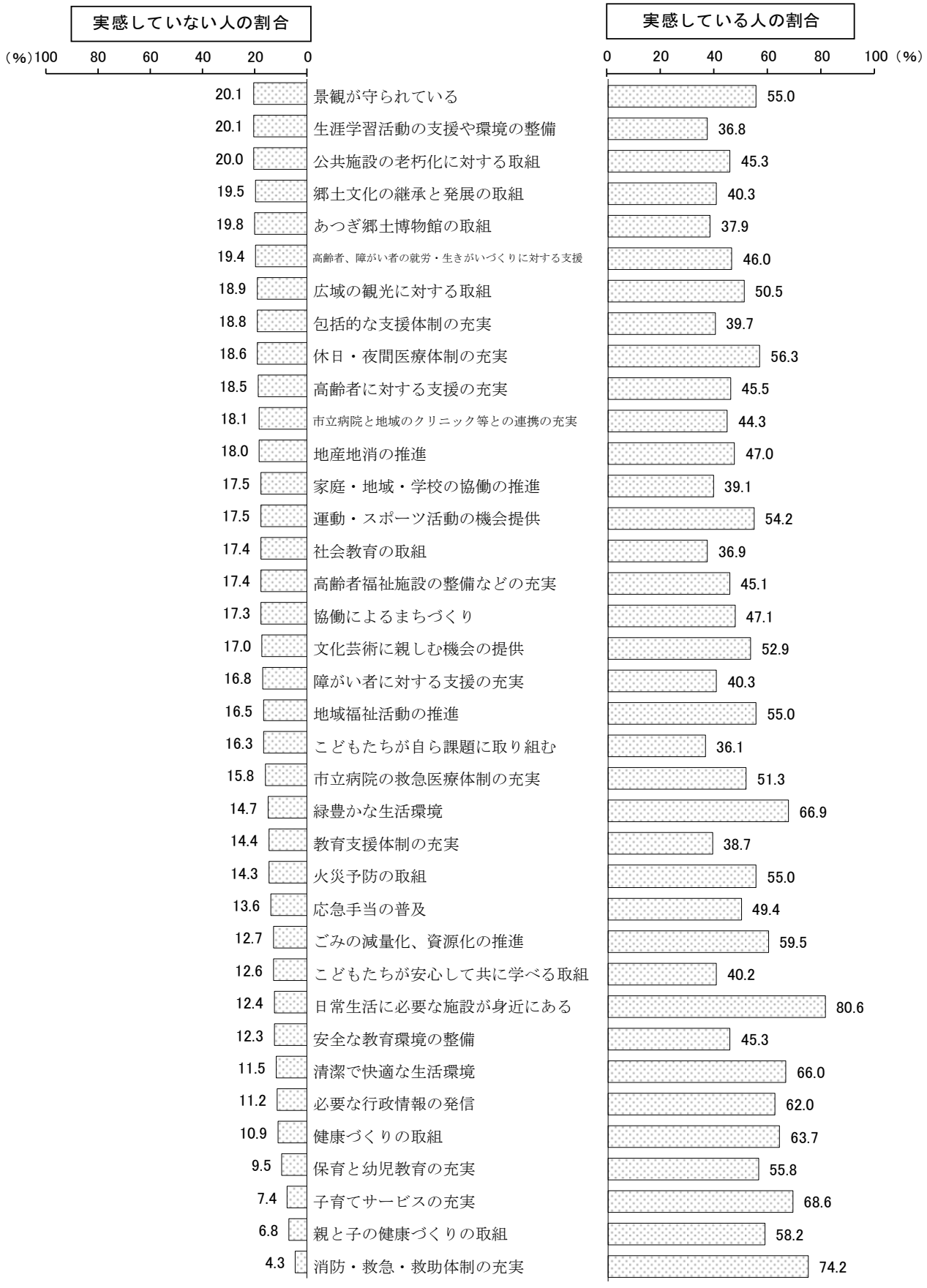
図表３　実感度（実感している人の割合が高い順）2/2



図表４　実感度（実感していない人の割合が高い順）1/2



図表４　実感度（実感していない人の割合が高い順）2/2



図表５　実感度（基本政策別・無回答者の割合）1/2

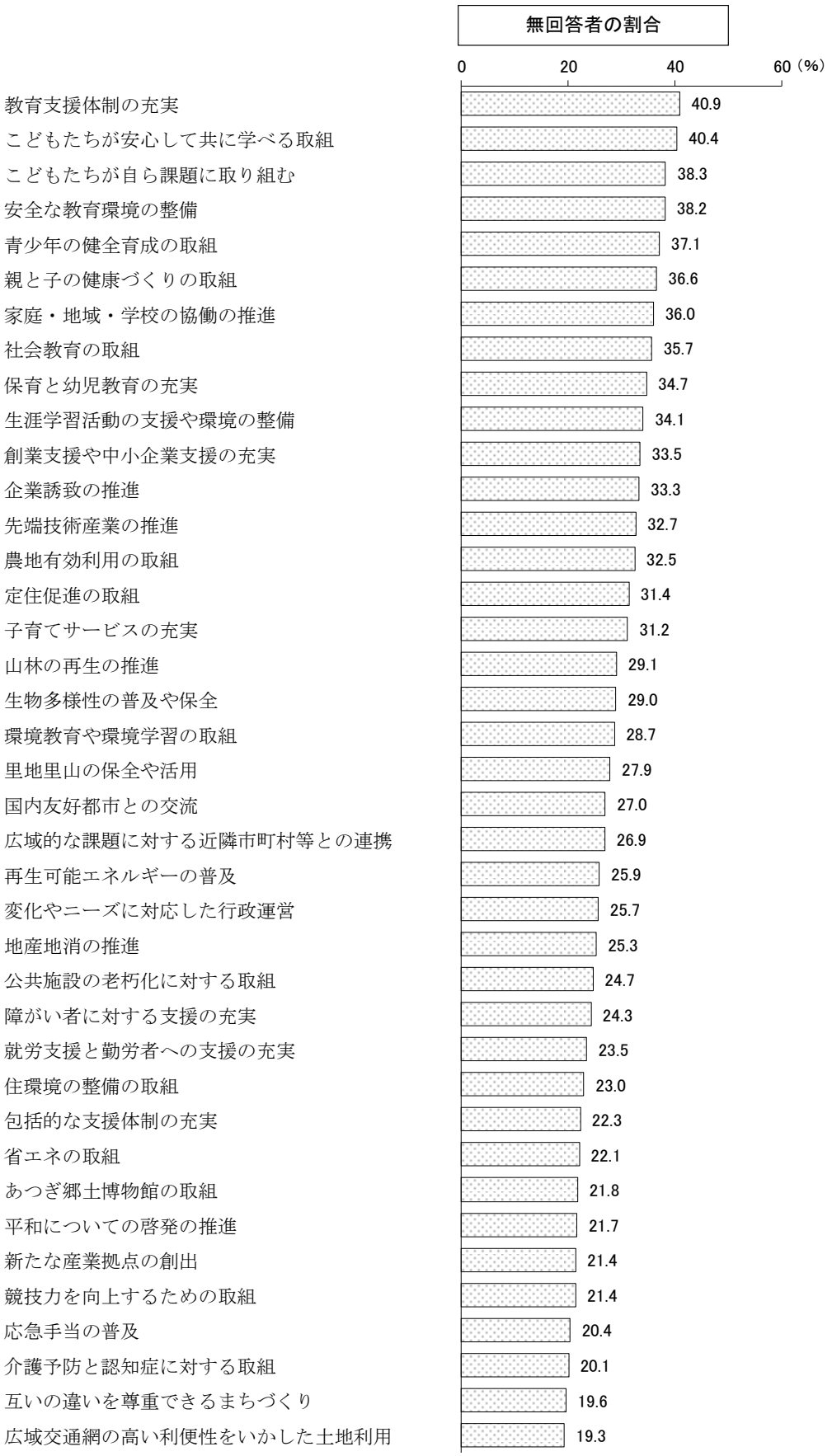
基本政策	項　目	回答者数 n （人） （A）	無回答者数 （人） （B）	合計 （人） （A＋B）	無回答者の割合 ※1 （%）	無回答順位 ※2
安心政策	災害に備えたハード整備	990	204	1,194	17.1	51
	災害対応力の強化の取組	1,043	151	1,194	12.6	64
	地域防災力向上の取組	1,008	186	1,194	15.6	54
	消防・救急・救助体制の充実	995	165	1,160	14.2	59
	応急手当の普及	923	237	1,160	20.4	36
	火災予防の取組	961	199	1,160	17.2	50
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	1,027	167	1,194	14.0	61
	交通安全の取組	1,052	142	1,194	11.9	67
	防犯の取組	1,048	146	1,194	12.2	66
安心政策　平均値		1,005	177	1,183	15.0	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進	996	164	1,160	14.1	60
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	948	212	1,160	18.3	45
	高齢者福祉施設の整備などの充実	942	218	1,160	18.8	42
	高齢者に対する支援の充実	946	214	1,160	18.4	43
	障がい者に対する支援の充実	878	282	1,160	24.3	27
	包括的な支援体制の充実	901	259	1,160	22.3	30
	子育てサービスの充実	798	362	1,160	31.2	16
	保育と幼児教育の充実	758	402	1,160	34.7	9
	親と子の健康づくりの取組	736	424	1,160	36.6	6
	休日・夜間医療体制の充実	1,012	182	1,194	15.2	56
	市立病院の救急医療体制の充実	974	220	1,194	18.4	43
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	968	226	1,194	18.9	41
	健康づくりの取組	1,059	135	1,194	11.3	68
	介護予防と認知症に対する取組	954	240	1,194	20.1	37
	互いの違いを尊重できるまちづくり	960	234	1,194	19.6	38
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	965	229	1,194	19.2	40
	平和についての啓発の推進	935	259	1,194	21.7	33
輝き政策　平均値		925	251	1,176	21.3	③
成長政策	こどもたちが自ら課題に取り組む	716	444	1,160	38.3	3
	教育支援体制の充実	686	474	1,160	40.9	1
	安全な教育環境の整備	717	443	1,160	38.2	4
	こどもたちが安心して共に学べる取組	691	469	1,160	40.4	2
	社会教育の取組	746	414	1,160	35.7	8
	家庭・地域・学校の協働の推進	742	418	1,160	36.0	7
	生涯学習活動の支援や環境の整備	764	396	1,160	34.1	10
	青少年の健全育成の取組	730	430	1,160	37.1	5
	文化芸術に親しむ機会の提供	1,019	175	1,194	14.7	58
	郷土文化の継承と発展の取組	978	216	1,194	18.1	47
	あつぎ郷土博物館の取組	934	260	1,194	21.8	32
	運動・スポーツ活動の機会提供	1,004	190	1,194	15.9	53
	競技力を向上するための取組	938	256	1,194	21.4	34
	スポーツ施設の充実	996	198	1,194	16.6	52

図表５　実感度（基本政策別・無回答者の割合）2/2

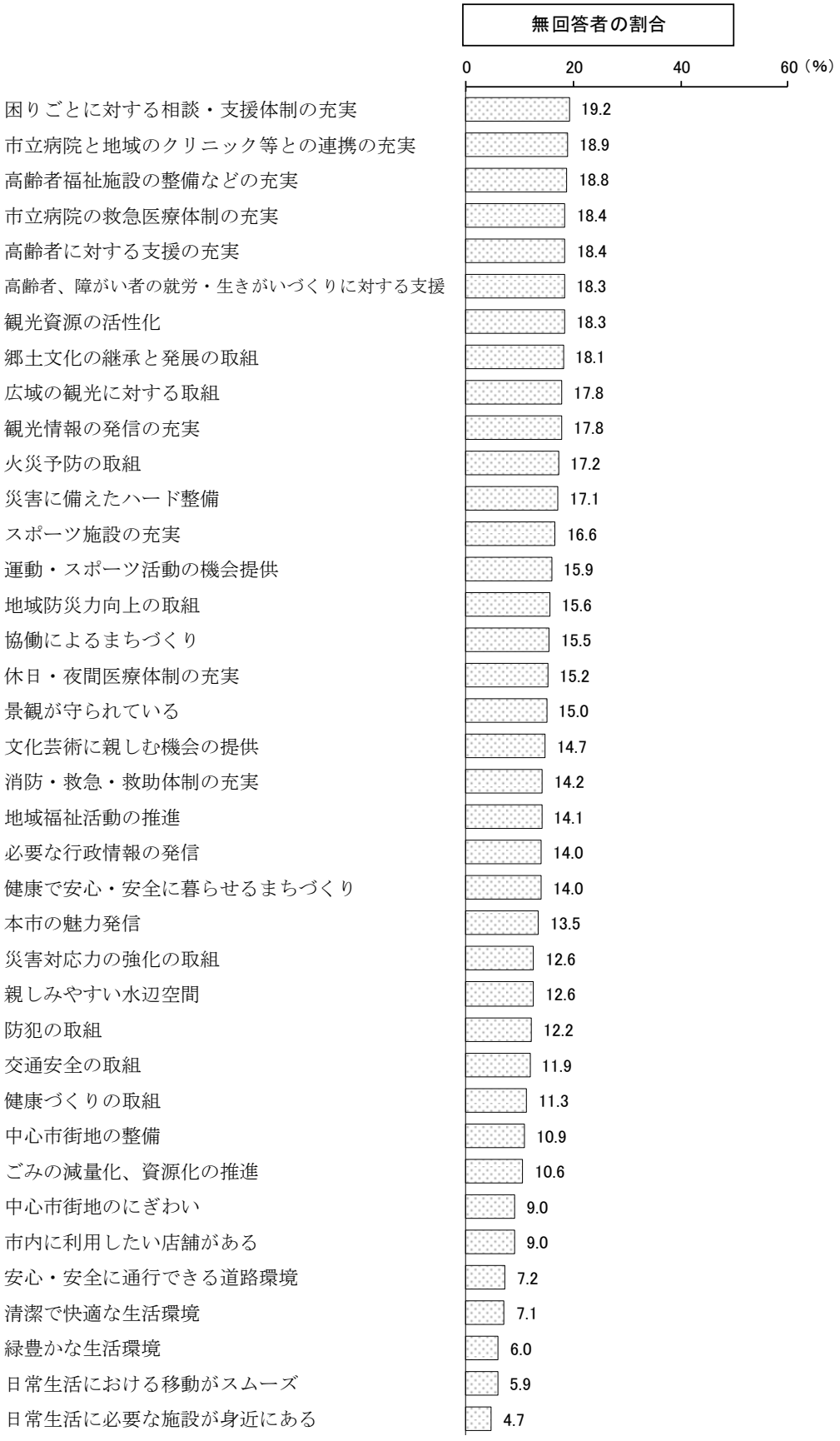
基本政策	項　　目	回答者数 n （人） （A）	無回答者数 （人） （B）	合計 （人） （A＋B）	無回答者の割合 ※1 （%）	無回答順位 ※2
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	1,105	55	1,160	4.7	77
	安心・安全に通行できる道路環境	1,077	83	1,160	7.2	73
	日常生活における移動がスムーズ	1,091	69	1,160	5.9	76
	住環境の整備の取組	893	267	1,160	23.0	29
	中心市街地の整備	1,034	126	1,160	10.9	69
	中心市街地のにぎわい	1,056	104	1,160	9.0	71
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	963	231	1,194	19.3	39
	景観が守られている	1,015	179	1,194	15.0	57
	新たな産業拠点の創出	938	256	1,194	21.4	34
	市内に利用したい店舗がある	1,056	104	1,160	9.0	71
	創業支援や中小企業支援の充実	771	389	1,160	33.5	11
	企業誘致の推進	774	386	1,160	33.3	12
	先端技術産業の推進	781	379	1,160	32.7	13
	就労支援と勤労者への支援の充実	913	281	1,194	23.5	28
	広域の観光に対する取組	981	213	1,194	17.8	48
	観光資源の活性化	976	218	1,194	18.3	45
	観光情報の発信の充実	981	213	1,194	17.8	48
	本市の魅力発信	1,003	157	1,160	13.5	63
	定住促進の取組	796	364	1,160	31.4	15
	農地有効利用の取組	806	388	1,194	32.5	14
	地産地消の推進	892	302	1,194	25.3	25
発展政策　平均値		948	227	1,175	19.3	⑤
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	851	343	1,194	28.7	19
	再生可能エネルギーの普及	885	309	1,194	25.9	23
	省エネの取組	930	264	1,194	22.1	31
	ごみの減量化、資源化の推進	1,037	123	1,160	10.6	70
	生物多様性の普及や保全	848	346	1,194	29.0	18
	里地里山の保全や活用	861	333	1,194	27.9	20
	山林の再生の推進	847	347	1,194	29.1	17
	緑豊かな生活環境	1,090	70	1,160	6.0	75
	清潔で快適な生活環境	1,078	82	1,160	7.1	74
	親しみやすい水辺空間	1,014	146	1,160	12.6	64
潤い政策　平均値		944	236	1,180	20.0	④
共創政策	協働によるまちづくり	980	180	1,160	15.5	55
	必要な行政情報の発信	998	162	1,160	14.0	61
	変化やニーズに対応した行政運営	862	298	1,160	25.7	24
	公共施設の老朽化に対する取組	874	286	1,160	24.7	26
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	873	321	1,194	26.9	22
	国内友好都市との交流	872	322	1,194	27.0	21
共創政策　平均値		910	262	1,171	22.3	②
平均値		925	251	1,176	21.3	－

（※１）「無回答者の割合」は、「合計」に対する「無回答者数」の割合を示す。
（※２）「無回答順位」は、「無回答者の割合」の大きい順に第１位～第77位の順位を示す。
　　なお、 網かけは、「無回答順位」の上位５位までの項目を示す。

図表６　実感度（無回答者の割合が高い順）1/2



図表６　実感度（無回答者の割合が高い順）2/2



（２）市の施策に対する重要度（A・B：問１）

ア　基本政策別の傾向（図表７、図表８）

（ア）重要視している人の割合（「重要である」と「やや重要である」の合計）が高い政策

① 安心政策（平均値 90.1%）

② 輝き政策（平均値 84.0%）

③ 潤い政策（平均値 78.2%）

（イ） 重要視していない人の割合（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）が高い政策

① 成長政策（平均値 4.3%）

② 共創政策（平均値 3.7%）

③ 潤い政策（平均値 3.5%）

イ　７７項目別の傾向

（ア）重要視している人の割合が高い項目（図表９）

① 消防・救急・救助体制の充実（95.6%）

② 日常生活に必要な施設が身近にある（95.3%）

③ 安心・安全に通行できる道路環境（93.5%）

④ 日常生活における移動がスムーズ（92.8%）

⑤ 火災予防の取組（92.2%）

（イ）重要視している人の割合が低い項目（図表９）

① あつぎ郷土博物館の取組（53.5%）

② 国内友好都市との交流（55.9%）

③ 郷土文化の継承と発展の取組（57.8%）

④ 先端技術産業の推進（63.4%）

⑤ 文化芸術に親しむ機会の提供（64.9%）

（ウ）重要視していない人の割合が高い項目（図表 10）

① 国内友好都市との交流（9.9%）

② 互いの違いを尊重できるまちづくり（9.5%）

② あつぎ郷土博物館の取組（9.5%）

④ 郷土文化の継承と発展の取組（8.4%）

⑤ 文化芸術に親しむ機会の提供（7.6%）

（エ）重要視していない人の割合が低い項目（図表 10）

① 消防・救急・救助体制の充実（0.5%）

② 日常生活に必要な施設が身近にある（0.6%）

② 日常生活における移動がスムーズ（0.6%）

④ 火災予防の取組（0.9%）

④ こどもたちが自ら課題に取り組む（0.9%）

④ 教育支援体制の充実（0.9%）

④ 安心・安全に通行できる道路環境（0.9%）

ウ　無回答者の割合

（ア）無回答者の割合が高い政策（図表 11）

① 成長政策（平均値 26.2％）

② 共創政策（平均値 22.3％）

③ 発展政策（平均値 20.0％）

（イ）無回答者の割合が低い政策（図表 11）

① 安心政策（平均値 14.7％）

② 輝き政策（平均値 19.2％）

③ 潤い政策（平均値 19.6％）

（ウ）無回答者の割合が高い項目（図表 12）

① こどもたちが安心して共に学べる取組（33.4％）

② 教育支援体制の充実（33.1％）

③ 青少年の健全育成の取組（32.9％）

④ こどもたちが自ら課題に取り組む（32.8％）

⑤ 安全な教育環境の整備（31.6％）

（エ）無回答者の割合が低い項目（図表 12）

① 日常生活に必要な施設が身近にある（10.9％）

② 日常生活における移動がスムーズ（11.3％）

③ 安心・安全に通行できる道路環境（12.0％）

④ 緑豊かな生活環境（12.2％）

⑤ 清潔で快適な生活環境（12.3％）

図表７　重要度（基本政策別・項目別一覧表）1/2

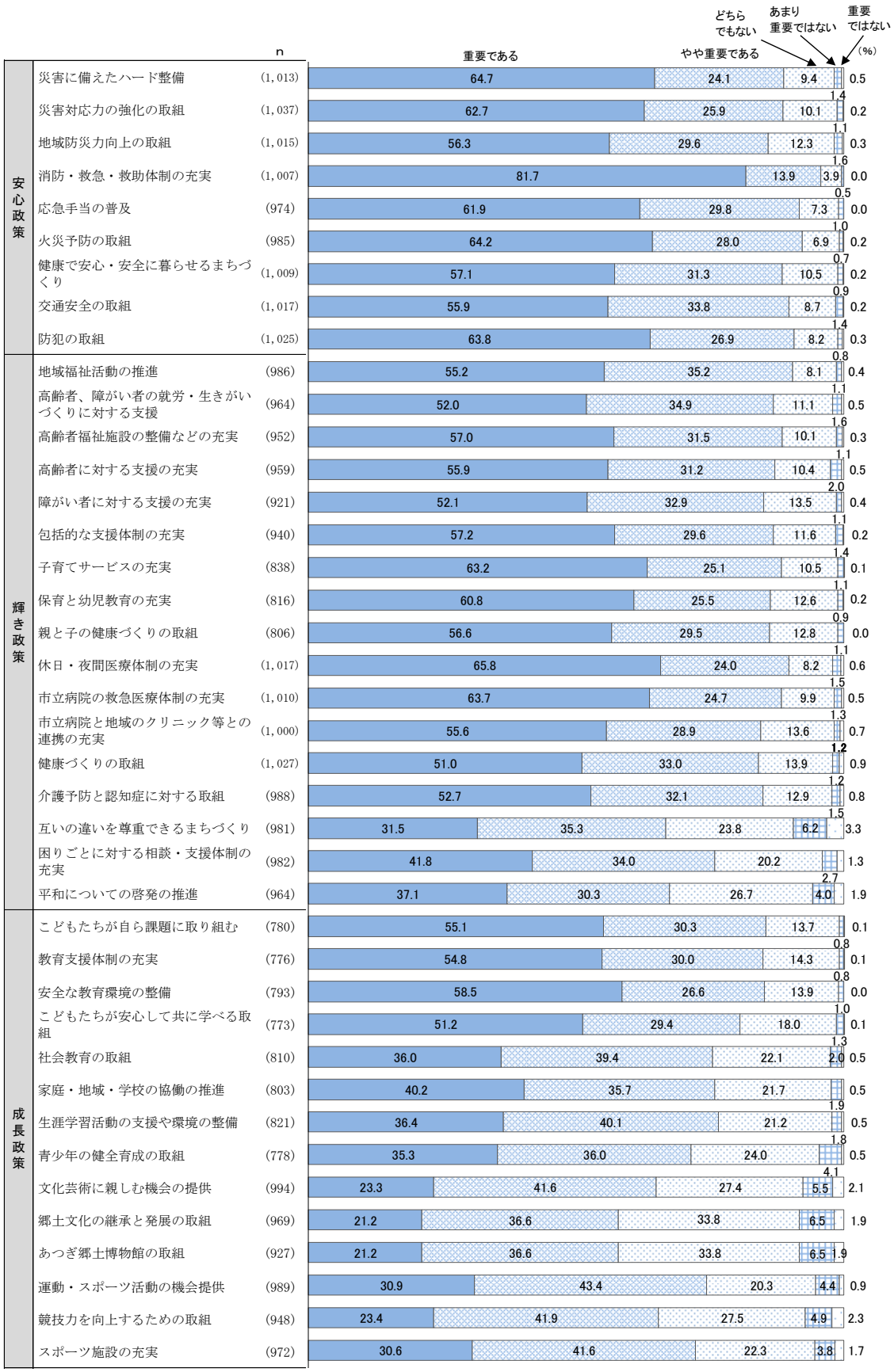
基本政策	項　目	n	重要である（A）	やや重要である（B）	どちらでもない（C）	あまり重要ではない（D）	重要ではない（E）	重要視している ※1（A＋B）	重要視していない ※2（D＋E）	重要度順位 ※3
安心政策	災害に備えたハード整備	(1,013)	64.7	24.1	9.4	1.4	0.5	88.8	1.9	13
	災害対応力の強化の取組	(1,037)	62.7	25.9	10.1	1.1	0.2	88.6	1.3	14
	地域防災力向上の取組	(1,015)	56.3	29.6	12.3	1.6	0.3	85.9	1.9	25
	消防・救急・救助体制の充実	(1,007)	81.7	13.9	3.9	0.5	0.0	95.6	0.5	1
	応急手当の普及	(974)	61.9	29.8	7.3	1.0	0.0	91.7	1.0	6
	火災予防の取組	(985)	64.2	28.0	6.9	0.7	0.2	92.2	0.9	5
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(1,009)	57.1	31.3	10.5	0.9	0.2	88.4	1.1	16
	交通安全の取組	(1,017)	55.9	33.8	8.7	1.4	0.2	89.7	1.6	11
	防犯の取組	(1,025)	63.8	26.9	8.2	0.8	0.3	90.7	1.1	7
安心政策　平均値			63.1	27.0	8.6	1.0	0.2	90.1	1.2	①
輝き政策	地域福祉活動の推進	(986)	55.2	35.2	8.1	1.1	0.4	90.4	1.5	8
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(964)	52.0	34.9	11.1	1.6	0.5	86.9	2.1	21
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(952)	57.0	31.5	10.1	1.1	0.3	88.5	1.4	15
	高齢者に対する支援の充実	(959)	55.9	31.2	10.4	2.0	0.5	87.1	2.5	20
	障がい者に対する支援の充実	(921)	52.1	32.9	13.5	1.1	0.4	85.0	1.5	29
	包括的な支援体制の充実	(940)	57.2	29.6	11.6	1.4	0.2	86.8	1.6	22
	子育てサービスの充実	(838)	63.2	25.1	10.5	1.1	0.1	88.3	1.2	18
	保育と幼児教育の充実	(816)	60.8	25.5	12.6	0.9	0.2	86.3	1.1	23
	親と子の健康づくりの取組	(806)	56.6	29.5	12.8	1.1	0.0	86.1	1.1	24
	休日・夜間医療体制の充実	(1,017)	65.8	24.0	8.2	1.5	0.6	89.8	2.1	10
	市立病院の救急医療体制の充実	(1,010)	63.7	24.7	9.9	1.3	0.5	88.4	1.8	16
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(1,000)	55.6	28.9	13.6	1.2	0.7	84.5	1.9	33
	健康づくりの取組	(1,027)	51.0	33.0	13.9	1.2	0.9	84.0	2.1	35
	介護予防と認知症に対する取組	(988)	52.7	32.1	12.9	1.5	0.8	84.8	2.3	30
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(981)	31.5	35.3	23.8	6.2	3.3	66.8	9.5	70
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(982)	41.8	34.0	20.2	2.7	1.3	75.8	4.0	47
	平和についての啓発の推進	(964)	37.1	30.3	26.7	4.0	1.9	67.4	5.9	68
輝き政策　平均値			53.5	30.5	13.5	1.8	0.7	84.0	2.5	②
成長政策	こどもたちが自ら課題に取り組む	(780)	55.1	30.3	13.7	0.8	0.1	85.4	0.9	26
	教育支援体制の充実	(776)	54.8	30.0	14.3	0.8	0.1	84.8	0.9	30
	安全な教育環境の整備	(793)	58.5	26.6	13.9	1.0	0.0	85.1	1.0	28
	こどもたちが安心して共に学べる取組	(773)	51.2	29.4	18.0	1.3	0.1	80.6	1.4	38
	社会教育の取組	(810)	36.0	39.4	22.1	2.0	0.5	75.4	2.5	49
	家庭・地域・学校の協働の推進	(803)	40.2	35.7	21.7	1.9	0.5	75.9	2.4	45
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(821)	36.4	40.1	21.2	1.8	0.5	76.5	2.3	44
	青少年の健全育成の取組	(778)	35.3	36.0	24.0	4.1	0.5	71.3	4.6	66
	文化芸術に親しむ機会の提供	(994)	23.3	41.6	27.4	5.5	2.1	64.9	7.6	73
	郷土文化の継承と発展の取組	(969)	21.2	36.6	33.8	6.5	1.9	57.8	8.4	75
	あつぎ郷土博物館の取組	(927)	17.9	35.6	37.0	6.8	2.7	53.5	9.5	77
	運動・スポーツ活動の機会提供	(989)	30.9	43.4	20.3	4.4	0.9	74.3	5.3	53
	競技力を向上するための取組	(948)	23.4	41.9	27.5	4.9	2.3	65.3	7.2	72
	スポーツ施設の充実	(972)	30.6	41.6	22.3	3.8	1.7	72.2	5.5	58
成長政策　平均値			36.8	36.3	22.7	3.3	1.0	73.1	4.3	⑥

図表７　重要度（基本政策別・項目別一覧表）2/2

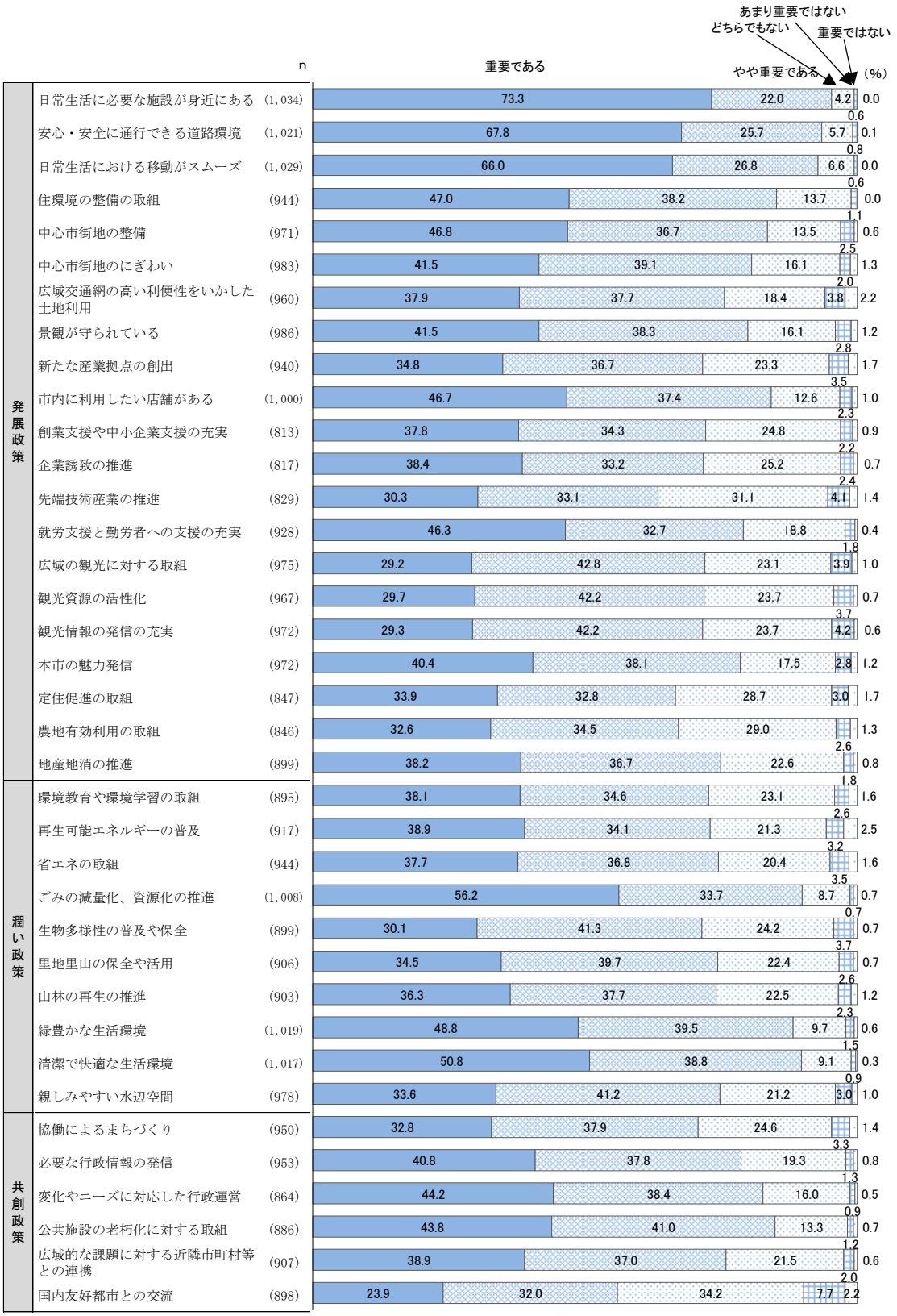
基本政策	項目	n	重要である（A）	やや重要である（B）	どちらでもない（C）	あまり重要ではない（D）	重要ではない（E）	重要視している ※1（A＋B）	重要視していない ※2（D＋E）	重要度順位 ※3
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(1,034)	73.3	22.0	4.2	0.6	0.0	95.3	0.6	2
	安心・安全に通行できる道路環境	(1,021)	67.8	25.7	5.7	0.8	0.1	93.5	0.9	3
	日常生活における移動がスムーズ	(1,029)	66.0	26.8	6.6	0.6	0.0	92.8	0.6	4
	住環境の整備の取組	(944)	47.0	38.2	13.7	1.1	0.0	85.2	1.1	27
	中心市街地の整備	(971)	46.8	36.7	13.5	2.5	0.6	83.5	3.1	36
	中心市街地のにぎわい	(983)	41.5	39.1	16.1	2.0	1.3	80.6	3.3	38
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(960)	37.9	37.7	18.4	3.8	2.2	75.6	6.0	48
	景観が守られている	(986)	41.5	38.3	16.1	2.8	1.2	79.8	4.0	40
	新たな産業拠点の創出	(940)	34.8	36.7	23.3	3.5	1.7	71.5	5.2	63
	市内に利用したい店舗がある	(1,000)	46.7	37.4	12.6	2.3	1.0	84.1	3.3	34
	創業支援や中小企業支援の充実	(813)	37.8	34.3	24.8	2.2	0.9	72.1	3.1	59
	企業誘致の推進	(817)	38.4	33.2	25.2	2.4	0.7	71.6	3.1	62
	先端技術産業の推進	(829)	30.3	33.1	31.1	4.1	1.4	63.4	5.5	74
	就労支援と勤労者への支援の充実	(928)	46.3	32.7	18.8	1.8	0.4	79.0	2.2	41
	広域の観光に対する取組	(975)	29.2	42.8	23.1	3.9	1.0	72.0	4.9	60
	観光資源の活性化	(967)	29.7	42.2	23.7	3.7	0.7	71.9	4.4	61
	観光情報の発信の充実	(972)	29.3	42.2	23.7	4.2	0.6	71.5	4.8	63
	本市の魅力発信	(972)	40.4	38.1	17.5	2.8	1.2	78.5	4.0	43
	定住促進の取組	(847)	33.9	32.8	28.7	3.0	1.7	66.7	4.7	71
	農地有効利用の取組	(846)	32.6	34.5	29.0	2.6	1.3	67.1	3.9	69
	地産地消の推進	(899)	38.2	36.7	22.6	1.8	0.8	74.9	2.6	50
発展政策　平均値			42.4	35.3	19.0	2.5	0.9	77.7	3.4	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(895)	38.1	34.6	23.1	2.6	1.6	72.7	4.2	57
	再生可能エネルギーの普及	(917)	38.9	34.1	21.3	3.2	2.5	73.0	5.7	56
	省エネの取組	(944)	37.7	36.8	20.4	3.5	1.6	74.5	5.1	52
	ごみの減量化、資源化の推進	(1,008)	56.2	33.7	8.7	0.7	0.7	89.9	1.4	9
	生物多様性の普及や保全	(899)	30.1	41.3	24.2	3.7	0.7	71.4	4.4	65
	里地里山の保全や活用	(906)	34.5	39.7	22.4	2.6	0.7	74.2	3.3	54
	山林の再生の推進	(903)	36.3	37.7	22.5	2.3	1.2	74.0	3.5	55
	緑豊かな生活環境	(1,019)	48.8	39.5	9.7	1.5	0.6	88.3	2.1	18
	清潔で快適な生活環境	(1,017)	50.8	38.8	9.1	0.9	0.3	89.6	1.2	12
	親しみやすい水辺空間	(978)	33.6	41.2	21.2	3.0	1.0	74.8	4.0	51
潤い政策　平均値			40.5	37.7	18.3	2.4	1.1	78.2	3.5	③
共創政策	協働によるまちづくり	(950)	32.8	37.9	24.6	3.3	1.4	70.7	4.7	67
	必要な行政情報の発信	(953)	40.8	37.8	19.3	1.3	0.8	78.6	2.1	42
	変化やニーズに対応した行政運営	(864)	44.2	38.4	16.0	0.9	0.5	82.6	1.4	37
	公共施設の老朽化に対する取組	(886)	43.8	41.0	13.3	1.2	0.7	84.8	1.9	30
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(907)	38.9	37.0	21.5	2.0	0.6	75.9	2.6	45
	国内友好都市との交流	(898)	23.9	32.0	34.2	7.7	2.2	55.9	9.9	76
共創政策　平均値			37.4	37.4	21.5	2.7	1.0	74.8	3.7	⑤
平均値			45.6	33.9	17.3	2.3	0.8	79.5	3.2	－

（※１）「重要視している人の割合」は、「重要である」と「やや重要である」の合計を示す。
（※２）「重要視していない人の割合」は、「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計を示す。
（※３）「重要度順位」は、「重要視している人の割合」の大きい順に第１位～第77位の順位を示す。
　　なお、 網かけは、「重要度順位」の上位５位までの項目を示す。

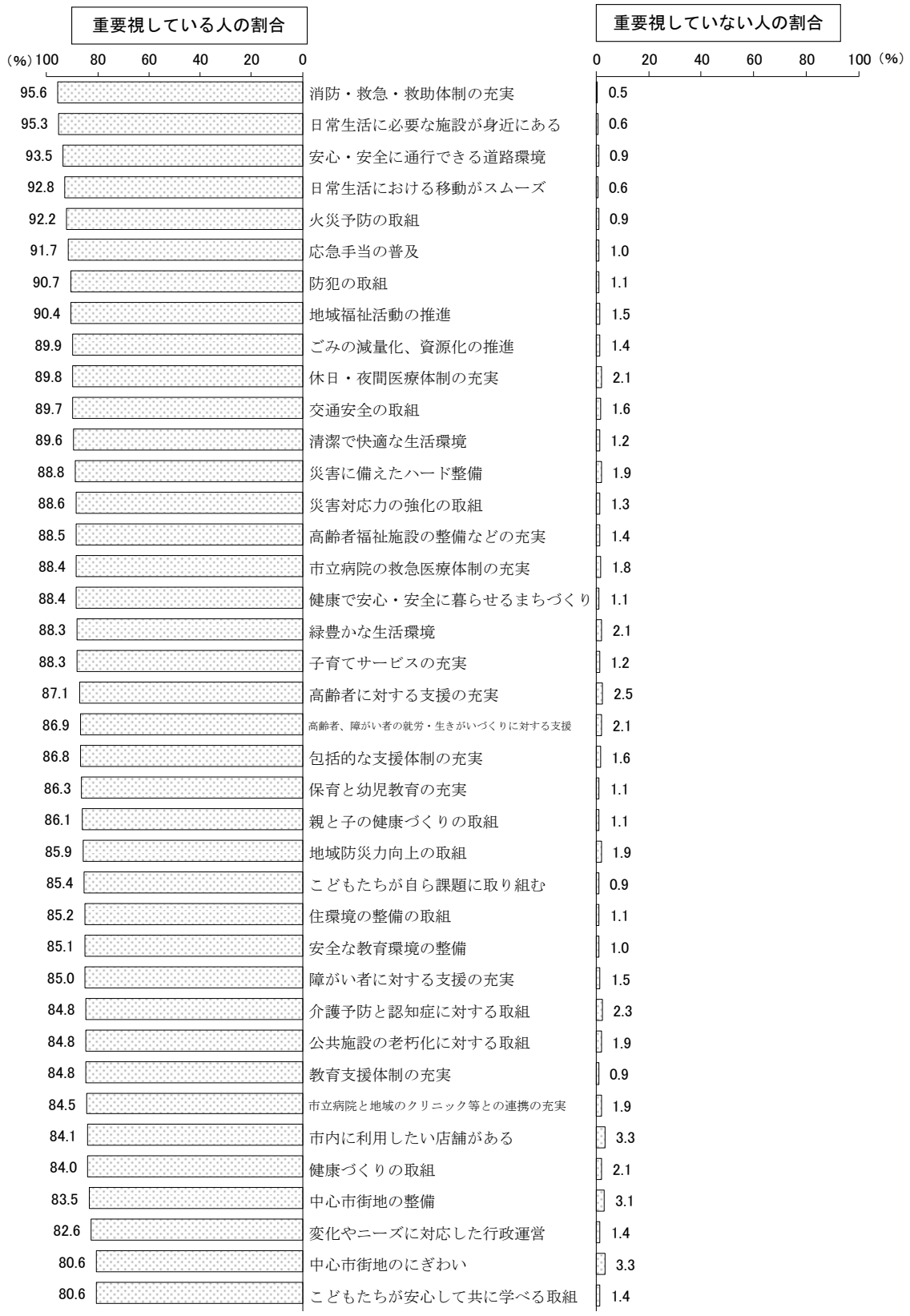
図表８　重要度（グラフ）1/2



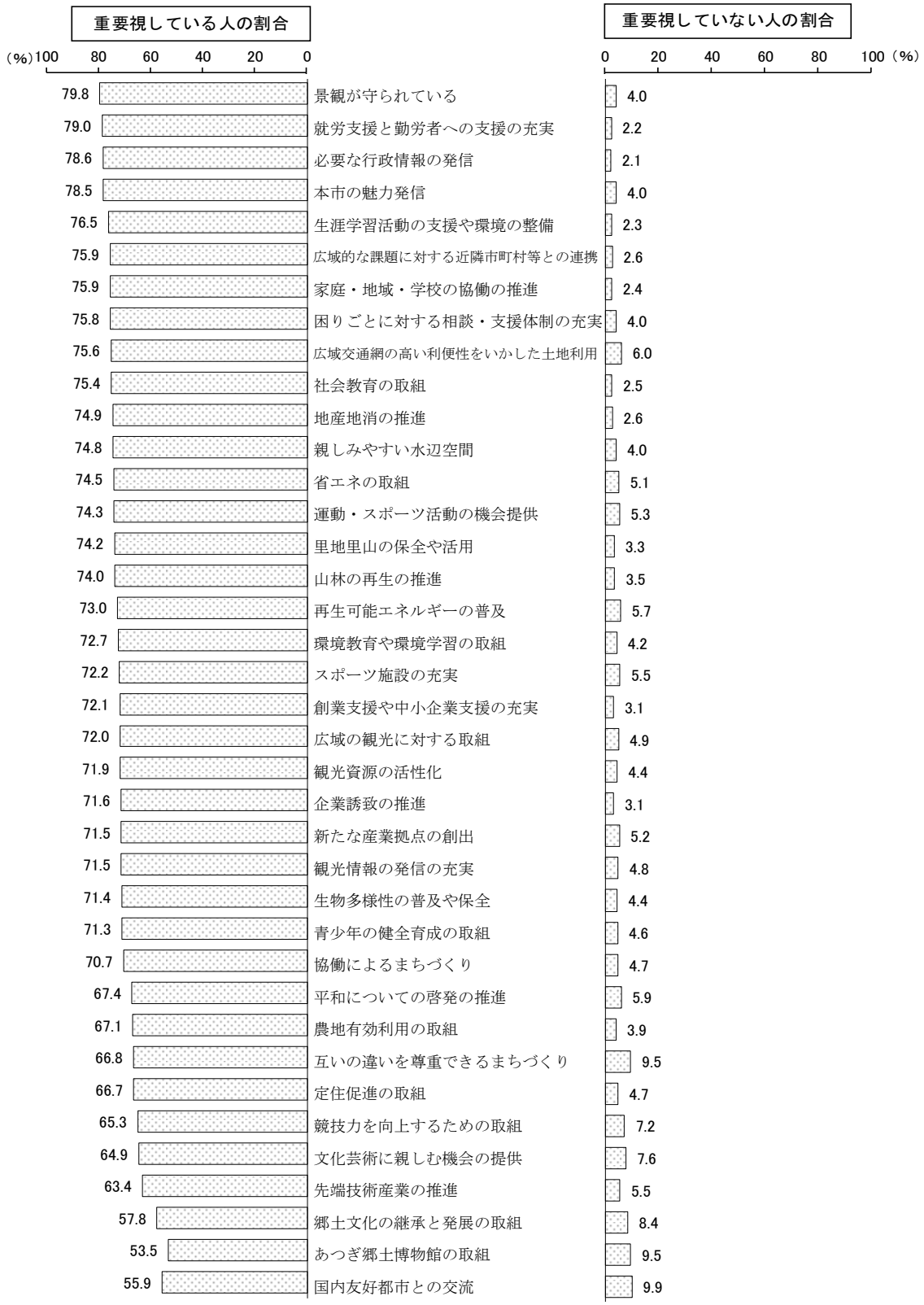
図表８　重要度（グラフ）2/2



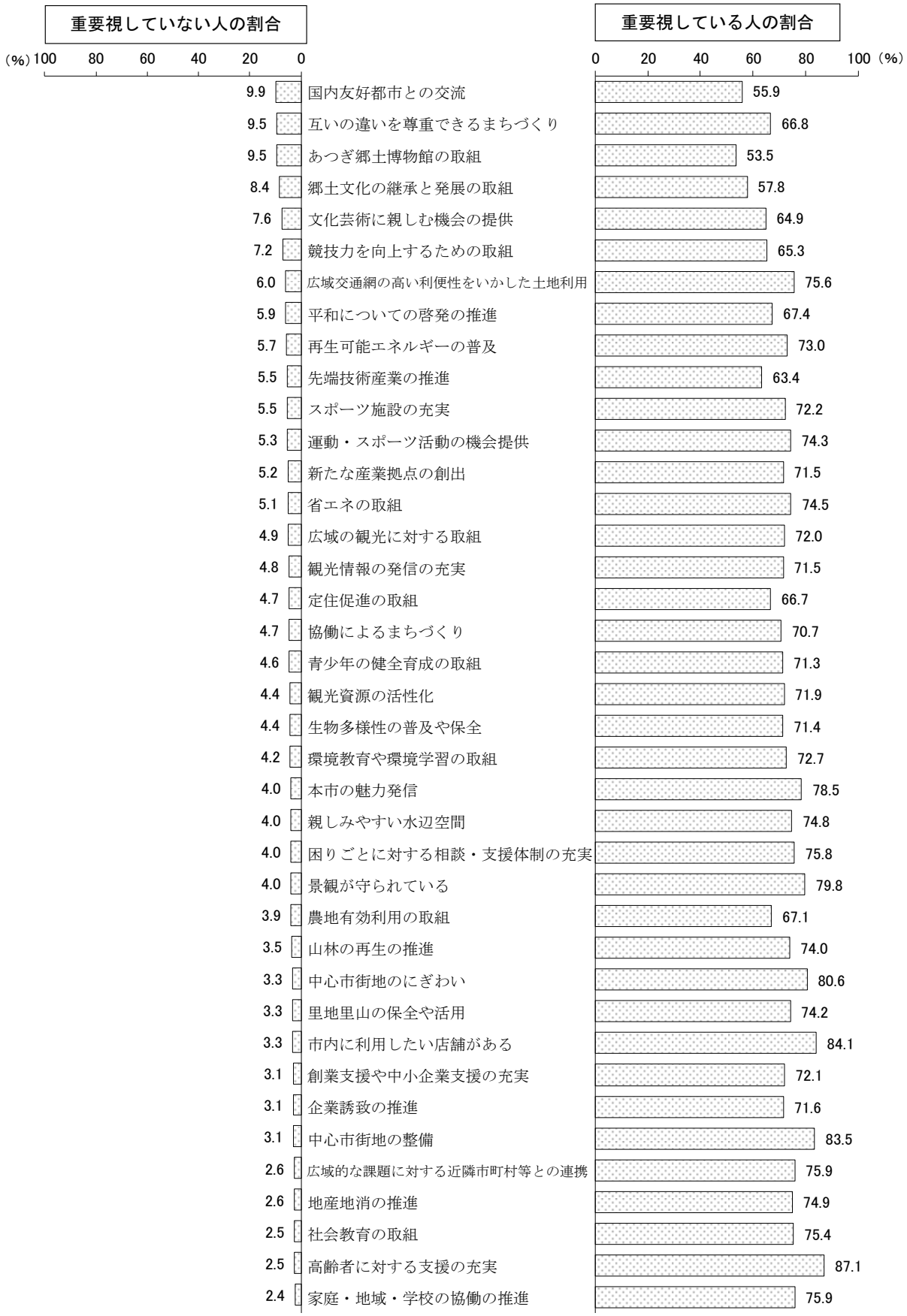
図表９　重要度（重要視している人の割合が高い順）1/2



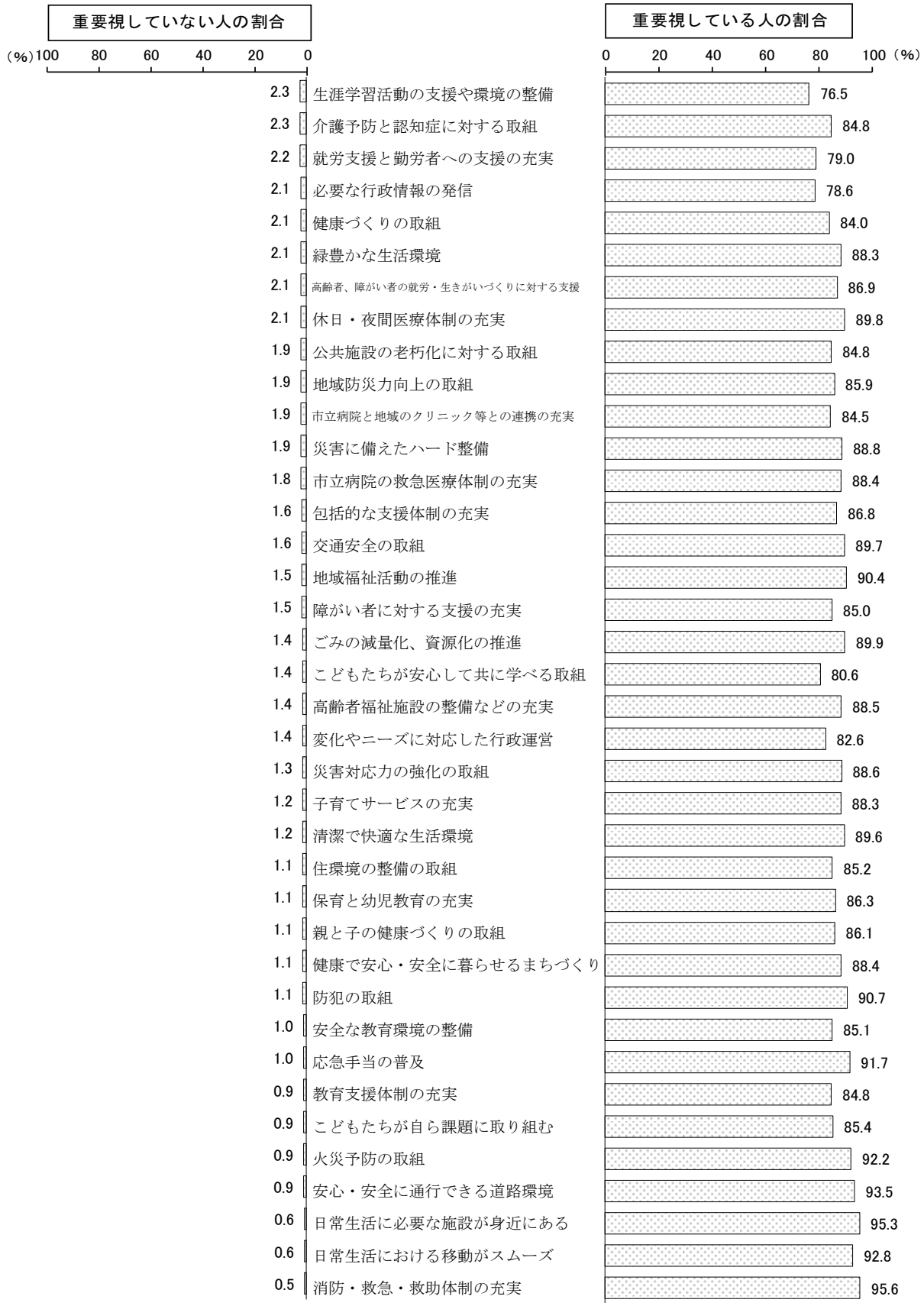
図表９　重要度（重要視している人の割合が高い順）2/2



図表 10　重要度（重要視していない人の割合が高い順）1/2



図表 10　重要度（重要視していない人の割合が高い順）2/2



図表 11　重要度（基本政策別・無回答者の割合）1/2

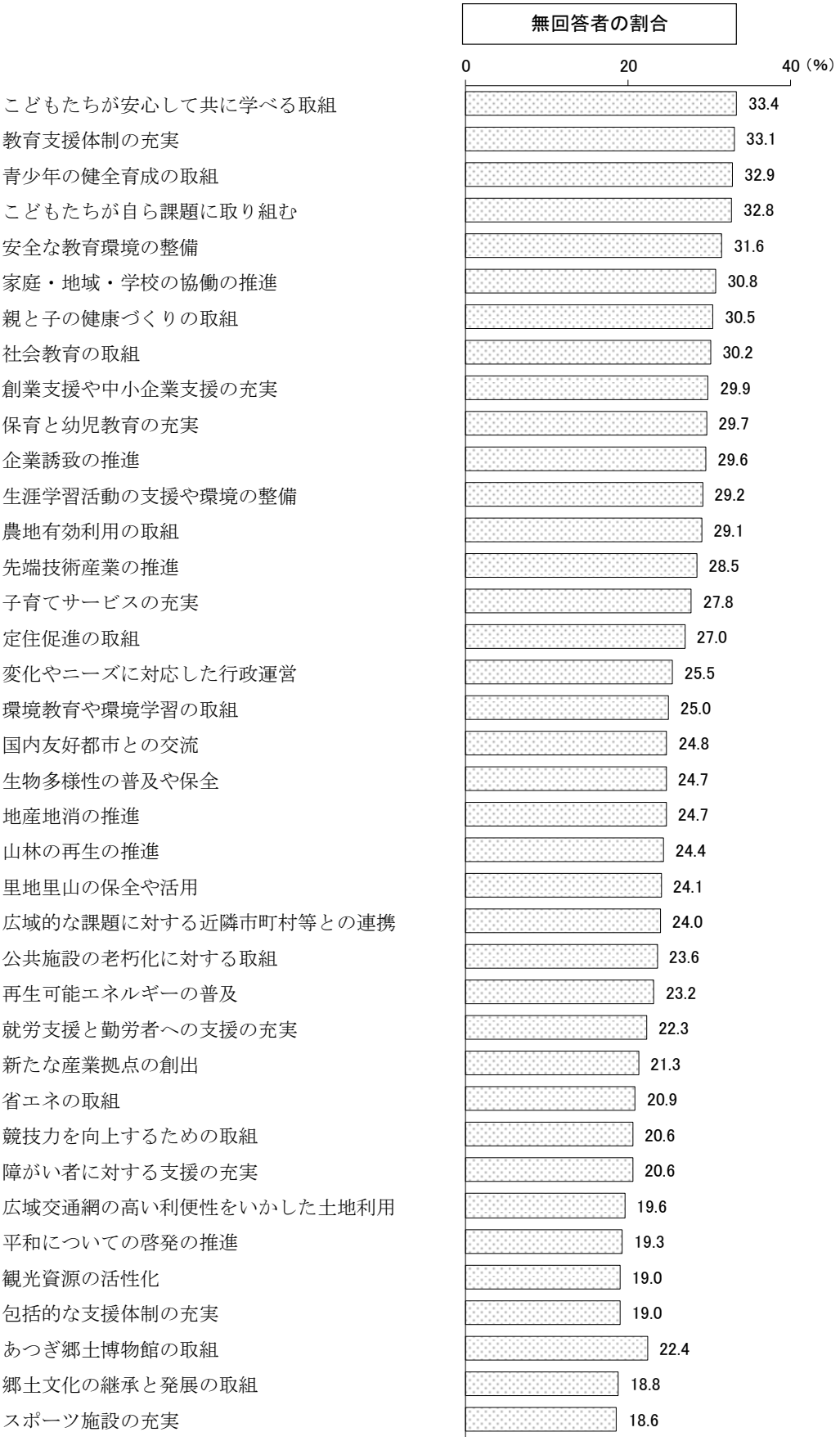
基本政策	項　目	回答者数 n （人） （A）	無回答者数 （人） （B）	合計 （人） （A＋B）	無回答者の割合 ※1 （%）	無回答順位 ※2
安心政策	災害に備えたハード整備	1,013	181	1,194	15.2	61
	災害対応力の強化の取組	1,037	157	1,194	13.1	71
	地域防災力向上の取組	1,015	179	1,194	15.0	63
	消防・救急・救助体制の充実	1,007	153	1,160	13.2	70
	応急手当の普及	974	186	1,160	16.0	56
	火災予防の取組	985	175	1,160	15.1	62
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	1,009	185	1,194	15.5	58
	交通安全の取組	1,017	177	1,194	14.8	65
	防犯の取組	1,025	169	1,194	14.2	67
安心政策　平均値		1,009	174	1,183	14.7	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進	986	174	1,160	15.0	63
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	964	196	1,160	16.9	51
	高齢者福祉施設の整備などの充実	952	208	1,160	17.9	43
	高齢者に対する支援の充実	959	201	1,160	17.3	48
	障がい者に対する支援の充実	921	239	1,160	20.6	31
	包括的な支援体制の充実	940	220	1,160	19.0	35
	子育てサービスの充実	838	322	1,160	27.8	15
	保育と幼児教育の充実	816	344	1,160	29.7	10
	親と子の健康づくりの取組	806	354	1,160	30.5	7
	休日・夜間医療体制の充実	1,017	177	1,194	14.8	65
	市立病院の救急医療体制の充実	1,010	184	1,194	15.4	59
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	1,000	194	1,194	16.2	54
	健康づくりの取組	1,027	167	1,194	14.0	68
	介護予防と認知症に対する取組	988	206	1,194	17.3	48
	互いの違いを尊重できるまちづくり	981	213	1,194	17.8	44
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	982	212	1,194	17.8	44
	平和についての啓発の推進	964	230	1,194	19.3	34
輝き政策　平均値		950	226	1,176	19.2	⑤
成長政策	こどもたちが自ら課題に取り組む	780	380	1,160	32.8	4
	教育支援体制の充実	776	384	1,160	33.1	2
	安全な教育環境の整備	793	367	1,160	31.6	5
	こどもたちが安心して共に学べる取組	773	387	1,160	33.4	1
	社会教育の取組	810	350	1,160	30.2	8
	家庭・地域・学校の協働の推進	803	357	1,160	30.8	6
	生涯学習活動の支援や環境の整備	821	339	1,160	29.2	12
	青少年の健全育成の取組	778	382	1,160	32.9	3
	文化芸術に親しむ機会の提供	994	200	1,194	16.8	52
	郷土文化の継承と発展の取組	969	225	1,194	18.8	37
	あつぎ郷土博物館の取組	927	267	1,194	22.4	27
	運動・スポーツ活動の機会提供	989	205	1,194	17.2	50
	競技力を向上するための取組	948	246	1,194	20.6	31
	スポーツ施設の充実	972	222	1,194	18.6	38
成長政策　平均値		867	308	1,175	26.2	①

図表 11　重要度（基本政策別・無回答者の割合）2/2

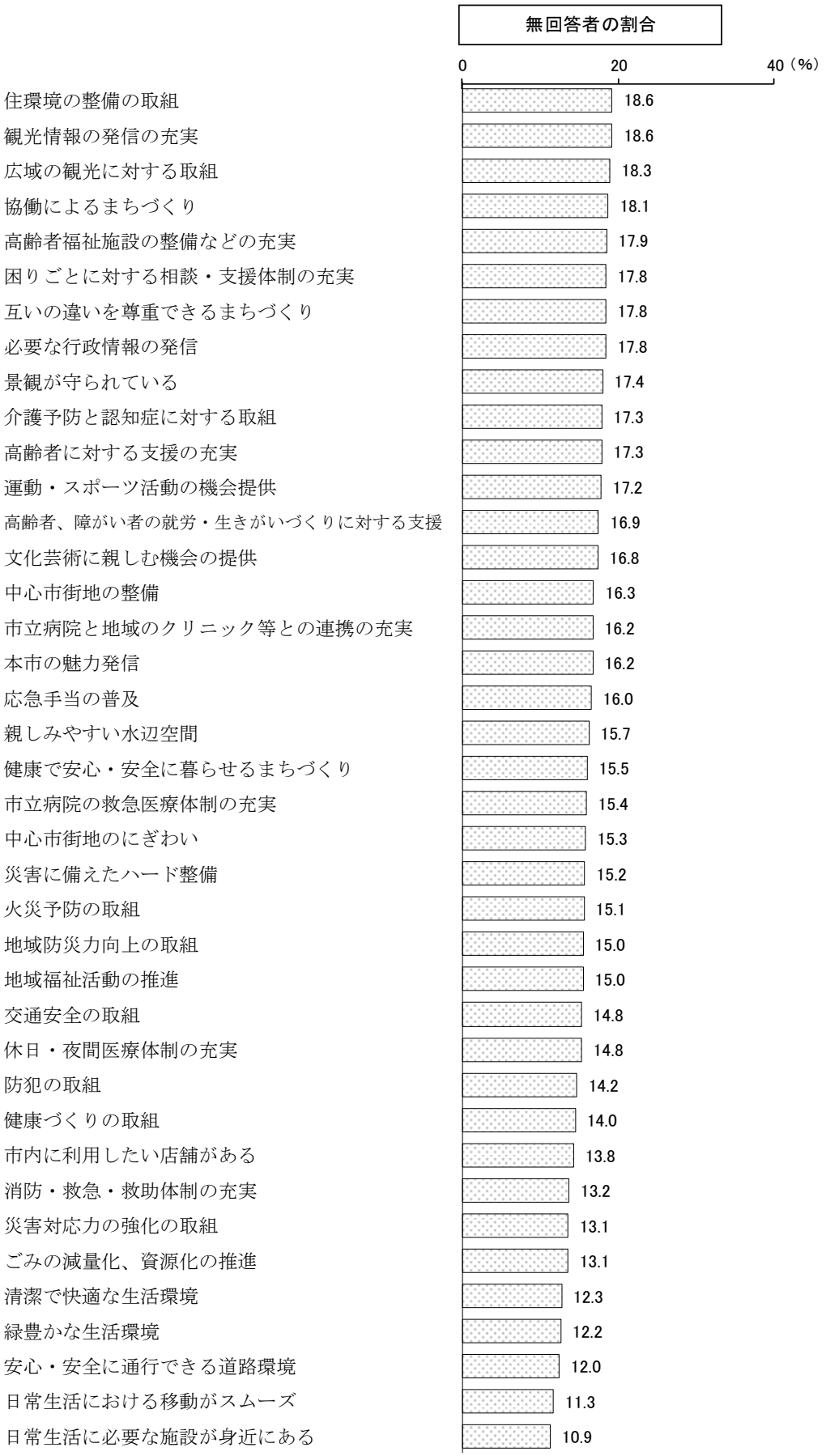
基本政策	項　目	回答者数 n（人）（A）	無回答者数（人）（B）	合計（人）（A＋B）	無回答者の割合 ※1（%）	無回答順位 ※2
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	1,034	126	1,160	10.9	77
	安心・安全に通行できる道路環境	1,021	139	1,160	12.0	75
	日常生活における移動がスムーズ	1,029	131	1,160	11.3	76
	住環境の整備の取組	944	216	1,160	18.6	38
	中心市街地の整備	971	189	1,160	16.3	53
	中心市街地のにぎわい	983	177	1,160	15.3	60
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	960	234	1,194	19.6	33
	景観が守られている	986	208	1,194	17.4	47
	新たな産業拠点の創出	940	254	1,194	21.3	29
	市内に利用したい店舗がある	1,000	160	1,160	13.8	69
	創業支援や中小企業支援の充実	813	347	1,160	29.9	9
	企業誘致の推進	817	343	1,160	29.6	11
	先端技術産業の推進	829	331	1,160	28.5	14
	就労支援と勤労者への支援の充実	928	266	1,194	22.3	28
	広域の観光に対する取組	975	219	1,194	18.3	41
	観光資源の活性化	967	227	1,194	19.0	35
	観光情報の発信の充実	972	222	1,194	18.6	38
	本市の魅力発信	972	188	1,160	16.2	54
	定住促進の取組	847	313	1,160	27.0	16
	農地有効利用の取組	846	348	1,194	29.1	13
	地産地消の推進	899	295	1,194	24.7	20
発展政策　平均値		940	235	1,175	20.0	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	895	299	1,194	25.0	18
	再生可能エネルギーの普及	917	277	1,194	23.2	26
	省エネの取組	944	250	1,194	20.9	30
	ごみの減量化、資源化の推進	1,008	152	1,160	13.1	71
	生物多様性の普及や保全	899	295	1,194	24.7	20
	里地里山の保全や活用	906	288	1,194	24.1	23
	山林の再生の推進	903	291	1,194	24.4	22
	緑豊かな生活環境	1,019	141	1,160	12.2	74
	清潔で快適な生活環境	1,017	143	1,160	12.3	73
	親しみやすい水辺空間	978	182	1,160	15.7	57
潤い政策　平均値		949	232	1,180	19.6	③
共創政策	協働によるまちづくり	950	210	1,160	18.1	42
	必要な行政情報の発信	953	207	1,160	17.8	44
	変化やニーズに対応した行政運営	864	296	1,160	25.5	17
	公共施設の老朽化に対する取組	886	274	1,160	23.6	25
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	907	287	1,194	24.0	24
	国内友好都市との交流	898	296	1,194	24.8	19
共創政策　平均値		910	262	1,171	22.3	②
平均値		936	241	1,176	20.5	－

（※１）「無回答者の割合」は、「合計」に対する「無回答者数」の割合を示す。
（※２）「無回答順位」は、「無回答者の割合」の大きい順に第１位～第77位の順位を示す。
　　なお、 網かけは、「無回答順位」の上位５位までの項目を示す。

図表 12　重要度（無回答者の割合が高い順）1/2



図表 12　重要度（無回答者の割合が高い順）2/2



（３）実感度と重要度の関係

ア　各分類の意味づけ

実感度と重要度の関係を分析するため、77 項目の実感度と重要度をスコア化し、それらを基に各項目をⅠからⅣに分類する。（図表 13）

分類	実感度	重要度
Ⅰ	高い	高い
Ⅱ	低い	高い
Ⅲ	高い	低い
Ⅳ	低い	低い

（ア）分類Ⅰ　（重点維持項目）

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズに即した取組ができていると考えられる。現在の水準を維持しつつ、引き続き重点的に取り組む必要がある。

（イ）分類Ⅱ　（重点改善項目）

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度が高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズがあるにもかかわらず、その期待に応えられていない取組であると考えられる。取組の必要性が認識されているものの、取組の向上や改善に対する市民ニーズが高い項目とも言え、市民ニーズを的確に捉え、重点的に改善を図っていく必要がある。

（ウ）分類Ⅲ　（維持項目）

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度が低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、必要性の認識は低いものの、成果は実感している取組であると考えられる。着実に取組を進めるとともに、取組の重要性の認識を深めていただく必要がある。また、市民ニーズを上回る行政サービスを提供している可能性についても検証する必要がある。

（エ）分類Ⅳ　（改善項目）

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度も低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、取組の向上や改善に対する一定のニーズはあるものの、その必要性の認識は低い取組であると考えられる。取組の重要性を更に認知していただくとともに、取組の方向性の改善を検討する必要がある。

また、市民の関心度が低い取組であることから、取組によっては行政で対応すべきかを検証する必要がある。

イ　スコア化の方法

スコア化に当たっては、平均する各項目の条件の差異を考慮に入れ、対応する重み(大小)をつけてから平均する加重平均により、次のとおり計算を行う。

■項目のスコア化

$$\text{実感度} = \frac{\text{「そう思う」}\times 2\text{点}+\text{「ややそう思う」}\times 1\text{点}+\text{「どちらでもない」}\times 0\text{点}+\text{「あまりそう思わない」}\times(-1\text{点})+\text{「そう思わない」}\times(-2\text{点})}{\text{回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要」}\times 2\text{点}+\text{「やや重要」}\times 1\text{点}+\text{「どちらでもない」}\times 0\text{点}+\text{「あまり重要ではない」}\times(-1\text{点})+\text{「重要ではない」}\times(-2\text{点})}{\text{回答者数}}$$

(例)「災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる」の実感度に関して、この設問の回答者数は 1,043 人で、そのうち、「そう思う」が 100 人、「ややそう思う」が 366 人、「どちらでもない」が 356 人、「あまりそう思わない」が 188 人、「そう思わない」が 33 人であったことから、

計算式は、

$$\frac{(100\text{人}\times 2\text{点})+(366\text{人}\times 1\text{点})+(356\text{人}\times 0\text{点})+(188\text{人}\times(-1\text{点}))+(33\text{人}\times(-2\text{点}))}{1{,}043\text{人}}$$

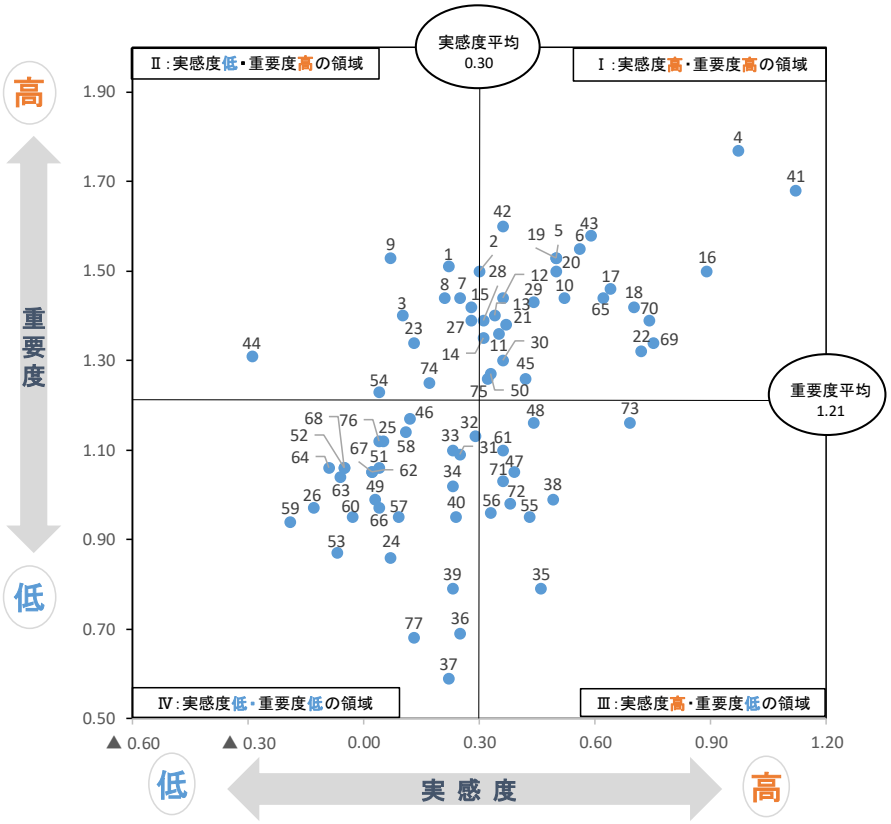
≒0.30 となり、「災害対応力の強化の取組」の実感度のスコアは、0.30 となる。

■各施策の分類

・上記の方法で算出したスコアを基に、実感度のスコアを横軸、重要度のスコアを縦軸として分布図を作成し、各項目を分類した。(図表 13)

・2 本の補助軸は、実感度及び重要度の全項目の平均値を示したものである。

図表 13　各項目のスコア化による分類 1/2



分類	番号	項目	実感度	重要度
Ⅰ 実感度:高い 重要度:高い (28項目)	2	災害対応力の強化の取組	0.30	1.50
	4	消防・救急・救助体制の充実	0.97	1.77
	5	応急手当の普及	0.50	1.53
	6	火災予防の取組	0.56	1.55
	10	地域福祉活動の推進	0.52	1.44
	11	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	0.35	1.36
	12	高齢者福祉施設の整備などの充実	0.36	1.44
	13	高齢者に対する支援の充実	0.34	1.40
	14	障がい者に対する支援の充実	0.31	1.35
	16	子育てサービスの充実	0.89	1.50
	17	保育と幼児教育の充実	0.64	1.46
	18	親と子の健康づくりの取組	0.70	1.42
	19	休日・夜間医療体制の充実	0.50	1.53
	20	市立病院の救急医療体制の充実	0.50	1.50
	21	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	0.37	1.38
	22	健康づくりの取組	0.72	1.32
	28	教育支援体制の充実	0.31	1.39
	29	安全な教育環境の整備	0.44	1.43
	30	こどもたちが安心して共に学べる取組	0.36	1.30
	41	日常生活に必要な施設が身近にある	1.12	1.68
	42	安心・安全に通行できる道路環境	0.36	1.60
	43	日常生活における移動がスムーズ	0.59	1.58
	45	中心市街地の整備	0.42	1.26
	50	市内に利用したい店舗がある	0.33	1.27
	65	ごみの減量化、資源化の推進	0.62	1.44
	69	緑豊かな生活環境	0.75	1.34
	70	清潔で快適な生活環境	0.74	1.39
	75	公共施設の老朽化に対する取組	0.32	1.26

図表 13　各項目のスコア化による分類 2/2

分類	番号	項目	実感度	重要度
Ⅱ 実感度：低い 重要度：高い （11項目）	1	災害に備えたハード整備	0.22	1.51
	3	地域防災力向上の取組	0.10	1.40
	7	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	0.25	1.44
	8	交通安全の取組	0.21	1.44
	9	防犯の取組	0.07	1.53
	15	包括的な支援体制の充実	0.28	1.42
	23	介護予防と認知症に対する取組	0.13	1.34
	27	こどもたちが自ら課題に取り組む	0.28	1.39
	44	住環境の整備の取組	▲ 0.29	1.31
	54	就労支援と勤労者への支援の充実	0.04	1.23
	74	変化やニーズに対応した行政運営	0.17	1.25
Ⅲ 実感度：高い 重要度：低い （10項目）	35	文化芸術に親しむ機会の提供	0.46	0.79
	38	運動・スポーツ活動の機会提供	0.49	0.99
	47	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	0.39	1.05
	48	景観が守られている	0.44	1.16
	55	広域の観光に対する取組	0.43	0.95
	56	観光資源の活性化	0.33	0.96
	61	地産地消の推進	0.36	1.10
	71	親しみやすい水辺空間	0.36	1.03
	72	協働によるまちづくり	0.38	0.98
	73	必要な行政情報の発信	0.69	1.16
Ⅳ 実感度：低い 重要度：低い （28項目）	24	互いの違いを尊重できるまちづくり	0.07	0.86
	25	困りごとに対する相談・支援体制の充実	0.05	1.12
	26	平和についての啓発の推進	▲ 0.13	0.97
	31	社会教育の取組	0.25	1.09
	32	家庭・地域・学校の協働の推進	0.29	1.13
	33	生涯学習活動の支援や環境の整備	0.23	1.10
	34	青少年の健全育成の取組	0.23	1.02
	36	郷土文化の継承と発展の取組	0.25	0.69
	37	あつぎ郷土博物館の取組	0.22	0.59
	39	競技力を向上するための取組	0.23	0.79
	40	スポーツ施設の充実	0.24	0.95
	46	中心市街地のにぎわい	0.12	1.17
	49	新たな産業拠点の創出	0.03	0.99
	51	創業支援や中小企業支援の充実	0.04	1.06
	52	企業誘致の推進	▲ 0.05	1.06
	53	先端技術産業の推進	▲ 0.07	0.87
	57	観光情報の発信の充実	0.09	0.95
	58	本市の魅力発信	0.11	1.14
	59	定住促進の取組	▲ 0.19	0.94
	60	農地有効利用の取組	▲ 0.03	0.95
	62	環境教育や環境学習の取組	0.02	1.05
	63	再生可能エネルギーの普及	▲ 0.06	1.04
	64	省エネの取組	▲ 0.09	1.06
	66	生物多様性の普及や保全	0.04	0.97
	67	里地里山の保全や活用	0.02	1.05
	68	山林の再生の推進	▲ 0.05	1.06
	76	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	0.04	1.12
	77	国内友好都市との交流	0.13	0.68
平均値			0.30	1.21

（４）項目別ニーズ得点

今後重点的な取組が必要と思われる項目を抽出するため、77 項目についてニーズ得点を求める。（図表 14）

重要度が高く、実感度が低くなるほど高得点となることから得点の高い項目ほど、その施策に対する市民ニーズが相対的に高いと考えることができる。

項目別のニーズ得点は、次のとおりである。

・ニーズ得点＝各項目の【重要度（加重平均）】×（３－【実感度（加重平均）】）
・なお、（３－【実感度（加重平均）】）は実感していない度合を意味し、ニーズ得点の範囲は－10～10 点となる。
・例：「災害に備えたハード整備」のニーズ得点＝1.51×（３－0.22）≒4.20

図表 14　ニーズ得点 1/2

基本政策	項　目	令和7年度		令和6年度		前年度比較（A－B）
		ニーズ得点（A）	順位	ニーズ得点（B）	順位	
安心政策	災害に備えたハード整備	4.20	4	4.76	2	▲ 0.56
	災害対応力の強化の取組	4.05	6	4.52	4	▲ 0.47
	地域防災力向上の取組	4.06	5	4.56	3	▲ 0.50
	消防・救急・救助体制の充実	3.59	25	3.68	21	▲ 0.09
	応急手当の普及	3.83	11	3.89	13	▲ 0.06
	火災予防の取組	3.78	15	3.75	17	0.03
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	3.96	8	4.14	7	▲ 0.18
	交通安全の取組	4.02	7	4.26	6	▲ 0.24
	防犯の取組	4.48	1	4.83	1	▲ 0.35
輝き政策	地域福祉活動の推進	3.57	26	3.61	23	▲ 0.04
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	3.60	24	3.74	19	▲ 0.14
	高齢者福祉施設の整備などの充実	3.80	14	3.71	20	0.09
	高齢者に対する支援の充実	3.72	19	3.59	26	0.13
	障がい者に対する支援の充実	3.63	22	3.75	17	▲ 0.12
	包括的な支援体制の充実	3.86	9	3.96	12	▲ 0.10
	子育てサービスの充実	3.17	43	3.10	51	0.07
	保育と幼児教育の充実	3.45	28	3.37	35	0.08
	親と子の健康づくりの取組	3.27	38	3.21	42	0.06
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	3.63	22	4.10	9	▲ 0.47
	休日・夜間医療体制の充実	3.83	11	4.01	11	▲ 0.18
	市立病院の救急医療体制の充実	3.75	17	3.87	14	▲ 0.12
	健康づくりの取組	3.01	53	3.11	49	▲ 0.10
	介護予防と認知症に対する取組	3.85	10	4.13	8	▲ 0.28
	互いの違いを尊重できるまちづくり	2.52	70	2.59	68	▲ 0.07
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	3.30	35	3.55	27	▲ 0.25
	平和についての啓発の推進	3.04	51	3.19	43	▲ 0.15

図表 14　ニーズ得点 2/2

基本政策	項　目	令和7年度		令和6年度		前年度比較（A－B）
		ニーズ得点（A）	順位	ニーズ得点（B）	順位	
成長政策	こどもたちが自ら課題に取り組む	3.78	15	3.61	23	0.17
	教育支援体制の充実	3.74	18	3.60	25	0.14
	安全な教育環境の整備	3.66	20	3.66	22	0.00
	こどもたちが安心して共に学べる取組	3.43	29	3.37	35	0.06
	社会教育の取組	3.00	54	2.83	61	0.17
	家庭・地域・学校の協働の推進	3.06	49	2.98	58	0.08
	生涯学習活動の支援や環境の整備	3.05	50	3.03	54	0.02
	青少年の健全育成の取組	2.83	61	2.67	64	0.16
	文化芸術に親しむ機会の提供	2.01	74	1.92	76	0.09
	郷土文化の継承と発展の取組	1.90	76	1.99	75	▲ 0.09
	あつぎ郷土博物館の取組	1.90	76	1.51	77	0.39
	運動・スポーツ活動の機会提供	2.48	71	2.53	71	▲ 0.05
	競技力を向上するための取組	2.19	73	2.37	73	▲ 0.18
	スポーツ施設の充実	2.62	67	2.74	62	▲ 0.12
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	3.16	44	3.18	45	▲ 0.02
	安心・安全に通行できる道路環境	4.22	3	4.28	5	▲ 0.06
	日常生活における移動がスムーズ	3.81	13	3.86	15	▲ 0.05
	住環境の整備の取組	4.31	2	4.05	10	0.26
	中心市街地の整備	3.25	39	3.32	37	▲ 0.07
	中心市街地のにぎわい	3.37	33	3.28	40	0.09
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	2.74	63	2.94	59	▲ 0.20
	景観が守られている	2.97	56	3.16	47	▲ 0.19
	新たな産業拠点の創出	2.94	57	3.00	56	▲ 0.06
	市内に利用したい店舗がある	3.39	31	3.40	33	▲ 0.01
	創業支援や中小企業支援の充実	3.14	45	3.19	43	▲ 0.05
	企業誘致の推進	3.23	40	3.17	46	0.06
	先端技術産業の推進	2.67	66	2.63	66	0.04
	就労支援と勤労者への支援の充実	3.64	21	3.79	16	▲ 0.15
	広域の観光に対する取組	2.44	72	2.47	72	▲ 0.03
	観光資源の活性化	2.56	69	2.59	68	▲ 0.03
	観光情報の発信の充実	2.76	62	2.66	65	0.10
	本市の魅力発信	3.29	36	3.10	51	0.19
	定住促進の取組	3.00	54	2.94	59	0.06
	農地有効利用の取組	2.88	59	3.00	56	▲ 0.12
	地産地消の推進	2.90	58	3.12	48	▲ 0.22
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	3.13	47	3.31	39	▲ 0.18
	再生可能エネルギーの普及	3.18	42	3.42	32	▲ 0.24
	省エネの取組	3.28	37	3.32	37	▲ 0.04
	ごみの減量化、資源化の推進	3.43	29	3.52	30	▲ 0.09
	生物多様性の普及や保全	2.87	60	3.06	53	▲ 0.19
	里地里山の保全や活用	3.13	47	3.27	41	▲ 0.14
	山林の再生の推進	3.23	40	3.53	29	▲ 0.30
	緑豊かな生活環境	3.02	52	3.02	55	0.00
	清潔で快適な生活環境	3.14	45	3.11	49	0.03
	親しみやすい水辺空間	2.72	64	2.63	66	0.09
共創政策	協働によるまちづくり	2.57	68	2.55	70	0.02
	必要な行政情報の発信	2.68	65	2.71	63	▲ 0.03
	変化やニーズに対応した行政運営	3.54	27	3.55	27	▲ 0.01
	公共施設の老朽化に対する取組	3.38	32	3.38	34	0.00
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	3.32	34	3.43	31	▲ 0.11
	国内友好都市との交流	1.95	75	2.18	74	▲ 0.23

（注１）順位は、ニーズ得点の大きい順に第１位～第77位の順位を示す。
（注２）網かけは、令和７年度順位の上位５位までの項目を示す。

（５）前年度調査との比較

ア　実感度の比較（図表 15）

前年度調査と比較すると、77 項目中 61 項目において、実感している人の割合（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）が上昇し、16 項目が低下した。

（ア）前年度調査と比較し、実感している人の割合が上昇した主な項目

① 家庭・地域・学校の協働の推進（＋9.6 ポイント）
② 社会教育の取組（＋8.4 ポイント）
③ 景観が守られている（＋7.1 ポイント）
③ 変化やニーズに対応した行政運営（＋7.1 ポイント）
③ 公共施設の老朽化に対する取組（＋7.1 ポイント）

（イ）前年度調査と比較し、実感している人の割合が低下した主な項目

① 広域的な課題に対する近隣市町村等との連携（▲4.0 ポイント）
② 交通安全の取組（▲2.0 ポイント）
② 保育と幼児教育の充実（▲2.0 ポイント）
④ 運動・スポーツ活動の機会提供（▲1.9 ポイント）
⑤ 互いの違いを尊重できるまちづくり（▲1.8 ポイント）

図表 15　実感度（前年度との比較）1/2

基本政策	項　目	n	令和７年度 実感度(%)	令和６年度 実感度(%)	前年度比較	比較順位 ※1
安心政策	災害に備えたハード整備	(990)	41.4	39.4	2.0	34
	災害対応力の強化の取組	(1,043)	44.7	44.9	▲ 0.2	62
	地域防災力向上の取組	(1,008)	35.1	34.5	0.6	54
	消防・救急・救助体制の充実	(995)	74.2	69.8	4.4	15
	応急手当の普及	(923)	49.4	48.8	0.6	54
	火災予防の取組	(961)	55.0	53.0	2.0	34
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(1,027)	41.4	40.3	1.1	48
	交通安全の取組	(1,052)	41.0	43.0	▲ 2.0	75
	防犯の取組	(1,048)	33.8	34.6	▲ 0.8	65
安心政策　平均値			46.2	45.4	0.8	⑤
輝き政策	地域福祉活動の推進	(996)	55.0	50.7	4.3	16
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(948)	46.0	43.3	2.7	27
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(942)	45.1	44.7	0.4	58
	高齢者に対する支援の充実	(946)	45.5	46.9	▲ 1.4	69
	障がい者に対する支援の充実	(878)	40.3	36.7	3.6	21
	包括的な支援体制の充実	(901)	39.7	38.2	1.5	41
	子育てサービスの充実	(798)	68.6	69.9	▲ 1.3	68
	保育と幼児教育の充実	(758)	55.8	57.8	▲ 2.0	75
	親と子の健康づくりの取組	(736)	58.2	54.1	4.1	17
	休日・夜間医療体制の充実	(1,012)	56.3	55.0	1.3	43
	市立病院の救急医療体制の充実	(974)	51.3	50.7	0.6	54
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(968)	44.3	45.8	▲ 1.5	70
	健康づくりの取組	(1,059)	63.7	65.4	▲ 1.7	72
	介護予防と認知症に対する取組	(954)	34.0	34.2	▲ 0.2	62
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(960)	29.9	31.7	▲ 1.8	73
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(965)	30.2	31.2	▲ 1.0	67
	平和についての啓発の推進	(935)	20.5	18.1	2.4	30
輝き政策　平均値			46.1	45.6	0.5	⑥
成長政策	こどもたちが自ら課題に取り組む	(716)	36.1	33.1	3.0	26
	教育支援体制の充実	(686)	38.7	31.8	6.9	6
	安全な教育環境の整備	(717)	45.3	39.3	6.0	9
	こどもたちが安心して共に学べる取組	(691)	40.2	35.0	5.2	13
	社会教育の取組	(746)	36.9	28.5	8.4	2
	家庭・地域・学校の協働の推進	(742)	39.1	29.5	9.6	1
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(764)	36.8	30.8	6.0	9
	青少年の健全育成の取組	(730)	38.3	32.6	5.7	11
	文化芸術に親しむ機会の提供	(1,019)	52.9	49.2	3.7	20
	郷土文化の継承と発展の取組	(978)	40.3	39.0	1.3	43
	あつぎ郷土博物館の取組	(934)	37.9	37.2	0.7	53
	運動・スポーツ活動の機会提供	(1,004)	54.2	56.1	▲ 1.9	74
	競技力を向上するための取組	(938)	39.1	33.6	5.5	12
	スポーツ施設の充実	(996)	42.8	41.8	1.0	51
成長政策　平均値			41.3	37.0	4.3	①

図表 15　実感度（前年度との比較）2/2

基本政策	項　　目	n	令和７年度 実感度(%)	令和６年度 実感度(%)	前年度比較	比較順位 ※1
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(1,105)	80.6	78.5	2.1	33
	安心・安全に通行できる道路環境	(1,077)	51.8	48.3	3.5	22
	日常生活における移動がスムーズ	(1,091)	60.3	58.3	2.0	34
	住環境の整備の取組	(893)	18.0	16.9	1.1	48
	中心市街地の整備	(1,034)	53.4	48.6	4.8	14
	中心市街地のにぎわい	(1,056)	42.7	35.9	6.8	7
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(963)	51.0	48.5	2.5	29
	景観が守られている	(1,015)	55.0	47.9	7.1	3
	新たな産業拠点の創出	(938)	32.7	33.3	▲ 0.6	64
	市内に利用したい店舗がある	(1,056)	50.7	49.5	1.2	45
	創業支援や中小企業支援の充実	(771)	27.2	20.8	6.4	8
	企業誘致の推進	(774)	27.6	26.4	1.2	45
	先端技術産業の推進	(781)	28.3	25.2	3.1	24
	就労支援と勤労者への支援の充実	(913)	28.1	25.9	2.2	32
	広域の観光に対する取組	(981)	50.5	48.2	2.3	31
	観光資源の活性化	(976)	44.7	44.2	0.5	57
	観光情報の発信の充実	(981)	35.3	33.4	1.9	37
	本市の魅力発信	(1,003)	40.5	37.4	3.1	24
	定住促進の取組	(796)	21.1	19.5	1.6	39
	農地有効利用の取組	(806)	24.3	25.9	▲ 1.6	71
	地産地消の推進	(892)	47.0	46.7	0.3	60
発展政策　平均値			41.5	39.0	2.5	③
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(851)	26.5	27.4	▲ 0.9	66
	再生可能エネルギーの普及	(885)	25.8	25.4	0.4	58
	省エネの取組	(930)	27.4	26.0	1.4	42
	ごみの減量化、資源化の推進	(1,037)	59.5	55.5	4.0	18
	生物多様性の普及や保全	(848)	29.0	26.4	2.6	28
	里地里山の保全や活用	(861)	28.7	27.8	0.9	52
	山林の再生の推進	(847)	24.4	22.8	1.6	39
	緑豊かな生活環境	(1,090)	66.9	65.1	1.8	38
	清潔で快適な生活環境	(1,078)	66.0	62.8	3.2	23
	親しみやすい水辺空間	(1,014)	48.5	47.4	1.1	48
潤い政策　平均値			40.3	38.7	1.6	④
共創政策	協働によるまちづくり	(980)	47.1	43.3	3.8	19
	必要な行政情報の発信	(998)	62.0	60.8	1.2	45
	変化やニーズに対応した行政運営	(862)	36.5	29.4	7.1	3
	公共施設の老朽化に対する取組	(874)	45.3	38.2	7.1	3
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(873)	29.2	33.2	▲ 4.0	77
	国内友好都市との交流	(872)	33.4	33.1	0.3	60
共創政策　平均値			42.3	39.7	2.6	②
平均値			42.9	40.8	2.1	－

（※１）「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第１位～第77位の順位を示す。
なお、 網かけは、「比較順位」の上位５位までの項目を示す。

イ　重要度の比較（図表 16）

前年度調査と比較すると、77 項目中 31 項目において、重要視している人の割合（「重要である」と「やや重要である」の合計）が上昇し、2 項目が横ばい、44 項目が低下した。

（ア）前年度調査と比較し、重要視している人の割合が上昇した主な項目

① 社会教育の取組（＋4.7 ポイント）
② こどもたちが自ら課題に取り組む（＋4.6 ポイント）
③ 文化芸術に親しむ機会の提供（＋4.1 ポイント）
④ 教育支援体制の充実（＋3.9 ポイント）
⑤ 家庭・地域・学校の協働の推進（＋3.8 ポイント）
⑤ 公共施設の老朽化に対する取組（＋3.8 ポイント）

（イ）前年度調査と比較し、重要視している人の割合が低下した主な項目

① 災害に備えたハード整備（▲6.1 ポイント）
② 災害対応力の強化の取組（▲5.4 ポイント）
③ 困りごとに対する相談・支援体制の充実（▲5.3 ポイント）
③ 国内友好都市との交流（▲5.3 ポイント）
⑤ 地域防災力向上の取組（▲5.1 ポイント）
⑤ 再生可能エネルギーの普及（▲5.1 ポイント）

図表 16　重要度（前年度との比較）1/2

基本政策	項　目	n	令和７年度 重要度(%)	令和６年度 重要度(%)	前年度比較	比較順位 ※1
安心政策	災害に備えたハード整備	(1,013)	88.8	94.9	▲ 6.1	77
	災害対応力の強化の取組	(1,037)	88.6	94.0	▲ 5.4	76
	地域防災力向上の取組	(1,015)	85.9	91.0	▲ 5.1	72
	消防・救急・救助体制の充実	(1,007)	95.6	95.8	▲ 0.2	35
	応急手当の普及	(974)	91.7	91.1	0.6	26
	火災予防の取組	(985)	92.2	90.1	2.1	19
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(1,009)	88.4	90.8	▲ 2.4	57
	交通安全の取組	(1,017)	89.7	93.0	▲ 3.3	61
	防犯の取組	(1,025)	90.7	94.9	▲ 4.2	65
安心政策　平均値			90.2	92.8	▲ 2.6	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進	(986)	90.4	89.8	0.6	26
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(964)	86.9	88.1	▲ 1.2	47
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(952)	88.5	88.7	▲ 0.2	35
	高齢者に対する支援の充実	(959)	87.1	87.3	▲ 0.2	35
	障がい者に対する支援の充実	(921)	85.0	86.2	▲ 1.2	47
	包括的な支援体制の充実	(940)	86.8	87.9	▲ 1.1	45
	子育てサービスの充実	(838)	88.3	87.5	0.8	25
	保育と幼児教育の充実	(816)	86.3	86.1	0.2	30
	親と子の健康づくりの取組	(806)	86.1	84.1	2.0	22
	休日・夜間医療体制の充実	(1,017)	89.8	94.8	▲ 5.0	71
	市立病院の救急医療体制の充実	(1,010)	88.4	92.7	▲ 4.3	66
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(1,000)	84.5	89.0	▲ 4.5	68
	健康づくりの取組	(1,027)	84.0	88.1	▲ 4.1	63
	介護予防と認知症に対する取組	(988)	84.8	89.4	▲ 4.6	69
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(981)	66.8	67.4	▲ 0.6	41
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(982)	75.8	81.1	▲ 5.3	74
	平和についての啓発の推進	(964)	67.4	69.4	▲ 2.0	53
輝き政策　平均値			83.9	85.7	▲ 1.8	⑤
成長政策	こどもたちが自ら課題に取り組む	(780)	85.4	80.8	4.6	2
	教育支援体制の充実	(776)	84.8	80.9	3.9	4
	安全な教育環境の整備	(793)	85.1	82.6	2.5	13
	こどもたちが安心して共に学べる取組	(773)	80.6	78.3	2.3	15
	社会教育の取組	(810)	75.4	70.7	4.7	1
	家庭・地域・学校の協働の推進	(803)	75.9	72.1	3.8	5
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(821)	76.5	73.2	3.3	8
	青少年の健全育成の取組	(778)	71.3	67.9	3.4	7
	文化芸術に親しむ機会の提供	(994)	64.9	60.8	4.1	3
	郷土文化の継承と発展の取組	(969)	57.8	59.8	▲ 2.0	53
	あつぎ郷土博物館の取組	(969)	53.5	50.7	2.8	11
	運動・スポーツ活動の機会提供	(989)	74.3	75.9	▲ 1.6	51
	競技力を向上するための取組	(948)	65.3	66.2	▲ 0.9	44
	スポーツ施設の充実	(972)	72.2	73.3	▲ 1.1	45
成長政策　平均値			73.1	70.9	2.2	①

図表 16　重要度（前年度との比較）2/2

基本政策	項目	n	令和７年度 重要度(%)	令和６年度 重要度(%)	前年度比較	比較順位 ※1
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(1,034)	95.3	94.7	0.6	26
	安心・安全に通行できる道路環境	(1,021)	93.5	93.3	0.2	30
	日常生活における移動がスムーズ	(1,029)	92.8	94.3	▲ 1.5	50
	住環境の整備の取組	(944)	85.2	81.9	3.3	8
	中心市街地の整備	(971)	83.5	81.4	2.1	19
	中心市街地のにぎわい	(983)	80.6	78.1	2.5	13
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(960)	75.6	77.3	▲ 1.7	52
	景観が守られている	(986)	79.8	79.9	▲ 0.1	34
	新たな産業拠点の創出	(940)	71.5	71.5	0.0	32
	市内に利用したい店舗がある	(1,000)	84.1	84.6	▲ 0.5	40
	創業支援や中小企業支援の充実	(813)	72.1	72.5	▲ 0.4	38
	企業誘致の推進	(817)	71.6	72.4	▲ 0.8	43
	先端技術産業の推進	(829)	63.4	64.6	▲ 1.2	47
	就労支援と勤労者への支援の充実	(928)	79.0	81.3	▲ 2.3	56
	広域の観光に対する取組	(975)	72.0	70.4	1.6	23
	観光資源の活性化	(967)	71.9	71.5	0.4	29
	観光情報の発信の充実	(972)	71.5	69.4	2.1	19
	本市の魅力発信	(972)	78.5	75.2	3.3	8
	定住促進の取組	(847)	66.7	67.3	▲ 0.6	41
	農地有効利用の取組	(846)	67.1	70.1	▲ 3.0	60
	地産地消の推進	(899)	74.9	79.3	▲ 4.4	67
発展政策　平均値			77.6	77.7	▲ 0.1	②
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(895)	72.7	77.6	▲ 4.9	70
	再生可能エネルギーの普及	(917)	73.0	78.1	▲ 5.1	72
	省エネの取組	(944)	74.5	76.5	▲ 2.0	53
	ごみの減量化、資源化の推進	(1,008)	89.9	88.6	1.3	24
	生物多様性の普及や保全	(899)	71.4	73.9	▲ 2.5	58
	里地里山の保全や活用	(906)	74.2	77.0	▲ 2.8	59
	山林の再生の推進	(903)	74.0	78.1	▲ 4.1	63
	緑豊かな生活環境	(1,019)	88.3	86.0	2.3	15
	清潔で快適な生活環境	(1,017)	89.6	87.3	2.3	15
	親しみやすい水辺空間	(978)	74.8	72.5	2.3	15
潤い政策　平均値			78.2	79.6	▲ 1.4	④
共創政策	協働によるまちづくり	(950)	70.7	70.7	0.0	32
	必要な行政情報の発信	(953)	78.6	79.0	▲ 0.4	38
	変化やニーズに対応した行政運営	(864)	82.6	79.8	2.8	11
	公共施設の老朽化に対する取組	(886)	84.8	81.0	3.8	5
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(907)	75.9	79.4	▲ 3.5	62
	国内友好都市との交流	(898)	55.9	61.2	▲ 5.3	74
共創政策　平均値			74.8	75.2	▲ 0.4	③
平均値			79.5	80.1	▲ 0.6	－

（※１）「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第１位～第77位の順位を示す。
なお、 網かけは、「比較順位」の上位５位までの項目を示す。

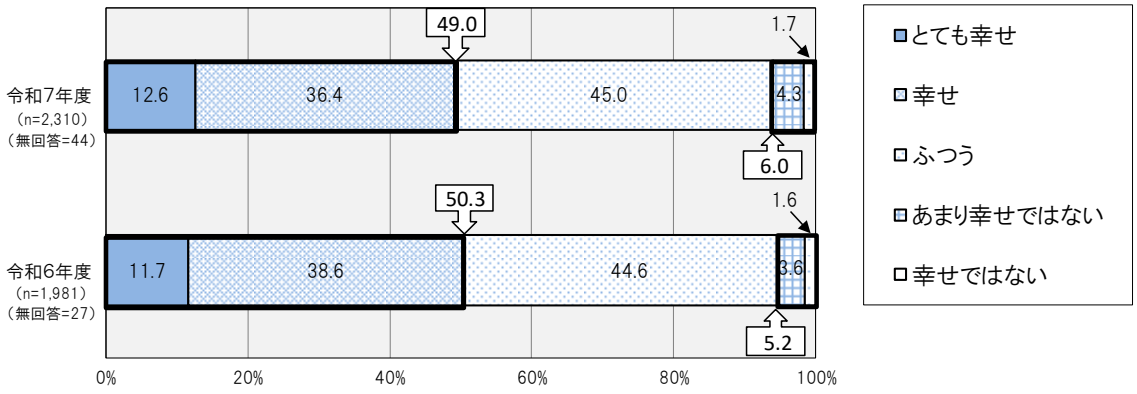
（６）幸福度（A・B：問 22、図表 17）

・幸福度については、「とても幸せ」（12.6%）、「幸せ」（36.4%）の合計が 49.0%という結果となり、前年度調査の 50.3%と比較して 1.3 ポイント低下した。

・「あまり幸せではない」（4.3%）、「幸せではない」（1.7%）の合計が 6.0%という結果となり、前年度調査の 5.2%と比較して、0.8 ポイント上昇した。

・各調査票の属性別集計（クロス集計）は次ページのとおり。

図表 17　幸福度（調査票 A、B を合計して算出）



以降掲載するクロス集計において、以下の通り属性別の最大値、最小値を示す。

… 橙色の網掛け：属性別の最大値

… 水色の網掛け：属性別の最小値

（回答が「はい」「いいえ」のみの設問については、上記の限りではない。）

【クロス集計】

			n	とても幸せ	幸せ	ふつう	あまり幸せではない	幸せではない
調査票A	全体		1,177	13.2	37.4	43.8	3.8	1.8
	性別	男性	533	12.6	36.6	45.0	3.9	1.9
		女性	574	14.3	39.7	41.3	3.5	1.2
	年齢別	10代	18	22.2	55.6	22.2	0.0	0.0
		20代	95	12.6	32.6	46.3	3.2	5.3
		30代	135	17.8	39.3	37.8	4.4	0.7
		40代	157	15.9	35.7	45.2	0.6	2.5
		50代	226	14.6	36.3	42.0	4.9	2.2
		60代	194	11.9	39.2	44.3	4.1	0.5
		70代	215	8.8	37.7	45.6	6.0	1.9
		80代以上	130	10.8	37.7	49.2	2.3	0.0
	世帯構成別	夫婦	323	17.3	38.4	40.2	3.4	0.6
		親子（親との二世代）	180	12.8	41.1	40.0	3.9	2.2
		親子（子との二世代）	260	13.8	39.2	44.6	1.9	0.4
		親子孫（三世代）	50	12.0	40.0	44.0	2.0	2.0
		一人暮らし	283	9.5	35.0	45.9	5.7	3.9
		その他	64	10.9	29.7	51.6	4.7	3.1
	居住年数別	20年以上（転入なし）	277	15.2	39.4	41.2	2.5	1.8
		20年以上（転入あり）	519	11.4	36.2	46.1	4.6	1.7
		10～19年（転入なし）	19	15.8	36.8	47.4	0.0	0.0
		10～19年（転入あり）	155	14.2	38.1	43.2	3.9	0.6
		5～9年	72	18.1	37.5	38.9	4.2	1.4
		3～4年	67	14.9	41.8	37.3	3.0	3.0
		2年以下	57	10.5	33.3	47.4	5.3	3.5
	居住地区別	厚木北	146	11.0	37.7	48.6	1.4	1.4
		厚木南	77	16.9	40.3	40.3	2.6	0.0
		依知北	88	12.5	37.5	40.9	8.0	1.1
		依知南	61	11.5	34.4	47.5	1.6	4.9
		睦合北	53	9.4	34.0	47.2	5.7	3.8
		睦合南	86	10.5	57.0	27.9	2.3	2.3
		睦合西	38	15.8	28.9	44.7	10.5	0.0
		荻野	118	16.1	32.2	46.6	5.1	0.0
		小鮎	75	9.3	46.7	37.3	2.7	4.0
		南毛利	214	13.6	34.6	46.3	3.7	1.9
		南毛利南	69	13.0	44.9	31.9	8.7	1.4
		玉川	17	11.8	29.4	58.8	0.0	0.0
		相川	73	16.4	23.3	57.5	0.0	2.7
		緑ケ丘	22	18.2	36.4	40.9	4.5	0.0
		森の里	34	17.6	38.2	41.2	0.0	2.9
調査票B	全体		1,133	12.1	35.3	46.2	4.8	1.7
	性別	男性	474	11.8	32.5	49.4	4.6	1.7
		女性	593	12.5	39.6	41.8	4.7	1.3
	年齢別	10代	13	38.5	15.4	46.2	0.0	0.0
		20代	87	18.4	37.9	41.4	1.1	1.1
		30代	123	13.8	38.2	43.1	2.4	2.4
		40代	146	14.4	35.6	43.2	2.7	4.1
		50代	231	10.4	33.3	48.5	6.1	1.7
		60代	173	11.0	34.1	46.2	8.7	0.0
		70代	229	9.6	34.9	49.3	4.8	1.3
		80代以上	125	9.6	37.6	47.2	4.8	0.8
	世帯構成別	夫婦	350	11.4	36.3	47.4	4.0	0.9
		親子（親との二世代）	173	9.8	34.7	49.1	4.0	2.3
		親子（子との二世代）	264	15.2	42.4	40.2	1.9	0.4
		親子孫（三世代）	34	17.6	26.5	52.9	2.9	0.0
		一人暮らし	248	8.9	31.0	49.2	8.1	2.8
		その他	43	23.3	18.6	44.2	9.3	4.7
	居住年数別	20年以上（転入なし）	271	15.9	32.5	46.1	4.4	1.1
		20年以上（転入あり）	500	9.4	38.0	46.2	5.2	1.2
		10～19年（転入なし）	25	16.0	32.0	44.0	0.0	8.0
		10～19年（転入あり）	144	16.0	31.3	46.5	4.9	1.4
		5～9年	68	8.8	39.7	42.6	7.4	1.5
		3～4年	58	15.5	34.5	44.8	3.4	1.7
		2年以下	63	7.9	33.3	50.8	3.2	4.8
	居住地区別	厚木北	136	16.2	42.6	37.5	3.7	0.0
		厚木南	68	16.2	36.8	41.2	2.9	2.9
		依知北	89	9.0	29.2	47.2	12.4	2.2
		依知南	61	3.3	29.5	55.7	8.2	3.3
		睦合北	64	10.9	21.9	56.3	7.8	3.1
		睦合南	89	10.1	31.5	52.8	4.5	1.1
		睦合西	48	0.0	35.4	60.4	4.2	0.0
		荻野	127	10.2	29.9	55.1	3.9	0.8
		小鮎	57	8.8	42.1	45.6	3.5	0.0
		南毛利	191	16.2	39.3	39.8	2.6	2.1
		南毛利南	59	13.6	42.4	37.3	6.8	0.0
		玉川	13	7.7	46.2	46.2	0.0	0.0
		相川	57	15.8	43.9	36.8	1.8	1.8
		緑ケ丘	24	25.0	16.7	41.7	4.2	12.5
		森の里	41	12.2	36.6	48.8	2.4	0.0

2-3　行動変容（市の施策による市民の行動の変化）

（1）基本政策別の傾向（図表 18）

ア　行動変容の実績値が高い政策

① 潤い政策（平均値 82.7%）

② 安心政策（平均値 74.1%）

③ 輝き政策（平均値 73.5%）

イ　行動変容の実績値が低い政策

① 成長政策（平均値 39.7%）

② 共創政策（平均値 55.0%）

③ 発展政策（平均値 65.4%）

（2）27 項目別の傾向（図表 18）

ア　行動変容の実績値が高い項目

① 資源の分別を意識している（97.4%）

② 健康増進のために取り組んでいることがある（90.1%）

③ 防犯等の対策について心掛けていることがある（88.9%）

④ 災害に備えていることがある（85.0%）

⑤ 主に利用する店舗が市内にある（84.6%）

イ　行動変容の実績値が低い項目

① 市内で文化芸術に親しんでいる（23.8%）

② 図書館を利用している（25.0%）

③ 運動やスポーツを週３回以上行っている（25.1%）

④ 公民館を利用している（31.9%）

⑤ 市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした（35.5%）

（3）前年度調査との比較（図表 18）

ア　前年度調査と比較し、行動変容の実績値が上昇した主な項目

① 市内で文化芸術に親しんでいる（＋4.1 ポイント）

② 子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる（+2.5 ポイント）

③ 地域の人との関わりがあると思う（＋1.7 ポイント）

④ 市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした（＋1.4 ポイント）

⑤ 地域や学校の行事に参加又は協力している（＋0.7 ポイント）

⑤ 図書館を利用している（＋0.7 ポイント）

イ　前年度調査と比較し、行動変容の実績値が低下した主な項目

① 認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある(▲5.2 ポイント)

② 災害に備えていることがある（▲4.9 ポイント）

③ 地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある（▲3.4 ポイント）

④ 地元の農産物を購入した（▲2.9 ポイント）

⑤ 健康増進のために取り組んでいることがある（▲2.7 ポイント）

図表 18　行動変容（基本政策別・項目別一覧表）

（単位：%）

基本政策	項目名（～市民の割合）	n	令和7年度目標値	令和7年度実績値 (A)	実績値順位	令和6年度実績値 (B)	前年度比較 (A-B)	比較順位
安心政策	災害に備えていることがある（A：問２）	(1,160)	98.0	85.0	4	89.9	▲ 4.9	26
	AEDや心臓マッサージの方法を知っている（B：問２）	(1,132)	66.9	64.7	15	64.4	0.3	11
	消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている（B：問３）	(1,136)	81.7	77.9	9	78.9	▲ 1.0	16
	自転車の安全のために心掛けていることがある（A：問３）	(970)	66.2	53.9	18	54.8	▲ 0.9	15
	防犯等の対策について心掛けていることがある（A：問４）	(1,162)	95.0	88.9	3	90.7	▲ 1.8	19
安心政策　平均値			－	74.1	②	75.7	▲ 1.6	⑥
輝き政策	地域の人との関わりがあると思う（B：問４）	(1,133)	62.0	57.0	17	55.3	1.7	3
	生きがいを持って生活を送っている（B：問５）	(1,119)	79.0	75.2	11	75.8	▲ 0.6	14
	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる（B：問６）	(692)	68.4	61.8	16	59.3	2.5	2
	健康増進のために取り組んでいることがある（A：問５）	(1,165)	93.0	90.1	2	92.8	▲ 2.7	23
	健康診断やがん検診、人間ドックを受けた（A：問６）	(1,159)	85.0	78.5	7	81.1	▲ 2.6	21
	認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある（A：問７）	(1,143)	79.4	78.2	8	83.4	▲ 5.2	27
輝き政策　平均値			－	73.5	③	74.6	▲ 1.1	⑤
成長政策	こどもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う（B：問７）	(758)	76.0	67.3	14	66.9	0.4	9
	公民館を利用している（B：問８）	(1,091)	32.0	31.9	24	31.8	0.1	12
	地域や学校の行事に参加又は協力している（B：問９）	(1,080)	39.0	40.4	21	39.7	0.7	5
	生涯学習活動を行っている（B：問10）	(1,082)	55.2	53.0	19	52.6	0.4	9
	図書館を利用している（B：問11）	(1,092)	27.0	25.0	26	24.3	0.7	5
	市内で文化芸術に親しんでいる（A：問９）	(1,150)	23.0	23.8	27	19.7	4.1	1
	厚木の郷土文化に興味がある（A：問10）	(1,113)	62.0	51.1	20	52.9	▲ 1.8	19
	運動やスポーツを週３回以上行っている（A：問11）	(1,157)	39.0	25.1	25	27.7	▲ 2.6	15
成長政策　平均値			－	39.7	⑥	39.5	0.2	①
発展政策	主に利用する店舗が市内にある（B：問12）	(1,003)	87.5	84.6	5	86.1	▲ 1.5	17
	市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした（A：問12）	(1,153)	38.0	35.5	23	34.1	1.4	4
	地元の農産物を購入した（A：問13）	(1,167)	86.0	76.0	10	78.9	▲ 2.9	24
発展政策　平均値			－	65.4	④	66.4	▲ 1.0	④
潤い政策	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある（A：問14）	(1,150)	95.0	80.6	6	84.0	▲ 3.4	25
	ごみの減量を意識している（B：問13）	(1,123)	85.0	70.0	13	69.4	0.6	7
	資源の分別を意識している（B：問14）	(1,138)	99.5	97.4	1	96.9	0.5	8
潤い政策　平均値			－	82.7	①	83.4	▲ 0.7	②
共創政策	自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している（B：問15）	(1,126)	39.3	37.9	22	38.1	▲ 0.2	13
	必要な行政情報を入手できている（B：問16）	(1,025)	87.1	72.1	12	73.7	▲ 1.6	18
共創政策　平均値			－	55.0	⑤	55.9	▲ 0.9	③
平均値			－	62.3	－	63.1	▲ 0.8	－

（※１）Aは調査票Aの設問を、Bは調査票Bの設問を示す。
（※２）網かけは、「実績値順位」または「比較順位」の上位５位までの項目を示す。

2-3-1　安心政策

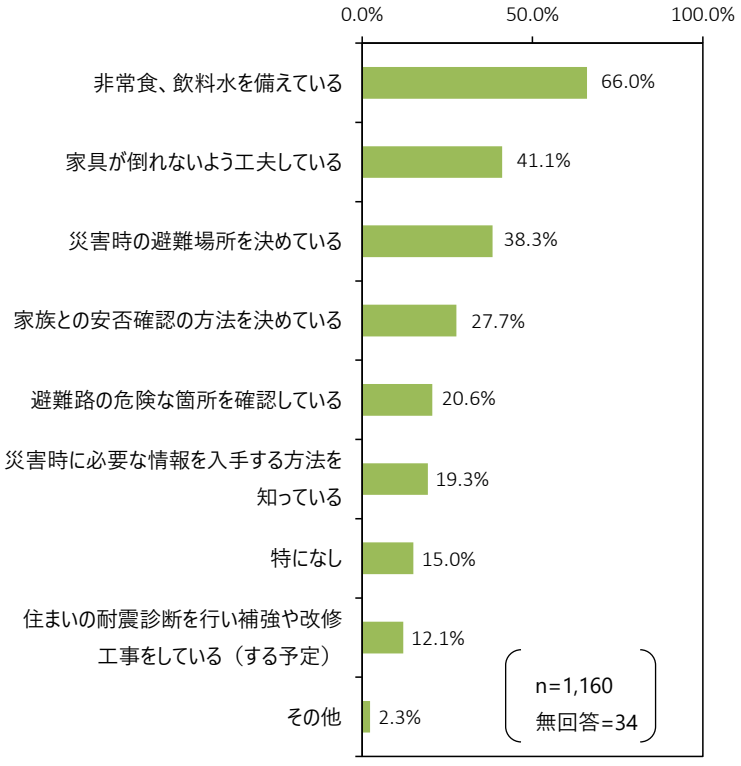
地震や風水害などの災害に備えていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（A：問２）

地震や風水害などの災害に備えていることがある市民の割合は 85.0%となっており、項目としては、その他を除くと「非常食、飲料水を備えている」が 66.0%で最も高く、「住まいの耐震診断を行い補強や改修工事をしている（する予定）」が 12.1%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「非常食、飲料水を備えている」を性別で見ると、女性(71.7%)が男性(61.1%)より 10.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 73.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 80.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 70.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 84.8%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 78.9%で最も高くなっている。

「住まいの耐震診断を行い補強や改修工事をしている（する予定）」を性別で見ると、男性(12.6%)が女性(12.3%)より 0.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 19.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 18.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 14.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 25.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 17.8%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	非常食、飲料水を備えている	家具が倒れないよう工夫している	住まいの耐震診断を行い補強や改修工事をしている（する予定）	避難路の危険な箇所を確認している	災害時の避難場所を決めている	家族との安否確認の方法を決めている	災害時に必要な情報を入手する方法を知っている	その他	特になし
全体		1,160	66.0	41.1	12.1	20.6	38.3	27.7	19.3	2.3	15.0
性別	男性	524	61.1	41.6	12.6	19.8	35.9	25.8	20.8	1.9	17.9
	女性	559	71.7	41.7	12.3	20.8	40.6	29.9	18.8	2.7	12.2
年齢別	10代	18	55.6	50.0	16.7	33.3	33.3	22.2	27.8	11.1	5.6
	20代	94	57.4	28.7	7.4	12.8	27.7	27.7	21.3	2.1	22.3
	30代	135	65.2	33.3	8.1	16.3	27.4	23.0	15.6	3.0	17.0
	40代	156	64.7	34.6	12.8	17.9	32.7	19.2	17.3	2.6	17.3
	50代	223	61.4	38.1	11.2	20.6	37.2	28.3	20.2	3.1	22.0
	60代	190	72.6	52.6	13.7	22.1	40.0	31.6	21.1	1.6	8.9
	70代	211	73.0	46.4	11.8	23.7	50.2	29.9	22.3	0.9	10.4
	80代以上	118	63.6	46.6	19.5	27.1	45.8	35.6	15.3	2.5	10.2
世帯構成別	夫婦	318	72.6	49.7	14.5	20.8	44.7	34.3	22.3	1.9	10.7
	親子（親との二世代）	176	66.5	40.9	14.8	20.5	35.2	30.7	21.6	4.5	11.9
	親子（子との二世代）	256	69.5	44.1	18.4	19.9	37.9	26.2	14.8	2.7	11.7
	親子孫（三世代）	47	80.9	48.9	8.5	21.3	48.9	31.9	21.3	0.0	4.3
	一人暮らし	274	58.4	29.6	4.0	20.8	32.8	19.7	18.2	1.1	24.5
	その他	64	43.8	34.4	6.3	18.8	34.4	26.6	20.3	4.7	23.4
居住年数別	20年以上（転入なし）	270	64.8	44.1	12.6	19.6	43.0	31.5	20.7	1.9	12.6
	20年以上（転入あり）	507	70.4	45.6	13.8	23.7	43.2	28.2	20.9	1.8	12.0
	10～19年（転入なし）	19	47.4	42.1	10.5	15.8	31.6	31.6	26.3	10.5	15.8
	10～19年（転入あり）	153	64.7	36.6	14.4	19.6	35.9	30.7	15.7	2.6	19.0
	5～9年	71	62.0	31.0	4.2	18.3	22.5	11.3	18.3	4.2	21.1
	3～4年	67	53.7	34.3	7.5	13.4	25.4	17.9	10.4	1.5	26.9
	2年以下	57	64.9	21.1	7.0	15.8	19.3	28.1	21.1	5.3	19.3
居住地区別	厚木北	143	67.8	39.9	10.5	16.8	31.5	23.8	16.8	4.2	14.7
	厚木南	75	69.3	44.0	12.0	24.0	40.0	33.3	28.0	1.3	12.0
	依知北	88	61.4	34.1	12.5	21.6	35.2	21.6	9.1	0.0	14.8
	依知南	59	64.4	32.2	8.5	28.8	33.9	22.0	15.3	1.7	15.3
	睦合北	52	61.5	36.5	15.4	19.2	44.2	28.8	17.3	0.0	23.1
	睦合南	83	63.9	44.6	12.0	21.7	43.4	28.9	22.9	4.8	14.5
	睦合西	37	67.6	35.1	16.2	18.9	35.1	27.0	13.5	0.0	16.2
	荻野	117	60.7	51.3	10.3	21.4	40.2	29.9	21.4	2.6	13.7
	小鮎	74	70.3	31.1	9.5	23.0	40.5	23.0	20.3	1.4	18.9
	南毛利	210	65.7	40.5	14.3	18.1	41.0	30.0	19.0	3.3	15.2
	南毛利南	68	70.6	42.6	13.2	13.2	36.8	23.5	14.7	4.4	11.8
	玉川	16	62.5	37.5	25.0	18.8	31.3	31.3	37.5	0.0	18.8
	相川	70	65.7	47.1	15.7	25.7	37.1	34.3	27.1	0.0	18.6
	緑ケ丘	21	66.7	47.6	4.8	38.1	47.6	38.1	19.0	0.0	14.3
	森の里	33	84.8	54.5	6.1	21.2	42.4	33.3	24.2	3.0	3.0
幸福度別	とても幸せ	152	78.9	50.0	17.8	27.0	38.8	28.9	27.6	2.6	7.2
	幸せ	429	69.7	47.1	13.8	22.8	45.5	33.6	21.0	3.0	9.8
	ふつう	506	61.1	34.2	9.5	18.6	34.0	23.5	16.0	1.8	19.8
	あまり幸せではない	43	53.5	39.5	9.3	7.0	18.6	18.6	18.6	0.0	30.2
	幸せではない	20	45.0	35.0	10.0	10.0	25.0	20.0	10.0	0.0	35.0

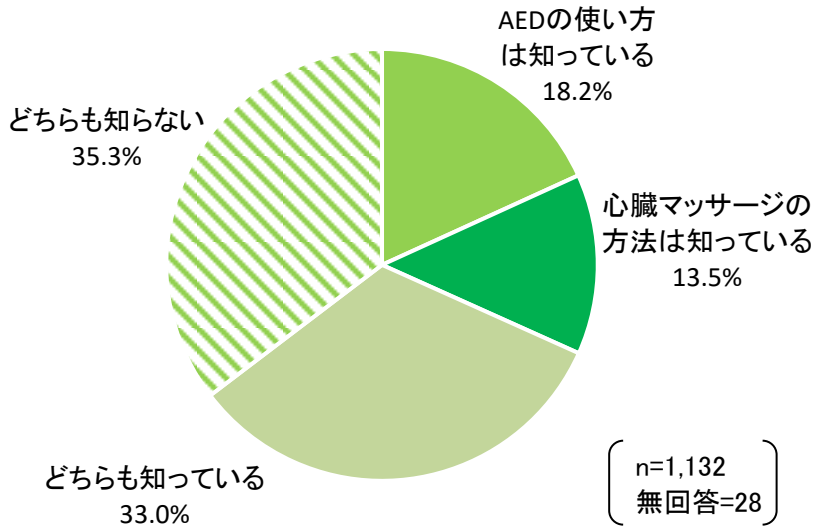
AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。（B：問２）

AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合は 64.7%となっている。項目別では「どちらも知らない」が 35.3%で最も高く、「心臓マッサージの方法は知っている」が 13.5%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「どちらも知らない」を性別で見ると、男性(35.2%)が女性(34.2%)より 1.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 62.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 40.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入して以来）が 40.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知南が 49.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 47.4%で最も高くなっている。

「心臓マッサージの方法は知っている」を性別で見ると、男性(14.9%)が女性(12.4%)より 2.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 16.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 20.7%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9 年が 19.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が 21.1%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、あまり幸せではないが 17.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	AEDの使い方は知っている	心臓マッサージの方法は知っている	どちらも知っている	どちらも知らない
全体		1,132	18.2	13.5	33.0	35.3
性別	男性	471	20.2	14.9	29.7	35.2
	女性	579	17.4	12.4	35.9	34.2
年齢別	10代	13	30.8	15.4	46.2	7.7
	20代	87	13.8	16.1	62.1	8.0
	30代	121	24.8	7.4	45.5	22.3
	40代	144	19.4	13.9	38.2	28.5
	50代	231	19.5	12.6	30.7	37.2
	60代	170	18.8	12.4	35.3	33.5
	70代	220	19.1	16.4	22.3	42.3
	80代以上	125	8.8	15.2	13.6	62.4
世帯構成別	夫婦	343	19.0	11.4	31.2	38.5
	親子（親との二世代）	175	16.6	13.7	37.7	32.0
	親子（子との二世代）	259	20.1	9.7	39.4	30.9
	親子孫（三世代）	34	17.6	8.8	35.3	38.2
	一人暮らし	246	16.7	20.7	28.5	34.1
	その他	42	21.4	11.9	26.2	40.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	267	19.5	12.0	33.3	35.2
	20年以上（転入あり）	493	17.0	14.6	28.4	40.0
	10～19年（転入なし）	24	33.3	8.3	29.2	29.2
	10～19年（転入あり）	142	18.3	13.4	38.7	29.6
	5～9年	67	22.4	19.4	34.3	23.9
	3～4年	57	10.5	8.8	42.1	38.6
	2年以下	62	19.4	9.7	50.0	21.0
居住地区別	厚木北	136	24.3	11.8	34.6	29.4
	厚木南	69	30.4	7.2	24.6	37.7
	依知北	90	10.0	13.3	33.3	43.3
	依知南	61	13.1	14.8	23.0	49.2
	睦合北	63	12.7	11.1	28.6	47.6
	睦合南	87	18.4	12.6	27.6	41.4
	睦合西	46	28.3	10.9	34.8	26.1
	荻野	123	15.4	14.6	30.1	39.8
	小鮎	57	19.3	12.3	33.3	35.1
	南毛利	188	18.1	18.1	36.7	27.1
	南毛利南	57	17.5	21.1	42.1	19.3
	玉川	12	16.7	8.3	41.7	33.3
	相川	55	10.9	16.4	34.5	38.2
	緑ケ丘	23	26.1	8.7	17.4	47.8
	森の里	41	17.1	4.9	53.7	24.4
幸福度別	とても幸せ	137	23.4	9.5	37.2	29.9
	幸せ	389	19.0	13.4	36.5	31.1
	ふつう	510	16.9	14.3	30.4	38.4
	あまり幸せではない	53	17.0	17.0	22.6	43.4
	幸せではない	19	10.5	15.8	26.3	47.4

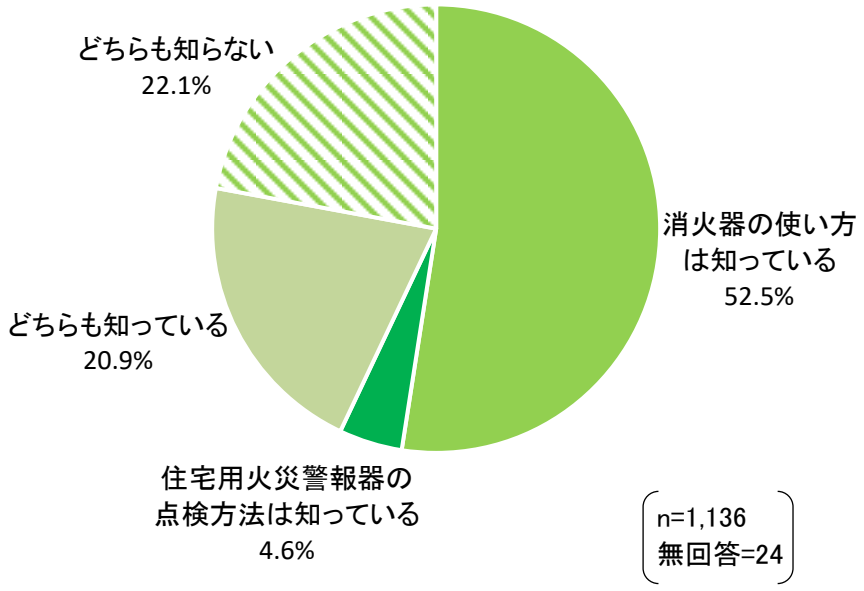
消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。（B：問３）

消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合は 77.9%となっており、項目としては、「消火器の使い方は知っている」が 52.5%で最も高く、「住宅用火災警報器の点検方法は知っている」が 4.6%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「消火器の使い方は知っている」を性別で見ると、男性(54.3%)が女性(52.0%)より 2.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 69.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 62.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 66.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 73.9%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 55.5%で最も高くなっている。

「住宅用火災警報器の点検方法は知っている」を性別で見ると、男性(4.7%)が女性(4.5%)より 0.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 9.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 6.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 5.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 8.5%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、あまり幸せではないが 7.5%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	消火器の使い方は知っている	住宅用火災警報器の点検方法は知っている	どちらも知っている	どちらも知らない
全体		1,136	52.5	4.6	20.9	22.1
性別	男性	470	54.3	4.7	27.2	13.8
	女性	583	52.0	4.5	14.9	28.6
年齢別	10代	13	69.2	0.0	7.7	23.1
	20代	86	60.5	2.3	10.5	26.7
	30代	121	47.1	2.5	19.0	31.4
	40代	144	50.0	2.8	25.0	22.2
	50代	231	55.0	4.3	18.6	22.1
	60代	172	50.0	4.7	29.1	16.3
	70代	224	54.9	5.8	21.9	17.4
	80代以上	124	50.0	9.7	15.3	25.0
世帯構成別	夫婦	346	54.6	5.2	22.5	17.6
	親子（親との二世代）	174	48.9	2.9	14.9	33.3
	親子（子との二世代）	260	51.2	3.8	23.1	21.9
	親子孫（三世代）	34	50.0	2.9	29.4	17.6
	一人暮らし	245	53.9	6.9	19.6	19.6
	その他	43	62.8	0.0	16.3	20.9
居住年数別	20年以上（転入なし）	269	52.0	4.1	21.9	21.9
	20年以上（転入あり）	493	54.0	5.3	20.3	20.5
	10～19年（転入なし）	24	66.7	4.2	4.2	25.0
	10～19年（転入あり）	144	51.4	4.9	21.5	22.2
	5～9年	67	55.2	3.0	20.9	20.9
	3～4年	58	50.0	3.4	12.1	34.5
	2年以下	62	43.5	4.8	29.0	22.6
居住地区別	厚木北	139	58.3	5.8	20.1	15.8
	厚木南	69	53.6	7.2	14.5	24.6
	依知北	89	49.4	3.4	20.2	27.0
	依知南	60	38.3	6.7	15.0	40.0
	睦合北	62	46.8	1.6	29.0	22.6
	睦合南	87	48.3	6.9	20.7	24.1
	睦合西	47	44.7	8.5	21.3	25.5
	荻野	125	50.4	4.8	24.0	20.8
	小鮎	57	59.6	0.0	14.0	26.3
	南毛利	189	54.0	4.2	22.8	19.0
	南毛利南	57	54.4	7.0	22.8	15.8
	玉川	13	69.2	7.7	0.0	23.1
	相川	56	50.0	1.8	26.8	21.4
	緑ケ丘	23	73.9	0.0	13.0	13.0
	森の里	40	67.5	0.0	12.5	20.0
幸福度別	とても幸せ	137	55.5	6.6	19.0	19.0
	幸せ	391	53.7	4.3	20.5	21.5
	ふつう	514	52.9	3.9	21.4	21.8
	あまり幸せではない	53	41.5	7.5	22.6	28.3
	幸せではない	18	44.4	5.6	16.7	33.3

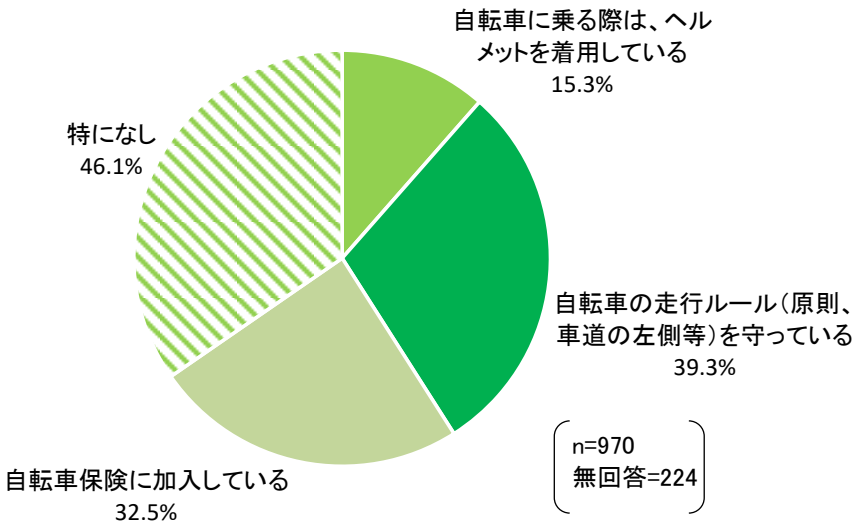
自転車の安全のために心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（A：問３）

自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合は 53.9%となっており、項目としては「特になし」が 46.1%で最も高く、「自転車に乗る際は、ヘルメットを着用している」が 15.3%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「特になし」を性別で見ると、女性(46.4%)が男性(45.2%)より 1.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50 代が 54.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 52.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入して以来）が 50.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 57.1%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、あまり幸せではないが 62.2%で最も高くなっている。

「自転車に乗る際は、ヘルメットを着用している」を性別で見ると、男性(15.8%)が女性(14.8%)より 1.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 23.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 19.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 25.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 26.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 21.5%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している	防犯カメラ、センサーライト、迷惑電話防止機能付電話などの防犯機器を設置している	犯罪発生状況等を市ホームページやメール配信サービスなどで確認するようにしている	家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている	自転車やオートバイ等に二重ロックやシートをかけるなどの防犯対策をしている	地域の防犯パトロール、見守り活動などに参加している	特になし
全体		1,162	7.0	32.8	18.2	80.7	14.5	6.6	11.1
性別	男性	524	6.5	31.3	14.7	77.3	16.6	7.8	13.7
	女性	561	8.0	35.7	20.7	83.6	12.7	5.9	8.0
年齢別	10代	18	11.1	22.2	11.1	66.7	16.7	0.0	16.7
	20代	92	8.7	19.6	10.9	82.6	21.7	1.1	13.0
	30代	132	7.6	29.5	12.1	75.0	13.6	4.5	14.4
	40代	155	10.3	23.9	16.8	78.7	15.5	3.9	12.9
	50代	223	4.9	34.1	24.2	79.8	14.3	5.8	13.0
	60代	194	3.6	41.2	18.0	84.0	14.9	6.2	9.3
	70代	213	6.1	39.4	19.2	84.5	11.7	10.8	6.6
	80代以上	121	11.6	34.7	19.8	78.5	14.0	13.2	10.7
世帯構成別	夫婦	320	7.8	38.8	20.3	85.9	15.0	10.0	7.5
	親子（親との二世代）	174	6.3	37.4	16.1	76.4	19.0	4.6	12.1
	親子（子との二世代）	255	9.4	35.3	20.4	78.0	13.3	7.5	11.0
	親子孫（三世代）	49	8.2	32.7	22.4	85.7	12.2	4.1	12.2
	一人暮らし	277	4.0	24.2	14.8	79.1	13.4	4.3	13.0
	その他	63	6.3	23.8	15.9	81.0	12.7	4.8	17.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	269	7.8	42.0	15.6	79.6	11.5	7.4	10.8
	20年以上（転入あり）	510	6.5	36.7	22.9	83.5	14.9	8.8	8.6
	10～19年（転入なし）	19	5.3	31.6	15.8	73.7	15.8	0.0	10.5
	10～19年（転入あり）	155	9.7	22.6	16.1	81.9	18.7	3.2	9.7
	5～9年	70	8.6	22.9	14.3	71.4	10.0	5.7	20.0
	3～4年	65	3.1	26.2	7.7	76.9	16.9	1.5	16.9
	2年以下	57	5.3	12.3	8.8	75.4	15.8	1.8	19.3
居住地区別	厚木北	142	5.6	23.2	13.4	78.2	9.9	2.8	14.8
	厚木南	75	12.0	28.0	17.3	86.7	13.3	4.0	5.3
	依知北	88	10.2	34.1	15.9	78.4	12.5	5.7	17.0
	依知南	57	5.3	33.3	15.8	78.9	22.8	8.8	10.5
	睦合北	52	7.7	34.6	19.2	84.6	13.5	15.4	5.8
	睦合南	83	4.8	28.9	16.9	80.7	15.7	8.4	14.5
	睦合西	38	5.3	36.8	10.5	81.6	13.2	5.3	7.9
	荻野	117	6.0	32.5	18.8	74.4	14.5	6.8	15.4
	小鮎	75	9.3	46.7	21.3	80.0	17.3	9.3	8.0
	南毛利	212	3.8	29.2	22.2	83.5	17.5	5.2	9.0
	南毛利南	68	5.9	35.3	19.1	80.9	7.4	10.3	10.3
	玉川	16	31.3	50.0	31.3	87.5	0.0	18.8	0.0
	相川	73	9.6	35.6	16.4	82.2	19.2	2.7	11.0
	緑ケ丘	20	15.0	45.0	15.0	70.0	20.0	20.0	10.0
	森の里	33	3.0	60.6	21.2	84.8	18.2	3.0	9.1
幸福度別	とても幸せ	153	5.9	39.2	20.9	85.0	13.7	9.8	3.9
	幸せ	434	7.1	33.4	21.2	84.3	15.7	7.8	8.1
	ふつう	502	7.0	31.5	14.7	78.1	13.7	5.4	14.3
	あまり幸せではない	43	9.3	23.3	14.0	72.1	16.3	2.3	20.9
	幸せではない	20	10.0	35.0	15.0	50.0	20.0	0.0	30.0

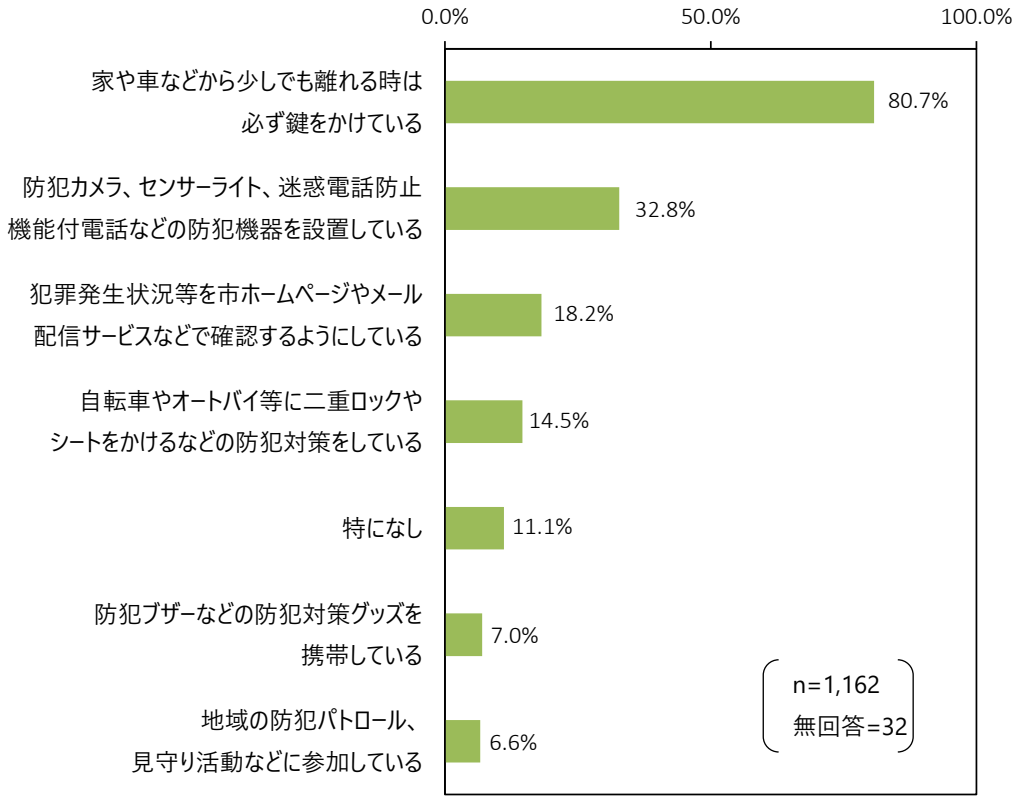
防犯等の対策について心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（A：問４）

防犯等の対策について心掛けていることがある市民の割合は 88.9%となっており、項目としては、「家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている」が 80.7%で最も高く、「地域の防犯パトロール、見守り活動などに参加している」が 6.6%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている」を性別で見ると、女性(83.6%)が男性(77.3%)より 6.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 84.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 85.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 83.5%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 87.5%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 85.0%で最も高くなっている。

「地域の防犯パトロール、見守り活動などに参加している」を性別で見ると、男性(7.8%)が女性(5.9%)より 1.9 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 13.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 10.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 8.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 20.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 9.8%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している	防犯カメラ、センサーライト、迷惑電話防止機能付電話などの防犯機器を設置している	犯罪発生状況等を市ホームページやメール配信サービスなどで確認するようにしている	家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている	自転車やオートバイ等に二重ロックやシートをかけるなどの防犯対策をしている	地域の防犯パトロール、見守り活動などに参加している	特になし
全体		1,162	7.0	32.8	18.2	80.7	15.2	7.2	11.1
性別	男性	524	6.5	31.3	14.7	77.3	16.6	7.8	13.7
	女性	561	8.0	35.7	20.7	83.6	12.7	5.9	8.0
年齢別	10代	18	11.1	22.2	11.1	66.7	16.7	0.0	16.7
	20代	92	8.7	19.6	10.9	82.6	21.7	1.1	13.0
	30代	132	7.6	29.5	12.1	75.0	13.6	4.5	14.4
	40代	155	10.3	23.9	16.8	78.7	15.5	3.9	12.9
	50代	223	4.9	34.1	24.2	79.8	14.3	5.8	13.0
	60代	194	3.6	41.2	18.0	84.0	14.9	6.2	9.3
	70代	213	6.1	39.4	19.2	84.5	11.7	10.8	6.6
	80代以上	121	11.6	34.7	19.8	78.5	14.0	13.2	10.7
世帯構成別	夫婦	320	7.8	38.8	20.3	85.9	15.0	10.0	7.5
	親子（親との二世代）	174	6.3	37.4	16.1	76.4	19.0	4.6	12.1
	親子（子との二世代）	255	9.4	35.3	20.4	78.0	13.3	7.5	11.0
	親子孫（三世代）	49	8.2	32.7	22.4	85.7	12.2	4.1	12.2
	一人暮らし	277	4.0	24.2	14.8	79.1	13.4	4.3	13.0
	その他	63	6.3	23.8	15.9	81.0	12.7	4.8	17.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	269	7.8	42.0	15.6	79.6	11.5	7.4	10.8
	20年以上（転入あり）	510	6.5	36.7	22.9	83.5	14.9	8.8	8.6
	10～19年（転入なし）	19	5.3	31.6	15.8	73.7	15.8	0.0	10.5
	10～19年（転入あり）	155	9.7	22.6	16.1	81.9	18.7	3.2	9.7
	5～9年	70	8.6	22.9	14.3	71.4	10.0	5.7	20.0
	3～4年	65	3.1	26.2	7.7	76.9	16.9	1.5	16.9
	2年以下	57	5.3	12.3	8.8	75.4	15.8	1.8	19.3
居住地区別	厚木北	142	5.6	23.2	13.4	78.2	9.9	2.8	14.8
	厚木南	75	12.0	28.0	17.3	86.7	13.3	4.0	5.3
	依知北	88	10.2	34.1	15.9	78.4	12.5	5.7	17.0
	依知南	57	5.3	33.3	15.8	78.9	22.8	8.8	10.5
	睦合北	52	7.7	34.6	19.2	84.6	13.5	15.4	5.8
	睦合南	83	4.8	28.9	16.9	80.7	15.7	8.4	14.5
	睦合西	38	5.3	36.8	10.5	81.6	13.2	5.3	7.9
	荻野	117	6.0	32.5	18.8	74.4	14.5	6.8	15.4
	小鮎	75	9.3	46.7	21.3	80.0	17.3	9.3	8.0
	南毛利	212	3.8	29.2	22.2	83.5	17.5	5.2	9.0
	南毛利南	68	5.9	35.3	19.1	80.9	7.4	10.3	10.3
	玉川	16	31.3	50.0	31.3	87.5	0.0	18.8	0.0
	相川	73	9.6	35.6	16.4	82.2	19.2	2.7	11.0
	緑ケ丘	20	15.0	45.0	15.0	70.0	20.0	20.0	10.0
	森の里	33	3.0	60.6	21.2	84.8	18.2	3.0	9.1
幸福度別	とても幸せ	153	5.9	39.2	20.9	85.0	13.7	9.8	3.9
	幸せ	434	7.1	33.4	21.2	84.3	15.7	7.8	8.1
	ふつう	502	7.0	31.5	14.7	78.1	13.7	5.4	14.3
	あまり幸せではない	43	9.3	23.3	14.0	72.1	16.3	2.3	20.9
	幸せではない	20	10.0	35.0	15.0	50.0	20.0	0.0	30.0

2-3-2　輝き政策

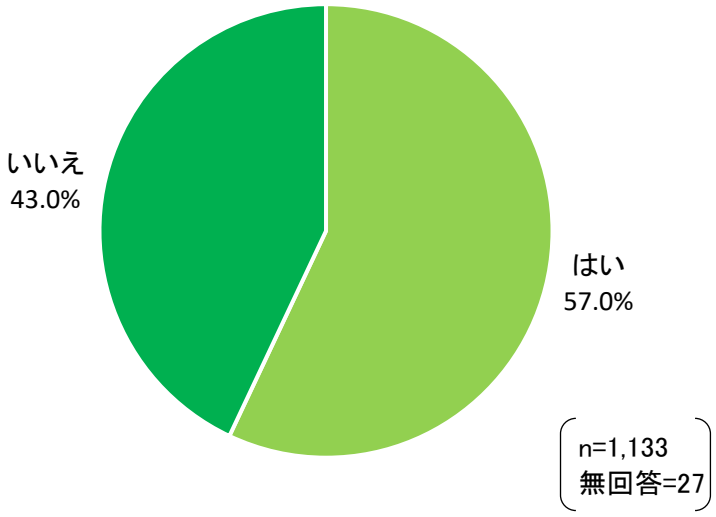
地域の人と日常生活で関わりがありますか。（B：問４）

地域の人と日常生活で関わりがあると思う市民の割合は、「はい」が 57.0%となっており、「いいえ」が 43.0%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(61.1%)が男性(51.7%)より 9.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 73.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 66.7%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 63.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 69.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 72.3%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(48.3%)が女性(38.9%)より 9.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30 代が 64.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 59.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 74.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 58.7%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,133	57.0	43.0
性別	男性	468	51.7	48.3
	女性	583	61.1	38.9
年齢別	10代	13	53.8	46.2
	20代	85	36.5	63.5
	30代	121	35.5	64.5
	40代	144	48.6	51.4
	50代	230	54.3	45.7
	60代	169	60.4	39.6
	70代	225	73.3	26.7
	80代以上	127	71.7	28.3
世帯構成別	夫婦	345	66.7	33.3
	親子（親との二世代）	172	48.8	51.2
	親子（子との二世代）	261	65.5	34.5
	親子孫（三世代）	34	58.8	41.2
	一人暮らし	245	40.8	59.2
	その他	43	46.5	53.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	271	62.4	37.6
	20年以上（転入あり）	494	63.6	36.4
	10～19年（転入なし）	24	45.8	54.2
	10～19年（転入あり）	141	59.6	40.4
	5～9年	66	33.3	66.7
	3～4年	57	33.3	66.7
	2年以下	62	25.8	74.2
居住地区別	厚木北	138	56.5	43.5
	厚木南	69	46.4	53.6
	依知北	87	51.7	48.3
	依知南	61	65.6	34.4
	睦合北	64	60.9	39.1
	睦合南	88	60.2	39.8
	睦合西	46	41.3	58.7
	荻野	122	59.0	41.0
	小鮎	57	66.7	33.3
	南毛利	188	56.4	43.6
	南毛利南	57	50.9	49.1
	玉川	13	69.2	30.8
	相川	57	63.2	36.8
	緑ケ丘	24	50.0	50.0
	森の里	40	57.5	42.5
幸福度別	とても幸せ	137	72.3	27.7
	幸せ	393	64.1	35.9
	ふつう	510	50.6	49.4
	あまり幸せではない	54	38.9	61.1
	幸せではない	17	11.8	88.2

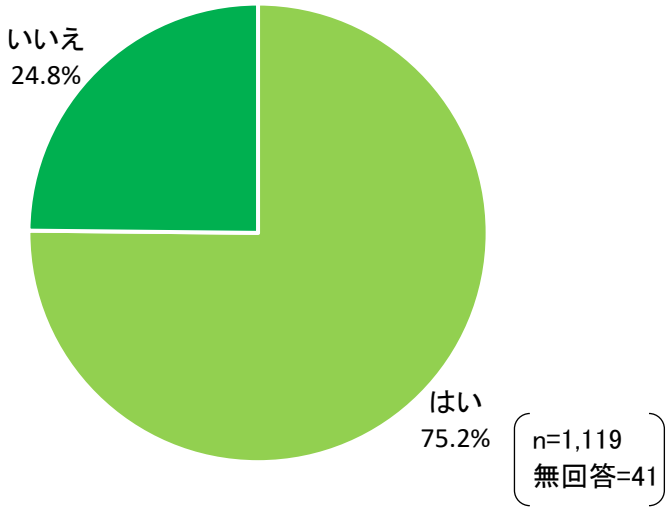
生きがいを持って生活を送っていますか。（B：問５）

生きがいを持って生活を送っている市民の割合は、「はい」が 75.2%となっており、「いいえ」が 24.8%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(79.3%)が男性(70.8%)より 8.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 83.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 91.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 78.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 83.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 94.9%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(29.2%)が女性(20.7%)より 8.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50 代が 30.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 39.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 36.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 39.1%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,119	75.2	24.8
性別	男性	462	70.8	29.2
	女性	576	79.3	20.7
年齢別	10代	12	83.3	16.7
	20代	84	77.4	22.6
	30代	122	73.8	26.2
	40代	141	73.8	26.2
	50代	227	69.2	30.8
	60代	170	80.0	20.0
	70代	219	76.3	23.7
	80代以上	125	76.8	23.2
世帯構成別	夫婦	339	79.9	20.1
	親子（親との二世代）	172	72.1	27.9
	親子（子との二世代）	258	84.1	15.9
	親子孫（三世代）	34	91.2	8.8
	一人暮らし	243	60.9	39.1
	その他	42	66.7	33.3
居住年数別	20年以上（転入なし）	268	74.6	25.4
	20年以上（転入あり）	487	76.6	23.4
	10～19年（転入なし）	23	73.9	26.1
	10～19年（転入あり）	141	78.0	22.0
	5～9年	65	72.3	27.7
	3～4年	56	73.2	26.8
	2年以下	61	63.9	36.1
居住地区別	厚木北	138	79.7	20.3
	厚木南	68	70.6	29.4
	依知北	89	68.5	31.5
	依知南	60	75.0	25.0
	睦合北	64	70.3	29.7
	睦合南	84	75.0	25.0
	睦合西	45	71.1	28.9
	荻野	122	77.0	23.0
	小鮎	55	74.5	25.5
	南毛利	188	79.8	20.2
	南毛利南	55	69.1	30.9
	玉川	12	83.3	16.7
	相川	55	78.2	21.8
	緑ケ丘	23	60.9	39.1
	森の里	39	79.5	20.5
幸福度別	とても幸せ	137	94.9	5.1
	幸せ	391	88.5	11.5
	ふつう	500	65.0	35.0
	あまり幸せではない	53	37.7	62.3
	幸せではない	16	6.3	93.8

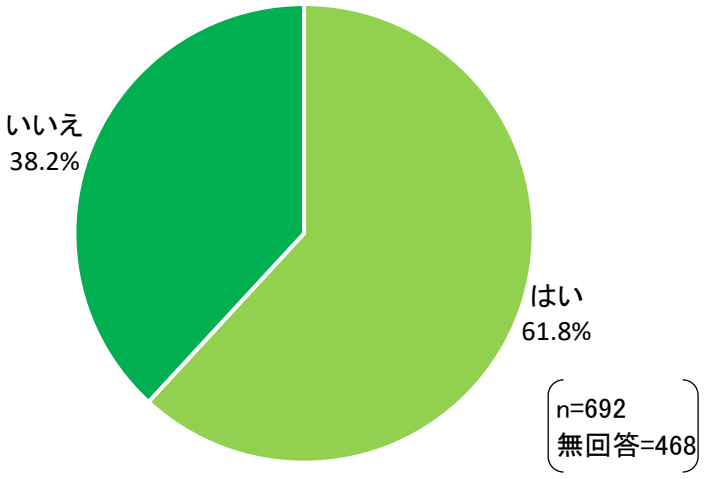
子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいますか。（B：問６）

子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合は、「はい」が61.8%となっており、「いいえ」が 38.2%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(74.7%)が男性(47.9%)より 26.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 67.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 84.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 68.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 80.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 79.3%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(52.1%)が女性(25.3%)より 26.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 87.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 64.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 56.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が 51.1%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		692	61.8	38.2
性別	男性	307	47.9	52.1
	女性	344	74.7	25.3
年齢別	10代	8	12.5	87.5
	20代	64	67.2	32.8
	30代	100	62.0	38.0
	40代	113	62.8	37.2
	50代	167	63.5	36.5
	60代	106	57.5	42.5
	70代	85	62.4	37.6
	80代以上	43	67.4	32.6
世帯構成別	夫婦	183	63.9	36.1
	親子（親との二世代）	111	59.5	40.5
	親子（子との二世代）	206	79.6	20.4
	親子孫（三世代）	19	84.2	15.8
	一人暮らし	135	35.6	64.4
	その他	26	42.3	57.7
居住年数別	20年以上（転入なし）	173	65.9	34.1
	20年以上（転入あり）	270	62.2	37.8
	10～19年（転入なし）	16	43.8	56.3
	10～19年（転入あり）	103	68.0	32.0
	5～9年	46	56.5	43.5
	3～4年	36	55.6	44.4
	2年以下	43	51.2	48.8
居住地区別	厚木北	77	58.4	41.6
	厚木南	45	48.9	51.1
	依知北	63	52.4	47.6
	依知南	32	68.8	31.3
	睦合北	36	66.7	33.3
	睦合南	58	69.0	31.0
	睦合西	33	57.6	42.4
	荻野	72	66.7	33.3
	小鮎	41	56.1	43.9
	南毛利	114	65.8	34.2
	南毛利南	34	67.6	32.4
	玉川	5	80.0	20.0
	相川	36	63.9	36.1
	緑ケ丘	16	56.3	43.8
	森の里	23	73.9	26.1
幸福度別	とても幸せ	92	79.3	20.7
	幸せ	255	75.3	24.7
	ふつう	296	50.7	49.3
	あまり幸せではない	29	31.0	69.0
	幸せではない	13	15.4	84.6

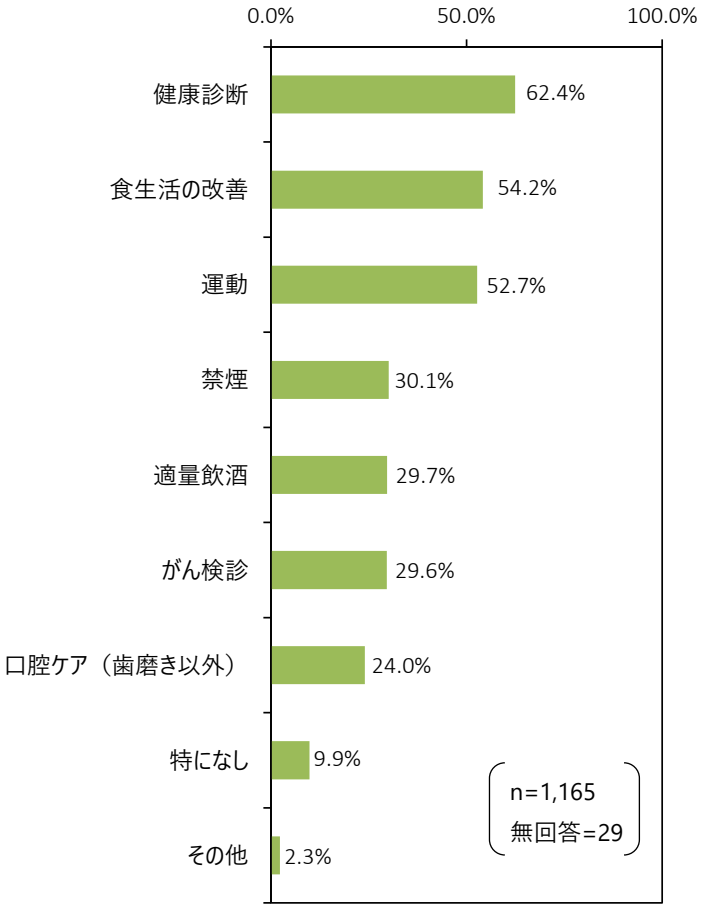
健康増進のために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（A：問５）

健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合は 90.1%となっており、項目としては、その他を除くと「健康診断」が 62.4%で最も高く、「口腔ケア（歯磨き以外）」が 24.0%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「健康診断」を性別で見ると、女性(62.9%)が男性(62.7%)より 0.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 69.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 67.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 65.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合南が 73.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 69.8%で最も高くなっている。

「口腔ケア（歯磨き以外）」を性別で見ると、女性(29.0%)が男性(19.8%)より 9.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 32.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 27.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 26.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 36.4%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 31.8%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	食生活の改善	運動	禁煙	適量飲酒	口腔ケア（歯磨き以外）	健康診断	がん検診	その他	特になし
全体		1,165	54.2	52.7	30.1	29.7	24.0	62.4	29.6	2.3	9.9
性別	男性	526	51.1	56.1	35.2	35.4	19.8	62.7	23.6	2.3	10.3
	女性	563	56.7	49.9	25.6	24.2	29.0	62.9	35.0	2.1	9.1
年齢別	10代	17	47.1	35.3	17.6	11.8	11.8	17.6	0.0	11.8	29.4
	20代	94	48.9	53.2	31.9	40.4	17.0	44.7	5.3	1.1	17.0
	30代	133	52.6	45.1	27.8	25.6	21.8	55.6	15.8	3.0	9.8
	40代	156	50.6	42.3	23.7	21.2	21.2	68.6	25.6	0.6	10.9
	50代	226	50.9	45.6	24.8	30.5	21.7	61.5	22.1	1.8	12.4
	60代	189	55.0	58.2	29.6	32.8	26.5	66.7	37.6	1.1	6.9
	70代	210	64.3	66.7	40.5	31.9	28.6	69.5	48.1	3.8	4.8
	80代以上	125	54.4	59.2	36.0	31.2	32.0	64.0	44.0	4.0	8.0
世帯構成別	夫婦	318	58.5	63.2	36.2	35.5	27.0	67.9	38.1	1.9	5.3
	親子（親との二世代）	176	50.6	50.6	22.7	26.1	21.0	51.1	21.0	2.3	13.6
	親子（子との二世代）	259	51.7	43.2	29.7	26.3	21.6	63.7	34.7	1.5	10.4
	親子孫（三世代）	49	44.9	46.9	22.4	30.6	26.5	63.3	34.7	4.1	8.2
	一人暮らし	276	57.2	53.3	30.4	29.7	25.4	64.1	22.8	2.9	12.0
	その他	63	47.6	50.8	31.7	23.8	20.6	58.7	19.0	3.2	9.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	273	53.8	55.3	29.3	27.1	24.9	61.9	31.9	1.8	10.6
	20年以上（転入あり）	508	54.9	54.3	31.5	32.5	26.8	65.6	35.4	2.8	8.5
	10～19年（転入なし）	18	44.4	38.9	22.2	33.3	11.1	33.3	11.1	5.6	27.8
	10～19年（転入あり）	154	54.5	51.3	31.2	22.1	18.8	61.7	22.7	0.6	9.1
	5～9年	71	54.9	39.4	29.6	33.8	22.5	59.2	21.1	2.8	11.3
	3～4年	67	56.7	47.8	31.3	29.9	22.4	58.2	13.4	1.5	11.9
	2年以下	56	53.6	60.7	26.8	33.9	19.6	57.1	19.6	1.8	10.7
居住地区別	厚木北	143	55.2	59.4	32.9	27.3	25.9	62.9	29.4	0.7	9.8
	厚木南	76	60.5	59.2	32.9	38.2	27.6	65.8	32.9	2.6	3.9
	依知北	88	50.0	47.7	26.1	20.5	18.2	64.8	30.7	2.3	12.5
	依知南	59	49.2	49.2	27.1	44.1	22.0	62.7	27.1	1.7	8.5
	睦合北	52	50.0	51.9	28.8	21.2	25.0	59.6	32.7	1.9	15.4
	睦合南	82	59.8	51.2	25.6	30.5	30.5	73.2	34.1	2.4	7.3
	睦合西	37	48.6	37.8	27.0	29.7	18.9	64.9	29.7	2.7	16.2
	荻野	118	55.9	52.5	29.7	28.8	21.2	58.5	28.0	4.2	11.0
	小鮎	73	54.8	52.1	31.5	35.6	16.4	60.3	28.8	1.4	8.2
	南毛利	212	54.7	50.9	32.5	27.4	24.5	63.2	29.7	2.4	9.4
	南毛利南	68	55.9	54.4	26.5	35.3	26.5	55.9	26.5	4.4	7.4
	玉川	16	43.8	50.0	31.3	18.8	12.5	62.5	37.5	0.0	12.5
	相川	72	55.6	51.4	38.9	33.3	30.6	59.7	27.8	2.8	13.9
	緑ケ丘	21	42.9	57.1	14.3	23.8	14.3	71.4	33.3	0.0	9.5
	森の里	33	51.5	63.6	36.4	27.3	36.4	54.5	27.3	3.0	3.0
幸福度別	とても幸せ	154	63.0	64.3	37.7	32.5	31.8	66.2	35.1	0.6	4.5
	幸せ	430	59.8	59.1	33.5	35.6	28.4	69.8	34.7	2.3	4.2
	ふつう	508	47.4	45.5	25.8	25.0	18.9	56.9	25.8	2.8	15.2
	あまり幸せではない	44	54.5	43.2	18.2	20.5	20.5	56.8	20.5	4.5	13.6
	幸せではない	18	38.9	27.8	50.0	33.3	16.7	27.8	0.0	0.0	27.8

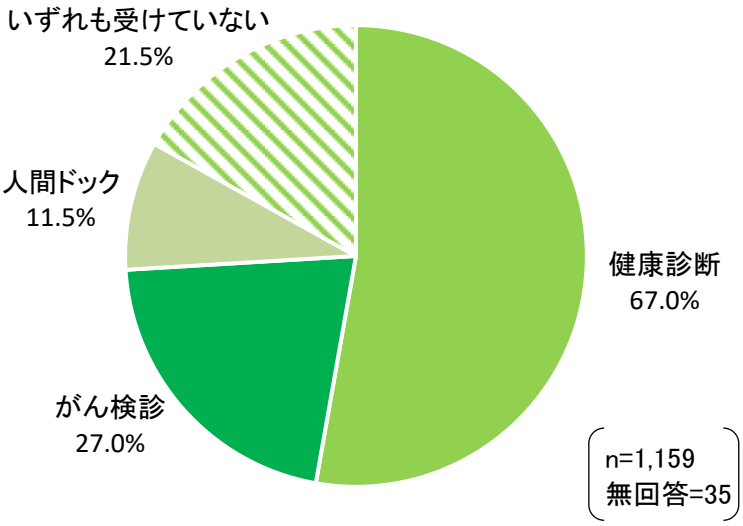
過去１年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けましたか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（A：問６）

過去１年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合は、78.5％となっており、項目としては「健康診断」が 67.0％で最も高く、「人間ドック」が 11.5％で最も低くなっている。

【クロス集計】

「健康診断」を性別で見ると、男性(68.2％)が女性(66.3％)より 1.9 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30 代が 77.3％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦及び一人暮らしが同率で 68.6％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 75.0％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合南が 78.3％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 72.4％で最も高くなっている。

「人間ドック」を性別で見ると、男性(14.1％)が女性(9.6％)より 4.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、40 代が 19.9％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 14.0％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9 年が 14.3％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 37.5％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、あまり幸せではないが 15.9％で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	健康診断	がん検診	人間ドック	いずれも受けていない
全体		1,159	67.0	27.0	11.5	21.5
性別	男性	525	68.2	19.6	14.1	20.8
	女性	561	66.3	33.9	9.6	21.9
年齢別	10代	17	41.2	0.0	5.9	52.9
	20代	94	70.2	6.4	1.1	26.6
	30代	132	77.3	12.9	6.8	18.2
	40代	156	65.4	22.4	19.9	17.9
	50代	225	68.9	23.1	15.1	18.7
	60代	190	64.7	32.6	17.4	18.4
	70代	208	65.4	41.8	8.7	21.2
	80代以上	123	61.0	41.5	4.1	32.5
世帯構成別	夫婦	318	68.6	34.6	13.2	16.7
	親子（親との二世代）	174	64.9	20.1	9.2	27.6
	親子（子との二世代）	257	66.1	31.1	12.8	21.0
	親子孫（三世代）	50	64.0	34.0	14.0	16.0
	一人暮らし	274	68.6	20.8	9.5	23.0
	その他	63	65.1	12.7	11.1	25.4
居住年数別	20年以上（転入なし）	272	68.0	26.8	11.8	22.1
	20年以上（転入あり）	504	66.7	32.5	11.3	20.0
	10～19年（転入なし）	18	61.1	11.1	5.6	33.3
	10～19年（転入あり）	155	63.9	21.3	12.9	25.2
	5～9年	70	65.7	15.7	14.3	22.9
	3～4年	67	73.1	17.9	7.5	17.9
	2年以下	56	75.0	19.6	8.9	19.6
居住地区別	厚木北	142	60.6	25.4	14.8	21.1
	厚木南	74	66.2	35.1	17.6	14.9
	依知北	88	71.6	25.0	14.8	20.5
	依知南	59	67.8	20.3	15.3	23.7
	睦合北	52	67.3	21.2	5.8	26.9
	睦合南	83	78.3	34.9	6.0	14.5
	睦合西	37	70.3	29.7	13.5	18.9
	荻野	116	64.7	25.9	6.9	25.9
	小鮎	73	68.5	26.0	6.8	21.9
	南毛利	213	68.1	28.2	11.3	21.6
	南毛利南	67	59.7	23.9	10.4	23.9
	玉川	16	62.5	18.8	37.5	12.5
	相川	71	73.2	29.6	8.5	18.3
	緑ケ丘	21	66.7	28.6	14.3	19.0
	森の里	33	57.6	24.2	12.1	33.3
幸福度別	とても幸せ	152	72.4	32.2	15.8	15.8
	幸せ	429	70.2	29.8	12.1	15.9
	ふつう	505	63.6	25.0	9.7	26.5
	あまり幸せではない	44	63.6	13.6	15.9	27.3
	幸せではない	19	52.6	5.3	0.0	47.4

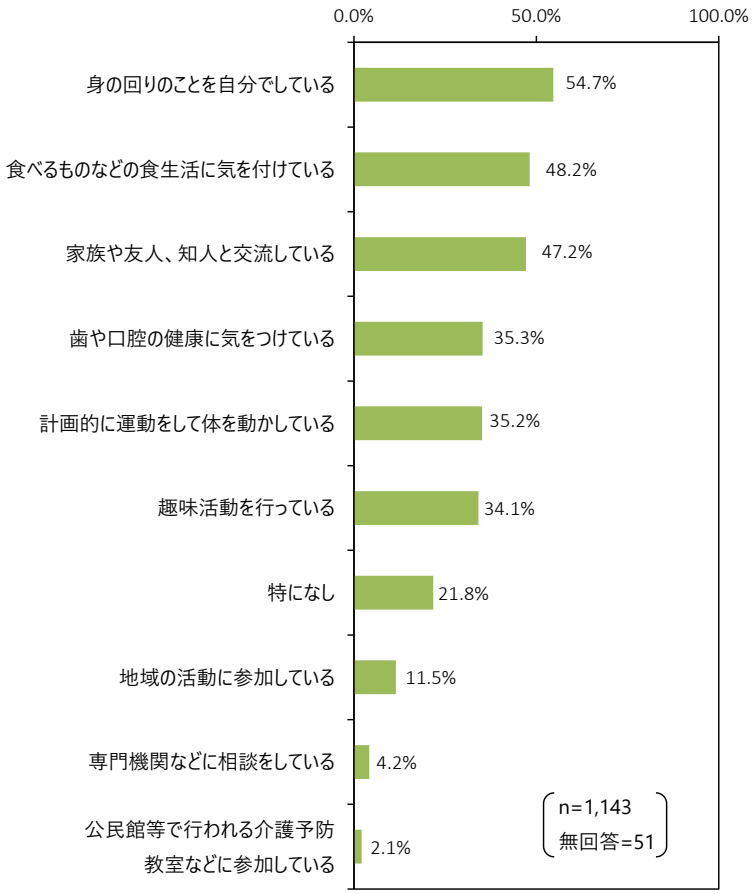
認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（A：問７）

認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることがある市民の割合は 78.2%となっており、項目としては、「身の回りのことを自分でしている」が 54.7%で最も高く、「公民館等で行われる介護予防教室などに参加している」が 2.1%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「身の回りのことを自分でしている」を性別で見ると、女性(60.2%)が男性(48.8%)より 11.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 82.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 61.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 63.5%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 66.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 59.3%で最も高くなっている。

「公民館等で行われる介護予防教室などに参加している」を性別で見ると、女性(2.5%)が男性(1.9%)より 0.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 9.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 4.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 3.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 6.1%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、あまり幸せではないが 4.4%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	公民館等で行われる介護予防教室などに参加している	計画的に運動をして体を動かしている	食べるものなどの食生活に気を付けている	趣味活動を行っている	歯や口腔の健康に気をつけている	専門機関などに相談をしている	身の回りのことを自分でしている	家族や友人、知人と交流している	地域の活動に参加している	特になし
全体		1,143	2.1	35.2	48.2	34.1	35.3	4.2	54.7	47.2	11.5	21.8
性別	男性	514	1.9	38.5	41.6	36.8	30.0	3.1	48.8	36.8	10.7	23.9
	女性	553	2.5	33.1	54.6	32.2	40.5	4.7	60.2	56.8	11.9	19.7
年齢別	10代	17	5.9	35.3	23.5	35.3	17.6	0.0	35.3	35.3	0.0	23.5
	20代	92	0.0	29.3	29.3	41.3	21.7	0.0	32.6	43.5	3.3	40.2
	30代	128	0.8	23.4	33.6	32.8	18.8	3.1	32.0	39.1	3.1	39.1
	40代	150	0.7	20.7	40.7	25.3	28.0	2.0	38.0	31.3	4.7	32.0
	50代	217	0.9	24.4	45.2	27.2	30.0	4.6	46.1	40.1	7.4	30.0
	60代	189	1.1	40.7	54.5	37.6	41.3	3.2	66.1	51.9	13.8	13.8
	70代	211	2.4	54.0	63.5	39.8	49.3	3.8	82.5	62.6	20.9	3.3
	80代以上	125	9.6	48.8	61.6	40.0	49.6	12.8	70.4	58.4	25.6	5.6
世帯構成別	夫婦	316	1.3	45.3	54.1	37.7	40.8	4.4	58.2	53.5	17.4	14.2
	親子（親との二世代）	167	2.4	31.7	40.1	37.1	27.5	1.8	41.3	44.3	7.8	27.5
	親子（子との二世代）	256	2.3	27.7	47.3	25.8	35.2	3.9	52.0	43.0	10.9	27.7
	親子孫（三世代）	48	4.2	35.4	37.5	35.4	33.3	10.4	58.3	56.3	16.7	18.8
	一人暮らし	270	1.9	34.8	50.7	36.7	33.7	4.1	61.9	43.3	7.8	20.4
	その他	62	3.2	32.3	38.7	37.1	33.9	4.8	50.0	50.0	6.5	29.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	265	2.3	34.7	50.9	32.1	32.8	4.5	53.2	49.4	14.3	23.0
	20年以上（転入あり）	502	2.4	41.4	53.4	36.1	41.4	5.2	63.5	52.0	13.3	16.3
	10～19年（転入なし）	18	0.0	27.8	38.9	55.6	33.3	5.6	44.4	50.0	5.6	22.2
	10～19年（転入あり）	151	2.6	31.1	41.1	31.8	34.4	2.6	45.0	39.7	10.6	23.8
	5～9年	69	0.0	17.4	43.5	34.8	27.5	2.9	43.5	40.6	7.2	30.4
	3～4年	64	0.0	21.9	34.4	26.6	15.6	0.0	40.6	34.4	3.1	40.6
	2年以下	56	3.6	32.1	37.5	39.3	28.6	3.6	41.1	33.9	3.6	23.2
居住地区別	厚木北	140	1.4	42.1	52.9	35.0	40.7	6.4	55.7	42.1	8.6	17.9
	厚木南	74	5.4	43.2	51.4	32.4	36.5	5.4	59.5	48.6	12.2	17.6
	依知北	87	2.3	27.6	41.4	23.0	29.9	2.3	50.6	42.5	9.2	29.9
	依知南	56	0.0	30.4	50.0	21.4	37.5	1.8	51.8	37.5	12.5	25.0
	睦合北	49	0.0	32.7	36.7	53.1	34.7	2.0	59.2	44.9	8.2	20.4
	睦合南	84	2.4	40.5	52.4	40.5	39.3	3.6	57.1	57.1	11.9	13.1
	睦合西	38	0.0	31.6	36.8	44.7	39.5	0.0	47.4	55.3	13.2	26.3
	荻野	114	2.6	34.2	49.1	39.5	31.6	6.1	57.9	47.4	10.5	23.7
	小鮎	73	0.0	27.4	47.9	26.0	31.5	5.5	42.5	47.9	16.4	23.3
	南毛利	208	2.4	33.7	50.5	36.5	36.1	3.8	60.1	52.9	12.5	16.3
	南毛利南	68	4.4	35.3	47.1	29.4	33.8	4.4	48.5	47.1	10.3	26.5
	玉川	15	0.0	33.3	46.7	13.3	6.7	0.0	60.0	46.7	6.7	40.0
	相川	69	0.0	37.7	46.4	26.1	36.2	4.3	47.8	42.0	7.2	34.8
	緑ケ丘	21	4.8	23.8	42.9	47.6	28.6	4.8	66.7	52.4	19.0	19.0
	森の里	33	6.1	48.5	54.5	48.5	39.4	3.0	51.5	36.4	30.3	15.2
幸福度別	とても幸せ	150	2.7	46.7	58.0	42.7	42.0	5.3	59.3	62.0	19.3	17.3
	幸せ	424	1.9	40.8	53.1	40.6	41.0	4.5	56.1	54.5	14.9	17.5
	ふつう	495	2.0	29.1	43.0	26.3	29.5	3.4	52.7	38.6	7.9	25.5
	あまり幸せではない	45	4.4	20.0	35.6	33.3	26.7	6.7	55.6	33.3	2.2	28.9
	幸せではない	18	0.0	16.7	33.3	38.9	27.8	0.0	38.9	22.2	0.0	33.3

2-3-3　成長政策

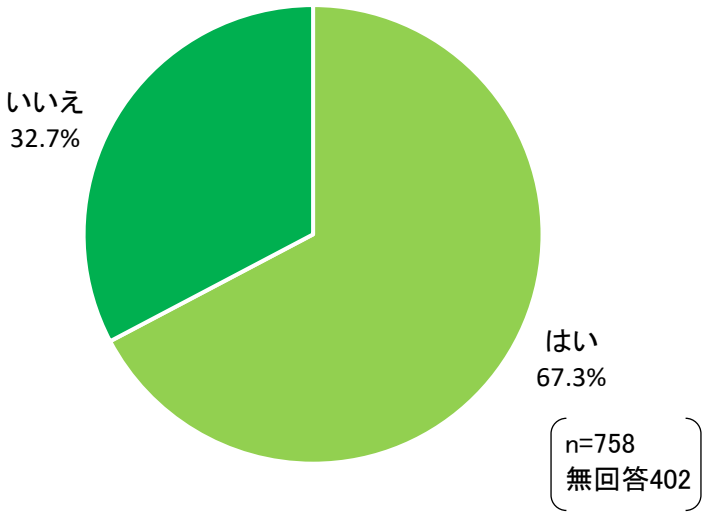
こどもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思いますか。（B：問７）

こどもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合は、「はい」が 67.3%となっており、「いいえ」が 32.7%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(74.5%)が男性(60.4%)より 14.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50 代が 73.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）及び親子孫（三世代）が同率で 84.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 73.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 76.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 84.0%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(39.6%)が女性(25.5%)より 14.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 43.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 48.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 50.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 42.9%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		758	67.3	32.7
性別	男性	328	60.4	39.6
	女性	381	74.5	25.5
年齢別	10代	11	63.6	36.4
	20代	66	68.2	31.8
	30代	101	66.3	33.7
	40代	112	73.2	26.8
	50代	172	73.3	26.7
	60代	119	64.7	35.3
	70代	111	56.8	43.2
	80代以上	57	68.4	31.6
世帯構成別	夫婦	207	66.7	33.3
	親子（親との二世代）	123	60.2	39.8
	親子（子との二世代）	212	84.0	16.0
	親子孫（三世代）	25	84.0	16.0
	一人暮らし	147	51.7	48.3
	その他	28	57.1	42.9
居住年数別	20年以上（転入なし）	190	71.1	28.9
	20年以上（転入あり）	309	66.3	33.7
	10～19年（転入なし）	19	73.7	26.3
	10～19年（転入あり）	105	72.4	27.6
	5～9年	48	66.7	33.3
	3～4年	36	66.7	33.3
	2年以下	42	50.0	50.0
居住地区別	厚木北	83	66.3	33.7
	厚木南	46	63.0	37.0
	依知北	63	60.3	39.7
	依知南	39	74.4	25.6
	睦合北	41	73.2	26.8
	睦合南	59	66.1	33.9
	睦合西	33	60.6	39.4
	荻野	81	67.9	32.1
	小鮎	41	70.7	29.3
	南毛利	133	69.9	30.1
	南毛利南	33	69.7	30.3
	玉川	7	57.1	42.9
	相川	40	72.5	27.5
	緑ケ丘	18	61.1	38.9
	森の里	30	76.7	23.3
幸福度別	とても幸せ	106	84.0	16.0
	幸せ	271	78.2	21.8
	ふつう	326	59.2	40.8
	あまり幸せではない	31	29.0	71.0
	幸せではない	13	15.4	84.6

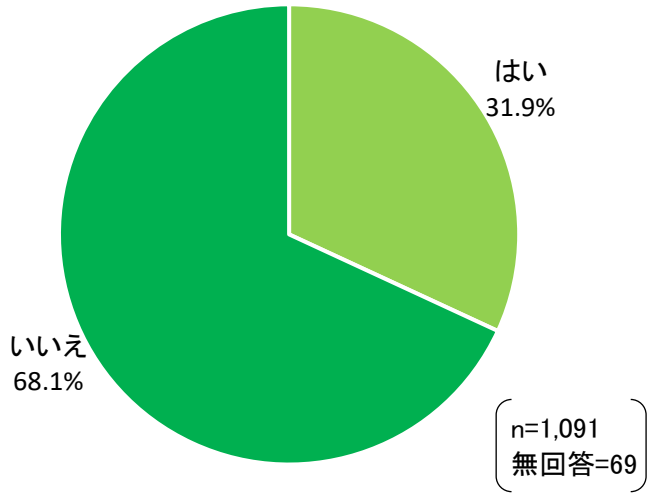
過去１年間に、行事や貸館で公民館を利用しましたか。（B：問８）

過去１年間に、行事や貸館で公民館を利用した市民の割合は、「はい」が 31.9%となっており、「いいえ」が 68.1%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(34.3%)が男性(28.0%)より 6.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 46.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 42.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 36.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 72.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 43.6%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(72.0%)が女性(65.7%)より 6.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 81.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 82.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 78.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が 75.8%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,091	31.9	68.1
性別	男性	447	28.0	72.0
	女性	568	34.3	65.7
年齢別	10代	13	30.8	69.2
	20代	85	18.8	81.2
	30代	121	27.3	72.7
	40代	144	31.9	68.1
	50代	226	23.9	76.1
	60代	163	27.6	72.4
	70代	207	46.9	53.1
	80代以上	111	38.7	61.3
世帯構成別	夫婦	326	36.5	63.5
	親子（親との二世代）	173	20.8	79.2
	親子（子との二世代）	258	42.6	57.4
	親子孫（三世代）	31	41.9	58.1
	一人暮らし	232	22.0	78.0
	その他	41	17.1	82.9
居住年数別	20年以上（転入なし）	257	32.7	67.3
	20年以上（転入あり）	471	32.9	67.1
	10～19年（転入なし）	23	34.8	65.2
	10～19年（転入あり）	139	36.0	64.0
	5～9年	66	22.7	77.3
	3～4年	56	23.2	76.8
	2年以下	60	21.7	78.3
居住地区別	厚木北	133	24.8	75.2
	厚木南	66	24.2	75.8
	依知北	85	25.9	74.1
	依知南	55	32.7	67.3
	睦合北	63	33.3	66.7
	睦合南	84	29.8	70.2
	睦合西	45	33.3	66.7
	荻野	121	30.6	69.4
	小鮎	56	32.1	67.9
	南毛利	177	37.3	62.7
	南毛利南	55	29.1	70.9
	玉川	11	72.7	27.3
	相川	54	33.3	66.7
	緑ケ丘	23	34.8	65.2
	森の里	40	37.5	62.5
幸福度別	とても幸せ	133	43.6	56.4
	幸せ	379	36.1	63.9
	ふつう	488	25.8	74.2
	あまり幸せではない	50	20.0	80.0
	幸せではない	18	16.7	83.3

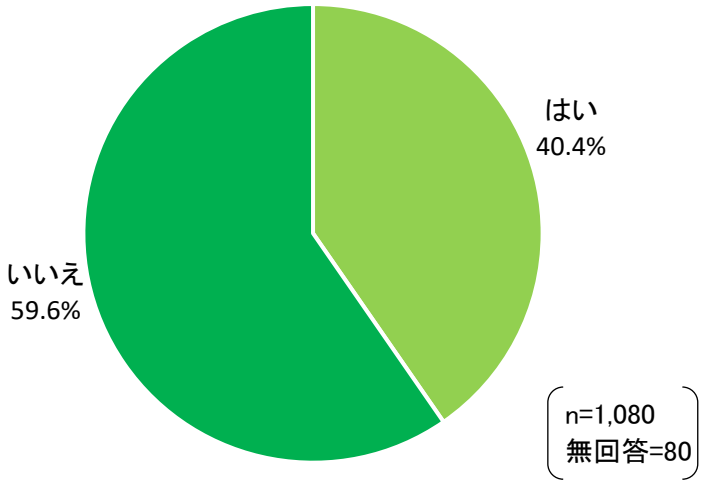
過去１年間に、地域や学校の行事に参加又は協力しましたか。（B：問９）

過去１年間に、地域や学校の行事に参加又は協力した市民の割合は、「はい」が 40.4％となっており、「いいえ」が 59.6％となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(44.8％)が男性(35.0％)より 9.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、40 代が 51.0％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 64.5％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 56.5％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 72.7％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 55.2％で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(65.0％)が女性(55.2％)より 9.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 77.9％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 85.4％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 78.7％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が 72.7％で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,080	40.4	59.6
性別	男性	448	35.0	65.0
	女性	558	44.8	55.2
年齢別	10代	13	46.2	53.8
	20代	86	22.1	77.9
	30代	120	35.0	65.0
	40代	143	51.0	49.0
	50代	227	35.2	64.8
	60代	163	39.9	60.1
	70代	203	48.3	51.7
	80代以上	105	41.0	59.0
世帯構成別	夫婦	323	43.0	57.0
	親子（親との二世代）	172	30.2	69.8
	親子（子との二世代）	256	62.1	37.9
	親子孫（三世代）	31	64.5	35.5
	一人暮らし	227	21.1	78.9
	その他	41	14.6	85.4
居住年数別	20年以上（転入なし）	257	42.0	58.0
	20年以上（転入あり）	460	40.0	60.0
	10～19年（転入なし）	23	56.5	43.5
	10～19年（転入あり）	138	49.3	50.7
	5～9年	66	34.8	65.2
	3～4年	56	32.1	67.9
	2年以下	61	21.3	78.7
居住地区別	厚木北	133	36.8	63.2
	厚木南	66	27.3	72.7
	依知北	85	31.8	68.2
	依知南	54	42.6	57.4
	睦合北	61	41.0	59.0
	睦合南	84	35.7	64.3
	睦合西	44	43.2	56.8
	荻野	118	40.7	59.3
	小鮎	55	45.5	54.5
	南毛利	177	47.5	52.5
	南毛利南	54	29.6	70.4
	玉川	11	72.7	27.3
	相川	53	39.6	60.4
	緑ケ丘	23	43.5	56.5
	森の里	39	56.4	43.6
幸福度別	とても幸せ	134	55.2	44.8
	幸せ	373	45.8	54.2
	ふつう	484	33.7	66.3
	あまり幸せではない	49	20.4	79.6
	幸せではない	18	27.8	72.2

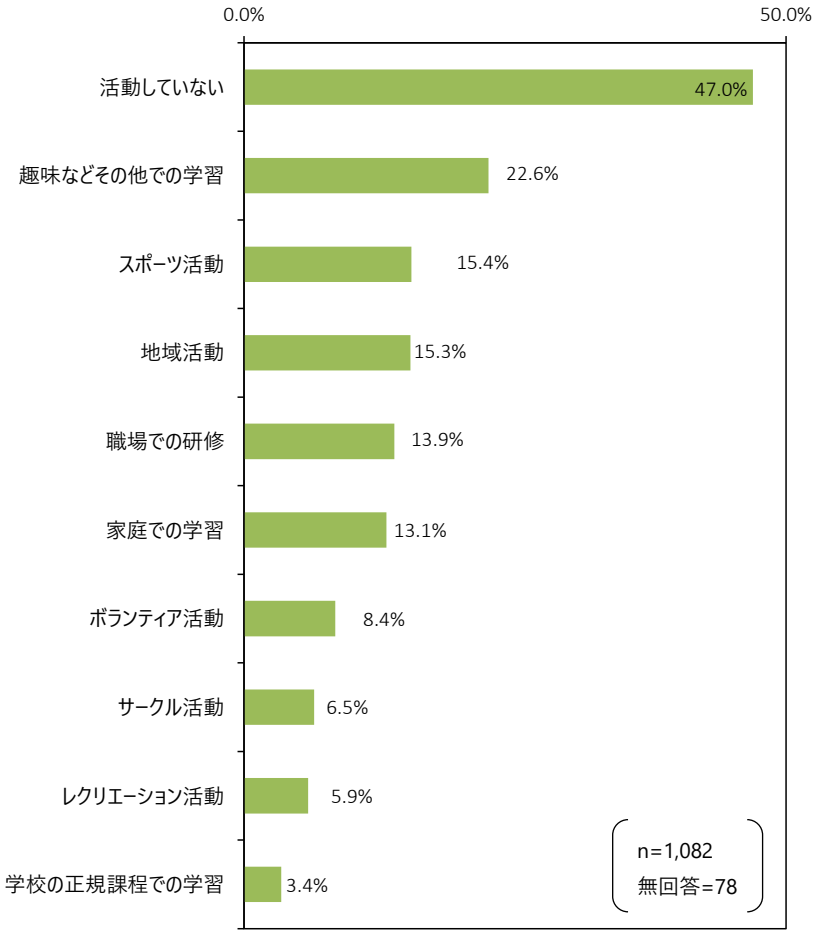
過去１年間に、生涯学習活動をしましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。（B：問 10）

過去１年間に、生涯学習活動を行った市民の割合は 53.0％となっている。項目別では「活動していない」が 47.0％で最も高く、「学校の正規課程での学習」が 3.4％で最も低くなっている。

【クロス集計】

「スポーツ活動」を性別で見ると、男性(15.6％)が女性(15.3％)より 0.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 38.5％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 25.0％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 26.1％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 30.0％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 21.7％で最も高くなっている。

「学校の正規課程での学習」を性別で見ると、女性(3.6％)が男性(3.5％)より 0.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 53.8％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 9.4％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 26.1％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 8.7％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 7.4％で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	学校の正規課程での学習	家庭での学習	地域活動	ボランティア活動	職場での研修	サークル活動	スポーツ活動	レクリエーション活動	趣味などその他での学習	活動していない
全体		1,082	3.4	13.1	15.3	8.4	13.9	6.5	15.4	5.9	22.6	47.0
性別	男性	454	3.5	12.6	13.4	8.6	12.8	5.1	15.6	4.6	22.0	50.2
	女性	556	3.6	14.2	17.1	7.7	15.5	7.2	15.3	6.8	23.7	43.9
年齢別	10代	13	53.8	23.1	7.7	7.7	0.0	7.7	38.5	7.7	38.5	30.8
	20代	85	9.4	25.9	4.7	1.2	23.5	4.7	18.8	4.7	27.1	47.1
	30代	121	7.4	19.8	14.0	7.4	18.2	4.1	13.2	5.8	23.1	43.8
	40代	141	6.4	17.7	19.1	5.0	25.5	4.3	18.4	7.8	20.6	39.7
	50代	229	0.9	10.5	13.5	7.4	18.8	4.4	11.4	5.7	21.4	50.2
	60代	166	0.6	9.0	16.9	9.6	9.6	2.4	9.6	3.0	18.1	59.6
	70代	203	0.5	9.9	20.2	12.3	4.9	11.8	21.7	8.4	24.1	39.9
	80代以上	103	0.0	7.8	15.5	12.6	1.9	12.6	15.5	5.8	25.2	48.5
世帯構成別	夫婦	325	0.9	11.4	17.8	9.8	9.2	8.9	19.1	5.5	25.5	43.7
	親子（親との二世代）	171	7.0	14.6	8.2	7.0	17.5	4.7	12.3	5.3	26.9	46.2
	親子（子との二世代）	256	5.1	19.1	20.7	9.0	20.3	5.5	17.6	7.4	19.5	38.7
	親子孫（三世代）	32	9.4	15.6	21.9	12.5	9.4	6.3	25.0	6.3	25.0	46.9
	一人暮らし	230	2.2	8.7	11.3	7.0	13.5	5.7	11.7	4.8	19.6	59.1
	その他	40	2.5	10.0	10.0	0.0	5.0	5.0	5.0	10.0	12.5	57.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	254	4.7	15.4	19.7	12.6	11.8	5.9	18.1	8.3	19.7	46.5
	20年以上（転入あり）	469	0.6	9.6	14.3	7.7	12.6	7.2	14.5	4.9	23.2	46.9
	10～19年（転入なし）	23	26.1	17.4	13.0	8.7	13.0	0.0	26.1	13.0	34.8	39.1
	10～19年（転入あり）	138	7.2	15.9	18.8	6.5	18.8	3.6	11.6	7.2	19.6	43.5
	5～9年	63	3.2	22.2	12.7	7.9	14.3	6.3	19.0	3.2	25.4	44.4
	3～4年	56	3.6	10.7	16.1	1.8	17.9	10.7	8.9	1.8	30.4	55.4
	2年以下	61	3.3	18.0	3.3	6.6	19.7	4.9	21.3	6.6	21.3	54.1
居住地区別	厚木北	134	3.0	14.2	6.7	8.2	12.7	6.0	17.9	6.0	24.6	45.5
	厚木南	65	1.5	12.3	0.0	3.1	9.2	1.5	15.4	1.5	27.7	56.9
	依知北	88	2.3	14.8	12.5	6.8	13.6	3.4	12.5	5.7	19.3	52.3
	依知南	51	3.9	5.9	21.6	2.0	13.7	3.9	9.8	13.7	21.6	47.1
	睦合北	57	1.8	10.5	15.8	1.8	8.8	1.8	10.5	7.0	10.5	57.9
	睦合南	83	4.8	15.7	16.9	9.6	7.2	3.6	8.4	7.2	25.3	53.0
	睦合西	45	2.2	11.1	28.9	8.9	26.7	8.9	22.2	2.2	20.0	35.6
	荻野	123	3.3	10.6	17.1	10.6	14.6	5.7	16.3	4.9	21.1	47.2
	小鮎	55	5.5	9.1	16.4	10.9	16.4	7.3	12.7	1.8	16.4	47.3
	南毛利	180	4.4	13.3	18.9	11.1	17.2	9.4	16.1	6.7	27.2	41.7
	南毛利南	56	1.8	19.6	14.3	7.1	19.6	5.4	21.4	3.6	28.6	41.1
	玉川	10	0.0	40.0	50.0	30.0	20.0	30.0	30.0	40.0	50.0	10.0
	相川	54	1.9	13.0	14.8	11.1	11.1	9.3	18.5	5.6	13.0	55.6
	緑ケ丘	23	8.7	13.0	17.4	4.3	8.7	4.3	8.7	8.7	8.7	56.5
	森の里	38	7.9	18.4	23.7	7.9	13.2	10.5	23.7	5.3	28.9	28.9
幸福度別	とても幸せ	135	7.4	15.6	23.0	8.1	11.9	8.9	20.7	11.1	27.4	36.3
	幸せ	378	3.4	17.7	19.6	12.2	17.2	8.7	21.7	6.6	28.3	36.5
	ふつう	479	2.5	10.6	11.1	6.1	12.1	4.0	11.5	4.4	17.1	56.8
	あまり幸せではない	49	2.0	2.0	8.2	2.0	12.2	0.0	2.0	2.0	14.3	65.3
	幸せではない	17	0.0	5.9	11.8	5.9	11.8	5.9	0.0	11.8	17.6	52.9

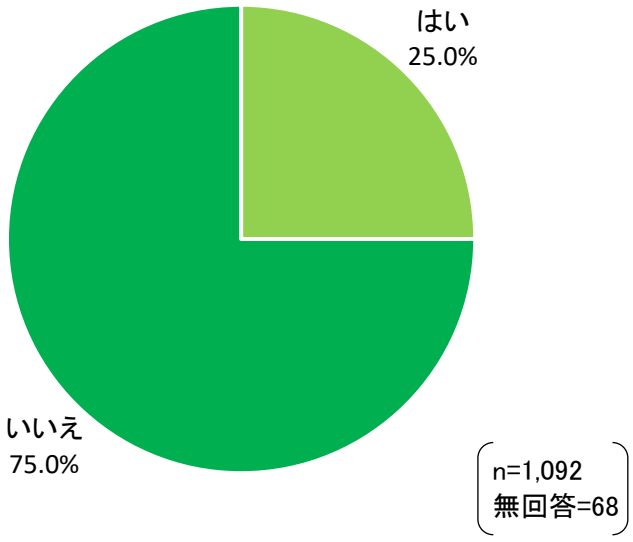
過去１年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用しましたか。（B：問 11）

過去１年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用した市民の割合は、「はい」が 25.0%となっており、「いいえ」が 75.0%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(28.9%)が男性(21.1%)より 7.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 41.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 32.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 39.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 41.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 33.1%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(78.9%)が女性(71.1%)より 7.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60 代が 77.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 84.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 76.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が 88.1%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,092	25.0	75.0
性別	男性	456	21.1	78.9
	女性	567	28.9	71.1
年齢別	10代	12	41.7	58.3
	20代	86	24.4	75.6
	30代	121	26.4	73.6
	40代	142	26.8	73.2
	50代	232	24.6	75.4
	60代	172	22.1	77.9
	70代	205	26.8	73.2
	80代以上	103	24.3	75.7
世帯構成別	夫婦	328	29.6	70.4
	親子（親との二世代）	171	23.4	76.6
	親子（子との二世代）	254	32.3	67.7
	親子孫（三世代）	32	25.0	75.0
	一人暮らし	236	15.7	84.3
	その他	43	16.3	83.7
居住年数別	20年以上（転入なし）	257	24.9	75.1
	20年以上（転入あり）	471	24.0	76.0
	10～19年（転入なし）	23	39.1	60.9
	10～19年（転入あり）	141	24.8	75.2
	5～9年	65	27.7	72.3
	3～4年	57	26.3	73.7
	2年以下	62	29.0	71.0
居住地区別	厚木北	138	35.5	64.5
	厚木南	67	34.3	65.7
	依知北	87	14.9	85.1
	依知南	51	27.5	72.5
	睦合北	59	11.9	88.1
	睦合南	87	18.4	81.6
	睦合西	45	17.8	82.2
	荻野	122	18.0	82.0
	小鮎	52	21.2	78.8
	南毛利	180	27.2	72.8
	南毛利南	54	27.8	72.2
	玉川	12	41.7	58.3
	相川	55	25.5	74.5
	緑ケ丘	23	39.1	60.9
	森の里	41	41.5	58.5
幸福度別	とても幸せ	133	33.1	66.9
	幸せ	375	29.6	70.4
	ふつう	495	20.2	79.8
	あまり幸せではない	51	15.7	84.3
	幸せではない	17	17.6	82.4

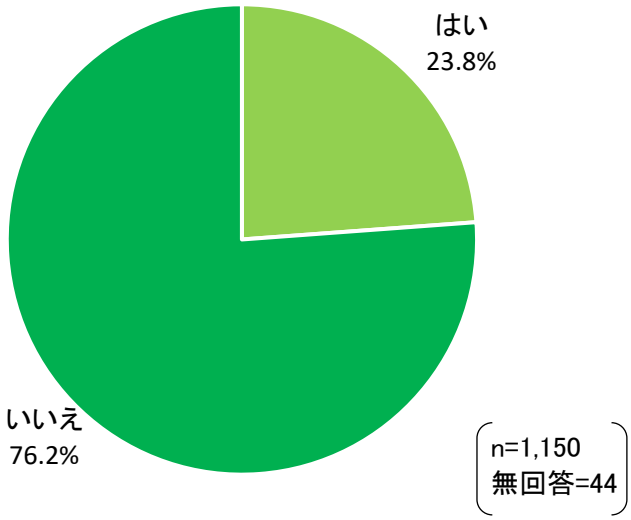
過去１年間に、市内で文化芸術に触れましたか。（A：問９）

過去１年間に、市内で文化芸術に触れた市民の割合は、「はい」が 23.8%となっており、「いいえ」が 76.2%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(29.7%)が男性(18.3%)より 11.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 35.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 32.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 25.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が 34.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 35.9%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(81.7%)が女性(70.3%)より 11.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、40 代が 81.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 82.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 81.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 93.8%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,150	23.8	76.2
性別	男性	518	18.3	81.7
	女性	555	29.7	70.3
年齢別	10代	17	35.3	64.7
	20代	93	29.0	71.0
	30代	134	21.6	78.4
	40代	155	18.1	81.9
	50代	222	19.4	80.6
	60代	187	26.7	73.3
	70代	207	26.6	73.4
	80代以上	121	28.1	71.9
世帯構成別	夫婦	313	32.6	67.4
	親子（親との二世代）	175	24.0	76.0
	親子（子との二世代）	258	20.9	79.1
	親子孫（三世代）	47	27.7	72.3
	一人暮らし	273	17.2	82.8
	その他	61	23.0	77.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	268	25.0	75.0
	20年以上（転入あり）	498	24.9	75.1
	10～19年（転入なし）	18	22.2	77.8
	10～19年（転入あり）	155	20.0	80.0
	5～9年	70	21.4	78.6
	3～4年	67	25.4	74.6
	2年以下	55	18.2	81.8
居住地区別	厚木北	144	21.5	78.5
	厚木南	76	34.2	65.8
	依知北	86	18.6	81.4
	依知南	56	19.6	80.4
	睦合北	51	25.5	74.5
	睦合南	84	22.6	77.4
	睦合西	36	22.2	77.8
	荻野	118	27.1	72.9
	小鮎	71	19.7	80.3
	南毛利	209	25.8	74.2
	南毛利南	67	26.9	73.1
	玉川	16	6.3	93.8
	相川	69	21.7	78.3
	緑ケ丘	22	22.7	77.3
	森の里	31	29.0	71.0
幸福度別	とても幸せ	153	35.9	64.1
	幸せ	424	28.8	71.2
	ふつう	500	17.0	83.0
	あまり幸せではない	43	11.6	88.4
	幸せではない	19	15.8	84.2

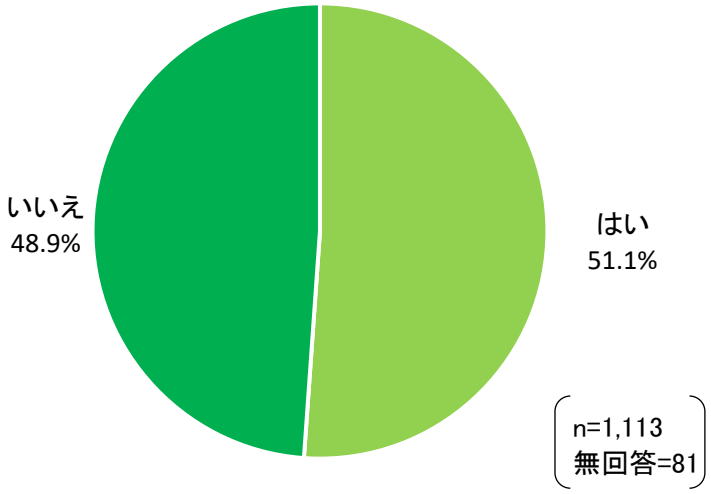
厚木の郷土文化に興味がありますか。（A：問 10）

厚木の郷土文化に興味がある市民の割合は、「はい」が 51.1%となっており、「いいえ」が 48.9%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(53.2%)が男性(49.6%)より 3.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 60.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 58.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 55.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が 58.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 72.0%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(50.4%)が女性(46.8%)より 3.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 64.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 61.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 66.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 68.8%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,113	51.1	48.9
性別	男性	510	49.6	50.4
	女性	534	53.2	46.8
年齢別	10代	17	35.3	64.7
	20代	94	37.2	62.8
	30代	135	44.4	55.6
	40代	155	50.3	49.7
	50代	217	52.5	47.5
	60代	183	54.1	45.9
	70代	192	57.3	42.7
	80代以上	107	60.7	39.3
世帯構成別	夫婦	302	58.6	41.4
	親子（親との二世代）	175	42.9	57.1
	親子（子との二世代）	249	51.4	48.6
	親子孫（三世代）	45	44.4	55.6
	一人暮らし	262	52.7	47.3
	その他	59	39.0	61.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	259	52.1	47.9
	20年以上（転入あり）	472	54.4	45.6
	10～19年（転入なし）	18	33.3	66.7
	10～19年（転入あり）	153	46.4	53.6
	5～9年	70	45.7	54.3
	3～4年	67	44.8	55.2
	2年以下	56	55.4	44.6
居住地区別	厚木北	142	51.4	48.6
	厚木南	71	54.9	45.1
	依知北	84	47.6	52.4
	依知南	53	47.2	52.8
	睦合北	47	44.7	55.3
	睦合南	78	43.6	56.4
	睦合西	36	47.2	52.8
	荻野	116	57.8	42.2
	小鮎	71	52.1	47.9
	南毛利	199	54.8	45.2
	南毛利南	67	58.2	41.8
	玉川	16	31.3	68.8
	相川	69	46.4	53.6
	緑ケ丘	20	45.0	55.0
	森の里	32	56.3	43.8
幸福度別	とても幸せ	150	72.0	28.0
	幸せ	414	54.6	45.4
	ふつう	480	43.5	56.5
	あまり幸せではない	42	40.5	59.5
	幸せではない	17	35.3	64.7

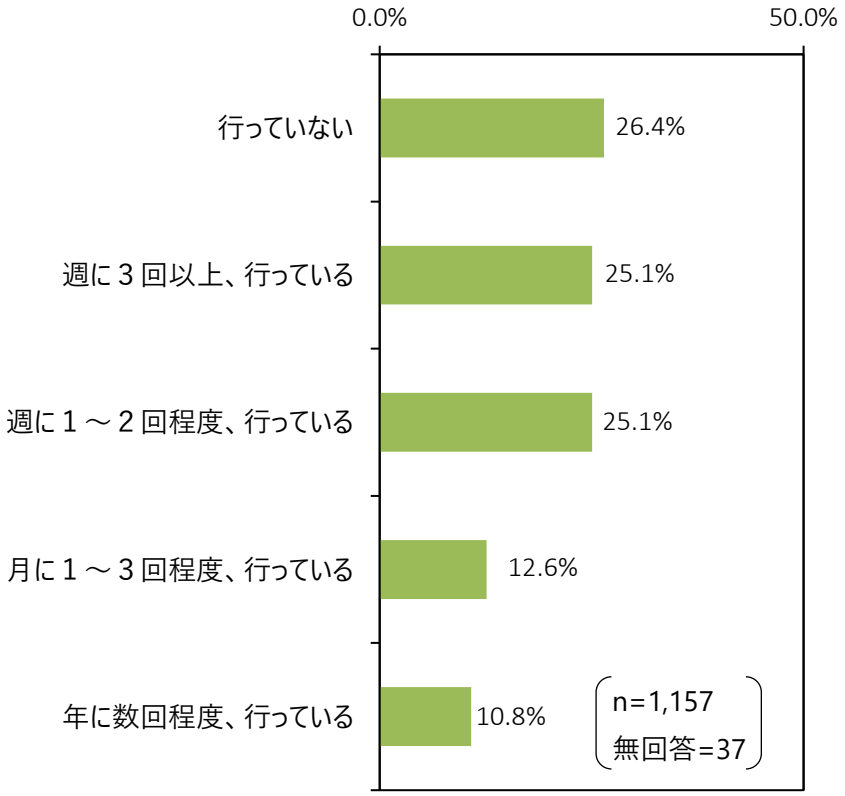
運動・スポーツをどの程度、行っていますか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。（A：問 11）

運動・スポーツを行っている市民の割合は 73.6%となっており、項目としては「行っていない」が 26.4%で最も高く、「年に数回程度、行っている」が 10.8%で最も低くなっている。なお、「週に 3 回以上、行っている」及び「週に 1～2 回程度、行っている」は、いずれも 25.1%で同率となっている。

【クロス集計】

「行っていない」を性別で見ると、女性(27.5%)が男性(22.5%)より 5.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 34.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 29.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 34.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 36.1%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 47.4%で最も高くなっている。

「年に数回程度、行っている」を性別で見ると、男性(12.5%)が女性(9.8%)より 2.7 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30 代が 19.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（親との二世代）が 13.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 33.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が 15.4%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 21.1%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	週に3回以上、行っている	週に1～2回程度、行っている	月に1～3回程度、行っている	年に数回程度、行っている	行っていない
全体		1,157	25.1	25.1	12.6	10.8	26.4
性別	男性	521	25.7	25.9	13.4	12.5	22.5
	女性	560	25.0	25.0	12.7	9.8	27.5
年齢別	10代	17	11.8	29.4	23.5	17.6	17.6
	20代	94	25.5	26.6	16.0	16.0	16.0
	30代	135	20.7	19.3	12.6	19.3	28.1
	40代	155	20.0	21.3	16.1	14.2	28.4
	50代	224	17.4	20.1	19.2	13.8	29.5
	60代	187	20.9	35.8	13.9	7.5	21.9
	70代	209	37.8	28.7	5.7	4.3	23.4
	80代以上	122	36.1	23.0	3.3	3.3	34.4
世帯構成別	夫婦	315	28.3	28.6	12.7	8.9	21.6
	親子（親との二世代）	173	22.5	24.9	13.3	13.3	26.0
	親子（子との二世代）	258	23.6	22.1	13.6	12.0	28.7
	親子孫（三世代）	48	18.8	35.4	8.3	12.5	25.0
	一人暮らし	277	24.9	23.5	11.9	10.5	29.2
	その他	63	27.0	25.4	15.9	11.1	20.6
居住年数別	20年以上（転入なし）	268	24.3	23.1	13.4	14.6	24.6
	20年以上（転入あり）	506	26.7	27.5	11.1	6.9	27.9
	10～19年（転入なし）	18	16.7	16.7	11.1	33.3	22.2
	10～19年（転入あり）	155	20.0	30.3	14.8	8.4	26.5
	5～9年	69	27.5	17.4	11.6	24.6	18.8
	3～4年	67	20.9	20.9	14.9	9.0	34.3
	2年以下	56	30.4	23.2	16.1	14.3	16.1
居住地区別	厚木北	144	26.4	24.3	13.2	12.5	23.6
	厚木南	74	32.4	20.3	17.6	6.8	23.0
	依知北	87	20.7	29.9	6.9	9.2	33.3
	依知南	57	26.3	17.5	14.0	8.8	33.3
	睦合北	52	23.1	23.1	17.3	15.4	21.2
	睦合南	84	19.0	34.5	9.5	13.1	23.8
	睦合西	36	11.1	36.1	2.8	13.9	36.1
	荻野	117	25.6	23.1	14.5	9.4	27.4
	小鮎	72	26.4	22.2	13.9	8.3	29.2
	南毛利	212	23.1	29.2	12.3	11.8	23.6
	南毛利南	68	26.5	23.5	7.4	10.3	32.4
	玉川	16	18.8	25.0	31.3	12.5	12.5
	相川	69	26.1	17.4	23.2	10.1	23.2
	緑ケ丘	22	31.8	22.7	4.5	13.6	27.3
	森の里	33	42.4	24.2	6.1	6.1	21.2
幸福度別	とても幸せ	151	32.5	28.5	13.2	9.3	16.6
	幸せ	426	26.5	27.0	16.7	11.0	18.8
	ふつう	506	21.5	23.5	10.3	11.1	33.6
	あまり幸せではない	44	27.3	22.7	4.5	6.8	38.6
	幸せではない	19	15.8	10.5	5.3	21.1	47.4

2 - 3 - 4　発展政策

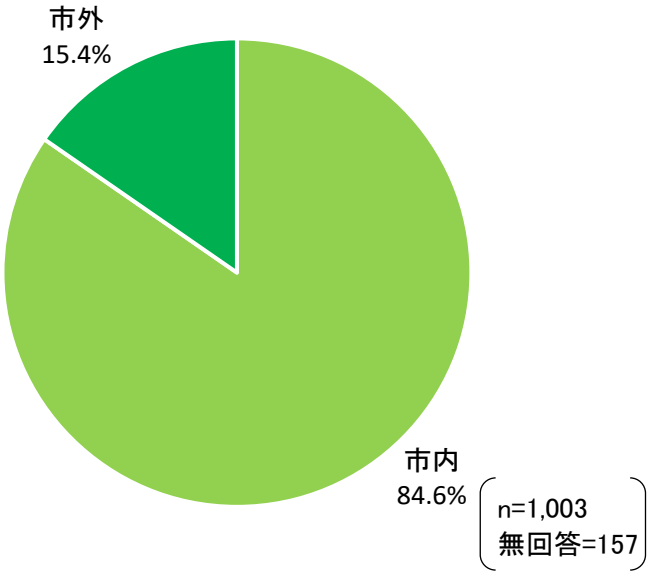
主に利用する店舗の所在地はどこですか。（B：問 12）

主に利用する店舗の所在地については、「市内」が 84.6%となっており、「市外」が 15.4%となっている。

【クロス集計】

「市内」を性別で見ると、男性(85.6%)が女性(83.6%)より 2.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 97.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 90.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 90.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木北が 94.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 89.0%で最も高くなっている。

「市外」を性別で見ると、女性(16.4%)が男性(14.4%)より 2.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50 代が 21.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（親との二世代）が 24.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 25.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知北が 42.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 40.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	市内	市外
全体		1,003	84.6	15.4
性別	男性	418	85.6	14.4
	女性	524	83.6	16.4
年齢別	10代	12	83.3	16.7
	20代	81	79.0	21.0
	30代	116	78.4	21.6
	40代	135	85.9	14.1
	50代	220	78.2	21.8
	60代	157	83.4	16.6
	70代	184	92.4	7.6
	80代以上	82	97.6	2.4
世帯構成別	夫婦	299	86.6	13.4
	親子（親との二世代）	162	75.9	24.1
	親子（子との二世代）	245	84.9	15.1
	親子孫（三世代）	30	83.3	16.7
	一人暮らし	204	86.3	13.7
	その他	41	90.2	9.8
居住年数別	20年以上（転入なし）	235	79.1	20.9
	20年以上（転入あり）	425	87.1	12.9
	10～19年（転入なし）	22	86.4	13.6
	10～19年（転入あり）	136	86.8	13.2
	5～9年	62	85.5	14.5
	3～4年	52	90.4	9.6
	2年以下	56	75.0	25.0
居住地区別	厚木北	121	94.2	5.8
	厚木南	60	93.3	6.7
	依知北	78	57.7	42.3
	依知南	49	75.5	24.5
	睦合北	57	84.2	15.8
	睦合南	80	85.0	15.0
	睦合西	40	87.5	12.5
	荻野	110	81.8	18.2
	小鮎	50	90.0	10.0
	南毛利	163	90.8	9.2
	南毛利南	54	90.7	9.3
	玉川	11	72.7	27.3
	相川	51	78.4	21.6
	緑ケ丘	23	82.6	17.4
	森の里	39	82.1	17.9
幸福度別	とても幸せ	126	88.1	11.9
	幸せ	345	89.0	11.0
	ふつう	456	81.1	18.9
	あまり幸せではない	44	81.8	18.2
	幸せではない	15	60.0	40.0

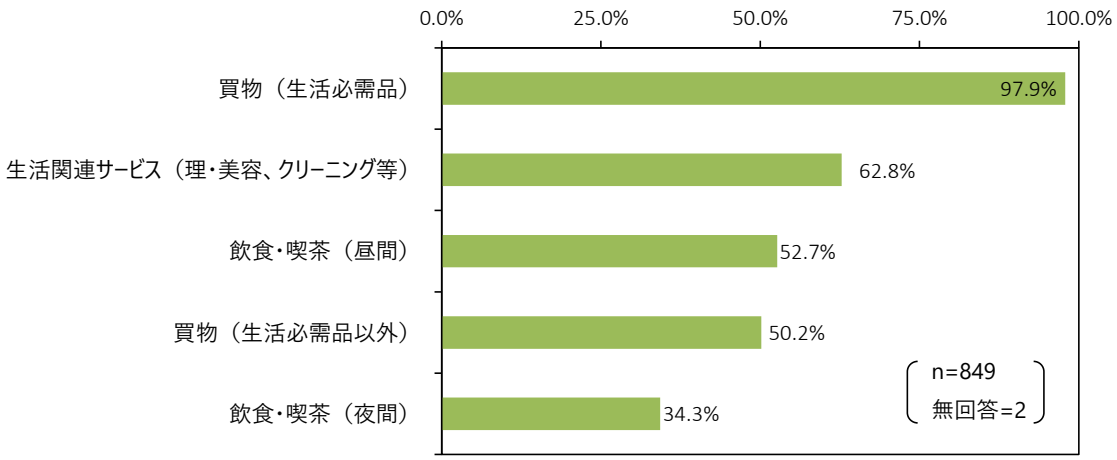
市内の店舗に行く場合、その目的は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（B：問 12-1）

「市内の店舗を主に利用する」と答えた人のうち、市内の店舗に行く場合の目的は、「買物（生活必需品）」が 97.9％で最も高く、「飲食・喫茶（夜間）」が 34.3％で最も低くなっている。

【クロス集計】

「買物（生活必需品）」を性別で見ると、女性(98.2％)が男性(97.5％)より 0.7 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60 代が 99.2％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 98.5％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、同率で 10～19 年（転入なし）及び 5～9 年が 100.0％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、同率で小鮎、緑ケ丘及び森の里が 100.0％で最も高くなっている。幸福度別で見ると、幸せではないが 100.0％で最も高くなっている。

「飲食・喫茶（夜間）」を性別で見ると、男性(35.8％)が女性(33.8％)より 2.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 53.1％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 41.8％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 52.6％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、同率で厚木北及び厚木南が 48.2％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 44.4％で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	買物（生活必需品）	買物（生活必需品以外）	飲食・喫茶（昼間）	飲食・喫茶（夜間）	生活関連サービス（理・美容、クリーニング等）
全体		849	97.9	50.2	52.7	34.3	62.8
性別	男性	358	97.5	49.4	45.0	35.8	56.7
	女性	438	98.2	52.1	59.1	33.8	68.7
年齢別	10代	10	90.0	50.0	40.0	30.0	40.0
	20代	64	93.8	43.8	59.4	53.1	53.1
	30代	91	98.9	51.6	56.0	42.9	54.9
	40代	116	98.3	53.4	54.3	43.1	65.5
	50代	172	98.3	54.1	54.1	43.0	68.0
	60代	131	99.2	54.2	52.7	33.6	70.2
	70代	170	98.2	48.8	52.4	18.8	64.1
	80代以上	80	96.3	38.8	40.0	15.0	53.8
世帯構成別	夫婦	259	98.5	49.0	56.0	28.6	69.1
	親子（親との二世代）	123	98.4	50.4	52.8	37.4	61.0
	親子（子との二世代）	208	98.1	56.7	55.8	41.8	63.5
	親子孫（三世代）	25	96.0	48.0	44.0	32.0	36.0
	一人暮らし	176	97.7	47.7	47.7	36.4	63.6
	その他	37	94.6	35.1	37.8	24.3	40.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	186	97.3	50.5	49.5	32.3	58.1
	20年以上（転入あり）	370	98.9	50.3	54.3	30.0	69.7
	10～19年（転入なし）	19	100.0	57.9	57.9	52.6	68.4
	10～19年（転入あり）	118	95.8	51.7	50.8	43.2	55.9
	5～9年	53	100.0	54.7	52.8	35.8	62.3
	3～4年	47	95.7	42.6	57.4	51.1	57.4
	2年以下	42	95.2	42.9	45.2	31.0	45.2
居住地区別	厚木北	114	99.1	57.9	62.3	48.2	68.4
	厚木南	56	98.2	64.3	69.6	48.2	69.6
	依知北	45	91.1	44.4	33.3	26.7	35.6
	依知南	37	91.9	43.2	54.1	18.9	59.5
	睦合北	48	97.9	58.3	47.9	37.5	56.3
	睦合南	68	97.1	42.6	50.0	30.9	60.3
	睦合西	35	97.1	45.7	42.9	25.7	45.7
	荻野	90	98.9	43.3	35.6	28.9	58.9
	小鮎	45	100.0	53.3	57.8	26.7	64.4
	南毛利	148	99.3	46.6	58.1	33.8	70.3
	南毛利南	49	98.0	59.2	65.3	32.7	69.4
	玉川	8	87.5	25.0	37.5	25.0	50.0
	相川	40	97.5	47.5	40.0	30.0	52.5
	緑ケ丘	19	100.0	36.8	36.8	42.1	63.2
	森の里	32	100.0	56.3	56.3	37.5	84.4
幸福度別	とても幸せ	111	95.5	51.4	58.6	43.2	55.9
	幸せ	307	98.7	55.4	59.6	39.1	73.0
	ふつう	370	98.1	47.6	46.2	28.9	57.8
	あまり幸せではない	36	94.4	33.3	36.1	19.4	50.0
	幸せではない	9	100.0	33.3	55.6	44.4	55.6

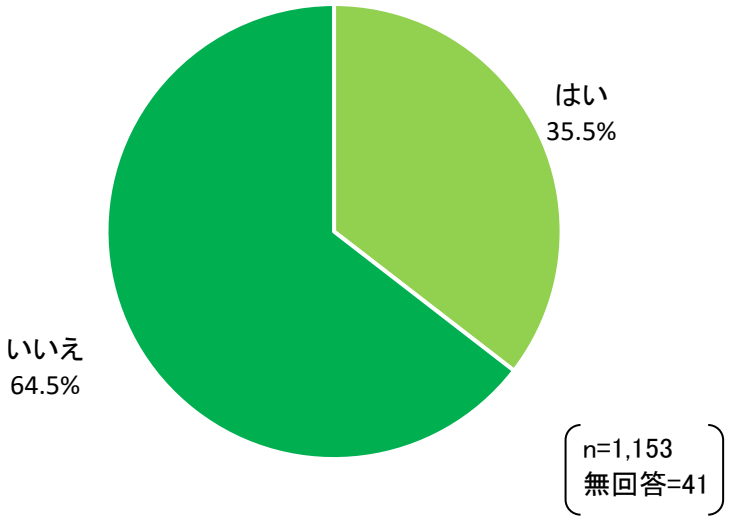
過去１年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をしましたか。（A：問 12）

過去１年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をした市民の割合は、「はい」が 35.5％となっており、「いいえ」が 64.5％となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(39.7％)が男性(32.1％)より 7.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30 代が 43.0％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 45.8％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 52.9％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 51.4％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 45.7％で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(67.9％)が女性(60.3％)より 7.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 82.4％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 75.0％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 68.7％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知南が 81.0％で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,153	35.5	64.5
性別	男性	521	32.1	67.9
	女性	556	39.7	60.3
年齢別	10代	17	17.6	82.4
	20代	94	38.3	61.7
	30代	135	43.0	57.0
	40代	156	41.0	59.0
	50代	222	35.6	64.4
	60代	188	36.7	63.3
	70代	206	31.6	68.4
	80代以上	121	24.0	76.0
世帯構成別	夫婦	315	40.3	59.7
	親子（親との二世代）	176	32.4	67.6
	親子（子との二世代）	251	45.8	54.2
	親子孫（三世代）	49	32.7	67.3
	一人暮らし	275	25.5	74.5
	その他	64	25.0	75.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	271	35.1	64.9
	20年以上（転入あり）	498	33.9	66.1
	10～19年（転入なし）	17	52.9	47.1
	10～19年（転入あり）	155	34.2	65.8
	5～9年	71	46.5	53.5
	3～4年	67	31.3	68.7
	2年以下	56	35.7	64.3
居住地区別	厚木北	143	37.8	62.2
	厚木南	75	38.7	61.3
	依知北	87	33.3	66.7
	依知南	58	19.0	81.0
	睦合北	52	30.8	69.2
	睦合南	84	28.6	71.4
	睦合西	37	51.4	48.6
	荻野	115	34.8	65.2
	小鮎	72	43.1	56.9
	南毛利	211	36.5	63.5
	南毛利南	66	31.8	68.2
	玉川	16	25.0	75.0
	相川	71	38.0	62.0
	緑ケ丘	22	36.4	63.6
	森の里	30	40.0	60.0
幸福度別	とても幸せ	151	45.7	54.3
	幸せ	424	41.5	58.5
	ふつう	504	28.8	71.2
	あまり幸せではない	44	18.2	81.8
	幸せではない	19	21.1	78.9

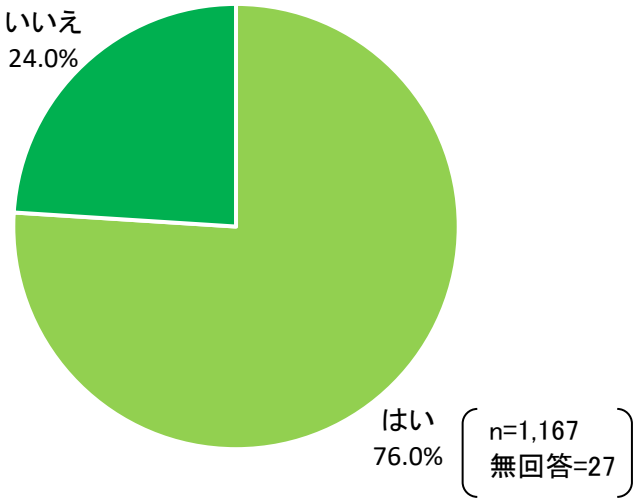
過去１年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入しましたか。（A：問 13）

過去１年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入した市民の割合は、「はい」が 76.0%となっており、「いいえ」が 24.0%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(82.3%)が男性(70.2%)より 12.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 86.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 87.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 82.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 93.8%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 83.8%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(29.8%)が女性(17.7%)より 12.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 52.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 40.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 43.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が 33.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,167	76.0	24.0
性別	男性	526	70.2	29.8
	女性	564	82.3	17.7
年齢別	10代	17	47.1	52.9
	20代	94	48.9	51.1
	30代	135	65.2	34.8
	40代	156	73.7	26.3
	50代	224	79.5	20.5
	60代	190	82.1	17.9
	70代	211	86.7	13.3
	80代以上	126	81.7	18.3
世帯構成別	夫婦	319	87.5	12.5
	親子（親との二世代）	176	67.6	32.4
	親子（子との二世代）	260	86.2	13.8
	親子孫（三世代）	49	83.7	16.3
	一人暮らし	276	61.6	38.4
	その他	64	59.4	40.6
居住年数別	20年以上（転入なし）	274	76.3	23.7
	20年以上（転入あり）	507	82.8	17.2
	10～19年（転入なし）	18	66.7	33.3
	10～19年（転入あり）	155	71.6	28.4
	5～9年	71	62.0	38.0
	3～4年	67	56.7	43.3
	2年以下	56	66.1	33.9
居住地区別	厚木北	143	69.2	30.8
	厚木南	76	76.3	23.7
	依知北	88	72.7	27.3
	依知南	58	72.4	27.6
	睦合北	51	66.7	33.3
	睦合南	84	76.2	23.8
	睦合西	38	73.7	26.3
	荻野	119	74.8	25.2
	小鮎	72	77.8	22.2
	南毛利	213	79.8	20.2
	南毛利南	68	82.4	17.6
	玉川	16	93.8	6.3
	相川	72	77.8	22.2
	緑ケ丘	22	77.3	22.7
	森の里	33	84.8	15.2
幸福度別	とても幸せ	154	83.8	16.2
	幸せ	431	81.9	18.1
	ふつう	509	70.1	29.9
	あまり幸せではない	45	71.1	28.9
	幸せではない	18	38.9	61.1

2-3-5　潤い政策

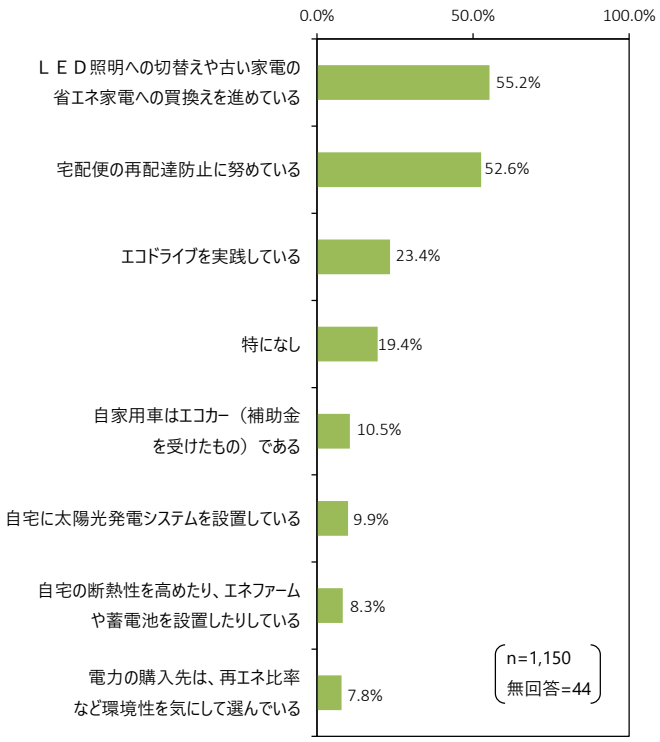
地球温暖化を緩和するために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。(A：問 14)

地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合は 80.6%となっており、項目としては、「ＬＥＤ照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている」が 55.2%で最も高く、「電力の購入先は、再エネ比率など環境性を気にして選んでいる」が 7.8%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「ＬＥＤ照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている」を性別で見ると、女性(59.1%)が男性(51.5%)より 7.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 72.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 68.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 62.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 68.8%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 59.8%で最も高くなっている。

「電力の購入先は、再エネ比率など環境性を気にして選んでいる」を性別で見ると、女性(8.8%)が男性(7.1%)より 1.7 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 15.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 14.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 9.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 18.8%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 12.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	自宅に太陽光発電システムを設置している	自宅の断熱性を高めたり、エネファームや蓄電池を設置したりしている	LED照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている	電力の購入先は、再エネ比率など環境性を気にして選んでいる	自家用車はエコカー（補助金を受けたもの）である	エコドライブを実践している	宅配便の再配達防止に努めている	特になし
全体		1,150	9.9	8.3	55.2	7.8	10.5	23.4	52.6	19.4
性別	男性	518	10.8	9.5	51.5	7.1	12.4	29.2	44.4	20.7
	女性	557	9.9	7.9	59.1	8.8	9.3	18.5	61.0	17.6
年齢別	10代	17	23.5	11.8	41.2	5.9	5.9	11.8	29.4	23.5
	20代	91	9.9	5.5	25.3	5.5	5.5	20.9	42.9	40.7
	30代	133	10.5	9.8	37.6	3.0	9.0	21.1	55.6	22.6
	40代	154	13.0	10.4	52.6	7.1	9.7	20.1	48.1	18.2
	50代	223	11.2	8.5	55.2	7.6	11.7	26.9	58.7	17.0
	60代	188	9.0	13.3	65.4	8.0	12.8	26.6	54.8	16.0
	70代	207	7.7	3.9	72.9	8.2	13.5	27.1	56.0	10.6
	80代以上	123	7.3	5.7	56.9	15.4	8.1	17.9	46.3	23.6
世帯構成別	夫婦	315	8.3	9.8	63.8	8.9	13.0	30.2	56.5	13.7
	親子（親との二世代）	172	16.3	6.4	51.2	7.0	6.4	21.5	49.4	21.5
	親子（子との二世代）	256	15.2	11.7	60.2	9.0	11.7	23.4	57.8	15.6
	親子孫（三世代）	50	16.0	18.0	68.0	10.0	22.0	20.0	46.0	16.0
	一人暮らし	271	3.3	3.7	43.5	4.1	8.1	19.2	52.4	24.4
	その他	64	6.3	6.3	40.6	14.1	9.4	18.8	32.8	35.9
居住年数別	20年以上（転入なし）	270	10.0	7.4	56.7	7.0	14.1	25.2	51.5	19.3
	20年以上（転入あり）	500	10.6	8.6	62.8	9.2	10.8	25.6	53.2	16.2
	10～19年（転入なし）	18	16.7	5.6	50.0	5.6	5.6	22.2	50.0	22.2
	10～19年（転入あり）	154	11.7	13.0	52.6	9.7	9.1	21.4	55.2	18.2
	5～9年	70	5.7	4.3	41.4	2.9	11.4	17.1	51.4	21.4
	3～4年	65	9.2	6.2	32.3	6.2	6.2	18.5	52.3	33.8
	2年以下	56	3.6	7.1	33.9	3.6	3.6	19.6	55.4	26.8
居住地区別	厚木北	141	2.8	7.1	58.2	7.8	7.1	15.6	55.3	22.7
	厚木南	75	5.3	4.0	49.3	10.7	9.3	14.7	50.7	21.3
	依知北	86	14.0	8.1	51.2	8.1	9.3	14.0	45.3	26.7
	依知南	56	14.3	10.7	51.8	1.8	16.1	33.9	48.2	16.1
	睦合北	52	11.5	9.6	51.9	3.8	13.5	26.9	50.0	26.9
	睦合南	82	11.0	9.8	65.9	3.7	6.1	32.9	58.5	15.9
	睦合西	36	8.3	5.6	50.0	16.7	5.6	19.4	58.3	22.2
	荻野	117	10.3	9.4	49.6	5.1	12.8	20.5	45.3	20.5
	小鮎	73	20.5	17.8	58.9	13.7	12.3	31.5	56.2	16.4
	南毛利	212	9.0	6.6	53.8	9.4	11.8	23.1	53.3	17.0
	南毛利南	68	5.9	5.9	60.3	2.9	7.4	27.9	58.8	16.2
	玉川	16	18.8	25.0	68.8	18.8	6.3	31.3	62.5	18.8
	相川	69	13.0	5.8	56.5	8.7	17.4	29.0	49.3	13.0
	緑ケ丘	20	10.0	15.0	60.0	0.0	10.0	20.0	50.0	15.0
	森の里	33	12.1	3.0	54.5	9.1	12.1	33.3	60.6	21.2
幸福度別	とても幸せ	154	10.4	11.0	53.9	12.3	13.0	30.5	62.3	11.7
	幸せ	425	12.0	10.4	59.8	7.3	11.5	25.6	57.9	14.6
	ふつう	497	8.9	5.8	54.3	7.0	9.1	20.7	46.9	22.7
	あまり幸せではない	44	6.8	11.4	38.6	6.8	13.6	15.9	47.7	34.1
	幸せではない	19	0.0	0.0	21.1	5.3	5.3	5.3	10.5	68.4

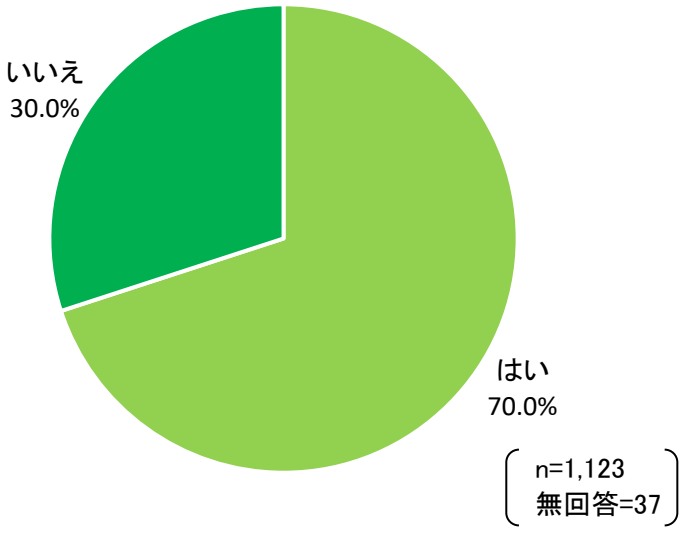
ごみの減量ができていますか。（B：問 13）

ごみの減量を意識している市民の割合は、「はい」が 70.0%となっており、「いいえ」が 30.0%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(69.6%)が男性(68.5%)より 1.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 87.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 79.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 77.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 84.6%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 74.8%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(31.5%)が女性(30.4%)より 1.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 57.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（親との二世代）が 46.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 46.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 37.5%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,123	70.0	30.0
性別	男性	461	68.5	31.5
	女性	585	69.6	30.4
年齢別	10代	13	46.2	53.8
	20代	83	42.2	57.8
	30代	120	55.0	45.0
	40代	145	55.2	44.8
	50代	228	71.1	28.9
	60代	171	76.6	23.4
	70代	221	82.4	17.6
	80代以上	122	87.7	12.3
世帯構成別	夫婦	341	79.5	20.5
	親子（親との二世代）	172	53.5	46.5
	親子（子との二世代）	260	67.3	32.7
	親子孫（三世代）	34	73.5	26.5
	一人暮らし	240	71.3	28.8
	その他	42	57.1	42.9
居住年数別	20年以上（転入なし）	267	68.5	31.5
	20年以上（転入あり）	485	77.7	22.3
	10～19年（転入なし）	23	56.5	43.5
	10～19年（転入あり）	143	65.7	34.3
	5～9年	67	55.2	44.8
	3～4年	58	53.4	46.6
	2年以下	61	59.0	41.0
居住地区別	厚木北	135	68.1	31.9
	厚木南	68	66.2	33.8
	依知北	89	69.7	30.3
	依知南	58	70.7	29.3
	睦合北	62	66.1	33.9
	睦合南	87	67.8	32.2
	睦合西	46	71.7	28.3
	荻野	124	74.2	25.8
	小鮎	56	64.3	35.7
	南毛利	186	69.9	30.1
	南毛利南	57	73.7	26.3
	玉川	13	84.6	15.4
	相川	57	73.7	26.3
	緑ケ丘	23	69.6	30.4
	森の里	40	62.5	37.5
幸福度別	とても幸せ	135	74.8	25.2
	幸せ	386	71.5	28.5
	ふつう	509	67.8	32.2
	あまり幸せではない	53	66.0	34.0
	幸せではない	17	64.7	35.3

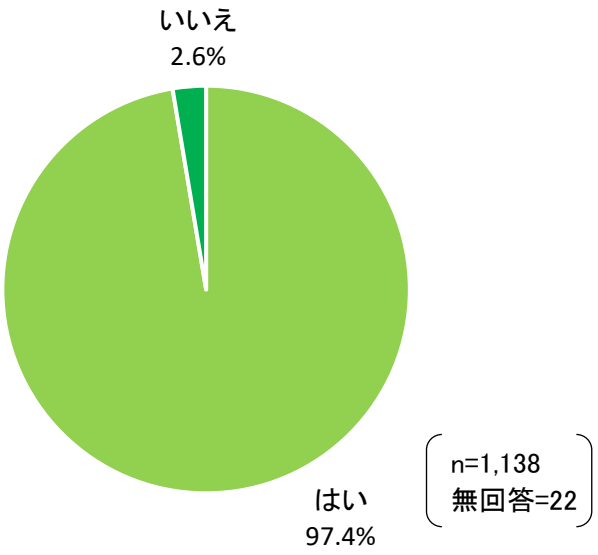
資源の分別ができていますか。（B：問 14）

資源の分別を意識している市民の割合は、「はい」が 97.4%となっており、「いいえ」が 2.6%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(97.8%)が男性(96.6%)より 1.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 99.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 100.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 100.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北及び睦合南及び睦合西及び玉川が同率で 100.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 98.5%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(3.4%)が女性(2.2%)より 1.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 7.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 7.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 6.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 8.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,138	97.4	2.6
性別	男性	467	96.6	3.4
	女性	592	97.8	2.2
年齢別	10代	13	92.3	7.7
	20代	86	94.2	5.8
	30代	121	93.4	6.6
	40代	145	97.2	2.8
	50代	232	98.3	1.7
	60代	172	98.3	1.7
	70代	225	99.1	0.9
	80代以上	123	97.6	2.4
世帯構成別	夫婦	346	98.3	1.7
	親子（親との二世代）	175	97.7	2.3
	親子（子との二世代）	263	98.9	1.1
	親子孫（三世代）	34	100.0	0.0
	一人暮らし	242	95.0	5.0
	その他	43	93.0	7.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	270	98.5	1.5
	20年以上（転入あり）	494	97.6	2.4
	10～19年（転入なし）	23	100.0	0.0
	10～19年（転入あり）	144	97.2	2.8
	5～9年	68	95.6	4.4
	3～4年	58	94.8	5.2
	2年以下	61	93.4	6.6
居住地区別	厚木北	138	96.4	3.6
	厚木南	70	97.1	2.9
	依知北	90	96.7	3.3
	依知南	58	96.6	3.4
	睦合北	62	100.0	0.0
	睦合南	89	100.0	0.0
	睦合西	46	100.0	0.0
	荻野	126	98.4	1.6
	小鮎	56	98.2	1.8
	南毛利	189	96.8	3.2
	南毛利南	57	93.0	7.0
	玉川	13	100.0	0.0
	相川	57	96.5	3.5
	緑ケ丘	24	91.7	8.3
	森の里	40	97.5	2.5
幸福度別	とても幸せ	137	97.1	2.9
	幸せ	393	98.5	1.5
	ふつう	513	96.7	3.3
	あまり幸せではない	53	98.1	1.9
	幸せではない	18	88.9	11.1

2-3-6　共創政策

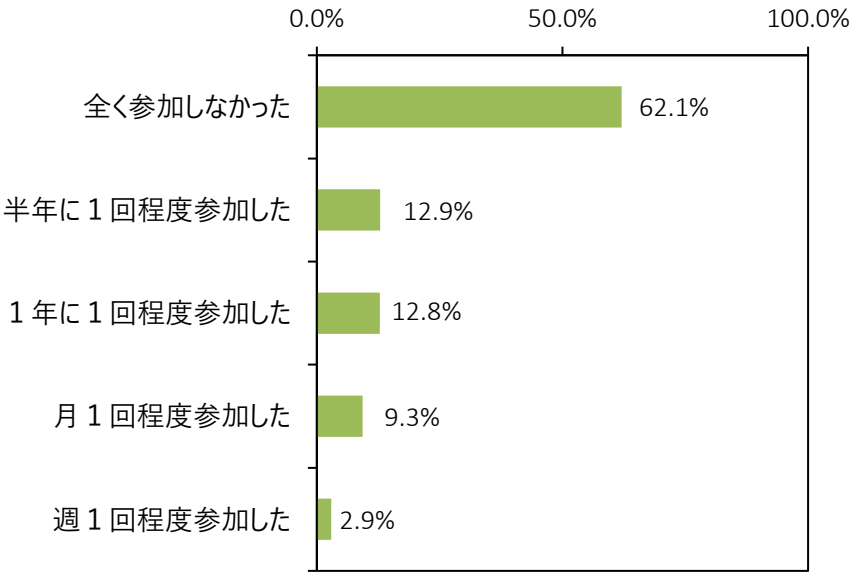
過去１年間に、自治会やボランティア・NPO 等の活動に参加しましたか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。（B：問 15）

過去１年間に、自治会やボランティア・NPO 等の活動に参加した市民の割合は 37.9％となっており、項目としては、「半年に１回程度参加した」が 12.9％で最も高く、「週１回程度参加した」が 2.9％で最も低くなっている。

【クロス集計】

「半年に１回程度参加した」を性別で見ると、女性(14.3％)が男性(11.6％)より 2.7 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 18.5％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 33.3％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）及び 10～19 年（転入あり）が同率で 14.0％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 36.6％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 15.2％で最も高くなっている。

「週１回程度参加した」を性別で見ると、男性(3.2％)が女性(2.4％)より 0.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 5.4％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 4.4％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9 年が 4.5％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 15.4％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 5.6％で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	週1回程度参加した	月1回程度参加した	半年に1回程度参加した	1年に1回程度参加した	全く参加しなかった
全体		1,126	2.9	9.3	12.9	12.8	62.1
性別	男性	466	3.2	8.4	11.6	13.9	62.9
	女性	580	2.4	9.8	14.3	11.2	62.2
年齢別	10代	13	0.0	0.0	7.7	0.0	92.3
	20代	87	0.0	1.1	5.7	9.2	83.9
	30代	122	0.0	9.0	8.2	8.2	74.6
	40代	144	2.1	9.0	10.4	11.8	66.7
	50代	232	0.9	7.3	13.4	12.9	65.5
	60代	169	4.7	10.7	14.2	13.6	56.8
	70代	222	5.4	13.1	18.5	16.7	46.4
	80代以上	115	5.2	12.2	12.2	13.0	57.4
世帯構成別	夫婦	340	4.4	11.8	14.7	15.3	53.8
	親子（親との二世代）	175	0.0	6.9	7.4	12.0	73.7
	親子（子との二世代）	261	3.1	10.3	17.6	15.3	53.6
	親子孫（三世代）	33	0.0	6.1	33.3	18.2	42.4
	一人暮らし	239	2.5	7.9	6.7	7.5	75.3
	その他	43	0.0	2.3	7.0	9.3	81.4
居住年数別	20年以上（転入なし）	268	4.1	10.4	13.4	14.2	57.8
	20年以上（転入あり）	486	2.9	10.5	14.0	14.2	58.4
	10～19年（転入なし）	23	0.0	4.3	13.0	13.0	69.6
	10～19年（転入あり）	143	0.7	7.7	14.0	16.8	60.8
	5～9年	66	4.5	4.5	10.6	1.5	78.8
	3～4年	57	1.8	8.8	7.0	5.3	77.2
	2年以下	62	1.6	6.5	4.8	4.8	82.3
居住地区別	厚木北	136	1.5	8.1	8.1	8.1	74.3
	厚木南	69	0.0	4.3	10.1	8.7	76.8
	依知北	90	4.4	10.0	8.9	11.1	65.6
	依知南	56	0.0	7.1	17.9	10.7	64.3
	睦合北	61	0.0	4.9	18.0	16.4	60.7
	睦合南	88	4.5	6.8	15.9	13.6	59.1
	睦合西	45	2.2	11.1	13.3	4.4	68.9
	荻野	122	3.3	11.5	12.3	12.3	60.7
	小鮎	55	0.0	16.4	18.2	21.8	43.6
	南毛利	187	3.2	10.2	9.1	18.7	58.8
	南毛利南	58	6.9	5.2	6.9	10.3	70.7
	玉川	13	15.4	23.1	15.4	23.1	23.1
	相川	57	5.3	14.0	8.8	15.8	56.1
	緑ケ丘	24	0.0	4.2	16.7	8.3	70.8
	森の里	41	2.4	12.2	36.6	4.9	43.9
幸福度別	とても幸せ	137	3.6	15.3	13.9	9.5	57.7
	幸せ	388	4.4	8.8	15.2	12.9	58.8
	ふつう	508	1.6	8.7	11.0	14.2	64.6
	あまり幸せではない	52	0.0	5.8	7.7	9.6	76.9
	幸せではない	18	5.6	5.6	5.6	0.0	83.3

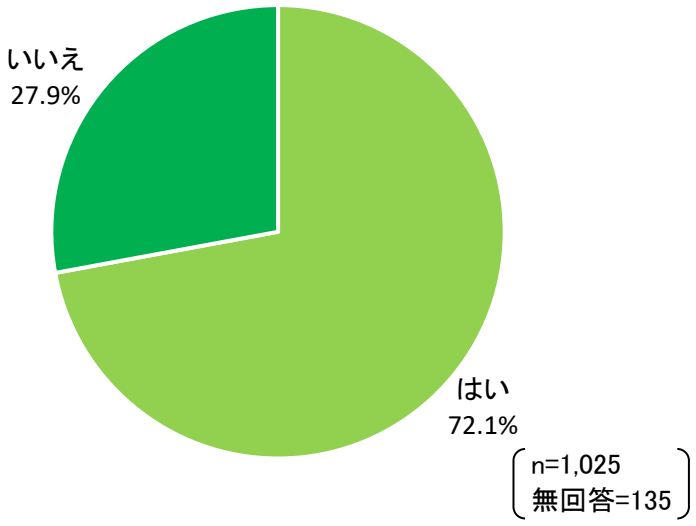
必要な行政情報は入手できていますか。（B：問 16）

必要な行政情報を入手できている市民の割合は、「はい」が 72.1%となっており、「いいえ」が 27.9%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(73.7%)が男性(70.4%)より 3.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 87.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 81.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 77.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 91.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 79.4%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(29.6%)が女性(26.3%)より 3.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 83.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（親との二世代）が 40.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 54.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 39.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,025	72.1	27.9
性別	男性	433	70.4	29.6
	女性	532	73.7	26.3
年齢別	10代	12	16.7	83.3
	20代	84	40.5	59.5
	30代	116	66.4	33.6
	40代	138	65.9	34.1
	50代	222	72.5	27.5
	60代	157	76.4	23.6
	70代	190	87.4	12.6
	80代以上	90	82.2	17.8
世帯構成別	夫婦	313	78.3	21.7
	親子（親との二世代）	167	59.9	40.1
	親子（子との二世代）	241	80.5	19.5
	親子孫（三世代）	32	81.3	18.8
	一人暮らし	211	62.6	37.4
	その他	38	65.8	34.2
居住年数別	20年以上（転入なし）	251	74.9	25.1
	20年以上（転入あり）	432	77.1	22.9
	10～19年（転入なし）	23	47.8	52.2
	10～19年（転入あり）	136	72.8	27.2
	5～9年	62	62.9	37.1
	3～4年	53	62.3	37.7
	2年以下	57	45.6	54.4
居住地区別	厚木北	125	72.8	27.2
	厚木南	61	70.5	29.5
	依知北	82	67.1	32.9
	依知南	52	69.2	30.8
	睦合北	57	66.7	33.3
	睦合南	79	68.4	31.6
	睦合西	41	61.0	39.0
	荻野	111	73.9	26.1
	小鮎	53	75.5	24.5
	南毛利	171	75.4	24.6
	南毛利南	52	80.8	19.2
	玉川	12	91.7	8.3
	相川	53	71.7	28.3
	緑ケ丘	23	65.2	34.8
	森の里	38	71.1	28.9
幸福度別	とても幸せ	128	77.3	22.7
	幸せ	354	79.4	20.6
	ふつう	464	67.9	32.1
	あまり幸せではない	47	53.2	46.8
	幸せではない	16	37.5	62.5

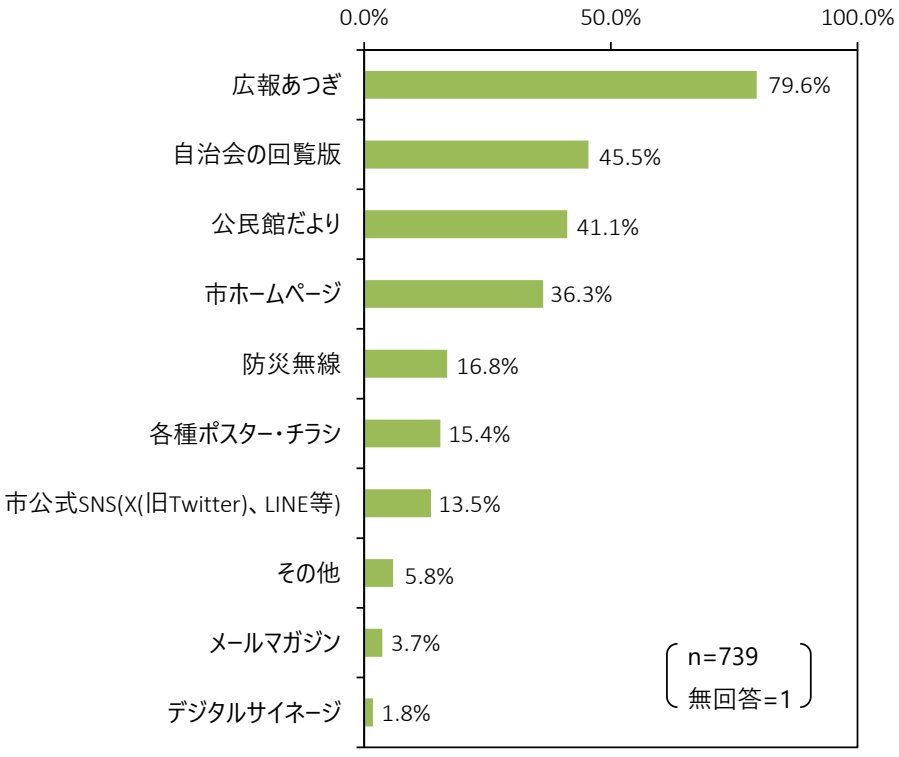
どのような情報媒体から入手していますか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（B：問 16-1）

「必要な行政情報は入手できている」と答えた人のうち、どのような情報媒体から入手しているかについては、「広報あつぎ」が 79.6%で最も高く、「デジタルサイネージ」が 1.8%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「広報あつぎ」を性別で見ると、女性(82.1%)が男性(75.7%)より 6.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 95.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 88.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 86.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 96.3%で最も高くなっている。幸福度別で見ると、とても幸せが 84.8%で最も高くなっている。

「デジタルサイネージ」を性別で見ると、女性(2.0%)が男性(1.3%)より 0.7 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 50.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 2.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 12.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 8.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 4.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

		n	広報あつぎ	公民館だより	市ホームページ	市公式SNS（X（旧Twitter）、LINE等）	デジタルサイネージ	防災無線	自治会の回覧版	各種ポスター・チラシ	メールマガジン	その他
全体		739	79.6	41.1	36.3	13.5	1.8	16.8	45.5	15.4	3.7	5.8
性別	男性	305	75.7	39.3	40.7	10.2	1.3	17.0	43.3	15.1	3.9	7.2
	女性	392	82.1	42.1	34.7	17.1	2.0	16.8	46.4	17.1	3.3	4.8
年齢別	10代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	50.0
	20代	34	35.3	8.8	44.1	23.5	8.8	11.8	2.9	8.8	0.0	14.7
	30代	77	51.9	19.5	48.1	20.8	2.6	14.3	14.3	11.7	0.0	9.1
	40代	91	75.8	29.7	44.0	22.0	4.4	15.4	38.5	14.3	3.3	5.5
	50代	161	80.1	34.2	42.9	16.1	0.6	15.5	38.5	14.3	5.0	5.6
	60代	120	85.0	50.0	43.3	14.2	0.0	20.8	56.7	12.5	5.0	3.3
	70代	166	95.2	55.4	24.7	6.0	0.6	18.1	62.7	21.1	4.2	4.8
	80代以上	74	89.2	62.2	14.9	2.7	0.0	16.2	63.5	17.6	0.0	4.1
世帯構成別	夫婦	245	88.2	45.7	35.9	10.6	2.4	21.6	52.7	17.6	3.3	4.1
	親子（親との二世代）	100	74.0	35.0	35.0	16.0	1.0	16.0	32.0	11.0	4.0	7.0
	親子（子との二世代）	194	82.0	40.7	35.6	16.5	1.0	13.9	51.0	16.5	4.1	5.7
	親子孫（三世代）	26	76.9	61.5	26.9	11.5	0.0	19.2	61.5	15.4	3.8	0.0
	一人暮らし	132	68.2	35.6	44.7	15.9	2.3	13.6	32.6	15.9	3.8	6.1
	その他	25	64.0	24.0	24.0	4.0	0.0	4.0	20.0	0.0	4.0	16.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	188	85.6	46.8	31.4	10.6	1.1	20.7	48.4	12.8	5.9	5.9
	20年以上（転入あり）	333	86.2	46.2	35.4	10.5	0.6	17.4	54.4	16.5	3.6	4.8
	10～19年（転入なし）	11	72.7	18.2	45.5	18.2	9.1	18.2	27.3	9.1	9.1	0.0
	10～19年（転入あり）	99	72.7	33.3	39.4	17.2	2.0	11.1	38.4	20.2	2.0	9.1
	5～9年	39	56.4	25.6	56.4	23.1	2.6	20.5	17.9	15.4	0.0	2.6
	3～4年	33	51.5	21.2	42.4	27.3	12.1	12.1	18.2	15.2	0.0	6.1
	2年以下	26	46.2	15.4	38.5	26.9	0.0	0.0	11.5	7.7	3.8	11.5
居住地区別	厚木北	91	76.9	24.2	36.3	16.5	1.1	14.3	28.6	22.0	2.2	8.8
	厚木南	43	72.1	27.9	41.9	11.6	4.7	11.6	41.9	4.7	4.7	7.0
	依知北	55	65.5	41.8	34.5	14.5	0.0	18.2	45.5	14.5	0.0	9.1
	依知南	36	77.8	36.1	27.8	19.4	2.8	5.6	30.6	11.1	2.8	5.6
	睦合北	38	84.2	52.6	36.8	10.5	0.0	15.8	55.3	10.5	2.6	2.6
	睦合南	54	81.5	44.4	37.0	24.1	0.0	20.4	53.7	18.5	3.7	7.4
	睦合西	25	72.0	28.0	52.0	12.0	8.0	24.0	36.0	16.0	12.0	4.0
	荻野	82	78.0	36.6	30.5	14.6	1.2	11.0	42.7	6.1	2.4	3.7
	小鮎	40	95.0	47.5	35.0	7.5	0.0	17.5	47.5	17.5	7.5	2.5
	南毛利	129	82.2	38.8	34.1	10.1	0.8	21.7	46.5	20.9	5.4	3.9
	南毛利南	42	66.7	61.9	50.0	14.3	4.8	21.4	47.6	19.0	0.0	2.4
	玉川	11	72.7	45.5	36.4	36.4	0.0	36.4	72.7	9.1	9.1	9.1
	相川	38	89.5	50.0	44.7	7.9	2.6	13.2	57.9	15.8	7.9	13.2
	緑ケ丘	15	86.7	33.3	26.7	0.0	6.7	20.0	40.0	0.0	0.0	6.7
	森の里	27	96.3	77.8	33.3	11.1	0.0	11.1	66.7	22.2	0.0	0.0
幸福度別	とても幸せ	99	84.8	42.4	40.4	13.1	4.0	14.1	46.5	21.2	4.0	8.1
	幸せ	280	80.4	45.0	36.8	17.9	1.8	17.5	51.8	17.9	2.9	5.7
	ふつう	315	78.7	37.5	34.9	10.2	1.0	16.5	40.6	13.3	3.8	5.1
	あまり幸せではない	25	72.0	44.0	40.0	16.0	0.0	28.0	36.0	0.0	8.0	4.0
	幸せではない	6	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7

2-4　令和７年度新規調査項目

第 11 次厚木市総合計画の策定に当たっての参考とするため、令和７年度調査では次の 11 項目を新たに設けた。これらの項目は令和７年度から調査を開始したことから、前年度調査との比較は行っていない。

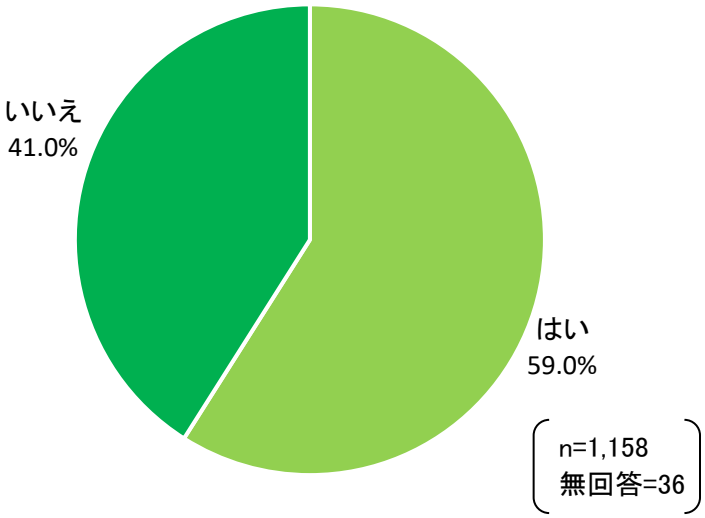
かかりつけ医がいますか。（A：問８）

かかりつけ医がいる市民の割合は、「はい」が 59.0%となっており、「いいえ」が 41.0%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(63.5%)が男性(52.4%)より 11.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 84.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 72.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 68.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合南が 72.6%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 66.2%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(47.6%)が女性(36.5%)より 11.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 67.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 50.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 71.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 60.6%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 52.6%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,158	59.0	41.0
性別	男性	519	52.4	47.6
	女性	562	63.5	36.5
年齢別	10代	17	41.2	58.8
	20代	93	32.3	67.7
	30代	133	42.9	57.1
	40代	154	42.2	57.8
	50代	224	54.0	46.0
	60代	190	65.3	34.7
	70代	207	78.7	21.3
	80代以上	124	84.7	15.3
世帯構成別	夫婦	315	68.9	31.1
	親子（親との二世代）	173	55.5	44.5
	親子（子との二世代）	259	56.4	43.6
	親子孫（三世代）	50	72.0	28.0
	一人暮らし	272	49.6	50.4
	その他	64	54.7	45.3
居住年数別	20年以上（転入なし）	270	61.9	38.1
	20年以上（転入あり）	509	68.0	32.0
	10～19年（転入なし）	18	55.6	44.4
	10～19年（転入あり）	153	51.0	49.0
	5～9年	69	43.5	56.5
	3～4年	66	36.4	63.6
	2年以下	56	28.6	71.4
居住地区別	厚木北	142	55.6	44.4
	厚木南	75	57.3	42.7
	依知北	84	61.9	38.1
	依知南	59	55.9	44.1
	睦合北	51	54.9	45.1
	睦合南	84	72.6	27.4
	睦合西	38	68.4	31.6
	荻野	118	66.1	33.9
	小鮎	72	54.2	45.8
	南毛利	213	58.7	41.3
	南毛利南	67	58.2	41.8
	玉川	16	56.3	43.8
	相川	69	52.2	47.8
	緑ケ丘	22	63.6	36.4
	森の里	33	39.4	60.6
幸福度別	とても幸せ	154	66.2	33.8
	幸せ	426	60.8	39.2
	ふつう	503	55.9	44.1
	あまり幸せではない	45	53.3	46.7
	幸せではない	19	47.4	52.6

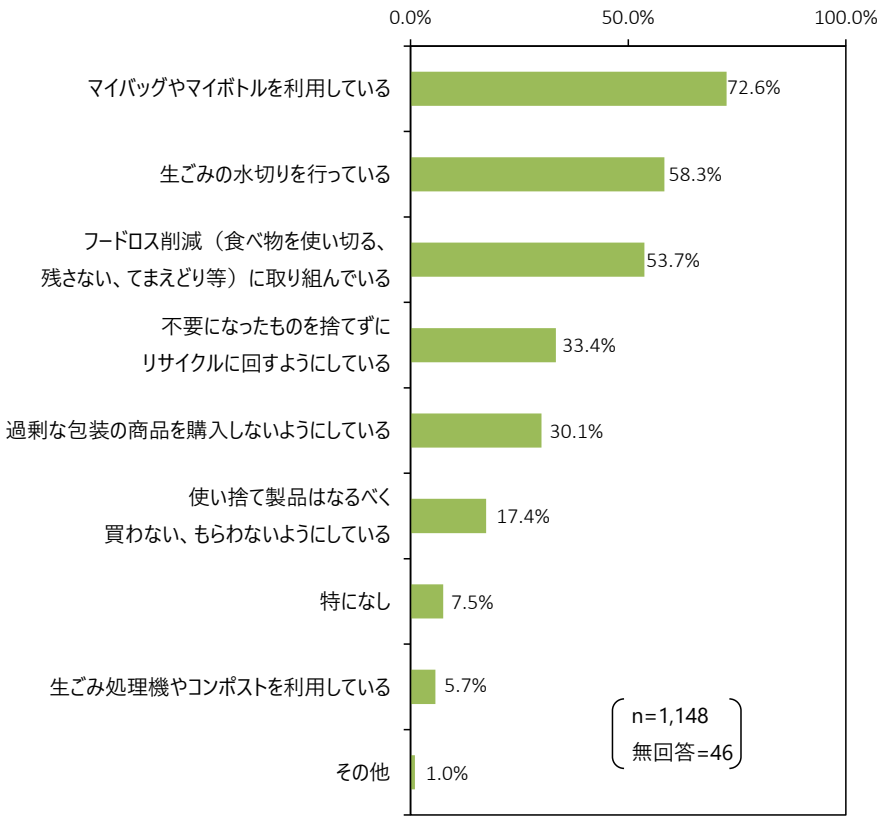
ごみの削減のために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（A：問 15）

ごみの削減のために取り組んでいることがある市民の割合は 92.5%となっており、項目としては、その他を除くと「マイバッグやマイボトルを利用している」が 72.6%で最も高く、「生ごみ処理機やコンポストを利用している」が 5.7%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「マイバッグやマイボトルを利用している」を性別で見ると、女性(82.8%)が男性(62.3%)より 20.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 82.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 81.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入なし）が 75.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 88.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 76.5%で最も高くなっている。

「生ごみ処理機やコンポストを利用している」を性別で見ると、男性(5.9%)が女性(5.3%)より 0.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 11.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 8.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 7.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 11.1%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 15.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	生ごみの水切りを行っている	生ごみ処理機やコンポストを利用している	マイバッグやマイボトルを利用している	フードロス削減に取り組んでいる	使い捨て製品はなるべく買わない、もらわない	不要になったものをリサイクルに回す	過剰な包装の商品を購入しない	その他	特になし
全体		1,148	58.3	5.7	72.6	53.7	17.4	33.4	30.1	1.0	7.5
性別	男性	512	47.3	5.9	62.3	50.4	16.6	27.3	24.4	1.4	12.1
	女性	563	68.2	5.3	82.8	56.8	18.5	39.3	35.7	0.7	3.2
年齢別	10代	18	38.9	5.6	50.0	38.9	11.1	27.8	22.2	0.0	16.7
	20代	95	37.9	2.1	60.0	51.6	15.8	21.1	15.8	0.0	15.8
	30代	134	44.0	2.2	67.9	47.8	7.5	29.9	16.4	0.7	9.7
	40代	155	42.6	6.5	72.3	45.8	11.6	30.3	22.6	1.3	9.7
	50代	220	52.7	5.5	70.0	55.0	18.6	27.7	34.5	1.4	8.2
	60代	191	66.5	6.3	80.1	58.1	16.2	36.6	34.0	0.5	4.2
	70代	205	80.0	6.3	82.0	61.0	24.4	42.9	40.0	0.5	3.4
	80代以上	118	73.7	11.0	70.3	54.2	28.0	41.5	38.1	2.5	5.1
世帯構成別	夫婦	306	64.4	7.2	77.5	59.5	22.5	40.2	37.9	1.0	5.2
	親子（親との二世代）	178	53.9	5.1	64.0	53.9	14.0	27.0	27.0	1.7	10.7
	親子（子との二世代）	258	60.5	7.0	81.0	52.7	15.9	37.6	24.8	0.4	4.3
	親子孫（三世代）	49	69.4	2.0	79.6	46.9	12.2	38.8	42.9	0.0	0.0
	一人暮らし	274	51.1	4.0	65.7	52.9	18.6	25.5	27.7	1.5	11.3
	その他	61	54.1	8.2	68.9	42.6	9.8	26.2	23.0	0.0	11.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	268	55.2	5.6	75.4	53.7	13.8	32.1	27.6	1.1	8.6
	20年以上（転入あり）	502	66.7	5.8	74.7	57.6	18.9	38.2	35.7	1.2	5.6
	10～19年（転入なし）	18	44.4	5.6	61.1	61.1	22.2	38.9	33.3	5.6	5.6
	10～19年（転入あり）	153	49.7	7.2	71.9	51.6	20.3	29.4	28.1	0.7	6.5
	5～9年	69	46.4	4.3	65.2	49.3	14.5	26.1	21.7	1.4	11.6
	3～4年	66	51.5	4.5	68.2	40.9	15.2	24.2	21.2	0.0	13.6
	2年以下	57	49.1	5.3	64.9	50.9	21.1	26.3	24.6	0.0	8.8
居住地区別	厚木北	144	59.0	6.9	73.6	55.6	20.1	31.3	38.2	1.4	7.6
	厚木南	73	63.0	8.2	79.5	56.2	24.7	32.9	35.6	0.0	5.5
	依知北	83	55.4	6.0	67.5	47.0	10.8	32.5	28.9	0.0	9.6
	依知南	59	54.2	0.0	74.6	57.6	11.9	25.4	22.0	0.0	8.5
	睦合北	52	51.9	5.8	75.0	59.6	11.5	30.8	26.9	3.8	7.7
	睦合南	84	56.0	3.6	72.6	56.0	17.9	35.7	29.8	1.2	7.1
	睦合西	36	66.7	11.1	69.4	61.1	19.4	38.9	36.1	2.8	8.3
	荻野	116	60.3	7.8	64.7	49.1	10.3	30.2	21.6	0.0	12.1
	小鮎	72	58.3	9.7	72.2	54.2	16.7	36.1	34.7	2.8	4.2
	南毛利	208	61.5	3.8	75.0	54.3	18.8	32.7	30.3	0.5	6.7
	南毛利南	68	54.4	4.4	79.4	52.9	19.1	39.7	23.5	1.5	5.9
	玉川	17	41.2	5.9	88.2	47.1	5.9	29.4	11.8	0.0	0.0
	相川	70	48.6	4.3	67.1	51.4	20.0	34.3	31.4	0.0	10.0
	緑ケ丘	21	66.7	4.8	71.4	47.6	28.6	42.9	42.9	0.0	9.5
	森の里	32	65.6	6.3	68.8	59.4	37.5	43.8	34.4	3.1	3.1
幸福度別	とても幸せ	153	64.7	8.5	76.5	59.5	23.5	32.7	37.3	0.7	3.3
	幸せ	428	61.4	5.1	76.4	61.0	18.2	36.4	32.7	0.5	5.4
	ふつう	494	54.3	5.3	69.8	46.4	15.8	32.6	27.9	1.8	9.3
	あまり幸せではない	44	56.8	4.5	61.4	52.3	18.2	27.3	18.2	0.0	18.2
	幸せではない	20	40.0	15.0	60.0	40.0	0.0	10.0	5.0	0.0	20.0

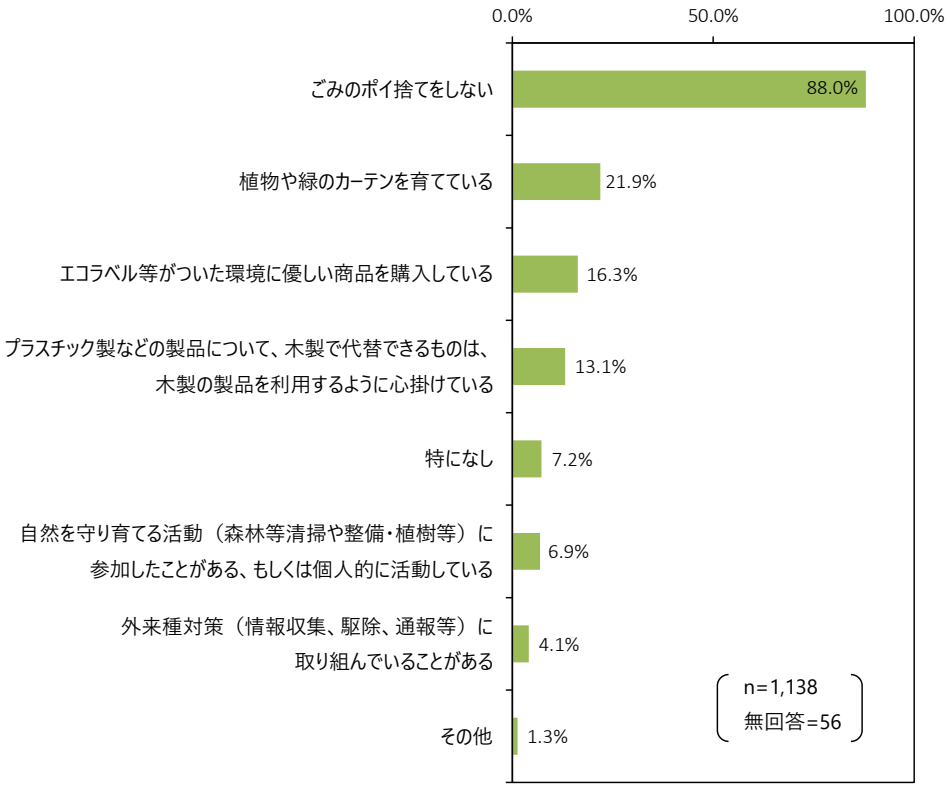
自然環境を守るために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（A：問 16）

自然環境を守るために取り組んでいることがある市民の割合は 92.8%となっており、項目としては、その他を除くと「ごみのポイ捨てをしない」が 88.0%で最も高く、「外来種対策（情報収集、駆除、通報等）に取り組んでいることがある」が 4.1%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「ごみのポイ捨てをしない」を性別で見ると、女性(91.4%)が男性(85.5%)より 5.9 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 94.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 94.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 90.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 96.9%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せ及び幸せが同率で 90.1%で最も高くなっている。

「外来種対策（情報収集、駆除、通報等）に取り組んでいることがある」を性別で見ると、女性(4.3%)が男性(3.9%)より 0.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 6.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 8.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 5.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 8.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 11.1%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	自然を守り育てる活動に参加・個人的に活動	木製で代替できるものは木製を利用	エコラベル等がついた商品を購入	植物や緑のカーテンを育てている	外来種対策に取り組んでいる	ごみのポイ捨てをしない	その他	特になし
全体		1,138	6.9	13.1	16.3	21.9	4.1	88.0	1.3	7.2
性別	男性	509	6.3	12.4	13.0	16.9	3.9	85.5	1.8	9.4
	女性	556	7.6	13.3	20.3	27.0	4.3	91.4	0.9	4.5
年齢別	10代	18	11.1	11.1	16.7	27.8	0.0	72.2	0.0	5.6
	20代	93	7.5	9.7	16.1	10.8	0.0	86.0	0.0	7.5
	30代	132	6.1	7.6	11.4	12.9	4.5	79.5	0.0	12.9
	40代	155	4.5	10.3	7.7	14.2	4.5	91.0	1.3	5.2
	50代	217	5.5	10.6	18.9	17.5	4.1	88.5	3.2	8.3
	60代	189	7.9	14.3	16.9	30.2	2.6	89.9	1.1	5.3
	70代	204	6.4	19.1	20.6	31.4	5.9	94.6	1.0	3.4
	80代以上	117	12.0	19.7	21.4	29.1	6.0	82.9	1.7	11.1
世帯構成別	夫婦	305	6.6	13.1	17.7	29.2	4.3	90.2	2.0	5.2
	親子（親との二世代）	173	6.9	9.2	16.8	20.8	2.9	87.3	1.7	6.4
	親子（子との二世代）	254	7.9	16.1	16.5	24.0	3.9	89.8	0.0	6.3
	親子孫（三世代）	50	4.0	12.0	20.0	24.0	8.0	94.0	0.0	4.0
	一人暮らし	272	6.3	12.1	11.8	14.7	2.9	87.5	2.2	8.5
	その他	60	11.7	15.0	25.0	15.0	8.3	75.0	0.0	15.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	263	6.1	11.8	14.8	20.9	4.9	89.0	1.9	5.3
	20年以上（転入あり）	499	6.2	14.0	19.8	26.7	3.8	90.8	1.2	6.4
	10～19年（転入なし）	18	16.7	16.7	16.7	22.2	0.0	88.9	5.6	0.0
	10～19年（転入あり）	154	9.1	14.9	14.9	14.9	4.5	85.7	1.9	7.8
	5～9年	68	7.4	11.8	11.8	19.1	1.5	83.8	0.0	14.7
	3～4年	63	6.3	11.1	9.5	11.1	3.2	79.4	0.0	14.3
	2年以下	56	8.9	12.5	12.5	17.9	5.4	85.7	0.0	5.4
居住地区別	厚木北	141	8.5	16.3	19.9	21.3	3.5	87.2	2.8	7.8
	厚木南	71	9.9	11.3	19.7	18.3	2.8	90.1	1.4	4.2
	依知北	84	2.4	10.7	10.7	17.9	1.2	88.1	0.0	9.5
	依知南	59	8.5	11.9	13.6	18.6	3.4	84.7	1.7	11.9
	睦合北	52	11.5	7.7	21.2	19.2	3.8	90.4	0.0	3.8
	睦合南	83	3.6	12.0	18.1	26.5	3.6	90.4	2.4	4.8
	睦合西	36	11.1	16.7	25.0	22.2	8.3	88.9	2.8	2.8
	荻野	117	8.5	12.8	14.5	20.5	4.3	85.5	0.0	9.4
	小鮎	71	9.9	15.5	12.7	23.9	2.8	87.3	4.2	9.9
	南毛利	206	5.8	11.7	12.6	20.9	6.3	89.8	0.0	6.8
	南毛利南	65	3.1	16.9	15.4	26.2	3.1	90.8	3.1	3.1
	玉川	17	11.8	17.6	29.4	35.3	0.0	76.5	0.0	11.8
	相川	69	2.9	11.6	14.5	23.2	5.8	85.5	0.0	8.7
	緑ケ丘	21	4.8	9.5	23.8	19.0	0.0	76.2	0.0	14.3
	森の里	32	6.3	21.9	25.0	34.4	6.3	96.9	3.1	0.0
幸福度別	とても幸せ	151	10.6	19.9	19.9	25.2	6.6	90.1	0.7	6.0
	幸せ	424	7.1	10.8	18.2	25.7	3.8	90.1	1.2	4.7
	ふつう	491	5.7	12.6	14.1	18.1	3.1	87.8	1.8	8.1
	あまり幸せではない	44	6.8	13.6	11.4	15.9	6.8	75.0	0.0	20.5
	幸せではない	18	5.6	27.8	16.7	22.2	11.1	66.7	0.0	16.7

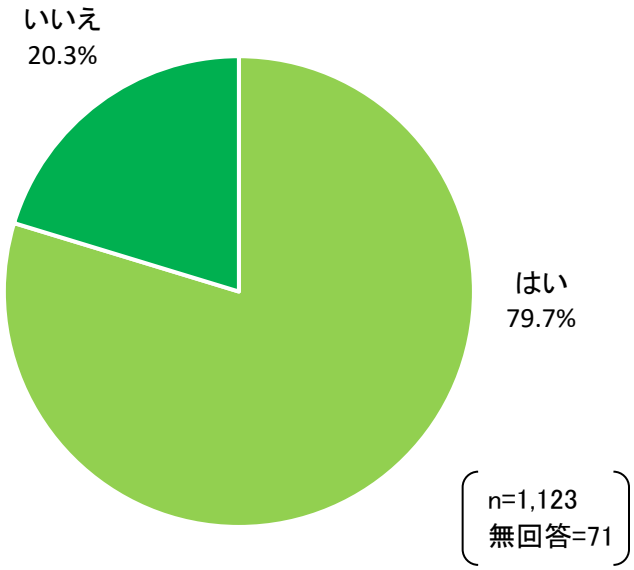
地域に愛着を持っていますか。（A：問 17）

地域に愛着を持っている市民の割合は、「はい」が 79.7%となっており、「いいえ」が 20.3%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、女性(80.6%)が男性(79.8%)より 0.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 88.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 87.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入なし）が 87.5%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 94.4%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 98.7%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(20.2%)が女性(19.4%)より 0.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 37.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 26.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 42.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知南が 28.6%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 70.6%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,123	79.7	20.3
性別	男性	509	79.8	20.2
	女性	542	80.6	19.4
年齢別	10代	18	77.8	22.2
	20代	94	62.8	37.2
	30代	133	74.4	25.6
	40代	156	76.9	23.1
	50代	219	79.9	20.1
	60代	180	80.0	20.0
	70代	194	88.1	11.9
	80代以上	117	88.9	11.1
世帯構成別	夫婦	303	84.5	15.5
	親子（親との二世代）	175	78.3	21.7
	親子（子との二世代）	253	81.4	18.6
	親子孫（三世代）	48	87.5	12.5
	一人暮らし	265	73.2	26.8
	その他	57	80.7	19.3
居住年数別	20年以上（転入なし）	263	87.5	12.5
	20年以上（転入あり）	483	82.6	17.4
	10～19年（転入なし）	18	66.7	33.3
	10～19年（転入あり）	153	80.4	19.6
	5～9年	70	65.7	34.3
	3～4年	65	63.1	36.9
	2年以下	54	57.4	42.6
居住地区別	厚木北	139	77.0	23.0
	厚木南	72	77.8	22.2
	依知北	83	75.9	24.1
	依知南	56	71.4	28.6
	睦合北	49	75.5	24.5
	睦合南	79	81.0	19.0
	睦合西	37	86.5	13.5
	荻野	117	77.8	22.2
	小鮎	69	72.5	27.5
	南毛利	206	85.9	14.1
	南毛利南	68	82.4	17.6
	玉川	17	94.1	5.9
	相川	69	75.4	24.6
	緑ケ丘	18	94.4	5.6
	森の里	31	87.1	12.9
幸福度別	とても幸せ	150	98.7	1.3
	幸せ	423	89.8	10.2
	ふつう	480	70.0	30.0
	あまり幸せではない	43	41.9	58.1
	幸せではない	17	29.4	70.6

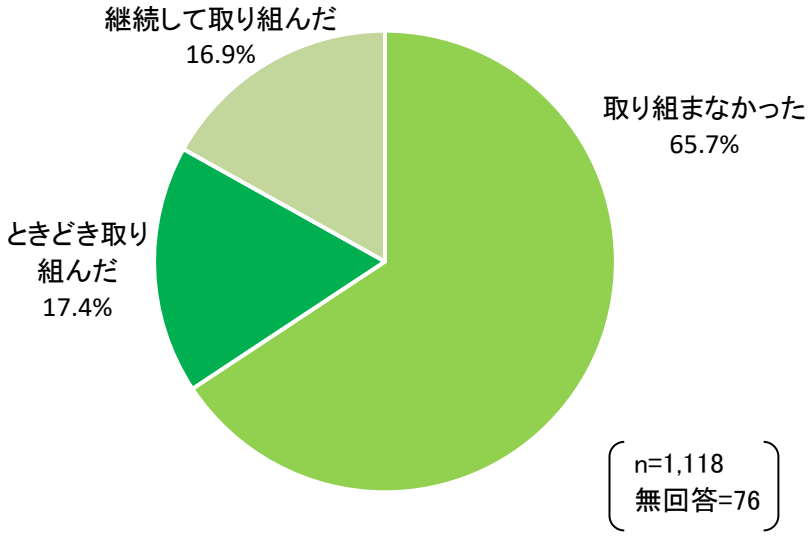
過去１年間に、生涯学習活動に取り組みましたか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。（A：問 18）

過去１年間に、生涯学習活動に取り組んだ市民の割合は 34.3%となっており、項目としては、「ときどき取り組んだ」が 17.4%で最も高く、「継続して取り組んだ」が 16.9%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「ときどき取り組んだ」を性別で見ると、男性(18.1%)が女性(17.6%)より 0.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 22.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 28.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 19.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 36.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せ及びあまり幸せではないが同率で 18.6%で最も高くなっている。

「継続して取り組んだ」を性別で見ると、女性(18.3%)が男性(15.3%)より 3.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 38.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 20.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 33.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 28.6%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 32.2%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	継続して取り組んだ	ときどき取り組んだ	取り組まなかった
全体		1,118	16.9	17.4	65.7
性別	男性	504	15.3	18.1	66.7
	女性	541	18.3	17.6	64.1
年齢別	10代	18	38.9	16.7	44.4
	20代	94	21.3	13.8	64.9
	30代	134	13.4	16.4	70.1
	40代	152	14.5	17.8	67.8
	50代	218	11.0	17.4	71.6
	60代	188	18.1	14.4	67.6
	70代	194	19.1	20.1	60.8
	80代以上	108	23.1	22.2	54.6
世帯構成別	夫婦	296	20.9	19.6	59.5
	親子（親との二世代）	172	19.8	14.5	65.7
	親子（子との二世代）	251	17.5	15.5	66.9
	親子孫（三世代）	49	10.2	28.6	61.2
	一人暮らし	268	12.3	16.0	71.6
	その他	59	15.3	22.0	62.7
居住年数別	20年以上（転入なし）	260	18.8	16.2	65.0
	20年以上（転入あり）	479	17.1	19.6	63.3
	10～19年（転入なし）	18	33.3	5.6	61.1
	10～19年（転入あり）	153	14.4	14.4	71.2
	5～9年	69	13.0	17.4	69.6
	3～4年	65	16.9	13.8	69.2
	2年以下	56	14.3	16.1	69.6
居住地区別	厚木北	139	15.8	20.9	63.3
	厚木南	71	22.5	9.9	67.6
	依知北	82	17.1	23.2	59.8
	依知南	56	12.5	17.9	69.6
	睦合北	50	18.0	12.0	70.0
	睦合南	75	24.0	16.0	60.0
	睦合西	36	8.3	33.3	58.3
	荻野	119	16.0	17.6	66.4
	小鮎	70	7.1	15.7	77.1
	南毛利	203	19.7	13.8	66.5
	南毛利南	68	17.6	23.5	58.8
	玉川	17	17.6	17.6	64.7
	相川	68	13.2	8.8	77.9
	緑ケ丘	21	28.6	9.5	61.9
	森の里	30	13.3	36.7	50.0
幸福度別	とても幸せ	149	32.2	18.1	49.7
	幸せ	414	20.0	18.6	61.4
	ふつう	484	10.5	16.5	72.9
	あまり幸せではない	43	7.0	18.6	74.4
	幸せではない	18	11.1	0.0	88.9

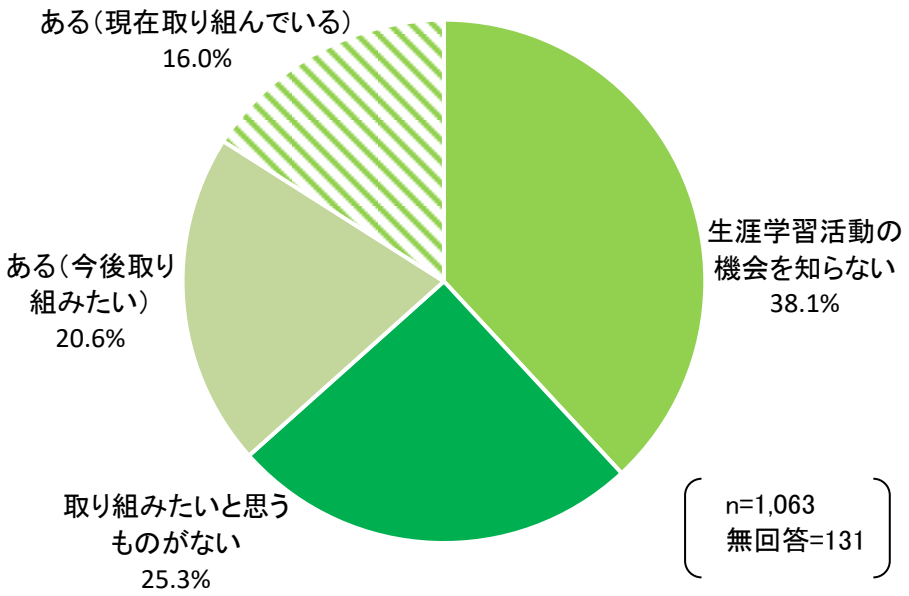
継続して取り組みたいと思う生涯学習活動の機会（講座、施設等）はありますか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。（A：問 19）

継続して取り組みたいと思う生涯学習活動の機会がある市民の割合は 36.6%となっており、項目としては「生涯学習活動の機会を知らない」が 38.1%で最も高く、「ある（現在取り組んでいる）」が 16.0%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「生涯学習活動の機会を知らない」を性別で見ると、男性(38.3%)が女性(37.9%)より 0.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 54.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 45.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 60.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、小鮎が 47.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 47.4%で最も高くなっている。

「ある（現在取り組んでいる）」を性別で見ると、女性(16.3%)が男性(15.9%)より 0.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 28.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 20.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 19.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 31.6%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 22.1%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	ある（現在取り組んでいる）	ある（今後取り組みたい）	取り組みたいと思うものがない	生涯学習活動の機会を知らない
全体		1,063	16.0	20.6	25.3	38.1
性別	男性	483	15.9	18.6	27.1	38.3
	女性	514	16.3	22.4	23.3	37.9
年齢別	10代	18	16.7	22.2	27.8	33.3
	20代	95	12.6	10.5	22.1	54.7
	30代	131	12.2	17.6	16.8	53.4
	40代	152	7.2	21.1	25.7	46.1
	50代	217	11.5	24.9	22.6	41.0
	60代	186	18.8	23.7	27.4	30.1
	70代	165	24.2	23.0	29.1	23.6
	80代以上	89	28.1	15.7	33.7	22.5
世帯構成別	夫婦	278	20.9	22.7	25.2	31.3
	親子（親との二世代）	168	17.3	19.0	22.6	41.1
	親子（子との二世代）	236	16.1	16.9	27.5	39.4
	親子孫（三世代）	44	18.2	34.1	25.0	22.7
	一人暮らし	256	10.9	21.1	23.4	44.5
	その他	60	10.0	21.7	23.3	45.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	246	16.3	19.5	28.5	35.8
	20年以上（転入あり）	449	19.4	22.5	26.3	31.8
	10～19年（転入なし）	18	16.7	22.2	27.8	33.3
	10～19年（転入あり）	149	11.4	21.5	21.5	45.6
	5～9年	67	10.4	19.4	22.4	47.8
	3～4年	65	10.8	16.9	24.6	47.7
	2年以下	55	10.9	12.7	16.4	60.0
居住地区別	厚木北	136	15.4	19.1	24.3	41.2
	厚木南	66	16.7	16.7	30.3	36.4
	依知北	75	16.0	25.3	18.7	40.0
	依知南	55	10.9	20.0	32.7	36.4
	睦合北	49	14.3	18.4	26.5	40.8
	睦合南	72	22.2	16.7	23.6	37.5
	睦合西	33	15.2	27.3	27.3	30.3
	荻野	112	12.5	27.7	24.1	35.7
	小鮎	65	12.3	13.8	26.2	47.7
	南毛利	195	17.9	20.0	20.0	42.1
	南毛利南	65	21.5	20.0	30.8	27.7
	玉川	16	6.3	37.5	37.5	18.8
	相川	64	10.9	20.3	31.3	37.5
	緑ケ丘	19	31.6	15.8	15.8	36.8
	森の里	30	16.7	26.7	26.7	30.0
幸福度別	とても幸せ	140	22.1	27.1	20.7	30.0
	幸せ	393	19.3	24.2	22.6	33.8
	ふつう	463	11.4	16.0	28.7	43.8
	あまり幸せではない	39	10.3	25.6	23.1	41.0
	幸せではない	19	15.8	10.5	26.3	47.4

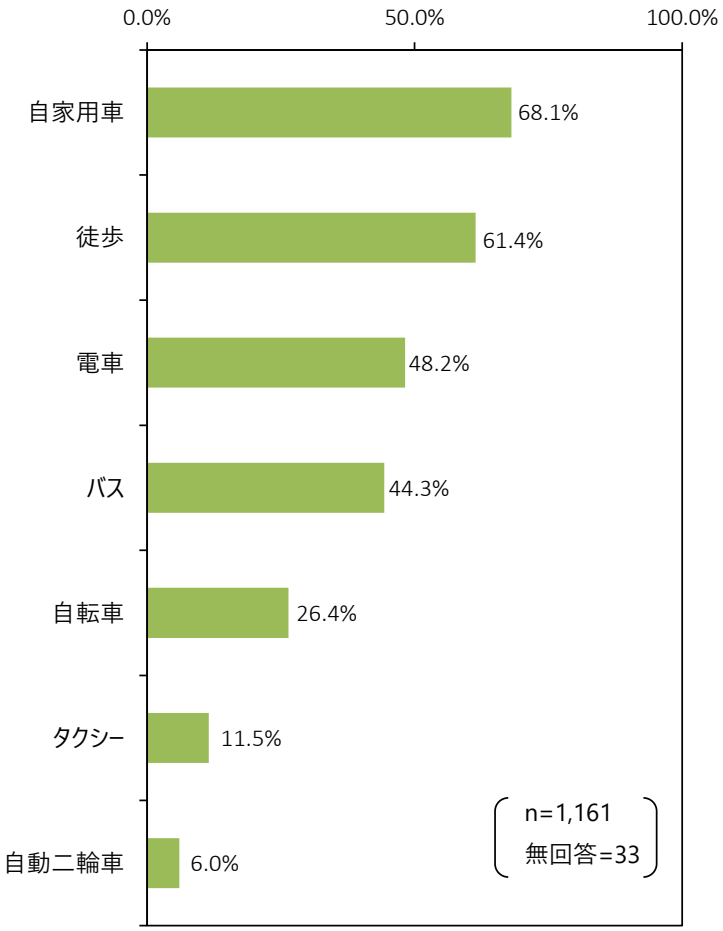
日常生活における主な移動手段はどれですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。（A：問 20）

項目としては「自家用車」が 68.1％で最も高く、「自動二輪車」が 6.0％で最も低くなっている。

【クロス集計】

「自家用車」を性別で見ると、男性(71.5％)が女性(66.4％)より 5.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50 代が 81.2％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 79.5％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入なし）が 74.3％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 87.5％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 72.4％で最も高くなっている。

「自動二輪車」を性別で見ると、男性(9.2％)が女性(3.2％)より 6.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 13.7％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 8.7％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 14.0％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ケ丘が 13.6％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 10.0％で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	電車	バス	タクシー	自家用車	自動二輪車	自転車	徒歩
全体		1,161	48.2	44.3	11.5	68.1	6.0	26.4	61.4
性別	男性	520	48.7	42.9	11.5	71.5	9.2	28.5	61.2
	女性	566	48.8	44.5	12.2	66.4	3.2	24.6	62.5
年齢別	10代	18	61.1	55.6	0.0	38.9	0.0	61.1	55.6
	20代	95	68.4	55.8	11.6	46.3	13.7	35.8	61.1
	30代	135	51.9	39.3	11.9	67.4	8.1	31.1	55.6
	40代	156	48.7	39.7	7.1	64.1	5.8	30.1	62.8
	50代	223	46.2	35.4	1.8	81.2	6.3	22.9	52.5
	60代	192	46.4	39.1	12.5	76.0	6.8	25.0	64.6
	70代	207	45.9	51.2	14.5	69.6	2.4	22.2	66.7
	80代以上	122	35.2	53.3	30.3	58.2	4.1	19.7	68.9
世帯構成別	夫婦	312	47.4	43.6	11.9	77.6	4.8	26.3	61.5
	親子（親との二世代）	180	56.1	51.1	15.6	65.0	5.6	32.2	58.3
	親子（子との二世代）	258	43.4	35.7	7.8	79.5	5.8	20.9	53.9
	親子孫（三世代）	50	34.0	28.0	10.0	78.0	2.0	34.0	58.0
	一人暮らし	275	48.4	48.7	10.9	52.0	8.7	28.0	67.3
	その他	63	57.1	50.8	14.3	57.1	6.3	22.2	76.2
居住年数別	20年以上（転入なし）	268	43.7	38.4	12.7	74.3	6.3	26.9	57.8
	20年以上（転入あり）	511	45.0	46.8	13.3	71.8	4.3	21.5	62.0
	10～19年（転入なし）	18	50.0	44.4	0.0	66.7	0.0	55.6	66.7
	10～19年（転入あり）	155	51.0	41.3	6.5	63.2	5.2	36.1	62.6
	5～9年	69	56.5	37.7	8.7	66.7	8.7	24.6	56.5
	3～4年	65	63.1	49.2	9.2	53.8	10.8	33.8	63.1
	2年以下	57	64.9	52.6	10.5	49.1	14.0	29.8	71.9
居住地区別	厚木北	142	64.8	31.0	12.7	44.4	3.5	30.3	78.2
	厚木南	74	73.0	43.2	12.2	43.2	5.4	36.5	90.5
	依知北	86	32.6	37.2	7.0	79.1	2.3	16.3	47.7
	依知南	60	38.3	50.0	8.3	76.7	6.7	30.0	45.0
	睦合北	51	43.1	58.8	5.9	60.8	7.8	23.5	64.7
	睦合南	84	45.2	60.7	15.5	66.7	4.8	32.1	64.3
	睦合西	37	48.6	54.1	10.8	67.6	2.7	32.4	59.5
	荻野	119	43.7	52.9	5.9	73.9	6.7	18.5	54.6
	小鮎	74	24.3	37.8	10.8	83.8	8.1	13.5	33.8
	南毛利	211	47.4	44.5	17.1	69.2	8.1	30.3	65.4
	南毛利南	67	70.1	31.3	9.0	79.1	3.0	29.9	68.7
	玉川	17	29.4	23.5	0.0	82.4	5.9	5.9	11.8
	相川	71	50.7	40.8	12.7	80.3	8.5	33.8	62.0
	緑ケ丘	22	40.9	72.7	18.2	68.2	13.6	18.2	72.7
	森の里	32	28.1	34.4	12.5	87.5	9.4	15.6	37.5
幸福度別	とても幸せ	152	55.3	40.1	9.9	72.4	7.2	34.2	63.2
	幸せ	431	51.0	46.2	11.1	70.3	5.6	26.7	61.3
	ふつう	503	44.3	42.9	12.5	66.6	6.4	23.7	62.2
	あまり幸せではない	45	46.7	51.1	4.4	68.9	2.2	24.4	48.9
	幸せではない	20	30.0	35.0	25.0	35.0	10.0	45.0	60.0

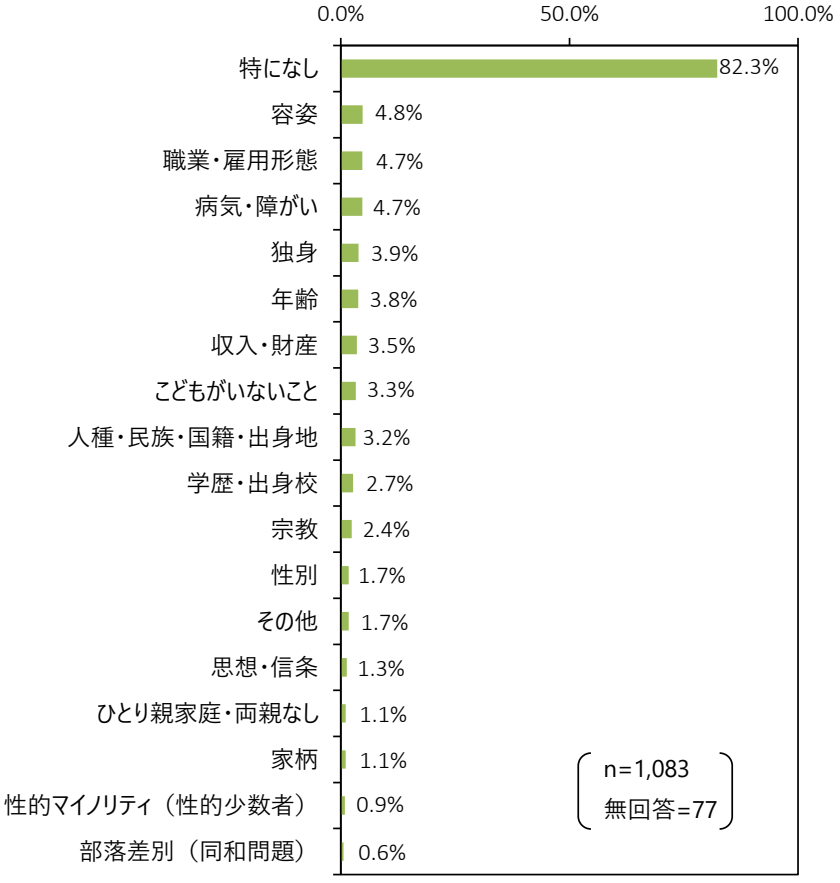
過去１年間に周囲から偏見や差別を受けたり、聞いたりして不快に思ったことがありますか。次の中からあてはまるものすべてに〇をつけてください。（B：問 17）

過去１年間に周囲から偏見や差別を受けたり、聞いたりして不快に思ったことがある市民の割合は 17.7％となっており、項目としては、特になしを除くと「容姿」が 4.8％で最も高く、「部落差別（同和問題）」が 0.6％で最も低くなっている。

【クロス集計】

「容姿」を性別で見ると、男性(5.1％)が女性(3.9％)より 1.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 15.4％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（親との二世代）が 7.7％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 8.7％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が 12.1％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 31.3％で最も高くなっている。

「部落差別（同和問題）」を性別で見ると、男性(0.7％)が女性(0.4％)より 0.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30 代が 1.7％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 3.0％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 1.7％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 7.7％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、ふつうが 1.0％で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	容姿	学歴・出身校	性別	職業・雇用形態	年齢	病気・障がい	収入・財産	こどもがいないこと	独身	人種・民族・国籍・出身地	ひとり親家庭・両親なし	家柄	思想・信条	宗教	部落差別（同和問題）	性的マイノリティ（性的少数者）	その他	特になし
全体		1,083	4.8	2.7	1.7	4.7	3.8	4.7	3.5	3.3	3.9	3.2	1.1	1.1	1.3	2.4	0.6	0.9	1.7	82.3
性別	男性	453	5.1	2.2	1.3	5.5	3.1	4.4	4.0	2.6	4.2	2.9	0.9	1.1	1.3	1.8	0.7	1.1	1.3	84.1
	女性	561	3.9	2.9	2.1	3.9	3.9	4.1	2.1	3.9	3.6	3.9	1.4	0.5	1.2	3.0	0.4	0.7	1.6	82.0
年齢別	10代	13	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9
	20代	84	8.3	4.8	1.2	9.5	3.6	6.0	7.1	2.4	8.3	6.0	1.2	1.2	2.4	3.6	0.0	1.2	2.4	76.2
	30代	120	10.0	5.0	3.3	7.5	2.5	2.5	6.7	8.3	6.7	7.5	2.5	2.5	2.5	3.3	1.7	1.7	2.5	70.8
	40代	140	8.6	3.6	4.3	5.0	6.4	5.7	4.3	5.0	7.1	2.9	2.9	1.4	0.7	4.3	0.7	2.9	0.7	77.1
	50代	228	5.7	4.4	1.8	7.5	6.6	7.9	4.4	5.3	4.8	4.8	0.4	1.8	1.3	2.2	0.4	0.9	3.1	76.3
	60代	167	1.8	1.2	0.6	3.6	3.0	3.6	1.2	1.8	1.8	1.2	0.0	0.0	1.2	2.4	0.6	0.6	3.0	88.6
	70代	207	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	3.9	2.4	0.5	1.0	1.0	0.5	0.0	1.4	1.0	0.5	0.0	0.0	90.8
	80代以上	107	0.0	0.0	1.9	0.9	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	94.4
世帯構成別	夫婦	329	2.4	0.9	1.5	3.0	1.5	2.7	2.7	3.3	0.0	1.8	0.3	0.6	0.9	1.5	0.6	0.0	1.2	87.8
	親子（親との二世代）	169	7.7	3.0	1.2	7.1	6.5	5.3	5.3	5.3	9.5	7.1	0.0	0.6	3.0	3.6	0.0	0.6	3.6	72.2
	親子（子との二世代）	256	5.5	4.3	2.0	2.7	3.1	3.9	2.0	1.2	0.8	3.1	1.6	0.8	0.4	3.1	0.0	1.2	1.2	84.0
	親子孫（三世代）	33	6.1	3.0	3.0	6.1	6.1	9.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	6.1	3.0	3.0	3.0	0.0	87.9
	一人暮らし	226	4.4	3.1	1.8	5.8	4.0	4.9	4.0	4.0	8.4	1.8	1.3	0.9	0.9	1.3	0.9	1.3	1.8	82.3
	その他	43	7.0	2.3	2.3	11.6	4.7	11.6	4.7	2.3	4.7	9.3	2.3	2.3	2.3	4.7	2.3	4.7	0.0	74.4
居住年数別	20年以上（転入なし）	261	4.6	2.3	1.5	5.4	4.2	4.6	4.2	3.4	3.8	3.8	1.9	1.5	1.5	2.7	1.1	1.5	1.1	83.5
	20年以上（転入あり）	464	4.3	3.0	0.9	4.1	3.4	5.4	2.8	2.6	3.0	1.5	0.9	0.4	1.1	0.9	0.2	0.2	1.9	84.1
	10～19年（転入なし）	23	8.7	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	21.7	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	4.3	69.6
	10～19年（転入あり）	140	5.7	1.4	2.9	7.1	5.0	4.3	5.0	4.3	5.0	6.4	0.0	2.1	1.4	6.4	0.7	1.4	1.4	79.3
	5～9年	64	3.1	1.6	3.1	1.6	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	3.1	84.4
	3～4年	57	7.0	1.8	5.3	3.5	1.8	3.5	7.0	5.3	7.0	3.5	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0	1.8	0.0	82.5
	2年以下	59	5.1	3.4	0.0	5.1	3.4	5.1	0.0	1.7	6.8	1.7	0.0	0.0	1.7	5.1	1.7	1.7	1.7	76.3
居住地区別	厚木北	131	3.1	1.5	1.5	2.3	3.8	3.1	0.8	1.5	2.3	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	88.5
	厚木南	66	12.1	4.5	3.0	10.6	4.5	7.6	6.1	4.5	7.6	6.1	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	1.5	4.5	68.2
	依知北	89	4.5	3.4	2.2	6.7	4.5	2.2	3.4	2.2	7.9	6.7	1.1	1.1	2.2	5.6	1.1	1.1	1.1	79.8
	依知南	55	7.3	1.8	1.8	3.6	3.6	3.6	1.8	0.0	0.0	3.6	1.8	1.8	5.5	3.6	1.8	3.6	1.8	83.6
	睦合北	59	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	6.8	3.4	0.0	1.7	0.0	1.7	1.7	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	89.8
	睦合南	85	3.5	2.4	1.2	1.2	3.5	7.1	1.2	8.2	7.1	5.9	3.5	0.0	0.0	3.5	0.0	1.2	2.4	81.2
	睦合西	45	4.4	0.0	0.0	4.4	4.4	2.2	2.2	6.7	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.2
	荻野	118	2.5	1.7	2.5	2.5	1.7	3.4	1.7	2.5	2.5	2.5	1.7	0.0	0.8	3.4	0.0	0.8	1.7	83.9
	小鮎	54	7.4	5.6	3.7	5.6	7.4	9.3	9.3	7.4	5.6	3.7	0.0	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	79.6
	南毛利	183	6.0	3.3	1.6	6.0	3.8	5.5	4.9	4.9	3.8	4.4	0.5	1.1	1.1	2.2	0.0	1.1	2.7	80.9
	南毛利南	54	7.4	3.7	3.7	7.4	5.6	1.9	3.7	1.9	5.6	0.0	1.9	0.0	1.9	3.7	1.9	1.9	3.7	83.3
	玉川	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	92.3
	相川	50	4.0	2.0	0.0	4.0	0.0	4.0	2.0	2.0	0.0	0.0	4.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	90.0
	緑ケ丘	24	4.2	0.0	0.0	20.8	8.3	4.2	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	66.7
	森の里	40	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	2.5	85.0
幸福度別	とても幸せ	132	3.8	2.3	0.8	3.0	2.3	4.5	2.3	1.5	3.0	2.3	1.5	0.0	1.5	3.0	0.8	0.8	0.0	81.8
	幸せ	377	4.5	2.1	2.1	3.7	3.4	2.7	2.1	3.4	3.4	3.7	0.3	0.5	1.1	2.4	0.0	0.5	1.3	85.1
	ふつう	491	4.3	2.9	1.4	4.7	3.3	5.1	3.5	3.1	3.5	3.1	1.4	1.2	1.4	2.4	1.0	1.2	2.0	83.3
	あまり幸せではない	49	4.1	4.1	2.0	8.2	8.2	8.2	6.1	4.1	4.1	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	81.6
	幸せではない	16	31.3	6.3	6.3	25.0	12.5	25.0	31.3	12.5	18.8	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	31.3

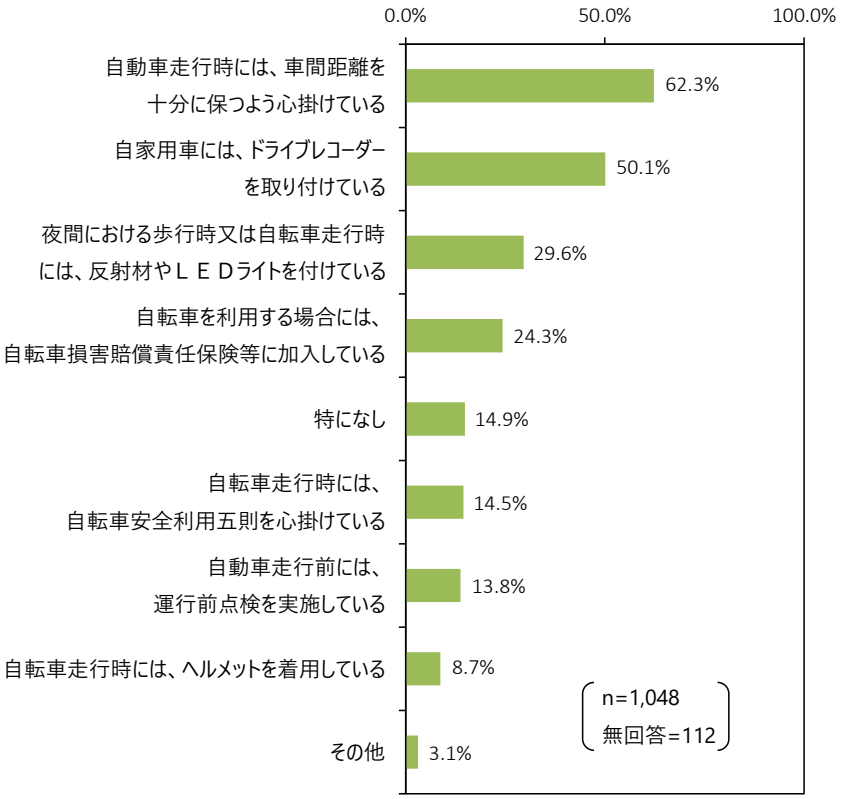
交通安全のために心掛けていることがありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。（B：問 18）

交通安全のために心掛けていることがある市民の割合は 85.1%となっており、項目としては、その他を除くと「自動車走行時には、車間距離を十分に保つよう心掛けている」が 62.3%で最も高く、「自転車走行時には、ヘルメットを着用している」が 8.7%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「自動車走行時には、車間距離を十分に保つよう心掛けている」を性別で見ると、男性(65.1%)が女性(60.3%)より 4.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60 代が 71.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 71.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 66.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 75.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 65.8%で最も高くなっている。

「自転車走行時には、ヘルメットを着用している」を性別で見ると、男性(9.7%)が女性(7.4%)より 2.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 15.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 15.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 17.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、相川が 11.8%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、ふつうが 9.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	運行前点検を実施している	車間距離を十分に保つよう心掛けている	ドライブレコーダーを取り付けている	自転車安全利用五則を心掛けている	自転車走行時にヘルメットを着用している	自転車損害賠償責任保険等に加入している	夜間に反射材やLEDライトを付けている	その他	特になし
全体		1,048	13.8	62.3	50.1	14.5	8.7	24.3	29.6	3.1	14.9
性別	男性	453	17.0	65.1	52.3	17.2	9.7	23.6	27.2	2.9	13.5
	女性	539	10.8	60.3	49.4	11.9	7.4	25.0	31.4	3.2	16.3
年齢別	10代	13	7.7	46.2	23.1	15.4	15.4	46.2	38.5	0.0	15.4
	20代	81	13.6	56.8	49.4	18.5	7.4	24.7	35.8	3.7	11.1
	30代	119	14.3	58.0	52.1	13.4	11.8	27.7	32.8	4.2	17.6
	40代	142	14.1	66.2	54.2	14.8	10.6	38.7	44.4	0.7	12.0
	50代	227	11.5	69.2	60.4	14.5	5.7	26.4	27.8	3.5	10.1
	60代	169	17.2	71.6	58.6	8.3	7.1	22.5	28.4	3.6	11.2
	70代	197	16.2	61.9	42.1	19.3	9.6	16.8	22.8	2.5	13.2
	80代以上	94	9.6	39.4	25.5	13.8	10.6	10.6	16.0	5.3	39.4
世帯構成別	夫婦	316	15.5	65.8	53.2	13.9	9.5	21.5	28.2	3.8	11.1
	親子（親との二世代）	167	13.2	58.7	56.3	13.2	5.4	22.8	29.9	3.0	16.2
	親子（子との二世代）	255	13.3	71.4	58.8	16.5	11.4	37.3	34.9	2.4	8.6
	親子孫（三世代）	32	15.6	62.5	59.4	21.9	15.6	34.4	18.8	3.1	6.3
	一人暮らし	225	12.9	56.4	35.6	14.2	7.1	16.0	26.2	4.0	23.1
	その他	40	10.0	35.0	25.0	5.0	0.0	15.0	25.0	0.0	37.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	257	11.3	61.9	49.0	12.8	4.7	21.0	31.5	3.1	14.4
	20年以上（転入あり）	453	13.2	64.7	53.2	13.7	7.9	20.8	25.2	3.8	13.5
	10～19年（転入なし）	24	16.7	45.8	37.5	12.5	8.3	25.0	29.2	0.0	29.2
	10～19年（転入あり）	134	17.9	59.0	47.8	23.1	17.9	40.3	41.0	3.0	14.2
	5～9年	65	16.9	64.6	52.3	16.9	10.8	32.3	41.5	1.5	10.8
	3～4年	53	18.9	66.0	58.5	15.1	9.4	18.9	20.8	5.7	17.0
	2年以下	58	10.3	56.9	32.8	6.9	8.6	27.6	22.4	0.0	25.9
居住地区別	厚木北	127	16.5	48.0	32.3	17.3	7.9	27.6	32.3	3.9	23.6
	厚木南	64	9.4	53.1	35.9	20.3	6.3	32.8	32.8	6.3	23.4
	依知北	86	16.3	67.4	57.0	11.6	7.0	23.3	29.1	4.7	11.6
	依知南	54	7.4	53.7	44.4	16.7	11.1	29.6	25.9	1.9	18.5
	睦合北	57	14.0	61.4	64.9	15.8	7.0	35.1	40.4	1.8	8.8
	睦合南	83	12.0	61.4	48.2	14.5	8.4	26.5	26.5	3.6	18.1
	睦合西	46	10.9	63.0	56.5	10.9	6.5	23.9	28.3	4.3	8.7
	荻野	117	16.2	71.8	59.0	13.7	10.3	12.0	16.2	2.6	11.1
	小鮎	51	5.9	68.6	56.9	15.7	7.8	17.6	17.6	0.0	9.8
	南毛利	174	14.4	69.0	52.9	14.4	9.8	25.9	36.8	2.3	12.1
	南毛利南	56	19.6	67.9	55.4	16.1	10.7	28.6	28.6	7.1	10.7
	玉川	12	8.3	75.0	58.3	8.3	8.3	16.7	33.3	8.3	0.0
	相川	51	15.7	62.7	58.8	19.6	11.8	31.4	41.2	2.0	9.8
	緑ケ丘	23	17.4	43.5	30.4	4.3	0.0	8.7	26.1	0.0	30.4
	森の里	38	13.2	65.8	44.7	5.3	10.5	15.8	21.1	0.0	18.4
幸福度別	とても幸せ	132	20.5	65.2	49.2	17.4	7.6	26.5	34.1	3.8	18.2
	幸せ	360	13.1	65.8	52.5	16.4	8.9	25.0	30.6	4.2	11.1
	ふつう	485	13.0	59.8	50.7	13.8	9.3	24.9	27.4	2.5	15.3
	あまり幸せではない	48	12.5	58.3	39.6	6.3	8.3	12.5	35.4	2.1	20.8
	幸せではない	16	12.5	50.0	25.0	0.0	0.0	12.5	18.8	0.0	37.5

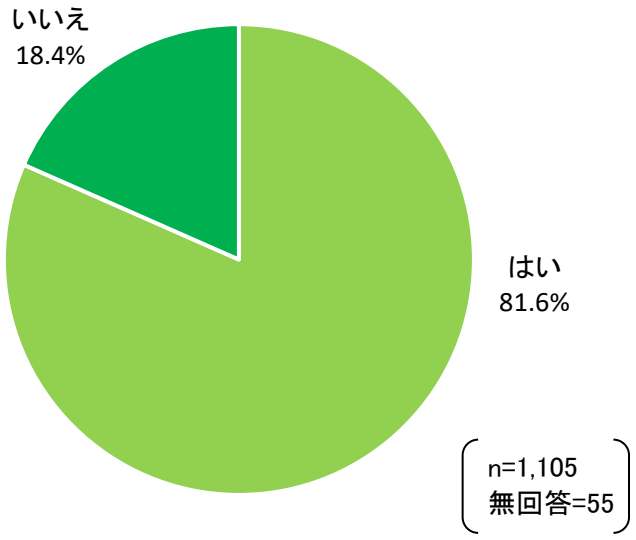
目的地まで移動する際、複数の経路から選択できますか。(B：問 19)

目的地まで移動する際、複数の経路から選択できる市民の割合は、「はい」が 81.6%となっており、「いいえ」が 18.4%となっている。

【クロス集計】

「はい」と回答した割合を性別で見ると、男性(83.6%)が女性(80.5%)より 3.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 100.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 85.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 96.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 92.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 92.6%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、女性(19.5%)が男性(16.4%)より 3.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 27.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 31.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 32.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 32.5%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、あまり幸せではないが 39.6%で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	はい	いいえ
全体		1,105	81.6	18.4
性別	男性	464	83.6	16.4
	女性	575	80.5	19.5
年齢別	10代	13	100.0	0.0
	20代	86	79.1	20.9
	30代	123	85.4	14.6
	40代	144	79.9	20.1
	50代	230	79.6	20.4
	60代	170	85.3	14.7
	70代	215	85.1	14.9
	80代以上	115	73.0	27.0
世帯構成別	夫婦	340	83.5	16.5
	親子（親との二世代）	173	76.3	23.7
	親子（子との二世代）	255	85.9	14.1
	親子孫（三世代）	32	84.4	15.6
	一人暮らし	242	80.6	19.4
	その他	42	69.0	31.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	264	82.2	17.8
	20年以上（転入あり）	482	82.0	18.0
	10～19年（転入なし）	25	96.0	4.0
	10～19年（転入あり）	141	84.4	15.6
	5～9年	68	83.8	16.2
	3～4年	57	77.2	22.8
	2年以下	61	67.2	32.8
居住地区別	厚木北	137	86.9	13.1
	厚木南	68	82.4	17.6
	依知北	89	74.2	25.8
	依知南	55	74.5	25.5
	睦合北	59	84.7	15.3
	睦合南	88	84.1	15.9
	睦合西	48	85.4	14.6
	荻野	120	81.7	18.3
	小鮎	56	67.9	32.1
	南毛利	186	86.6	13.4
	南毛利南	57	80.7	19.3
	玉川	13	92.3	7.7
	相川	55	87.3	12.7
	緑ケ丘	23	82.6	17.4
	森の里	40	67.5	32.5
幸福度別	とても幸せ	136	92.6	7.4
	幸せ	385	85.2	14.8
	ふつう	505	78.4	21.6
	あまり幸せではない	53	60.4	39.6
	幸せではない	18	72.2	27.8

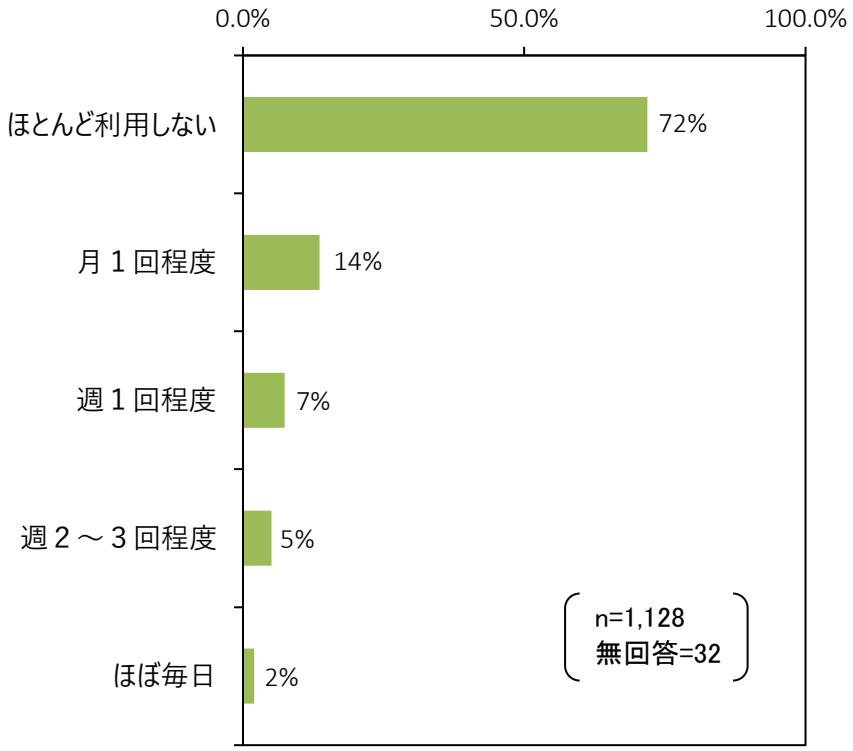
市内の公園をどの程度利用していますか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。（B：問 20）

市内の公園を利用する市民の割合は 28.1％となっており、項目としては、「ほとんど利用しない」を除くと、「月１回程度」が 13.6％で最も高く、「ほぼ毎日」が 2.0％で最も低くなっている。

【クロス集計】

「月１回程度」を性別で見ると、男性(14.9％)が女性(13.2％)より 1.7 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 23.1％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 18.3％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 40.0％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が 20.9％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 18.8％で最も高くなっている。

「ほぼ毎日」を性別で見ると、男性(1.9％)が女性(1.5％)より 0.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60 代が 2.9％で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 3.4％で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9 年が 4.4％で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が 3.4％で最も高くなっており、幸福度別で見ると、あまり幸せではないが 3.7％で最も高くなっている。



【クロス集計】

（単位：%）

		n	ほぼ毎日	週2～3回程度	週1回程度	月1回程度	ほとんど利用しない
全体		1,128	2.0	5.1	7.4	13.6	71.9
性別	男性	471	1.9	7.0	8.5	14.9	67.7
	女性	589	1.5	3.6	6.5	13.2	75.2
年齢別	10代	13	0.0	0.0	15.4	23.1	61.5
	20代	86	1.2	2.3	4.7	8.1	83.7
	30代	123	2.4	11.4	11.4	15.4	59.3
	40代	144	1.4	6.3	8.3	20.8	63.2
	50代	233	1.7	1.3	6.0	17.2	73.8
	60代	173	2.9	3.5	4.0	12.7	76.9
	70代	225	2.2	4.0	9.8	10.2	73.8
	80代以上	122	1.6	12.3	6.6	7.4	72.1
世帯構成別	夫婦	344	1.5	6.1	7.3	17.2	68.0
	親子（親との二世代）	177	0.6	4.0	8.5	9.6	77.4
	親子（子との二世代）	263	3.4	8.0	11.0	18.3	59.3
	親子孫（三世代）	34	0.0	2.9	5.9	8.8	82.4
	一人暮らし	248	2.0	2.4	2.8	8.9	83.9
	その他	43	2.3	4.7	9.3	9.3	74.4
居住年数別	20年以上（転入なし）	271	0.7	4.8	6.6	13.3	74.5
	20年以上（転入あり）	494	2.4	5.3	6.7	11.3	74.3
	10～19年（転入なし）	25	0.0	0.0	16.0	40.0	44.0
	10～19年（転入あり）	145	2.1	4.1	8.3	17.9	67.6
	5～9年	68	4.4	7.4	13.2	13.2	61.8
	3～4年	58	1.7	6.9	8.6	12.1	70.7
	2年以下	61	1.6	6.6	3.3	14.8	73.8
居住地区別	厚木北	138	2.9	5.1	6.5	17.4	68.1
	厚木南	67	3.0	4.5	3.0	20.9	68.7
	依知北	89	0.0	1.1	4.5	12.4	82.0
	依知南	61	1.6	9.8	6.6	9.8	72.1
	睦合北	62	0.0	6.5	3.2	9.7	80.6
	睦合南	88	1.1	4.5	9.1	15.9	69.3
	睦合西	48	0.0	4.2	6.3	12.5	77.1
	荻野	126	3.2	5.6	4.8	12.7	73.8
	小鮎	56	0.0	0.0	16.1	10.7	73.2
	南毛利	190	3.2	4.2	7.9	15.8	68.9
	南毛利南	58	3.4	12.1	8.6	13.8	62.1
	玉川	13	0.0	0.0	7.7	7.7	84.6
	相川	56	1.8	1.8	5.4	7.1	83.9
	緑ケ丘	24	0.0	12.5	16.7	4.2	66.7
	森の里	41	2.4	12.2	19.5	14.6	51.2
幸福度別	とても幸せ	137	2.2	8.8	10.9	15.3	62.8
	幸せ	394	1.3	4.8	10.2	18.8	65.0
	ふつう	516	2.3	4.8	4.7	9.7	78.5
	あまり幸せではない	54	3.7	1.9	1.9	9.3	83.3
	幸せではない	17	0.0	0.0	5.9	11.8	82.4

3　総括

（1）実感度について（調査項目 77 項目）

・調査項目全 77 項目について、実感している人の割合は、前年度調査と比較して 61 項目において上昇し、16 項目が低下した。

・『実感している人の割合が高い』項目は、「日常生活に必要な施設が身近にある」「消防・救急・救助体制の充実」「子育てサービスの充実」の順となっており、日常生活に身近な取組や子育て支援等の取組が評価されたものと考えられる。

・『実感していない人の割合が高い』項目は、「住環境の整備の取組」「定住促進の取組」「先端技術産業の推進」の順となっている。

・前年度調査と比較し、実感度が最も上昇した項目は「家庭・地域・学校の協働の推進」（9.6 ポイント増）で、最も低下した項目は「広域的な課題に対する近隣市町村等との連携」（4.0 ポイント減）となった。

・『無回答の割合が高い』項目は、「教育支援体制の充実」「こどもたちが安心して共に学べる取組」「こどもたちが自ら課題に取り組む」の順となっており、子育てに関係のない人が無回答とした傾向になったものと考えられる。

・『無回答の割合が低い』項目は、「日常生活に必要な施設が身近にある」「日常生活における移動がスムーズ」「緑豊かな生活環境」の順となっており、日常生活に身近な項目は無回答の割合が低い傾向になったものと考えられる。

（2）重要度について（調査項目 77 項目）

・調査項目全 77 項目について、重要視している人の割合は、前年度調査と比較して 31 項目において上昇し、2 項目が横ばい、44 項目が低下した。

・『重要視している人の割合が高い』項目は、「消防・救急・救助体制の充実」「日常生活に必要な施設が身近にある」「安心・安全に通行できる道路環境」の順となっており、市民が安心・安全に対する取組を重要視しているものと考えられる。

・『重要視していない人の割合が高い』項目は、「国内友好都市との交流」「互いの違いを尊重できるまちづくり」「あつぎ郷土博物館の取組」の順となっている。

・前年度調査と比較し、重要度が最も上昇した項目は「社会教育の取組」（4.7 ポイント増）で、最も低下した項目は「災害に備えたハード整備」（6.1 ポイント減）となった。

・『無回答の割合が高い』項目は、「こどもたちが安心して共に学べる取組」「教育支援体制の充実」「青少年の健全育成の取組」の順となっており、子育てに関係のない人が無回答とした傾向になったものと考えられる。

・『無回答の割合が低い』項目は、「日常生活に必要な施設が身近にある」「日常生活における移動がスムーズ」「安心・安全に通行できる道路環境」の順となっており、生活に身近な項目は無回答の割合が低い傾向になったものと考えられる。

（３）実感度と重要度の関係について

・調査項目全 77 項目のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類Ⅰに属する項目については、「災害対応力の強化の取組」のほか 27 項目となっている。
・相対的に実感度が低く、重要度が高い分類Ⅱに属する項目については、「災害に備えたハード整備」のほか 10 項目となっている。
・相対的に実感度が高く、重要度が低い分類Ⅲに属する項目については、「文化芸術に親しむ機会の提供」のほか 9 項目となっている。
・相対的に実感度が低く、重要度も低い分類Ⅳに属する項目については、「互いの違いを尊重できるまちづくり」のほか 27 項目となっている。

（４）市民ニーズについて

・『市民ニーズが高い（重要度に対し実感度が低い)』項目は、「防犯の取組」「住環境の整備の取組」「安心・安全に通行できる道路環境」「災害に備えたハード整備」「地域防災力向上の取組」の順となっている。

（５）行動変容について（調査項目 27 項目）

・調査項目全 27 項目の実績値について、前年度調査と比較して 12 項目において上昇し、15 項目が低下した。
・実績値が高い項目は、「資源の分別を意識している」「健康増進のために取り組んでいることがある」「防犯等の対策について心掛けていることがある」の順となっており、実績値が低い項目は、「市内で文化芸術に親しんでいる」「図書館を利用している」「運動やスポーツを週 3 回以上行っている」の順となっている。
・前年度調査と比較し、実績値が最も上昇した項目は「市内で文化芸術に親しんでいる」（4.1 ポイント増）で、最も低下した項目は「認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある」（5.2 ポイント減）となった。

（６）幸福度について

・前年度調査と比較し、「とても幸せ」「幸せ」の合計は 1.3 ポイント低下し、「あまり幸せではない」「幸せではない」の合計は 0.8 ポイント上昇した。
・「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」と回答した人の合計は 94.0％となり、前年度調査と比較して 0.9 ポイント減少した。

（７）実感度調査の結果を踏まえた施策の展開について

・実感度については、調査項目全 77 項目中、61 項目において実感度が上昇したことから、市の施策に対して市民が一定の評価をしていることがうかがえる。一方、実感度が低下した 16 項目については、市の施策が市民の実感として現れるよう、関連する取組を強化する必要がある。
・重要度については、調査項目全 77 項目中、31 項目において重要度が上昇したことから、これらの項目に市民の関心が高まっていることがうかがえるため、重要視している要因を分析し、ニーズに合った取組の更なる推進が求められる。
・実感度と重要度の関係については、調査項目全 77 項目のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類Ⅰに属する「災害対応力の強化の取組」のほか 27 項目については、市民ニーズに即した取組を引き続き重点的に進める必要がある。また、相対的に実感度が低く、重要度が高い分類Ⅱに属する「災害に備えたハード整備」のほか 10 項目については、市民ニーズを的確に捉え、重点的に改善を図っていく必要がある。
・市民ニーズが高い「防犯の取組」「住環境の整備の取組」「安心・安全に通行できる道路環境」等については、施策の効果を十分に検証し、更なる事業推進を図る必要がある。
・行動変容については、調査項目全 27 項目中、15 項目において実績値が低下したため、クロス集計のデータを基に分析を行い、施策により市民の行動の変化を促すことができるよう、関連する取組の強化が求められる。一方、実績値が上昇した 12 項目については、変化した行動が継続されるよう、施策を着実に推進していく必要がある。

4　調査票様式

4 - 1　調査票 A

◆　市の取組に対する皆様の実感・重要度についてお聞きします。

問１　　市のまちづくりの取組状況に対する現在の実感について、お考えに該当する番号に１つ○をつけてください。

また、それぞれの取組の今後の重要度について、お考えに該当する番号に１つ○をつけてください。

★質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。

質問 （質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。）	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	ややである	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
回答例 ① 急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進められている。	1	(2)	3	4	5	(1)	2	3	4	5
		ハード整備はやや進んでいると思う					ハード整備を進めることは重要だと思う			
1　災害に強いまちの実現について										
① 急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「災害に強いまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
2　セーフコミュニティの推進について										
① 事故やけがなどがない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 交通安全の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 防犯の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「セーフコミュニティの推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 （質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。）	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
3　健康寿命延伸の推進について										
① メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 市立病院の救急医療体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 介護予防と認知症に対する取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「健康寿命延伸の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
4　多様性の尊重と平和都市の推進について										
① 国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 困りごとに対する相談・支援体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 平和についての啓発が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「多様性の尊重と平和都市の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
5　文化芸術の振興について										
① 文化芸術に親しむ機会が提供されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 郷土文化の継承と発展が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ あつぎ郷土博物館の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「文化芸術の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 （質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。）	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
6　生涯スポーツの振興について										
① 運動・スポーツ活動の機会が提供されている。 （「運動・スポーツ」には、散歩や階段昇降、サイクリング、キャンプ、釣りなどのレクリエーションやレジャー、健康の維持増進のために行う身体活動も含みます。）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ スポーツ施設が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「生涯スポーツの振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										
7　地域の個性をいかした魅力あるまちの実現について										
① 広域交通網（新たなインターチェンジ周辺）の高い利便性をいかした土地利用（都市基盤整備）が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 山地、河川、市街地などの景観が守られている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 新たな産業拠点の創出が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「地域の個性をいかした魅力あるまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
8　安心して働くことができるまちの実現について										
① 就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「安心して働くことができるまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 （質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。）	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	やや そう思う	どちら でもない	あまり そう思わない	そう思わない	重要である	やや 重要である	どちら でもない	あまり 重要ではない	重要ではない
9　観光の振興について										
① 大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 観光情報の発信が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「観光の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										
10　農業・林業・水産業の振興について										
① 農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 地産地消が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「農業・林業・水産業の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										
11　地球温暖化対策の推進について										
① 環境教育や環境学習の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 再生可能エネルギーの普及が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「地球温暖化対策の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 （質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。）	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	やや そう思う	どちら でもない	あまり そう思わない	そう思わない	重要である	やや 重要である	どちら でもない	あまり 重要ではない	重要ではない
12　自然との共生の推進について										
① 生物多様性の普及や保全が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 里地里山の保全や活用が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 森林整備など、山林の再生が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「自然との共生の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
13　都市間連携の推進について										
① 防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 国内友好都市との交流が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「都市間連携の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

◆　災害への対策・セーフコミュニティについてお聞きします。

問２　　地震や風水害などの災害に備えていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　非常食、飲料水を備えている ２　家具が倒れないよう工夫している ３　住まいの耐震診断を行い補強や改修工事をしている(する予定) ４　避難路の危険な箇所を確認している ５　災害時の避難場所を決めている ６　家族との安否確認の方法を決めている ７　災害時に必要な情報を入手する方法を知っている ８　その他	９　特になし

問３　　自転車の安全のために心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　自転車に乗る際は、ヘルメットを着用している ２　自転車の走行ルール（原則、車道の左側等）を守っている ３　自転車保険に加入している	４　特になし

問４　　防犯等の対策について心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している ２　防犯カメラ、センサーライト、迷惑電話防止機能付電話などの防犯機器を設置している ３　犯罪発生状況等を市ホームページやメール配信サービスなどで確認するようにしている ４　家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている ５　自転車やオートバイ等に二重ロックやシートをかけるなどの防犯対策をしている ６　地域の防犯パトロール、見守り活動などに参加している	７　特になし

◆　健康づくりについてお聞きします。

問５　　健康増進のために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　食生活の改善 ２　運動 ３　禁煙 ４　適量飲酒 ５　口腔ケア（歯磨き以外） ６　健康診断 ７　がん検診 ８　その他	９　特になし

問６　　過去１年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　健康診断 ２　がん検診 ３　人間ドック	４　いずれも受けていない

問７　　認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　公民館等で行われる介護予防教室などに参加している ２　計画的に運動をして体を動かしている ３　食べるものなどの食生活に気をつけている ４　趣味活動を行っている ５　歯や口腔の健康に気をつけている	６　専門機関などに相談をしている ７　身の回りのことを自分でしている ８　家族や友人、知人と交流している ９　地域の活動に参加している	１０　特になし

問８　　かかりつけ医がいますか。

※かかりつけ医：自分の健康状態や病気のことなどを普段からある程度知っており、困ったときに身近にいて適切なアドバイスをくれる医師のこと

１　はい	２　いいえ

◆　文化芸術・スポーツ活動についてお聞きします。

問９　　過去１年間に、市内で文化芸術に触れましたか。

※文化芸術：芸術（文学、音楽、美術など）、メディア芸術、伝統芸能、芸能、生活文化（茶道、華道、書道など）、国民娯楽（囲碁、将棋など）など

１　はい	２　いいえ

問１０　厚木の郷土文化に興味がありますか。

※郷土文化：歴史、古墳などの遺跡、郷土芸能、自然など

１　はい	２　いいえ

問１１　運動・スポーツをどの程度、行っていますか。（運動には、散歩や階段昇降、サイクリング、キャンプ、釣りなどのレクリエーションやレジャー、健康の維持増進のために行う身体活動も含みます。）次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。

１　週に３回以上、行っている ２　週に１～２回程度、行っている ３　月に１～３回程度、行っている ４　年に数回程度、行っている	５　行っていない

◆　産業の振興についてお聞きします。

問１２　過去１年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をしましたか。

１　はい	２　いいえ

問１３　過去１年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入しましたか。

１　はい	２　いいえ

◆　環境への配慮についてお聞きします。

問１４　地球温暖化を緩和するために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　自宅に太陽光発電システムを設置している ２　自宅の断熱性を高めたり、エネファームや蓄電池を設置したりしている ３　ＬＥＤ照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている ４　電力の購入先は、再エネ比率など環境性を気にして選んでいる ５　自家用車はエコカー（補助金を受けたもの）である ６　エコドライブを実践している ７　宅配便の再配達防止に努めている	８　特になし

問１５　ごみの削減のために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　生ごみの水切りを行っている ２　生ごみ処理機やコンポストを利用している ３　マイバッグやマイボトルを利用している ４　フードロス削減（食べ物を使い切る、残さない、てまえどり等）に取り組んでいる ５　使い捨て製品はなるべく買わない、もらわないようにしている ６　不要になったものを捨てずにリサイクルに回すようにしている ７　過剰な包装の商品を購入しないようにしている ８　その他	９　特になし

問１６　自然環境を守るために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　自然を守り育てる活動（森林等清掃や整備・植樹等）に参加したことがある、もしくは個人的に活動している ２　プラスチック製などの製品について、木製で代替できるものは、木製の製品を利用するように心掛けている ３　エコラベル等がついた環境に優しい商品を購入している ４　植物や緑のカーテンを育てている ５　外来種対策（情報収集、駆除、通報等）に取り組んでいることがある ６　ごみのポイ捨てをしない ７　その他	８　特になし

◆　地域コミュニティについてお聞きします。

問１７　地域に愛着を持っていますか。

１　はい	２　いいえ

◆　生涯学習活動についてお聞きします。

問１８　過去１年間に、生涯学習活動に取り組みましたか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。

※生涯学習：社会教育、学校教育、文化活動、ボランティア活動、スポーツ活動、企業内教育、レクリエーション活動、趣味学習などの様々な機会で行う学習の総称

１　継続して取り組んだ ２　ときどき取り組んだ	３　取り組まなかった

問１９　継続して取り組みたいと思う生涯学習活動の機会（講座、施設等）はありますか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。

１　ある（現在取り組んでいる） ２　ある（今後取り組みたい）	３　取り組みたいと思うものがない ４　生涯学習活動の機会を知らない

◆　移動手段についてお聞きします。

問２０　日常生活における主な移動手段はどれですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　電車	５　自動二輪車
２　バス	６　自転車
３　タクシー	７　徒歩
４　自家用車	

問２０－１　問２０で回答した移動手段は主にどのような目的で使用されていますか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。

１　電車

１　通勤・通学	２　通院	３　買い物	４　その他

２　バス

１　通勤・通学	２　通院	３　買い物	４　その他

３　タクシー

１　通勤・通学	２　通院	３　買い物	４　その他

４　自家用車

１　通勤・通学	２　通院	３　買い物	４　その他

５　自動二輪車

１　通勤・通学	２　通院	３　買い物	４　その他

６　自転車

１　通勤・通学	２　通院	３　買い物	４　その他

７　徒歩

１　通勤・通学	２　通院	３　買い物	４　その他

◆　あなた自身のことについてお聞きします。

問２１　あなた自身のことについて、該当する数字に○をつけてください。

(1)性別	１　男性　　２　女性　　３　その他　　４　答えたくない	
(2)年齢	１　１０代　　２　２０代　　３　３０代　　４　４０代 ５　５０代　　６　６０代　　７　７０代　　８　８０代以上	
(3)世帯構成	＊ご本人を基準に選んでください。 １　夫婦　　２　親子（親との二世代）　　３　親子（子との二世代） ４　親子（三世代）　　５　一人暮らし　　６　その他 ア　ご家族の中に中学生以下のお子様はいますか。 １　いる　　２　いない イ　ご家族の中に６５歳以上の方はいますか。（ご本人を含みます。） １　いる　　２　いない	
(4)厚木市での居住年数	１　20年以上（生まれてからずっと）　　２　20年以上（転入して以来） ３　10～19年（生まれてからずっと）　　４　10～19年（転入して以来） ５　５～９年　　６　３～４年　　７　２年以下	
(5)お住まいの地区	１　厚木北	松枝、元町、東町、厚木町、寿町、吾妻町、水引、栄町、中町、田村町
	２　厚木南	幸町、泉町、旭町、南町
	３　依知北	上依知、猿ヶ島、山際、下川入
	４　依知南	関口、中依知、下依知、金田
	５　睦合北	三田、三田南、棚沢
	６　睦合南	妻田、妻田北、妻田南、妻田東、妻田西
	７　睦合西	林、及川、王子１丁目
	８　荻野	上荻野、まつかげ台、みはる野、中荻野、下荻野、鳶尾
	９　小鮎	飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里
	１０　南毛利	戸室、恩名、温水、温水西、愛名、長谷、毛利台
	１１　南毛利南	船子、愛甲、愛甲東、愛甲西
	１２　玉川	小野、七沢、岡津古久
	１３　相川	岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼
	１４　緑ケ丘	緑ケ丘、王子２丁目、王子３丁目
	１５　森の里	

問２２　厚木市で暮らすあなたはどの程度幸せですか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。

１　とても幸せ	２　幸せ	３　ふつう
４　あまり幸せではない	５　幸せではない	

◆　今後の厚木市のまちづくりに関して、ご意見がありましたら記入してください。

【回答コード：Ａ１＊＊＊＊】

御協力いただき、誠にありがとうございました。

4 - 2　調査票 B

◆　市の取組に対する皆様の実感・重要度についてお聞きします。

問１　　市のまちづくりの取組状況に対する現在の実感について、お考えに該当する番号に１つ○をつけてください。

また、それぞれの取組の今後の重要度について、お考えに該当する番号に１つ○をつけてください。

★質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。

質問 （質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。）	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	ややに重要である	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
回答例 ①　消防・救急・救助体制が充実している。	1	(2)	3	4	5	(1)	2	3	4	5
		消防等の体制はやや充実していると思う					消防等の体制が充実していることは重要だと思う			
1　消防力の充実・強化について										
①　消防・救急・救助体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②　応急手当の普及に向けた取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③　火災予防の啓発など、火災予防の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「消防力の充実・強化」について、ご意見がありましたら記入してください。										
2　住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現について										
①　見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②　高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③　高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④　高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤　障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥　支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 （質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。）	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	ややに重要である	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
3　子育て環境の充実について										
① 子育てサービスが充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 保育と幼児教育の提供体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「子育て環境の充実」について、ご意見がありましたら記入してください。										
4　学校教育の充実について										
① こどもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 教職員研修や各種支援員の配置など、こどもたちを育てるための支援体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 安全な教育環境の整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 人権教育やインクルーシブ教育の推進により、こどもたちが安心して共に学べる取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「学校教育の充実」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 （質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。）	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	ややである	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
5　地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進について										
① 地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 家庭・地域・学校の協働が推進されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 青少年健全育成会、こども会活動など、青少年の健全育成の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
6　誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進について										
① 日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 空き家の対策など住環境の整備の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
7　魅力ある中心市街地等の形成について										
① 中心市街地（まちなか）の整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 中心市街地（まちなか）のにぎわいを感じる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「魅力ある中心市街地等の形成」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 （質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。）	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	やや そう思う	どちら でもない	あまり そう思わない	そう思わない	重要である	やや 重要である	どちら でもない	あまり 重要ではない	重要ではない
8　産業・商業の振興について										
① 商店街など、市内に利用したい店舗がある。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 創業支援や中小企業支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 企業誘致が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「産業・商業の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										
9　シティプロモーションと定住促進について										
① あつぎの魅力が市内外に発信されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「シティプロモーションと定住促進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
10　未来へつなげる循環型都市の実現について										
① ごみの減量化・資源化が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「未来へつなげる循環型都市の実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
11　緑豊かで美しいまちの実現について										
① 身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「緑豊かで美しいまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 （質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわかない場合は、空欄のままにしておいてください。）	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	ややに重要である	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
１２　河川と共生するまちの実現について										
① 親しみやすい水辺空間が整っている。	１	２	３	４	５	１	２	３	４	５
「河川と共生するまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
１３　市民参加・市民協働の推進について										
① 自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進められている。	１	２	３	４	５	１	２	３	４	５
② 市の情報媒体（広報あつぎや市ホームページ、デジタルサイネージなど）から、必要な行政情報が発信されている。	１	２	３	４	５	１	２	３	４	５
「市民参加・市民協働の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
１４　行財政改革の推進について										
① 社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている。	１	２	３	４	５	１	２	３	４	５
② 小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進められている。	１	２	３	４	５	１	２	３	４	５
「行財政改革の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

◆　救急・火災予防についてお聞きします。

問２　　AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。

１　AED の使い方は知っている
２　心臓マッサージの方法は知っている
３　どちらも知っている
４　どちらも知らない

問３　　消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。

１　消火器の使い方は知っている
２　住宅用火災警報器の点検方法は知っている
３　どちらも知っている
４　どちらも知らない

◆　地域福祉・生きがいづくりについてお聞きします。

問４　　地域の人と日常生活で関わりがありますか。

１　はい　　２　いいえ

問５　　生きがいを持って生活を送っていますか。

１　はい　　２　いいえ

◆　子育てについてお聞きします。

問６　　子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいますか。

１　はい　　２　いいえ

◆　こどもの教育についてお聞きします。

問７　　こどもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思いますか。

１　はい　　２　いいえ

◆　生涯学習活動についてお聞きします。

問８　　過去１年間に、行事や貸館で公民館を利用しましたか。

１　はい　　２　いいえ

問９　　過去１年間に、地域や学校の行事に参加又は協力しましたか。

１　はい　　２　いいえ

問１０　過去１年間に、生涯学習活動をしましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

※生涯学習：生涯の様々な場や機会において、自由に学習機会を選択して行う活動

１　学校の正規課程での学習 ２　家庭での学習 ３　地域活動 ４　ボランティア活動 ５　職場での研修 ６　サークル活動 ７　スポーツ活動 ８　レクリエーション活動 ９　趣味などその他での学習	１０　活動していない

問１１　過去１年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用しましたか。

※公民館図書室：依知北・睦合北・小鮎・荻野・森の里・玉川・相川・睦合西・南毛利公民館で実施

※予約搬送サービス：依知南・睦合南・緑ケ丘・愛甲公民館、上荻野分館及び愛甲石田駅連絡所で実施

１　はい	２　いいえ

◆　商業の振興についてお聞きします。

問１２　主に利用する店舗の所在地はどこですか。

１　市内　⇒問１２－１へ	２　市外　⇒問１３へ

問１２－１　市内の店舗に行く場合、その目的は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　買物（生活必需品）
２　買物（生活必需品以外）
３　飲食・喫茶（昼間）
４　飲食・喫茶（夜間）
５　生活関連サービス（理・美容、クリーニング等）

◆　ごみの減量・資源化についてお聞きします。

問１３　ごみの減量ができていますか。

１　はい	２　いいえ

問１４　資源の分別ができていますか。

１　はい	２　いいえ

◆　市民活動についてお聞きします。

問１５　過去１年間に、自治会やボランティア・NPO 等の活動に参加しましたか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。

１　週１回程度参加した	５　全く参加しなかった
２　月１回程度参加した	
３　半年に１回程度参加した	
４　１年に１回程度参加した	

◆　行政情報の入手についてお聞きします。

問１６　必要な行政情報は入手できていますか。

１　はい　⇒問１６－１へ	２　いいえ　⇒問１７へ

問１６－１　どのような情報媒体から入手していますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　広報あつぎ
２　公民館だより
３　市ホームページ
４　市公式 SNS(X(旧 Twitter)、LINE 等)
５　デジタルサイネージ
６　防災無線
７　自治会の回覧板
８　各種ポスター・チラシ
９　メールマガジン
１０　その他

◆　人権についてお聞きします。

問１７　過去１年間に周囲から偏見や差別を受けたり、聞いたりして不快に思ったことがありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　容姿	１０　人種・民族・国籍・出身地	１８　特になし
２　学歴・出身校	１１　ひとり親家庭・両親なし	
３　性別	１２　家柄	
４　職業・雇用形態	１３　思想・信条	
５　年齢	１４　宗教	
６　病気・障がい	１５　部落差別（同和問題）	
７　収入・財産	１６　性的マイノリティ（性的少数者）	
８　こどもがいないこと	１７　その他	
９　独身		

◆　交通安全についてお聞きします。

問１８　交通安全のために心掛けていることがありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１　自動車走行前には、運行前点検を実施している ２　自動車走行時には、車間距離を十分に保つよう心掛けている ３　自家用車には、ドライブレコーダーを取り付けている ４　自転車走行時には、自転車安全利用五則を心掛けている※ ５　自転車走行時には、ヘルメットを着用している ６　自転車を利用する場合には、自転車損害賠償責任保険等に加入している ７　夜間における歩行時又は自転車走行時には、反射材やＬＥＤライトを付けている ８　その他	９　特になし

※次の全てを心掛けている方が対象になります。

①車道が原則、左側を通行　歩道は例外、歩行車を優先

②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認

③夜間はライトを点灯

④飲酒運転は禁止

⑤ヘルメットを着用

◆　市内における移動についてお聞きします。

問１９　目的地まで移動する際、複数の経路から選択できますか。

１　はい	２　いいえ

◆　公園についてお聞きします。

問２０　市内の公園をどの程度利用していますか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。

１　ほぼ毎日 ２　週２～３回程度 ３　週１回程度 ４　月１回程度	５　ほとんど利用しない

◆　あなた自身のことについてお聞きします。

問２１　あなた自身のことについて、該当する数字に○をつけてください。

(1)性別	１　男性　　２　女性　　３　その他　　４　答えたくない	
(2)年齢	１　１０代　　２　２０代　　３　３０代　　４　４０代 ５　５０代　　６　６０代　　７　７０代　　８　８０代以上	
(3)世帯構成	＊ご本人を基準に選んでください。 １　夫婦　　２　親子（親との二世代）　　３　親子（子との二世代） ４　親子孫（三世代）　　５　一人暮らし　　６　その他 ア　ご家族の中に中学生以下のお子様はいますか。 １　いる　　２　いない イ　ご家族の中に６５歳以上の方はいますか。（ご本人を含みます。） １　いる　　２　いない	
(4)厚木市での居住年数	１　20年以上（生まれてからずっと）　　２　20年以上（転入して以来） ３　10～19年（生まれてからずっと）　　４　10～19年（転入して以来） ５　５～９年　　６　３～４年　　７　２年以下	
(5)お住まいの地区	１　厚木北	松枝、元町、東町、厚木町、寿町、吾妻町、水引、栄町、中町、田村町
	２　厚木南	幸町、泉町、旭町、南町
	３　依知北	上依知、猿ヶ島、山際、下川入
	４　依知南	関口、中依知、下依知、金田
	５　睦合北	三田、三田南、棚沢
	６　睦合南	妻田、妻田北、妻田南、妻田東、妻田西
	７　睦合西	林、及川、王子１丁目
	８　荻野	上荻野、まつかげ台、みはる野、中荻野、下荻野、鳶尾
	９　小鮎	飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里
	１０　南毛利	戸室、恩名、温水、温水西、愛名、長谷、毛利台
	１１　南毛利南	船子、愛甲、愛甲東、愛甲西
	１２　玉川	小野、七沢、岡津古久
	１３　相川	岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼
	１４　緑ケ丘	緑ケ丘、王子２丁目、王子３丁目
	１５　森の里	

問２２　厚木市で暮らすあなたはどの程度幸せですか。次の中からあてはまるもの１つに○をつけてください。

１　とても幸せ	２　幸せ	３　ふつう
４　あまり幸せではない	５　幸せではない	

◆　今後の厚木市のまちづくりに関して、ご意見がありましたら記入してください。

【回答コード：Ｂ１＊＊＊＊】

御協力いただき、誠にありがとうございました。

＜参考資料＞

設問一覧及び略称の表記①（実感度・重要度）

No	設問名（～と思う市民の割合）	略称 ※
1	急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいる	災害に備えたハード整備
2	災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	災害対応力の強化の取組
3	自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいる	地域防災力向上の取組
4	消防・救急・救助体制が充実している	消防・救急・救助体制の充実
5	応急手当の普及に向けた取組が進んでいる	応急手当の普及
6	火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいる	火災予防の取組
7	事故やけがなどがない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり
8	交通安全の取組が進んでいる	交通安全の取組
9	防犯の取組が進んでいる	防犯の取組
10	見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる	地域福祉活動の推進
11	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいる	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援
12	高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している	高齢者福祉施設の整備などの充実
13	高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している	高齢者に対する支援の充実
14	障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している	障がい者に対する支援の充実
15	支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している	包括的な支援体制の充実
16	子育てサービスが充実している	子育てサービスの充実
17	保育と幼児教育の提供体制が充実している	保育と幼児教育の充実
18	母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいる	親と子の健康づくりの取組
19	メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している	休日・夜間医療体制の充実
20	市立病院の救急医療体制が充実している	市立病院の救急医療体制の充実
21	市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実
22	検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいる	健康づくりの取組
23	介護予防と認知症に対する取組が進んでいる	介護予防と認知症に対する取組
24	国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいる	互いの違いを尊重できるまちづくり
25	困りごとに対する相談・支援体制が充実している	困りごとに対する相談・支援体制の充実
26	平和についての啓発が進んでいる	平和についての啓発の推進
27	こどもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている	こどもたちが自ら課題に取り組む
28	教職員研修や各種支援員の配置など、こどもたちを育てるための支援体制が充実している	教育支援体制の充実
29	安全な教育環境の整備が進んでいる	安全な教育環境の整備
30	人権教育やインクルーシブ教育の推進により、こどもたちが安心して共に学べる取組が進んでいる	こどもたちが安心して共に学べる取組
31	地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいる	社会教育の取組
32	家庭・地域・学校の協働が推進されている	家庭・地域・学校の協働の推進
33	生涯学習活動の支援や気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいる	生涯学習活動の支援や環境の整備
34	青少年健全育成会、こども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実している	青少年の健全育成の取組
35	文化芸術に親しむ機会が提供されている	文化芸術に親しむ機会の提供
36	郷土文化の継承と発展の取組が進んでいる	郷土文化の継承と発展の取組
37	あつぎ郷土博物館の取組が進んでいる	あつぎ郷土博物館の取組
38	運動・スポーツ活動の機会が提供されている	運動・スポーツ活動の機会提供

39	スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している	競技力を向上するための取組
40	スポーツ施設が充実している	スポーツ施設の充実
41	日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある	日常生活に必要な施設が身近にある
42	安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる	安心・安全に通行できる道路環境
43	通勤や買い物など日常生活における移動がスムーズにできている	日常生活における移動がスムーズ
44	空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる	住環境の整備の取組
45	中心市街地の整備が進んでいる	中心市街地の整備
46	中心市街地のにぎわいを感じている	中心市街地のにぎわい
47	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められている	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用
48	山地、河川、市街地などの景観が守られている	景観が守られている
49	新たな産業拠点の創出が進んでいる	新たな産業拠点の創出
50	商店街など、市内に利用したい店舗がある	市内に利用したい店舗がある
51	創業支援や中小企業支援が充実している	創業支援や中小企業支援の充実
52	企業誘致が進んでいる	企業誘致の推進
53	様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている	先端技術産業の推進
54	就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実している	就労支援と勤労者への支援の充実
55	大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいる	広域の観光に対する取組
56	温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている	観光資源の活性化
57	観光情報の発信が充実している	観光情報の発信の充実
58	本市の魅力が市内外に発信されている	本市の魅力発信
59	親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいる	定住促進の取組
60	農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいる	農地有効利用の取組
61	地産地消が進んでいる	地産地消の推進
62	環境教育や環境学習の取組が進んでいる	環境教育や環境学習の取組
63	再生可能エネルギーの普及が進んでいる	再生可能エネルギーの普及
64	公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいる	省エネの取組
65	ごみの減量化、資源化が進んでいる	ごみの減量化、資源化の推進
66	生物多様性の普及や保全が進んでいる	生物多様性の普及や保全
67	里地里山の保全や活用が進んでいる	里地里山の保全や活用
68	森林整備など山林の再生が進んでいる	山林の再生の推進
69	身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている	緑豊かな生活環境
70	地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている	清潔で快適な生活環境
71	親しみやすい水辺空間が整っている	親しみやすい水辺空間
72	自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいる	協働によるまちづくり
73	市の情報媒体から必要な行政情報が発信されている	必要な行政情報の発信
74	社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている	変化やニーズに対応した行政運営
75	小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいる	公共施設の老朽化に対する取組
76	防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいる	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携
77	国内友好都市との交流が進んでいる	国内友好都市との交流

設問一覧及び略称の表記②（行動変容）

No	設問名	略称 ※
1	地震や風水害などの災害に備えていることはありますか	災害に備えていることがある
2	AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っていますか	AED や心臓マッサージの方法を知っている
3	消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っていますか	消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている
4	自転車の安全のために心掛けていることはありますか	自転車の安全のために心掛けていることがある
5	防犯等の対策について心掛けていることはありますか	防犯等の対策について心掛けていることがある
6	地域の人と日常生活で関わりがありますか	地域の人との関わりがあると思う
7	生きがいを持って生活を送っていますか	生きがいを持って生活を送っている
8	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいますか	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる
9	健康増進のために取り組んでいることはありますか	健康増進のために取り組んでいることがある
10	過去１年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けましたか	健康診断やがん検診、人間ドックを受けた
11	認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることはありますか	認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある
12	こどもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思いますか	こどもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う
13	過去１年間に、行事や貸館で公民館を利用しましたか	公民館を利用している
14	過去１年間に、地域や学校の行事に参加又は協力しましたか	地域や学校の行事に参加又は協力している
15	過去１年間に、生涯学習活動をしましたか	生涯学習活動を行っている
16	過去１年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用しましたか	図書館を利用している
17	過去１年間に、市内で文化芸術に触れましたか	市内で文化芸術に親しんでいる
18	厚木の郷土文化に興味がありますか	厚木の郷土文化に興味がある
19	運動・スポーツをどの程度、行っていますか	運動やスポーツを週３回以上行っている
20	主に利用する店舗の所在地はどこですか	主に利用する店舗が市内にある
21	過去１年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をしましたか	市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした
22	過去１年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入しましたか	地元の農産物を購入した
23	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることはありますか	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある
24	ごみの減量ができていますか	ごみの減量を意識している
25	資源の分別ができていますか	資源の分別を意識している
26	過去１年間に、自治会やボランティア・NPO 等の活動に参加しましたか	自治会やボランティア・NPO 等の活動に参加している
27	必要な行政情報は入手できていますか	必要な行政情報を入手できている

※報告書の本文や図表中では、設問名を略称で表記している。

移動手段別の使用目的（A:問 20-1）

移動手段	n	通勤・通学	通院	買い物	その他
電車	521	36.7	5.2	27.3	30.9
バス	463	33.5	12.5	26.3	27.6
タクシー	123	10.6	37.4	7.3	44.7
自家用車	613	40.5	5.5	46.5	7.5
自動二輪車	63	52.4	3.2	25.4	19.0
自転車	268	37.7	2.2	46.3	13.8
徒歩	621	25.6	6.3	47.0	21.1

※　「主な移動手段」(A:問 20)で回答した移動手段について、その使用目的を集計した。

※　問 20 で選択されていない移動手段の目的欄に回答があったものは、設問の趣旨に照らし集計から除外した(797 件)。

※　n は移動手段ごとに異なるため、手段間の単純比較には留意を要する。

資料２

令和８年度施策評価結果について（概要）

１　目的

(1) 第 10 次厚木市総合計画の進行管理
(2) 市民に対する説明責任（アカウンタビリティ）
(3) 効率的で質の高い施策の実現
　ア 施策の目標等の共有化・職員の意識改革
　イ 事務事業（実施計画事業）の効果的・効率的な推進

２ 評価対象

第 10 次厚木市総合計画第１期基本計画に位置付ける 27 の基本施策
【対象年度：令和７年度】

３　評価方法

第 10 次厚木市総合計画第１期基本計画の施策の達成目標に位置付ける「代表となる指標」、「市民実感度」及び第２期実施計画事業に位置付ける「事業指標」の目標値に対する達成率を点数化し、各基本施策の総合得点を４段階の評価区分で評価する。また、厚木市総合計画審議会からの意見を踏まえ、総合的な評価を行っている。

総合得点	評価区分	
90 点以上	A	順調
80 点以上 90 点未満	B	おおむね順調
60 点以上 80 点未満	C	やや遅れ
60 点未満	D	遅れ

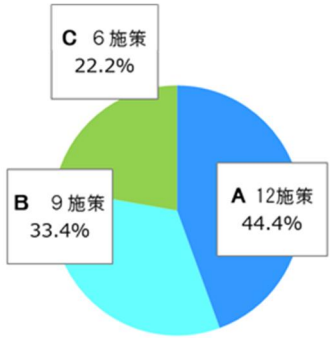
４　評価者

厚木市行政評価委員会（庁内組織）

５　評価結果の活用

評価結果は、実施計画の着実な推進や今後の政策立案に活用するとともに、部・課等のマネジメントツール、総合計画の進行管理及び予算編成等の資料として活用する。

６　総合評価区分による評価結果



基本政策	年度	A	B	C	D	Aの割合
1 安心政策（3施策）	R8	1	1	1	0	**33.3%**
	R7	1	2	0	0	**33.3%**
2 輝き政策（4施策）	R8	3	1	0	0	**75.0%**
	R7	2	2	0	0	50.0%
3 成長政策（4施策）	R8	2	1	1	0	**50.0%**
	R7	2	2	0	0	50.0%
4 発展政策（8施策）	R8	4	3	1	0	**50.0%**
	R7	4	3	1	0	50.0%
5 潤い政策（5施策）	R8	0	2	3	0	**0.0%**
	R7	2	0	3	0	40.0%
6 共創政策（3施策）	R8	2	1	0	0	**66.7%**
	R7	2	0	1	0	66.7%
全施策　（27施策）	R8	**12**	**9**	**6**	**0**	**44.4%**
	R7	**13**	**9**	**5**	**0**	**48.1%**

７　行政評価委員会及び総合計画審議会における評価結果（総論）

(1) 行政評価委員会

第 10 次厚木市総合計画の最終年度となる、令和７年度を対象とした令和８年度施策評価については、27 の基本施策のうち 12 施策において総合評価Ａ（順調）、９施策において総合評価Ｂ（おおむね順調）、６施策において総合評価Ｃ（やや遅れ）となった。令和７年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Ａが１施策減少、総合評価Ｃが１施策増加し、全体の評価結果は低下しているものの、約８割の施策において「順調」又は「おおむね順調」となったことは、おおむね計画どおりの成果を挙げることができたものと評価する。

代表となる指標については、110 項目中 63 項目で前年度より実績値が上昇したものの、目標値を達成した項目は 110 項目中 28 項目（全体の 25.5%）に留まった。また、市民実感度については、77 項目中 44 項目において実績値が上昇したものの、目標値を達成した項目は 77 項目中 26 項目（全体の 33.8%）であった。目標値を達成していない施策・事業については、要因を分析した上で、第 11 次総合計画に掲げた新たな目標の達成に向け、改善に努めなければならない。

なお、総合計画審議会からの指摘のとおり、頻発する災害への対応力を強化するとともに、地球温暖化対策、犯罪数の増加及び専門職の人手不足のように、市単独での解決が困難な課題については国や県と更なる連携を図っていく必要がある。さらに、シティプロモーションや産業・労働に係る施策のように、市民実感度と代表となる指標や評価結果と実態との間に乖離が生じている施策に対しては、要因を分析する必要があり、分析に当たっては、市民実感度における年齢や居住地区等の属性ごとの回答傾向等も考慮し、より効果的かつ効率的に施策を推進していく必要がある。

また、今年度からスタートした第 11 次総合計画においては、人口の将来展望の実現を図るため、重点プロジェクトを位置づけ、「住みたい」「育てたい」「働きたい」をキーワードとする三つの戦略のもと取組を進めていることから、課題が残った安心・安全や産業・労働に関連する施策をより重点的に推進する必要がある。あわせて、第 11 次総合計画に位置付ける各施策の推進に当たっては、最終目標の達成に向け、関連する部門間の緊密な連携が求められる。

その上で、第 11 次総合計画の進行管理においては、当初に掲げた目標値にとらわれず、目標値及び指標の妥当性を検証しながら柔軟に見直しを行い、将来都市像の実現を図っていく必要がある。

(2) 総合計画審議会

令和７年度を対象とした令和８年度の施策評価は、総合評価Ａが 12 施策、総合評価Ｂが９施策、総合評価Ｃが６施策となった。令和７年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Ａが１施策減少、総合評価Ｃが１施策増加し、潤い政策で評価結果Ｃが目立つなどの課題が見られるものの、約８割の施策において「順調」又は「おおむね順調」という結果になり、施策の推進はおおむね順調であると評価できる。

市民実感度については、基本施策「学校教育の充実」に位置付ける全ての市民実感度指標において目標値を達成するなど、「子育て・教育で選ばれるまち」の実現に対する成果が見られた一方で、重要度が高い傾向にある基本施策「災害に強いまちの実現」に位置付ける全ての市民実感度指標において目標値が未達成となるなどの課題が見られるほか、一部の指標等において市民実感度と代表となる指標等との間に乖離が見られる。今後は、市民実感度調査の回答者における性別、年齢及び居住地区等の属性ごとの傾向を分析し、より効果的に施策を推進されたい。

なお、第 10 次総合計画の施策評価においては、地球温暖化、犯罪数の増加及び専門職の人手不足など、市単独での解決が困難な指標や、社会情勢等の外的要因に評価結果を大きく左右される指標が一定数あった。そのため、第 11 次総合計画の進行管理に当たっては、市独自の方策を適宜検討していくほか、国や県との更なる連携により、施策のより効果的な推進を図るとともに、社会情勢等に応じて柔軟に指標や目標値を見直すことで、より着実に施策を推進されたい。

【点数化の方法】

ア 代表となる指標 ［配点：50 点］

第 10 次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「代表となる指標」の令和7年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率（%）×50 点	【例】 達成率 100%の場合　100%×50 点＝50 点 達成率　50%の場合　50%×50 点＝25 点 達成率　0%の場合　0%×50 点＝ 0 点

イ 市民実感度 ［配点：30 点］

第 10 次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「市民実感度」の令和7年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率（%）×30 点	【例】 達成率 100%の場合　100%×30 点＝ 30 点 達成率　50%の場合　50%×30 点＝ 15 点 達成率　0%の場合　0%×30 点＝ 0 点

ウ 実施計画事業指標 ［配点：20 点］

第 10 次厚木市総合計画第1期実施計画の各事業に位置付ける指標の令和7年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率（%）×20 点	【例】 達成率 100%の場合　100%×20 点＝ 20 点 達成率　50%の場合　50%×20 点＝ 10 点 達成率　0%の場合　0%×20 点＝ 0 点

【基本施策別の評価結果】

基本政策		基本施策	令和８年度結果		令和７年度結果	
			総合得点	総合評価	総合得点	総合評価
1 安心政策	1	災害に強いまちの実現	85.0	B	88.7	B
	2	消防力の充実・強化	93.1	A	94.8	A
	3	セーフコミュニティの推進	77.7	C	81.4	B
2 輝き政策	1	住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	91.8	A	88.2	B
	2	子育て環境の充実	94.2	A	95.4	A
	3	健康寿命延伸の推進	90.8	A	92.7	A
	4	多様性の尊重と平和都市の推進	81.7	B	81.3	B
3 成長政策	1	学校教育の充実	95.9	A	96.2	A
	2	地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	95.0	A	91.7	A
	3	文化芸術の振興	79.0	C	83.0	B
	4	生涯スポーツの振興	86.5	B	89.7	B
4 発展政策	1	誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	85.4	B	87.7	B
	2	魅力ある中心市街地等の形成	87.3	B	89.2	B
	3	地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	98.5	A	98.2	A
	4	産業・商業の振興	94.2	A	94.1	A
	5	安心して働くことができるまちの実現	81.1	B	86.4	B
	6	観光の振興	93.2	A	94.0	A
	7	シティプロモーションと定住促進	70.9	C	72.1	C
	8	農業・林業・水産業の振興	91.2	A	93.2	A
5 潤い政策	1	地球温暖化対策の推進	76.4	C	78.6	C
	2	未来へつなげる循環型都市の実現	88.9	B	90.3	A
	3	自然との共生の推進	77.9	C	79.8	C
	4	緑豊かで美しいまちの実現	84.9	B	93.5	A
	5	河川と共生するまちの実現	65.4	C	78.3	C
6 共創政策	1	市民参加・市民協働の推進	94.7	A	94.9	A
	2	行財政改革の推進	92.6	A	90.0	A
	3	都市間連携の推進	80.9	B	79.3	C

：令和７年度と比較し総合評価結果が低下した施策
：令和７年度と比較し総合評価結果が上昇した施策

令和８年度
施策評価結果報告書
（対象年度　令和７年度）

第10次
厚木市
総合計画

令和８年10月

厚　木　市

目　次

1 令和８年度施策評価について ・・・・・・・・・ 1
１　目的
２　評価対象
３　評価方法
４　評価者
５　評価結果の活用

2 実感度と重要度の関係について ・・・・・・・・・ 3
１　実感度と重要度の関係
２　各分類の意味付け
３　スコア化の方法
４　令和７年度市民実感度調査結果に基づく分類

3 令和８年度施策評価結果（総論） ・・・・・・・・・ 6

4 令和８年度施策評価結果 ・・・・・・・・・ 8
１　全体の評価結果
２　基本政策別の評価結果
３　基本施策別の評価結果

5 第10次総合計画第１期基本計画指標達成状況 ・・・・・・・・・ 9
１　代表となる指標 ・・・・・・・・・ 9
２　市民実感度 ・・・・・・・・・ 13

6 施策評価シート ・・・・・・・・・ 15
施策評価シートの見方 ・・・・・・・・・ 16
１　命、財産を守り抜くまち（安心政策） ・・・・・・・・・ 19
　１　災害に強いまちの実現 ・・・・・・・・・ 20
　２　消防力の充実・強化 ・・・・・・・・・ 26
　３　セーフコミュニティの推進 ・・・・・・・・・ 32

２　支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策） ・・・・・・・・・ 37
　１　住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現 ・・・・・・・・・ 38
　２　子育て環境の充実 ・・・・・・・・・ 46
　３　健康寿命延伸の推進 ・・・・・・・・・ 52
　４　多様性の尊重と平和都市の推進 ・・・・・・・・・ 58

３　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）　・・・・・・・・・65
１　学校教育の充実　・・・・・・・・・66
２　地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進　・・・・・・・・・72
３　文化芸術の振興　・・・・・・・・・78
４　生涯スポーツの振興　・・・・・・・・・82

４　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）　・・・・・・・・・87
１　誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進　・・・88
２　魅力ある中心市街地等の形成　・・・・・・・・・94
３　地域の個性をいかした魅力あるまちの実現　・・・・・・・・・98
４　産業・商業の振興　・・・・・・・・・104
５　安心して働くことができるまちの実現　・・・・・・・・・110
６　観光の振興　・・・・・・・・・114
７　シティプロモーションと定住促進　・・・・・・・・・120
８　農業・林業・水産業の振興　・・・・・・・・・124

５　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）　・・・・・・・・・131
１　地球温暖化対策の推進　・・・・・・・・・132
２　未来へつなげる循環型都市の実現　・・・・・・・・・138
３　自然との共生の推進　・・・・・・・・・144
４　緑豊かで美しいまちの実現　・・・・・・・・・148
５　河川と共生するまちの実現　・・・・・・・・・152

６　市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）　・・・・・・・・・157
１　市民参加・市民協働の推進　・・・・・・・・・158
２　行財政改革の推進　・・・・・・・・・164
３　都市間連携の推進　・・・・・・・・・170

別冊　実施計画取組実績（令和７年度実施事業）

1 令和８年度施策評価について

1　目的

（1）厚木市総合計画の進行管理

本市の行政運営を総合的かつ計画的に進めるための最高指針である厚木市総合計画の目標に対する達成状況などについて検証を行い、より一層の市民満足度の向上や効果的･効率的な行政運営を推進する。

（2）市民に対する説明責任(アカウンタビリティ)

施策の達成状況や今後の方向性を公表し、市民の皆様との共有を図ることにより、透明性の高い信頼される市政運営を推進する。

（3）効率的で質の高い施策の実現

ア　施策の目標等の共有化･職員の意識改革

本市の現状を認識し、施策評価を通じて施策の目標や課題を共有することで、職員一人一人が目指すべき方向性を意識し、事務事業の改善や新たな政策立案につなげる。

イ　事務事業(実施計画事業)の効果的･効率的な推進

施策を構成する事務事業(実施計画事業)について、効果的な事業展開が図られているかを評価することにより、より一層の市民満足度の向上や効果的･効率的な施策の推進を図る。

2　評価対象

第 10 次厚木市総合計画第1期基本計画に位置付ける 27 の基本施策

【対象年度:令和7年度】

3　評価方法

第 10 次厚木市総合計画第1期基本計画の施策の達成目標に位置付ける「代表となる指標」、「市民実感度」及び第2期実施計画事業に位置付ける「事業指標」の目標値に対する達成率を点数化し、各基本施策の総合得点を4段階の評価区分で評価する。また、厚木市総合計画審議会からの意見を踏まえ、総合的な評価を行う。

（1）点数化の方法

ア　代表となる指標［配点:50 点］

第 10 次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「代表となる指標」の令和7年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×50 点	【例】達成率 100%の場合　100%×50 点＝50 点 達成率　50%の場合　50%×50 点＝25 点 達成率　0%の場合　0%×50 点＝0 点

イ　市民実感度［配点:30 点］

第 10 次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「市民実感度」の令和7年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×30 点	【例】達成率 100%の場合　100%×30 点＝30 点 達成率　50%の場合　50%×30 点＝15 点 達成率　0%の場合　0%×30 点＝0 点

ウ　実施計画事業指標［配点:20 点］

第 10 次厚木市総合計画第2期実施計画の各事業に位置付ける指標の令和7年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×20 点	【例】達成率 100%の場合　100%×20 点＝20 点 達成率　50%の場合　50%×20 点＝10 点 達成率　0%の場合　0%×20 点＝0 点

（2）総合評価区分

総合得点	評価区分	
90 点以上	A	順調
80 点以上 90 点未満	B	おおむね順調
60 点以上 80 点未満	C	やや遅れ
60 点未満	D	遅れ

4　評価者

厚木市行政評価委員会

5　評価結果の活用

評価結果は、実施計画の着実な推進や今後の政策立案に活用するとともに、部・課等のマネジメントツール、総合計画の進行管理及び予算編成等の資料として活用する。

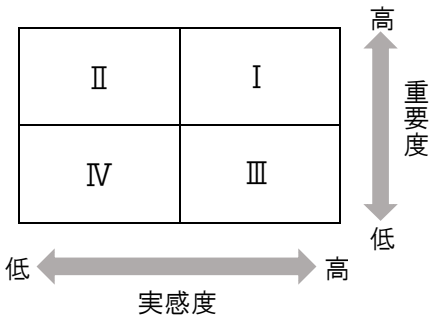
2 実感度と重要度の関係について

1　実感度と重要度の関係

市民実感度調査では、市の取組に対する実感度と併せて、その取組がどのくらい重要と考えているか、重要度についても調査している。

施策の推進に当たっては、市民の皆様が評価した実感度と重要度の関係を考慮する必要があることから、77 項目の実感度と重要度の結果をスコア化し、それらを基に各取組をⅠからⅣに分類する。

分類	実感度	重要度
Ⅰ	高い	高い
Ⅱ	低い	高い
Ⅲ	高い	低い
Ⅳ	低い	低い



2　各分類の意味付け

実感度と重要度の関係を用いた各分類の一般的な意味付けは次のとおりである。

（1）分類Ⅰ（重点維持項目）

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズに即した取組ができていると考えられる。現在の水準を維持しつつ、引き続き重点的に取り組む必要がある。

（2）分類Ⅱ（重点改善項目）

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度が高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズがあるにもかかわらず、その期待に応えられていない取組であると考えられる。取組の必要性が認識されているものの、取組の向上や改善に対する市民ニーズが高い項目とも言え、市民ニーズを的確に捉え、重点的に改善を図っていく必要がある。

（3）分類Ⅲ（維持項目）

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度が低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、必要性の認識は低いものの、成果は実感している取組であると考えられる。着実に取組を進めるとともに、取組の重要性の認識を深めていただく必要がある。また、市民ニーズを上回る行政サービスを提供している可能性についても検証する必要がある。

（4）分類Ⅳ（改善項目）

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度も低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、取組の向上や改善に対する一定のニーズはあるものの、その必要性の認識は低い取組であると考えられる。取組の重要性を更に認知していただくとともに、取組の方向性の改善を検討する必要がある。

また、市民の関心度が低い取組であることから、取組によっては行政で対応すべきかを検証する必要がある。

3　スコア化の方法

スコア化に当たっては、平均する各項目の条件の差異を考慮に入れ、対応する重み（大小）をつけてから平均する加重平均により、次のとおりの計算を行う。

■項目のスコア化

$$\text{実感度} = \frac{\text{「そう思う」}\times 2\text{点}+\text{「ややそう思う」}\times 1\text{点}+\text{「どちらでもない」}\times 0\text{点}+\text{「あまりそう思わない」}\times(-1\text{点})+\text{「そう思わない」}\times(-2\text{点})}{\text{回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要」}\times 2\text{点}+\text{「やや重要」}\times 1\text{点}+\text{「どちらでもない」}\times 0\text{点}+\text{「あまり重要でない」}\times(-1\text{点})+\text{「重要でない」}\times(-2\text{点})}{\text{回答者数}}$$

（例）「災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる」の実感度に関して、この設問の回答者数は 1,043 人で、そのうち、「そう思う」が 100 人、「ややそう思う」が 366 人、「どちらでもない」が 356 人、「あまりそう思わない」が 188 人、「そう思わない」が 33 人であったことから、

計算式は、

$$\frac{(100\text{ 人}\times 2\text{点})+(366\text{ 人}\times 1\text{点})+(356\text{ 人}\times 0\text{点})+(188\text{ 人}\times(-1\text{点}))+(33\text{ 人}\times(-2\text{点}))}{1{,}043\text{ 人}}$$

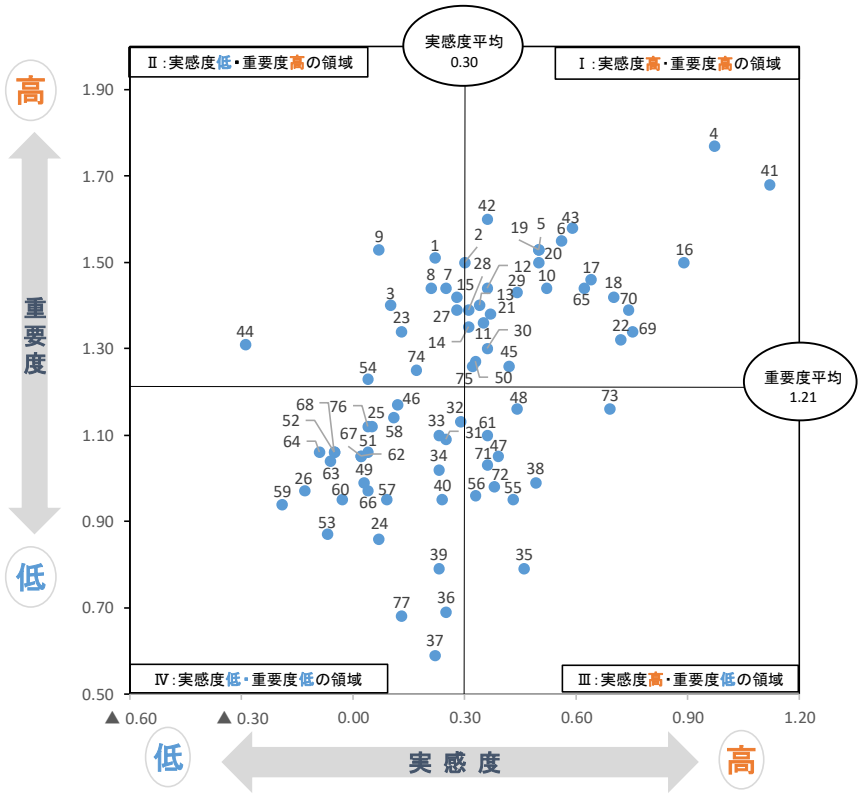
≒0.30 となり、「災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる」の実感度のスコアは、0.30 となる。

■各施策の分類

・上記の方法で算出したスコアを基に、実感度のスコアを横軸、重要度のスコアを縦軸として分布図を作成し、各項目を分類する。

・2本の補助軸は、実感度及び重要度の全項目の平均値を示したものである。

4　令和7年度市民実感度調査結果に基づく分類



分類	番号	項目（～と思う市民の割合）	実感度	重要度	分類	番号	項目（～と思う市民の割合）	実感度	重要度
Ⅰ 実感度：高い 重要度：高い	2	災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合	0.30	1.50	Ⅲ 実感度：高い 重要度：低い	35	文化芸術に親しむ機会が提供されていると思う市民の割合	0.46	0.79
	4	消防・救急・救助体制が充実していると思う市民の割合	0.97	1.77		38	運動・スポーツ活動の機会が提供されていると思う市民の割合	0.49	0.99
	5	応急手当の普及に向けた取組が進んでいると思う市民の割合	0.50	1.53		47	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められていると思う市民の割合	0.39	1.05
	6	火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいると思う市民の割合	0.56	1.55		48	山地、河川、市街地などの景観が守られていると思う市民の割合	0.44	1.16
	10	見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいると思う市民の割合	0.52	1.44		55	大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいると思う市民の割合	0.43	0.95
	11	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいると思う市民の割合	0.35	1.36		56	温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られていると思う市民の割合	0.33	0.96
	12	高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実していると思う市民の割合	0.36	1.44		61	地産地消が進んでいると思う市民の割合	0.36	1.10
	13	高齢者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合	0.34	1.40		71	親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合	0.36	1.03
	14	障がい者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合	0.31	1.35		72	自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合	0.38	0.98
	16	子育てサービスが充実していると思う市民の割合	0.89	1.50		73	市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合	0.69	1.16
	17	保育と幼児教育の提供体制が充実していると思う市民の割合	0.64	1.46	Ⅳ 実感度：低い 重要度：低い	24	国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合	0.07	0.86
	18	母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合	0.70	1.42		25	困りごとに対する相談・支援体制が充実していると思う市民の割合	0.05	1.12
	19	メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実していると思う市民の割合	0.50	1.53		26	平和についての啓発が進んでいると思う市民の割合	▲ 0.13	0.97
	20	市立病院の救急医療体制が充実していると思う市民の割合	0.50	1.50		31	地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいると思う市民の割合	0.25	1.09
	21	市立病院と地域のクリニック等との連携が充実していると思う市民の割合	0.37	1.38		32	家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合	0.29	1.13
	22	検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合	0.72	1.32		33	生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいると思う市民の割合	0.23	1.10
	28	教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合	0.31	1.39		34	青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実していると思う市民の割合	0.23	1.02
	29	安全な教育環境の整備が進んでいると思う市民の割合	0.44	1.43		36	郷土文化の継承と発展の取組が進んでいると思う市民の割合	0.25	0.69
	30	人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいると思う市民の割合	0.36	1.30		37	あつぎ郷土博物館の取組が進んでいると思う市民の割合	0.22	0.59
	41	日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にあると思う市民の割合	1.12	1.68		39	スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実していると思う市民の割合	0.23	0.79
	42	安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合	0.36	1.60		40	スポーツ施設が充実していると思う市民の割合	0.24	0.95
	43	通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできていると思う市民の割合	0.59	1.58		46	中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	0.12	1.17
	45	中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合	0.42	1.26		49	新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合	0.03	0.99
	50	商店街など、市内に利用したい店舗があると思う市民の割合	0.33	1.27		51	創業支援や中小企業支援が充実していると思う市民の割合	0.04	1.06
	65	ごみの減量化・資源化が進んでいると思う市民の割合	0.62	1.44		52	企業誘致が進んでいると思う市民の割合	▲ 0.05	1.06
	69	身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っていると思う市民の割合	0.75	1.34		53	様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られていると思う市民の割合	▲ 0.07	0.87
	70	地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	0.74	1.39		57	観光情報の発信が充実していると思う市民の割合	0.09	0.95
	75	小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいると思う市民の割合	0.32	1.26		58	本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合	0.11	1.14
Ⅱ 実感度：低い 重要度：高い	1	急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合	0.22	1.51		59	親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいると思う市民の割合	▲ 0.19	0.94
	3	自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合	0.10	1.40		60	農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいると思う市民の割合	▲ 0.03	0.95
	7	事故やけがなどがない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	0.25	1.44		62	環境教育や環境学習の取組が進んでいると思う市民の割合	0.02	1.05
	8	交通安全の取組が進んでいると思う市民の割合	0.21	1.44		63	再生可能エネルギーの普及が進んでいると思う市民の割合	▲ 0.06	1.04
	9	防犯の取組が進んでいると思う市民の割合	0.07	1.53		64	公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいると思う市民の割合	▲ 0.09	1.06
	15	支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実していると思う市民の割合	0.28	1.42		66	生物多様性の普及や保全が進んでいると思う市民の割合	0.04	0.97
	23	介護予防と認知症に対する取組が進んでいると思う市民の割合	0.13	1.34		67	里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合	0.02	1.05
	27	子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっていると思う市民の割合	0.28	1.39		68	森林整備など山林の再生が進んでいると思う市民の割合	▲ 0.05	1.06
	44	空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合	▲ 0.29	1.31		76	防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいると思う市民の割合	0.04	1.12
	54	就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合	0.04	1.23		77	国内友好都市との交流が進んでいると思う市民の割合	0.13	0.68
	74	社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合	0.17	1.25	平均値			0.30	1.21

（注）網掛けは、実感度又は重要度の平均値を下回っている項目を示す。

3 令和８年度施策評価結果（総論）

【総合評価】

第10次厚木市総合計画の最終年度となる、令和７年度を対象とした令和８年度施策評価については、27の基本施策のうち12施策において総合評価Ａ（順調）、９施策において総合評価Ｂ（おおむね順調）、６施策において総合評価Ｃ（やや遅れ）となった。令和７年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Ａが１施策減少、総合評価Ｃが１施策増加し、全体の評価結果は低下しているものの、約８割の施策において「順調」又は「おおむね順調」となったことは、おおむね計画どおりの成果を挙げることができたものと評価する。

代表となる指標については、110項目中63項目で前年度より実績値が上昇したものの、目標値を達成した項目は110項目中28項目（全体の25.5%）に留まった。また、市民実感度については、77項目中44項目において実績値が上昇したものの、目標値を達成した項目は77項目中26項目（全体の33.8%）であった。目標値を達成していない施策・事業については、要因を分析した上で、第11次総合計画に掲げた新たな目標の達成に向け、改善に努めなければならない。

なお、総合計画審議会からの指摘のとおり、頻発する災害への対応力を強化するとともに、地球温暖化対策、犯罪数の増加及び専門職の人手不足のように、市単独での解決が困難な課題については国や県と更なる連携を図っていく必要がある。さらに、シティプロモーションや産業・労働に係る施策のように、市民実感度と代表となる指標や評価結果と実態との間に乖離が生じている施策に対しては、要因を分析する必要があり、分析に当たっては、市民実感度における年齢や居住地区等の属性ごとの回答傾向等も考慮し、より効果的かつ効率的に施策を推進していく必要がある。

また、今年度からスタートした第11次総合計画においては、人口の将来展望の実現を図るため、重点プロジェクトを位置づけ、「住みたい」「育てたい」「働きたい」をキーワードとする三つの戦略のもと取組を進めていることから、課題が残った安心・安全や産業・労働に関連する施策をより重点的に推進する必要がある。あわせて、第11次総合計画に位置付ける各施策の推進に当たっては、最終目標の達成に向け、関連する部門間の緊密な連携が求められる。

その上で、第11次総合計画の進行管理においては、当初に掲げた目標値にとらわれず、目標値及び指標の妥当性を検証しながら柔軟に見直しを行い、将来都市像の実現を図っていく必要がある。

【総合計画審議会からの意見】

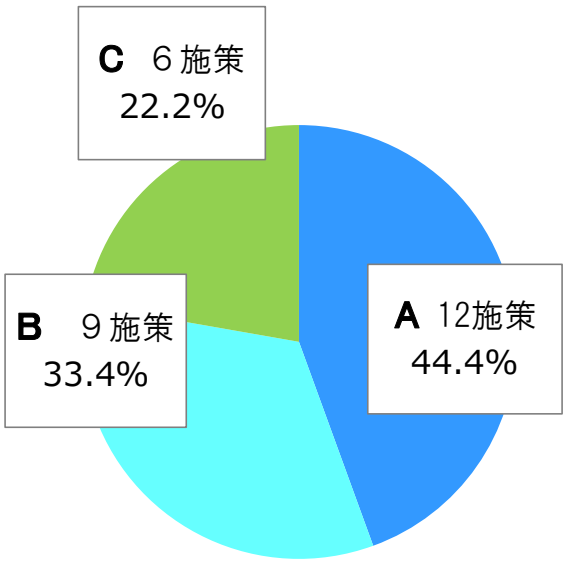
令和７年度を対象とした令和８年度の施策評価は、総合評価Ａが 12 施策、総合評価Ｂが９施策、総合評価Ｃが６施策となった。令和７年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Ａが１施策減少、総合評価Ｃが１施策増加し、潤い政策で評価結果Ｃが目立つなどの課題が見られるものの、約８割の施策において「順調」又は「おおむね順調」という結果になり、施策の推進はおおむね順調であると評価できる。

市民実感度については、基本施策「学校教育の充実」に位置付ける全ての市民実感度指標において目標値を達成するなど、「子育て・教育で選ばれるまち」の実現に対する成果が見られた一方で、重要度が高い傾向にある基本施策「災害に強いまちの実現」に位置付ける全ての市民実感度指標において目標値が未達成となるなどの課題が見られるほか、一部の指標等において市民実感度と代表となる指標等との間に乖離が見られる。今後は、市民実感度調査の回答者における性別、年齢及び居住地区等の属性ごとの傾向を分析し、より効果的に施策を推進されたい。

なお、第 10 次総合計画の施策評価においては、地球温暖化、犯罪数の増加及び専門職の人手不足など、市単独での解決が困難な指標や、社会情勢等の外的要因に評価結果を大きく左右される指標が一定数あった。そのため、第 11 次総合計画の進行管理に当たっては、市独自の方策を適宜検討していくほか、国や県との更なる連携により、施策のより効果的な推進を図るとともに、社会情勢等に応じて柔軟に指標や目標値を見直すことで、より着実に施策を推進されたい。

4 令和8年度施策評価結果

1 全体の評価結果



2 基本政策別の評価結果

基本政策	年度	A	B	C	D	Aの割合
1 安心政策（3施策）	R8	1	1	1	0	**33.3%**
	R7	1	2	0	0	**33.3%**
2 輝き政策（4施策）	R8	3	1	0	0	**75.0%**
	R7	2	2	0	0	50.0%
3 成長政策（4施策）	R8	2	1	1	0	**50.0%**
	R7	2	2	0	0	50.0%
4 発展政策（8施策）	R8	4	3	1	0	**50.0%**
	R7	4	3	1	0	50.0%
5 潤い政策（5施策）	R8	0	2	3	0	**0.0%**
	R7	2	0	3	0	40.0%
6 共創政策（3施策）	R8	2	1	0	0	**66.7%**
	R7	2	0	1	0	66.7%
全施策 （27施策）	R8	**12**	**9**	**6**	**0**	**44.4%**
	R7	**13**	**9**	**5**	**0**	**48.1%**

3 基本施策別の評価結果

基本政策		基本施策	令和８年度結果		令和７年度結果	
			総合得点	総合評価	総合得点	総合評価
1 安心政策	1	災害に強いまちの実現	**85.0**	**B**	**88.7**	**B**
	2	消防力の充実・強化	**93.1**	**A**	**94.8**	**A**
	3	セーフコミュニティの推進	**77.7**	**C**	**81.4**	**B**
2 輝き政策	1	住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	**91.8**	**A**	**88.2**	**B**
	2	子育て環境の充実	**94.2**	**A**	**95.4**	**A**
	3	健康寿命延伸の推進	**90.8**	**A**	**92.7**	**A**
	4	多様性の尊重と平和都市の推進	**81.7**	**B**	**81.3**	**B**
3 成長政策	1	学校教育の充実	**95.9**	**A**	**96.2**	**A**
	2	地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	**95.0**	**A**	**91.7**	**A**
	3	文化芸術の振興	**79.0**	**C**	**83.0**	**B**
	4	生涯スポーツの振興	**86.5**	**B**	**89.7**	**B**
4 発展政策	1	誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	**85.4**	**B**	**87.7**	**B**
	2	魅力ある中心市街地等の形成	**87.3**	**B**	**89.2**	**B**
	3	地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	**98.5**	**A**	**98.2**	**A**
	4	産業・商業の振興	**94.2**	**A**	**94.1**	**A**
	5	安心して働くことができるまちの実現	**81.1**	**B**	**86.4**	**B**
	6	観光の振興	**93.2**	**A**	**94.0**	**A**
	7	シティプロモーションと定住促進	**70.9**	**C**	**72.1**	**C**
	8	農業・林業・水産業の振興	**91.2**	**A**	**93.2**	**A**
5 潤い政策	1	地球温暖化対策の推進	**76.4**	**C**	**78.6**	**C**
	2	未来へつなげる循環型都市の実現	**88.9**	**B**	**90.3**	**A**
	3	自然との共生の推進	**77.9**	**C**	**79.8**	**C**
	4	緑豊かで美しいまちの実現	**84.9**	**B**	**93.5**	**A**
	5	河川と共生するまちの実現	**65.4**	**C**	**78.3**	**C**
6 共創政策	1	市民参加・市民協働の推進	**94.7**	**A**	**94.9**	**A**
	2	行財政改革の推進	**92.6**	**A**	**90.0**	**A**
	3	都市間連携の推進	**80.9**	**B**	**79.3**	**C**

：令和７年度と比較し総合評価結果が低下した施策
：令和７年度と比較し総合評価結果が上昇した施策

5 第10次総合計画第1期基本計画 指標達成状況

1　代表となる指標

・目標値を達成した指標は、110指標中28指標（全体の25.5%）となっています。（前回は26指標達成）

・目標値に対する達成率（上限を100.0%とした場合の達成率）の平均値は、87.2%となっており、前年度の88.5%より1.3%低くなっています。

・目標値に対する達成率（上限を100.0%としない場合の達成率）が最も高い指標は、「本市の支援策により創業した人数」（200.0%）となっています。

・目標値に対する達成率が最も低い指標は、「親水広場を活用した環境学習の実施回数」（0.0%）となっています。

※ 達成率（%）のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率

基本政策	基本施策		代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率（%）[項目ごと]	達成率（%）[基本施策ごと]
1 安心政策	1	災害に強いまちの実現	災害に備えていることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	98.0	85.0	86.7	95.9 (96.1)
			住宅の耐震化率	厚木市耐震改修促進計画に基づいて算出	%	95.8	93.4	97.5	
			災害応急対策等に関する協定の締結数	－	件	155	154	99.4	
			市民防災研修会における防災に対する意識高揚度	市民防災研修会アンケート	%	95.0	95.8	100.0 (100.8)	
	2	消防力の充実・強化	出火率（人口１万人当たりの出火件数）	人口１万人当たりの出火件数	件	2.4	2.7	88.9	93.5
			ＡＥＤの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	66.9	64.7	96.7	
			市民による応急手当の実施率	救急現場での応急手当の実施率	%	66.5	61.9	93.1	
			消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	81.7	77.9	95.3	
	3	セーフコミュニティの推進	セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	セーフコミュニティ研修会アンケート	%	96.4	94.9	98.4	72.7
			自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	66.2	53.9	81.4	
			交通事故発生件数（暦年）	警察統計	件	571	590	96.8	
			防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	95.0	88.9	93.6	
			刑法犯認知件数（暦年）	警察からの情報提供	件	590	1,529	38.6	
			特殊詐欺被害件数（暦年）	警察からの情報提供	件	13	48	27.1	
2 輝き政策	1	住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	地域の人との関わりがあると思う市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	62.0	57.0	91.9	96.5 (100.5)
			生きがいを持って生活を送っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	79.0	75.2	95.2	
			ケアプラン点検の実施事業所数	第８期計画に基づいて算出	事業所	50	50	100.0	
			介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数	第８期計画に基づいて算出	人	50	51	100.0 (102.0)	
			地域住民による助け合い活動団体数	実績に基づいて算出	団体	22	25	100.0 (113.6)	
			市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数	登録事業所の計上	か所	51	45	88.2	
			地域福祉コーディネーターの活動件数	実績に基づいて算出	件	2,700	3,031	100.0 (112.3)	
	2	子育て環境の充実	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	68.4	61.8	90.4	93.9
			保育施設等入所率	保育所等の入所児童数	%	100.0	100.0	100.0	
			妊娠届出率（妊娠11週以下）	母子健康手帳交付の集計結果	%	92.0	83.9	91.2	

基本政策	基本施策		代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率（%）［項目ごと］	達成率（%）［基本施策ごと］
2 輝き政策	3	健康寿命延伸の推進	市立病院の紹介率	紹介患者数÷初診患者数×100	%	81.0	90.7	100.0 (112.0)	94.3 (98.3)
			市立病院の逆紹介率	逆紹介患者数÷初診患者数×100	%	87.5	103.0	100.0 (117.7)	
			健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	93.0	90.1	96.9	
			健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	85.0	78.5	92.4	
			特定健康診査の受診率	法定報告値	%	42.0	32.1	76.4	
			長寿健康診査等の受診率	受診者数÷被保険者数×100	%	41.4	37.2	89.9	
			認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	79.4	78.2	98.5	
			高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合	第８期計画に基づいて算出	%	18.0	17.6	100.0 (102.3)	
	4	多様性の尊重と平和都市の推進	人権講座参加者の人権意識高揚度	ヒューマンライツフェスタ、ヒューマンカレッジ、こども人権教室参加者等アンケート結果	%	95.0	89.3	94.0	74.4
			民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数	交付実績	件	8	5	62.5	
			海外友好都市等との交流活動件数	民間交流を除く交流活動実績	件	20	19	95.0	
			日本語教室参加者数	日本語教室参加者数	人	5,500	4,337	78.9	
			児童虐待相談に対し速やかに（48時間以内）対応できた件数の割合	近隣通報など、原則48時間以内の子どもの安全確認が求められる事案に対して、実際に48時間以内の子どもの安全確認ができた件数の割合	%	100.0	81.0	81.0	
			平和のための展示会参加者数	実績に基づいて算出	人	610	213	34.9	
3 成長政策	1	学校教育の充実	全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成率	全国学力・学習状況調査結果	%	100.0	96.7	96.7	94.7 (95.3)
			ＩＣＴを活用して授業を行った教員の割合	教員へのＩＣＴ活用等に関する調査結果	%	100.0	91.7	91.7	
			校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率	校舎の外壁、屋根・屋上の長寿命化改修率の平均値　（外壁改修率＋屋根・屋上改修率）÷２	%	67.5	65.1	96.4	
			子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	76.0	67.3	88.6	
			全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果	%	89.5	92.2	100.0 (103.0)	
	2	地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	公民館を利用している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	32.0	31.9	99.7	94.3 (94.0)
			公民館での学級・講座参加者の満足度	参加者アンケート結果	%	81.3	69.7	85.7	
			地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	39.0	40.4	100.0 (103.6)	
			家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	参加者アンケート結果	%	97.5	96.9	99.4	
			生涯学習活動を行っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	55.2	53.0	96.0	
			図書館を利用している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	27.0	25.0	92.6	
			図書館の貸出者数	貸出実績から集計	人	450,000	365,743	81.3	
			青少年健全育成団体が行った事業の参加率	青少年健全育成団体が行った事業の参加率	%	59.5	59.3	99.7	

基本政策		基本施策	代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率（%）［項目ごと］	達成率（%）［基本施策ごと］
3 成長政策	3	文化芸術の振興	市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	23.0	23.8	100.0 (103.5)	76.7 (77.4)
			文化芸術事業の参加者数	各事業の出展者数、出演者数、参加者数の合計値	人	5,150	2,524	49.0	
			厚木の郷土文化に興味がある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	62.0	51.1	82.4	
			あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度	講座及び展示アンケートにおける満足度平均	%	98.0	92.8	94.7	
			郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数	参加者数をカウント	人	8,750	5,028	57.5	
	4	生涯スポーツの振興	運動やスポーツを週３回以上行っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	39.0	25.1	64.4	79.9
			スポーツ指導者養成研修等参加者数	研修会等の参加者数	人	1,140	953	83.6	
			公共スポーツ施設の利用者数	公共施設予約システム等による把握	人	1,755,000	1,610,327	91.8	
4 発展政策	1	誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	全人口に対するスーパーマーケット及びドラッグストアから800m圏に居住する人口の割合	%	80.6	82.5	100.0 (102.4)	90.1 (94.0)
			幹線市道（１・２級市道）の整備延長（累計）	整備延長	m	503	349	69.4	
			公共交通の徒歩圏人口カバー率	全人口に対する公共交通カバー圏域（１日30本以上のバスが運行するバス停から300m圏と鉄道駅800m圏）に居住する人口の割合	%	85.2	85.6	100.0 (100.5)	
			路線バスの利用者数（１日当たり）	路線バスの利用者数	人	70,000	56,749	81.1	
			管理不全であるため、助言等が必要な空き家数	現地調査等	戸	28	24	100.0 (116.7)	
	2	魅力ある中心市街地等の形成	中心市街地の歩行者数	中心市街地の代表６地点の通行量	人	112,000	98,066	87.6	80.0
			中心市街地の活性化イベント数	中心市街地の商店街及び市が行う中心市街地活性化イベントの合計数	件	47	34	72.3	
	3	地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積	事業による産業用地創出面積（累計）	ha	26.8	26.8	100.0	100.0
			酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積	事業による産業用地創出面積（累計）	ha	20.6	20.6	100.0	
	4	産業・商業の振興	主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	87.5	84.6	96.7	98.1 (134.5)
			本市の支援策により創業した人数	あつぎ起業スクールを修了した者で、起業の連絡があった者の数	人	4	8	100.0 (200.0)	
			中小企業資金融資利子補給金交付件数	中小企業資金融資利子補給金交付件数	件	1,260	1,207	95.8	
			企業立地件数	企業立地件数	件	11	16	100.0 (145.5)	
	5	安心して働くことができるまちの実現	障害者雇用奨励交付金交付件数	障がい者雇用奨励金交付実績	件	44	38	86.4	72.0
			勤労者生活資金融資件数	中央労働金庫厚木支店からの月別報告により把握	件	70	43	61.4	
			中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数	中小企業退職金等共済掛金補助金交付件数	社	110	75	68.2	
	6	観光の振興	市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	38.0	35.5	93.4	97.8 (104.7)
			観光消費額（年間）	入込観光客調査	億円	195.5	216.8	100.0 (110.9)	
			厚木市観光協会ホームページのアクセス件数	厚木市観光協会ホームページ	件	1,884,650	2,071,299	100.0 (109.9)	
	7	シティプロモーションと定住促進	あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	あつぎの魅力創造・交流事業に係る参加者アンケート結果	%	100.0	100.0	100.0	75.5
			ホストタウン交流事業参加者数	各事業の参加者数	人	470	142	30.2	
			転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）	事業による転入者数	人	494	475	96.2	

基本政策	基本施策		代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率（%）［項目ごと］	達成率（%）［基本施策ごと］
4 発展政策	8	農業・林業・水産業の振興	認定新規就農者数（累計）	青年等就農計画の認定者数（累計）	人	46	43	93.5	90.2 (91.3)
			地元の農産物を購入した市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	86.0	76.0	88.4	
			有害鳥獣による農作物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）	100-（毎年度の被害率÷H18：基準年度被害額）×100	%	97.4	76.7	78.7	
			間伐材の搬出量	間伐材の搬出量	㎥	2,000	2,089	100.0 (104.5)	
5 潤い政策	1	地球温暖化対策の推進	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	95.0	80.6	84.8	78.6
			市内再生可能エネルギー出力量	資源エネルギー庁公開データ	MW	90.0	55.1	61.2	
			市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成25年度比）	環境省公開データ	%	29.0	26.0	89.7	
	2	未来へつなげる循環型都市の実現	ごみの減量を意識している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	85.0	70.0	82.4	93.7
			資源の分別を意識している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	99.5	97.4	97.9	
			一人１日当たりの家庭系ごみの排出量	家庭系ごみ総排出量÷365（うるう年は366）÷人口	g	384	386	99.5	
			事業系ごみの排出量	事業系ごみ総排出量	t	14,171	14,906	95.1	
	3	自然との共生の推進	里地里山活動認定の対象面積	市の認定協定面積	ha	6.7	6.8	100.0 (101.5)	78.8 (79.5)
			森林ボランティア会員人数	実績人数	人	40	23	57.5	
	4	緑豊かで美しいまちの実現	市民一人当たりの公園及び緑地面積	公園及び緑地面積÷人口	㎡/人	9.65	9.45	97.9	77.2
			地域美化清掃の実施件数	実施件数	件	258	162	62.8	
			不法投棄件数	処理件数	件	450	634	71.0	
	5	河川と共生するまちの実現	ＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率	達成した地点÷水質調査をした地点	%	92.0	100.0	100.0 (108.7)	50.0 (54.4)
			親水広場を活用した環境学習の実施回数	実施回数	回	3	0	0.0	
6 共創政策	1	市民参加・市民協働の推進	市民対話等要望対応率	自治会長とのフリートーク対応率	%	89.6	81.5	91.0	91.5 (94.4)
			自治会やボランティア・ＮＰＯ等の活動に参加している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	39.3	37.9	96.4	
			市内で活動する市民活動団体数	市民活動団体登録団体数及び市内に主たる事務所があるＮＰＯ法人数の合計値	団体	226	197	87.2	
			必要な行政情報を入手できている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	87.1	72.1	82.8	
			公式ＳＮＳの利用登録者数	ＳＮＳの利用登録者数の集計	人	83,000	94,964	100.0 (114.4)	
	2	行財政改革の推進	第７次行政改革の推進度	大綱実施計画の代表となる指標を80%以上達成した指標の数	%	100.0	87.8	87.8	95.8
			市税収納率	市税の対調定収納率	%	99.05	98.70	99.6	
			公共施設個別施設計画に基づく第１期短期再編プログラムの進捗率	令和８年度までの対象施設の更新件数	%	81.8	81.8	100.0	
	3	都市間連携の推進	都市間連携の実施件数	庁内照会による	件	54	53	98.1	82.7 (85.4)
			民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数	交流活動実績	件	4	2	50.0	
			国内友好都市との交流活動件数	民間交流を除く交流活動実績	件	25	27	100.0 (108.0)	

2　市民実感度

・市民実感度の平均値は、42.9%となっており、前年度40.8%より2.1%高くなっています。

・市民実感度が最も高い項目は、「『日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある』と思う市民の割合」（80.6%）となっています。

・市民実感度が最も低い項目は、「『空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる』と思う市民の割合」（18.0%）となっています。

・目標値を達成した項目は、77項目中26項目（全体の33.8%）となっています。

・目標値に対する達成率（上限を100.0%とした場合の達成率）の平均値は、88.8%となっています。

・目標値に対する達成率（上限を100.0%としない場合の達成率）が最も高い項目は、「『安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる』と思う市民の割合」（121.9%）となっています。

・目標値に対する達成率が最も低い項目は、「『親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいる」（34.6%）となっています。

※ 達成率（%）のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率

基本政策	基本施策		項目（～と思う市民の割合）	目標値（%）	実績値（%）	達成率（%）[項目ごと]	達成率（%）[基本施策ごと]
1 安心政策	1	災害に強いまちの実現	急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいる	44.3	41.4	93.5	81.2
			災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	58.3	44.7	76.7	
			自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいる	47.9	35.1	73.3	
	2	消防力の充実・強化	消防・救急・救助体制が充実している	74.6	74.2	99.5	94.9
			応急手当の普及に向けた取組が進んでいる	53.8	49.4	91.8	
			火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいる	58.9	55.0	93.4	
	3	セーフコミュニティの推進	事故やけがなどがない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている	52.3	41.4	79.2	76.0
			交通安全の取組が進んでいる	50.4	41.0	81.3	
			防犯の取組が進んでいる	50.0	33.8	67.6	
2 輝き政策	1	住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる	58.0	55.0	94.8	90.0
			高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいる	48.0	46.0	95.8	
			高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している	49.4	45.1	91.3	
			高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している	49.0	45.5	92.9	
			障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している	49.0	40.3	82.2	
			支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している	48.0	39.7	82.7	
	2	子育て環境の充実	子育てサービスが充実している	67.0	68.6	100.0 (102.4)	99.6 (103.0)
			保育と幼児教育の提供体制が充実している	56.4	55.8	98.9	
			母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいる	54.0	58.2	100.0 (107.8)	
	3	健康寿命延伸の推進	メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している	58.5	56.3	96.2	91.1
			市立病院の救急医療体制が充実している	57.5	51.3	89.2	
			市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している	47.0	44.3	94.3	
			検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいる	74.0	63.7	86.1	
			介護予防と認知症に対する取組が進んでいる	38.0	34.0	89.5	
	4	多様性の尊重と平和都市の推進	国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいる	29.5	29.9	100.0 (101.4)	85.6 (86.9)
			困りごとに対する相談・支援体制が充実している	29.5	30.2	100.0 (102.4)	
			平和についての啓発が進んでいる	36.0	20.5	56.9	
3 成長政策	1	学校教育の充実	子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている	35.0	36.1	100.0 (103.1)	100.0 (111.8)
			教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している	34.0	38.7	100.0 (113.8)	
			安全な教育環境の整備が進んでいる	39.3	45.3	100.0 (115.3)	
			人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいる	35.0	40.2	100.0 (114.9)	
	2	地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいる	31.0	36.9	100.0 (119.0)	99.3 (106.0)
			家庭・地域・学校の協働が推進されている	38.0	39.1	100.0 (102.9)	
			生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいる	35.0	36.8	100.0 (105.1)	
			青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実している	39.5	38.3	97.0	

基本政策	基本施策		項目（～と思う市民の割合）	目標値（%）	実績値（%）	達成率（%）[項目ごと]	達成率（%）[基本施策ごと]
3 成長政策	3	文化芸術の振興	文化芸術に親しむ機会が提供されている	45.0	52.9	100.0 (117.6)	93.9 (99.8)
			郷土文化の継承と発展の取組が進んでいる	43.0	40.3	93.7	
			あつぎ郷土博物館の取組が進んでいる	43.0	37.9	88.1	
	4	生涯スポーツの振興	運動・スポーツ活動の機会が提供されている	55.0	54.2	98.5	96.5 (99.4)
			スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している	36.0	39.1	100.0 (108.6)	
			スポーツ施設が充実している	47.0	42.8	91.1	
4 発展政策	1	誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある	80.6	80.6	100.0	84.4 (89.9)
			安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる	42.5	51.8	100.0 (121.9)	
			通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできている	62.4	60.3	96.6	
			空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる	44.0	18.0	40.9	
	2	魅力ある中心市街地等の形成	中心市街地の整備が進んでいる	50.0	53.4	100.0 (106.8)	94.5 (97.9)
			中心市街地のにぎわいを感じている	48.0	42.7	89.0	
	3	地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められている	59.2	51.0	86.1	95.4 (100.8)
			山地、河川、市街地などの景観が守られている	48.2	55.0	100.0 (114.1)	
			新たな産業拠点の創出が進んでいる	32.0	32.7	100.0 (102.2)	
	4	産業・商業の振興	商店街など、市内に利用したい店舗がある	45.5	50.7	100.0 (111.4)	98.0 (108.7)
			創業支援や中小企業支援が充実している	24.0	27.2	100.0 (113.3)	
			企業誘致が進んでいる	30.0	27.6	92.0	
			様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている	24.0	28.3	100.0 (117.9)	
	5	安心して働くことができるまちの実現	就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実している	29.0	28.1	96.9	96.9
	6	観光の振興	大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいる	49.0	50.5	100.0 (103.1)	90.8 (91.8)
			温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている	48.5	44.7	92.2	
			観光情報の発信が充実している	44.0	35.3	80.2	
4 発展政策	7	シティプロモーションと定住促進	本市の魅力が市内外に発信されている	48.7	40.5	83.2	58.9
			親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいる	61.0	21.1	34.6	
	8	農業・林業・水産業の振興	農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいる	26.0	24.3	93.5	95.7
			地産地消が進んでいる	48.0	47.0	97.9	
5 潤い政策	1	地球温暖化対策の推進	環境教育や環境学習の取組が進んでいる	45.0	26.5	58.9	61.8
			再生可能エネルギーの普及が進んでいる	36.0	25.8	71.7	
			公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいる	50.0	27.4	54.8	
	2	未来へつなげる循環型都市の実現	ごみの減量化・資源化が進んでいる	77.0	59.5	77.3	77.3
	3	自然との共生の推進	生物多様性の普及や保全が進んでいる	41.0	29.0	70.7	69.0
			里地里山の保全や活用が進んでいる	46.0	28.7	62.4	
			森林整備など山林の再生が進んでいる	33.0	24.4	73.9	
	4	緑豊かで美しいまちの実現	身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている	65.9	66.9	100.0 (101.5)	98.6 (99.3)
			地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている	68.0	66.0	97.1	
	5	河川と共生するまちの実現	親しみやすい水辺空間が整っている	47.2	48.5	100.0 (102.8)	100.0 (102.8)
6 共創政策	1	市民参加・市民協働の推進	自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいる	45.9	47.1	102.6	101.3 (102.1)
			市の情報媒体から必要な行政情報が発信されている	61.0	62.0	100.0 (101.6)	
	2	行財政改革の推進	社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている	46.6	36.5	78.3	87.8
			小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいる	46.6	45.3	97.2	
	3	都市間連携の推進	防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいる	46.3	29.2	63.1	67.1
			国内友好都市との交流が進んでいる	47.0	33.4	71.1	

6 施策評価シート

4 施策評価シートの見方

まちづくりのビジョン（基本政策）	1　命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	1　災害に強いまちの実現
目指す姿	・災害に備えたハード整備など、防災・減災対策が進んでいます。 ・防災・減災への意識が高まり、一人一人が日頃から災害への備えを行っています。 ・災害発生時には、市民・事業者・行政が一体となって、自助・共助・公助の連携が更に進んでいます。
	・地震や ・市民が よう、 体制の ・自主防

総合得点による4段階の評価区分
- **A 順調　　総合得点90点以上**
- **B おおむね順調　総合得点80点以上90点未満**
- **C やや遅れ　　総合得点60点以上80点未満**
- **D 遅れ　　総合得点60点未満**

代表となる指標、市民実感度、実施計画事業指標の合計得点

Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ	総合評価	成果と課題
85.0 /100	B おおむね順調	災害に強いまちの実現に向け、水害防止を目的とした雨水管の整備を実施したほか、防災ラジオの有償配布や防災行政無線更新整備などの取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「災害に備えていることがある市民の割合」の実績値が前年度と比較して低下したため、防災訓練や防災講話等、市民が集まる機会を捉え、災害備蓄品の周知、携帯用トイレのサンプル等の啓発物品を配布するなど、自助意識の高揚につながる周知啓発に継続して取り組む必要がある。 また、市民実感度「災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が前年度と比較して低下したため、防災訓練や防災インフラ整備等の取組が市民の実感として表れるよう、周知を強化していく必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
災害に備えていることがある市民の割合	98.0%	85.0%	86.7%
指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
住宅の耐震化率	95.8%	93.4%	97.5%
指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
災害応急対策等に関する協定の締結数	155件	154件	99.4%
指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
市民防災研修会における防災に対する意識高揚度	95.0%	95.8%	100.0%
指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率
指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標達成率平均
95.9%

代表となる指標得点Ⓐ
47.9

基本施策の代表的な取組に関する指標の目標値に対する達成状況を点数化（達成率の上限は100.0%）

達成率平均×配点50点で算出

令和7年12月に実施した市民実感度調査により把握した「市民実感度」の目標値に対する達成状況を点数化（達成率の上限は100.0%）

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合	44.3%	41.4%	93.5%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合	58.3%	44.7%	76.7%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合	47.9%	35.1%	73.3%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

	R7目標値	R7実績値	達成率

	R7目		

市民実感度 達成率平均
81.2%

市民実感度 得点Ⓑ
24.3

基本施策を構成する実施計画事業に位置付ける指標の目標値に対する達成状況を点数化（達成率の上限は100.0%）

※　指標の詳細については、別添「実施計画取組実績」を参照

達成率平均
×配点30点で算出

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 災害に強い社会基盤の整備	1	急傾斜地安全対策事業	83.8%
	2	公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%
	3	木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	55.0%
② 災害対応力の強化	1	総合防災訓練等事業	86.6%
	2	新型防災ラジオ整備事業	96.5%
	3	風水害等対策事業	0.0%
	4	風水害等対策事業【公共下水道事業会計】	0.0%
	5	国土強靭化地域計画改定事業	－
	6	災害時医療対策事業	100.0%
	7	感震ブレーカー設置事業	35.4%
	8	防災行政無線更新整備事業	100.0%
③ 地域防災組織の強化	1	地域防災力強化事業	46.9%

実施計画事業指標 達成率平均
64.0%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
12.8

達成率平均
×配点20点で算出

「施策の方向」別に位置付いている代表となる指標、市民実感度、実施計画事業

施策の方向
① 災害に強い社会基盤の整備
急傾斜地の土砂崩れ対策、河川の洪水対策や下水道による浸水対策などにより、地震、風水害時のリスク軽減に向けた取組を行います。 また、耐震化促進の普及啓発を進め、必要な水準を満たさない建物の耐震化を支援します。

代表となる指標

指標①

住宅の耐震化率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	91.1	92.1	94.1	94.9	95.8	96.7
実績値		89.8	92.7	92.9	93.1	93.3	93.4	
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**98.9**	**98.3**	**97.5**	

代表となる指標 達成率
97.5%

市民実感度

指標①

急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	41.5	42.2	42.9	43.6	44.3	45.0
実績値		40.8	40.3	38.1	37.7	39.4	41.4	
達成率		－	**97.1**	**90.3**	**87.9**	**90.4**	**93.5**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	

市民実感度 達成率
93.5%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 急傾斜地安全対策事業	83.8%	B
② 公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%	A
③ 木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	55.0%	D

実施計画事業 達成率平均
79.6%

市民実感度調査で調査した「実感度」と「重要度」の関係性を4つに分類
- **Ⅰ 重点維持項目（実感度：高い・重要度：高い）**
- **Ⅱ 重点改善項目（実感度：低い・重要度：高い）**
- **Ⅲ 維持項目（実感度：高い、重要度：低い）**
- **Ⅳ 改善項目（実感度：低い、重要度：低い）**

実施計画事業指標の目標値に対する達成率を、施策貢献度としてAからDまでの4段階に区分
- **A 達成率90%以上**
- **B 達成率80%以上90%未満**
- **C 達成率60%以上80%未満**
- **D 達成率60%未満**

1　命、財産を守り抜くまち
（安心政策）

基本施策	総合得点	評価区分
1　災害に強いまちの実現	**85.0**	**B** **おおむね順調**
2　消防力の充実・強化	**93.1**	**A** **順調**
3　セーフコミュニティの推進	**77.7**	**C** **やや遅れ**

総合評価
安心政策は、基本施策２「消防力の充実・強化」が順調に進捗しているが、基本施策１「災害に強いまちの実現」については、代表となる指標「災害に備えていることがある市民の割合」の実績値が前年度と比較して低下したため、防災訓練や講習会等を通じて市民の防災意識の向上を図る必要がある。 基本施策３「セーフコミュニティの推進」については、総合評価がＢからＣに低下した。代表となる指標「刑法犯認知件数」及び「特殊詐欺被害件数」の実績値が国や県と同様に増加したほか、「防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合」の実績値が前年度と比較して低下したため、犯罪の未然防止に係る取組を強化するとともに、ＳＮＳを通じた周知や講習会等により市民の防犯意識の向上を図る必要がある。 また、第11次総合計画に掲げる目標の達成に向け、課題の整理や現状分析等を行い、関連する取組を着実に進めること。

総合計画審議会からの意見
総合評価Ａ、総合評価Ｂ及び総合評価Ｃがそれぞれ１施策となり、おおむね計画通りに進捗したことは評価するが、基本施策１「災害に強いまちの実現」では、全ての市民実感度指標で目標値が未達成となった。直近の熊本地震においても課題となった避難所の機能強化や女性視点の物資・防犯対策に取り組むとともに、時間の経過による風化を防ぐためにも、あらゆる世代へ防災・減災の重要性を伝え続け、自助意識のさらなる高揚を図られたい。 また、総合評価がＣに低下した基本施策３「セーフコミュニティの推進」では、代表となる指標「刑法犯認知件数」及び「特殊詐欺被害件数」の実績値が全国的に増加傾向にあることを踏まえ、防犯カメラの設置や防犯グッズの配布などに引き続き取り組むとともに、道路交通法改正に伴う自転車の安全対策や啓発等の取組を強化し、各事業の実効性を更に高められたい。

まちづくりのビジョン（基本政策）	1　命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	**1　災害に強いまちの実現**
目指す姿	・災害に備えたハード整備など、防災・減災対策が進んでいます。 ・防災・減災への意識が高まり、一人一人が日頃から災害への備えを行っています。 ・災害発生時には、市民・事業者・行政が一体となって、自助・共助・公助の連携が更に進んでいます。
第１期 基本計画での 取組方針	・地震や風水害に備えた防災インフラの整備及び耐震化の普及啓発を進めます。 ・市民が「自分の命は自分が守る」という防災意識を持ち、必要な準備を行うことができるよう、情報の周知や啓発を行うとともに、災害時においても必要な医療が受けられるよう、体制の整備を進めます。 ・自主防災組織への支援や避難所機能強化等を通じて、地域防災力の強化を図ります。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
85.0 /100	B おおむね順調

成果と課題

災害に強いまちの実現に向け、水害防止を目的とした雨水管の整備を実施したほか、防災ラジオの有償配布や防災行政無線更新整備などの取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。

しかしながら、代表となる指標「災害に備えていることがある市民の割合」の実績値が前年度と比較して低下したため、防災訓練や防災講話等、市民が集まる機会を捉え、災害備蓄品の周知、携帯用トイレのサンプル等の啓発物品を配布するなど、自助意識の高揚につながる周知啓発に継続して取り組む必要がある。

また、市民実感度「災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が前年度と比較して低下したため、防災訓練や防災インフラ整備等の取組が市民の実感として表れるよう、周知を強化していく必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
災害に備えていることがある市民の割合	98.0%	85.0%	86.7%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
住宅の耐震化率	95.8%	93.4%	97.5%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
災害応急対策等に関する協定の締結数	155件	154件	99.4%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
市民防災研修会における防災に対する意識高揚度	95.0%	95.8%	100.0%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
95.9%

代表となる指標 得点Ⓐ
47.9

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合	44.3%	41.4%	93.5%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合	58.3%	44.7%	76.7%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合	47.9%	35.1%	73.3%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
81.2%

市民実感度 得点Ⓑ
24.3

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 災害に強い社会基盤の整備	1	急傾斜地安全対策事業	83.8%
	2	公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%
	3	木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	55.0%
② 災害対応力の強化	1	総合防災訓練等事業	87.8%
	2	新型防災ラジオ整備事業	96.5%
	3	風水害等対策事業	0.0%
	4	風水害等対策事業【公共下水道事業会計】	0.0%
	5	国土強靱化地域計画改定事業	－
	6	災害時医療対策事業	100.0%
	7	感震ブレーカー設置事業	35.4%
	8	防災行政無線更新整備事業	100.0%
③ 地域防災組織の強化	1	地域防災力強化事業	46.9%

実施計画事業指標 達成率平均
64.1%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
12.8

施策の方向

① 災害に強い社会基盤の整備

急傾斜地の土砂崩れ対策、河川の洪水対策や下水道による浸水対策などにより、地震、風水害時のリスク軽減に向けた取組を行います。
また、耐震化促進の普及啓発を進め、必要な水準を満たさない建物の耐震化を支援します。

代表となる指標

指標①

住宅の耐震化率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	91.1	92.1	94.1	94.9	95.8	96.7
実績値	89.8	92.7	92.9	93.1	93.3	93.4	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**98.9**	**98.3**	**97.5**	

（単位：%）

代表となる指標 達成率
97.5%

市民実感度

指標①

急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	41.5	42.2	42.9	43.6	44.3	45.0
実績値	40.8	40.3	38.1	37.7	39.4	41.4	
達成率	–	**97.1**	**90.3**	**87.9**	**90.4**	**93.5**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	

（単位：%）

市民実感度 達成率
93.5%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 急傾斜地安全対策事業	83.8%	B
② 公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%	A
③ 木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	55.0%	D

実施計画事業 達成率平均
79.6%

施策の方向

② 災害対応力の強化

「自分の命は自分で守る」という防災意識を啓発するため、防災訓練を実施するとともに、地区別防災マップやオールハザードマップの活用を図り、指定避難所などを周知します。
また、市立病院等との連携により、災害時に継続して医療を提供できるよう医療体制の確保に努めます。

代表となる指標

指標①

災害に備えていることがある市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	86.9	87.5	94.0	96.0	98.0	100.0
実績値		86.3	89.9	89.0	86.8	89.9	85.0	
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**92.3**	**93.6**	**86.7**	

指標②

災害応急対策等に関する協定の締結数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	124	127	145	150	155	160
実績値		121	134	139	134	142	154	
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**92.4**	**94.7**	**99.4**	

代表となる指標 達成率平均
93.1%

市民実感度

指標①

災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	51.5	53.1	54.9	56.6	58.3	60.0
実績値		49.8	44.4	44.0	41.0	44.9	44.7	
達成率		－	**86.2**	**82.9**	**74.7**	**79.3**	**76.7**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
76.7%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 総合防災訓練等事業	87.8%	B
② 新型防災ラジオ整備事業	96.5%	A
③ 風水害等対策事業	0.0%	D
④ 風水害等対策事業【公共下水道事業会計】	0.0%	D
⑤ 国土強靭化地域計画改定事業	－	－
⑥ 災害時医療対策事業	100.0%	A
⑦ 感震ブレーカー設置事業	35.4%	D
⑧ 防災行政無線更新整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
60.0%

施策の方向
③ 地域防災組織の強化
自主防災組織の支援や避難所の機能強化と運営支援などを通じて、地域における防災対応力を強化します。

代表となる指標

指標①

市民防災研修会における防災に対する意識高揚度

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	55.0	60.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値		－	0.0	91.0	95.3	95.4	95.8	
達成率		－	**0.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	39.5	41.6	43.7	45.8	47.9	50.0
実績値		37.3	34.3	35.4	33.0	34.5	35.1	
達成率		－	**86.8**	**85.1**	**75.5**	**75.3**	**73.3**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	

市民実感度 達成率
73.3%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 地域防災力強化事業	46.9%	D

実施計画事業 達成率
46.9%

まちづくりのビジョン（基本政策）	1　命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	**2　消防力の充実・強化**
目指す姿	・複雑多様化、大規模化する災害に、迅速かつ的確に対応した消防体制が充実しています。 ・市民の応急処置への対応力向上と医療機関との連携の強化により、救急体制が充実し、救命率の向上が図られています。 ・防火意識が高まり、防火対策が推進されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・複雑多様化、大規模化する災害に、迅速かつ的確に対応するため、消防庁舎の整備、消防組織体制の見直し及び地域防災の要である消防団との連携強化を図ります。 ・応急手当の普及啓発、救急高度化の推進及び医療機関との連携による救急体制の充実を図ります。 ・火災のないまちを目指し、地域や事業者と連携した地域ぐるみの火災予防対策に取り組みます。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
93.1 /100	A 順調

成果と課題

消防力の充実・強化に向け、消防庁舎や高機能消防指令センターの再整備に向けた取組のほか、消防団施設や消防用ドローン等の整備、普通救命講習会をはじめとする各種研修などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。

しかしながら、代表となる指標及び市民実感度の全ての指標において目標値を達成していないため、引き続き、消防体制の充実に向けた設備等の整備に取り組むことで消防救急体制を強化するとともに、応急手当や火災予防については、多様な年代層への更なる情報発信により、市民意識の高揚を図る必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
出火率（人口１万人当たりの出火件数）	2.4件	2.7件	88.9%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
AEDの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合	66.9%	64.7%	96.7%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
市民による応急手当の実施率	66.5%	61.9%	93.1%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合	81.7%	77.9%	95.3%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
93.5%

代表となる指標 得点Ⓐ
46.7

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
消防・救急・救助体制が充実していると思う市民の割合	74.6%	74.2%	99.5%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
応急手当の普及に向けた取組が進んでいると思う市民の割合	53.8%	49.4%	91.8%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいると思う市民の割合	58.9%	55.0%	93.4%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
94.9%

市民実感度 得点Ⓑ
28.4

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 消防体制の充実	1	消防庁舎整備事業	100.0%
	2	消防団施設整備事業	100.0%
	3	高機能消防指令センター整備事業	100.0%
	4	消防車両整備事業	36.4%
	5	消防水利整備事業	－
	6	消防資器材整備事業	100.0%
	7	消防活動用ドローン導入事業	100.0%
	8	消防団活性化事業	85.7%
② 救急体制の充実	1	救急推進事業	100.0%
③ 火災予防対策の推進	1	防火意識啓発事業	87.9%

実施計画事業指標 達成率平均
90.0%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
18.0

施策の方向
① 消防体制の充実
消防拠点施設や消防資機材等の整備を始め、消防団員確保と活動環境の充実を図るとともに、消防広域応援体制を推進し、消防力を強化します。

代表となる指標

指標①

－

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－	－
実績値		－	－	－	－	－	－	－
達成率		－	－	－	－	－	－	－

代表となる指標 達成率
－

市民実感度

指標①

消防・救急・救助体制が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	71.5	72.3	73.0	73.8	74.6	75.4
実績値		70.7	69.1	70.1	72.0	69.8	74.2	
達成率		－	**96.6**	**97.0**	**98.6**	**94.6**	**99.5**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
99.5%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 消防庁舎整備事業	100.0%	A
② 消防団施設整備事業	100.0%	A
③ 高機能消防指令センター整備事業	100.0%	A
④ 消防車両整備事業	36.4%	D
⑤ 消防水利整備事業	－	－
⑥ 消防資器材整備事業	100.0%	A
⑦ 消防活動用ドローン導入事業	100.0%	A
⑧ 消防団活性化事業	85.7%	B

実施計画事業 達成率平均
88.9%

施策の方向

② 救急体制の充実

市民協働による応急救護体制を強化するため、幅広く救命講習会を開催し、応急手当の普及啓発を推進します。
また、医療機関との連携を更に強化し、救命率の向上を図ります。

代表となる指標

指標①

AEDの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	61.9	63.1	64.4	65.6	66.9	68.1
実績値 (%)	60.7	61.9	62.2	62.9	64.4	64.7	
達成率	–	**100.0**	**98.6**	**97.7**	**98.2**	**96.7**	

指標②

市民による応急手当の実施率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	66.5	66.5	66.5	66.5	66.5	66.5
実績値 (%)	61.2	66.3	69.1	65.4	67.0	61.9	
達成率	–	**99.7**	**100.0**	**98.3**	**100.0**	**93.1**	

代表となる指標 達成率平均
94.9%

市民実感度

指標①

応急手当の普及に向けた取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	48.8	50.0	51.3	52.5	53.8	55.0
実績値 (%)	47.5	49.1	45.4	48.4	48.8	49.4	
達成率	–	**100.0**	**90.8**	**94.3**	**93.0**	**91.8**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
91.8%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 救急推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

施策の方向

③ 火災予防対策の推進

地域や事業所における防火意識の普及啓発を推進するとともに、立入検査等を強化し、地域と連携した火災予防対策に取り組みます。

代表となる指標

指標①

出火率（人口１万人当たりの出火件数）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（件）	－	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3
実績値（件）	2.4	2.4	2.6	2.2	2.9	2.7	
達成率（%）	－	**100.0**	**92.3**	**100.0**	**82.8**	**88.9**	

指標②

消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（%）	－	79.9	80.3	80.8	81.3	81.7	82.2
実績値（%）	79.4	79.4	79.5	79.9	78.9	77.9	
達成率（%）	－	**99.4**	**99.0**	**98.9**	**97.0**	**95.3**	

代表となる指標 達成率平均

92.1%

市民実感度

指標①

火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（%）	－	53.3	54.7	56.1	57.5	58.9	60.3
実績値（%）	51.9	54.8	52.2	54.2	53.0	55.0	
達成率（%）	－	**100.0**	**95.4**	**96.6**	**92.2**	**93.4**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率

93.4%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 防火意識啓発事業	87.9%	B

実施計画事業 達成率

87.9%

まちづくりのビジョン（基本政策）	1　命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	**3　セーフコミュニティの推進**
目指す姿	「事故やけがは、偶然の結果ではなく、予防できる」というセーフコミュニティの理念の下、地域住民などとの協働により、誰もがいつまでも安心・安全で健康に暮らせるまちが実現されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・市民・関係団体・行政などが連携・協働し、セーフコミュニティの認証指標やセーフコミュニティ推進条例に基づき、誰もが健康で安心して安全に暮らすことができるまちづくりを進めます。 ・交通安全の啓発活動や、放置自転車の対策に取り組みます。 ・街頭犯罪の未然防止及び犯罪の抑制を図るため、市民協働による防犯パトロールなどの防犯活動を行うとともに、消費者トラブルの早期解決・防止に向け、消費生活相談や啓発活動を実施します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
77.7 /100	C やや遅れ

成果と課題

セーフコミュニティの推進に向け、放置自転車禁止区域での自転車の整理・回収や防犯カメラの設置による安心・安全対策に対して取り組んだが、体感治安に係るアンケートの結果が前年度と比較して低下するなど、やや遅れている結果となった。
代表となる指標「交通事故発生件数（暦年）」については、交通安全教室やヘルメット購入の助成等により、市民の交通安全に対する意識の高揚を図ったことで、高い達成率で推移した一方、「刑法犯認知件数（暦年）」及び「特殊詐欺被害件数（暦年）」については、目標に反して実績値が上昇傾向にあるため、市民が安心・安全に暮らすことができるよう、犯罪の未然防止に向けた啓発やパトロール等に一層取り組む必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	96.4%	94.9%	98.4%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合	66.2%	53.9%	81.4%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
交通事故発生件数（暦年）	571件	590件	96.8%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合	95.0%	88.9%	93.6%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
刑法犯認知件数（暦年）	590件	1498件	39.4%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率
特殊詐欺被害件数（暦年）	13件	48件	27.1%

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
72.8%

代表となる指標 得点Ⓐ
36.4

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
事故やけがなどがない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	52.3%	41.4%	79.2%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
交通安全の取組が進んでいると思う市民の割合	50.4%	41.0%	81.3%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
防犯の取組が進んでいると思う市民の割合	50.0%	33.8%	67.6%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
76.0%

市民実感度 得点Ⓑ
22.8

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① セーフコミュニティの取組の推進	1	セーフコミュニティ推進事業	89.6%
	2	地域セーフコミュニティ活動推進事業	99.2%
② 交通安全対策の強化	1	交通安全対策事業	96.8%
	2	自転車安全促進事業	97.6%
	3	放置自転車対策事業	100.0%
③ 防犯に対する取組の推進	1	防犯対策事業	88.7%
	2	安心・安全対策整備事業	100.0%
	3	本厚木駅周辺環境浄化対策事業	65.6%
	4	振り込め詐欺等防止装置購入費補助事業	88.8%
	5	消費生活相談・消費者意識啓発事業	98.5%

実施計画事業指標 達成率平均
92.5%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
18.5

施策の方向
① セーフコミュニティの取組の推進
セーフコミュニティの理念の下、市民や関係団体など、安全の向上を担う様々な組織と連携・協働し、事故やけがなどのデータの収集と科学的な分析を行い、根拠に基づいた対策を実施します。

代表となる指標

指標①

セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	92.7	93.6	94.5	95.4	96.4	97.4
実績値 (%)	86.5	94.1	92.0	93.6	92.1	94.9	
達成率	–	**100.0**	**98.3**	**99.0**	**96.5**	**98.4**	

代表となる指標 達成率
98.4%

市民実感度

指標①

事故やけがなどがない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	43.9	46.0	48.1	50.2	52.3	54.4
実績値 (%)	41.8	41.6	37.0	41.6	40.3	41.4	
達成率	–	**94.8**	**80.4**	**86.5**	**80.3**	**79.2**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	

市民実感度 達成率
79.2%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① セーフコミュニティ推進事業	89.6%	B
② 地域セーフコミュニティ活動推進事業	99.2%	A

実施計画事業 達成率平均
94.4%

施策の方向

② 交通安全対策の強化

地域と行政などとの協働により、市内の主要道路における交通指導や駅周辺などでの啓発キャンペーンを実施します。
また、放置自転車の指導・整理や自転車などの駐車場の拡充などにより、通行の安全確保を図ります。

代表となる指標

指標①

自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	55.2	57.2	63.4	64.8	66.2	67.6
実績値 (%)	53.2	60.8	57.3	54.8	54.8	53.9	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**86.4**	**84.6**	**81.4**	

指標②

交通事故発生件数（暦年）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (件)	–	777	742	603	587	571	555
実績値 (件)	852	711	617	620	618	590	
達成率 (%)	–	**100.0**	**100.0**	**97.3**	**95.0**	**96.8**	

代表となる指標 達成率平均
89.1%

市民実感度

指標①

交通安全の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	42.4	44.4	46.4	48.4	50.4	52.4
実績値 (%)	40.4	42.8	37.6	44.5	43.0	41.0	
達成率	–	**100.0**	**84.7**	**95.9**	**88.8**	**81.3**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	

市民実感度 達成率
81.3%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 交通安全対策事業	96.8%	A
② 自転車安全促進事業	97.6%	A
③ 放置自転車対策事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
98.1%

施策の方向
③ 防犯に対する取組の推進
市民協働による防犯活動の充実を図ります。 また、特殊詐欺の情報の周知などに取り組むとともに、警察と連携して特殊詐欺被害の未然防止に努めます。 さらに、消費者トラブルの早期解決を図るとともに、悪質商法などに関する効果的な啓発活動の展開を図り、消費者被害の未然防止に努めます。

代表となる指標

指標①

防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0
実績値 %	90.1	89.5	89.6	90.4	90.7	88.9	
達成率	－	**98.4**	**97.4**	**97.2**	**96.5**	**93.6**	

指標②

刑法犯認知件数（暦年）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 件	－	900	810	729	656	590	531
実績値 件	1,259	1,131	1,102	1,262	1,385	1,498	
達成率 %	－	**79.6**	**73.5**	**57.8**	**47.4**	**39.4**	

指標③

特殊詐欺被害件数（暦年）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 件	－	30	27	19	16	13	10
実績値 件	31	10	38	38	40	48	
達成率 %	－	**100.0**	**71.1**	**50.0**	**40.0**	**27.1**	

代表となる指標 達成率平均
53.4%

市民実感度

指標①

防犯の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0	52.5
実績値 %	36.8	38.2	30.2	36.4	34.6	33.8	
達成率	－	**95.5**	**71.1**	**80.9**	**72.8**	**67.6**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	

市民実感度 達成率
67.6%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 防犯対策事業	88.7%	B
② 安心・安全対策整備事業	100.0%	A
③ 本厚木駅周辺環境浄化対策事業	65.6%	C
④ 振り込め詐欺等防止装置購入費補助事業	88.8%	B
⑤ 消費生活相談・消費者意識啓発事業	98.5%	A

実施計画事業 達成率平均
88.3%

2　支え合い、生き生きと暮らせるまち
（輝き政策）

基本施策	総合得点	評価区分
1　住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	**91.8**	**A 順調**
2　子育て環境の充実	**94.2**	**A 順調**
3　健康寿命延伸の推進	**90.8**	**A 順調**
4　多様性の尊重と平和都市の推進	**81.7**	**B おおむね順調**

総合評価

輝き政策は、３つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策３「健康寿命延伸の推進」については、代表となる指標、市民実感度、実施計画事業の全てにおいて前年度と比較して達成率平均が低下した。引き続き、がん検診や特定健康診査等を実施し、疾病の早期発見や早期治療に取り組むとともに、それらの取組内容や重要性を対象者に伝えていくことで、市民実感度の上昇や行動変容を図る必要がある。

基本施策４「多様性の尊重と平和都市の推進」については、全ての市民実感度において実績値が低く、特に、市民実感度「国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合」については、実績値が前年度と比較して低下した。本市における外国籍市民の人口が増加傾向にある中、今後の社会構造の変化を見据え、人権啓発活動や多文化交流に積極的に取り組む必要がある。多様な文化背景を持つ人々が地域の構成員として共に支え合うことは、地域活性化や安心なコミュニティづくりにもつながるため、国籍に関わらず誰もが共に生活できる環境づくりを図る必要がある。

また、第11次総合計画に掲げる目標の達成に向け、課題の整理や現状分析等を行い、関連する取組を着実に進めること。

総合計画審議会からの意見

３施策が総合評価Ａ、１施策が総合評価Ｂとなり、子育てしやすいまちを掲げて施策を進めている中で、基本施策「子育て環境の充実」の総合得点が堅調に推移していることを始め、全体的におおむね計画通りに進捗していると評価する。

しかし、基本施策「住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現」において、介護職人材の確保が好調である一方で、ケアマネジャーの高齢化や処遇の偏りによる人材不足が深刻化している。必要な介護サービスを安定して提供できるよう、処遇改善に向けた施策の反映や、相談窓口等の支援体制の強化を図られたい。

また、基本施策「多様性の尊重と平和都市の推進」については、今後も労働人材不足の深刻化が見込まれることや、多文化交流が地域の治安向上等に寄与することを踏まえ、より高い目標を目指して施策を推進されたい。

まちづくりのビジョン（基本政策）	2　支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	**1　住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現**
目指す姿	誰もが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる社会が実現されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・「見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」を進め、助け合える関係を構築します。 ・高齢者の生きがいや就労機会の創出の取組を進め、社会参加の機会を提供します。 ・介護老人保健施設などの整備や人材確保など、ニーズに対応した高齢者福祉サービス提供体制を整備します。 ・高齢者が可能な限り自立した生活を送ることができるよう、生活支援の取組を進めます。 ・障がい者が自立して生活できるよう、また、サービスを必要とする人に質の高いサービスを提供できるよう、サービス内容の充実や人材の確保に取り組みます。 ・医療、介護、福祉等の連携による包括的な支援体制の構築を図ります。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
91.8 /100	A 順調

成果と課題

住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現に向け、介護職の人材確保に向けた助成事業や児童発達支援センターひよこ園等による児童支援を実施したほか、地域包括支援センターによる地域の相談窓口としての取組などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。

特に、代表となる指標「介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数」については、例年と比較して実績値が大幅に上昇したため、各種助成や就職相談会等を継続し、厚木市の福祉サービスの充実を図っていく。

しかしながら、市民実感度「高齢者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合」の実績値が前年度と比較して低下したため、在宅介護に対する支援や外出支援などの取組が市民の実感として表れるよう、周知を強化する必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
地域の人との関わりがあると思う市民の割合	62.0%	57.0%	91.9%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
生きがいを持って生活を送っている市民の割合	79.0%	75.2%	95.2%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
ケアプラン点検の実施事業所数	50事業所	50事業所	100.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数	50人	51人	100.0%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
地域住民による助け合い活動団体数	22団体	25団体	100.0%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率
市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数	51か所	45か所	88.2%

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率
地域福祉コーディネーターの活動件数	2,700件	3,031件	100.0%

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
96.5%

代表となる指標 得点Ⓐ
48.2

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいると思う市民の割合	58.0%	55.0%	94.8%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいると思う市民の割合	48.0%	46.0%	95.8%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実していると思う市民の割合	49.4%	45.1%	91.3%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
高齢者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合	49.0%	45.5%	92.9%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
障がい者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合	49.0%	40.3%	82.2%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率
支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実していると思う市民の割合	48.0%	39.7%	82.7%

市民実感度 達成率平均
90.0%

市民実感度 得点Ⓑ
27.0

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 地域福祉活動の推進	1	地域福祉推進事業	94.8%
② 就労・生きがいづくりの推進	1	エイジレス・ライフ応援事業	100.0%
	2	老人クラブ指導育成事業	81.6%
	3	高齢者生きがい就労事業	99.2%
	4	障がい者就労施設等共同受注窓口事業補助事業	100.0%
③ 福祉サービス提供体制の充実	1	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）策定事業	100.0%
	2	介護職人材確保支援事業	100.0%
④ 高齢者福祉サービスの充実	1	在宅福祉推進事業（在宅サービス事業）	53.9%
	2	介護支援事業（高齢者支援）【介護保険事業特別会計】	53.1%
	3	高齢者外出支援事業	100.0%
	4	敬老事業	99.0%
	5	要介護・高齢者等歯科診療事業	95.3%
⑤ 障がい者福祉サービスの充実	1	障害者地域生活支援事業（福祉サービス）	94.7%
	2	児童発達支援事業	99.7%
	3	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	58.3%
	4	障害者医療費助成事業	96.4%
	5	障害者福祉手当等給付事業	87.1%
	6	障害福祉サービス開設準備・運営経費補助事業	100.0%
	7	障がい者歯科診療事業	100.0%
	8	学校等訪問看護支援事業	100.0%
⑥ 包括的な支援体制の充実	1	包括的支援事業（在宅医療・介護・生活支援推進事業）	55.3%
	2	包括的支援事業（地域包括支援センター運営事業）	100.0%
	3	社会福祉団体等助成事業	100.0%
	4	生活困窮者自立支援事業	17.8%
	5	高齢者の尊厳保持支援事業	68.8%
	6	重層的支援体制整備事業	95.0%
	7	包括的支援事業（地域ケア会議推進事業）	0.0%

実施計画事業指標 達成率平均
83.3%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
16.6

施策の方向

① 地域福祉活動の推進

地域において、日頃から適度な距離感を持った、住民同士のゆるやかな見守り活動を通じて、困ったときに助け合える、「見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」を進めます。

代表となる指標

指標①

地域の人との関わりがあると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	56.0	57.0	59.0	60.5	62.0	63.5
実績値 (%)	53.9	55.2	57.3	57.1	55.3	57.0	
達成率	–	**98.6**	**100.0**	**96.8**	**91.4**	**91.9**	

指標②

地域住民による助け合い活動団体数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	8	9	15	18	22	25
実績値 (団体)	7	7	12	13	16	25	
達成率 (%)	–	**87.5**	**100.0**	**86.7**	**88.9**	**100.0**	

代表となる指標 達成率平均

96.0%

市民実感度

指標①

見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
実績値 (%)	48.0	50.3	46.7	51.6	50.7	55.0	
達成率	–	**100.0**	**89.8**	**95.6**	**90.5**	**94.8**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率

94.8%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 地域福祉推進事業	94.8%	A

実施計画事業 達成率

94.8%

施策の方向

② 就労・生きがいづくりの推進

高齢者の外出を促進するとともに、地域における交流の場を整備し、社会参加の機会の拡大を通じて、いつまでも生きがいを持てるよう支援します。
また、高齢者が培った豊かな知見や経験をいかせる場づくりを支援し、高齢者の就労機会の確保を図ります。

代表となる指標

指標①

生きがいを持って生活を送っている市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
実績値 (%)	74.6	75.2	76.0	74.6	75.8	75.2	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**96.9**	**97.2**	**95.2**	

代表となる指標 達成率: 95.2%

市民実感度

指標①

高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
実績値 (%)	39.6	43.3	37.0	44.1	43.3	46.0	
達成率	–	**100.0**	**88.1**	**100.0**	**94.1**	**95.8**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率: 95.8%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① エイジレス・ライフ応援事業	100.0%	A
② 老人クラブ指導育成事業	81.6%	B
③ 高齢者生きがい就労事業	99.2%	A
④ 障がい者就労施設等共同受注窓口事業補助事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均: 95.2%

施策の方向

③ 福祉サービス提供体制の充実

要介護者などが、自宅で日常生活を維持するために、身体状況などに応じて作成された介護支援計画（ケアプラン）に基づき、必要なサービスが受けられるよう、サービス必要量の確保に努めます。
また、在宅サービスの要望を基本とした上で、必要に応じた施設整備を行います。

代表となる指標

指標①

介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数

年度 / 単位	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	28	32	45	48	50	52
実績値	人	20	39	43	37	35	51	
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**82.2**	**72.9**	**100.0**	

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	44.6	45.8	47.0	48.2	49.4	50.6
実績値	%	43.4	44.6	39.1	43.7	44.7	45.1	
達成率	%	－	**100.0**	**85.4**	**93.0**	**92.7**	**91.3**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
91.3%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）策定事業	100.0%	A
② 介護職人材確保支援事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向

④ 高齢者福祉サービスの充実

ひとり暮らし高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、可能な限り自立した生活を送るための在宅支援サービスを提供します。
また、高齢者の外出機会を拡大するため、バス交通費に対する一部助成を行うなど、高齢者福祉サービスを提供します。

代表となる指標

指標①

ケアプラン点検の実施事業所数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	50	50	50	50	50	50
実績値	35	50	50	50	75	50	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

（単位：事業所／％）

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

高齢者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
実績値	44.3	45.3	39.7	44.8	46.9	45.5	
達成率	－	**100.0**	**86.3**	**95.3**	**97.7**	**92.9**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

（単位：％）

市民実感度 達成率
92.9%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 在宅福祉推進事業（在宅サービス事業）	53.9%	D
② 介護支援事業（高齢者支援）【介護保険事業特別会計】	53.1%	D
③ 高齢者外出支援事業	100.0%	A
④ 敬老事業	99.0%	A
⑤ 要介護・高齢者等歯科診療事業	95.3%	A

実施計画事業 達成率平均
80.3%

施策の方向

⑤ 障がい者福祉サービスの充実

福祉施設や医療機関などとの連携により、障がいの特性に応じた必要なサービスの提供の充実を図るとともに、地域や社会活動への参加を促進し、生きがいを持った自分らしい生活を支援します。
また、障がいに対する理解を深める機会を提供し、啓発を進めます。

代表となる指標

指標①

市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（か所）	－	6	8	10	48	51	54
実績値（か所）	5	38	42	49	39	45	
達成率（%）	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**81.3**	**88.2**	

代表となる指標 達成率
88.2%

市民実感度

指標①

障がい者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（%）	－	37.0	40.0	43.0	46.0	49.0	52.0
実績値（%）	36.4	38.6	34.2	37.9	36.7	40.3	
達成率	－	**100.0**	**85.5**	**88.1**	**79.8**	**82.2**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
82.2%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 障害者地域生活支援事業（福祉サービス）	94.7%	A
② 児童発達支援事業	99.7%	A
③ 軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	58.3%	D
④ 障害者医療費助成事業	96.4%	A
⑤ 障害者福祉手当等給付事業	87.1%	B
⑥ 障害福祉サービス開設準備・運営経費補助事業	100.0%	A
⑦ 障がい者歯科診療事業	100.0%	A
⑧ 学校等訪問看護支援事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
92.0%

施策の方向

⑥ 包括的な支援体制の充実

地域包括支援センターや障がい者相談支援センターを中心に、それぞれが地域の実態や課題について把握するとともに、関係機関などとの連携による分野横断的な相談体制の充実を図ります。

代表となる指標

指標①

地域福祉コーディネーターの活動件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	1,800	2,100	2,300	2,500	2,700	2,900
実績値		1,752	1,532	1,422	1,990	3,083	3,031	
達成率	%	－	**85.1**	**67.7**	**86.5**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	38.0	40.5	43.0	45.5	48.0	50.5
実績値		35.4	38.2	34.7	36.8	38.2	39.7	
達成率		－	**100.0**	**85.7**	**85.6**	**84.0**	**82.7**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	

市民実感度 達成率
82.7%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 包括的支援事業（在宅医療・介護・生活支援推進事業）	55.3%	D
② 包括的支援事業（地域包括支援センター運営事業）	100.0%	A
③ 社会福祉団体等助成事業	100.0%	A
④ 生活困窮者自立支援事業	17.8%	D
⑤ 高齢者の尊厳保持支援事業	68.8%	C
⑥ 重層的支援体制整備事業	95.0%	A
⑦ 包括的支援事業（地域ケア会議推進事業）	0.0%	D

実施計画事業 達成率平均
62.4%

まちづくりのビジョン（基本政策）	2　支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	**2　子育て環境の充実**
目指す姿	・子どもたちが健やかで心豊かに成長できる環境が整っています。 ・地域全体で子どもと子育て家庭を支える体制が整い、保護者が子育てに伴う誇りと喜びを実感できる社会が実現されています。 ・子どもたちの育つ力を応援するため、保育・幼児教育ニーズに対応したサービスが提供されています。 ・保健・医療支援が充実し、安心して子どもを産み育てることができる環境が整っています。
第１期 基本計画での 取組方針	・子育て家庭に対する経済的な負担軽減などの子育てサービスを充実させるとともに、地域全体での子育てを推進するため、地域、関係機関などとの連携を深め、子育て支援体制の充実を図ります。 ・保育所などの機能充実や保育・幼児教育内容の充実を図るとともに、人材確保に努め、保育・幼児教育の提供体制の充実を図ります。 ・保健、福祉などの分野が連携した総合的な健康づくりや育児に関する不安・悩みの軽減を図り、親と子の健康づくりを推進します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
94.2 /100	A 順調

成果と課題

子育て環境の充実に向け、子育て世代に対する紙おむつの支給や高校生年齢までの医療費助成といった既存の取組のほか、地域子育て相談機関の設置や子育て支援センターのリニューアルに向けた新たな取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。

引き続き、子育て支援センターのリニューアルや保育施設の整備等を着実に推進し、ハード面での子育て環境を充実させるとともに、達成率の低い保育士及び幼稚園教諭の人材確保などの取組を強化し、誰一人取り残さない切れ目のない子育て支援体制の構築を推進していく必要がある。

なお、三つの市民実感度は全て実感度と重要度が高い分類Ⅰに該当しているが、それぞれ実績値が前年度と比較して横ばいで推移していることから、子育て支援や保育内容の充実等に関連する事業の周知を強化し、市民実感度の向上につなげていく必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合	68.4%	61.8%	90.4%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
保育施設等入所率	100.0%	100.0%	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
妊娠届出率（妊娠11週以下）	92.0%	83.9%	91.2%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
93.9%

代表となる指標 得点Ⓐ
46.9

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
子育てサービスが充実していると思う市民の割合	67.0%	68.6%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
保育と幼児教育の提供体制が充実していると思う市民の割合	56.4%	55.8%	98.9%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合	54.0%	58.2%	100.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
99.6%

市民実感度 得点Ⓑ
29.8

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 子育てサービスの充実	1	子育て支援事業	92.8%
	2	母子家庭等支援事業	93.0%
	3	コミュニティ保育推進事業補助事業	100.0%
	4	子育てリフレッシュ事業	98.7%
	5	あつぎ子ども未来プラン（第４期）策定事業	－
	6	子育て日常生活支援事業	94.3%
	7	子育て支援センターリニューアル事業	100.0%
	8	子ども・子育て相談支援事業	100.0%
② 保育・幼児教育等の提供体制の充実	1	保育内容充実事業	94.8%
	2	子ども・子育て支援新制度事業	87.5%
	3	私立幼稚園就園奨励事業	93.7%
	4	放課後子ども教室推進事業	97.0%
	5	放課後児童対策事業	99.7%
	6	幼稚園送迎ステーション事業	100.0%
	7	幼稚園教諭確保助成事業	40.0%
	8	保育士確保対策事業	72.2%
	9	保育所キャッシュレス決済導入事業	－
	10	保育施設整備充実事業	0.0%
③ 親と子の健康づくりの推進	1	療育支援事業	97.3%
	2	子ども医療費助成事業	100.0%
	3	ひとり親家庭等医療費助成事業	100.0%
	4	母子保健衛生事業	94.2%

実施計画事業指標 達成率平均
87.8%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
17.5

施策の方向

① 子育てサービスの充実

ライフスタイルの変化などによる保育ニーズの多様化に対応した子育てサービスを提供するとともに、家庭や子どもの状況に合わせ、適切な支援を実施します。
また、地域における子育て支援体制の充実を図り、地域力を活用した子育て支援を促進します。

代表となる指標

指標①

子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	56.1	56.3	65.6	67.0	68.4	69.8
実績値	55.9	62.8	60.5	59.9	59.3	61.8	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**91.3**	**88.5**	**90.4**	

単位：%

代表となる指標 達成率
90.4%

市民実感度

指標①

子育てサービスが充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	66.2	66.4	66.6	66.8	67.0	67.2
実績値	66.0	68.2	64.0	67.5	69.9	68.6	
達成率	－	**100.0**	**96.4**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

単位：%

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 子育て支援事業	92.8%	A
② 母子家庭等支援事業	93.0%	A
③ コミュニティ保育推進事業補助事業	100.0%	A
④ 子育てリフレッシュ事業	98.7%	A
⑤ あつぎ子ども未来プラン（第４期）策定事業	－	－
⑥ 子育て日常生活支援事業	94.3%	A
⑦ 子育て支援センターリニューアル事業	100.0%	A
⑧ 子ども・子育て相談支援事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
97.0%

施策の方向

② 保育・幼児教育等の提供体制の充実

保育所の機能充実や、認定こども園、幼稚園、保育所などの保育・教育内容の充実を図るとともに、担い手となる教育・保育従事者の確保に取り組みます。

代表となる指標

指標①

保育施設等入所率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値 (%)	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

保育と幼児教育の提供体制が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	54.8	55.2	55.6	56.0	56.4	56.8
実績値 (%)	54.4	57.5	50.7	52.9	57.8	55.8	
達成率	–	**100.0**	**91.8**	**95.1**	**100.0**	**98.9**	
【参考】実感度と重要度の関係性	I	I	I	I	I	I	

市民実感度 達成率
98.9%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 保育内容充実事業	94.8%	A
② 子ども・子育て支援新制度事業	87.5%	B
③ 私立幼稚園就園奨励事業	93.7%	A
④ 放課後子ども教室推進事業	97.0%	A
⑤ 放課後児童対策事業	99.7%	A
⑥ 幼稚園送迎ステーション事業	100.0%	A
⑦ 幼稚園教諭確保助成事業	40.0%	D
⑧ 保育士確保対策事業	72.2%	C
⑨ 保育所キャッシュレス決済導入事業	–	–
⑩ 保育施設整備充実事業	0.0%	D

実施計画事業 達成率平均
76.1%

施策の方向

③ 親と子の健康づくりの推進

子どものライフステージに応じて、保健、福祉などの分野が連携した、総合的な健康づくりに取り組みます。
また、保護者の育児に関する悩みや不安の軽減を図るとともに、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を提供します。
さらに、療育を必要とする子どもとその保護者に対する療育支援を推進します。

代表となる指標

指標①

妊娠届出率（妊娠11週以下）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	85.0	85.0	90.0	91.0	92.0	93.5
実績値 (%)	80.9	87.6	84.9	84.0	86.5	83.9	
達成率	–	**100.0**	**99.9**	**93.3**	**95.1**	**91.2**	

代表となる指標 達成率
91.2%

市民実感度

指標①

母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	52.0	52.5	53.0	53.5	54.0	54.5
実績値 (%)	51.3	56.8	48.8	52.9	54.1	58.2	
達成率	–	**100.0**	**93.0**	**99.8**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	I	I	I	I	I	I	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 療育支援事業	97.3%	A
② 子ども医療費助成事業	100.0%	A
③ ひとり親家庭等医療費助成事業	100.0%	A
④ 母子保健衛生事業	94.2%	A

実施計画事業 達成率平均
97.9%

まちづくりのビジョン（基本政策）	2　支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	**3　健康寿命延伸の推進**
目指す姿	・地域医療の提供体制が整い、安心して医療機関を受診できる体制づくりが進んでいます。 ・予防的観点から、ライフステージに応じた健康づくりの取組が進み、健康寿命が延伸されています。 ・介護予防の取組が進み、健康寿命が延伸されるとともに、認知症に対する理解が広まり、高齢者やその家族を支える体制が整っています。
第１期基本計画での取組方針	・新たな感染症を始め、あらゆる医療ニーズに対応するため、市立病院など地域医療支援病院と地域の医療機関等との連携により、医療体制の更なる充実を図ります。 ・健康診査受診率の向上を図るとともに、保健、栄養指導、健康講座等による健康管理意識の高揚により、健康づくりを進めます。 ・要介護状態になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施するとともに、医療や福祉サービスと連携した認知症対策を進めます。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
90.8 /100	A 順調

成果と課題

健康寿命延伸の推進に向け、健康教育や健康相談等を実施したほか、要介護状態等の予防に向けた介護予防ケアマネジメントなどを実施したことが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。

しかしながら、代表となる指標「健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合」の実績値が前年度と比較して低下したため、受診率の向上に向けて、より効果的な啓発活動の展開や市民が受診しやすい環境づくりに取り組む必要がある。

また、市立病院と地域の医療機関との連携強化や機能分化により、代表となる指標「市立病院の紹介率」及び「市立病院の逆紹介率」は目標値を達成したが、市民実感度「市立病院と地域クリニック等との連携が充実していると思う市民の割合」の実績値は前年度と比較して低下したため、市立病院が主体となって、地域の医療機関との連携を更に強化していく必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
市立病院の紹介率	81.0%	90.7%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
市立病院の逆紹介率	87.5%	103.0%	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合	93.0%	90.1%	96.9%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合	85.0%	78.5%	92.4%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
特定健康診査の受診率	42.0%	32.2%	76.7%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率
長寿健康診査等の受診率	41.4%	37.2%	89.9%

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率
認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合	79.4%	78.2%	98.5%

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率
高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合	18.0%	17.6%	100.0%

代表となる指標 達成率平均
94.3%

代表となる指標 得点Ⓐ
47.1

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実していると思う市民の割合	58.5%	56.3%	96.2%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
市立病院の救急医療体制が充実していると思う市民の割合	57.5%	51.3%	89.2%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
市立病院と地域のクリニック等との連携が充実していると思う市民の割合	47.0%	44.3%	94.3%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合	74.0%	63.7%	86.1%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
介護予防と認知症に対する取組が進んでいると思う市民の割合	38.0%	34.0%	89.5%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
91.1%

市民実感度 得点Ⓑ
27.3

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 地域医療体制の充実	1	看護職等人材確保支援事業	37.9%
	2	救急医療事業	96.5%
	3	市立病院運営事業	95.3%
② 心と体の健康づくりの推進	1	データヘルス計画推進事業【国民健康保険事業特別会計】	62.1%
	2	健康増進事業	91.1%
	3	予防接種事業	98.6%
	4	長寿健康診査等事業【後期高齢者医療事業特別会計】	89.9%
	5	特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	76.7%
	6	未病施策事業	100.0%
	7	健康スイミング事業	69.7%
	8	健康づくり事業	63.3%
③ 介護予防と認知症に対する取組の推進	1	介護予防・生活支援サービス事業【介護保険事業特別会計】	100.0%
	2	一般介護予防事業【介護保険事業特別会計】	100.0%
	3	包括的支援事業（認知症総合支援事業）	72.8%

実施計画事業指標 達成率平均
82.4%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
16.4

施策の方向
① 地域医療体制の充実
医療需要の増大に対応するため、保健師や看護師等の医療人材の確保、定着を図り、医療体制を強化します。 また、休日・夜間における救急医療体制の確保、健康相談や医療機関情報の提供の充実を図るとともに、市立病院と地域の医療機関等との連携を図ります。

代表となる指標

指標①

市立病院の紹介率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	75.0	77.5	79.5	80.0	81.0	82.0
実績値 %	71.2	77.8	85.9	90.0	92.0	90.7	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

指標②

市立病院の逆紹介率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	60.0	62.5	82.5	85.0	87.5	90.0
実績値 %	60.9	76.7	82.3	89.2	93.9	103.0	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度

指標①

メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	56.5	57.0	57.5	58.0	58.5	59.0
実績値 %	56.0	54.3	54.0	55.7	55.0	56.3	
達成率	－	**96.1**	**94.7**	**96.9**	**94.8**	**96.2**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

指標②

市立病院の救急医療体制が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	51.5	53.0	54.5	56.0	57.5	59.0
実績値 %	50.2	49.9	50.3	48.2	50.7	51.3	
達成率	－	**96.9**	**94.9**	**88.4**	**90.5**	**89.2**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

指標③

市立病院と地域のクリニック等との連携が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	41.0	42.5	44.0	45.5	47.0	48.5
実績値 %	39.6	42.5	42.6	41.5	45.8	44.3	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**94.3**	**100.0**	**94.3**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率平均
93.2%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 看護職等人材確保支援事業	37.9%	D
② 救急医療事業	96.5%	A
③ 市立病院運営事業	95.3%	A

実施計画事業 達成率平均
76.6%

施策の方向
② 心と体の健康づくりの推進
各種検診等に対する周知や積極的受診勧奨により、受診率の向上を図り、疾病の早期発見・早期治療に取り組むとともに、健康管理に関する情報提供等により健康課題に関する認知度、意識の高揚を図り、生活習慣病の発症、重症化の予防を推進します。 また、生涯にわたり心身ともに健康に過ごせるよう、運動等の身体を動かす機会の提供や心と体の健康相談を実施します。

代表となる指標

指標①

健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	91.0	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5
実績値		90.0	92.8	91.5	92.9	92.8	90.1	
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**96.9**	

指標②

健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0
実績値		80.0	80.3	82.0	81.7	81.1	78.5	
達成率		－	**99.1**	**100.0**	**98.4**	**96.5**	**92.4**	

指標③

特定健康診査の受診率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0
実績値		36.3	32.7	30.6	32.5	30.2	32.2	
達成率		－	**86.1**	**78.5**	**81.3**	**73.7**	**76.7**	

指標④

長寿健康診査等の受診率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	41.0	41.1	41.2	41.3	41.4	41.5
実績値		39.5	36.5	37.3	37.7	37.1	37.2	
達成率		－	**89.0**	**90.8**	**91.5**	**89.8**	**89.9**	

代表となる指標 達成率平均
89.0%

市民実感度

指標①

検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	66.0	68.0	70.0	72.0	74.0	76.0
実績値		64.1	61.7	63.8	64.0	65.4	63.7	
達成率		－	**93.5**	**93.8**	**91.4**	**90.8**	**86.1**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
86.1%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① データヘルス計画推進事業【国民健康保険事業特別会計】	62.1%	C
② 健康増進事業	91.1%	A
③ 予防接種事業	98.6%	A
④ 長寿健康診査等事業【後期高齢者医療事業特別会計】	89.9%	B
⑤ 特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	76.7%	C
⑥ 未病施策事業	100.0%	A
⑦ 健康スイミング事業	69.7%	C
⑧ 健康づくり事業	63.3%	C

実施計画事業 達成率平均
81.4%

施策の方向

③ 介護予防と認知症に対する取組の推進

要支援者等の多様な生活支援ニーズに対応した介護サービスの提供を行うとともに、要介護状態等になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施します。
また、医療や福祉サービスと連携した認知症に対する総合的な支援を行います。

代表となる指標

指標①

認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	79.0	79.1	79.2	79.3	79.4	79.5
実績値 (%)	78.9	79.4	81.9	80.6	83.4	78.2	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**98.5**	

指標②

高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	14.8	15.2	15.9	17.3	18.0	18.7
実績値 (%)	14.3	15.3	15.9	16.6	17.2	17.6	
達成率	–	**96.7**	**95.6**	**95.8**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率平均
99.3%

市民実感度

指標①

介護予防と認知症に対する取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	32.5	34.0	36.0	37.0	38.0	40.0
実績値 (%)	31.2	28.9	28.4	31.5	34.2	34.0	
達成率	–	**88.9**	**83.5**	**87.5**	**92.4**	**89.5**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	

市民実感度 達成率
89.5%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 介護予防・生活支援サービス事業【介護保険事業特別会計】	100.0%	A
② 一般介護予防事業【介護保険事業特別会計】	100.0%	A
③ 包括的支援事業（認知症総合支援事業）	72.8%	C

実施計画事業 達成率平均
90.9%

まちづくりのビジョン（基本政策）	2　支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	**4　多様性の尊重と平和都市の推進**
目指す姿	・年齢、性別、国籍、心身の特性、考え方などにかかわらず、一人一人が互いの存在を尊重できるまちが実現されています。 ・虐待、ＤＶなどについての相談・支援体制が充実しています。 ・戦争の悲惨さと平和の尊さについて理解が深まっています。
第１期基本計画での取組方針	・互いを尊重し合えるよう、多様性、多文化共生についての啓発を推進します。 ・被害者、相談者の立場に立ったきめ細かな支援を行うため、関係機関相互の連携強化を図り、情報共有や支援体制を充実させます。 ・平和について理解を深めるための取組を推進します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
81.7 /100	B おおむね順調

成果と課題

多様性の尊重と平和都市の推進に向け、各種相談や児童虐待対策に係る既存事業のほか、犯罪被害者等に対する支援や公演等を新たに実施したことが成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。

しかしながら、市民実感度「国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合」は目標値を達成した一方で、実績値は前年度と比較して低下した。今後は外国籍市民等の増加が見込まれ、更なる多文化共生のまちづくりが求められることから、各種講座や多文化交流に積極的に取り組む必要がある。

また、市民実感度「平和についての啓発が進んでいると思う市民の割合」については、実績値が前年度と比較して上昇した一方で、代表となる指標「平和のための展示会参加者数」の実績値は低下した。戦争を体験した世代の高齢化が進み、体験を直接伝える機会が減少しているため、新たな普及啓発の手法を検討する必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
人権講座参加者の人権意識高揚度	95.0%	89.3%	94.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数	8件	5件	62.5%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
海外友好都市等との交流活動件数	20件	19件	95.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
日本語教室参加者数	5,500人	4,337人	78.9%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
児童虐待相談に対し速やかに（48時間以内）対応できた件数の割合	100.0%	81.0%	81.0%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率
平和のための展示会参加者数	610人	213人	34.9%

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標達成率平均
74.4%

代表となる指標得点Ⓐ
37.2

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合	29.5%	29.9%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
困りごとに対する相談・支援体制が充実していると思う市民の割合	29.5%	30.2%	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
平和についての啓発が進んでいると思う市民の割合	36.0%	20.5%	56.9%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
85.6%

市民実感度 得点Ⓑ
25.6

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 多様性に対する理解の促進	1	人権啓発推進事業	100.0%
	2	人権教育・啓発推進事業	94.0%
	3	男女共同参画推進事業	100.0%
	4	障害者地域生活支援事業（障がい者理解促進）	84.4%
② 多文化共生の推進	1	多文化共生交流事業	78.9%
	2	国際交流推進事業	85.7%
③ 相談・支援体制の充実	1	女性のための相談事業	100.0%
	2	市民相談事業	100.0%
	3	児童虐待・ＤＶ対策事業	100.0%
	4	犯罪被害者等支援事業	100.0%
④ 平和都市の推進	1	平和都市推進事業	98.5%

実施計画事業指標 達成率平均
94.7%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
18.9

施策の方向
① 多様性に対する理解の促進
人権について正しく理解し、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、相互に尊重し行動できるよう、市民、地域、学校、事業者等と協働、連携しながら、ライフステージに合わせた人権教育・啓発を推進します。

代表となる指標

指標①

人権講座参加者の人権意識高揚度

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	86.3	86.4	94.0	94.5	95.0	95.5
実績値	86.2	92.9	86.2	92.3	97.3	89.3	
達成率	－	**100.0**	**99.8**	**98.2**	**100.0**	**94.0**	

（単位：%）

代表となる指標 達成率
94.0%

市民実感度

指標①

国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
実績値	26.7	29.8	31.7	28.6	31.7	29.9	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

（単位：%）

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 人権啓発推進事業	100.0%	A
② 人権教育・啓発推進事業	94.0%	A
③ 男女共同参画推進事業	100.0%	A
④ 障害者地域生活支援事業（障がい者理解促進）	84.4%	B

実施計画事業 達成率平均
94.6%

施策の方向

② 多文化共生の推進

国籍に関係なく、地域の構成員として共に生活できるよう、必要な情報を提供し、日常生活を支援するとともに、関係機関との連携、海外友好都市等との交流を進め、国際理解や多様な価値観への理解を促進します。

代表となる指標

指標①

民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	4	5	6	7	8	8
実績値	3	0	1	2	3	5	
達成率	－	**0.0**	**20.0**	**33.3**	**42.9**	**62.5**	

（単位：件）

指標②

海外友好都市等との交流活動件数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	18	19	19	20	20	21
実績値	12	2	12	14	19	19	
達成率	－	**11.1**	**63.2**	**73.7**	**95.0**	**95.0**	

（単位：件）

指標③

日本語教室参加者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
実績値	5,179	208	2,479	3,524	4,267	4,337	
達成率	－	**3.8**	**45.1**	**64.1**	**77.6**	**78.9**	

（単位：人）

代表となる指標 達成率平均
78.8%

市民実感度

指標①

国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合（再掲）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
実績値	26.7	29.8	31.7	28.6	31.7	29.9	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

（単位：%）

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 多文化共生交流事業	78.9%	C
② 国際交流推進事業	85.7%	B

実施計画事業 達成率平均
82.3%

施策の方向
③ 相談・支援体制の充実
人権侵害やその脅威・不安等について、気軽に相談できるよう、相談窓口の周知を図るとともに、相談体制の充実に努めます。また、複雑化、多様化する人権問題に総合的かつ迅速に対応できるよう、国、県等の関係機関・相談支援機関や各種団体との連携強化を図ります。

代表となる指標

指標①

児童虐待相談に対し速やかに（48時間以内）対応できた件数の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	73.7	75.0	99.0	70.5	83.3	81.0	
達成率	－	**75.0**	**99.0**	**70.5**	**83.3**	**81.0**	

（単位：%）

代表となる指標 達成率
81.0%

市民実感度

指標①

困りごとに対する相談・支援体制が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
実績値	27.1	30.1	29.7	29.6	31.2	30.2	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	

（単位：%）

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 女性のための相談事業	100.0%	A
② 市民相談事業	100.0%	A
③ 児童虐待・ＤＶ対策事業	100.0%	A
④ 犯罪被害者等支援事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向
④ 平和都市の推進
「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言“ あつぎ”」を広く周知するとともに、戦争を知らない世代が、興味や関心を持てる方法で、平和への理解を促進します。

代表となる指標

指標①

平和のための展示会参加者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（人）	–	530	550	570	590	610	630
実績値（人）	509	0	265	414	268	213	
達成率（%）	–	**0.0**	**48.2**	**72.6**	**45.4**	**34.9**	

代表となる指標 達成率
34.9%

市民実感度

指標①

平和についての啓発が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（%）	–	20.0	24.0	28.0	32.0	36.0	40.0
実績値（%）	17.5	20.9	18.9	18.5	18.1	20.5	
達成率	–	**100.0**	**78.8**	**66.1**	**56.6**	**56.9**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
56.9%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 平和都市推進事業	98.5%	A

実施計画事業 達成率
98.5%

3　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち
（成長政策）

基本施策	総合得点	評価区分
1　学校教育の充実	**95.9**	**A 順調**
2　地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	**95.0**	**A 順調**
3　文化芸術の振興	**79.0**	**C やや遅れ**
4　生涯スポーツの振興	**86.5**	**B おおむね順調**

総合評価
成長政策は、２つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策３「文化芸術の振興」については、総合評価がＢからＣに低下した。市民実感度が全て上昇しており、市の取組に対する評価は高い一方で、代表となる指標における参加人数は減少していることから、取組内容や開催情報をより効果的に発信し、市民参加促進を図る必要がある。 基本施策４「生涯スポーツの振興」については、市民実感度「運動・スポーツ活動の機会が提供されていると思う市民の割合」が高い数値で推移し、スポーツ行事への参加者数が増加傾向にある一方で、代表となる指標「運動やスポーツを週３回以上行っている市民の割合」の実績値が低下傾向にあり、運動の習慣化といった主体的な行動に結びついていない点が課題である。今後は、単発的な事業効果にとどまらず、市民の日常生活における持続的な参加と習慣化を促すような取組を展開していく必要がある。 また、第11次総合計画に掲げる目標の達成に向け、課題の整理や現状分析等を行い、関連する取組を着実に進めること。

総合計画審議会からの意見
総合評価Ａが２施策、総合評価Ｂが１施策、総合評価Ｃが１施策となり、全体的におおむね計画通りに進捗したことは評価するが、総合評価がＣとなった基本施策「文化芸術の振興」においては、あつぎ文化芸術事業の参加者数の低迷を踏まえ、「あつぎＡｒｔＳｐｏｔ」等のデジタル技術を活用した身近な鑑賞機会の創出、郷土博物館の収蔵スペース不足への対応及び将来的な美術館設置の検討など、文化の象徴となる環境整備が望まれる。あわせて、身近な歴史や伝統文化を気軽に学べる地区体制の構築、地域のお祭りや伝統芸能の継承に向けた参加への心理的ハードルを下げるような周知の工夫など、地域のつながりの構築や日常生活の豊かさにつながる取組をさらに推進されたい。

まちづくりのビジョン（基本政策）	3　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	**1　学校教育の充実**
目指す姿	子ども一人一人が伸び伸びと学び、自分の進みたい道を選択するために必要な学力及び心身を育むことができる教育環境が整備されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・これからの社会の変化に対応できるよう、生きる力を育みます。 ・教職員の資質、能力、指導力を一層向上させるため、研究・研修等により教育環境の充実を図ります。 ・安心・安全で快適な教育環境の確保を図ります。 ・様々な課題や困難を抱える子どもと保護者に対し、状況に応じた相談・支援体制を充実させます。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
95.9 /100	A 順調

成果と課題

学校教育の充実に向け、個に応じたきめ細かな指導が子どもたちの学習意欲や学力の向上につながり、人権教育・インクルーシブ教育の推進により子どもたちが安心して共に学び共に育つことのできる学校づくりを進めることができた。不登校やいじめ、問題行動などにきめ細かな対応ができるよう児童支援体制を推進したことが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。

しかしながら、代表となる指標「ICTを活用して授業を行った教員の割合」については、実績値が高い数値で推移しているものの、令和３年度以降の実績値は横ばいで推移している。個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、デジタル技術の更なる活用が必要となるため、ＧＩＧＡスクール端末などのＩＣＴ環境を最大限に活用することが求められている。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成度	100.0%	96.7%	96.7%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
ICTを活用して授業を行った教員の割合	100.0%	91.7%	91.7%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率	67.5%	65.1%	96.4%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合	76.0%	67.3%	88.6%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合	89.5%	92.2%	100.0%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
94.7%

代表となる指標 得点Ⓐ
47.3

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっていると思う市民の割合	35.0%	36.1%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合	34.0%	38.7%	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
安全な教育環境の整備が進んでいると思う市民の割合	39.3%	45.3%	100.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいると思う市民の割合	35.0%	40.2%	100.0%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
100.0%

市民実感度 得点Ⓑ
30.0

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 自立につながる生きる力の育成	1	小学校児童支援推進事業	98.2%
	2	中学校少人数学級実施事業	89.2%
	3	小・中学校教材等支援事業	100.0%
	4	ＳＥＬ教育基金事業	95.9%
	5	英語教育推進事業	95.4%
	6	小中一貫教育推進事業	84.6%
	7	教育研修・活動支援事業	89.2%
	8	カーボンニュートラル教育推進事業	－
	9	学校給食食育推進事業【学校給食事業特別会計】	100.0%
	10	第３次教育振興基本計画策定事業	100.0%
② 子どもたちを育てる支援体制の充実	1	学力ステップアップ推進事業	94.0%
	2	教育調査研究事業	92.7%
	3	先生のための研修事業	98.8%
③ 安全な教育環境の整備	1	小中学校学校施設最適化推進事業	0.0%
	2	校庭整備事業	100.0%
	3	小中学校冷暖房設備設置事業	100.0%
	4	小中学校適正規模等推進事業	100.0%
	5	児童・生徒登下校等安全推進事業	90.0%
	6	インターナショナルセーフスクール推進事業	100.0%
	7	小中学校プール施設最適化推進事業	100.0%
	8	校舎等整備事業	100.0%
④ 安心して共に学べる教育の推進	1	就学支援事業	100.0%
	2	外国籍児童・生徒等支援事業	98.9%
	3	学校支援プロジェクト推進事業	100.0%
	4	特別支援教育推進事業	100.0%
	5	教育支援教室運営事業	100.0%
	6	青少年教育相談事業	95.8%
	7	登校支援推進事業	90.7%

実施計画事業指標 達成率平均
93.1%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
18.6

施策の方向

① 自立につながる生きる力の育成

本市独自の特色ある学校づくりを進めるとともに、個に応じたきめ細かな指導を充実させることにより、基礎的な知識、技能や学ぶ意欲の向上を図ります。

代表となる指標

指標①

全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成度

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0	101.0
実績値 (%)	95.8	95.5	97.1	97.1	97.4	96.7	
達成率	–	**99.5**	**100.0**	**99.1**	**98.4**	**96.7**	

代表となる指標 達成率
96.7%

市民実感度

指標①

子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0	35.0
実績値 (%)	26.8	34.7	33.2	33.9	33.1	36.1	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**94.6**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 小学校児童支援推進事業	98.2%	A
② 中学校少人数学級実施事業	89.2%	B
③ 小・中学校教材等支援事業	100.0%	A
④ ＳＥＬ教育基金事業	95.9%	A
⑤ 英語教育推進事業	95.4%	A
⑥ 小中一貫教育推進事業	84.6%	B
⑦ 教育研修・活動支援事業	89.2%	B
⑧ カーボンニュートラル教育推進事業	–	–
⑨ 学校給食食育推進事業【学校給食事業特別会計】	100.0%	A
⑩ 第３次教育振興基本計画策定事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
94.7%

施策の方向

② 子どもたちを育てる支援体制の充実

子ども一人一人の課題や教育的ニーズに応じた指導、支援を行うため、教職員の資質・能力を向上させることにより、質の高い教育環境の充実を図ります。

代表となる指標

指標①

ICTを活用して授業を行った教員の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値		70.4	91.7	91.7	83.3	93.0	91.7	
達成率		－	**91.7**	**91.7**	**83.3**	**93.0**	**91.7**	

代表となる指標 達成率
91.7%

市民実感度

指標①

教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0
実績値		29.7	36.6	29.1	31.7	31.8	38.7	
達成率		－	**100.0**	**93.9**	**99.1**	**96.4**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 学力ステップアップ推進事業	94.0%	A
② 教育調査研究事業	92.7%	A
③ 先生のための研修事業	98.8%	A

実施計画事業 達成率平均
95.2%

施策の方向

③ 安全な教育環境の整備

適切で計画的な学校施設の維持管理と予防保全等を実施することにより、子どもたちが安心して安全に学校生活を送ることができる快適な教育環境を確保します。
また、市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る検討を進めます。

代表となる指標

指標①

校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	61.3	62.8	64.4	65.9	67.5	69.0
実績値 (%)	58.5	58.2	60.1	62.4	63.2	65.1	
達成率	–	**94.9**	**95.7**	**96.9**	**95.9**	**96.4**	

代表となる指標 達成率
96.4%

市民実感度

指標①

安全な教育環境の整備が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	37.7	38.1	38.5	38.9	39.3	39.7
実績値 (%)	37.3	45.3	38.7	43.1	39.3	45.3	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	I	I	I	I	I	I	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 小中学校学校施設最適化推進事業	0.0%	D
② 校庭整備事業	100.0%	A
③ 小中学校冷暖房設備設置事業	100.0%	A
④ 小中学校適正規模等推進事業	100.0%	A
⑤ 児童・生徒登下校等安全推進事業	90.0%	A
⑥ インターナショナルセーフスクール推進事業	100.0%	A
⑦ 小中学校プール施設最適化推進事業	100.0%	A
⑧ 校舎等整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
86.3%

施策の方向

④ 安心して共に学べる教育の推進

学校生活を進める上で支援を必要とする子どもや、外国につながる子ども、学校に行きづらさを感じている子どもなどへの支援を推進します。
また、子どもや保護者が学校生活に関する不安や悩みについて安心して相談でき、支援を受けられる体制を構築します。

代表となる指標

指標①

子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	63.0	63.0	72.8	74.4	76.0	77.6
実績値 %	61.1	69.8	67.4	68.8	66.9	67.3	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**94.5**	**89.9**	**88.6**	

指標②

全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	90.0
実績値 %	86.3	88.6	88.2	90.0	91.0	92.2	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率平均
94.3%

市民実感度

指標①

人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0	35.0
実績値 %	28.3	39.2	33.1	32.3	35.0	40.2	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 就学支援事業	100.0%	A
② 外国籍児童・生徒等支援事業	98.9%	A
③ 学校支援プロジェクト推進事業	100.0%	A
④ 特別支援教育推進事業	100.0%	A
⑤ 教育支援教室運営事業	100.0%	A
⑥ 青少年教育相談事業	95.8%	A
⑦ 登校支援推進事業	90.7%	A

実施計画事業 達成率平均
97.9%

まちづくりのビジョン（基本政策）	3　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	**2　地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進**
目指す姿	・地域の実情に応じた学習機会の創出や地域の人材を活用した学習支援づくりが進んでいます。 ・家庭、地域、学校が連携し、家庭教育の充実が図られています。 ・生涯にわたって多様な学習機会が提供され、学びや交流、つながりの拠点が整備されています。 ・地域における子どもたちの健全育成に対する取組が進んでいます。
第１期基本計画での取組方針	・多様な学習機会の提供、地域住民の出会いや交流、つながりの拠点である公民館活動を推進します。 ・教育の出発点である家庭の教育力を高めるため、家庭教育を推進します。 ・生涯にわたって自ら学び続けられる学習環境を提供します。 ・地域全体で青少年の健全な育成を図るため、関係団体の活動の支援や子どもの居場所づくりを進めます。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
95.0 /100	A 順調

成果と課題

地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進に向け、市内５大学及び市内企業等との協働・連携により講座等を実施する「あつぎ協働大学」や市民が講師となって様々な講座を自主企画、自主運営する「輝き厚木塾」のほか、熱中症対策が必要になる公民館への空調設備等整備などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。

しかしながら、代表となる指標「図書館の貸出者数」については、実績値が前年度と比較して上昇したものの、令和３年度以降の実績値は横ばいで推移しているため、現在建設中の未来・図書館については、本との新たな出会いを創出し、市民の学び、成長、楽しみに役立つ施設にしていくとともに、市民の交流の場として生涯学習活動の拠点となるよう、整備を進めていく必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
公民館を利用している市民の割合	32.0%	31.9%	99.7%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
公民館での学級・講座参加者の満足度	81.3%	69.7%	85.7%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合	39.0%	40.4%	100.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	97.5%	96.9%	99.4%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
生涯学習活動を行っている市民の割合	55.2%	53.0%	96.0%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率
図書館を利用している市民の割合	27.0%	25.0%	92.6%

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率
図書館の貸出者数	450000人	365743人	81.3%

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率
青少年健全育成団体が行った事業の参加率	59.5%	59.3%	99.7%

代表となる指標達成率平均
94.3%

代表となる指標得点Ⓐ
47.1

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいると思う市民の割合	31.0%	36.9%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合	38.0%	39.1%	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいると思う市民の割合	35.0%	36.8%	100.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実していると思う市民の割合	39.5%	38.3%	97.0%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
99.3%

市民実感度 得点Ⓑ
29.7

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 地域主体で取り組む社会教育の振興	1	公民館活動事業	85.7%
	2	公民館整備事業	92.5%
	3	公民館熱中症対策空調設備整備事業	100.0%
② 家庭・地域・学校の協働の推進	1	家庭教育支援事業	99.4%
	2	地域学校協働活動事業	100.0%
③ 生涯学習活動の推進	1	あつぎ協働大学開設事業	97.2%
	2	生涯学習振興事業	95.1%
	3	アミューあつぎ改修事業（中長期保全）	90.0%
	4	（仮称）未来館整備事業	100.0%
	5	図書館整備事業	90.0%
	6	電子図書館事業	100.0%
④ 青少年の健全育成に向けた取組の推進	1	青少年自然文化体験研修事業	92.9%
	2	青少年指導者育成事業	78.1%
	3	青少年非行防止活動事業	61.7%
	4	児童館整備事業	75.0%
	5	こどもフェスタ開催事業	100.0%

実施計画事業指標 達成率平均
91.1%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
18.2

施策の方向

① 地域主体で取り組む社会教育の振興

公民館における各種学級・講座、事業の充実や必要な機能、施設の整備により、公民館の地域コミュニティ活動や地域教育の拠点性の向上を図ります。

代表となる指標

指標①

公民館を利用している市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	29.1	29.6	30.1	30.6	32.0	33.0
実績値 (%)	28.6	29.4	31.8	29.3	31.8	31.9	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**97.3**	**100.0**	**99.7**	

指標②

公民館での学級・講座参加者の満足度

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	70.6	71.1	77.9	79.6	81.3	83.0
実績値 (%)	70.1	74.7	69.7	73.9	68.5	69.7	
達成率	–	**100.0**	**98.0**	**94.9**	**86.1**	**85.7**	

代表となる指標 達成率平均
92.7%

市民実感度

指標①

地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0	32.0
実績値 (%)	26.0	33.2	28.2	32.0	28.5	36.9	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**95.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 公民館活動事業	85.7%	B
② 公民館整備事業	92.5%	A
③ 公民館熱中症対策空調設備整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
89.1%

施策の方向

② 家庭・地域・学校の協働の推進

家庭・地域・学校がそれぞれの役割を担い、相互に補完し、協力しながら、家庭の教育力向上等に向けた取組の充実を図るとともに、家庭教育の重要性について理解が深まるよう啓発を行います。

代表となる指標

指標①

地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0
実績値 (%)	34.0	35.2	38.7	39.0	39.7	40.4	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

指標②

家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	97.4	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5
実績値 (%)	97.3	96.8	97.1	96.1	95.3	96.9	
達成率	–	**99.4**	**99.6**	**98.6**	**97.7**	**99.4**	

代表となる指標 達成率平均
99.7%

市民実感度

指標①

家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	34.0	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0
実績値 (%)	33.3	36.8	32.0	34.4	29.5	39.1	
達成率	–	**100.0**	**91.4**	**95.6**	**79.7**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 家庭教育支援事業	99.4%	A
② 地域学校協働活動事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
99.7%

施策の方向

③ 生涯学習活動の推進

年代に応じた様々な学習機会の提供、読書環境の充実、誰もが生涯学習活動に参加しやすい環境の整備、地域人材の積極的な活用と指導者やボランティアの育成等により、生涯にわたり学ぶことができる環境づくりを推進します。

代表となる指標

指標①

生涯学習活動を行っている市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	42.0	43.0	53.0	54.1	55.2	56.3
実績値 (%)	41.6	50.7	54.1	52.4	52.6	53.0	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**98.9**	**97.2**	**96.0**	

指標②

図書館を利用している市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	23.0	24.0	25.0	26.0	27.0	30.0
実績値 (%)	22.0	23.7	24.3	23.8	24.3	25.0	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**95.2**	**93.5**	**92.6**	

指標③

図書館の貸出者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (人)	–	410,000	420,000	430,000	440,000	450,000	490,000
実績値 (人)	408,233	369,389	383,050	378,224	362,028	365,743	
達成率 (%)	–	**90.1**	**91.2**	**88.0**	**82.3**	**81.3**	

代表となる指標 達成率平均
90.0%

市民実感度

指標①

生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	36.0
実績値 (%)	30.3	33.3	29.9	35.6	30.8	36.8	
達成率	–	**100.0**	**93.4**	**100.0**	**90.6**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① あつぎ協働大学開設事業	97.2%	A
② 生涯学習振興事業	95.1%	A
③ アミューあつぎ改修事業（中長期保全）	90.0%	A
④ （仮称）未来館整備事業	100.0%	A
⑤ 図書館整備事業	90.0%	A
⑥ 電子図書館事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
95.4%

施策の方向
④ 青少年の健全育成に向けた取組の推進
青少年の主体性や社会性を育む多様な学習、活動、体験の機会及び場の提供並びに指導者、関係団体の支援に取り組みます。 また、青少年の悩み、薬物及び非行問題、有害環境などに対応するため、各関係機関・団体との連携を強化します。

代表となる指標

指標①

青少年健全育成団体が行った事業の参加率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	50.0	55.0	58.0	59.0	59.5	60.0
実績値	45.7	25.3	44.0	52.0	58.8	59.3	
達成率	–	**50.6**	**80.0**	**89.7**	**99.7**	**99.7**	

（単位：%）

代表となる指標 達成率
99.7%

市民実感度

指標①

青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	30.0	35.0	38.0	39.0	39.5	40.0
実績値	29.7	34.6	32.3	36.2	32.6	38.3	
達成率	–	**100.0**	**92.3**	**95.3**	**83.6**	**97.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

（単位：%）

市民実感度 達成率
97.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 青少年自然文化体験研修事業	92.9%	A
② 青少年指導者育成事業	78.1%	C
③ 青少年非行防止活動事業	61.7%	C
④ 児童館整備事業	75.0%	C
⑤ こどもフェスタ開催事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
81.5%

まちづくりのビジョン（基本政策）	3　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	**3　文化芸術の振興**
目指す姿	・身近に本市の歴史や文化芸術に触れる機会が提供されています。 ・伝統文化・郷土芸能や文化財が、次の世代へ保存・継承されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・文化、芸術に触れる機会を提供するとともに、文化芸術活動に取り組みやすい環境の整備に努めます。 ・郷土の文化や自然、文化財、伝承してきた伝統芸能を受け継ぎ、後世に伝えるため、活動の場の充実や後継者の育成を支援します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
79.0 /100	C やや遅れ

成果と課題

文化芸術の振興に向け、YouTubeによる動画配信や気軽に作品を発表できる「あつぎ ArtSpot」の展開により、ICTや身近な場所を活用した鑑賞・発表の機会を創出したことや「人・まち・自然が響きあうあつぎの文化芸術を創造する」を基本理念とした第２次厚木市文化芸術振興計画第２期基本計画及び実施計画の策定に向けて取り組んだが、厚木市史の発刊が遅れたことにより、やや遅れている結果となった。

代表となる指標「文化芸術事業の参加者数」については、市民芸術祭の演目を変更したことにより、実績値が前年度と比較して低下した。今後も新たな内容を検討し、参加者数の増加につなげていく必要がある。

また、三つの市民実感度は全て指標において実績値が前年度と比較して上昇し、市の取組や成果が市民の実感として表れているため、市民が文化芸術を通して豊かに暮らせるよう、引き続き関連する施策を推進していく。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合	23.0%	23.8%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
文化芸術事業の参加者数	5150人	2524人	49.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
厚木の郷土文化に興味がある市民の割合	62.0%	51.1%	82.4%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度	98.0%	92.8%	94.7%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数	8750人	5028人	57.5%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
76.7%

代表となる指標 得点Ⓐ
38.3

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
文化芸術に親しむ機会が提供されていると思う市民の割合	45.0%	52.9%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
郷土文化の継承と発展の取組が進んでいると思う市民の割合	43.0%	40.3%	93.7%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
あつぎ郷土博物館の取組が進んでいると思う市民の割合	43.0%	37.9%	88.1%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
93.9%

市民実感度 得点Ⓑ
28.1

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 文化芸術活動の推進	1	あつぎ市民芸術文化祭開催事業	49.0%
	2	文化会館リニューアル事業	ー
	3	文化芸術振興事業	100.0%
	4	文化芸術振興計画策定事業	100.0%
② 郷土文化の継承と発展	1	あつぎ郷土博物館活動推進事業	94.7%
	2	郷土芸能事業	36.3%
	3	市史編さん事業	0.0%

実施計画事業指標 達成率平均
63.3%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
12.6

施策の方向

① 文化芸術活動の推進

様々な世代の多様なニーズを捉えた文化芸術事業を企画・実施し、文化芸術の振興に向けた環境づくりに取り組みます。

代表となる指標

指標①

市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	19.0	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0
実績値 (%)	18.9	16.4	19.4	22.2	19.7	23.8	
達成率	–	**86.3**	**97.0**	**100.0**	**89.5**	**100.0**	

指標②

文化芸術事業の参加者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (人)	–	4,950	5,000	5,050	5,100	5,150	5,200
実績値 (人)	4,729	0	2,720	2,698	3,031	2,524	
達成率 (%)	–	**0.0**	**54.4**	**53.4**	**59.4**	**49.0**	

代表となる指標 達成率平均
74.5%

市民実感度

指標①

文化芸術に親しむ機会が提供されていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	41.5	42.0	43.0	44.0	45.0	46.0
実績値 (%)	41.1	41.3	42.9	41.7	49.2	52.9	
達成率	–	**99.5**	**100.0**	**97.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① あつぎ市民芸術文化祭開催事業	49.0%	D
② 文化会館リニューアル事業	–	–
③ 文化芸術振興事業	100.0%	A
④ 文化芸術振興計画策定事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
83.0%

施策の方向
② 郷土文化の継承と発展
市民協働により、伝統文化・芸能や文化財の保護及び活用を図ることで、市民の郷土文化に関する理解を深め、継承につなげます。

代表となる指標

指標①

厚木の郷土文化に興味がある市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	49.5	51.0	59.4	60.7	62.0	63.3
実績値 %	49.2	57.0	52.5	54.3	52.9	51.1	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**91.4**	**87.1**	**82.4**	

指標②

あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	92.0	92.0	94.0	96.0	98.0	100.0
実績値 %	90.2	90.2	89.9	89.7	52.9	92.8	
達成率	－	**98.0**	**97.7**	**95.4**	**55.1**	**94.7**	

指標③

郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 人	－	8,650	8,650	8,650	8,700	8,750	8,800
実績値 人	8,678	3,105	5,172	4,653	5,463	5,028	
達成率 %	－	**35.9**	**59.8**	**53.8**	**62.8**	**57.5**	

代表となる指標 達成率平均
78.2%

市民実感度

指標①

郷土文化の継承と発展の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	38.0	39.5	40.5	42.0	43.0	44.0
実績値 %	37.5	37.8	36.1	36.7	39.0	40.3	
達成率	－	**99.5**	**91.4**	**90.6**	**92.9**	**93.7**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

指標②

あつぎ郷土博物館の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	39.1	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0
実績値 %	38.1	43.8	37.4	38.3	37.2	37.9	
達成率	－	**100.0**	**93.5**	**93.4**	**88.6**	**88.1**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率平均
90.9%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① あつぎ郷土博物館活動推進事業	94.7%	A
② 郷土芸能事業	36.3%	D
③ 市史編さん事業	0.0%	D

実施計画事業 達成率平均
43.7%

まちづくりのビジョン（基本政策）	3　夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	**4　生涯スポーツの振興**
目指す姿	いつでも、どこでも、誰でも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツを通じて相互理解を深めることができる環境が整備されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・誰もが、自発的に様々な形でスポーツ活動に取り組めるよう、スポーツイベントの拡充や施設の整備及び充実に取り組みます。 ・トップアスリートの育成及び指導者の育成を支援し、競技スポーツ活動を推進します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
86.5 /100	B おおむね順調

成果と課題

生涯スポーツの振興に向け、「スポーツをする人、みる人、支える人、みんなが 楽しめる環境づくり」を基本理念とするスポーツの聖地づくり基本計画の策定や競技スポーツの活性化に向けたスポーツ合宿を誘致する取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。
　しかしながら、代表となる指標「運動やスポーツを週３回以上行っている市民の割合」及び市民実感度「運動・スポーツ活動の機会が提供されていると思う市民の割合」の実績値が前年度と比較して低下したため、引き続きスポーツ指導者養成研修やスポーツ行事の開催に積極的に取り組むとともに、スポーツの聖地づくり基本計画に基づき、スポーツ施設の最適化・整備やトップリーグの誘致等に取り組み、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境を創出する必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
運動やスポーツを週３回以上行っている市民の割合	39.0%	25.1%	64.4%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
スポーツ指導者養成研修等参加者数	1140人	953人	83.6%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
公共スポーツ施設の利用者数	1755000人	1549004人	88.3%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
78.8%

代表となる指標 得点Ⓐ
39.4

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
運動・スポーツ活動の機会が提供されていると思う市民の割合	55.0%	54.2%	98.5%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実していると思う市民の割合	36.0%	39.1%	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
スポーツ施設が充実していると思う市民の割合	47.0%	42.8%	91.1%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
96.5%

市民実感度 得点Ⓑ
28.9

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 生涯スポーツ活動の推進	1	市民スポーツ推進事業（生涯スポーツ）	64.9%
	2	社会体育指導者養成事業	83.6%
② 競技スポーツ活動の推進	1	競技力向上支援事業	93.8%
	2	市民スポーツ推進事業（競技スポーツ）	88.8%
	3	スポーツ合宿誘致事業	100.0%
③ スポーツ施設の整備・充実	1	運動公園長寿命化事業	100.0%
	2	グラウンド・ゴルフ場整備事業	100.0%
	3	スポーツの聖地検討事業	100.0%

実施計画事業指標 達成率平均
91.4%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
18.2

施策の方向

① 生涯スポーツ活動の推進

いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも興味や関心、目的に応じてスポーツに親しむことができるよう、スポーツイベントの開催等を通じて、様々なスポーツ活動の機会を提供します。

代表となる指標

指標①

運動やスポーツを週３回以上行っている市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0
実績値 (%)	34.5	27.1	29.3	28.1	27.7	25.1	
達成率	–	**77.4**	**81.4**	**75.9**	**72.9**	**64.4**	

指標②

スポーツ指導者養成研修等参加者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (人)	–	1,100	1,110	1,120	1,130	1,140	1,150
実績値 (人)	1,083	147	901	1,030	1,035	953	
達成率 (%)	–	**13.4**	**81.2**	**92.0**	**91.6**	**83.6**	

代表となる指標 達成率平均
74.0%

市民実感度

指標①

運動・スポーツ活動の機会が提供されていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0
実績値 (%)	50.2	51.2	51.0	51.9	56.1	54.2	
達成率	–	**100.0**	**98.1**	**97.9**	**100.0**	**98.5**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	

市民実感度 達成率
98.5%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 市民スポーツ推進事業（生涯スポーツ）	64.9%	C
② 社会体育指導者養成事業	83.6%	B

実施計画事業 達成率平均
74.3%

施策の方向
② 競技スポーツ活動の推進
子どもたちの育成や競技団体の競技力の底上げを図るため、あつぎスポーツアカデミーを推進するとともに、スポーツ活動を支える団体、指導者、スポーツボランティアなどの育成及び活用を進めます。

代表となる指標

指標①

―

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－
実績値	－	－	－	－	－	－	－
達成率	－	－	－	－	－	－	－

代表となる指標 達成率
―

市民実感度

指標①

スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	32.0	33.0	34.0	35.0	36.0	37.0
実績値 %	31.5	32.7	33.8	35.9	33.6	39.1	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**96.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 競技力向上支援事業	93.8%	A
② 市民スポーツ推進事業（競技スポーツ）	88.8%	B
③ スポーツ合宿誘致事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
94.2%

施策の方向
③ スポーツ施設の整備・充実
身近な場所で、いつでも気軽にスポーツができるよう、既存スポーツ施設の整備及び充実、学校体育施設の開放など、多様なスポーツ活動の場を提供するとともに、公共スポーツ施設の特性に応じた効果的で効率的な施設運営を行います。

代表となる指標

指標①

公共スポーツ施設の利用者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（人）	－	1,575,000	1,620,000	1,665,000	1,710,000	1,755,000	1,800,000
実績値（人）	1,529,937	1,207,361	1,343,542	1,368,000	1,546,377	1,549,004	
達成率（%）	－	**76.7**	**82.9**	**82.2**	**90.4**	**88.3**	

代表となる指標 達成率
88.3%

市民実感度

指標①

スポーツ施設が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（%）	－	43.0	44.0	45.0	46.0	47.0	48.0
実績値（%）	42.7	41.2	39.9	40.1	41.8	42.8	
達成率	－	**95.8**	**90.7**	**89.1**	**90.9**	**91.1**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
91.1%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 運動公園長寿命化事業	100.0%	A
② グラウンド・ゴルフ場整備事業	100.0%	A
③ スポーツの聖地検討事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

４　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち
（発展政策）

基本施策	総合得点	評価区分
1　誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	85.4	B おおむね順調
2　魅力ある中心市街地等の形成	87.3	B おおむね順調
3　地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	98.5	A 順調
4　産業・商業の振興	94.2	A 順調
5　安心して働くことができるまちの実現	81.1	B おおむね順調
6　観光の振興	93.2	A 順調
7　シティプロモーションと定住促進	70.9	C やや遅れ
8　農業・林業・水産業の振興	91.2	A 順調

総合評価

発展政策は、４つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策５「安心して働くことのできるまちの実現」については、総合得点が5.3ポイント減少した。今後も勤労に向けた情報提供や相談を実施するとともに、基本施策４「産業・商業の振興」における創業支援や企業誘致等と一体的に推進し、安心して働くことのできる環境を整備していく必要がある。

基本施策７「シティプロモーションと定住促進」については、代表となる指標「転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）」の実績値が高い数値で推移している一方で、定住促進施策に対する市民の実感や認知度が低く、重点プロジェクトの核となる「住みたい・住み続けたい」と思われるまちづくりに向けたプロモーションや施策の届け方に課題が見られる。今後は、個別補助金の周知にとどまらず、ニーズを捉えたより波及効果の高いシティプロモーションと一体的な定住促進策を展開していく必要がある。

また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、第11次総合計画に掲げる目標の達成に向け、着実に取組を進めること。

総合計画審議会からの意見

総合評価Ａが４施策、総合評価Ｂが３施策、総合評価Ｃが１施策となり、全体的におおむね計画通りに進捗したことは評価するが、総合評価がＣとなった「シティプロモーションと定住促進」では、専門職の人材確保に係る事業等の低迷が響いた。安心を支える人材確保は優先課題であり、県等と連携した効果的な誘致策や助成内容の検討を推進されたい。

さらに、「産業・商業の振興」の総合評価Ａや「魅力ある中心市街地の形成」の総合評価Ｂは、通勤利用者の激減や在宅勤務の浸透、本市の企業誘致に対する経営者からの意見などを踏まえると、現場実態と乖離している印象を受けるため、単なる数値での評価にとどまらず、実態に即した分析を行い、より効果的に施策を推進されたい。

また、「誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進」において課題が見られる交通ネットワーク整備については、国や県と緊密に連携し、中・長期的な視点で道路整備を着実に推進されたい。

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**1　誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進**
目指す姿	・誰もが公共交通等を利用して快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができるまちが実現されています。 ・空き家の発生が抑制されるとともに、市営住宅については、安全で快適な状態が保たれ、暮らしやすい住環境が形成されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・都市機能の維持・誘導や、バス路線沿線への居住及び生活利便施設の緩やかな誘導を図り、住み慣れた地域での生活利便性を高めます。 ・幹線道路の計画的な整備や、生活道路の効果的な整備を推進します。 ・コミュニティ交通導入の検討や、環境に優しい移動手段への転換を推進します。 ・新たな空き家等の状況把握に努め、管理不全な状況の改善・解消を図るとともに、空き家の有効活用を促進し、空き家に起因する様々な不安の解消に努めます。 ・市営住宅の長寿命化を計画的に実施し、安全で快適な生活環境を安定的に提供します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
85.4 /100	B おおむね順調

成果と課題

誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進に向け、日常生活に必要な施設の立地促進や移動しやすい交通環境の整備に対する取組のほか、高齢者や障がい者等、誰もが安全で円滑に利用できる道路空間の提供を目指し、新たに歩行空間や無電柱化の整備等に取り組んだことが成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。

一方で、代表となる指標「管理不全であるため、助言等が必要な空き家数」は目標値を達成したが、市民実感度「空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が低い数値で推移しているため、空き家の所有者に対する助言指導に加え、空き家の発生を未然に防ぐための周知を強化する必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	80.6%	82.5%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
幹線道路（１・２級市道）等の整備延長（累計）	503m	349m	69.4%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
公共交通の徒歩圏人口カバー率	85.2%	85.6%	100.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
路線バスの利用者数（１日当たり）	70,000人	56,749人	81.1%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
管理不全であるため、助言等が必要な空き家数	28戸	24戸	100.0%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
90.1%

代表となる指標 得点Ⓐ
45.0

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にあると思う市民の割合	80.6%	80.6%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合	42.5%	51.8%	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできていると思う市民の割合	62.4%	60.3%	96.6%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合	44.0%	18.0%	40.9%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
84.4%

市民実感度 得点Ⓑ
25.3

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① コンパクトなまちづくりの推進	1	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	66.7%
② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進	1	街路整備事業	72.8%
	2	街路用地取得事業	0.0%
	3	幹線市道新設改良事業	68.2%
	4	交差点等改良事業	100.0%
	5	生活道路整備事業	100.0%
	6	中町第２－２地区周辺交通アクセス整備事業	－
	7	道路整備用地取得事業	80.5%
	8	歩道整備事業	18.6%
	9	橋りょう架替事業	100.0%
	10	通学路安全対策事業	65.0%
	11	橋りょう長寿命化事業	100.0%
	12	道路付属施設長寿命化事業	92.7%
	13	道路交通環境整備事業	100.0%
	14	交通混雑対策推進事業	100.0%
③ 移動しやすい公共交通環境の整備	1	地域公共交通対策事業	100.0%
	2	コミュニティ交通推進事業	100.0%
	3	次世代モビリティシステム検討事業	100.0%
	4	自転車走行空間整備事業	100.0%
	5	サイクルアンドバスライド自転車駐車場整備事業	0.0%
④ 安全で快適な住環境の整備	1	空き家等対策推進事業	100.0%
	2	住宅政策推進事業	30.0%

実施計画事業指標 達成率平均
75.9%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
15.1

施策の方向
① コンパクトなまちづくりの推進
公共交通等を利用して誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる都市を実現するため、鉄道駅周辺の都市機能の維持又は誘導を図るとともに、バス路線沿線など公共交通の利便性の高い地域に、居住や生活利便施設を緩やかに誘導します。

代表となる指標

指標①

スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	79.4	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6
実績値 (%)	79.4	79.7	80.4	82.2	82.4	82.5	
達成率	–	**100.0**	**99.8**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にあると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	76.2	76.2	80.6	80.6	80.6	80.6
実績値 (%)	76.2	75.1	75.4	73.8	78.5	80.6	
達成率	–	**98.6**	**99.0**	**91.6**	**97.4**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	I	I	I	I	I	I	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	66.7%	C

実施計画事業 達成率
66.7%

施策の方向

② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進

市内の道路ネットワークの充実を図るため、都市計画道路を含む幹線道路を計画的に整備し、交通混雑の解消を進めます。
また、日常生活の利便性、安全性を高めるため、生活道路の効果的な整備を推進します。

代表となる指標

指標①

幹線道路（１・２級市道）等の整備延長（累計）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	208	353	403	453	503	553
実績値 ｍ	103	134	219	264	319	349	
達成率 %	－	**64.4**	**62.0**	**65.5**	**70.4**	**69.4**	

代表となる指標 達成率
69.4%

市民実感度

指標①

安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	40.5	41.0	41.5	42.0	42.5	43.0
実績値 %	39.8	47.6	46.8	45.9	48.3	51.8	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 街路整備事業	72.8%	C
② 街路用地取得事業	0.0%	D
③ 幹線市道新設改良事業	68.2%	C
④ 交差点等改良事業	100.0%	A
⑤ 生活道路整備事業	100.0%	A
⑥ 中町第２－２地区周辺交通アクセス整備事業	－	－
⑦ 道路整備用地取得事業	80.5%	B
⑧ 歩道整備事業	18.6%	D
⑨ 橋りょう架替事業	100.0%	A
⑩ 通学路安全対策事業	65.0%	C
⑪ 橋りょう長寿命化事業	100.0%	A
⑫ 道路付属施設長寿命化事業	92.7%	A
⑬ 道路交通環境整備事業	100.0%	A
⑭ 交通混雑対策推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
76.8%

施策の方向

③ 移動しやすい公共交通環境の整備

更なる移動環境の向上を図るため、路線バスの利便性向上を図るとともに、路線バスを補完するコミュニティ交通導入を検討します。
また、公共交通利用への転換を促進し、環境に優しい移動手段の普及啓発を推進します。

代表となる指標

指標①

公共交通の徒歩圏人口カバー率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	85.1	85.1	85.2	85.2	85.2	85.2
実績値 (%)	85.1	85.5	85.5	85.6	85.6	85.6	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

指標②

路線バスの利用者数（１日当たり）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
実績値 (人)	70,000	43,600	46,400	50,800	55,900	56,749	
達成率 (%)	–	**62.3**	**66.3**	**72.6**	**79.9**	**81.1**	

代表となる指標 達成率平均
90.6%

市民実感度

指標①

通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	54.4	56.4	58.4	60.4	62.4	64.4
実績値 (%)	54.4	56.9	59.3	56.0	58.3	60.3	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**95.9**	**96.5**	**96.6**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
96.6%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 地域公共交通対策事業	100.0%	A
② コミュニティ交通推進事業	100.0%	A
③ 次世代モビリティシステム検討事業	100.0%	A
④ 自転車走行空間整備事業	100.0%	A
⑤ サイクルアンドバスライド自転車駐車場整備事業	0.0%	D

実施計画事業 達成率平均
80.0%

施策の方向
④ 安全で快適な住環境の整備
空き家等の状況把握に努め、管理不全な状況の改善及び解消を図るとともに、利用可能な空き家については、空き家バンクを活用するなど、空き家に起因する犯罪や災害等の未然防止に努めます。 また、市営住宅については、厚木市市営住宅等長寿命化計画などに基づき、予防保全的な修繕や改善等を適正かつ効率的に実施することにより、施設の長寿命化を図ります。

代表となる指標

指標①

管理不全であるため、助言等が必要な空き家数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	100	90	28	28	28	28
実績値	63	46	28	29	29	24	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**96.6**	**96.6**	**100.0**	

（単位：戸）

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	24.0	29.0	34.0	39.0	44.0	60.0
実績値	14.1	18.5	16.4	14.1	16.9	18.0	
達成率	－	**77.1**	**56.6**	**41.5**	**43.3**	**40.9**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	

（単位：%）

市民実感度 達成率
40.9%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 空き家等対策推進事業	100.0%	A
② 住宅政策推進事業	30.0%	D

実施計画事業 達成率平均
65.0%

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**2　魅力ある中心市街地等の形成**
目指す姿	中心市街地等の再整備により、都市機能や交通利便性が向上し、魅力にあふれた街並みが形成され、誰もが訪れてみたい、歩いて楽しいまちが実現されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・官民が連携して本厚木駅周辺及び愛甲石田駅周辺の再整備を進めることにより、中心市街地等の魅力向上とともに、都市機能の充実に取り組みます。 ・空き店舗の活用やイベントの開催により、中心市街地のにぎわいを創出します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
87.3 /100	B おおむね順調

成果と課題

魅力ある中心市街地等の形成に向け、令和９年度に供用開始を予定している複合施設「あつめき」の建設に引き続き取り組んだほか、本厚木駅及び愛甲石田駅周辺の整備に向けた取組を推進したことが成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。

一方で、二つの市民実感度は実績値が前年度と比較して上昇したが、二つの代表となる指標の実績値はいずれも低下したため、イベントの拡充などにより中心市街地の歩行者数の増加を図る必要がある。

イベント開催に当たっては、物価高騰が持続することを前提に、より省コストで効果的な運営をしていく必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
中心市街地の歩行者数	112,000人	98,066人	87.6%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
中心市街地の活性化イベント数	47件	34件	72.3%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
80.0%

代表となる指標 得点Ⓐ
40.0

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合	50.0%	53.4%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	48.0%	42.7%	89.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
94.5%

市民実感度 得点Ⓑ
28.3

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 中心市街地等の都市機能の向上	1	本厚木駅北口周辺整備事業	90.0%
	2	中町第２－２地区周辺整備事業	100.0%
	3	愛甲石田駅周辺整備事業	100.0%
	4	地下道活性化事業	96.9%
② にぎわい創出に向けた取組の推進	1	市街地商業活性化事業	88.3%

実施計画事業指標 達成率平均
95.0%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
19.0

施策の方向

① 中心市街地等の都市機能の向上

本厚木駅周辺は、商業・業務、行政、文化などの多様な都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、居心地が良く、歩いて楽しい市街地の創出による魅力ある拠点を形成します。
愛甲石田駅周辺は、地域の生活を支える商業・業務等の都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、駅へのアクセス性を高める周辺道路整備を進めます。

代表となる指標

指標①

－

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－
実績値	－	－	－	－	－	－	－
達成率	－	－	－	－	－	－	－

代表となる指標 達成率
－

市民実感度

指標①

中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	53.0
実績値 (%)	42.9	46.5	42.7	43.1	48.6	53.4	
達成率	－	**100.0**	**90.9**	**89.8**	**99.2**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 本厚木駅北口周辺整備事業	90.0%	A
② 中町第２－２地区周辺整備事業	100.0%	A
③ 愛甲石田駅周辺整備事業	100.0%	A
④ 地下道活性化事業	96.9%	A

実施計画事業 達成率平均
96.7%

施策の方向

② にぎわい創出に向けた取組の推進

商店街が実施するイベントや環境整備などにより、人でにぎわう市街地となるよう、空き店舗対策やイベント開催の支援を行います。

代表となる指標

指標①

中心市街地の歩行者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	110,000	110,500	111,000	111,500	112,000	112,500
実績値	109,836	98,282	94,327	100,327	104,701	98,066	
達成率 %	－	**89.3**	**85.4**	**90.4**	**93.9**	**87.6**	

（単位：人）

指標②

中心市街地の活性化イベント数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	43	44	45	46	47	48
実績値	42	26	34	31	36	34	
達成率 %	－	**60.5**	**77.3**	**68.9**	**78.3**	**72.3**	

（単位：件）

代表となる指標 達成率平均

80.0%

市民実感度

指標①

中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	30.0	35.0	40.0	45.0	48.0	50.0
実績値	27.1	29.3	31.2	30.6	35.9	42.7	
達成率	－	**97.7**	**89.1**	**76.5**	**79.8**	**89.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

（単位：%）

市民実感度 達成率

89.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 市街地商業活性化事業	88.3%	B

実施計画事業 達成率

88.3%

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**3　地域の個性をいかした魅力あるまちの実現**
目指す姿	・交通利便性の高い新たな産業拠点が整備されることにより、雇用が拡大し、経済・産業が活性化したまちが実現されています。 ・自然景観が保全、継承されるとともに、都市機能と生活機能の両立が図られた地域特性をいかした魅力あるまちが実現されています。
第１期基本計画での取組方針	・森の里東地区、酒井地区などの新たな産業拠点の整備を進めます。 ・景観に配慮したまちづくりを進めます。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
98.5 /100	A 順調

成果と課題

地域の個性をいかした魅力あるまちの実現に向け、酒井地区の土地区画整理事業を計画的に実施し、事業の主要な節目である換地処分を行ったほか、市民情報提供システム「スマ報」を利用して市民の景観意識の醸成を図る取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。

しかしながら、市民実感度「新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合」は実感度及び重要度が低い分類Ⅳに該当した。新たな産業拠点の整備や地域特性をいかした計画的な土地利用の推進は、雇用の拡大や地域経済の活性化につながることから、取組の重要性について関係者と連携し、更なる周知を図る必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積	26.8ha	26.8ha	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積	20.6ha	20.6ha	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標達成率平均
100.0%

代表となる指標得点Ⓐ
50.0

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められていると思う市民の割合	59.2%	51.0%	86.1%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
山地、河川、市街地などの景観が守られていると思う市民の割合	48.2%	55.0%	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合	32.0%	32.7%	100.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
95.4%

市民実感度 得点Ⓑ
28.6

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 地域に合った計画的な土地利用の推進	1	国土調査事業	98.8%
	2	土地区画整理推進事業	100.0%
② 景観形成の推進	1	景観形成推進事業	100.0%
③ 新たな産業拠点の整備	1	森の里東土地区画整理推進事業	－
	2	酒井土地区画整理推進事業	100.0%

実施計画事業指標 達成率平均
99.7%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
19.9

施策の方向
① 地域に合った計画的な土地利用の推進
周辺の自然環境との調和を図りながら、山際地区及び山際北部地区を始め、各地区における特徴をいかした土地利用を進めます。

代表となる指標

指標①

―

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	―	―	―	―	―	―	―	―
実績値		―	―	―	―	―	―	―
達成率		―	―	―	―	―	―	―

代表となる指標 達成率
―

市民実感度

指標①

広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	―	56.3	57.0	57.7	58.4	59.2	60.0
実績値		55.6	52.8	48.4	48.7	48.5	51.0	
達成率		―	**93.8**	**84.9**	**84.4**	**83.0**	**86.1**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	

市民実感度 達成率
86.1%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 国土調査事業	98.8%	A
② 土地区画整理推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
99.4%

施策の方向
② 景観形成の推進
自然と都市が融合する本市の景観の形成を行うとともに、景観の魅力を周知します。

代表となる指標

指標①

―

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－
実績値 ―	－	－	－	－	－	－	－
達成率	－	－	－	－	－	－	－

代表となる指標 達成率
―

市民実感度

指標①

山地、河川、市街地などの景観が守られていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	47.0	47.3	47.6	47.9	48.2	48.5
実績値 %	46.7	48.1	44.5	47.7	47.9	55.0	
達成率	－	**100.0**	**94.1**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 景観形成推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

施策の方向
③ 新たな産業拠点の整備
森の里東地区及び酒井地区において、本市の交通利便性を活用した魅力ある拠点の整備を進めます。

代表となる指標

指標①

森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (ha)	－	15.2	15.2	26.8	26.8	26.8	26.8
実績値 (ha)	6.9	15.2	15.2	26.8	26.8	26.8	
達成率 (%)	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

指標②

酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (ha)	－	－	－	14.2	20.6	20.6	20.6
実績値 (ha)	－	－	－	14.2	20.6	20.6	
達成率 (%)	－	**－**	**－**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度

指標①

新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (%)	－	30.0	30.0	30.0	31.0	32.0	32.0
実績値 (%)	28.8	34.0	32.4	32.9	33.3	32.7	
達成率 (%)	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 森の里東土地区画整理推進事業	－	－
② 酒井土地区画整理推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**4　産業・商業の振興**
目指す姿	・市内外からの買物客に親しまれ、活気ある商店街が広がっています。 ・創業支援と中小企業支援が充実し、多様な人材が活躍できるまちが実現されています。 ・産業が集積し、雇用が創出されています。 ・市内企業等において、先端技術が導入され、事業の継続が図られることにより、効率的で利便性の高い、活力あるまちが実現されています。
第１期 基本計画での取組方針	・市民や来訪者が立ち寄りたくなる、利便性が高く魅力ある商店街づくりを推進します。 ・創業希望者に対する支援を行い、地域経済の安定的な発展及び新たな雇用機会の創出を図ります。 ・中小企業に対し、企業の課題解決に向けた相談支援等を行い、経営の安定化を促進します。 ・企業立地支援策の充実を図り、誘致を促進します。 ・先端技術導入の促進を図るため、企業等の取組を支援します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
94.2 /100	A 順調

成果と課題

シティプロモーションと定住促進に向け、市のＰＲ動画を電車やYouTube広告で公開することにより、市の魅力を発信したほか、介護職人材に対する各種助成が成果指標の達成率につながった。しかし、幼稚園教諭、保育士及び看護職等に対する人材確保事業の達成率が低く、やや遅れている結果となった。

低い達成率となった三つの人材確保事業については、各種助成の更なる周知を図るとともに、介護職人材については、高齢者の増加に伴い、人材不足が危惧されることから、定住し介護職として働きたいと思えるよう、引き続きＰＲを行っていく必要がある。

定住促進については、市民実感度「親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が前年度と比較して上昇したものの、低い数値で推移しているため、制度の周知を強化することで、更なる制度活用を図る必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合	87.5%	84.6%	96.7%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
本市の支援策により創業した人数	4人	8人	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
中小企業資金融資利子補給金交付件数	1,260件	1,207件	95.8%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
企業立地件数	11件	16件	100.0%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
98.1%

代表となる指標 得点Ⓐ
49.0

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
商店街など、市内に利用したい店舗があると思う市民の割合	45.5%	50.7%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
創業支援や中小企業支援が充実していると思う市民の割合	24.0%	27.2%	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
企業誘致が進んでいると思う市民の割合	30.0%	27.6%	92.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られていると思う市民の割合	24.0%	28.3%	100.0%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
98.0%

市民実感度 得点Ⓑ
29.4

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 商業の活性化に向けた取組の推進	1	商業活動振興事業	100.0%
	2	商店街ＬＥＤ化促進事業	100.0%
② 創業支援と中小企業支援の充実	1	商工業振興事業	56.6%
	2	ビジネスチャレンジャー支援事業	100.0%
	3	中小企業活性化推進事業	87.0%
	4	中小企業イノベーション支援事業	53.0%
	5	中小企業事業資金融資事業	88.0%
	6	中小企業等ＳＤＧｓ推進事業	18.2%
③ 企業誘致の促進	1	企業立地サポート事業	100.0%
④ 先端技術産業の推進	1	ロボット産業推進事業	90.0%

実施計画事業指標 達成率平均
79.3%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
15.8

施策の方向
① 商業の活性化に向けた取組の推進
市民や市外からの買物客に親しまれ魅力ある商店街づくりを地域一体となって推進します。

代表となる指標

指標①

主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	85.9	86.3	86.7	87.1	87.5	88.0
実績値		85.5	86.7	86.3	84.0	86.1	84.6	
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**96.9**	**98.9**	**96.7**	

代表となる指標 達成率
96.7%

市民実感度

指標①

商店街など、市内に利用したい店舗があると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	43.5	44.0	44.5	45.0	45.5	46.0
実績値		43.2	42.6	46.4	48.0	49.5	50.7	
達成率		－	**97.9**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 商業活動振興事業	100.0%	A
② 商店街ＬＥＤ化促進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向

② 創業支援と中小企業支援の充実

商工団体等と連携しながら、創業や事業承継を行う方を支援します。また、中小企業のイノベーションを促進し、持続的な成長を図ります。

代表となる指標

指標①

本市の支援策により創業した人数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（人）	－	2	3	4	4	4	4
実績値（人）	0	0	4	6	6	8	
達成率（%）	－	**0.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

指標②

中小企業資金融資利子補給金交付件数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（件）	－	1,220	1,240	1,260	1,260	1,260	1,260
実績値（件）	1,200	756	811	915	1,072	1,207	
達成率（%）	－	**62.0**	**65.4**	**72.6**	**85.1**	**95.8**	

代表となる指標 達成率平均
97.9%

市民実感度

指標①

創業支援や中小企業支援が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（%）	－	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0
実績値（%）	18.2	22.8	19.2	21.6	20.8	27.2	
達成率	－	**100.0**	**91.4**	**98.2**	**90.4**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 商工業振興事業	56.6%	D
② ビジネスチャレンジャー支援事業	100.0%	A
③ 中小企業活性化推進事業	87.0%	B
④ 中小企業イノベーション支援事業	53.0%	D
⑤ 中小企業事業資金融資事業	88.0%	B
⑥ 中小企業等ＳＤＧｓ推進事業	18.2%	D

実施計画事業 達成率平均
67.1%

施策の方向
③ 企業誘致の促進
幹線道路整備による交通アクセスの優位性等をいかした企業誘致を促進し、雇用の創出や持続可能な財政基盤の構築を図ります。

代表となる指標

指標①

企業立地件数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（件）	－	7	9	11	11	11	11
実績値（件）	5	2	9	13	15	16	
達成率（%）	－	**28.6**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

企業誘致が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（%）	－	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0
実績値（%）	25.5	26.6	24.5	25.3	26.4	27.6	
達成率	－	**100.0**	**90.7**	**90.4**	**91.0**	**92.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
92.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 企業立地サポート事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

施策の方向
④ 先端技術産業の推進
先端技術の導入を促進するため、企業等における生産性向上に向けた取組等を支援します。

代表となる指標

指標①

－

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－
実績値	－	－	－	－	－	－	－
達成率	－	－	－	－	－	－	－

代表となる指標 達成率
－

市民実感度

指標①

様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	22.0	22.5	23.0	23.5	24.0	25.0
実績値	21.5	22.0	20.9	24.1	25.2	28.3	
達成率	－	**100.0**	**92.9**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① ロボット産業推進事業	90.0%	A

実施計画事業 達成率
90.0%

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**5　安心して働くことができるまちの実現**
目指す姿	多様な人材が、その経験や能力を十分に発揮し、ワーク・ライフ・バランスを図りながら、安心して働くことのできる環境が整備されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・関係機関と連携しながら、求職者に対する就業相談、スキルアップの機会を提供します。 ・中小企業等で働く勤労者やその家族に対して福利厚生制度の充実など必要な支援を行います。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
81.1 /100	B おおむね順調

成果と課題

安心して働くことのできるまちの実現に向け、就労支援や勤労者支援等の取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができたが、前年度と比較すると総合得点が5.3ポイント低下した。

代表となる指標「勤労者生活資金融資件数」については、預託額が上限に近づいたため、年度途中で融資を停止したことに伴い、実績値が前年度と比較して低下したことから、預託額の増加の検討を進めるとともに、融資再開後には周知に努める必要がある。

また、市民実感度「就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合」については、重要度が高く、実感度が低い分類Ⅱに該当していることから、求職者への就業相談や勤労者等に対する福利厚生の充実に向けて取り組むとともに、更なる周知を図る必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
障害者雇用奨励交付金交付件数	44件	38件	86.4%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
勤労者生活資金融資件数	70件	43件	61.4%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数	110社	75社	68.2%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
72.0%

代表となる指標 得点Ⓐ
36.0

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合	29.0%	28.1%	96.9%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
96.9%

市民実感度 得点Ⓑ
29.0

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 勤労者支援の充実	1	就労対策事業	93.6%
	2	技能振興事業	87.1%
② 勤労者の福利厚生支援	1	中小企業勤労者助成事業	80.9%
	2	勤労者貸付融資預託事業	61.4%

実施計画事業指標 達成率平均
80.8%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
16.1

施策の方向

① 勤労者支援の充実

勤労者に対して、関係機関と連携し、相談の場やスキルアップの機会などを提供します。
また、事業者に対して、多様な人材を確保するための支援や働き方改革を促進するため、ワーク・ライフ・バランスの推進を啓発するとともに、人材確保のためのマッチング支援等を推進します。

代表となる指標

指標①

障害者雇用奨励交付金交付件数

年度 / 単位	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	38	41	44	44	44	44
実績値	件	35	39	39	41	38	38	
達成率	%	－	**100.0**	**95.1**	**93.2**	**86.4**	**86.4**	

代表となる指標 達成率
86.4%

市民実感度

指標①

就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
実績値	%	23.7	29.2	23.2	26.2	25.9	28.1	
達成率	%	－	**100.0**	**89.2**	**97.0**	**92.5**	**96.9**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	

市民実感度 達成率
96.9%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 就労対策事業	93.6%	A
② 技能振興事業	87.1%	B

実施計画事業 達成率平均
90.4%

施策の方向

② 勤労者の福利厚生支援

勤労者が安心して働くことのできる環境を整えるため、勤労者のニーズを把握するとともに、関係機関と連携しながら、中小企業における福利厚生事業の充実など、必要な支援を行います。

代表となる指標

指標①

勤労者生活資金融資件数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（件）	－	30	40	70	70	70	70
実績値（件）	8	56	63	37	53	43	
達成率（%）	－	**100.0**	**100.0**	**52.9**	**75.7**	**61.4**	

指標②

中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（社）	－	100	100	110	110	110	110
実績値（社）	100	109	97	96	93	75	
達成率（%）	－	**100.0**	**97.0**	**87.3**	**84.5**	**68.2**	

代表となる指標 達成率平均
64.8%

市民実感度

指標①

－

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（－）	－	－	－	－	－	－	－
実績値（－）	－	－	－	－	－	－	－
達成率	－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性	－	－	－	－	－	－	－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 中小企業勤労者助成事業	80.9%	B
② 勤労者貸付融資預託事業	61.4%	C

実施計画事業 達成率平均
71.2%

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**6　観光の振興**
目指す姿	・周辺自治体との連携により、広域観光の推進が図られ、多くの周遊客が訪れています。 ・観光資源の効果的な発信により、国内外から多くの観光客が訪れています。
第１期 基本計画での 取組方針	・近隣市町村や交通機関との連携を通じて広域観光を推進します。 ・観光資源の発掘、磨き上げ、活用とともに、豊かな自然や交通利便性の高さをいかした魅力ある観光地づくりを推進します。 ・趣味・志向、客層に応じて適切な媒体を通じた情報発信を行います。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
93.2 /100	A 順調

成果と課題

観光の振興に向け、あつぎ鮎まつりの開催やインバウンド需要を取り込むための周遊観光ツアーを実施したほか、ハイカー向け観光マップのリニューアルやあゆコロちゃんを活用した観光情報のＰＲに取り組んだことが、成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。

しかしながら、市民実感度「観光情報の発信が充実していると思う市民の割合」については、実感度と重要度が低い分類Ⅳに該当していることから、本市の観光資源の磨き上げや受入れ環境の向上、他市町村と連携した誘客を促進する事業の展開を強化するとともに、積極的な周知を行う必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合	38.0%	35.5%	93.4%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
観光消費額（年間）	195.5億円	216.9億円	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
厚木市観光協会ホームページのアクセス件数	1,884,650件	2,071,299件	100.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
97.8%

代表となる指標 得点Ⓐ
48.9

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいると思う市民の割合	49.0%	50.5%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られていると思う市民の割合	48.5%	44.7%	92.2%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
観光情報の発信が充実していると思う市民の割合	44.0%	35.3%	80.2%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
90.8%

市民実感度 得点Ⓑ
27.2

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 広域観光の推進	1	広域連携観光推進事業	100.0%
② 観光資源の磨き上げの推進	1	観光資源活性化事業	75.7%
	2	受入環境整備事業	59.4%
	3	健康づくり村推進事業	100.0%
	4	観光行事推進事業	100.0%
	5	飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業	64.4%
③ 情報発信の充実	1	観光プロモーション事業	100.0%

実施計画事業指標 達成率平均
85.6%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
17.1

施策の方向
① 広域観光の推進
近隣市町村と連携し、広域観光プロモーションを実施するなど、広域観光の取組を推進します。

代表となる指標

指標①

－

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－	－
実績値		－	－	－	－	－	－	－
達成率		－	－	－	－	－	－	－

代表となる指標 達成率
－

市民実感度

指標①

大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
実績値		43.7	48.1	47.2	49.7	48.2	50.5	
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 広域連携観光推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

施策の方向

② 観光資源の磨き上げの推進

旅行者のニーズやスタイルが多様化する中、選ばれる観光地を目指し、豊かな自然や温泉など既存の観光資源を活用した観光振興や新たな観光資源の発掘、磨き上げをするとともに、交通アクセスの良さなど、厚木らしさをいかした魅力ある観光地づくりを進めます。

代表となる指標

指標①

市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	30.0	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0
実績値 (%)	23.8	22.1	32.0	33.9	34.1	35.5	
達成率	–	**73.7**	**100.0**	**99.7**	**94.7**	**93.4**	

指標②

観光消費額（年間）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (億円)	–	177.5	182.0	186.5	191.0	195.5	200.0
実績値 (億円)	173.0	63.0	145.0	188.6	265.0	216.9	
達成率 (%)	–	**35.5**	**79.7**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率平均
96.7%

市民実感度

指標①

温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	43.0	44.0	45.5	47.0	48.5	50.0
実績値 (%)	42.6	43.6	42.2	46.1	44.2	44.7	
達成率	–	**100.0**	**95.9**	**100.0**	**94.0**	**92.2**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	

市民実感度 達成率
92.2%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 観光資源活性化事業	75.7%	C
② 受入環境整備事業	59.4%	D
③ 健康づくり村推進事業	100.0%	A
④ 観光行事推進事業	100.0%	A
⑤ 飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業	64.4%	C

実施計画事業 達成率平均
79.9%

施策の方向

③ 情報発信の充実

必要な観光情報を的確に入手できるよう、SNSの活用による効果的な情報発信など、趣味・志向、客層に応じて適切な媒体を通じた情報発信を行うとともに、観光のブランドイメージづくりを推進します。

代表となる指標

指標①

厚木市観光協会ホームページのアクセス件数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	31,000	32,000	130,000	1,836,300	1,884,650	1,933,000
実績値	30,889	121,087	101,795	93,000	2,086,794	2,071,299	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**71.5**	**100.0**	**100.0**	

単位：件、％

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

観光情報の発信が充実していると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0
実績値	37.1	36.6	32.3	36.8	33.4	35.5	
達成率	－	**91.5**	**78.8**	**87.6**	**77.7**	**80.7**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

単位：％

市民実感度 達成率
80.7%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 観光プロモーション事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**7　シティプロモーションと定住促進**
目指す姿	・住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちが実現されています。 ・市民が誇りや愛着を持てるまちが実現されています。 ・バランスの取れた人口構成を確保しています。
第１期基本計画での取組方針	・市外や海外に本市の魅力を発信するとともに、市民がまちの魅力を実感できるよう、効果的な情報発信を行います。 ・バランスの取れた人口構成を確保するため、定住促進策を推進します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
70.9 /100	C やや遅れ

成果と課題

シティプロモーションと定住促進に向け、市のＰＲ動画を電車やYouTube広告で公開することにより、市の魅力を発信したほか、介護職人材に対する各種助成が成果指標の達成率につながった。しかし、幼稚園教諭、保育士及び看護職等に対する人材確保事業の達成率が低く、やや遅れている結果となった。

低い達成率となった三つの人材確保事業については、各種助成の更なる周知を図るとともに、介護職人材については、高齢者の増加に伴い、人材不足が危惧されることから、定住し介護職として働きたいと思えるよう、引き続きＰＲを行っていく必要がある。

定住促進については、市民実感度「親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が前年度と比較して上昇したものの、低い数値で推移しているため、制度の周知を強化することで、更なる制度活用を図る必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	100.0%	100.0%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
ホストタウン交流事業参加者数	470人	142人	30.2%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）	494人	475人	96.2%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
75.5%

代表となる指標 得点Ⓐ
37.7

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合	48.7%	40.5%	83.2%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいると思う市民の割合	61.0%	21.1%	34.6%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
58.9%

市民実感度 得点Ⓑ
17.6

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① シティプロモーションの推進	1	交流の場創出事業	97.4%
	2	魅力発信事業	100.0%
② 定住促進に向けた取組の推進	1	定住促進住宅取得等支援事業	100.0%
	2	（再掲）介護職人材確保支援事業	100.0%
	3	（再掲）幼稚園教諭確保助成事業	40.0%
	4	（再掲）保育士確保助成事業	72.2%
	5	（再掲）看護職等人材確保支援事業	37.9%

実施計画事業指標 達成率平均
78.2%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
15.6

施策の方向

① シティプロモーションの推進

住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちづくりを、分野横断的に推進するとともに、本市の魅力を広く伝えるため、対象に応じた効果的な情報発信等の取組を進めます。
また、ワーケーション等で訪れる人など、地域や地域の人々と多様に関わる関係人口を増やし、より多様な人材が地域づくりに参画できる取組を推進します。
さらに、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、ニュージーランドのホストタウンとして、歴史や文化、教育などを始めとした幅広い分野での交流により、将来につながるレガシーの創出を図ります。

代表となる指標

指標①

あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	90.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値 (%)	87.8	88.4	98.4	72.1	100.0	100.0	
達成率	–	**98.2**	**100.0**	**72.1**	**100.0**	**100.0**	

指標②

ホストタウン交流事業参加者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (人)	–	6,250	380	410	440	470	500
実績値 (人)	8,500	4,000	357	419	230	142	
達成率 (%)	–	**64.0**	**93.9**	**100.0**	**52.3**	**30.2**	

代表となる指標 達成率平均
65.1%

市民実感度

指標①

本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	43.5	44.8	46.1	47.4	48.7	50.0
実績値 (%)	42.2	44.8	38.5	39.5	37.4	40.5	
達成率	–	**100.0**	**85.9**	**85.7**	**78.9**	**83.2**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
83.2%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 交流の場創出事業	97.4%	A
② 魅力発信事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
98.7%

施策の方向

② 定住促進に向けた取組の推進

親元近居・同居や子育て世帯の住宅取得支援により、市外からの若年世帯の定住や保育士、看護職、介護職等の有資格者の転入を促進するなど、定住促進の取組を推進し、バランスの取れた人口構成の確保を図ります。
また、これらの取組について、対象に応じた効果的な情報発信を行います。

代表となる指標

指標①

転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（件）	－	344	356	469	481	494	506
実績値（件）	176	380	376	427	436	475	
達成率（%）	－	**100.0**	**100.0**	**91.0**	**90.6**	**96.2**	

代表となる指標 達成率
96.2%

市民実感度

指標①

親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（%）	－	25.0	34.0	43.0	52.0	61.0	70.0
実績値（%）	16.9	24.2	22.1	20.2	19.5	21.1	
達成率	－	**96.8**	**65.0**	**47.0**	**37.5**	**34.6**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
34.6%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 定住促進住宅取得等支援事業	100.0%	A
② （再掲）介護職人材確保支援事業	100.0%	A
③ （再掲）幼稚園教諭確保助成事業	40.0%	D
④ （再掲）保育士確保助成事業	72.2%	C
⑤ （再掲）看護職等人材確保支援事業	37.9%	D

実施計画事業 達成率平均
70.0%

まちづくりのビジョン（基本政策）	4　人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	**8　農業・林業・水産業の振興**
目指す姿	・農業の担い手の育成や農地の有効活用が図られています。 ・市内で生産された新鮮で安心・安全な農畜水産物が提供され、地産地消が進んでいます。 ・農業者が生産から加工、販売までを手掛ける付加価値の高い農業経営が進んでいます。 ・鳥獣被害から農作物が守られています。 ・持続的な森林資源の循環が図られています。 ・アユ資源の安定確保が図られています。
第１期 基本計画での 取組方針	・農業後継者の育成支援等を通じた農業経営の安定化を図ります。 ・地産地消や６次産業化を推進します。 ・地域や関係団体と連携しながら、有害鳥獣による農作物被害を抑えます。 ・間伐材の有効活用等を促進し、林業支援を行います。 ・アユを活用した地域活性化を図ります。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
91.2 /100	A 順調

成果と課題

農業・林業・水産業の振興に向け、農業の新たな担い手育成や厚木ブランドの農産物の育成・発展に取り組む事業者に対する支援に取り組んだほか、2027年に開催する国際園芸博覧会への出展に向けた基本設計の作成等に計画的に実施したことが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。

しかしながら、市民実感度「地産地消が進んでいると思う市民の割合」の実績値が前年度と比較して上昇した一方で、代表となる指標「地元の農産物を購入した市民の割合」の実績値は低下したため、厚木市民朝市や各農産物直売所等への支援により、地元の農作物を購入できる取組を一層推進する必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
認定新規就農者数（累計）	46人	43人	93.5%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
地元の農産物を購入した市民の割合	86.0%	76.0%	88.4%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
有害鳥獣による農産物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）	97.4%	76.7%	78.7%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
間伐材の搬出量	2,000㎥	2,089㎥	100.0%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
90.2%

代表となる指標 得点Ⓐ
45.1

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいると思う市民の割合	26.0%	24.3%	93.5%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
地産地消が進んでいると思う市民の割合	48.0%	47.0%	97.9%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
95.7%

市民実感度 得点Ⓑ
28.7

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 農地有効利用の推進	1	新規就農者支援事業	93.5%
	2	農業担い手育成対策事業	100.0%
	3	農業経営基盤強化促進事業	61.8%
	4	農業振興地域整備計画事業	100.0%
	5	耕作放棄地再生利用事業	79.5%
	6	農地有効利用促進事業	100.0%
	7	農業基盤整備事業	50.0%
② 地産地消の推進・６次産業化の推進	1	地産地消推進事業	91.7%
	2	畜産経営支援対策事業	84.0%
	3	園芸振興対策事業	81.8%
	4	農作物ブランド化推進事業	100.0%
	5	国際園芸博覧会出展事業	100.0%
③ 鳥獣被害対策の強化	1	鳥獣等被害対策事業	83.3%
④ 林業への支援	1	林業振興事業	96.7%
⑤ 水産業の活性化	1	浜の活力再生プラン推進事業	82.2%

実施計画事業指標 達成率平均
87.0%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
17.4

施策の方向

① 農地有効利用の推進

持続的で環境に配慮した農業経営を支援するため、新たな担い手や認定農業者の育成を図るとともに、市民農園の運営や体験型農園を推進し、憩いと安らぎの場を提供します。

代表となる指標

指標①

認定新規就農者数（累計）

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	34	36	38	42	46	50
実績値		25	34	38	40	39	43	
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**92.9**	**93.5**	

代表となる指標 達成率
93.5%

市民実感度

指標①

農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	22.0	23.0	24.0	25.0	26.0	27.0
実績値		21.2	29.1	23.7	24.5	25.9	24.3	
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**93.5**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
93.5%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 新規就農者支援事業	93.5%	A
② 農業担い手育成対策事業	100.0%	A
③ 農業経営基盤強化促進事業	61.8%	C
④ 農業振興地域整備計画事業	100.0%	A
⑤ 耕作放棄地再生利用事業	79.5%	C
⑥ 農地有効利用促進事業	100.0%	A
⑦ 農業基盤整備事業	50.0%	D

実施計画事業 達成率平均
83.5%

施策の方向

② 地産地消の推進・６次産業化の推進

農畜産物の地産地消と消費者の利便性向上を推進するため、直売所に関する情報発信を行うとともに、朝市、夕焼け市の内容の充実を図り、農業、生産者と触れ合うことができる場を提供します。
また、農業者等からの相談に応じて、関係機関と連携しながら、農畜産物の生産、販売、流通を促進するとともに、農畜産物の更なる付加価値向上を目指します。

代表となる指標

指標①

地元の農産物を購入した市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	78.0	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0
実績値 (%)	76.6	78.2	78.8	79.7	78.9	76.0	
達成率	－	**100.0**	**98.5**	**97.2**	**93.9**	**88.4**	

代表となる指標 達成率
88.4%

市民実感度

指標①

地産地消が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
実績値 (%)	35.4	43.8	40.1	44.3	46.7	47.0	
達成率	－	**100.0**	**95.5**	**100.0**	**100.0**	**97.9**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	

市民実感度 達成率
97.9%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 地産地消推進事業	91.7%	A
② 畜産経営支援対策事業	84.0%	B
③ 園芸振興対策事業	81.8%	B
④ 農作物ブランド化推進事業	100.0%	A
⑤ 国際園芸博覧会出展事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
91.5%

施策の方向
③ 鳥獣被害対策の強化
地域や関係団体と連携しながら、有害鳥獣による農作物被害を最小限に抑え、農業経営の安定化や生活被害を防止する対策を推進します。

代表となる指標

指標①

有害鳥獣による農産物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	79.0	80.0	93.4	95.4	97.4	99.4
実績値	79.0	100.0	96.6	91.8	80.7	76.7	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**98.3**	**84.6**	**78.7**	

単位：%

代表となる指標 達成率
78.7%

市民実感度

指標①

－

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－
実績値	－	－	－	－	－	－	－
達成率	－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性	－	－	－	－	－	－	－

単位：－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 鳥獣等被害対策事業	83.3%	B

実施計画事業 達成率
83.3%

施策の方向
④ 林業への支援
人工林や林道等の計画的な整備や再生可能な森林資源である間伐材の有効活用や製品化等に関する取組を支援します。

代表となる指標

指標①

間伐材の搬出量

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	㎥	－	900	800	2,000	2,000	2,000	2,000
実績値		677	873	990	2,000	1,674	2,089	
達成率	%	－	**97.0**	**100.0**	**100.0**	**83.7**	**100.0**	

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

－

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－	－
実績値		－	－	－	－	－	－	－
達成率		－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性		－	－	－	－	－	－	－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 林業振興事業	96.7%	A

実施計画事業 達成率
96.7%

施策の方向
⑤ 水産業の活性化
相模川、中津川における漁業の生産性向上を目的として、アユの安定的な供給とアユを活用した地域の活性化を図ります。

代表となる指標

指標①

―

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	―	―	―	―	―	―	―
実績値	―	―	―	―	―	―	―
達成率	―	―	―	―	―	―	―

代表となる指標 達成率
―

市民実感度

指標①

―

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	―	―	―	―	―	―	―
実績値	―	―	―	―	―	―	―
達成率	―	―	―	―	―	―	―
【参考】実感度と重要度の関係性	―	―	―	―	―	―	―

市民実感度 達成率
―

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 浜の活力再生プラン推進事業	82.2%	B

実施計画事業 達成率
82.2%

5　環境に優しく、自然と共生するまち
（潤い政策）

基本施策	総合得点	評価区分
1　地球温暖化対策の推進	76.4	C やや遅れ
2　未来へつなげる循環型都市の実現	88.9	B おおむね順調
3　自然との共生の推進	77.9	C やや遅れ
4　緑豊かで美しいまちの実現	84.9	B おおむね順調
5　河川と共生するまちの実現	65.4	C やや遅れ

総合評価

潤い政策は、基本施策１「地球温暖化対策の推進」については、2050年のカーボンニュートラルの達成に向けて高い目標を掲げ、代表となる指標の実績値は着実に上昇しているものの、達成率が伸び悩んでいるほか、全ての市民実感度において、重要度が高く実感度が低い分類Ⅱとなっている。環境教育等による市民意識の向上と行動変容につながる取組を促進するとともに、引き続き、再生可能エネルギーの導入と温室効果ガスの削減の両面からカーボンニュートラルを促進していく必要がある。

基本施策４「緑豊かで美しいまちの実現」については、総合評価がＡからＢに低下した。特に、施策の方向「環境美化の推進」に位置付ける代表となる指標「不法投棄件数」が増加し、「地域美化清掃の実施件数」の実績値が低下したため、市民・事業者との協働による環境美化活動の推進と不法投棄の抑止に向けた監視・啓発活動の強化など、環境保全に係る取組を強化する必要がある。

また、第11次総合計画に掲げる目標の達成に向け、課題の整理や現状分析等を行い、関連する取組を着実に進めること。

総合計画審議会からの意見

総合評価Ｂが２施策、総合評価Ｃが３施策となり、全体的に課題が見られる結果となった。総合評価Ｃの「地球温暖化対策の推進」、「自然との共生の推進」及び「河川と共生するまちの実現」では、再生可能エネルギーの出力量、里地里山の保全、合併処理浄化槽の普及等の低迷が響いた。市民が自然活動に自分事として関わる機会を創出や水質保全に向けた補助制度の更なる周知のほか、堅調に伸びている再生可能エネルギー分野については、実態に応じて目標値等を適宜見直し、着実な施策の推進を図られたい。

また、総合評価Ｂの「緑豊かで美しいまちの実現」においても、代表となる指標「不法投棄件数」及び「美化清掃の実施件数」等に課題が見られる。不法投棄対策は県の環境部局との合同パトロール等による取組強化を図られたい。あわせて、若年層や民間企業を巻き込む美化活動への支援を強化するとともに、あつあいクリーンセンターの広域運営やリサイクルの意識啓発により、環境美化の取組と並行して施策を推進されたい。

まちづくりのビジョン（基本政策）	5　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	**1　地球温暖化対策の推進**
目指す姿	地球温暖化防止に対する意識が高まり、家庭や学校、事業所等における省エネルギー化が図られ、地球環境への負荷が低減しています。
第１期 基本計画での 取組方針	・地球環境への負荷が少ない脱炭素社会の実現に向けて、家庭や学校、事業所などにおける省エネルギーの普及啓発を進めます。 ・地球温暖化対策の必要性への理解向上を促し、再生可能エネルギーの普及に向けた取組等を推進します。 ・温室効果ガスの排出抑制を進めます。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
76.4 /100	C やや遅れ

成果と課題

地球温暖化対策の推進に向け、ＥＶごみ収集車を導入・運用したほか、第６次厚木市環境基本計画の策定に向けた取組を推進し、実施計画事業指標の達成率は高い数値で推移した一方で、代表となる指標及び市民実感度の達成率が低く、やや遅れている結果となった。

代表となる指標「市内再生可能エネルギー出力量」については、前年度と比較して実績値が上昇したものの、目標値の上昇幅に対して伸び幅が低く、達成率が低下した。令和8年度以降は、第11次総合計画アクションプランで改めて設定した目標値の達成に向けて、再生可能エネルギーの導入に係る補助や公共施設への太陽光発電等の設置などを一層推進させる必要がある。

また、三つの市民実感度については、二つの項目で実績値が前年度と比較して上昇した一方で、目標値は達成できなかった。近年、地球温暖化の影響により気象災害が激甚化しているため、地球温暖化対策について重要性の更なる周知を図り、行動変容につなげていくことが求められる。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合	95.0%	80.6%	84.8%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
市内再生可能エネルギー出力量	90MW	55.1MW	61.2%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成25年度比）	29.0%	26.0%	89.7%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
78.6%

代表となる指標 得点Ⓐ
39.3

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
環境教育や環境学習の取組が進んでいると思う市民の割合	45.0%	26.5%	58.9%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
再生可能エネルギーの普及が進んでいると思う市民の割合	36.0%	25.8%	71.7%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいると思う市民の割合	50.0%	27.4%	54.8%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
61.8%

市民実感度 得点Ⓑ
18.5

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 環境教育の推進と環境問題に対する意識啓発	1	環境教育促進事業	92.6%
	2	環境基本計画改定事業	100.0%
② 再生可能エネルギーの導入推進	1	カーボンニュートラル推進補助事業	76.3%
③ 温室効果ガスの排出抑制	1	カーボンニュートラル推進事業	96.8%
	2	ＥＶごみ収集車導入事業	100.0%

実施計画事業指標 達成率平均
93.1%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
18.6

施策の方向

① 環境教育の推進と環境問題に対する意識啓発

環境学習講座や啓発イベントを積極的に実施することにより、地球温暖化を始めとした環境問題についての意識啓発を図り、ライフスタイルの変革を促します。

代表となる指標

指標①

地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	78.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0
実績値 (%)	76.2	78.6	78.8	81.8	84.0	80.6	
達成率	–	**100.0**	**98.5**	**96.2**	**93.3**	**84.8**	

代表となる指標 達成率
84.8%

市民実感度

指標①

環境教育や環境学習の取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	28.0	32.0	35.0	40.0	45.0	50.0
実績値 (%)	24.5	25.7	24.7	26.0	27.4	26.5	
達成率	–	**91.8**	**77.2**	**74.3**	**68.5**	**58.9**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
58.9%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 環境教育促進事業	92.6%	A
② 環境基本計画改定事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
96.3%

施策の方向
② 再生可能エネルギーの導入促進
市内における太陽光発電システム設置に対する支援等、再生可能エネルギーの導入を進め、創エネ、省エネ、蓄エネの推進を図ります。

代表となる指標

指標①

市内再生可能エネルギー出力量

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (MW)	–	36.3	38.0	60.0	75.0	90.0	100.0
実績値 (MW)	32.7	38.3	48.0	51.1	52.7	55.1	
達成率 (%)	–	**100.0**	**100.0**	**85.2**	**70.3**	**61.2**	

代表となる指標 達成率
61.2%

市民実感度

指標①

再生可能エネルギーの普及が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (%)	–	24.0	25.0	30.0	33.0	36.0	40.0
実績値 (%)	22.6	23.3	20.8	23.2	25.4	25.8	
達成率 (%)	–	**97.1**	**83.2**	**77.3**	**77.0**	**71.7**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
71.7%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① カーボンニュートラル推進補助事業	76.3%	C

実施計画事業 達成率平均
76.3%

施策の方向
③ 温室効果ガスの排出抑制
スマートハウスの推進やEVごみ収集車の導入等により、温室効果ガスの排出量の削減を進めます。

代表となる指標

指標①

市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成25年度比）

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	11.5	12.8	21.0	25.0	29.0	33.0
実績値	10.2	17.0	20.0	16.0	19.0	26.0	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**76.2**	**76.0**	**89.7**	

単位：%

代表となる指標 達成率
89.7%

市民実感度

指標①

公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	26.0	30.0	36.0	42.0	50.0	60.0
実績値	23.8	24.6	24.0	25.0	26.0	27.4	
達成率	–	**94.6**	**80.0**	**69.4**	**61.9**	**54.8**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

単位：%

市民実感度 達成率
54.8%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① カーボンニュートラル推進事業	96.8%	A
② ＥＶごみ収集車導入事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
98.4%

まちづくりのビジョン（基本政策）	5　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	**2　未来へつなげる循環型都市の実現**
目指す姿	ごみの適正排出に対する市民や事業者の意識が高まり、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組が進むことにより、ごみの減量化・資源化が進み、循環型都市が実現されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・家庭系ごみ及び事業系ごみの減量化・資源化を推進します。 ・将来へ向けた安定的なごみ処理体制の確立に取り組みます。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
88.9 /100	B おおむね順調

成果と課題

未来へつなげる循環型都市の実現に向け、不適正排出事業者への指導を実施し、事業系ごみの適切な排出及び分別を図ったほか、厚木市、愛川町及び清川村の３市町村のごみ処理広域化に向け、あつあいクリーンセンターの工事を完了させたことが成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。

しかしながら、市民実感度「ごみの減量を意識している市民の割合」については、実績値が前年度と比較して上昇したものの、令和３年度以降の実績値は横ばいで推移しているため、ごみの減量をはじめとする資源循環の更なる意識啓発により、行動変容につなげる必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
ごみの減量を意識している市民の割合	85.0%	70.0%	82.4%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
資源の分別を意識している市民の割合	99.5%	97.4%	97.9%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
一人１日当たりの家庭系ごみの排出量	384ｇ	386ｇ	99.5%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
事業系ごみの排出量	14,171t	14,906t	95.1%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
93.7%

代表となる指標 得点Ⓐ
46.8

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
ごみの減量化・資源化が進んでいると思う市民の割合	77.0%	59.5%	77.3%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
77.3%

市民実感度 得点Ⓑ
23.1

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① ３Ｒの推進による家庭系ごみの減量化・資源化	1	ごみ減量化・資源化推進事業	91.4%
② 事業系ごみの更なる減量化・資源化	1	事業系ごみ対策事業	94.8%
③ 安定的なごみ処理体制の確立	1	厚木愛甲環境施設組合負担事業	100.0%

施策の方向
① 3Rの推進による家庭系ごみの減量化・資源化
自治会等と協働し、ごみの排出抑制や分別の徹底など、３Ｒの取組を進め、ごみの減量化・資源化を推進します。

代表となる指標

指標①

ごみの減量を意識している市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	70.0	73.0	76.0	80.0	85.0	90.0
実績値 %	66.9	70.5	70.9	72.1	69.4	70.0	
達成率	–	**100.0**	**97.1**	**94.9**	**86.8**	**82.4**	

指標②

資源の分別を意識している市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	97.8	98.2	98.6	99.0	99.5	100.0
実績値 %	97.4	97.8	96.7	97.3	96.9	97.4	
達成率	–	**100.0**	**98.5**	**98.7**	**97.9**	**97.9**	

指標③

一人１日当たりの家庭系ごみの排出量

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 g	–	419	410	401	392	384	383
実績値 g	438	425	412	394	389	386	
達成率 %	–	**98.6**	**99.5**	**100.0**	**100.0**	**99.5**	

代表となる指標 達成率平均
93.3%

市民実感度

指標①

ごみの減量化・資源化が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	61.0	65.0	69.0	73.0	77.0	80.0
実績値 %	57.3	57.7	57.4	61.7	55.5	59.5	
達成率	–	**94.6**	**88.3**	**89.4**	**76.0**	**77.3**	
【参考】実感度と重要度の関係性	I	I	I	I	I	I	

市民実感度 達成率
77.3%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① ごみ減量化・資源化推進事業	91.4%	A

実施計画事業 達成率
91.4%

施策の方向
② 事業系ごみの更なる減量化・資源化
多量排出事業者や不適正排出事業者等に対し適正処理を求めるとともに、事業系ごみの排出抑制や資源化に取り組みます。 また、食品廃棄物排出事業者における食品ロス削減に取り組みます。

代表となる指標

指標①

事業系ごみの排出量

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (t)	－	17,619	16,797	15,976	15,196	14,171	13,858
実績値 (t)	19,323	16,449	16,290	15,350	15,259	14,906	
達成率 (%)	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**99.6**	**95.1**	

代表となる指標 達成率
95.1%

市民実感度

指標①

－

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (－)	－	－	－	－	－	－	－
実績値 (－)	－	－	－	－	－	－	－
達成率 (－)	－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性	－	－	－	－	－	－	－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 事業系ごみ対策事業	94.8%	A

実施計画事業 達成率
94.8%

施策の方向
③ 安定的なごみ処理体制の確立
ごみの安定的かつ確実な広域処理を推進するため、新たなごみ中間処理施設の整備を支援するとともに、新施設稼働後の環境センター跡地等の有効利用など、地域の実情に即したまちづくりを進めます。 また、将来に向けたごみと資源の安定的な収集処理体制の確立に取り組みます。

代表となる指標

指標①

－

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－
実績値	－	－	－	－	－	－	－
達成率	－	－	－	－	－	－	－

代表となる指標 達成率
－

市民実感度

指標①

－

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－
実績値	－	－	－	－	－	－	－
達成率	－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性	－	－	－	－	－	－	－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 厚木愛甲環境施設組合負担事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

まちづくりのビジョン（基本政策）	5　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	**3　自然との共生の推進**
目指す姿	・人と自然の共生に向け、生物多様性への配慮が進められています。 ・市民、事業者等との連携・協働により、生物の良好な生息環境の整備、森林や里地里山の保全・活用が行われています。
第１期 基本計画での 取組方針	・生物多様性の保全と持続可能なまちづくりを推進するため、市民、事業者、民間団体等と連携・協働し、豊かな自然の保全・活用を図ります。 ・森林の持つ多面的、公益的機能を維持するため、森林整備活動を行うとともに、里地里山の保全・活用を行います。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
77.9 /100	C やや遅れ

成果と課題

　自然との共生推進に向け、生物多様性の保全等に係るエコツアーやフォーラム等を開催し、普及啓発を図ったことが成果指標の達成率につながったものの、里地里山の保全に向けた取組の達成率が低く、やや遅れている結果となった。
　また、三つの市民実感度については、全ての項目で実感度及び重要度が低い分類Ⅳに該当している。自然環境の保全は公益的機能の維持に向けた重要な取組であるため、市の取組や市民ができることを一層周知するとともに、環境美化などの関連事業に継続的に取り組む必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
里地里山活動認定の対象面積	6.7ha	6.8ha	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
森林ボランティア会員人数	40人	23人	57.5%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
78.8%

代表となる指標 得点Ⓐ
39.4

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
生物多様性の普及や保全が進んでいると思う市民の割合	41.0%	29.0%	70.7%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合	46.0%	28.7%	62.4%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
森林整備など山林の再生が進んでいると思う市民の割合	33.0%	24.4%	73.9%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
69.0%

市民実感度 得点Ⓑ
20.7

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 多様な自然環境・生物多様性の保全と活用	1	生物多様性あつぎ戦略推進事業	100.0%
	2	里地里山保全等促進事業	79.4%
② 森林再生の推進	1	森林再生事業	88.7%

実施計画事業指標 達成率平均
89.4%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
17.8

施策の方向

① 多様な自然環境・生物多様性の保全と活用

生物多様性あつぎ戦略に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を計画的に推進するとともに、生物多様性の意味や重要性の普及及び配慮意識の浸透等の啓発を行います。
また、里地里山保全等促進計画に基づき、保全活動拠点のネットワーク化を推進し、重点地域における里地里山の継続的な保全活動を通じて、保全活動の全市的な展開につなげます。

代表となる指標

指標①

里地里山活動認定の対象面積

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (ha)	–	6.1	6.2	6.7	6.7	6.7	6.7
実績値 (ha)	6.0	6.7	6.7	6.2	6.2	6.8	
達成率 (%)	–	**100.0**	**100.0**	**92.5**	**92.5**	**100.0**	

代表となる指標 達成率: 100.0%

市民実感度

指標①

生物多様性の普及や保全が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (%)	–	23.0	27.0	32.0	36.0	41.0	45.0
実績値 (%)	18.7	23.6	22.0	22.8	26.4	29.0	
達成率 (%)	–	**100.0**	**81.5**	**71.3**	**73.3**	**70.7**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

指標③

里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (%)	–	28.0	32.0	37.0	42.0	46.0	50.0
実績値 (%)	23.4	28.1	25.6	25.5	27.8	28.7	
達成率 (%)	–	**100.0**	**80.0**	**68.9**	**66.2**	**62.4**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率平均: 66.6%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 生物多様性あつぎ戦略推進事業	100.0%	A
② 里地里山保全等促進事業	79.4%	C

実施計画事業 達成率平均: 89.7%

施策の方向
② 森林再生の推進
枝打ちや徐間伐等、地域水源林エリアの森林整備を行うとともに、森林ボランティア活動への支援等を通じて、森林愛護意識の向上を図ります。

代表となる指標

指標①

森林ボランティア会員人数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	28	31	34	37	40	43
実績値	26	28	28	25	25	23	
達成率	–	**100.0**	**90.3**	**73.5**	**67.6**	**57.5**	

（単位：人）

代表となる指標 達成率
57.5%

市民実感度

指標①

森林整備など山林の再生が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	25.0	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0
実績値	19.8	22.0	20.9	21.4	22.8	24.4	
達成率	–	**88.0**	**77.4**	**73.8**	**73.5**	**73.9**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

（単位：%）

市民実感度 達成率
73.9%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 森林再生事業	88.7%	B

実施計画事業 達成率
88.7%

まちづくりのビジョン（基本政策）	5　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	**4　緑豊かで美しいまちの実現**
目指す姿	・憩いの場としての公園や緑地が整備され、良好な緑地空間の保全が図られています。 ・歩行喫煙や落書き、ごみのポイ捨てなどのない、緑豊かで美しい生活環境が整備されています。
第１期 基本計画での 取組方針	・市民の憩いや安らぎの場となる公園及び緑地の整備、改修を行うとともに、緑地の確保を進め、緑豊かな生活環境づくりを推進します。 ・市民や事業者との協働により、環境の美化を進め、快適で美しい生活環境づくりを推進します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
84.9 /100	B おおむね順調

成果と課題

緑豊かで美しいまちの実現に向け、市民の憩いや安らぎの場となる公園施設の整備を実施したほか、緑のまつりにおいて、緑に親しもう教室や環境に配慮したモノづくりワークショップなどを開催し、緑を大切にする意識の啓発したことが成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。
市民実感度「地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っていると思う市民の割合」の実績値が前年度と比較して上昇した一方で、代表となる指標及び実施計画事業指標の全ての実績値が低下し、総合得点が前年度と比較して8.6ポイント低下したため、関連する事業の取組を強化することにより、市民実感度の継続的な上昇を図る必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
市民一人当たりの公園及び緑地面積	9.65㎡/人	9.45㎡/人	97.9%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
地域美化清掃の実施件数	258件	162件	62.8%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
不法投棄件数	450件	634件	71.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
77.2%

代表となる指標 得点Ⓐ
38.6

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っていると思う市民の割合	65.9%	66.9%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	68.0%	66.0%	97.1%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
98.6%

市民実感度 得点Ⓑ
29.5

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 緑豊かな公園緑地の整備	1	公園緑地整備事業	100.0%
	2	緑を豊かにする事業	100.0%
	3	（仮称）北部地区公園整備事業	100.0%
② 環境美化の推進	1	まち美化推進事業	57.1%
	2	動物愛護管理推進事業	76.4%
	3	不法投棄防止対策事業	71.0%

実施計画事業指標 達成率平均
84.1%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
16.8

施策の方向

① 緑豊かな公園緑地の整備

新規公園を整備するとともに、利用者が安心して過ごすことができるよう、老朽化、機能低下している公園や樹木により見通しの悪い公園等を改修します。
また、健康増進やバリアフリー化等市民ニーズに対応した公園の整備を行います。

代表となる指標

指標①

市民一人当たりの公園及び緑地面積

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	㎡/人	－	8.16	8.17	8.17	9.61	9.65	9.65
実績値		8.15	8.19	8.19	8.19	9.40	9.45	
達成率	%	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**97.8**	**97.9**	

代表となる指標 達成率
97.9%

市民実感度

指標①

身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	63.1	63.8	64.5	65.2	65.9	66.6
実績値		62.4	62.6	61.1	62.4	65.1	66.9	
達成率		－	**99.2**	**95.8**	**96.7**	**99.8**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 公園緑地整備事業	100.0%	A
② 緑を豊かにする事業	100.0%	A
③ （仮称）北部地区公園整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向

② 環境美化の推進

環境美化やマナー向上を図るため、市民や事業者との協働により、ポイ捨て防止、路上喫煙禁止及びペットの適正な飼育等に関する啓発活動を実施します。
また、不法投棄防止を図るため、パトロールの実施や看板の設置等、取組を強化します。

代表となる指標

指標①

地域美化清掃の実施件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	250	252	254	256	258	260
実績値		243	173	164	177	188	162	
達成率	%	－	**69.2**	**65.1**	**69.7**	**73.4**	**62.8**	

指標②

不法投棄件数

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	550	525	500	475	450	425
実績値		574	611	466	543	480	634	
達成率	%	－	**0.0**	**100.0**	**92.1**	**99.0**	**71.0**	

代表となる指標 達成率平均
66.9%

市民実感度

指標①

地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0
実績値		58.6	62.0	59.9	62.8	62.8	66.0	
達成率		－	**100.0**	**96.6**	**98.1**	**95.2**	**97.1**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

市民実感度 達成率
97.1%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① まち美化推進事業	57.1%	D
② 動物愛護管理推進事業	76.4%	C
③ 不法投棄防止対策事業	71.0%	C

実施計画事業 達成率平均
68.2%

まちづくりのビジョン（基本政策）	5　環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	**5　河川と共生するまちの実現**
目指す姿	・河川の水質保全が図られ、良好な河川環境が保たれています。 ・安心して水と親しめる水辺空間が確保され、水辺と人との触れ合いが、より身近に感じられるようになっています。
第１期 基本計画での 取組方針	・生活環境や河川環境を保全するため、引き続き、河川等の水質の保全に努めます。 ・貴重な自然資源である谷戸の水辺環境の保全や、市民に親しみやすい自然をいかした河川環境づくりを進めます。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
65.4 /100	C やや遅れ

成果と課題

河川と共生するまちの実現に向け、汚水管の整備等の河川の水質保全に関連する取組が成果指標の達成率につながったものの、親水広場を活用した環境学習が全日程において悪天候等のため中止としたことから、やや遅れている結果となった。

環境学習などの天候や気温に左右される事業については、より確実に事業が実施されるよう、予備日の設定や実施時期の見直しなどを検討する必要がある。

また、単純処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換件数については、実績値が前年度と比較して大幅に減少した。生活排水の処理率を上昇させるためには、下水道等の整備と併せて合併処理浄化槽の普及促進が重要であるため、該当者が補助制度の必要性を認知できるよう、周知の強化が求められる。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率	92.0%	100.0%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
親水広場を活用した環境学習の実施回数	3回	0回	0.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
50.0%

代表となる指標 得点Ⓐ
25.0

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合	47.2%	48.5%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
100.0%

市民実感度 得点Ⓑ
30.0

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 良好な河川環境の保全	1	水質汚濁防止対策事業	100.0%
	2	合併処理浄化槽普及促進事業	8.0%
	3	公共下水道整備事業（汚水整備）【公共下水道事業会計】	100.0%
② 親しみやすい河川環境の整備	1	河川学習事業	0.0%

施策の方向

① 良好な河川環境の保全

生態系に配慮した河川環境の保全を行うとともに、事業効果を検証するため、水質調査や水生生物調査を実施します。
また、河川の水質常時監視調査や地下水調査、市内河川や水路等の水質調査及び工場や事業場の排水調査を実施します。

代表となる指標

指標①

BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
実績値 %	92.0	82.1	92.1	89.2	100.0	100.0	
達成率	–	**89.2**	**100.0**	**97.0**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

－

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	–	–	–	–	–	–
実績値 －	–	–	–	–	–	–	–
達成率	–	–	–	–	–	–	–
【参考】実感度と重要度の関係性	–	–	–	–	–	–	–

市民実感度 達成率
–

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 水質汚濁防止対策事業	100.0%	A
② 合併処理浄化槽普及促進事業	8.0%	D
③ 公共下水道整備事業（汚水整備）【公共下水道事業会計】	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
69.3%

施策の方向
② 親しみやすい河川環境の整備
谷戸周辺の水辺環境の再生及び保全を図るとともに、親水広場の整備や河川を活用した環境学習を実施し、水辺と人が身近に触れ合うことができる、憩いと活動の場を提供します。

代表となる指標

指標①

親水広場を活用した環境学習の実施回数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	3	3	3	3	3	4
実績値	2	1	2	3	1	0	
達成率	–	**33.3**	**66.7**	**100.0**	**33.3**	**0.0**	

単位：回（目標値・実績値）、％（達成率）

代表となる指標 達成率
0.0%

市民実感度

指標①

親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	44.4	45.1	45.8	46.5	47.2	48.0
実績値	43.7	45.8	44.2	44.2	47.4	48.5	
達成率	–	**100.0**	**98.0**	**96.5**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	

単位：％（目標値・実績値・達成率）

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 河川学習事業	0.0%	D

実施計画事業 達成率平均
0.0%

６　市民と共に確かな成長を創り出すまち
（共創政策）

基本施策	総合得点	評価区分
1　市民参加・市民協働の推進	94.7	A 順調
2　行財政改革の推進	92.6	A 順調
3　都市間連携の推進	80.9	B おおむね順調

総合評価

共創政策は、２つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策１「市民参加・市民協働の推進」については、市民実感度「市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合」と代表となる指標「必要な行政情報を入手できている市民の割合」の達成率に乖離が生じているため、より実効的な情報提供の方法や手段の工夫、市民の利便性を高めた情報アクセスへと改善を図る必要がある。

基本施策３「都市間連携の推進」については、「都市間連携の実施件数」の実績値が上昇している一方で、市民実感度「防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が前年度より低下し、達成率も低いことから、広域連携や交流の取組がもたらす地域活性化や災害対応力強化といった効果を、市民に実感しやすい形で発信し、市民協働と持続可能な都市間連携を推進していく必要がある。

また、第11次総合計画に掲げる目標の達成に向け、課題の整理や現状分析等を行い、関連する取組を着実に進めること。

総合計画審議会からの意見

総合評価Ａが２施策、総合評価Ｂが１施策となり、全体的におおむね計画通りに進捗したことは評価するが、市民実感度「市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合」が目標値を達成している一方で、代表となる指標「必要な行政情報を入手できている市民の割合」の達成率が82.8%となっているほか、自治会等の活動参加率は低下傾向にあり、情報発信や市民協働において実態や実績値との乖離が見られる。この乖離やアンマッチを精査し、単に質の高い情報を発信するだけでなく、SNS等の多様なデバイス展開や直感的に届く導線の整理のほか、年齢層ごとの情報の入手方法の違いや市民が参画する機会が減少しているといった時代背景等も考慮した施策展開に取り組まれたい。

また、他都市との多世代交流や近隣市町村等との広域連携に引き続き取り組み、観光やふるさと納税等による地域の活性化を図るとともに、災害時の支援・対応体制の強化等にもつなげられたい。

まちづくりのビジョン（基本政策）	6　市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	**1　市民参加・市民協働の推進**
目指す姿	・市民協働が一層進み、地域課題の解決に向けた取組が進んでいます。 ・必要な情報を必要なときに入手できるとともに、日常的にまちづくりへの市民参加の機会が得られることにより、市民同士での議論が活発化し、市民の意見が市政に反映されています。
第１期基本計画での取組方針	・地域コミュニティ団体やボランティア団体等の活動を支援するとともに、多様な主体がまちづくりに関わる市民協働によるまちづくりを進めます。 ・市民公募によるワークショップやパブリックコメント等、市民参加の機会を増やすとともに、情報発信手段の多様化や情報のアクセシビリティを強化し、市政がより身近なものとなるよう取組を進めます。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価	成果と課題
94.7 /100	A 順調	市民参加・市民協働の推進に向け、各種補助金や講座等による市民活動団体等の活動支援や市制70周年事業に取り組んだほか、自治会活動の周知や負担軽減に向けたＤＸの推進に係る取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「公式SNSの利用登録者数」の実績値が前年度と比較して大幅に上昇した一方で、「必要な行政情報を入手できている市民の割合」の実績値が低下傾向にあるため、効果的な発信方法や発信媒体について研究していく必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
市民対話等要望対応率	89.6%	81.5%	91.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している市民の割合	39.3%	37.9%	96.4%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
市内で活動する市民活動団体数	226団体	197団体	87.2%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率
必要な行政情報を入手できている市民の割合	87.1%	72.1%	82.8%

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率
公式SNSの利用登録者数	83000人	94964人	100.0%

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
91.5%

代表となる指標 得点Ⓐ
45.7

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合	45.9%	47.1%	100.0%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合	61.0%	62.0%	100.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
100.0%

市民実感度 得点Ⓑ
30.0

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 市民協働の推進	1	市民活動推進事業	100.0%
	2	市民対話事業	91.0%
	3	市民協働推進事業	100.0%
	4	ＳＤＧｓ推進事業	83.9%
	5	市制７０周年記念事業	100.0%
② 地域コミュニティ活動の充実	1	コミュニティ推進事業	100.0%
	2	地域集会施設建設費等補助事業	98.5%
	3	自治会支援事業	95.3%
③ 情報発信力の強化	1	映像メディア活用事業	88.9%

実施計画事業指標 達成率平均
95.3%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
19.0

施策の方向

① 市民協働の推進

多様化する地域課題の解決に向け、ボランティア団体等の活動支援や担い手の育成等に取り組み、市民協働によるまちづくりを一層推進します。
また、パブリックコメント等の市民参加手続を実施し、積極的な情報提供と市民ニーズの把握及び意見聴取機会を設けることにより、まちづくりへの市民参加の促進を図ります。

代表となる指標

指標①

市民対話等要望対応率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	81.0	82.0	86.0	87.8	89.6	91.4
実績値	74.7	82.3	72.7	79.8	82.8	81.5	
達成率	－	**100.0**	**88.7**	**92.8**	**94.3**	**91.0**	

（単位：％）

代表となる指標 達成率
91.0%

市民実感度

指標①

－

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－
実績値	－	－	－	－	－	－	－
達成率	－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性	－	－	－	－	－	－	－

（単位：－）

市民実感度 達成率
－

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 市民活動推進事業	100.0%	A
② 市民対話事業	91.0%	A
③ 市民協働推進事業	100.0%	A
④ ＳＤＧｓ推進事業	83.9%	B
⑤ 市制７０周年記念事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
95.0%

施策の方向

② 地域コミュニティ活動の充実

地域のニーズに沿った活動支援、交流促進等を行います。
また、地域コミュニティ活動の拠点となる施設の維持管理及び整備を支援し、市民が安心して集い、活動できる環境を作ります。

代表となる指標

指標①

自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	35.3	36.3	37.3	38.3	39.3	40.3
実績値 (%)	34.3	38.5	41.8	39.6	38.1	37.9	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**99.5**	**96.4**	

指標②

市内で活動する市民活動団体数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (団体)	－	214	217	220	223	226	229
実績値 (団体)	211	214	204	201	193	197	
達成率 (%)	－	**100.0**	**94.0**	**91.4**	**86.5**	**87.2**	

代表となる指標 達成率平均
91.8%

市民実感度

指標①

自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	41.9	42.9	43.9	44.9	45.9	46.9
実績値 (%)	40.9	46.4	42.3	43.6	43.3	47.1	
達成率	－	**100.0**	**98.6**	**99.3**	**96.4**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① コミュニティ推進事業	100.0%	A
② 地域集会施設建設費等補助事業	98.5%	A
③ 自治会支援事業	95.3%	A

実施計画事業 達成率平均
97.9%

施策の方向

③ 情報発信力の強化

広報紙、市ホームページ、デジタルサイネージ、SNSを活用し、必要な行政情報が届くよう、情報を発信します。
また、利用者の目線に立った情報整理やアクセシビリティの強化を図ります。

代表となる指標

指標①

必要な行政情報を入手できている市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	73.0	73.5	83.5	85.3	87.1	88.9
実績値 (%)	72.9	80.0	77.1	75.9	73.7	72.1	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**90.9**	**86.4**	**82.8**	

指標②

公式SNSの利用登録者数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値 (人)	–	44,000	45,000	73,000	78,000	83,000	88,000
実績値 (人)	43,000	58,172	64,042	71,993	83,652	94,964	
達成率 (%)	–	**100.0**	**100.0**	**98.6**	**100.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率平均
91.4%

市民実感度

指標①

市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	–	59.0	59.5	60.0	60.5	61.0	61.0
実績値 (%)	58.6	63.7	63.1	61.3	60.8	62.0	
達成率	–	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 映像メディア活用事業	88.9%	B

実施計画事業 達成率平均
88.9%

まちづくりのビジョン（基本政策）	6　市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	**2　行財政改革の推進**
目指す姿	・市民ニーズの多様化や社会環境の変化に柔軟に対応した質の高い行政サービスの提供ができています。 ・安定的な財政基盤に基づく持続可能な財政運営が図られています。 ・市民共有の財産である公共施設が計画的に更新され、次世代へと引き継がれています。
第１期基本計画での取組方針	・市民ニーズに対応した質の高い行政サービスを提供するため、デジタル技術の活用による業務効率化などの行政改革に取り組みます。 ・安定した財政基盤を確立するため、更なる自主財源の確保を図ります。 ・公共施設の最適化を計画的に推進し、将来負担の軽減を図ります。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
92.6 /100	A 順調

成果と課題

行財政改革の推進に向け、第11次厚木市総合計画の策定や総合窓口の整備に向けたシステムの標準化、「書かない窓口」の運用開始及びＲＰＡの活用業務の拡大に取り組んだほか、厚木市ＤＸ推進計画（2027～2032）の策定に向けた取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。

しかしながら、公共建築物長寿命化事業については、入札不調等により前年度と比較して達成率が大幅に低下したため、安全な施設の維持管理に向けて、適切な財源を確保するとともに、工事所管課等と綿密な調整を行うことで、より確実な長寿命化工事等の推進する必要がある。

また、市民実感度「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合」については、重要度が高いにもかかわらず、実感度が低い分類Ⅱに該当するため、効果的な行政改革を推進するとともに、事業の取組と成果について効果的に発信していく必要がある。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
第７次行政改革の推進度	100.0%	87.8%	87.8%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
市税収納率	99.05%	98.70%	99.6%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
公共施設個別施設計画に基づく第１期短期再編プログラムの進捗率	81.8%	81.8%	100.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標達成率平均
95.8%

代表となる指標得点Ⓐ
47.9

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合	46.6%	36.5%	78.3%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいると思う市民の割合	46.6%	45.3%	97.2%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
87.8%

市民実感度 得点Ⓑ
26.3

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 行政改革の推進	1	総合計画策定事業	100.0%
	2	行政改革推進事業	83.1%
	3	まちづくり方針検討事業	100.0%
	4	公衆無線ＬＡＮ整備事業	－
	5	総合窓口整備事業	100.0%
	6	ＤＸ推進計画策定事業	100.0%
③ 公共施設最適化の推進	1	公共施設最適化推進事業	100.0%
	2	本庁舎敷地跡地等活用推進事業	100.0%
	3	公共建築物長寿命化事業	54.5%

実施計画事業指標 達成率平均
92.2%

実施計画事業指標 得点Ⓒ
18.4

施策の方向
① 行政改革の推進
行政改革大綱に基づき、行政手続等におけるデジタル技術の活用や根拠に基づく政策立案（EBPM）、官民連携を推進するなど、質の高い行政サービスの提供に向けた行政改革を推進します。

代表となる指標

指標①

第７次行政改革の推進度

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	－	87.3	83.6	78.2	85.4	87.8	
達成率	－	**87.3**	**83.6**	**78.2**	**85.4**	**87.8**	

（単位：%）

代表となる指標 達成率
87.8%

市民実感度

指標①

社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	33.4	36.7	40.0	43.3	46.6	50.0
実績値	29.9	33.9	29.5	30.9	29.4	36.5	
達成率	－	**100.0**	**80.4**	**77.3**	**67.9**	**78.3**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	

（単位：%）

市民実感度 達成率
78.3%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 総合計画策定事業	100.0%	A
② 行政改革推進事業	83.1%	B
③ まちづくり方針検討事業	100.0%	A
④ 公衆無線ＬＡＮ整備事業	－	－
⑤ 総合窓口整備事業	100.0%	A
⑥ ＤＸ推進計画策定事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
96.6%

施策の方向
② 健全な財政運営
限られた財源を重点的かつ効果的に活用し、将来のまちづくりに向けた投資を行うため、自主財源の確保や事業の選択と集中による安定的な財政運営を図ります。

代表となる指標

指標①

市税収納率

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	98.85	98.90	98.95	99.00	99.05	99.10
実績値		98.81	99.11	98.95	98.73	98.80	98.70	
達成率		－	**100.0**	**100.0**	**99.8**	**99.8**	**99.6**	

代表となる指標 達成率
99.6%

市民実感度

指標①

－

年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－	－
実績値		－	－	－	－	－	－	－
達成率		－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性		－	－	－	－	－	－	－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① －	－	－

実施計画事業 達成率
－

施策の方向

③ 公共施設最適化の推進

公共施設最適化基本計画に基づき、公共施設の老朽化対策として、計画的な長寿命化改修を行うとともに、公共施設の複合化などの適正配置を推進します。

代表となる指標

指標①

公共施設個別施設計画に基づく第１期短期再編プログラムの進捗率

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	18.2	31.8	45.5	63.6	81.8	100.0
実績値	－	18.2	31.8	45.5	63.6	81.8	
達成率	－	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	**100.0**	

（単位：%）

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度

指標①

小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	33.4	36.7	40.0	43.3	46.6	50.0
実績値	30.1	39.7	36.5	37.6	38.2	45.3	
達成率	－	**100.0**	**99.5**	**94.0**	**88.2**	**97.2**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅰ	

（単位：%）

市民実感度 達成率
97.2%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 公共施設最適化推進事業	100.0%	A
② 本庁舎敷地跡地等活用推進事業	100.0%	A
③ 公共建築物長寿命化事業	54.5%	D

実施計画事業 達成率平均
84.8%

まちづくりのビジョン（基本政策）	6　市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	**3　都市間連携の推進**
目指す姿	・近隣市町村と共通する行政課題の解決に向け、適切に対応することができる都市間連携の体制を確立しています。 ・国内友好都市との都市間の交流が進み、友好親善が深まっています。
第１期基本計画での取組方針	・近隣市町村と共通する行政課題の解決に向け、都市間連携を推進し、市民サービスの向上を図ります。 ・国内友好都市との交流を促進させるため、本市が主催する交流事業のほか、民間団体による交流活動を支援します。

総合得点（Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ）	総合評価
80.9 /100	B おおむね順調

成果と課題

都市間連携の推進に向け、「丹沢・大山・宮ヶ瀬観光マップ」の修正増刷を行い、各種イベントや公共施設等で配布したほか、横手市増田まんが美術館の招致に伴う訪問団の受入れや網走市との小学生オンライン交流等の取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。

しかしながら、代表となる指標「国内友好都市との交流活動件数」の実績値が前年度と比較して上昇した一方で、「民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数」の達成率が50.0%となったため、補助金の周知を強化する必要がある。

また、代表となる指標「都市間連携の実施件数」の実績値が前年度と比較して上昇した一方で、市民実感度「防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値は低下したため、市の取組や成果が市民の実感度として表れるよう、施策の更なる推進が求められる。

◆代表となる指標　［配点：50点］

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
都市間連携の実施件数	54件	52件	96.3%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数	4件	2件	50.0%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率
国内友好都市との交流活動件数	25件	27件	100.0%

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑦	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑧	R7目標値	R7実績値	達成率

代表となる指標達成率平均
82.1%

代表となる指標得点Ⓐ
41.0

◆市民実感度　［配点：30点］
（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R7目標値	R7実績値	達成率
防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいると思う市民の割合	46.3%	29.2%	63.1%

指標②	R7目標値	R7実績値	達成率
国内友好都市との交流が進んでいると思う市民の割合	47.0%	33.4%	71.1%

指標③	R7目標値	R7実績値	達成率

指標④	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑤	R7目標値	R7実績値	達成率

指標⑥	R7目標値	R7実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
67.1%

市民実感度 得点Ⓑ
20.1

◆実施計画事業指標　［配点：20点］（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 広域連携の推進	1	広域都市連携推進事業	98.2%
② 他都市との交流促進	1	国内交流推進事業	100.0%

施策の方向

① 広域連携の推進

災害対策や観光振興など様々な分野における広域的な行政課題の解決や事務の効率化に向けた取組を行うなど、市域を超えた都市間連携を推進することで、更なる市民サービス向上を目指します。

代表となる指標

指標①

都市間連携の実施件数

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（件）	－	50	51	52	53	54	55
実績値（件）	49	50	50	51	51	52	
達成率（%）	－	**100.0**	**98.0**	**98.1**	**96.2**	**96.3**	

代表となる指標 達成率
96.3%

市民実感度

指標①

防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値（%）	－	30.3	34.3	38.3	42.3	46.3	50.0
実績値（%）	26.3	26.9	24.0	30.2	33.2	29.2	
達成率	－	**88.8**	**70.0**	**78.9**	**78.5**	**63.1**	
【参考】実感度と重要度の関係性	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
63.1%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 広域都市連携推進事業	98.2%	A

実施計画事業 達成率
98.2%

施策の方向

② 他都市との交流促進

国内友好都市との連携を深めていくため、様々な分野で友好都市との交流を促進します。
また、民間における交流を促進するため、本市が主催する交流事業の実施のほか、民間団体による交流活動を支援します。

代表となる指標

指標①

民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数

年度 / 単位	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	2	2	3	3	4	4
実績値	件	1	0	1	1	1	2	
達成率	%	－	**0.0**	**50.0**	**33.3**	**33.3**	**50.0**	

指標②

国内友好都市との交流活動件数

年度 / 単位	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	23	24	24	25	25	26
実績値	件	21	7	18	19	24	27	
達成率	%	－	**30.4**	**75.0**	**79.2**	**96.0**	**100.0**	

代表となる指標 達成率平均
75.0%

市民実感度

指標①

国内友好都市との交流が進んでいると思う市民の割合

年度 / 単位	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	35.0	38.0	41.0	44.0	47.0	50.0
実績値	%	31.1	31.9	27.9	29.5	33.1	33.4	
達成率	%	－	**91.1**	**73.4**	**72.0**	**75.2**	**71.1**	
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	

市民実感度 達成率
71.1%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 国内交流推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

令和８年度
施策評価結果報告書

令和８年 10 月発行

発行　厚木市

編集　厚木市企画部企画政策課

〒243-8511

神奈川県厚木市中町３丁目 17 番 17 号

電話　（046）225-2455（直通）

ホームページ URL　https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/

【別冊】実施計画取組実績（令和７年度実施事業）

1	命、財産を守り抜くまち（安心政策）		
	1	災害に強いまちの実現	P. 1
	2	消防力の充実・強化	P. 3
	3	セーフコミュニティの推進	P. 5
2	支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）		
	1	住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	P. 7
	2	子育て環境の充実	P. 11
	3	健康寿命延伸の推進	P. 15
	4	多様性の尊重と平和都市の推進	P. 19
3	夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）		
	1	学校教育の充実	P. 23
	2	地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	P. 30
	3	文化芸術の振興	P. 33
	4	生涯スポーツの振興	P. 35
4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）		
	1	誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	P. 37
	2	魅力ある中心市街地等の形成	P. 41
	3	地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	P. 42
	4	産業・商業の振興	P. 43
	5	安心して働くことができるまちの実現	P. 45
	6	観光の振興	P. 46
	7	シティプロモーションと定住促進	P. 48
	8	農業・林業・水産業の振興	P. 50
5	環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）		
	1	地球温暖化対策の推進	P. 53
	2	未来へつなげる循環型都市の実現	P. 54
	3	自然との共生の推進	P. 55
	4	緑豊かで美しいまちの実現	P. 56
	5	河川と共生するまちの実現	P. 57
6	市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）		
	1	市民参加・市民協働の推進	P. 59
	2	行財政改革の推進	P. 61
	3	都市間連携の推進	P. 63

（令和７年度実施事業）

１－１　災害に強いまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初 予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率 （%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　災害に強い社会基盤の整備															
1	急傾斜地安全対策事業	急傾斜地の崩壊による被害を最小限にとどめ、市民の生命・財産を守る。	住居に隣接する傾斜30度以上、高さ２ｍ以上の急傾斜地の崩壊防止対策工事費に対し、補助金を交付する。（神奈川県が実施する急傾斜地崩壊対策工事の対象を除く。）	急傾斜地等の崩壊から市民の生命、財産を守るため、崩壊防止対策工事に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　５件	4,000	3,353	相談件数に対する崩壊防止対策工事実施率	%	100.0	94.7	94.7	100.0	83.8	83.8	危機管理課
2	公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	厚木公共下水道事業計画区域内における雨水整備対象区域において、浸水被害が発生している箇所の雨水管整備を進め、浸水被害の解消を図る。	恩曽川左岸水系、相模川右岸水系、中津川右岸水系等において、時間降雨51mm対応の雨水管整備を行う。	三田、恩名２丁目・３丁目及び岡田５丁目において、３件の雨水管整備工事を実施・発注した。	770,000	508,915	浸水対策工事件数	件	4	4	100.0	3	3	100.0	河川下水道施設課
3	木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	地震による住宅の倒壊の被害を軽減するため、木造住宅の耐震化を促進する。	昭和56（1981）年以前の旧耐震基準で建築された木造住宅を対象として、耐震診断及び耐震改修工事に要する費用に対し、補助金を交付する。	耐震診断、耐震改修工事及び除却工事に係る経費の一部を補助した。 ・一般耐震診断　13件 ・耐震改修設計　７件 ・耐震改修工事　３件 ・除却工事　３件	14,922	6,539	木造住宅耐震診断補助件数	件	20	17	85.0	20	13	65.0	建築指導課
							木造住宅耐震改修設計補助件数	件	10	4	40.0	10	7	70.0	建築指導課
							木造住宅耐震改修工事補助件数	件	10	5	50.0	10	3	30.0	建築指導課
②　災害対応力の強化															
1	総合防災訓練等事業	大規模な自然災害の発生に備え、市民一人一人の防災意識の高揚を図り、災害対応力を高める。	市や自主防災隊など、関係機関が連携し、総合防災訓練を実施するとともに、防災講習会及び地震体験車による震度体験等を実施する。 また、防災意識の高揚を図るためのパンフレット等を配布する。	①令和７年度総合防災訓練を実施した。 ・参加自主防災隊数　209団体 ・参加者数　11,124人 ②防災講話を実施した。 ・実施回数　22回 ③起震車による震度体験を実施した。 ・実施回数　40回	1,658	1,549	防災訓練参加者数	人	15,100	1,372	9.1	15,200	11,498	75.6	危機管理課
							防災講習会受講者数・震度体験者数	人	5,200	5,042	97.0	5,400	6,299	100.0	危機管理課
2	新型防災ラジオ整備事業	防災行政無線の難聴地域の解消及び災害時等における情報発信の充実・強化を図る。	防災行政無線を補完する防災ラジオを有償配布する。	防災行政無線の難聴地域の解消及び災害時等における情報発信の充実・強化を図るため防災ラジオを有償配布した。	12,093	12,091	防災ラジオ有償配布台数	台	255	223	87.5	255	246	96.5	危機管理課
3	風水害等対策事業	近年大型化している台風等による風水害に対する防災対策の強化を図る。	浸水想定区域に立地する民間企業等が行う、浸水リスクに対応した浸水防止対策工事に対し補助金を交付する。 また、風水害における避難所機能の強化を図るため、市内の浸水想定区域に立地する指定避難所等への止水板等の設置を実施する。	令和７年度における浸水防止対策事業補助金については申請がなかったが、水のう袋と止水版を購入し、指定避難所の機能強化を図った。	4,392	2,886	浸水防止対策事業補助金交付件数	件	1	1	100.0	1	0	0.0	危機管理課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初 予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率 （%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
4	風水害等対策事業 【公共下水道事業会計】	降雨による水害のおそれがある地域において、建物等の浸水被害の軽減を図る。	降雨による水害のおそれがある地域において、建物等の浸水被害を軽減するため、止水板を設置する対象建物等の所有者又は使用者に対し補助金を交付する。	補助金の活用に向け、公民館だより及び住宅ガイドを活用して周知を図った。	2,000,000	0	止水板設置補助金交付件数	件	4	1	25.0	4	0	0.0	河川下水道総務課
5	国土強靭化地域計画改定事業	事前の防災・減災対策と迅速な復旧・復興に資する施策を総合的かつ計画的に実施することで、いかなる自然災害が発生しようとも最悪な事態に陥ることを避ける。	近年多発している自然災害等の大規模災害や事故等の発生時に、国、地方公共団体、民間事業者との連携をより確実なものとし、災害等による被害を最小限に抑え、迅速な復旧・復興を可能とする国土強靭化計画を改定する。	令和６年度事業完了	―	―	国土強靭化地域計画の改定	―	改定	改定	100.0	―	―	―	危機管理課
6	災害時医療対策事業	医療機関に対し、災害対応機器を貸与し、災害時の医療の充実を図る。	災害時において開院できる医療機関の必要な電力を確保するため、厚木医師会等に加盟する医療機関に対して発電機等を貸与する。	令和７年度に発電機等の調達を行い、厚木医師会に加盟する医療機関のうち、災害時に開院する意向の医院に対して、発電機等を貸与した。	0	0	配備した医療機関（累計）	医院	30	30	100.0	30	30	100.0	危機管理課
7	感震ブレーカー設置事業	感震ブレーカーの設置を促進し、大規模地震が発生した際に起こりうる電気火災のリスクを軽減する。	大規模地震による停電が復旧した際の電気火災を防ぐため、感震ブレーカーを有償配布する。	市民の方を対象に感震ブレーカーを有償配布した。 ・配布数　354台	4,007	254	感震ブレーカー有償配布個数	個	1,000	2,211	100.0	1,000	354	35.4	危機管理課
8	防災行政無線更新整備事業	防災行政無線について、電波方式の変更や老朽化している放送設備を更新することにより、災害時の避難情報の伝達など、情報伝達手段の強化を図る。	防災行政無線について、デジタル化更新整備から20年が経過しているため、放送設備を更新する。	①設置箇所について現地調査を行った。 ②各施設等と調整を実施し、実施設計を完了した。 ③関東総合通信局と無線設置計画について協議を実施し、承認を得た。	31,042	20,218	防災行政無線更新整備		―	―	―	実施設計	実施設計	100.0	危機管理課
③　地域防災組織の強化															
1	地域防災力強化事業	「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に活動する自主防災隊及び避難所運営委員会の育成・強化及び避難体制の強化・充実を図る。	防災資機材等取扱研修会及び市民防災研修会を開催するとともに、自主防災隊の防災資機材倉庫の修繕・移設を行う。 また、各避難所運営委員会に対し、交付金を交付する。 さらに、民間避難所開設及び宿泊施設利用者に対する補助金を交付し、避難体制の強化・充実を図る。	①防災指導員や防災推進員に対する資機材等の取扱研修会及び市民防災研修会を開催し、自主防災隊の防災資機材倉庫の計画的な修繕・移設を行った。 ②各避難所運営委員会運営費交付金を交付した。 ・交付件数　41件	17,396	14,958	地域防災リーダー等の講習会参加者数	人	1,300	778	59.8	1,400	657	46.9	危機管理課

（令和７年度実施事業）

１－２　消防力の充実・強化

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初 予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率 （%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　消防体制の充実															
1	消防庁舎整備事業	各種災害に迅速・的確に対応するため、消防・防災拠点である消防庁舎機能の充実を図る。	厚木消防署庁舎については、築50年が経過し、老朽化や狭隘化など、機能面においての課題があることから、組織横断的に検討を進め、早期の建て替えを行う。	厚木消防署本署庁舎アスベスト調査及び庁舎敷地測量を実施した。	5,651	3,009	厚木消防署本署整備に向けた進捗状況	―	調査	調査	100.0	再整備方針策定	再整備方針策定	100.0	消防総務課
2	消防団施設整備事業	地域防災の拠点である消防団施設の充実・強化を図る。	老朽化した木造の消防団器具置場の建て替えを行う。	第７団第９部器具置場（愛甲東）の建て替えを実施・完了した。	1,090	1,063	消防団器具置場建替棟数	棟	1	1	100.0	1	1	100.0	消防総務課
3	高機能消防指令センター整備事業	各種災害に迅速、的確に対応するため、消防救急活動の拠点である消防指令センターの整備を図る。	消防指令センターの移転先である複合施設に高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システムの整備に向けた取組を行う。	整備に向けて実施設計業務委託を行った。	16,197	5,390	高機能消防通信指令センター及び消防救急デジタル無線（活動波）整備の進捗状況	―	調査	調査	100.0	設計	設計	100.0	指令課
4	消防車両整備事業	複雑・多様化、また、大規模化する災害に迅速・的確に対応するため、消防車両を整備し、消防力の充実・強化を図る。	使用状況及び経過年数により老朽化した消防車両を更新整備する。	老朽化した消防車両の更新整備を実施した。 ・高規格救急自動車　１台 ・小型動力ポンプ付積載車　２台 ・消防ポンプ自動車　１台	117,535	70,090	消防車両整備台数	台	6	6	100.0	11	4	36.4	警防課
5	消防水利整備事業	火災発生時における消防活動を効率的・効果的に行うため、消防水利の充足を図る。	国が示す消防水利の基準に基づき、40ｔ以上の防火水槽を公園等の市有地に整備する。	耐震性貯水槽の整備を令和10年度に実施するため、設置場所の調査・選定を実施した。	0	0	耐震性防火水槽整備基数	基	―	―	―	―	―	―	警防課
6	消防資器材整備事業	複雑・多様化、また、大規模化する災害に対して迅速、的確に対応するために、必要不可欠な消防資器材を計画的に整備し、消防力の充実・強化を図る。	火災や人命救助などの消防活動を効果的に遂行するための消防資器材をはじめ、ウイルスやテロ災害などに対応するための特殊災害資器材を整備し、市民の安心・安全を確保する。	各指標に記載している資器材について、更新計画に基づき整備を実施した。 ・高圧容器（空気ボンベ）　６本 ・陽圧式化学防護服　４着 ・消防用ホース　44本	20,333	20,166	高圧容器（空気ボンベ）更新整備本数	本	10	10	100.0	6	6	100.0	管理課
							陽圧式化学防護服整備着数	着	4	4	100.0	4	4	100.0	管理課
							消防用ホース更新整備本数	本	38	58	100.0	15	44	100.0	管理課
7	消防活動用ドローン導入事業	各種災害事案に際しての状況把握及び情報収集に活用するため、消防活動用ドローンを導入し、消防活動の充実を図る。	各種災害の状況把握や情報収集を上空又は水中から迅速かつ効率的に行うため、消防活動用ドローンを整備する。	消防活動用ドローンを整備した。 ・整備機体数　１機	605	599	消防活動用ドローン整備機数	機	1	1	100.0	1	1	100.0	警防課
8	消防団活性化事業	消防力の強化を図るため、地域防災の要である消防団員の過酷な災害現場での活動環境に対応する装備品の改善・充実を図るとともに、大規模災害時に消防団員を支援する体制を充実させる。	地域防災力の中核として活動する消防団員の安全装備品等を整備する。 また、消防団及び消防職退職者が有する知識や技能、経験をいかし、消防活動を後方から支援する「厚木市大規模災害サポート隊」の体制を充実させる。	①消防団員装備品の改善及び消防団安全装備品の整備を行った。 ・活動服　67着 ・雨衣　180着 ②大規模災害サポート隊に訓練を実施し、災害に対応できる体制を強化した。 ・隊員数　64人	10,373	9,973	消防団員装備品改善率	%	24.0	25.0	100.0	63.0	54.0	85.7	消防総務課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初 予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率 （%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
②　救急体制の充実															
1	救急推進事業	高齢化の進展による影響などにより、市民の救急需要は高いものとなっていることから、限られた救急資源を有効に活用し、応急手当の普及啓発や救急車の適正利用を推進するとともに高度な医療処置ができる認定救急救命士を計画的に育成し、医療機関と連携した救急体制の充実を図る。	救命率の向上を図るため、小・中学生を含む幅広い世代に救命講習会の実施や救急業務の高度化を推進するとともに適切なAED設置の促進を図り、ケガや事故を未然に防止する予防救急の普及啓発を推進する。	①普通救命講習会を実施した。 ・実施回数　133回 ・受講者数　3,854人 ②気管挿管資格取得研修を実施した。 ・養成者数　３人 ③救急救命士就業前病院実習を実施した。 ・実習者数　４人 ④医療機関への派遣による研修を実施した。 ・研修者数　69人（全救急隊員）	21,715	18,764	普通救命講習会受講者	人	2,500	3,987	100.0	2,500	3,854	100.0	救急救命課
③　火災予防対策の推進															
1	防火意識啓発事業	市民等の防火意識の高揚を図り、火災による被害を低減させる。	火災予防運動を始め、各種イベント等において火災予防啓発活動を実施するとともに、SNSを積極的に活用し、住宅用防災機器設置の必要性と維持管理の重要性を広く市民に周知する。 また、危険物施設や防火対象物の防火防災に係る安全を確保していくため、効果的、効率的な立入検査を行い、消防法令違反の是正を促進し「火災による死者ゼロ」を目指します。	①火災予防啓発に伴い各種イベント事業を実施した。 ・イベント事業の実施件数　14件 ②消防法令違反の是正を促進するため、危険物施設及び防火対象物の立入検査を実施した。 ・危険物施設の実施件数　64件 ・防火対象物の実施件数　341件 ③住宅用防災機器を促進するため、住宅訪問など現地調査を実施した。 ・実施件数　5,147件	5,541	4,491	火災予防啓発イベント等参加者数	人	5,400	5,409	100.0	5,500	5,513	100.0	予防課
							立入検査の指摘事項に対する改善報告書提出率	%	90.0	68.2	75.8	90.0	67.2	74.7	予防課
							住宅用火災警報器設置率	%	100.0	89.1	89.1	100.0	89.1	89.1	予防課

（令和７年度実施事業）

１－３　セーフコミュニティの推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初 予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率 （%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　セーフコミュニティの取組の推進															
1	セーフコミュニティ推進事業	「事故やけがは偶然の結果ではなく、予防できる」というセーフコミュニティの理念から、地域住民等との協働により、誰もがいつまでも健康で安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組み、セーフコミュニティ認証都市として、世界に誇れる安心・安全なまちを目指す。	セーフコミュニティの啓発活動を行うとともに、対策委員会による取組及び「安心・安全セーフコミュニティ推進地区」の活動等を推進する。	安心・安全に関する講習会等の実施により、セーフコミュニティの活動を周知するとともに、安心・安全に関する意識の高揚を図った。 ・参加者数　1,645人	9,772	8,595	セーフコミュニティに関する研修会参加者数	人	1,400	1,413	100.0	1,415	1,645	100.0	くらし交通安全課
							「事故やけがなどがない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている」と思う市民の割合	%	50.2	40.3	80.3	52.3	41.4	79.2	くらし交通安全課
2	地域セーフコミュニティ活動推進事業	根拠に基づいた安心・安全の取組を推進するセーフコミュニティの手法を広く周知し、活動の活性化を図るとともに、地域の安心・安全に関する意識の高揚を図る。	地域におけるセーフコミュニティ活動の活性化に向けて、地域の安心・安全に関する課題抽出や対策などを行う研修会等に対する支援を行う。	セーフコミュニティの継続的な推進を目的として、防犯、防災、ゲートキーパー養成及び住宅防火等に係る研修会を実施し、地域における安心・安全に関する意識の高揚と活動の活性化を図った。 ・参加者数　869人	326	432	研修会の参加者数	人	510	566	100.0	520	869	100.0	くらし交通安全課
							研修会参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	%	95.4	93.8	98.3	96.4	94.9	98.4	くらし交通安全課
②　交通安全対策の強化															
1	交通安全対策事業	市民総ぐるみで交通安全を推進し、交通安全意識の向上を図るとともに、交通事故防止を図る。	警察署や交通安全関係団体と連携し、様々な年齢層に対し交通安全啓発や交通安全教育を実施する。 また、地域で活動する交通安全関係団体の育成や交通安全啓発看板等の設置により、交通危険個所への安全対策を行う。	①交通安全関係団体による市内各所で立哨及び啓発活動を実施した。 ②交通安全教育を実施した。 ・保育園及び幼稚園　15回（15園）870人 ・小学校　17回（17校）5,051人 ・中学校　５回（５校）1,597人 ・高校　７回（７校）2,453人	25,589	22,333	交通事故発生件数（暦年）	件	587	618	95.0	571	590	96.8	くらし交通安全課
2	自転車安全促進事業	道路交通法の一部改正により、自転車ヘルメットの着用努力義務化や車道通行の原則化など、自転車運転者の交通ルールの遵守が厳格化されたことに伴い、市民への自転車ヘルメット着用及び自転車安全利用五則の周知を行い、市内交通事故の防止を図る。	自転車ヘルメットの購入費用の一部や幼児２人同乗用自転車の購入費用の一部を助成する。 また、モデル校の生徒代表に自転車ヘルメットを贈呈し、「ヘルメットインフルエンサー」として活動を実施する。 さらに、市内中学生を対象に教育効果の高いスケアード・ストレイト教育技法による自転車安全教室を実施するとともに、高校で自転車通学を予定している中学生や初めて自転車に乗る子どもを対象に講習会を実施する。	①自転車ヘルメット購入費用の一部を助成した。 ・助成件数　2,005件 ②幼児２人同乗用自転車購入費用の一部を助成した。 ・助成件数　２件 ③ヘルメットインフルエンサーによる活動を実施した。 ・実施校　南毛利中・東名中・藤塚中 森の里中・相川中・厚木王子高校 ④スケアード・ストレイト自転車安全教室を開催した。 ・実施校　南毛利中・東名中・藤塚中 森の里中・相川中・厚木王子高校 厚木西高校	9,472	7,043	自転車の交通事故発生件数（暦年）	件	123	144	85.4	119	125	95.2	くらし交通安全課
							ヘルメット着用率（小学生）	%	80.5	79.5	98.8	81.2	83.0	100.0	くらし交通安全課
3	放置自転車対策事業	本厚木駅・愛甲石田駅周辺の放置自転車対策を実施し、良好な生活環境の保持及び安全で快適な道路移動環境を確保する。	放置自転車を放置場所から保管場所へ移動し、保管している自転車の整理、保管料の徴収、引取りの手続き等を行う。	放置自転車の回収を行った。 ・回収台数　525台 【内訳】 ・引取・警察引取　167台 ・リサイクル　122台 ・処分済　58台 ・保管中　178台	22,076	17,324	放置自転車年間移動台数	台	572	548	100.0	553	525	100.0	くらし交通安全課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初 予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率 （%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
③　防犯に対する取組の推進															
1	防犯対策事業	市民の身近で発生している街頭犯罪の未然防止を図るとともに、地域の自主防犯活動を推進する。	市民安全指導員による防犯パトロールや児童・生徒の見守り活動を実施するとともに、地域において青色回転灯搭載車（青パト）を運用して自主防犯活動を行っている団体に対して、活動及び新規青パト導入に係る経費の一部を補助する。	①防犯意識の向上を図るため、番屋、移動番屋で防犯用啓発物品の配布をするとともに、ケータイＳＯＳネットによる防犯情報の配信を行った。 ②防犯パトロール隊による市内巡回パトロールや移動番屋等を実施した。 ・防犯パトロール隊　７人 ③地域の自主防犯活動を強化するため、地域の青パト活動に対し、交付金を交付した。 ・交付団体数　16団体	4,700	4,035	防犯等の対策について心掛けていることがある市民の割合	%	94.0	90.7	96.5	95.0	88.9	93.6	くらし交通安全課
							青色回転灯搭載車（青パト）台数	台	150	137	91.3	160	134	83.8	くらし交通安全課
2	安心・安全対策整備事業	公共施設への見守りシステム（防犯カメラ）の設置及び自主防犯活動団体（自治会等）が設置する防犯カメラの設置等に係る経費の一部を補助することで地域の防犯力の強化を推進し、市民が安心して暮らせる防犯のまちを実現する。	公共施設の公民館、児童館、公園、保育所等の効果的な場所に防犯カメラを設置する。 　また、自主防犯活動団体（自治会等）が防犯カメラを設置する際に係る経費や修繕に係る経費の一部を補助する。	①見守りシステム（防犯カメラ）を都市公園に設置した。 ・設置箇所　86か所 ②自治会が防犯カメラを設置する際に要した経費の一部を補助した。 ・設置台数　22台（５団体）	43,922	36,909	自主防犯活動団体（自治会等）が補助金を活用して設置した防犯カメラの台数（累計）	台	63	60	95.2	73	82	100.0	くらし交通安全課
							公共空間（道路等）が撮影範囲に入る防犯カメラの台数（累計）	台	336	382	100.0	411	468	100.0	くらし交通安全課
3	本厚木駅周辺環境浄化対策事業	「厚木市客引き行為等防止条例」に基づき、悪質な客引き行為を排除するとともに、犯罪の未然防止と中心市街地の体感治安の向上を図る。	本厚木駅周辺の環境浄化のため、「あつぎセーフティーステーション番屋」を運営し、客引き行為等指導員を配置しパトロールを実施するとともに、自治会や商店街、警察等との協働によるパトロールを実施する。	①あつぎセーフティーステーション番屋において、防犯に関する様々な情報を発信し、防犯意識を高めた。 ②番屋配置の客引き行為等指導員８人（ローテーション）による本厚木駅周辺のパトロールを実施して客引き行為等を防止し、公共の場所を安心して安全に利用できる生活環境の確保に努めた。 ③年末年始における街頭犯罪防止特別パトロールを委託により実施した。 ・実施日数　３日 ④本厚木駅周辺環境浄化対策協議会による環境浄化パトロールを実施した。	57,463	39,917	「本厚木駅周辺の体感治安は良くなった。」と回答したケータイＳＯＳネット登録者の割合	%	75.0	60.0	80.0	78.0	51.2	65.6	くらし交通安全課
4	振り込め詐欺等防止装置購入費補助事業	オレオレ詐欺、悪質なセールス、架空請求、アポイント電話等の被害から、市民の財産を守り、特殊詐欺被害の未然防止を図る。	特殊詐欺被害防止に高い効果がある迷惑電話防止機能付電話機等の購入に対して、補助を行う。	迷惑電話防止機能付き電話機等の購入費補助制度について、研修会等のイベント時に周知を図り、申請者に補助金を交付した。 ・補助件数　242件	1,850	1,437	補助金を活用して設置された迷惑電話防止機能付電話等の台数（累計）	台	1,741	1,660	95.3	2,141	1,902	88.8	くらし交通安全課
5	消費生活相談・消費者意識啓発事業	消費者を取り巻く社会経済情勢が大きく変化している中、消費生活相談を実施することにより、消費者トラブルの早期解決を図るとともに、啓発活動を行うことにより被害の未然防止を図る。	消費者トラブル等に関する相談を実施する。 　また、消費者トラブルに遭わないよう、悪質商法等に関する啓発活動を実施する。	①専門知識を有する消費生活相談員による適切な相談を実施した。 ②高齢者及び若年層に対する啓発活動を出前講座等を通じて実施した。	14,275	3,244	消費生活苦情相談完結率	%	100.0	98.4	98.4	100.0	97.0	97.0	市民協働推進課
							消費生活に関する講演会・講座参加者数及び公民館まつり等での啓発者数	人	3,700	3,872	100.0	3,800	3,866	100.0	市民協働推進課

（令和７年度実施事業）

２－１　住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　地域福祉活動の推進															
1	地域福祉推進事業	「厚木市地域福祉計画」に基づき、市、市民、団体及び事業者等が協働し、支援を必要とする人を支える地域福祉を推進する。	市内15地区の代表者等で構成される厚木市地域福祉推進協議会を開催し、地域間の連携と情報共有を図るとともに、市内15地区地域福祉推進委員会の活動を支援するため、交付金を交付する。 また、地域福祉の基本的な方向性や重点施策を定めた「地域福祉計画（第６期）」を推進する。	①地域福祉推進協議会を開催し、情報共有を行った。 ②市内15地区の地域福祉推進委員会の活動を支援するため社会福祉協議会を通じ交付金を交付した。 ・交付件数　１件	11,125	11,102	「見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる」と思う市民の割合	%	56.0	50.7	90.5	58.0	55.0	94.8	地域包括ケア推進課
							地域福祉計画の策定	－	－	－	－	－	－	－	地域包括ケア推進課
②　就労・生きがいづくりの推進															
1	エイジレス・ライフ応援事業	高齢者の外出機会の拡大及び健康づくり等を支援することにより、仲間づくりや生きがいづくりを促進する。	指定の老人保養施設等の宿泊や入浴の利用料金等の一部を助成する。	65歳以上の方に指定の老人保養施設等の利用料等の一部を助成した。 ・利用件数　33,530件	33,303	29,869	老人保養施設等利用助成券の利用件数	件	23,910	34,788	100.0	26,300	33,530	100.0	福祉総合支援課
2	老人クラブ指導育成事業	高齢者の外出を促進するとともに、地域における交流の場を整備し、社会参加の機会の拡大を通じて、いつまでも生きがいを持てるよう支援する。	高齢者の老後を健全で豊かなものにし、老人福祉を増進させるため、厚木市老人クラブ連合会に対し、運営費等の一部を補助する。	老人クラブ連合会運営費補助金として、活動費用の一部を補助した。	9,091	8,412	老人クラブ連合会事業参加者数	人	3,200	2,955	92.3	3,600	2,939	81.6	健康医療課
3	高齢者生きがい就労事業	高齢者の就業機会を拡大し、高齢者の健康と生きがいの充実を図るとともに、社会参加を通じて活力ある地域社会を推進する。	厚木市シルバー人材センターに対し、補助金を交付する。 また、関係機関の連携を強化し、高齢者の多様な就労ニーズに対応した仕組みを構築する。	シルバー人材センターの運営費に対し、補助金を交付した。	46,746	46,746	シルバー人材センター会員数	人	1,040	1,036	99.6	1,045	1,037	99.2	福祉総合支援課
4	障がい者就労施設等共同受注窓口事業	障がい者の就労支援を行う施設・事業所等で働く利用者の工賃・賃金の底上げ及び受注の拡大のため、企業等からの受注を取りまとめる窓口を設置、障がい者の地域における自立した生活の実現を目指す。	企業等からの製品等の発注を取りまとめるために設置する共同受注窓口に対し、補助金を交付する。	障がい者の就労支援を行う関係団体、施設、事業所等の主体的な参加のもと、そこで働く利用者の工賃・賃金の底上げのための受注拡大に向けた共同的な取組を実施した。 ・登録事業所件数　29件 ・相談件数　90件 ・契約件数　34件	500	500	共同受注窓口を通して受注に至った契約件数	件	18	21	100.0	19	34	100.0	障がい福祉課
③　福祉サービス提供体制の充実															
1	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）策定事業	福祉分野の各個別計画と理念を共有しながら、本市における高齢者福祉及び介護保険事業の基本的な計画として、高齢者等が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる「地域包括ケア社会」の実現を目指すとともに、必要な施策・取組を推進する。	老人福祉法第20条の８に規定する市町村老人福祉計画であり、介護保険法第117条第１項に規定する介護保険事業計画（サービス量を定める計画）を包含する高齢者福祉の基本的な計画として位置付け、策定する。	計画策定に向け、市民アンケートを実施した。 ①若年者一般調査 ・対象者　市内在住の40歳から64歳の方 ・対象人数　700人 ・回答者数　264人 ②高齢者一般調査 ・対象者　市内在住の65歳以上の方 ・対象人数　800人 ・回答者数　503人 ③日常生活圏域ニーズ調査 ・対象者　市内在住の65歳以上の方で要介護の認定を受けていない方 ・対象人数　5,000人 ・回答者数　3,114人 ④居宅介護サービス利用者調査 ・対象者　令和７年11月１日時点で、要支援認定又は要介護認定を受けており、令和７年８月及び９月にサービスを利用している方 ・対象人数　1,000人 ・回答者数　411人 ⑤介護保険未利用者調査 ・対象者　令和７年11月１日時点で、令和７年８月及び９月に介護保険のサービス利用が無かった方 ・対象人数　700人 ・回答者数　351人 ⑥事業所調査 ・対象者　市内の介護保険指定事業所の法人 ・対象人数　135人 ・回答者数　44人	4,165	1,958	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定	－	－	－	－	ニーズ調査	ニーズ調査	100.0	地域包括ケア推進課・介護福祉課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
2	介護職人材確保支援事業	市内の介護・福祉指定事業所等が、介護・障がいサービスの利用者に対し、継続した質の高いサービスを提供するために、優れた人材の確保及び定着の促進を図る。	市内の介護保険指定事業所等への就業希望者等に対して事業所説明会等を実施するとともに、介護従事者の研修費、人材確保を目的とした求人情報紙等への掲載に要した経費及び雇用継続のための職場環境の整備等、事業所が実施する様々な施策について費用の一部を助成する。 また、介護福祉士等の資格保有者等で市内介護事業所等に就労する方を対象に、転入や復職等に対し、奨励助成金を交付する。	①市内の事業所等に就労する介護職等有資格者に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金　０件 ・転入奨励助成金　14件（介護12件、障がい２件） ・復職等奨励助成金　８件（介護８件、障がい０件） ②介護従事者の研修費用等を助成した。 ・研修支援事業助成金　79件（介護66件（うち初任者研修・当該年度採用者数18件）、障がい13件（うち初任者研修・当該年度採用者数３件）） ・人材確保及び育成支援補助金　117件（介護64件、障がい53件） ③事業所説明会（就職相談会）を実施した。 ・採用者数　８人	34,790	25,364	介護職等に就職した人数	人	48	35	72.9	50	51	100.0	介護福祉課 障がい福祉課
④　高齢者福祉サービスの充実															
1	在宅福祉推進事業（在宅サービス事業）	高齢者等ができる限り安心して自立した生活を送ることができるよう、在宅支援サービスを提供する。	家族の疾病や事故等により、家庭で生活することが困難となった高齢者を一時的に施設で保護するほか、日常生活用具の給付、ひとり暮らし高齢者に対する緊急通報機器の貸与及びはり・きゅう・マッサージ施術費の助成等を行う。	①高齢者緊急一時保護事業を行った。 ②紙おむつ、家具転倒防止器具の設置、自立支援用具の購入費助成、セーフティ住宅支援事業、寝具乾燥消毒事業を行った。 ③緊急通報システム事業を行った。 ④理髪サービス事業、はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業を行った。 ⑤家族等支援事業を行った。	47,332	44,974	緊急通報システム機器の貸与件数	件	110	57	51.8	110	59	53.6	福祉総合支援課
							徘徊SOSネットワーク登録者数	人	310	265	85.5	330	179	54.2	福祉総合支援課
2	介護支援事業（高齢者支援）【介護保険事業特別会計】	被保険者及び要介護被保険者を介護する方等に対し、地域の実情に応じた必要な支援を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを推進する。	家族が在宅で安心して高齢者の介護ができるよう、住宅改修事業支援事業及び家族介護支援事業、地域自立生活支援事業として介護相談員派遣事業を実施する。	介護サービス相談員の派遣希望に応じて介護サービス相談員を派遣した。 ・派遣施設数　11施設	896	633	介護相談員の派遣者数（延べ）	人	216	102	47.2	288	153	53.1	福祉総合支援課 介護福祉課
3	高齢者外出支援事業	高齢者の外出機会を拡大し社会参加や健康づくり・生きがいづくりを推進するとともに、公共交通機関の利用促進による環境保全等に配慮する。	神奈川中央交通㈱が販売する「かなちゃん手形」の購入費用の一部を助成、または、高齢者タクシー券を交付する。	かなちゃん手形購入費助成及び高齢者タクシー券を交付した。	191,066	199,002	かなちゃん手形申請者数及び高齢者タクシー券交付人数	人	13,360	17,934	100.0	14,010	18,795	100.0	福祉総合支援課
4	敬老事業	長年にわたり、社会の発展に寄与されてきた高齢者を敬愛するとともに、長寿をお祝いし、高齢者の福祉の増進を図る。	敬老祝金や祝品を贈呈するとともに、各地区や老人ホームにおいて開催する敬老事業に対する支援を行う。	①各対象年齢に該当する高齢者に敬老祝品・祝金を贈呈した。 ・敬老祝金給付者数　3,953人 ・敬老祝品給付件数　2,777件 ②各老人ホームにおいて開催する敬老会に対し、交付金を交付した。 ・交付先　15施設 ③市内15地区で行われる敬老事業に対し委託金を支出した。	41,980	36,852	敬老祝品等の支給者数	人	6,700	7,087	100.0	6,800	6,730	99.0	福祉総合支援課
5	要介護・高齢者等歯科診療事業	一般の診療所では治療が困難な要介護・高齢者に対する歯科診療を確保し、要介護・高齢者の健康と口腔保健の向上を図る。	要介護・高齢者等歯科診療を運営する厚木歯科医師会に対し、運営費の一部を補助する。	要介護・高齢者等の歯科診療を確保するため、歯科医師会に対し、診療運営に必要な経費の一部を補助した。	5,219	5,219	要介護・高齢者等歯科診療の患者数	人	300	280	93.3	300	286	95.3	健康医療課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
⑤　障がい者福祉サービスの充実															
1	障害者地域生活支援事業 （福祉サービス）	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に定める地域生活支援事業として、障がい児・者が住み慣れた地域で安心して日常生活を送ることができるよう、障がいの特性に応じた様々なサービスを提供する。	障がい者基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センターにおいて、障がい者の相談支援を行うほか、重度障がい者に対する日常生活用具の給付や屋外での移動が困難な障がい者へのガイドヘルパーの派遣及び在宅重度障がい者等に対するタクシー等の利用費用の助成等を行う。 また、障がい者福祉の基本的な計画として、障害福祉計画及び障害児福祉計画を包含した、厚木市障がい者福祉計画（第８期）を策定する。	①厚木市障がい者基幹相談支援センター及び８か所の障がい者相談支援センターにおいて、幅広い障がい者のニーズに対応した相談支援を実施した。 ②厚木市障がい者福祉計画（第８期）の策定に向け、市民及び事業者に対して障がい福祉基礎調査を実施した。 ・対象者数（市民向け）　障害福祉サービス等の利用者600人及び障害者手帳所持者300人 ・回答者数（市民向け）　485人 ・対象者数（事業所向け）　市内障害福祉サービス等事業所382事業所 ・回答者数（事業所向け）　213事業所	570,088	515,231	障がい者基幹相談支援センター・障がい者相談センターにおける相談件数	件	70,600	71,791	100.0	77,000	77,104	100.0	障がい福祉課
							創作的活動や社会との交流促進のために地域活動支援センターを利用登録する人数	人	120	104	86.7	120	101	84.2	障がい福祉課
							障がい者福祉計画の策定	―	―	―	―	アンケート調査の実施	アンケート調査の実施	100.0	障がい福祉課
2	児童発達支援事業	発達に心配や障がいのある児童に個々の発達に合わせた必要な訓練等を行い成長を支援するとともに、地域の障がい児支援の中核となり、療育支援の充実を図る。	児童発達支援センター「ひよこ園」において、日常生活の基本的動作の指導などを行う児童発達支援、児童の集団生活適応のための保育所等訪問支援及び障害児相談支援を実施する。	①児童発達支援センター「ひよこ園」において、児童発達支援事業として毎日通園グループ指導、半日グループ指導を実施した・ 【定員】40人/日 ・毎日通園グループ　30人 ・半日グループ　10人（午前/午後各5人） ②保育所等を訪問し、児童の集団生活適応のための支援を実施した。 ・登録人数　71人 ③障害児支援利用計画の作成及びモニタリングを実施した。 ・登録人数　141人	79,278	76,231	児童発達支援事業延べ利用者数	人	8,010	8,095	100.0	8,020	8,215	100.0	こども家庭センター
							保育所等訪問支援延べ利用件数	件	109	101	92.7	110	109	99.1	こども家庭センター
							障害児相談支援延べ利用件数	件	285	291	100.0	290	297	100.0	こども家庭センター
3	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	「障害者総合支援法」に基づく補装具の支給を受けることができない軽度・中等度の難聴児の言語の習得及び生活能力・コミュニケーション能力等の向上を促進する。	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器の購入費を助成する。	軽度・中等度の難聴児を対象に、補聴器の購入費を助成した。 ・新規購入　５台 ・修理　９台	538	287	補聴器購入費助成台数	台	24	11	45.8	24	14	58.3	障がい福祉課
4	障害者医療費助成事業	心身障がい者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。	心身障がい者に対し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成する。	心身障がい者に対し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成した。 ・医療費助成対象者数　3,088人	450,993	454,102	医療費助成対象者数	人	3,204	3,151	98.3	3,204	3,088	96.4	障がい福祉課
5	障害者福祉手当等給付事業	福祉手当等を支給することにより、障がい者の生活を支援する。	日常生活において、常時介護を必要とする在宅重度障がい者に対し、特別障害者手当を支給する。 また、心身障がい者に対する心身障害者福祉手当及び在宅重度障がい者を常時介護している方に対する介護手当等を支給する。	①日常生活において、常時介護を必要とする在宅重度障がい者に対し、特別障害者手当を支給した。 ②心身障がい者に対する心身障害者手当、在宅重度障害者を介護している方に対する介護手当等を支給した。	264,766	259,461	特別障害者等手当支給者数	人	289	294	100.0	289	318	100.0	障がい福祉課
							心身障害者福祉手当支給者数	人	5,695	5,851	100.0	5,695	5,733	100.0	障がい福祉課
							在宅重度障害者介護手当支給者数	人	49	21	42.9	49	30	61.2	障がい福祉課
6	障害福祉サービス開設準備・運営経費補助事業	障害福祉サービス事業所等の整備運営に要する費用に対し、補助金を交付することによって、市内への事業所設置のインセンティブを高め、福祉サービス提供体制を拡充することを目指す。	医療的ケアを必要とする重症心身障がい児者を対象に短期入所を行う事業所、重度の自閉症児者を対象に専門的かつ適切に対応できる生活介護又は共同生活援助を行う事業所を対象に補助金を交付する。	医療的ケアを必要とする重症心身障がい児者を対象に短期入所を行う事業所、重度自閉症児者を対象に専門的かつ適切に対応できる生活介護を行う事業所を対象に補助金を交付した。	2,400	4,427	障害福祉サービス開設準備・運営経費補助金交付件数	件	1	0	0.0	1	3	100.0	障がい福祉課
7	障がい者歯科診療事業	一般の診療所では治療が困難な障がい者に対する歯科診療体制を確保し、障がい者の健康と口腔保健の向上を図る。	障がい者歯科診療を運営する厚木歯科医師会に対し、運営費の一部を補助する。	障がい者の歯科診療を確保するため、厚木歯科医師会に対し、診療運営に必要な経費の一部を補助した。	36,967	36,967	障がい者歯科診療の患者数	人	2,300	2,389	100.0	2,300	2,544	100.0	健康医療課
8	学校等訪問看護支援事業	医療的ケアの必要な児童の学校や保育所等において、安全な環境の保持及び健康の増進のため、訪問看護ステーションから看護師を配置し、保護者の負担軽減を図るとともに、質の高い教育活動や保育の確保を図る。	訪問看護ステーションから保育所等へ看護師を配置して、導尿等比較的軽い医療的ケアが必要な児童に対して処置を行う。	市立小学校児童５人及び市立中学校生徒１人に対し、訪問看護ステーションから看護師を配置し、保護者の負担軽減を図るとともに、教育活動等の一層の充実を図った。	13,800	10,017	訪問看護ステーションが対応する児童数	人	5	6	100.0	6	6	100.0	障がい福祉課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
⑥　包括的な支援体制の充実															
1	包括的支援事業（在宅医療・介護・生活支援推進事業）	重度な介護状態であっても、障がいがあっても、一人暮らしでも、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域包括ケア社会を目指す。	専門的な視点から研究・検討を行う厚木市地域包括ケア推進会議を開催する。 また、多職種への研修や市民への説明会を実施し、地域包括ケア社会の周知を図る。 さらに、地域包括ケア連携センターにおいて、在宅医療・介護連携及び生活支援に関する相談支援を行う。	①在宅・医療関係者の顔の見える関係づくり構築を目的に多職種研修会を開催した。 ・開催回数　２回 ②地域包括ケア連携センターを設置し、在宅医療等に関する相談支援を実施した。 ・相談件数　14件	23,514	8,906	地域包括ケア連携センターにおける相談件数	件	130	9	6.9	110	14	12.7	地域包括ケア推進課
							多職種研修会参加者の満足（理解）度	%	98.0	94.9	96.8	98.0	95.8	97.8	地域包括ケア推進課
2	包括的支援事業（地域包括支援センター運営事業）	地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な支援を行うことにより、地域包括ケア社会の実現を目指す。	地域における相談窓口として、地域包括支援センターにおいて、地域の高齢者等の心身の状況や生活の実態、必要な支援などを幅広く把握し、適切な保健・医療・福祉サービスや関係機関、制度の利用につなげるなどの支援を行う。	地域包括支援センターの認知度を高めるため周知を図り、地域住民により身近な相談窓口となるよう推進した。	398,573	380,937	地域包括支援センターにおける総合相談件数(延べ人数)	件	56,600	55,634	98.3	58,600	62,898	100.0	地域包括ケア推進課
3	社会福祉団体等助成事業	地域福祉を推進するため、誰も排除しない福祉の地域づくりに取り組んでいる厚木市社会福祉協議会などの社会福祉団体の活動を支援する。	厚木市社会福祉協議会、厚木地区保護司会及び厚木愛甲地区更生保護女性会に対し、補助金を交付する。 また、厚木市社会を明るくする運動推進委員会に対し、交付金を交付する。	各団体の活動状況等を把握するとともに、前年度実績に基づき交付金を交付した。	110,859	110,859	地域福祉コーディネーターの活動件数	件	2,500	3,083	100.0	2,700	3,031	100.0	地域包括ケア推進課
4	生活困窮者自立支援事業	生活保護に至る前段階の第２のセーフティネットとして、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方の自立を促進する。	生活困窮者に対して、自立や就労に向けた総合的な相談支援を行うとともに、離職等により職を失った方に対し、住居確保給付金を支給するほか、就労準備支援及び学習支援等を実施する。	自立相談支援事業（令和８年３月時点404件）をはじめ、住居確保給付金事業、就労準備支援事業、学習支援事業、生活援護を実施した。	50,613	30,060	自立相談支援プラン作成率	%	50.0	16.2	32.4	50.0	15	29.8	福祉総合支援課
							一般就労達成率	%	90.0	29.4	32.7	90.0	5	5.8	福祉総合支援課
5	高齢者の尊厳保持支援事業	高齢者がいつまでも尊厳を持ち、自分らしい生活を送ることができるよう支援する。	関係機関との連携により、高齢者虐待の早期発見・早期対応を行うとともに、成年後見制度の利用支援を行う。 また、権利擁護支援センターにおいて、成年後見制度の相談、高齢者や障がい者の虐待に関する相談及び市民後見人の養成等を行う。	①成年後見等に関する相談を実施した。 ・成年後見相談件数　2,128 件 ②高齢者及び障がい者虐待等に関する相談を実施した。 ・権利侵害相談件数　91件 ③チーム支援体制で虐待等に関する相談に取り組み対応を行った。 ・チーム支援体制構築件数　53 件 ④成年後見等の市長申立を行った。 ・市長申立件数　24件	27,056	26,757	権利擁護支援センターにおける相談件数	件	2,300	2,643	100.0	2,400	2,219	92.5	福祉総合支援課
							専門的アセスメント、チーム支援方針の検討・決定件数	件	360	107	29.7	380	53	13.9	福祉総合支援課
							成年後見申立件数	件	22	22	100.0	23	24	100.0	福祉総合支援課
6	重層的支援体制推進事業	複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、様々な課題を抱え、支援を必要とする人を受け止める支援体制を強化し、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域包括ケア社会を目指す。	相談支援包括化推進員を配置し、複数の支援機関が協働して課題を受け止める相談支援体制を強化する。また、社会とのつながりをつくるための参加支援、地域社会からの孤立を防ぐための地域づくりに向けた支援を併せて行う。	重層的支援体制整備事業を始めとした包括的支援体制の構築に向けた体制を強化するため、地域包括支援センターをはじめとした市内支援機関等に対して研修を行うとともに、部内職員への研修を行うなど、関係機関や関係各課と認識の共通化を図った。	14,311	11,867	職員研修の参加者数	人	100	91	91.0	100	90	90.0	福祉総合支援課
							多機関協働による相談件数	件	36	21	58.3	36	202	100.0	福祉総合支援課
7	包括的支援事業（地域ケア会議推進事業）	誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域包括ケア社会の実現に向け、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な支援を行う。	地域ケア会議の運営等及び地域ケア会議開催による介護サービス利用者の自立に向けた支援を行う。	介護予防支援対象者の支援検討を実施した。	2,370	60	地域ケア会議において自立に向けた支援検討件数	件	20	33	100.0	20	0	0.0	地域包括ケア推進課

（令和７年度実施事業）

２－２　子育て環境の充実

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　子育てサービスの充実															
1	子育て支援事業	子育て家庭及びこれから子育てを始める家庭の保護者や児童に対する支援体制の充実を図り、児童の健やかな成長を支援する。	子育て支援センターにおいて、子育てサロンの運営及び育児相談等を実施し、子育て家庭に対する総合的な支援を行う。 また、ファミリー・サポート・センター事業、ほっとタイムサポーター事業及びこんにちは赤ちゃん訪問事業等、多様な子育て支援を実施する。	①子育てサロン室の運営を行い、子育て情報の提供や相談及び育児支援、子育て親子の交流の場の提供等を実施した。 ・子育てサロン室利用者数　70,863人 ・子育て講座参加者数　1,699人 ・移動子育てサロン （R7.10～名称変更：子育てサロン・ミニ） 利用者数　2,115人 ・相談件数　852件 ②育児の相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業を実施した。 ・援助件数　3,250件 ③産前産後の家庭にサポーターを派遣するほっとタイムサポーター事業を実施した。 ・利用件数　122件 ④あつぎ市民交流プラザ託児室を実施した。 ・託児室わたぐも利用件数　4,164件	84,158	74,270	子育て支援センター利用者数	人	75,000	68,329	91.1	80,000	72,562	90.7	こども家庭センター
							ファミリー・サポート・センター援助活動件数	件	3,700	3,249	87.8	3,700	3,250	87.8	こども家庭センター
							託児室わたぐも利用件数	件	3,800	4,174	100.0	3,800	4,164	100.0	こども家庭センター
2	母子家庭等支援事業	母子家庭等の子育て、生活及び就業等を総合的に支援し、生活の安定と自立の促進を図る。	母子家庭等に対し、福祉手当、家賃助成、就学祝金の支給及び資格取得に対する給付金の支給等を行う。	母子家庭等に対し、福祉手当、家賃助成、就学祝金の支給及び資格取得に対する給付金の支給等を行った。	142,606	122,589	児童扶養手当受給者数	人	1,475	1,411	95.7	1,444	1,343	93.0	子育て給付課
3	コミュニティ保育推進事業補助事業	核家族化が進む中、子育て家庭及びこれから子育てを始める家庭の保護者が抱える育児不安等に対し、親同士や子ども同士の交流を深める場を提供することにより、子育てに対する不安の解消を図るとともに、児童の健やかな成長を支援する。	子育てに共通の意識を持ち合わせた保護者が、育児に対する知識や技術を高め合いながら共同保育を実施する自主保育グループに対し、補助金を交付する。	地域の保護者による自主的な共同保育を実施しているグループに対し、運営費の一部を補助した。 ・交付件数　２件	1,893	1,405	コミュニティ保育グループ数	グループ	2	2	100.0	2	2	100.0	こども家庭センター
4	子育てリフレッシュ事業	日々の育児や家事で忙しい子育て中の保護者を対象に、一息つける時間や保護者同士が交流できる場を提供することにより、育児ストレスの解消や保護者の孤立を防ぐ。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、一時的に子どもを預かり、料理教室などで保護者同士が交流し、リフレッシュできる場を提供する。	子育て中の忙しい保護者の方に、リフレッシュしてもらうための託児付きのリフレッシュ講座を全10回開催した。 ・参加者数　159人 ・託児人数　147人	1,544	1,166	参加者アンケートで「満足」と答えた割合	%	100.0	96.7	96.7	100.0	98.7	98.7	こども家庭センター
5	あつぎ子ども未来プラン（第４期）策定事業	子育て・教育で選ばれるまちを目指し、子ども・子育て支援に関する需要や要望を把握することで、地域全体で安心して子育てできる環境づくりを推進する。	子ども・子育て支援に関する総合的な計画として、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「市町村行動計画」、「子ども・子育て支援法」に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」、「子ども・若者育成支援推進法」に基づく「子ども・若者計画」、及び、「子どもの貧困対策に関する法律」に基づく「子どもの貧困対策計画」を一体とした「あつぎ子ども未来プラン（第4期）」を策定する。	令和６年度事業完了	―	―	あつぎ子ども未来プラン（第４期）の策定	―	策定	策定	100.0	―	―	―	こども育成課
6	子育て日常生活支援事業	子どもを生み育てやすい環境づくりに向けて、紙おむつ等を支給することで経済的負担を軽減し、子どもたちの福祉の増進を図る。	子どもを養育している子育て世帯に対し、一定のポイントの範囲内で選択した紙おむつやおしりふきシート等の日常生活用品を毎月自宅に配送する。	児童を養育する世帯に対し、紙おむつ又はおしりふき等を支給した。 【支給延べ件数】 ・第１子　7,084件 ・第２子　5,109件 ・第３子以降　4,787件 ・合計　16,980件	89,056	75,818	紙おむつ等の支給件数	件	18,000	17,709	98.4	18,000	16,980	94.3	子育て給付課
7	子育て支援センターリニューアル事業費	昨今におけるこども・子育て支援の取組が大きく変化する中、その変化に合わせた役割や魅力、市民サービスの向上を図り、こどもたちの健やかな成長を支援する。	気軽に子育て相談ができる機能に加え、こどもたちが冒険・経験・体験ができる全天候型の遊び場としての機能を拡充する。	こども心をくすぐる、冒険・経験・体験・学びができる全天候型の屋内施設の整備を目指し、基本計画を策定した。	7,000	6,380	リニューアル進捗状況	―	―	―		基本計画	基本計画	100.0	こども家庭センター
8	子ども・子育て相談支援事業	児童福祉法等の一部改正に基づき、地域に子育て相談機関を設置し、対象者からの相談に応じることにより、子育て世帯の不安解消や実情の把握に努め、必要な情報の提供や助言をするとともに、こども家庭センター等と情報共有や連携を図り、適切な支援につなげる。	虐待の発生を未然に予防するための支援の強化として、中学校区に１か所を目安に全ての妊産婦及び子どもとその保護者等を対象とした身近に相談できる相談機関を整備する。	全ての妊産婦及びこどもとその保護者等を対象とした地域子育て相談機関（地域子育てサロン）を市内児童館４か所に設置し、運営した。 ・利用者数　3,645人 ・相談件数　64件	5,319	2,540	利用者数	人	―	―		2,000	3,645	100.0	こども家庭センター

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
②　保育・幼児教育等の提供体制の充実															
1	保育内容充実事業	認可保育所等の入所児童に適切な保育が実施されるよう、事業に要する経費を補助することなどにより、保育サービスの向上を図る。	認可保育所等に対し、保育所等運営費及び保育に要する費用を交付する。 また、私設保育施設に入所する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、助成金を交付する。	①民間保育所を運営する事業者に対し、入所児童に係る保育所運営費を委託費として支出した。 ②地域型保育事業（小規模保育事業・家庭的保育事業）を運営する事業者に対し、入所児童に係る保育所運営費を給付費として支給した。 ③保育が必要な児童に対して適切な処遇を図るため、届出保育施設、民間保育所及び小規模保育施設を有する社会福祉法人等に運営費補助金等を交付した。 ④保育人材の確保及び離職防止を図るため、市内の保育施設に就労する保育士等に給付金を支給した。 ⑤私設保育施設等を利用する幼児教育・保育無償化対象保護者に対し、施設等利用費を支給した。 ⑥幼児教育・保育無償化の対象外であり、私設保育施設に保育を必要とする児童を４か月以上入所させている保護者に対し、助成金を支給した。	5,809,353	5,968,534	認可保育所入所児童数	人	3,243	2,965	91.4	3,243	2,928	90.3	保育課
							小規模保育施設入所児童数	人	284	275	96.8	284	282	99.3	保育課
2	子ども・子育て支援新制度事業	家庭や地域の子育てをめぐる環境の変化に対応し、子育て支援事業の総合的な推進及び良質かつ適切な教育・保育の提供を確保するため、全ての子どもに良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的とした「子ども・子育て支援新制度」を実施し、幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援の充実を図る。	「子ども・子育て支援法」に基づき、国が定める子ども一人当たりの教育・保育に要する費用、在園児・非在園児の預かり保育に要する費用、低所得者等への副食費免除に要する費用を施設に対して支給する。 また、「子ども・子育て支援新制度」に移行した認定こども園に対し、運営に必要な事務、保育認定子どもの処遇向上・保育内容充実、園の防犯対策整備に必要な経費、園外活動時等の見守り等に要する経費の一部を補助する。	①新制度に移行した幼稚園及び認定こども園に対し、施設型給付費を支給した。 ・支給施設数　市内９園、市外39園 ②新制度に移行した認定こども園に対し、在籍園児以外の未就学児童の一時預かり及び延長保育児童数に応じて、補助金を交付した。 ・交付施設数　市内延べ６園 ③新制度に移行した幼稚園及び認定こども園に対し、一時預かり保育の園児数に応じて補助金を交付した。 ・交付施設数　市内９園、市外14園 ④認定こども園に移行した幼稚園または２・３号定員を増やした認定こども園に対し、事務に係る経費の一部を補助した。 ・交付施設数　市内７園 ⑤私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、就園に必要な物品等の費用や副食費の一部を補助した。	1,860,323	1,849,447	市内認定こども園数	園	8	7	87.5	8	7	87.5	こども育成課
3	私立幼稚園就園奨励事業	子どもや保護者を取り巻く環境の変化に対応し、誰もが安心して子育てできる環境の整備を進めるため、私立幼稚園に就園する児童がいる世帯の経済的負担の軽減や施設の受入体制の整備を支援することで、幼児期の教育の振興及び教育・保育環境の充実を図る。	私立幼稚園に対し、教材費、特別支援教育費、預かり保育事業費、外国人児童受入支援事業費、ICT推進事業費等の教育・保育に係る経費の一部を補助する。 また、幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、私学助成幼稚園に通う満３歳児から５歳児の保育料及び保育の必要性の認定を受けた園児の保護者が利用実績に応じて支払う預かり保育料の一部を給付する。	①教育環境の向上を図るため、市内私立幼稚園に対し、各種補助金を交付した。 ・交付件数　17件 ②私学助成幼稚園に通う満３歳児から５歳児の保育料及び保育の必要性の認定を受けた園児の保護者が利用実績に応じて支払う預かり保育料の一部を給付した。	337,740	296,718	在園児率	%	62.0	56.9	91.8	62.0	58.1	93.7	こども育成課
4	放課後子ども教室推進事業	児童の放課後対策として、子どもたちが安心・安全に過ごすことができる放課後の居場所づくりを推進する。	小学校の一時的余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、学習、様々な体験・交流活動及び地域住民との交流等を行う放課後子ども教室を運営する。	相川小学校 ・鳶尾小学校・小鮎小学校・依知小学校において、通年で教室を実施した。	21,546	19,040	地域講師による講座の割合	%	20.0	23.9	100.0	25.0	24.0	96.0	こども育成課
							「楽しい」と回答した児童の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	98.0	98.0	こども育成課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
5	放課後児童対策事業	保護者の就労や疾病等により、授業終了後に帰宅しても適切な保育を受けることができない児童に対し、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図る。	市立放課後児童クラブ（市立小学校区23か所）を運営する。 また、放課後児童健全育成事業を行う民間放課後児童クラブ（地域児童クラブ）に対し、補助金を交付する。	①市立放課後児童クラブ（市立小学校区23か所）を運営した。 ②放課後児童健全育成事業を行う民間放課後児童クラブ（地域児童クラブ）に対し、補助金を交付した。	477,518	562,310	市立放課後児童クラブの入所率	%	100.0	97.6	97.6	100.0	99.0	99.0	こども育成課
							地域児童クラブの入所率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	こども育成課
							待機児童対策放課後児童クラブの入所率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	こども育成課
6	幼稚園送迎ステーション事業	私立幼稚園の預かり保育を利用している方の利便性の向上を図る。	託児室わたぐもを利用し、園児を一時的に預かり、幼稚園へ送迎する幼稚園送迎ステーションを運営する。	働く子育て家庭への支援として、アミューあつぎ８階の託児室「わたぐも」を活用して幼稚園への送迎を行う幼稚園送迎ステーション事業を実施した。	15,970	15,976	幼稚園送迎ステーションの利用登録園児数	人	84	84	100.0	86	101	100.0	こども育成課
7	幼稚園教諭確保助成事業	幼児教育・保育の無償化に伴う、教育・保育ニーズの増加・多様化に対応するため、幼児教育・保育に携わる人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。 また、新たな教育人材の確保を図るため、幼稚園等を設置する学校法人等に対し、幼稚園教諭等の雇用に係る費用の一部を補助する。	①市内の私立幼稚園に就労する幼稚園教諭有資格者に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金　２件 ・転入奨励助成金　２件 ・復職等奨励助成金　２件 ②市内幼稚園等の支援のため、人材確保及び雇用に関する経費について補助金を支出した。 ③採用から最長５年間、厚木市内の園に継続して勤務される方への支援策として、給付金制度をスタートさせた。	30,850	28,096	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	10	4	40.0	10	2	20.0	こども育成課
							幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	4	4	100.0	4	2	50.0	こども育成課
							幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	4	0	0.0	4	2	50.0	こども育成課
8	保育士確保対策事業	待機児童ゼロを堅持するため、保育人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立保育施設に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。 また、保育士確保を推進するための就職相談会を実施する。	市内の私立保育所等に就労した潜在保育士等に対し、助成金を交付した。 ①奨学金返済助成金　５件 ②転入奨励助成金　５件 ③復職等奨励助成金　５件	2,800	1,617	奨学金返済助成金支給者数	人	30	6	20.0	30	5	16.7	保育課
							転入奨励助成金支給者数	人	5	1	20.0	5	5	100.0	保育課
							復職等奨励助成金支給者数	人	5	3	60.0	5	5	100.0	保育課
9	保育所キャッシュレス決済導入事業	現金で徴収している一時預かり利用料等をキャッシュレス化することで、保護者等へのサービスを向上させる。	公立保育所での一時預かり利用料等について、クレジットカード、電子マネー、QRコードで支払いができるキャッシュレス決済を導入する。	令和６年度事業完了	―	―	キャッシュレス決済導入進捗状況	―	導入	導入	100.0	―	―	―	保育課
10	保育施設整備充実事業	老朽化した認可保育所の建て替えや改修等の整備を行うことにより、施設の安全面、機能面を強化し、安心した保育環境を実現することで、保育の質を高める。	認可保育所及び小規模保育事業等の整備・運営法人の施設整備費に対し、補助金を交付する。	令和７年度に予定していた整備が令和８年度に延期になったため取組実績なし	3,107	0	整備費補助件数	施設	―	―		1	0	0.0	保育課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
③　親と子の健康づくりの推進															
1	療育支援事業	発達上何らかの心配のある児童の特性を正しく理解し、生活上の困難さの軽減を図るとともに、適切な福祉や教育につなげる体制づくりをする。	療育相談センター「まめの木」において、療育相談、経過観察、親子サロン等を実施する。 また、地域支援として、関係機関に対する巡回相談や、研修会、出張講座を実施するほか、市民向けに障がい特性の理解促進を図るための講演会を開催する。	①地域の保育所、幼稚園等及び市民向けに研修会等を実施した。 ②発達上何らかの心配のある児童に対し、指導を行った。 ・個別　延べ2,987人 ・グループ　延べ1,434人 ③保護者からの来室、電話相談を受けた。 ・相談件数　1,140件 ④発達に心配のある児童とその保護者に遊びを通した経験の場や、気軽に相談できる場を親子サロンとして提供した。 ⑤地域の保育所、幼稚園等に巡回相談を実施した。 ・巡回件数　209件 ・園訪問件数　66件 ・５歳児健康調査フォローアップ巡回件数　17件	106,693	104,348	療育相談センター延べ利用者数	人	8,380	8,467	100.0	8,600	7,907	91.9	こども家庭センター
							出張講座、各種研修延べ参加者数	人	1,750	2,064	100.0	1,810	2,105	100.0	こども家庭センター
							巡回相談等延べ件数	件	218	300	100.0	224	292	100.0	こども家庭センター
2	子ども医療費助成事業	子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもたちの福祉の増進を図る。	０歳から高校生年齢までの入・通院の健康保険適用医療費の自己負担分を助成する。	０歳から高校生年齢までの入・通院の健康保険適用医療費の自己負担分を助成した。 【助成件数】 ・県補助分　延べ234,737件 ・市単独分　延べ190,464件 ・合計　延べ425,201件	899,204	952,762	医療費助成件数	件	432,200	449,922	100.0	419,200	425,201	100.0	子育て給付課
3	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減し、生活の安定と自立を支援する。	ひとり親家庭等に医療証を交付し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成する。	ひとり親家庭等に医療証を交付し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成した。	155,603	154,093	医療費助成件数	件	52,215	54,521	100.0	52,163	52,894	100.0	子育て給付課
4	母子保健衛生事業	「母子保健法」及び「健康増進法」並びに「子ども・子育て支援法」等に基づき、母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図り、また乳児及び幼児に対する虐待の予防及び早期発見に資することを目的として、母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査を実施する。	母子健康手帳の交付のほか、妊婦健康診査、乳幼児健康診査、新生児や未熟児等の訪問指導及び保健指導等を実施する。 また、こども家庭センターにて、母性並びに乳幼児の健康の保持及び増進に関する支援に必要な実情の把握を行い、母子保健に関する各種の相談に応ずるとともに、保健指導、母性及び児童の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整その他母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進に関し、必要な支援を行う。	①母子健康手帳の交付を行った。 ・交付件数　1,261件 ・妊娠届出者　1,261件（うち妊娠11週以下で届け出した件数　1,002件） ②各種健康診査を実施した。 ・妊婦歯科健康診査　404人 ・妊婦健康診査　13,613件 ・産婦健康診査　1,831件 ・新生児聴覚検査　1,059人 ・１か月児健康診査　924人 ・４か月児健康診査　1,052人 ・８～９か月児健康診査　1,064人 ・１歳６か月児健康診査　1,197人 ・２歳６か月児歯科健康診査　909人 ・３歳６か月児健康診査　1,234人 ・５歳児健康診査　1,281人 ③訪問指導を実施した。 ・産婦・新生児訪問指導件数　1,023件 ・訪問指導者数　延べ3,511人 ④すくすく応援隊を実施した。 ・相談件数　774件	478, 933	403, 468	妊娠11週以下での妊娠届出率	%	91.0	86.5	95.1	92.0	83.9	91.2	こども家庭センター
							う蝕のない3歳児の割合	%	95.0	91.5	96.3	95.3	92.5	97.1	こども家庭センター

（令和７年度実施事業）

２－３　健康寿命延伸の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　地域医療体制の充実															
1	看護職等人材確保支援事業	更なる高齢化の進展に伴う医療需要に対応するため、看護職（保健師、看護師、助産師、准看護師）及び歯科衛生士の人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	市内の医療機関に勤務する方を対象に、奨学金を利用して看護職又は歯科衛生士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、看護職有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。	市内の医療機関に就労する看護職有資格者等に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金　24件 ・転入奨励助成金　78件 ・復職等奨励助成金　２件	19,000	11,250	奨学金返済助成金支給者数	人	60	36	60.0	60	24	40.0	健康医療課
							転入奨励助成金支給者数	人	145	58	40.0	145	78	53.8	健康医療課
							復職等奨励助成金支給者数	人	10	6	60.0	10	2	20.0	健康医療課
2	救急医療事業	休日・夜間における救急医療体制の確保及び24時間体制での健康相談や医療機関情報の提供により、安心・安全な医療環境を整える。	休日夜間急患診療、病院群輪番制病院及び休日歯科診療の運営費の一部を補助する。 また、年中無休で健康相談や医療機関情報等の提供を行う「あつぎ健康相談ダイヤル24」を実施する。	①休日夜間急患診療所、病院群輪番制病院及び休日歯科診療の開設等により、救急医療体制を確保した。 ②あつぎ健康相談ダイヤル２４の実施により、安心・安全な医療環境を提供した。	153,296	151,233	休日夜間急患診療所開設日数	日	365	365	100.0	365	365	100.0	健康医療課
							休日歯科診療開設日数	日	29	29	100.0	26	27	100.0	健康医療課
							「あつぎ健康相談ダイヤル24」による不要不急な救急医療の抑制割合	%	59.0	54.7	92.7	59.0	52.8	89.5	健康医療課
3	市立病院運営事業	良質で安定した政策的医療（救急、小児、周産期、感染症など）を提供するために必要となる経費を負担することで、持続可能な病院経営を行う。	地方公営企業法及び総務省が毎年度定める繰出基準に基づき必要となる経費を負担する。 また、退職給付金の一部及び市立病院へのふるさと納税寄附額を一般会計から病院事業会計へ繰り入れる。	①総務省の繰出基準による負担金及び退職給付費の一部を一般会計で負担した。 ②市立病院へのふるさと納税寄附額を一般会計から病院事業会計へ繰り入れた。 ③重点施策については、神奈川県がん診療連携指定病院を更新したほか、救急医療体制の拡充により、過去最高の救急車受入台数となった。	2,033,830	2,306,420	病床利用率	%	85.0	76.0	89.4	85.0	73.0	85.9	経営管理課
							救急車受入台数	台	5,300	5,764	100.0	5,300	5,844	100.0	経営管理課
							紹介率	%	80.0	92.0	100.0	81.0	90.7	100.0	経営管理課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
②　心と体の健康づくりの推進															
1	データヘルス計画推進事業【国民健康保険事業特別会計】	国保加入者の医療データ等の分析やこれまでの保健事業の評価分析を行い、生活習慣病等の予防・早期発見と重症化及び医療費の適正化を図る。	特定健康診査及び特定保健指導の受診・利用勧奨を実施するとともに、糖尿病性腎症予防事業等により、生活習慣病等の予防・早期発見、重症化を予防する。 また、ジェネリック医薬品の情報提供や重複服薬受診者等への指導により、医療費適正化を図る。	データヘルス計画に基づき、次の事業を実施した。 ①特定健康診査の受診勧奨を実施した。 ・受診勧奨通実施者数　18,546人（うち受診者数　1,299人） ②特定保健指導未利用者に対し、利用勧奨を実施した。 ・利用勧奨通知送付数　379通 ・電話利用勧奨　257件 ③糖尿病性腎症Ⅱ期Ⅲ期の方に、医師との連携により保健指導を実施した。 ・参加者数　17人 ④生活習慣病の治療を中断していると推測される方を対象に医療機関への受診勧奨を実施した。 ・勧奨通知送付数　192通 ⑤健診結果の異常値を放置していると推測される方を対象に医療機関への受診勧奨を実施した。 ・勧奨通知送付数　464通 ⑥重複頻回受診が疑われる方に対し、適正受診を促す通知と保健指導を行った。 ・通知送付数　28通 ⑦差額通知により、ジェネリックへの切り替えを促した。 ・通知送付数　2,004通	34,836	24,735	特定健康診査受診勧奨通知者の受診率	%	28.0	未実施	0.0	29.0	7.0	24.1	国保年金課
							糖尿病性腎症重症化予防にかかる保健指導完了者の病期進行抑止率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	国保年金課
2	健康増進事業	各種保健事業を実施することにより、疾病の早期発見・早期治療につなげ、市民の健康増進を図る。	検診・健診事業（がん検診・健康診査・歯科健診・眼科健診・骨粗しょう症検診等）及び健康増進事業（健康教育・健康相談・訪問指導等）を実施する。 また、自殺予防対策として、こころの健康相談を実施するとともに、自殺対策計画を推進していく。	①各種検診（健診）を実施した。 ・がん検診（個別）　延べ57,728人 ・がん検診（集団）　延べ7,998人 ・骨粗しょう症検診受診者数　295人 ・眼科健診受診者数　112人 ②健康増進事業として健康教育や健康相談を実施した。 ・健康教育参加者数　1,546人 ・健康相談者数　1,253人 ③自殺対策として相談事業を実施した。 ・メンタルヘルス相談者数　215人 ・いのちのサポート相談数　27人	8,054	6,627	がん検診の受診率	%	25.0	22.7	90.8	25.5	22.8	89.4	健康医療課
							がん検診の精密検査受診率	%	70.0	63.0	90.0	80.0	67.1	83.9	健康医療課
							ゲートキーパー養成者数	人	200	221	100.0	240	332	100.0	健康医療課
3	予防接種事業	「予防接種法」及び市の実施要綱に基づき、感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために公衆衛生の見地から予防接種を実施し、市民の健康の保持に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図る。	集団予防及び重篤な疾病の予防を図る観点から「予防接種法」に定めるＡ類疾病（BCG、五種混合、麻しん風しん、ヒブ、小児用肺炎球菌等）に対する予防接種を実施し、Ｂ類疾病（高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種及び高齢者インフルエンザ予防接種）の接種費用の一部を助成する。 また、任意予防接種（大人の風しん、帯状疱疹予防接種、季節性インフルエンザ及び骨髄移植等に伴い免疫を失った方に対する再接種）の接種費用の一部を助成する。	① Ａ類疾病予防接種を実施した。 ・BCG　1,105件 ・二種混合　1,340件 ・水痘　2,068件 ・麻しん・風しん　2,434件 ・日本脳炎　5,164件 ・五種混合　4,390件 ・四種混合　315件 ・ヒブ　78件 ・小児肺炎球菌　4,377件 ・ヒトパピローマウイルス　1,907件 ・B型肝炎　3,228件 ・ロタウイルス　2,380件 ・予診のみ　96件 ② Ｂ類疾病予防接種を実施した。 ・高齢者肺炎球菌　326件 ・高齢者インフルエンザ　28,223件 ・新型コロナウイルス　5,287件 ・帯状疱疹（生ワクチン）　702件 ・帯状疱疹（不活化ワクチン）　4,936件 ③ 任意予防接種費用一部助成を実施した。 ・大人の風しん　139件 ・季節性インフルエンザ　13,156件 ・骨髄移植に伴う一部助成　５件 ・帯状疱疹（生ワクチン）　410件 ・帯状疱疹（不活化ワクチン）　2,758件	1,065,250	725,446	子ども定期予防接種率	%	95.0	91.3	96.1	95.0	92.3	97.2	健康医療課
							高齢者インフルエンザ予防接種率	%	45.0	46.0	100.0	45.0	47.6	100.0	健康医療課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
4	長寿健康診査等事業【後期高齢者医療事業特別会計】	後期高齢者の健康の保持増進を図るとともに、生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸を図る。	後期高齢者を対象として、市内の診療所等を始めとする「かかりつけ医」を中心とした医療機関において、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を早期発見するための特定健康診査に準じた長寿健康診査を実施するとともに、人間ドックの受診費用の一部を助成する。	①健診実施医療機関において、長寿健康診査を実施した。 ・対象者数　33,347人（R7.4.1現在） ・受診者数　11,632人 ②人間ドック受診希望者に対し費用の一部を助成した。 ・助成人数　761人	172,407	142,663	長寿健康診査等の受診率	%	41.3	37.1	89.8	41.4	37.2	89.9	国保年金課
5	特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	国保加入者の健康の保持増進を図るとともに、生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸を図る。	市内の診療所等を始めとする「かかりつけ医」を中心とした医療機関において、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を早期発見するための特定健康診査を実施するとともに、特定健康診査または人間ドックの受診費用の一部を助成する。	①健診実施医療機関において、特定健康診査を実施した。 ・対象者数　25,225人 ・受診者数　8,104人 ②人間ドック受診希望者に対し費用の一部を助成した。 ・助成人数　1,248人 ③健康診断等の情報提供者に対し費用の一部を助成した。 ・助成人数　７人（R8.3月末現在）	125,339	94,514	特定健康診査の受診率	%	41.0	30.2	73.7	42.0	32.2	76.7	国保年金課
6	未病施策事業	超高齢社会を迎える中、健康寿命の延伸に向け、二次保健医療圏域内の５市１町１村（厚木市、海老名市、座間市、綾瀬市、大和市、愛川町、清川村）で広域的な健康づくりに取り組む。	健康度見える化コーナー（未病センター）において、利用者自身による各種健康機器を使った継続的な健康度チェックを行うとともに、専門職による健康に関する相談又は助言を行う。 また、健康運動指導士による健康づくりのための未病運動講座を開設する。	①健康度見える化コーナーにおける利用者自身による健康度チェック、専門職による助言を行った。 ・利用者数　延べ2,130人 （男性：549人、女性：1,581人） ②健康運動指導士による運動講座を実施した。 ・月２回×９か月＝18回開催 ・参加者数　延べ1,903人 ③脳トレリズム体操講座を４回実施した。 ・参加者数　延べ205人 ④あつぎ親子の手作りらぼを２回実施した。 ・参加者数　延べ36人	8,147	8,101	未病センター利用者数	人	2,000	1,950	97.5	2,000	2,130	100.0	健康医療課
							運動講座参加者数	人	900	1,792	100.0	900	1,903	100.0	健康医療課
7	健康スイミング事業	日常生活で運動する機会の少ない障がい者、障がい児及び高齢者の健康の維持・増進等を図る。	65歳以上の高齢者、障がい者及び障がい児を対象としたスイミング教室と、65歳以上の高齢者を対象とした水中ウォーキング、アクアビクスを市営及び民間施設に委託して、健康づくり事業を実施する。	高齢者健康スイミング教室及び障がい児・者健康スイミング教室を開催した。 【高齢者スイミング教室参加者数（春期、秋期及び冬期コース）】 ・スイミング教室　680人 ・水中ウォーキング教室　433人 ・アクアビクス教室　351人 ※目標値に障がい児・者は含まれず	4,400	3,268	健康スイミング事業参加者数	人	2,100	1,210	57.6	2,100	1,464	69.7	健康医療課
8	健康づくり事業	「第３次健康食育あつぎプラン」に基づき、関係団体との協働により、健康づくりの普及・啓発事業を展開し、健康に対する意識を高め、市民の健康保持・増進を図る。	健康あつぎ推進リーダーを養成し、健康づくり事業の普及・啓発を図るとともに、あゆコロちゃん体操の普及を行うほか、食生活改善推進員（食育アドバイザー）の養成・育成を行い、各地区において食育推進事業を実施する。 また、スマートフォンのアプリ等を活用し、ウォーキングや各種健診・検診の受診等により、抽選で特典が当たる「健康ポイント事業」を実施する。	①健康あつぎ推進リーダーによる生涯学習出前講座等を開催した。 ・開催回数　25回 ・参加者数　1,199人 ②新あつぎ市民健康体操指導員による生涯学習講座等を開催した。 ・開催回数　31回 ・参加者数　1,070人 ③食生活改善推進員の養成等を行った。 食生活改善推進員養成講座（２コース） ・参加者数　延べ123人 食生活改善推進員育成研修会（５回） ・参加者数　119人 地区食育講座（15回） ・参加者数　181人 ④令和７年度あつぎ健康チャレンジを実施した。 ・参加者数　814人	3,336	2,476	健康あつぎ推進リーダーによる講座の参加者数	人	1,000	943	94.3	1,050	1,199	100.0	健康医療課
							地区食育推進事業参加者数	人	300	171	57.0	300	181	60.3	健康医療課
							健康ポイント参加者数	人	2,400	1,456	60.7	2,750	814	29.6	健康医療課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
③　介護予防と認知症に対する取組の推進															
1	介護予防・生活支援サービス事業【介護保険事業特別会計】	要支援者等に対して、要介護状態になることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施することにより、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を推進し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるように支援する。	要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応するため、訪問型サービスや通所型サービスを提供するとともに、要介護状態等になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施する。	要支援者等に対し必要なサービスが提供できるよう介護予防ケアマネジメントを実施した。	53,330	41,447	介護予防ケアマネジメント件数	件	6,900	8,191	100.0	6,900	8,255	100.0	地域包括ケア推進課
2	一般介護予防事業【介護保険事業特別会計】	市町村の独自財源で行う事業や地域の互助、民間サービスとの役割分担を踏まえつつ、高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、地域においてリハビリテーション専門職等をいかした自立支援に資する取組を推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域を構築することにより、介護予防を図る。	運動器の機能向上事業や認知症予防事業を実施するとともに、パンフレットの作成・配布などにより介護予防の普及・啓発を行い、地域における住民主体の介護予防活動を支援する。	①介護予防教室を開催した。 ・開催回数　223回 ②窓口等でパンフレットを配布した。 ③出前講座で介護予防の普及啓発を行った。 ・出前講座実施回数　31回	46,177	30,662	介護予防教室参加者の生活機能改善率	%	81.0	81.5	100.0	82.0	83.2	100.0	地域包括ケア推進課
							介護予防教室参加者延べ人数	人	2,700	4,089	100.0	2,700	4,398	100.0	地域包括ケア推進課
3	包括的支援事業（認知症総合支援事業）	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを推進する。	認知症やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームや認知症の人の支援ニーズや認知症サポーター等をつなげ、チームオレンジを各地域に設置し、認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築する。	専門職向けの認知症多職種研修会、認知症サポーター養成講座の開催、アルツハイマーデー等を通じた認知症普及啓発イベントを実施した。	22,691	17,220	地域版チームオレンジ設置数（累計）	か所	5	4	80.0	6	4	66.7	地域包括ケア推進課
							認知症ステップアップ研修受講者数	人	80	82	100.0	90	71	78.9	地域包括ケア推進課

（令和７年度実施事業）

２－４　多様性の尊重と平和都市の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　多様性に対する理解の促進															
1	人権啓発推進事業	一人一人の人権が尊重され、誰もが個性豊かで活力に満ちた生活を送ることができるよう、人権意識の高揚を図る。	人権について理解を深めるヒューマンライツフェスタを開催するとともに、啓発ポスターの掲出及び啓発冊子の配布等を行う。 また、人権団体が実施する人権啓発活動等の事業費の一部を助成する。	①公民館に啓発物品を布置した。 ・布置数　2,250双（軍手） ②ヒューマンライツフェスタを開催した。 ・参加者数　74人 ③イオン・アミューあつぎで街頭啓発を実施した。 ・啓発物品　500双（軍手） ④こども人権教室を開催した。 ・参加者数　321人 ⑤人権週間に伴う図書展示にて啓発物品を布置した。 ・布置数　200双（軍手） ⑥人権週間に伴う市公共施設にて啓発物品を布置した。 ・布置数　476双（軍手） ⑦企業研修を開催した。 ・参加者数　173人 ⑧総合相談コーナー等で布置した。 ・布置数　104個（エコバック）	1,898	1,419	人権啓発事業参加者数	人	3,800	3,929	100.0	3,900	4,098	100.0	市民協働推進課
2	人権教育・啓発推進事業	全ての市民が人権尊重意識を持ち、互いの人権を尊重し合う明るく住みよい地域づくりを目指し、人権教育を推進する。	人権講座「ヒューマンカレッジ」等を開催するとともに、人権についての積極的な啓発活動を実施する。	ヒューマンライツフェスタと合同で、人権講座「ヒューマンカレッジ」を実施した。 ・参加者数　35人	741	628	人権講座参加者の人権意識高揚度	%	94.5	97.3	100.0	95.0	89.3	94.0	教育総務課
3	男女共同参画推進事業	誰もがお互いに人権を尊重し、一人一人が生き生きと個性や能力を発揮することができる環境づくりを推進する。	男女共同参画推進委員会の開催、男女共同参画意識の向上・高揚のための職員研修及び各種講座の開催、男女共同参画推進に係る情報提供及び男女共同参画週間等での啓発事業を実施する。	①男女共同参画推進委員会を開催した。 ・開催回数　２回 ②男女共同参画庁内推進会議を開催した。 ・開催回数　１回 ③各種講座等を開催した。 ・開催回数　３回 ④情報誌を発行した。	1,038	701	男女共同参画推進講座等参加者の満足度	%	95.0	97.1	100.0	97.0	99.1	100.0	市民協働推進課
4	障害者地域生活支援事業（障がい者理解促進）	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に定める地域生活支援事業として、障がいのある人が住み慣れた地域で生き生きと生活することができるよう、地域住民の障がいに対する理解を促進する。	地域での障がいに対する理解を深めるため、啓発事業を行い、体育大会を開催し、障がい者相互の親睦やボランティアとの交流を図る。 また、市が開催する講演会及びイベント等における手話通訳や要約筆記等を通じ、聴覚障がいに対する理解を深める。	①精神保健福祉地域交流事業として、教育機関に対し児童及び保護者向け啓発冊子を作成・配布した。 ・配布冊数　6,800冊 ②障害者差別解消法啓発事業として、啓発チラシを作成・配布した。 ・配布枚数　2,200枚 ③体育大会を開催した。 ・参加者数　378人 ④市が主催する講演会及びイベント等に通訳者を派遣した。 ・派遣人数　延べ393人	1,413	1,325	精神保健福祉地域交流事業・差別解消法啓発事業冊子配布数	冊	6,500	7,000	100.0	6,500	9,000	100.0	障がい福祉課
							障がい者体育大会参加者数	人	660	359	54.4	660	378	57.3	障がい福祉課
							通訳者派遣延べ人数	人	410	405	98.8	410	393	95.9	障がい福祉課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
②　多文化共生の推進															
1	多文化共生交流事業	外国籍市民が、地域の構成員として共に暮らす社会の実現を目指し、多文化共生の推進を図る。	日本語教室、厚木市外国籍市民交流委員会会議、外国籍市民との交流事業（インターナショナルティーサロン）の開催、災害時通訳ボランティアの育成等を支援する。	①日本語教室を開催した。 ・開催回数　210回 ・参加者数　延べ4,337人 ②日本語講師養成講座を開催した。 ・開催回数　全４回 ・参加者数　延べ65人 ③日本語講師ブラッシュアップ講座を開催した。 ・開催回数　全２回 ・参加者数　延べ49人 ④インターナショナルティーサロンを開催した。 ・参加者数　102人 ⑤スペイン語の通訳ボランティアを設置した。 ・毎週１回２時間	1,338	1,263	日本語教室参加者数	人	5,500	4,267	77.6	5,500	4,337	78.9	市民協働推進課
2	国際交流推進事業	海外友好都市等との様々な分野での交流により、地域益や市民文化の向上を図るとともに、市民の国際交流を促進する。	海外友好都市等からの訪問団等の受入れ及び海外友好都市等への訪問団等の派遣による市民の国際交流のきっかけづくりを行うとともに、国際交流事業を実施する市民団体等に補助金を交付し、民間レベルの交流の活性化を図るほか、海外学生等のホームステイ等を受入れる。	①海外友好都市から訪問団を受け入れた。 ・揚州市囲碁交流訪問団　３人 ・鮎まつり訪問団　13人（揚州市６人、軍浦市７人） ②海外友好都市に訪問団を派遣した。 ・揚州市青少年サッカースポーツ交流訪問団　24人 ・軍浦市ツツジまつりへの代表訪問団　３人 ③海外友好都市とオンライン交流を実施した。 ・軍浦市と保育園等オンライン交流　２回 ・ニュージーランドと保育園等オンライン交流　６回 ④ニュージーランド短期留学プログラムを実施した。 ・参加者数　５人 ⑤海外学生等のホームステイを受け入れた。 ・受入件数　２件	12,902	6,915	海外友好都市等との交流活動件数	件	27	22	81.5	28	24	85.7	企画政策課
③　相談・支援体制の充実															
1	女性のための相談事業	女性の様々な悩みに対応することにより、個性と能力を発揮し、主体的な生き方を選択できるよう支援する。	女性の様々な悩みに対応するため、面接や電話による相談（一般相談・法律相談）を実施する。	女性の様々な悩みに対応するため、女性相談員による一般相談（電話・面談）及び、女性弁護士による法律相談（面談）を実施した。 ・一般相談　1,073件 ・法律相談　47件	3,219	3,131	相談件数	件	720	961	100.0	720	1,120	100.0	こども家庭センター
2	市民相談事業	市民生活における様々な悩みや問題を解決に導き、市民生活の安定化を図る。	市民相談員や市職員が相談に応じる一般相談のほか、弁護士や税理士等の専門家による特別相談を実施する。	①一般相談を実施した。 ・相談件数　3,064件 ②11項目の特別相談を実施した。 ・相談件数　1,104件	12,078	10,581	市民相談受理件数	件	3,000	4,376	100.0	3,000	4,168	100.0	市民協働推進課
3	児童虐待・ＤＶ対策事業	虐待を受けている子どもの早期発見及び適切な保護対策を実施する。 また、DV被害者及び困難な問題を抱える女性の安全を確保するとともに、自立を支援する。	児童虐待対策として、通報や相談に基づき、子どもの保護対策を行うとともに、要保護児童対策地域協議会を中心として関係機関との連携を図り、ケースに応じた適切な支援を行う。 また、ヤングケアラーの早期発見や関係機関との連携による支援を行う。 さらに、DV対策として、DV被害者及び困難な問題を抱える女性の相談を実施するとともに、緊急避難が必要な場合は、一時保護及び自立支援を行う。	①児童虐待対策として、要保護児童対策地域協議会を開催した。 ・代表者会議　２回 ・実務者会議　８回 ・個別ケース検討会議　275回 ・児童虐待相談件数　388件 ・家庭訪問件数　2,114件 ②ＤＶ対策として、ＤＶ被害者の相談を実施した。 ・ＤＶ相談件数　171件	84,762	65,941	児童虐待等防止のための周知啓発	回	15	15	100.0	15	15	100.0	こども家庭センター
4	犯罪被害者等支援事業	犯罪被害者等（犯罪被害者及びその家族又は遺族）が、犯罪により受けた被害の早期回復又は軽減を図り、再び安心して生活することができるようになるよう、支援を行うとともに、犯罪被害者等支援に係る市民等の理解を深め、社会全体で支える地域社会づくりを推進する。	犯罪被害者等が地域社会で安心して暮らすことができるよう、経済的負担の軽減を図るための経済的支援のほか、法律相談支援、日常生活支援、心理相談支援、住居支援などを行う。	①犯罪被害に対する相談を始め、経済的支援、日常生活支援を実施した。 ②犯罪被害者支援に関する講演や犯罪被害者等支援広報啓発強化期間等で広報啓発を行った。 ・相談件数　22件 ・経済的支援　12件 ・日常生活支援　１件	4,291	2,217	犯罪被害者等支援に関する講演会参加者数	人	―	―		100	170	100.0	くらし交通安全課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
④　平和都市の推進															
1	平和都市推進事業	「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言あつぎ」を広く市民に周知し、平和への理解を深め、平和意識の普及・啓発を図る。	平和のための展示会やピースリングバスツアーを実施する。	①広島県平和学習訪問を実施した。 ・参加者数　20人 ②平和のための展示会を開催した。 ・参加者数　213人 ③平和について学ぶ映画上映会を開催した。 ・参加者数　100人 ④厚木市平和に関する「詩」コンテストを開催した。 ・応募作品数　621点	3,591	3,428	平和都市推進事業に参加したことにより、平和への意識が向上した人の割合	%	100.0	94.8	94.8	100.0	98.5	98.5	地域包括ケア推進課

（令和７年度実施事業）

３－１　学校教育の充実

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　自立につながる生きる力の育成															
1	小学校児童支援推進事業	不登校やいじめ、問題行動などに対してきめ細かな対応ができるよう、児童支援体制の推進を図る。	児童指導担当教員等が「チーム支援」の核となり、不登校やいじめ、問題行動等を未然に防止し、早期発見することができるよう、授業を受け持つ非常勤講師を小学校に派遣する。	不登校やいじめ、問題行動などに対してきめ細かな対応ができるように、小学校に非常勤講師を派遣した。 ・派遣人数　18人	40,083	36,820	「児童の学習意欲が向上した」と感じる学校の割合	%	100.0	87.0	87.0	100.0	96.3	96.3	教職員課
							「児童の生活態度が向上した」と感じる学校の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	教職員課
2	中学校少人数学級実施事業	生徒が落ち着いた学校生活を送ることができるよう、学校の実態に応じて35人以下の学級編制を行うことにより、学力の向上や問題行動と不登校の減少を図る。	学校の実態に応じて少人数の学級編制を行い、生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行うことができるよう、非常勤講師を派遣する。	生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行うことができるように、中学校に非常勤講師を派遣した。 ・派遣人数　3人	7,285	5,158	「生徒の学習意欲が向上した」と感じる学校の割合	%	100.0	92.1	92.1	100.0	90.2	90.2	教職員課
							「生徒の生活態度が向上した」と感じる学校の割合	%	100.0	82.3	82.3	100.0	88.2	88.2	教職員課
3	小・中学校教材等支援事業	教育活動に係る消耗品の一部を公費で負担することにより、教材等の経済的支援を図る。	図工科、音楽科、美術科、技術・家庭科、理科、生活科を中心とした実習材料に係る消耗品の一部を公費で負担する。	教材教具消耗品購入費の一部を公費で負担したことにより保護者の経済的負担の軽減を図った。	39,301	39,292	教材等負担軽減割合	%	20.0	19.2	96.0	20.0	20.7	100.0	教育総務課
4	ＳＥＬ教育基金事業	理科に関する教育活動を通して「確かな学力」を身に付けた心豊かで健康な児童・生徒の育成を図る。	「厚木市ＳＥＬ教育基金」を活用し、自然科学分野の自由研究や科学作品の募集・表彰及び企業・大学と連携したおもしろ理科教室等を実施する。	①大学、企業の協力を得て、「おもしろ理科教室」を市立小学校23校で23回実施した。 ②こども科学賞の授賞式を開催した。 ・開催日　令和７年12月６日 ・応募作品数　377点 ③小学校理科の観察・実験講習会を開催した。 ・開催日　令和７年７月25日 ・参加者数　市立小学校教員24人 ③（株）半導体エネルギー研究所の会社見学を実施した。 ・開催日　令和７年８月20日 ・参加者数　市立中学生17人	1,369	1,067	こども科学賞展示会の来場者のうち、科学や自然に対する興味・関心や研究への意欲が高まった児童・生徒の割合	%	100.0	93.0	93.0	100.0	94.1	94.1	教育指導課
							「おもしろ理科教室」の内容が、これからの学習や生活に役立つと思った割合	%	89.0	90.1	100.0	90.0	87.8	97.6	教育指導課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
5	英語教育推進事業	外国語教育を通して、言語や文化の多様性への理解を深め、国際社会に役立つコミュニケーション能力の育成を図る。	市立全小・中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、英語によるコミュニケーション活動の充実や他国の文化を学ぶ機会の確保を図り、児童・生徒の英語に関する興味・関心を育てるとともに、ニュージーランドや海外の友好都市等との交流を活性化し、児童・生徒の国際理解の促進を図る。	①市立全小・中学校に、英語を母語とする、または、それと同等の英語力をもつＡＬＴを配置した。 ・配置人数　12人 ・配置日数　2,003日（小学校1,279日、中学校724日） ②市立中学生による短期留学プログラム「ＦＬＹ ＴＯ ＮＺ ＰＲＯＪＥＣＴ ｉｎ Ｈａｍｉｌｔｏｎ 2025」において、ホームステイ体験、英語の集中学習、マオリ文化体験、厚木市の魅力を発信を実施した。 ・期間　令和７年８月５日～16日 ・参加者数　市立中学校生徒10人 ③市立小・中学校における台湾現地校とのオンライン交流において、台湾と日本の文化を題材としたクイズ、英会話等による交流を実施した。 ・実施校　依知南小学校６年１学級及び小鮎中学校２年３学級 ④教員の実践力向上に向けた取組として、教職員と外国語指導助手（ＡＬＴ）による英語でのコミュニケーション演習を実施した。 ・参加者数　36人（市立小・中学校教職員から各校１人）	54,175	54,175	「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた生徒の割合	%	100.0	93.5	93.5	100.0	95.4	95.4	教育指導課
							「ＡＬＴとの授業は楽しい」と答えた児童の割合	%	100.0	97.4	97.4	100.0	96.5	96.5	教育指導課
							「オンラインでの活動や留学体験を通して、言語や文化について考えたり、学んだりすることができた」と答えた児童・生徒の割合	%	97.0	82.3	84.8	99.0	93.3	94.2	教育指導課
6	小中一貫教育推進事業	「厚木市における小中一貫教育の在り方」に基づき、９年間を見通した系統性・連続性のある教育課程の編成及び実施を推進する。	中学校区における小中一貫教育の推進において、各中学校区の取組を充実させるための研修会の実施等を支援する。	中学校区ごとに「小中一貫教育推進計画」を策定し、項目ごとに留意して研修計画を設定した。	138	65	市全体の、前年度小学６年生不登校児童の割合に対する中学１年生不登校生徒の割合	ポイント	2.0	2.0	100.0	1.8	2.6	69.2	教育指導課
							全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との比較ポイントの伸び	ポイント	2.8	5.2	100.0	2.8	3.2	100.0	教育指導課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
7	教育研修・活動支援事業	各学校が特色ある学校づくりを進めることで、質の高い、魅力ある教育の場づくりを目指す。	特色ある学校づくりに向け、各学校が、魅力ある学校運営のための取組、児童・生徒に生きる力を育むための学習活動、より質の高い教育環境づくりに向けた教職員の能力向上のための取組、教育委員会が指定した重点課題への取組の４つの観点の事業を計画し、その活動に対し交付金を交付する。	①魅力ある学校運営や児童・生徒の生きる力の育成、教職員の研修や重点課題への取組など、各学校の特色ある学校づくりの推進のための交付金を市立全小・中学校36 校に交付した。 ②各学校の取組を紹介する「特色ある学校づくり交付金事業市立小・中学校取組紹介展」を実施した。	30,711	30,632	全国学力・学習状況調査の児童・生徒の質問における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに対する肯定的回答のポイントが前年度と同等または上回った学校の割合	%	90.0	61.1	67.9	95.0	72.2	76.0	教育指導課
							特色ある学校づくり交付金が教職員の資質・能力の向上に有効に活用出来たと回答した学校の割合	%	100.0	97.2	97.2	100.0	97.2	97.2	教育指導課
							特色ある学校づくり交付金を計画に沿って活用できたかの問いに肯定的な回答をした学校の割合	%	100.0	94.4	94.4	100.0	94.4	94.4	教育指導課
8	カーボンニュートラル教育推進事業	持続可能な脱炭素社会の実現に向け、児童・生徒及び教職員へカーボンニュートラルについて基礎的な事項を学ぶ機会を設け、意識付けを図る。	学識経験者や企業等から講師を学校へ派遣し、カーボンニュートラルの基礎を学ぶとともに、厚木市カーボンニュートラルロードマップに掲げられた目標達成のための取組を実施する。	令和６年度事業完了	―	―	カーボンニュートラルについて、自分にもできることがあることに気づくことができた児童・生徒の割合	%	84.0	92.0	100.0	88.0	―	―	教育指導課
9	学校給食食育推進事業【学校給食事業特別会計】	食に関する指導の教材として、地域で収穫される農産物を学校給食の食材に用いることにより、地域の食や食文化について理解を深めるとともに、生産者や食べ物への感謝の心を育む。	厚木産米や地場農産物の学校給食への導入を推進する。	学校給食の食材として、前年度と比較して地場農産物を５回多く取り入れたほか、厚木産米を年22回取り入れた。	14,755	14,755	厚木産米の導入回数	回	11	16	100.0	11	22	100.0	学校給食課
							地場農産物の導入回数	回	22	22	100.0	22	27	100.0	学校給食課
10	第３次教育振興基本計画策定事業	「子育て・教育で選ばれるまち」の実現に向け、学校教育や社会教育、生涯学習など、本市が目指す教育を幅広く推進する。	国の教育振興基本計画を踏まえ、将来を見据えた本市の教育の方向性を定める第３次厚木市教育振興基本計画を策定する。	教育振興基本計画審議会からの答申内容、意見交換会及びパブリックコメントなどの内容を踏まえ、第３次厚木市教育振興基本計画を策定した。	842	624	第３次教育振興基本計画の策定	-	―	―		策定	策定	100.0	教育総務課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
②　子どもたちを育てる支援体制の充実															
1	学力ステップアップ推進事業	児童・生徒一人一人の実態に応じたきめ細かい学習指導の一層の充実を図り、児童・生徒の「確かな学力」の向上を図る。	市立全小・中学校に学力ステップアップ支援員を配置し、児童・生徒の学習活動の支援を行う。	市内小・中学校へ学力ステップアップ支援員を配置した。 ・配置人数　60人（小学校41人、中学校19人）	64,541	62,459	「学力ステップアップ支援員との協働により、基礎的・基本的な学習の定着や学力向上につながるような授業展開ができた」と思う教員の割合	%	100.0	97.5	97.5	100.0	96.6	96.6	教育指導課
							「先生と支援員がいることで、学習が分かりやすく、意欲的に取り組める」と思う児童・生徒の割合	%	100.0	93.4	93.4	100.0	91.4	91.4	教育指導課
2	教育調査研究事業	教育現場における様々な課題及び新たな教育の動向を把握するとともに、望ましい教育の在り方について追求し、具体的な方策を提起する。	分野別・テーマ別に設置した調査研究部会を月１回程度開催し、教育に関する調査研究を行う。 また、研究成果の刊行及び児童・生徒向け学習教材の作成・提供を行うとともに、教育に関する情報を収集し、データベース化する。 さらに、GIGAスクール構想の推進に向けて、情報教育推進部会を設置し、調査研究を行う。	① 教育調査研究部会（２部会）を開催した。 ② 各種教育資料や小学校及び中学校社会科副読本の発行等を行った。 【発行部数】（令和７年度） ・小学校社会科副読本　1,820部 ・小学校学習用地図　1,820部 ・中学校社会科副読本　1,970部 ・中学校学習用地形図　1,970部 ・研究紀要第105集　400部 ・教育実践記録集第52集　50部	3,259	2,915	研究成果や教育情報の実用度	%	100.0	96.6	96.6	100.0	92.7	92.7	教育研究所
3	先生のための研修事業	各研修講座や教育相談を通して、教職員の指導力や実践意欲の向上を図る。	教育に関する国・県の動向や今日的課題を踏まえた希望制研修、各学校の担当者等の専門性の向上を図るための指定研修、初任者研修、新規臨時的任用教員研修、教育研究発表会・教育講演会等を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図る。	教職員の指導力や実践意欲の向上を図るため各種講座を開催した。 ①指定研修　４講座 ②寺子屋講座　16講座 ③教育研究発表会及び教育講演会　１回 ④初任者研修会　５回 ⑤新規臨時的任用職員（教員）研修　２回	1,118	991	受講内容を実践に役立てることができるとする教職員の割合	%	100.0	99.1	99.1	100.0	98.8	98.8	教育研究所
③　安全な教育環境の整備															
1	小中学校学校施設最適化推進事業	市立小・中学校は施設の老朽化が進み、厚木市公共施設個別施設に基づく施設の更新時期を迎える校舎や体育館があることから、将来にわたって児童・生徒の学校生活における安全を確保するとともに、これからの教育活動に対応できる環境を整備する。	市立小・中学校の施設整備における校舎面積、必要諸室、施設設備や配置などの基本的な考え方を取りまとめ、学校施設の全体像を示す基本計画を学校ごとに策定する。	校舎・体育館の建て替え整備事業の平準化を図り、継続的に事業を推進していくため、小中学校の施設１３棟の耐用年数評価を行った。	29,066	28,920	基本計画策定校数	校	1	1	100.0	2	0	0.0	学校施設課
2	校庭整備事業	児童・生徒が安心して安全に学校生活を送ることができるよう、快適な屋外教育環境を確保する。	校庭の測量、実施設計及び改修工事を実施する。	①依知中学校グラウンド改修測量委託・実施設計委託を実施した。 ②玉川中学校グラウンド改修工事を実施した。	167,001	140,354	校庭改修校数	校	1	1	100.0	1	1	100.0	学校施設課
3	小中学校冷暖房設備設置事業	児童・生徒が安心して安全に学校生活を送ることができるよう、快適な教育環境を確保するとともに、災害時の指定避難所としての防災機能強化を図る。	市立小・中学校の特別教室や体育館へ冷暖房設備を設置する。	①特別教室に冷暖房設備を設置した。 ・設置校数　７校（中学校７校） ②体育館に冷暖房設備を設置した。 ・設置校数　14校（小学校12校、中学校２校）	124,567	123,410	特別教室冷暖房設備設置校数	校	9	9	100.0	7	7	100.0	学校施設課
							体育館冷暖房設備設置校数	校	14	14	100.0	14	14	100.0	学校施設課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
4	小中学校適正規模等推進事業	市立小・中学校の適正規模・適正配置を推進することにより、市立小・中学校における教育の公平性の確保や教育水準の維持向上を図る。	市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る市の考え方や方向性を定めた「厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、適正規模の範囲を上回る又は下回る学校について、通学区域の再編成を含めた学校規模等適正化の取組を進める。	児童・生徒数の将来推計において減少の加速が見込まれる状況を踏まえ、適正規模・適正配置に関する方策の具体化を図るとともに、小中一貫教育の在り方などを含め「教育で選ばれるまち」の実現に向けた取組を推進するため、庁内プロジェクトチームを設置し、検討を進めた。	1,340	64	「厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づく取組の実施	―	地域計画の検討	地域計画の検討	100.0	地域計画の検討	地域計画の検討	100.0	教育総務課
5	児童・生徒登下校等安全推進事業	児童・生徒の登下校時における安全の確保を図る。	学校と地域が連携し、児童・生徒が安心して登下校できるよう、防犯ブザーの配布及び学童通学誘導員の配置等を行うとともに、交通関係部署と連携し、安全教室などへの参加を促進する。	令和７年度新入学児童に対して防犯ブザーを配布した。 ・配布個数　1,650個	1,100	763	児童の防犯ブザー携帯率	%	100.0	89.9	89.9	100.0	90.0	90.0	学務課
6	インターナショナルセーフスクール推進事業	インターナショナルセーフスクールの考え方や手法を用い、児童・生徒がより安心・安全に過ごせる学校づくりを目指す。	インターナショナルセーフスクール認証校である清水小学校、妻田小学校及び睦合東中学校における取組を支援する。	清水小学校、妻田小学校、睦合東中学校に対し、日本セーフコミュニティ推進機構による指導及び助言を実施した。	3,094	2,341	インターナショナルセーフスクール認証取得回数（累計）	回	清水小　5 妻田小　2 睦合東中 3	清水小　5 妻田小　2 睦合東中 3	100.0	清水小　6 妻田小　3 睦合東中 4	清水小　6 妻田小　3 睦合東中 4	100.0	教育指導課
							インターナショナルセーフスクールの取組を通して、自分の学校の安心・安全な環境づくりが充実したと思う児童・生徒の割合	%	90.0	72.0	80.0	90.0	95.2	100.0	教育指導課
7	小中学校プール施設最適化推進事業	市立小・中学校プール施設の老朽化に対応しながら、児童・生徒により安全で質の高い水泳指導を提供するため、プール施設の最適化の取組等を進める。	「市立小・中学校の水泳授業及びプールの在り方に関する基本方針」に基づき、小学校の水泳授業における屋内プールの活用等を進めていく。	小学校の水泳授業について、屋内民間プールを活用して実施した。 ・対象校　４校（荻野小学校、飯山小学校、森の里小学校及び戸田小学校）	12,426	6,917	屋内市民プール等を活用して水泳授業を実施する小学校数	校	2	2	100.0	4	4	100.0	学務課
8	校舎等整備事業	市立小・中学校は施設の老朽化が進み、厚木市公共施設個別施設に基づく施設の更新時期を迎える校舎や体育館があることから、将来にわたって児童・生徒の学校生活における安全を確保するとともに、これからの教育活動に対応できる環境を整備する。	市立小・中学校の施設建て替え整備を実施する。	①依知南小学校及び緑ケ丘小学校施設建て替え整備に係る仮設校舎を設置し、什器等移転支援業務及び物品廃棄業務を委託した。 ②北小学校施設建て替えに係る整備実施設計を実施した。	1,389,644	1,084,782	依知南小学校施設整備の進捗状況	―	事業者選定・仮設校舎設置	事業者選定・仮設校舎設置	100.0	実施設計・既存校舎解体	実施設計・既存校舎解体	100.0	学校施設課
							緑ケ丘小学校施設整備の進捗状況	―	事業者選定・仮設校舎設置	事業者選定・仮設校舎設置	100.0	実施設計・既存校舎解体	実施設計・既存校舎解体	100.0	学校施設課
							北小学校施設整備の進捗状況	―	基本設計	基本設計	100.0	実施設計	実施設計	100.0	学校施設課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
④　安心して共に学べる教育の推進															
1	就学支援事業	経済的な理由により就学が困難な児童・生徒及び特別支援学級等に就学する児童・生徒の教育の機会均等を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減する。	認定された児童・生徒の保護者に対し、学用品などの経費の一部を支給する。	経済的な理由で就学が困難な児童・生徒及び特別支援学級等に就学する児童・生徒の保護者に対し、学用品費などの経費の一部を支給した。 ・就学援助費支給者数　2,235人 ・特別支援教育就学奨励費支給者数　528人	136,338	124,566	就学援助認定者に対する援助費の支給率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	学務課
							特別支援学級等認定者に対する援助費の支給率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	学務課
2	外国籍児童・生徒等支援事業	日本語の理解が不十分な外国につながりのある児童・生徒が安心して日本で生活できるよう、教育的支援の充実を図る。	該当児童・生徒に対して、日本語指導協力者を派遣し、母語による言語的支援や、日本で生活するために必要な最低限の日本語の習得を目指すとともに、国際教室運営の充実を図る。 日本語指導教室設置校に支援員を派遣し、該当児童・生徒の学習支援、日本語指導等を行う。	①日本語指導協力者を派遣した。 ・申請人数　327人 ・派遣人数　延べ324人（15言語36人） ②日本語指導教室（小学校５校、中学校１校）を開室した。 ・開室回数　111回 ・通級人数　81 人 ・支援員派遣人数　延べ11人	23,393	22,251	日本語指導が必要な児童・生徒支援のための人材派遣の割合	%	100.0	97.6	97.6	100.0	99.0	99.0	教育指導課
							日本語指導教室の支援体制の充実度	%	100.0	106.6	100.0	100.0	98.7	98.7	教育指導課
3	学校支援プロジェクト推進事業	いじめや暴力行為等の問題行動及び学校を取り巻く課題に適切に対応するため、プロジェクトチームを組織し、学校への効果的かつ機能的な支援の充実を図る。	児童・生徒の問題行動に対し、関係機関と連携してプロジェクトチームを組織し、各機関及び学校の役割とその連携について確認し、指導・実践へとつなげる。 また、定期的な学校訪問により必要な情報を収集し、問題行動の未然防止の観点から、管理職や児童・生徒指導担当教員に対して組織的かつ効果的な児童・生徒指導について指導・助言を行う。	①児童・生徒の問題行動を解決するため、市立小・中学校への定期訪問を行った。 ・小学校　66回 ・中学校　34回 ②プロジェクトチームによる会議を開催した。 ・小学校　１回（１校） ・中学校　２回（２校）	3,553	3,500	定期的な学校訪問が、問題行動の未然防止に向けた児童・生徒指導の充実に効果があったと評価する学校の割合	%	100.0	94.4	94.4	100.0	100.0	100.0	教育指導課
							プロジェクトチームを組織することにより、関係諸機関と連携した対応がより円滑に進められたと回答した学校の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	教育指導課
4	特別支援教育推進事業	特別な支援を必要とする児童・生徒に対する総合的な支援体制を整備し、誰もが安心して自分の可能性や個性を伸ばせる教育の充実を図る。	障がいのある子どもが適切な教育の場において、ニーズに応じた教育を受けることができるよう、適切な就学相談及び就学指導を行うとともに、各学校の支援体制の充実に向けた指導・助言を行う。 また、市立小・中学校に特別支援教育介助員を配置し、支援が必要な児童・生徒に対して総合的な支援を行う。 さらに、校内の支援体制を整備し、インクルーシブ教育を推進する。	①学校教育指導員を派遣した。 ・派遣回数　72回 ②特別支援教育介助員を配置した。 ・配置校数　29校 ・配置人数　延べ154 人 ③就学相談を実施した。 ・実施回数　７回 ④教育支援委員会を開催した。 ・開催回数　５回	149,516	144,372	校内支援体制が整っている学校の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	教育指導課
							特別な支援を必要とする児童・生徒に対する特別支援教育介助員の配置の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	教育指導課
5	教育支援教室運営事業	心理的要因等により学校に登校することが困難な児童・生徒の自主性の育成や人間関係の改善を図り、集団生活への適応や社会的自立を目指す。	心理的要因等により学校に登校することが困難な児童・生徒に教育支援教室「なかま教室」「なかまルーム」において生活指導や学習指導、体験活動を組織的、計画的に行う。	①なかま教室を開設した。 ・開設日数　203日 ②なかまルームを開設した。 ・開設日数　202日	16,017	15,721	教育支援教室での指導により登校できるようになった、又は好ましい変化が見られるようになった通室生の割合	%	100.0	96.2	96.2	100.0	100.0	100.0	青少年教育相談センター

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
6	青少年教育相談事業	青少年が抱える課題に対し、相談を通して子どもの心に寄り添い、一人一人の自立を支援する。 また、学校における支援教育の推進を図り、課題改善にむけた専門的な助言・援助を行う。	学校生活等において悩みを抱える青少年やその保護者に対し、青少年心理相談員、家庭訪問相談員及び教育ネットワークコーディネーターが教育相談活動を行う。 また、市立全小・中学校に児童・生徒が気軽に相談し、安心して登校できる環境をつくるためにこころスマイル支援員を配置し、個別支援を行う。	①青少年心理相談員、家庭訪問相談員、教育ネットワークコーディネーターによる教育相談を実施した。 ・来所面接　3,123件（心理相談員2,951件、ネットワークコーディネーター79件、指導主事93件） ・家庭訪問相談　220件（家庭訪問相談員138件、ネットワークコーディネーター82件） ・電話相談　655件（心理相談員191件、家庭訪問相談員12件、ネットワークコーディネーター167件、ケース以外285件） ・メール相談　36件 ・同行支援　５件 ・教育ネットワークコーディネーターによる間接的支援　395件 ②学校コンサルテーションを実施した。 ・実施ケース数　延べ60ケース ③小学校スクールカウンセラーを派遣した。 ・派遣回数　355回 ・相談件数　3,752件 ④市立小・中学校にこころスマイル支援員を配置した。 ・配置回数　4,009回	77,126	75,124	青少年心理相談員との教育相談を通して好ましい変化が見られるようになった割合	%	98.0	89.7	91.5	98.0	92.1	94.0	青少年教育相談センター
							こころスマイル支援員に関わった児童・生徒の満足度	%	94.0	87.0	92.6	94.0	91.7	97.6	青少年教育相談センター
7	登校支援推進事業	不登校児童・生徒の減少を目指し、不登校の未然防止、早期発見、早期対応、不登校の状態に応じた適切な対応、効果的な支援を推進する。 また、不登校を未然に防ぐために校内の居場所づくりを充実し、社会的自立に向けた支援を推進する。	学校教育指導員による学校計画訪問、教育相談コーディネーターを対象とした連絡会議や研修会、専門性をもった「児童・生徒支援推進アドバイザー」の派遣等を行い、教職員の教育相談力の向上と校内支援体制の整備を促し、学校の不登校対策の実践力向上を図る。 また、不登校児童・生徒が安心して過ごせる居場所「校内教育支援センター　フリールーム」の運営を担当する非常勤講師を中学校へ配置し、社会的自立に向けた支援を推進する。	①不登校対策推進連絡会議を開催した。 ・開催回数　２回 ②不登校対策推進実践連絡会議を開催した。 ・開催回数　２回 ③課題改善ケース研究会を開催した。 ・参加校数　18校 ④教育相談コーディネーター連絡会議を開催した。 ・開催回数　４回 ⑤児童・生徒支援推進アドバイザーを派遣した。 ・市立小・中学校で実施する事例研究会や研修会への派遣　22回 ・教育委員会で開催する不登校対策に関する会議・研修等への招へい　10回 ⑥学校計画訪問を実施した。 ・実施回数　360回	17,872	16,978	不登校の児童・生徒が登校支援によって改善した割合	%	83.0	76.0	91.6	84.0	76.2	90.7	青少年教育相談センター

（令和７年度実施事業）

３−２　地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　地域主体で取り組む社会教育の振興															
1	公民館活動事業	「社会教育法」第20条・第22条に基づき、教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与する。 また、地域の実情に応じた学習機会の提供や地域の人材を活用した学習支援体制を整え、地域の教育力向上を図る。	各公民館において、各種学級・講座の開設、文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ事業及びスポーツ・レクリエーション推進事業を実施する。	各公民館において、社会教育法第20条及び第22条規定に基づく各種学級・講座を開設するとともに、文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ事業、スポーツ及びレクリエーション推進事業を実施した。	24,860	24,410	学級・講座の満足度	%	79.6	68.5	86.1	81.3	69.7	85.7	市民協働推進課
2	公民館整備事業	学習ニーズの多様化への対応及び地域コミュニティの活性化のため、生涯学習や地域コミュニティ活動の拠点施設として、公民館の機能の充実を図る。	厚木北公民館は、令和５年度、６年度の継続事業で新築工事を実施し、令和７年４月供用開始を目指す。 睦合南公民館は老朽化が著しく、エレベーターの設置がなくバリアフリー上、支障が生じている状況であり、地元建設促進委員会から建替えの要望が出されていることから、公共施設最適化基本計画個別施設計画に位置付け、再整備に向け調整を進めていく。	①厚木北公民館について、令和６年度中に建設工事が完了し、令和７年４月に供用開始となった。 ②睦合南公民館について、再整備に向け候補地の検討を行った。	16,914	16,446	厚木北公民館整備の進捗状況	―	建設工事・完了	建設工事・完了	100.0	供用開始	供用開始	100.0	市民協働推進課
							睦合南公民館整備の進捗状況	―	検討・協議	検討・協議	85.0	基本方針策定	検討・協議	85.0	市民協働推進課
3	公民館熱中症対策空調設備整備事業	公民館ロビーに熱中症対策として空調設備等整備し、市民の皆様が公民館を快適に利用できるよう安心安全な環境の整備を図る。	熱中症対策が必要な８公民館及び１分館について、ロビーに冷房設備や遮熱フィルムを整備する。	熱中症対策が必要となる８公民館及び１分館に加え、１公民館について、ロビーに冷房設備や遮熱フィルムを整備した。 ・該当公民館等　依知北、睦合北、南毛利、緑ケ丘、小鮎、森の里、厚木南、玉川、依知南、上荻野分館	34,876	32,546	整備した公民館数	館	―	―		9	10	100.0	市民協働推進課
②　家庭・地域・学校の協働の推進															
1	家庭教育支援事業	保護者が教育の出発点である家庭教育の大切さを再認識し、安心して子育てできるよう、家庭、地域及び学校の連携により、家庭教育の充実を図る。	幼稚園保護者会や小・中学校PTA等の家庭教育学級の開設に対し、交付金を交付する。 また、家庭教育に必要な情報を提供する講演会や「早寝早起き朝ごはん」等の基本的な生活習慣を身に付けるための啓発活動を実施するほか、地域自らが主体となって地域の特性をいかしながら地域ぐるみで家庭教育を支援する取組を実施する。	①家庭教育学級の開設に対し交付金を交付した。 【交付団体数】 ・私立保育園　１団体 ・私立幼稚園　９団体 ・市立小・中学校　19団体 ・私立初等学校　１団体 ②家庭教育情報提供講演会を開催した。 ・参加者数　216人 ③「早寝早起き朝ごはん」を啓発するため、広報あつぎなどに啓発記事を掲載した。	2,090	1,560	家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	%	97.5	95.3	97.7	97.5	96.9	99.4	市民協働推進課
2	地域学校協働活動事業	家庭・地域・学校のつながりをより一層深め、協働して地域の子どもたちを育むため、公民館を地域の拠点に位置付け、学校と地域のパイプ役となる地域学校協働活動推進員を各校に配置し、協働活動を推進する。	多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制を確立させるため、地域学校協働本部を設置する。 また、地域と学校との連絡調整、情報の共有、地域学校協働活動の調整・運営、地域住民への呼びかけなどの役割を担う地域学校協働活動推進員の任命を行う。 さらに、推進員のリーダー的存在となり、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るため、統括コーディネーターを配置する。	４地区内７校に各１名の推進員を委嘱した。 厚木北地区（厚木小学校、厚木中学校）、睦合北地区（三田小学校、睦合中学校）、睦合西地区（林中学校）、南毛利南地区（愛甲小学校、東名中学校）	995	549	地域学校協働活動推進員を委嘱した地区数	地区	11	11	100.0	15	15	100.0	市民協働推進課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
③ 生涯学習活動の推進															
1	あつぎ協働大学開設事業	大学や企業との協働や外部講師による講座を通じて、生涯学習の推進を図る。	市内５大学（東京工芸大学、神奈川工科大学、松蔭大学、湘北短期大学、東京農業大学）及び市内企業との協働・連携により、大学の特色をいかした講座及び企業の技術や取組を学ぶ講座等を実施する。 また、外部講師を招き幅広い年齢層を対象に講座を実施する。	①教養科目を実施した。 ・５大学22講座 ・参加者数　994人 ②特別講座を実施した。 ・３大学５講座 ・外部講師４名３講座 ・参加者数　516人 ③企業講座を実施した。 ・１企業３講座 ・参加者数　562人	2,383	1,567	あつぎ協働大学受講者のうち、講義全体の評価として「とても満足」、「満足」と答えた人の割合	%	94.0	93.7	99.7	95.0	92.3	97.2	生涯学習課
2	生涯学習振興事業	市民の誰もが生涯学習活動を通じて自己実現をするために、様々な学習機会を提供し、生涯学習活動を充実させる。	市民が講師となって様々な講座を自主企画、自主運営する生涯学習スタイルの「輝き厚木塾」、市職員が研修会や学習の場などに出向いて行政の取組などを説明する「生涯学習出前講座」を実施する。	①輝き厚木塾を実施した。 ・前期講座（５月～８月開催）81講座 受講者数　846人 ・後期講座（10月～１月開催）75講座 受講者数　770人 ②生涯学習出前講座を実施した。 ・実施件数　101件 ・参加者数　2,785人	4,559	2,726	輝き厚木塾の受講者数	人	1,650	1,518	92.0	1,700	1,616	95.1	生涯学習課
3	アミューあつぎ改修事業（中長期保全）	子どもから高齢者まであらゆる世代が交流できる大規模な官民複合施設であるアミューあつぎについて、安全で安心できるサービスを提供するため、予防保全事業を計画的に実施し、施設の長寿命化を図る。	中長期修繕計画に基づき、老朽化した施設等の計画的な修繕を実施する。	計画していた老朽箇所の修繕を実施し、施設の長寿命化を図った。	108,300	100,125	修繕箇所	か所	10	10	100.0	10	9	90.0	生涯学習課
4	（仮称）未来館整備事業	厚木市民の未来へのチカラをみんなで育て、伸ばしていくコミュニティプレイスを創造する。	誰もが気軽に立ち寄ることができ、交流の場としての機能を備えた施設を目指すとともに、現在の子ども科学館の機能向上を図り、科学を始めとした学びや体験機能が充実した（仮称）未来館を整備する。	厚木市（仮称）未来館内装・展示設計・製作等業務委託において、展示装置や特殊内装の製作を進めるとともに、プラネタリウム兼多目的ホール（あつめきドーム）の外殻築造工事に着手した。	0	0	（仮称）未来館整備に向けた進捗状況	―	実施設計	実施設計	100.0	施工	施工	100.0	中央図書館
5	図書館整備事業	「中心市街地の公共施設再配置計画」に基づき、中央図書館を中町第２－２地区に新築移転し、魅力ある図書館としてリニューアルするとともに、市内全域における図書館サービスの充実を図る。	市民の学び、成長、楽しみに役立つ情報拠点を基本理念に、市民に愛される新中央図書館を整備する。	①施設の目指すべき姿（基本理念）と実現するための方針（基本方針）を始め、提供サービスや管理運営体制、開館時間などの運営条件の方向性を示す「厚木市未来・図書館管理運営方針」を策定した。 ②館内の空間デザインの監修、書架や閲覧席等の家具等の設計・製作及び調達業務について、公募型プロポーザルにて事業者を選定し、書架設計に着手したほか、カフェ運営事業者についても、公募型プロポーザルにて選定を行った。	8,184	8,184	新たな図書館整備に向けた進捗状況	―	実施設計及び建設工事	実施設計及び建設工事	100.0	建設工事	建設工事	100.0	中央図書館
							ICタグ導入に向けた進捗状況	―	調達検討	調達検討	100.0	業者選定及びICタグ導入作業	仕様書作成	80.0	中央図書館
6	電子図書館事業	スマートフォン等でいつでもどこからでも検索・閲覧・貸出・返却が可能な電子図書館を運営し、読書活動の推進を図る。	電子図書館システムにより、デジタルデータで刊行されている出版物について、スマートフォン等で検索・貸出・返却・閲覧を可能とする。	①電子図書館の利用促進に向け、ＰＲ活動や様々なテーマで特集を実施した。 ②新たに雑誌の電子書籍を追加したほか、同時に複数人で電子書籍を利用できるようマルチライセンスの書籍を充実させた。 ③図書館及び電子図書館の利用促進を図るため、市立中学校新１年生に図書館カードを交付した（２・３年生は交付済）。	7,404	7,403	電子書籍貸出点数	点	13,000	17,976	100.0	14,000	27,734	100.0	中央図書館

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
④　青少年の健全育成に向けた取組の推進															
1	青少年自然文化体験研修事業	友好都市の子どもたちとの交流や学習を通して、相互理解と友情を深めるとともに、自然体験等の機会を提供することにより、子どもたちの視野を広げ、豊かな心の成長を育む。	小学生が友好都市である北海道網走市及び横手市を訪問し、自然・文化体験活動等を実施する。	①市内小学生が、夏休みや連休を利用して北海道網走市及び横手市を訪問し、自然体験学習や文化施設の見学を行った。 ②網走市や横手市のこどもたちとの相互交流や集団活動を通し、協調性及び自主性を養うことで、心身の健やかな成長を図った。	7,349	7,349	事業参加者の満足度	%	90.0	96.9	100.0	90.0	83.6	92.9	青少年課
2	青少年指導者育成事業	地域において心豊かな青少年を育成するため、青少年指導者の養成及び自主的な活動を支援する。	青少年指導者の資質向上のための研修会を実施するとともに、育成活動を支援する。 また、ジュニアリーダーが知識や技術を習得できる研修を実施する。	①青少年指導員の地域における育成活動の推進と資質向上のための研修会を開催した。 ・開催回数　３回 ②ジュニアリーダーが、地域のこども向けの事業等の協力に当たり、必要な知識や技術を学ぶ研修会を開催した。 ・開催回数　７回	4,601	4,225	研修会出席率	%	68.2	53.2	78.0	68.4	53.4	78.1	青少年課
3	青少年非行防止活動事業	地域、家庭、学校及び関係機関と協力し、青少年の非行防止を図る。	青少年非行の早期発見と未然防止のため、青少年相談員及び社会教育指導員等が市街地等を巡回し、怠学、喫煙、飲酒、不良交友などの不良行為について、積極的に声かけ指導を行う。 また、青少年の健全育成に向け、環境浄化活動及び啓発活動を実施する。	①街頭指導を実施した。 ・実施回数　418回 ・従事者数　1,104人 ・声かけ数　11,709回 ・指導人数　707人 ②「心と街のクリーン作戦」において、啓発ポスターと啓発動画の作成、啓発物品及びチラシを配布した。 ③「愛の一声みちびき運動」において、各地区の公民館まつりの開催に合わせ、青少年の非行防止・薬物乱用防止の啓発パネルの展示、啓発物品及びチラシを配布した。	9,478	8,873	街頭指導において声掛けをした青少年のうち不良行為を認知し、指導した割合	%	3.8	5.3	71.7	3.7	6.0	61.7	青少年教育相談センター
4	児童館整備事業	児童の健康を増進し、情操を豊かにするための施設である児童館の適正配置及び計画的な建て替えを進め、利用者の安全性及び利便性の向上を図る。	子ども達の居場所づくりの拡充を図るため、児童館の適正配置及び再整備を実施する。	①三田児童館整備について、移転地の敷地測量委託、新築設計委託及び地域による建設委員会を開催した。 ・建築委員会開催回数　５回 ②藤塚児童館整備について、庁内関係各課と協議を行うとともに、現藤塚児童館の利用状況を把握した。	16,496	13,503	三田児童館整備の進捗状況	ー	仕様の検討	整備方針案の作成	80.0	設計・施工	設計・施工	100.0	青少年課
							藤塚児童館整備の進捗状況	ー	基本方針の策定	候補地の検討	50.0	仕様の検討	候補地の検討	50.0	青少年課
5	こどもフェスタ開催事業	次代を担う子どもたちに夢を与え、様々な体験や経験を通じ、心豊かな青少年を育成する。	こどもたちが楽しみながら学べるだけでなく、本市の魅力を感じ、愛着と誇りを深めることのできるイベントを開催する。	こどもフェスタを開催し、青少年関係団体による遊び道具づくりを通じてものづくりの楽しさを提供するとともに、市内事業者の協力のもと実演や体験を実施し、本市の魅力を発信した。	550	600	こどもフェスタ２０２５の参加者数	人	ー	ー		3,000	3,500	100.0	青少年課

（令和７年度実施事業）

３－３　文化芸術の振興

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　文化芸術活動の推進															
1	あつぎ市民芸術文化祭開催事業	文化芸術の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、市民による多様な文化芸術活動を推進し、文化芸術の振興を図る。	市民文化祭（芸能音楽発表、文化作品展等）、市民芸術祭（市民参加型の舞台公演）、野外彫刻造形展（彫刻や造形作品の野外展示、体験教室等）、ミュージックフェスティバル（青少年を対象としたオーディション）を開催する。	①市民文化祭を開催した ・参加者数（出展・出演者数）　1,632人 ②野外彫刻造形展を開催した。 ・参加者数（作品出展者数）　826人 ③市民芸術祭を開催した。 ・参加者数（出演者数）　20人 ④あつぎミュージックフェスティバルを開催した。 ・オーディション参加者数　42人 ・コンサート参加者（オーディション大賞者）４人	14,750	14,541	文化芸術事業の参加者数	人	5,100	3,031	59.4	5,150	2,524	49.0	文化魅力創造課
2	文化会館リニューアル事業	文化会館を今後も継続して利用するため、劣化している建物や設備等の更新が必要となっていることから、公共建築物の長期維持管理計画基本方針に基づき、建物の耐震化・長寿命化を図る。	事業手法にPFI（RO方式）を採用し、民間活力の導入による財政支出の縮減や平準化を図るとともに、大規模改修や施設の維持管理を効率的、効果的に実施する。	令和６年度事業完了	―	―	リニューアル事業の進捗状況	―	供用開始	供用開始	100.0	―	―	―	文化魅力創造課
3	文化芸術振興事業	気軽に文化芸術に触れる機会を提供し、市民の文化芸術への創造と育成を推進することと併せ、より文化芸術の情報発信の強化を図る。 また、文化芸術に関する奨励金を交付し、文化芸術活動の充実と振興のための環境整備を推進する。	文化芸術の発信強化を図り、文化芸術活動を推進するため、商業施設や公共施設など、発表の場として様々な場所の開拓を進める。 また、より多くの方に文化芸術に触れていただける機会を増やすとともに、事業のPRの仕方を工夫・強化することで発表者の満足度を向上させる。 さらに、文化芸術の全国大会及び国際大会に出場する市民等に対し、奨励金を交付し意識高揚を図り、文化芸術活動の充実と振興のための環境を整備する。	①本厚木ミロード４階「ミロにわ」でジャズコンサートやウクレレライブ等を開催した。 ・鑑賞者数　2,479人 ②アミューあつぎ８階Ｓｏｌａや古くなった屏風へ絵を描く作品の公開作成を開催した。 ・鑑賞者数　284人	5,500	5,196	文化芸術発信事業数	事業	8	12	100.0	10	12	100.0	文化魅力創造課
4	文化芸術振興計画策定事業	「人・まち・自然が響きあうあつぎの文化芸術を創造する」を基本理念として、文化芸術への理解と関心や、活動意欲が更に高まるような施策を推進する。	文化芸術の振興に関する基本的な事項を定めた第２次厚木市文化芸術振興計画第２期基本計画及び実施計画を策定する。	調査業者と委託契約を交わし、市内3,000名の無作為に抽出した市民及び市内小中学校に向け意向調査を行った。 【市民対象調査】 ・対象者数　3,000人 ・回答者数　1,029人 【小中学生対象調査】 ・対象者数　3,498人 ・回答者数　2,123人	3,000	2,502	文化芸術振興計画策定の進捗状況	―	―	―	―	調査	調査	100.0	文化魅力創造課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
②　郷土文化の継承と発展															
1	あつぎ郷土博物館活動推進事業	地域の歴史や風土、自然について学芸員が行っている研究や調査、展示会、講座などを、市民に有用な情報として提供するとともに、その成果を後世まで郷土の文化として伝え残すことにより、市民にとって「郷土あつぎ」を構築、創造していくための一助とする。	歴史、民俗、生物分野に関する研究や調査の結果について、資料として後世に残すとともに、各種講座や展示を通して市民に公開し、還元する。	①地域展「地域再発見！５　小鮎地域　～祈り・ぎふてふ・亀太郎」を実施した。 ・開催期間　令和８年３月28日～６月21日 ・来場者数　6,741人 ②古文書講座を実施した。 ・開催回数　６回 ・参加者数　63人 ③古文書解読会を実施した。 ・開催回数　31回 ・参加者数　601人 ④施設見学を実施した。 ・実施回数　29回 ・参加者数　680人 ⑤出前講座を実施した。 ・実施回数　17回 ・参加者数　936人 ⑥講師派遣を実施した。 ・実施回数　８回 ・参加者数　168人 ⑦学芸員実習や職場体験学習等を実施した。 ・参加者数　４人	2,530	2,488	講座及び展示における満足度	%	96.0	90.4	94.2	98.0	92.8	94.7	文化魅力創造課
2	郷土芸能事業	市内に伝わるかけがえのない伝統文化や伝統芸能を保存・伝承するとともに、後継者の育成を図る。	郷土芸能を児童・生徒を始めとする市民に広く周知するため、郷土芸能まつりや郷土芸能普及公演等実施するとともに、後継者育成のための体験講座や郷土芸能学校を開催する。	①保育施設、幼稚園、小中学校等で普及公演を実施した。 ・実施回数　27回 ・鑑賞者数　延べ1,967人 ②小学校、大学で出前体験教室を実施した。 ・実施回数　６回 ・参加者数　延べ152人 ③郷土芸能学校（相模人形芝居林座・長谷座による後継者育成講座）を実施した。 ・実施回数　各座８回 ・参加者数　延べ69人 ④郷土芸能団体が一堂に会し、伝統芸能を披露する郷土芸能まつりを開催した。 ・郷土芸能発表会　来場者数　375人 ・相模人形芝居特別公演　来場者数　304人 ⑤人形芝居ワークショップを実施した。 ・鑑賞者数　230人 ⑥その他自主公演を実施した。 ・実施回数　８回 ・参加者数　延べ1,931人	3,845	3,137	郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数	人	8,700	5,463	62.8	8,750	5,028	57.5	文化魅力創造課
							郷土芸能団体新規加入者数	人	20	2	10.0	20	3	15.0	文化魅力創造課
3	市史編さん事業	本市の歴史的変遷を解明するため、歴史資料等の系統的な調査・研究及び資料の収集・保存を行い、史実に基づいた市史等を発刊することによって市民の郷土を愛する心を育む。	古文書等歴史資料の調査、収集、分類及び整理を行い、資料の目録作成、マイクロフィルム化を実施し、その成果に基づき、本市の歴史的変遷を後世に継承する。	『厚木市史 近代資料編２』を発刊するための編集作業を実施するとともに、市史編さん事業を広く周知するため、『厚木市史たより』を１回発行するとともに、歴史講座等を実施した。	10,179	10,056	『厚木市史』発刊数	冊	－	－	－	1	0	0.0	文化魅力創造課

（令和７年度実施事業）

３－４　生涯スポーツの振興

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　生涯スポーツ活動の推進															
1	市民スポーツ推進事業（生涯スポーツ）	スポーツ活動の普及により、健康・体力づくりの増進を図る。	誰でも気軽に参加でき、ニュースポーツを体験できる「スポーツなじみDAY」等を開催する。 また、（公財）厚木市スポーツ協会に補助金を交付し、スポーツ教室、スポーツ大会等を開催する。 さらに、日本体育大学との連携により、体力向上や健康増進に係る事業を実施する。	①スポーツなじみＤＡＹを実施した。 ・参加者数　1,124人 ②（公財）厚木市スポーツ協会が行うスポーツ推進事業に補助金を交付し、スポーツ大会等を実施した。 ・参加者数　14,928人 【内訳】 ・競技別市民選手権大会　4,751人 ・スポーツ大会　3,782人 ・スポーツフェスティバル　127人 ・スポーツ教室等　1,059人 ・あつぎウォーク　520人 ・指導者養成事業　1,240人 ・選手育成強化事業　3,173人 ・スポーツ人のつどい　276人 ③市民体力向上推進事業として「木下テーブルテニスクラブ トップアスリート卓球クリニック」を開催した。 ・参加者数　115人 ④市民体力向上推進事業として「元プロ野球選手少年野球クリニック」を開催した。 ・参加者数　123人 ⑤市民体力向上推進事業として「厚木はやぶさＦＣ連携事業　市立保育園サッカー教室」を開催した。 ・参加者数　80人 ⑥市民体力向上推進事業として「日本体育大学連携事業　2025スポーツキャンプイン日体大」を開催した。 ・参加者数　19人	13,867	13,867	スポーツ行事の参加者数	人	18,300	15,049	82.2	18,300	16,052	87.7	スポーツ魅力創造課
							講師派遣事業の参加者数	人	800	453	56.6	800	337	42.1	スポーツ魅力創造課
2	社会体育指導者養成事業	地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の普及振興を図る。	地域のスポーツ・レクリエーションのリーダーであるスポーツ推進委員の研修会等を行う。	①スポーツ推進委員会議等を開催した。 ②ニュースポーツ練習会を開催した。 ③各種研修会・大会へ参加した。 ④事業協力を行った。	4,464	4,167	スポーツ指導者養成研修等参加者数	人	1,130	1,035	91.6	1,140	953	83.6	スポーツ魅力創造課
②　競技スポーツ活動の推進															
1	競技力向上支援事業	国際大会や全国大会等への参加を支援することにより、競技力の向上を図る。	国際大会及び全国大会等に出場する市民に対し、奨励金を交付するとともに、競技団体が全国大会や県大会等に選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会等に対し、交付金を交付する。	全国大会等出場者に対し、奨励金を交付した。	1,785	1,755	全国大会出場者数	人	530	527	99.4	530	497	93.8	スポーツ魅力創造課
2	市民スポーツ推進事業（競技スポーツ）	トップアスリート及び指導者の育成を支援することにより、競技力の向上を図る。	（公財）厚木市スポーツ協会が行うあつぎスポーツアカデミー事業に対し、補助金を交付する。	（公財）厚木市スポーツ協会が行う、あつぎスポーツアカデミー事業に対し補助金を交付した。	4,780	4,780	あつぎスポーツアカデミー参加者アンケートの総合的な満足度において「とても満足」及び「やや満足」と回答した人の割合	%	100.0	89.3	89.3	100.0	88.8	88.8	スポーツ魅力創造課
3	スポーツ合宿誘致事業	スポーツ合宿等を誘致し、市民のスポーツに対する関心を高め、市内スポーツ団体等の更なる競技力の向上を図るとともに、スポーツ合宿等を通じた交流人口の拡大や地域経済の活性化等を推進する。	市内スポーツ施設等を使用し、かつ市内宿泊施設に宿泊し合宿等を行う市外のスポーツ団体及び個人を対象に補助金を交付する。	本市のスポーツ施設や宿泊施設を利用するスポーツ合宿等を行う団体・個人に対して宿泊費の一部に補助金を交付した。	5,150	5,018	補助金交付人数	人	750	1,020	100.0	750	2,500	100.0	スポーツ魅力創造課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
③　スポーツ施設の整備・充実															
1	運動公園長寿命化事業	市民が今後も安心・安全に運動公園施設を利用し続けていくことができるよう、計画的に改修を進めていく。	荻野運動公園の大規模施設（プール棟及び体育館棟等）の長寿命化に向け、計画的に安全性、機能性に配慮しながら改修を行う。	体育館棟サブアリーナの天井改修工事等を進め、長寿命化に向けた改修を実施した。	202,775	143,112	プール棟及び体育館棟の修繕箇所数	か所	2	3	100.0	2	3	100.0	公園緑地課
2	グラウンド・ゴルフ場整備事業	子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめるグラウンド・ゴルフ場の整備を通じて、市民のスポーツ活動促進を始め、健康長寿社会や多世代交流の実現の一助とする。	睦合南地区ふれあい公園をグラウンド・ゴルフ場として再整備する。	①井戸の整備を行った。 ②コンテナの代わりにパーゴラの設置を行った。	1,796	1,369	グラウンド・ゴルフ場整備の進捗状況	ー	進入路整備、井戸設置	進入路整備完工、井戸調査完了	95.0	コンテナ設置（事業完了）	井戸及びパーゴラ設置完了（事業完了）	100.0	スポーツ魅力創造課
3	スポーツの聖地検討事業	トップアスリートのプレーが観戦できる「みるスポーツ施設」、市民の皆様が快適にプレーでき、各種目の活動拠点となるような「するスポーツ施設」、それぞれの施設の整備等について、今後の方向性を位置付けていくことで、スポーツの聖地づくりを推進する。	既存施設の老朽化への対応や、プロスポーツや合宿誘致など多種多様化するスポーツ活動への対応を視野に入れた施設整備の検討を行うとともに、新たに施設を整備する際の課題抽出を行い、市民の地域スポーツ活動や大規模な大会等にも対応できるよう、スポーツ施設整備の在り方について、より広い専門性や技術的視点から今後の方向性を検討する。	①スポーツ推進審議会への諮問及び答申を実施した。 ②市民意見交換会を実施した。 ③厚木市スポーツの聖地づくり庁内検討委員会を実施した。 ④市民アンケートを実施した。 ・対象者　市内在住16歳以上の男女 ・対象者数　2,500人 ・回答者数　820人	10,480	10,480	計画策定の進捗状況	ー	調査検討	基本構想策定	100.0	策定	基本計画策定	100.0	スポーツ魅力創造課

（令和７年度実施事業）

４－１　誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　コンパクトなまちづくりの推進															
1	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	居住と生活利便施設をバス路線沿線に緩やかに誘導するとともに、バスの定時性、速達性を確保することで、誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる都市を目指す。	生活利便施設が不足している地域における生活利便施設の立地誘導、災害リスクの高いハザードエリアからの住宅の移転促進及び路線バスの利便性向上を図る。	①「厚木市居住誘導区域(がけ地近接等危険住宅)移転事業補助金」のチラシ配布等により周知を図った。 ②出店用地を募集しているスーパーマーケット等を調査の上、「厚木市生活利便施設立地促進事業補助金」のパンフレットを事業者に直接送付することで周知を図るとともに、制度についてのヒアリングを行った。 ③交通量の多い国道246号愛甲宮前交差点付近のバス路線の交通混雑の解消及び「都市機能誘導区域」である愛甲石田駅周辺地区へのアクセス性の向上を図るため、愛甲石田駅へ向かう路線について、道路交通の整流化検討を行った。	40,725	31,700	ハザードエリアからの住宅移転件数	件	1	0	0.0	1	0	0.0	都市計画課
							スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	%	80.6	82.4	100.0	80.6	82.5	100.0	都市計画課
							路線バスの定時性確保対策	―	協議検討	協議検討	100.0	協議検討	協議検討	100.0	都市計画課
②　市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進															
1	街路整備事業	交通混雑の解消や安心・安全なみちづくりを進め、市民の快適な日常生活や効率的な経済活動を支える生活空間の向上を図る。	都市計画道路厚木環状３号線及び本厚木下津古久線等を整備する。	①本厚木下津古久線の一部を供用開始したほか、酒井長谷線を供用開始した。 ②環状３号線の工事を推進したほか、船子飯山線、尼寺原幹線、上今泉岡津古久線の委託を実施し、事業進捗を図った。	767,333	747,456	整備延長（2023-2026年度累計）	m	820	689	84.0	1,270	924	72.8	交通混雑対策課
2	街路用地取得事業	交通混雑の解消や安心・安全なみちづくりを進め、市民の快適な日常生活や効率的な経済活動を支える生活空間の向上を図ることができるよう、工事着手に向けた環境を整える。	都市計画道路の整備に必要な道路用地の取得及び支障物件の移転補償を行う。	厚木環状３号線及び本厚木下津古久線等都市計画道路の整備事業に必要な支障物件の移転補償を行った。	104,733	45	都市計画道路の用地買収路線数	路線	1	3	100.0	1	0	0.0	道路整備課
3	幹線市道新設改良事業	地域の主要道路として、地域間の連続性、通行の円滑性及び安全性等の観点から、計画的に拡幅改良を実施し、地域交通環境の有効な改善を図る。	１・２級市道及びこれらに準ずる幹線道路（一般生活道路を除く。）の新設・改良を実施する。	①金田妻田線の埋蔵文化財調査を実施するとともに、工事を実施した。 ②白根才戸線の設計に必要となる、土質調査を実施した。	55,000	33,661	整備延長（2023-2026年度累計）	m	130	120	92.3	220	150	68.2	交通混雑対策課
4	交差点等改良事業	交差点等において交通の円滑化及び交通混雑の緩和を図るとともに、市民生活の安全性と快適性の向上を図る。	交通の集中により混雑が発生する交差点は、主要な幹線道路である国道や県道と交差する交差点が多いことから、現状の把握や課題の抽出、改善策などについて国や県と情報共有するとともに、交通管理者である警察との協議、連携しながら、効率的な交差点等の改良を実施する。	戸室交差点、愛甲石田駅前広場の改良工事を実施するとともに、妻田薬師南側交差点、森の里病院前交差点、長沼交差点について、測量・設計を実施した。	103,492	94,428	整備及び委託（調査・測量・設計）箇所数	か所	2	3	100.0	1	5	100.0	交通混雑対策課
5	生活道路整備事業	市民が安心・安全で快適な日常生活が営めるよう、狭あいな生活道路の整備を計画的に進めるとともに、地域間の主要交通及び幹線路線等の主要市道のネットワークを補完する路線の拡幅整備を進める。	地元自治会からの生活道路整備要望を基に、生活道路としての市道（都市計画道路、１・２級市道及びこれらに準ずる幹線市道を除く。）の拡幅改良や舗装等を実施する。	市道I-40号線改良工事、市道F-247・290号線測量委託、市道F-247・290号線実施設計委託などを実施した。	529,000	440,082	整備・委託（測量・設計）路線数	路線	35	43	100.0	35	58	100.0	道路整備課
6	中町第２－２地区周辺交通アクセス整備事業	交通の円滑化、歩行区間の確保及び防災・減災対策として車両の通行や歩行者・自転車の通行動線を確保し、市民が安心・安全な通行ができる道路拡幅や新規道路の整備を実施する。	車両の円滑な通行や歩行者・自転車の交通導線を確保し、新たな交通需要にも対応できる新設道路も含め、中町第２－２地区周辺の道路整備及び無電柱化整備を実施する。	令和７年度から道路交通環境整備事業に統合	―	―	整備及び委託（調査・測量・設計）件数	件	1	1	100.0	―	―	―	交通混雑対策課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
7	道路整備用地取得事業	交通混雑の解消や安心・安全なみちづくりを進め、市民の快適な日常生活や効率的な経済活動を支える生活空間の向上を図ることができるよう、工事着手に向けた環境を整える。	１・２級市道等幹線道路及び一般生活道路の新設・改良等事業に伴う道路用地買収及び物件移転補償を行う。	１・２級市道及び一般生活道路の新設、拡幅等道路改良事業に必要な用地の取得及び支障物件の移転補償を行った。	167,590	24,638	生活道路用地取得路線数	路線	23	16	69.6	23	14	60.9	道路整備課
							幹線道路等用地買収路線数	路線	2	4	100.0	2	5	100.0	道路整備課
8	歩道整備事業	１・２級市道の計画的な歩道整備を行うことにより、通学路や公共施設周辺における歩行者の通行の安全性の向上を図る。 特に、バリアフリーの視点から、安全かつ円滑な歩道空間を確保する。	１・２級市道及びこれらに準ずる幹線道路（一般生活道路を除く。）への歩道整備を行う。	①横須賀水道路線の工事を実施した。 ②温水愛名線、松蓮寺千頭線、愛甲高坪線、昭和用水線の測量・設計などの委託を実施した。	40,000	23,180	整備延長 （2024-2026年度累計）	m	190	100	52.6	590	110	18.6	交通混雑対策課
9	橋りょう架替事業	老朽化した橋りょうの架替えを行い、安全に通行できる道路機能の確保を図る。 また、河川改修計画に合わせ、橋りょうの架替整備を推進する。	老朽化等により架替えが必要と判断された橋りょうについて、橋りょう架替事業を実施する。	川久保橋の架替え位置について、長谷南部土地区画整理業務代行予定者と協議を行った。	0	0	事業に伴う対応件数	件	1	2	100.0	1	1	100.0	道路整備課
10	通学路安全対策事業	近年、通学路で児童や生徒が巻込まれる痛ましい事故が発生していることから道路管理者として、危険箇所である交差点などにおける交通事故を未然に防ぐため、交通安全施設を設置し更なる歩行者の安全確保を図る。	道路管理者の視点で市立小・中学校36校の実情を踏まえ、交差点内のカラー化、路側グリーン化、防護柵の設置などの対策を行う。 また、通学路の安全整備要望及びウェアラブルカメラにおいて発見した危険箇所への対応も行う。	道路管理者の視点や通学路の安全整備要望等から、交差点内カラー化、路側グリーン化、横断防止柵・ガードレールの設置等を行った	40,000	35,124	交通安全施設を設置する箇所数	か所	100	48	48.0	100	65	65.0	道路維持課
11	橋りょう長寿命化事業	本市が管理している橋りょうは、昭和50年代に建設されたものが多く、今後一斉に老朽化が進行し、更新時期が集中することが懸念されていることから、予防保全を前提とした計画的な維持管理を実践し、維持管理コストの縮減と予算の平準化を図るとともに、橋りょうの定期的な点検を実施し、健全性の把握と適正な維持管理を図る。	橋りょうの長寿命化を図り、維持管理費用の縮減と予算の平準化、地域道路網の安全性、信頼性を確保する必要があることから、計画に基づく定期的な橋りょう点検や修繕工事を実施する。	①厚木市道路維持管理計画に基づき、下小鮎橋及び鮎津橋歩道橋の修繕工事を実施し、その他６橋についても、小規模な修繕工事を実施した。 ②10橋の塗膜調査を実施するとともに、委託と直営を含め92橋の橋梁点検を実施した。	152,000	124,411	修繕工事	か所	1	9	100.0	2	8	100.0	道路維持課
							橋梁点検	か所	50	50	100.0	85	92	100.0	道路維持課
12	道路付属施設長寿命化事業	道路付属施設の安全と機能維持を継続していくため、予防保全を前提とした計画的な維持管理を実践し、維持管理コストの縮減と予算平準化を図る。	横断歩道橋・トンネルなどの施設を長寿命化計画により管理し、計画的に修繕・点検を実施する。	①厚木市道路維持管理計画に基づき、２橋の横断歩道橋の修繕工事を実施した。 ②１橋の横断歩道橋に対し補修設計を実施した。 ③１か所のトンネル点検を実施すると共に、468灯の街路灯点検を実施した。	157,000	131,701	修繕工事	か所	3	3	100.0	2	2	100.0	道路維持課
							道路照明灯点検	か所	600	599	99.8	600	468	78.0	道路維持課
							トンネル、横断歩道橋等点検	か所	－	－	－	2	2	100.0	道路維持課
13	道路交通環境整備事業	高齢者や障がい者等、誰もが安全で円滑に利用できる道路空間の提供を目指すとともに、防災・減災対策として、車両の通行や歩行者、自転車の交通動線を確保し、道路交通環境の向上を図る。	安全で快適な道路空間を提供するため、歩道に休憩スペースとなるベンチの設置や無電柱化の整備を進め、効果的な道路交通環境整備を計画的に実施する。	道路交通環境早期整備工事を実施するとともに、電線共同溝詳細設計などの委託を10件実施した。	106,507	96,192	歩行空間整備の件数	件	－	－	－	4	5	100.0	交通混雑対策課
							無電柱化整備の件数	件	－	－	－	3	3	100.0	交通混雑対策課
							道路改良の件数	件	－	－	－	2	2	100.0	交通混雑対策課
14	交通混雑対策推進事業	本市が目指す将来道路ネットワークの効果を検証し、渋滞緩和に効果的な都市計画道路や１・２級の幹線道路等の整備を推進し、誰もが安心、快適に移動できる道路交通環境の向上を図る。	高規格幹線道路である国道246号バイパス「厚木秦野道路」の整備促進によるストック効果が最大限発揮される環状系道路のネットワーク効果を検証し、市内中心部に集中する交通の分散化による渋滞の緩和、地域間の円滑な交通ネットワークを確保する幹線道路などの整備を実施する。	広域道路ネットワーク検証について委託を実施した。	23,000	21,395	広域道路ネットワーク効果の検証	件	－	－	－	1	1	100.0	交通混雑対策課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
③　移動しやすい公共交通環境の整備															
1	地域公共交通対策事業	公共交通等を利用して誰もが円滑に移動できる交通環境づくりを推進するため、路線バス等の公共交通の更なる充実を図る。	ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入及びバス停留所の上屋等設置について、交通事業者に対し補助金を交付する。	バス事業者が行うバス停上屋、ベンチの設置費用、ノンステップバス導入費用及びタクシー事業者が導入するユニバーサルデザインタクシー導入費用に対し、補助金を交付した。	7,500	7,172	バス停上屋又はベンチ設置箇所数	か所	2	2	100.0	2	2	100.0	都市計画課
							ノンステップバス導入台数	台	3	3	100.0	3	3	100.0	都市計画課
							ユニバーサルデザインタクシー導入台数	台	4	7	100.0	4	7	100.0	都市計画課
2	コミュニティ交通推進事業	今後増加する高齢者等の移動手段の確保や地域包括ケア社会の実現、また、コンパクト・プラス・ネットワークを基本とした集約型都市構造の更なる充実に向け、路線バスを補完する日常生活に必要な移動手段を確保する。	コミュニティ交通の運行を継続するに当たり、地域が主体となりコミュニティ交通を育成し、継続した運行とさせるため、地域の運行管理団体に補助金を交付する。 また、コミュニティ交通導入についてアンケート調査等を行い、地域特性に合ったコミュニティ交通の運行方法について検討を行う。	①鳶尾、まつかげ台、みはる野地区で、継続運行を実施するとともに、森の里地区で地域住民が自ら運行している乗合交通「森の里ぐるっと」について、継続した運行とするため、令和６年度から地域の運行管理団体に補助金交付を開始した。 ②コミュニティ交通の導入要望があった上依知、宮の里地区において、移動問題に対する理解の醸成及び課題解決に向けた体制構築を図ることを目的に、令和６年度に引き続き、公共交通及びコミュニティ交通に関する勉強会を開催した。	16,886	16,626	コミュニティ交通利用者数	人	4,100	4,104	100.0	4,100	4,166	100.0	都市計画課
							コミュニティ交通導入検討	―	実施	実施	100.0	実施	実施	100.0	都市計画課
3	次世代モビリティ検討事業	AIや自動運転等の新技術、幅広い分野の豊富なデータを用いた次世代モビリティシステムを活用することで、地域住民や来訪者一人一人の移動ニーズに対応した地域公共交通の確保と維持を図る。	運転手不足による路線バスの縮小、高齢者や来訪者の様々な移動手段の確保に対応するため、無人走行を行う自動運転車両やデマンド交通（予約や呼び出しに応じて目的地に輸送する交通）、グリーンスローモビリティ等の導入について研究する。	①自動運転バスへの試乗及び次世代モビリティに関する研修会等に参加し、導入について調査研究を行った。 ②地域の移動手段の確保・充実や公共交通の持続可能性を高め、地域課題の解決に寄与することを目的に、ワークショップ等の手法で、本市の移動に関する課題の抽出及び対応策の検討等の調査研究を行った。	5,000	4,342	調査研究	―	実施	実施	100.0	実施	実施	100.0	都市計画課
4	自転車走行空間整備事業	身近な移動手段である自転車の利用ニーズが高く、自転車に関連する事故も発生していることから、自転車利用が多い鉄道駅周辺や高等学校、大学、大規模な住宅地を中心に、厚木市全域を対象とした自転車ネットワークの構築を推進し、安全で安心して歩行や通行ができる快適な道路空間を創出する。	自転車利用者と歩行者を整序化するため、自転車通行位置を明示する自転車のピクトグラム及び矢羽根型路面標示等の自転車走行空間の整備を計画的に実施する。	水引小野線及び鳶尾幹線等について、自転車走行空間を整備した。	68,000	65,231	自転車走行空間整備延長	km	1.9	2.2	100.0	3.4	6.0	100.0	交通混雑対策課
5	サイクルアンドバスライド自転車駐車場整備事業	公共交通機関である路線バスの利用を促進し、自動車の鉄道駅端末交通手段分担率の割合を低下させ、交通混雑を緩和し交通環境を良好にすることにより、交通事故防止のほか、自転車の利用を促すとともに環境対策にも寄与する。	自宅からバス停まで自転車でのアクセスを確保するため、通勤通学者が多い公共交通不便地域から、公共交通利便性強化路線のバス停まで自転車でアクセスすることが可能となるサイクルアンドバスライド自転車駐車場の整備を行う。	市内バス停留所周辺において、サイクルアンドバスライド自転車駐車場の設置可否を調査した。	―	―	新規サイクルアンドバスライド自転車駐車場設置数	か所	―	―	―	1	0	0.0	くらし交通安全課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
④　安全で快適な住環境の整備															
1	空き家等対策推進事業	「厚木市空家等対策計画」に基づき、人口減少や住宅の老朽化等により地域住民の生活環境に悪影響を及ぼしている空き家の予防・解消・活用を促進する。	空き家の解体工事に要する費用の一部を補助するとともに、所有者不存在により管理不全となっている空き家について、相続財産清算人選任の申立てを行い、売却等の処分を行う。 また、市内全域の空き家の実態調査を実施し、「厚木市空家等対策計画」の改定を行う。	①空き家の解体工事に要する費用の一部について補助金を交付した。 ・交付件数　35件 ②所有者不存在により管理不全に陥っている空き家について、相続財産清算人専任の申し立て、売却等の処分を行った。 ・申立件数　２件 ③空き家相談会を実施した。 ・宅建協会　３回 ・全日本不動産協会　２回	20,373	24,543	管理不全であるため、助言等が必要な空き家数（空き家評価Ｂ区分の空き家数）	戸	28	29	96.6	28	24	100.0	住宅課
							空き家解体工事補助金交付件数	件	20	34	100.0	20	35	100.0	住宅課
							空家等対策計画の改定	－	－	－	－	市内全域実態調査	市内全域実態調査	100.0	住宅課
2	住宅政策推進事業	「厚木市住生活基本計画」の基本理念「誰もが自分らしく暮らし続けることができるまち」の実現に向け、少子高齢化・人口減少社会に対応した住生活の実現や、住み続けられる住環境を見据えた良質な住宅ストックの形成を目指す。	住宅確保要配慮者が民間賃貸住宅に円滑に入居できる環境を整備するため、厚木市居住支援協議会において、庁内関係部署、不動産事業者、福祉事業者等と連携し、居住支援の取組を実施する。 また、マンション管理において支援を必要としているマンション管理組合に対し、専門家をアドバイザーとして派遣する。	①「神奈川あんしんすまい保証制度」を利用する単身高齢者に対し、初回登録料の補助を行った。 ・交付件数　４件 ②居住支援協議会として次の内容を実施した。 ・情報交換会　３回 ・研修会　３回 ・住まい探し相談会　５回 ③マンション管理の適正化に向け、マンション管理組合に対し専門家の派遣を行った。 ・アドバイザー派遣件数　４件	6,365	6,207	あんしん住まい見守りサービスの利用者数	人	20	11	55.0	20	4	20.0	住宅課
							管理計画認定制度により認定を受けたマンションの件数	件	4	3	75.0	5	2	40.0	住宅課

（令和７年度実施事業）

４－２　魅力ある中心市街地等の形成

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　中心市街地等の都市機能の向上															
1	本厚木駅北口周辺整備事業	本厚木駅北口周辺地区において、商業・業務、行政及び文化芸術など多様な都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、居心地が良く、歩いて楽しい市街地の創出による魅力ある拠点の形成を目指す。	「生まれ変わる中心市街地」の実現に向け、本厚木駅北口地区市街地再開発準備組合を支援するとともに、周辺地区を一体的かつ機能的なデザインにより全国から憧れを抱かれる街並みにするための取組を行う。	①本厚木駅北口周辺地区を市民の誇りとなる玄関口への生まれ変わりを目指し、当地区における再整備に向け、再開発準備組合の運営支援をするとともに、複数回の会議を開催した。 ②歩いて楽しいまちへの生まれ変わりの実現に向け、道路、駅前広場の形状、駅前バス乗降場、タクシーロータリー及びバスセンターの配置など、本厚木駅北口周辺における(仮称)公共空間整備計画の策定に向け庁内横断的に検討した。	61,574	42,460	本厚木駅北口周辺整備の進捗状況	―	基本計画 素案検討	基本計画 素案検討	100.0	基本計画案 策定	基本計画案 検討	90.0	市街地整備課
2	中町第２－２地区周辺整備事業	中町第２－２地区周辺については、利便性の高い地域として複合施設とその周辺環境の整備を進め、魅力とにぎわいあふれる拠点都市を目指す。	家（第１の場所）と職場や学校（第２の場所）との間にある第３の場所「サードプレイス」の創出をコンセプトに掲げている中町第２－２地区周辺において、新たな集客の核となる、図書館、（仮称）未来館、市庁舎等からなる複合施設の整備を進める。	実施設計を令和７年８月に完了させたほか、鉄骨工事等の地上躯体工事を行った。	6,589,994	7,113,316	複合施設整備の進捗状況	―	実施設計 建設工事	実施設計 建設工事	100.0	建設工事	実施設計 建設工事	100.0	庁舎管理課
3	愛甲石田駅周辺整備事業	愛甲石田駅周辺地区において、地域の生活を支える商業・業務等の都市機能の集積と、駅へのアクセス性を高める周辺道路整備や快適で円滑な乗り換えが可能となる交通結節機能の充実を図り、都市拠点としてふさわしいまちづくりを進める。	令和４年度に策定した「愛甲石田駅周辺まちづくり基本構想」に基づき、駅周辺の将来像を踏まえたゾーンが集積している駅周辺地区において、計画的かつ効果的・効率的な都市機能の整備に向けた取組を行う。	権利者が主体となってまちづくりへの取組を推進する環境を構築することを目的として、駅周辺の権利者等を対象として今後の当地区の在り方について意見交換を２回行ったほか、地域住民の方々にまちづくりの理解を深めていただくため、オープンハウスを実施した。 ・意見交換会参加者数　延べ30人 ・オープンハウス参加者数　102人	5,530	5,297	愛甲石田駅周辺整備の進捗状況	―	権利者勉強会	権利者勉強会	100.0	権利者勉強会	権利者勉強会	100.0	市街地整備課
4	地下道活性化事業	本厚木駅前東口地下道を活性化することにより、中心市街地のにぎわいと快適な歩行空間の創出を図る。	本厚木駅やアミューあつぎ、バスセンターなど、市街地の主要施設を結ぶ導線となる地下道の活性化につながる取組を行う。	①あつぎ国際大道芸と同日にＣＨｉＫａフェスを２日間開催した。 ・来場者数　延べ約20,000人 ②市民提案事業を実施した。 ・実施団体数　11団体 ・実施日数　48日 ③イメージアップ事業において、第11次厚木市総合計画のデザインの柱巻き装飾を行った。	1,500	1,276	事業実施時の地下道の通行量	人／日	10,000	9,890	98.9	10,000	9,689	96.9	企画政策課
②　にぎわい創出に向けた取組の推進															
1	市街地商業活性化事業	中心市街地商店街空店舗対策事業を始めとする補助金の交付や「にぎわい爆発あつぎ国際大道芸」など、各種イベントを開催することにより、中心市街地のにぎわい創出と活性化を図る。	空き店舗を活用し開業する事業者や、商業者等で構成する「厚木市まちなか活性化プロジェクト」に対し、補助金を交付する。 また、あつぎ国際大道芸及びあつぎジャズナイト等の魅力あるイベントを開催する。	①中心市街地において、空き店舗を活用して開業する事業者に対し、出店支援金を交付したほか、改装費及び家賃の一部を補助した。 ・認定件数　15件 ②にぎわい爆発あつぎ国際大道芸を開催した。 ・参加者数　約30,000人 ③あつぎジャズナイトを開催した。 ・参加者数　約15,000人 ④本厚木駅前北口広場及び南口駅前広場にイルミネーションを設置した。 ・電球数　27,352球 ⑤市内商業団体が中心市街地の商業活性化を推進する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ・商店街活性化事業数　26事業	49,126	48,475	中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	%	45.0	35.9	79.8	48.0	42.7	89.0	商業観光課
							中心市街地の歩行者数	人	111,500	104,701	93.9	112,000	98,066	87.6	商業観光課

（令和７年度実施事業）

４－３　地域の個性をいかした魅力あるまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　地域に合った計画的な土地利用の推進															
1	国土調査事業	土地に関するトラブルを防ぎ個人の権利や財産を守るとともに、課税の適正化を図ることや公共事業及び災害復旧等の円滑化を図る。 また、公共事業と連携した地籍整備の推進事業として、厚木秦野道路計画予定地の未事業化区間周辺の地籍調査を実施し、厚木秦野道路の早期完成を促す。	「国土調査法」に基づき、土地境界及び地籍に関する測量を行い、一筆ごとに地籍を明確化する。	①地籍を明確化するため、旭町五丁目、上古沢において一筆地調査を実施した。 ・調査面積　19ha ②飯山において、地籍簿・地籍図作成を実施した。 ・作成面積　21ha	3,147	29,514	地籍調査実施面積（累計）	ha	1,181	1,181	100.0	1,215	1,200	98.8	道路総務課
2	土地区画整理推進事業	産業系土地利用を図るため、土地区画整理事業の事業化に向けた検討に対する指導、助言及び支援を行い、計画的かつ充実した都市基盤整備を推進する。	山際地区、山際北部地区及び長谷南部地区の土地区画整理事業の実現に向けた各種調査、設計及び地権者組織に対する支援を実施する。	①山際地区について、準備委員会が開催する会議等に出席し助言を行うとともに、関係機関協議の支援を行った。 ②山際北部地区について、準備委員会が開催する会議等に出席し助言を行うとともに、業務代行予定者の選定に際し、支援を行った。 ③長谷南部地区について、準備会が開催する会議等に出席し助言を行うとともに、関係機関協議の支援を行った。	37,650	3,058	山際地区（約22ha）の土地区画整理事業の進捗状況	―	支援業務	支援業務	100.0	支援業務	支援業務	100.0	区画整理課
							山際北部地区（約12ha）の土地区画整理事業の進捗状況	―	支援業務	支援業務	100.0	支援業務	支援業務	100.0	区画整理課
							長谷南部地区（約20ha）の土地区画整理事業の進捗状況	―	支援業務	支援業務	100.0	支援業務	支援業務	100.0	区画整理課
②　景観形成の推進															
1	景観形成推進事業	「景観法」に基づき、自然景観と都市景観が融合した個性ある景観の形成を図り、緑豊かな美しいあつぎの街並みを目指す。	「厚木市景観計画」における建築物の景観誘導を推進するとともに、市民の景観意識を醸成するため、市内における景観の魅力発信を行う。	市内の魅力ある景観の共有を図るため、厚木市民情報提供システム「スマ報」の投稿をホームページで周知したことにより、厚木の魅力（まちの景観）についての投稿が数多く寄せられた。	45	362	厚木市民情報提供システム「スマ報」による厚木の魅力（まちの景観）投稿件数	件	135	137	100.0	135	136	100.0	都市計画課
③　新たな産業拠点の整備															
1	森の里東土地区画整理推進事業	新たな産業拠点の創出に向け、森の里東地区の計画的かつ充実した都市基盤整備を図る。	組合に対して、適切な指導、助言を行うとともに、事業進捗に合わせて施行地区外の関連する道路や排水路（雨水・汚水）を整備する。	令和６年度に事業完了	―	―	森の里東土地区画整理事業の進捗状況（Ｃ工区）	―	換地処分	換地処分	100.0	―	―	―	区画整理課
							産業用地創出面積	ha	26.8	26.8	100.0	―	―	―	区画整理課
2	酒井土地区画整理推進事業	産業系土地利用を図るため、土地区画整理事業による計画的かつ充実した都市基盤整備を推進する。	施行者である組合に対して、適切な指導、助言を行うとともに、事業費の一部を補助する。 また、事業の進捗に合わせて、関連する施行地区外の道水路を整備する。	①組合に対して事業費の一部を補助した。 ②組合の事業進捗に合わせて、関連する施行地区外の道水路を整備した。	17,000	16,497	酒井土地区画整理事業の進捗状況	―	工事・完成	工事・完成	100.0	換地処分	換地処分	100.0	区画整理課
							産業用地創出面積	ha	20.6	20.6	100.0	20.6	20.6	100.0	区画整理課

（令和７年度実施事業）

４－４　産業・商業の振興

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　商業の活性化に向けた取組の推進															
1	商業活動振興事業	商店会等が実施する消費拡大のための事業を支援することにより、商業の活性化を図る。	子育てを応援しているサポーター店舗で割引やサービスなどの特典が受けられる子育てパスポートＡＹＵＣＯを発行する。 また、各商店会、商店会連合会及び商工会議所が実施する販路拡大や商業活性化に係る事業に対し、補助金を交付する。	①子育てパスポートＡＹＵＣＯ電子システムを改修し、利用者の利便性向上及びサポーター店舗の利用の促進を図った。 ②商店会が協力して行う販路拡大のための共同売出し、宣伝及び装飾等の事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ③商店会連合会が実施する商業振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ④商店会や個人商店のＰＲに係る経費に対し、補助金を交付した。	20,675	482,444	子育てパスポートＡＹＵＣＯ取得者数	人	12,000	12,805	100.0	13,000	14,108	100.0	商業観光課
							商店街活性化事業数	事業	20	29	100.0	21	26	100.0	商業観光課
2	商店街ＬＥＤ化促進事業	商店街の街路灯のLED化を促進することにより、環境にやさしいまちづくりを推進するとともに、商業の活性化を図る。	商店街の街路灯のLED化に係る経費に対し、補助金を交付する。	市内商店会にＬＥＤ化を推奨をしたが、ＬＥＤ化を予定していた商店会の方向性が変わり施工がなかったため、実績なし。	330	0	商店会の街路灯総数に対するLED照明の割合	%	65.0	71.7	100.0	70.0	71.5	100.0	商業観光課
②　創業支援と中小企業支援の充実															
1	商工業振興事業	商工業の振興及び地域経済の活性化を図る。	地域の総合経済団体である厚木商工会議所が実施する商工業団体等組織の強化、後継者育成、経営相談及び指導などの諸事業に対し、補助金を交付する。	厚木商工会議所が行う商工業団体等組織の強化、後継者育成、経営相談及び指導などの諸事業に係る費用に対し、補助金を交付した。	17,200	17,200	合同入社式・研修会参加者数	人	60	49	81.7	70	35	50.0	産業振興課
							中小企業相談件数	件	3,550	2,176	61.3	3,600	2,275	63.2	産業振興課
2	ビジネスチャレンジャー支援事業	創業支援事業計画に基づき、創業の段階に応じて各機関と連携しながら創業者を支援することにより、地域経済の安定的な発展及び新たな雇用機会の創出を図る。	新規開業のために必要な資金の融資を受けた市内創業者に利子補給を行い、創業を支援する。 また、開業手続の実務や事業計画の作成について学ぶ「あつぎ起業スクール」を開催する。	①創業者支援利子補給金については、令和６年度に事業を終了した。 ②あつぎ起業スクールを開催した。 ・開催日数　６日 ・修了者数　50人	2,500	2,496	あつぎ起業スクール修了者の起業者数	人	4	6	100.0	4	8	100.0	産業振興課
3	中小企業活性化推進事業	中小企業の経営基盤の安定化・強化及び受発注機会の拡大を図る。	中小企業診断士が企業を巡回訪問し、経営、技術及び販路拡大等の企業の課題解決に向けた相談を実施する。 また、市内の中小企業者が、受発注機会開拓を目指して見本市・フェア・展示会などに出店する際に掛かる費用の一部を補助する。	①市内中小企業の巡回訪問を実施した。 ・訪問件数　42件 ②市内中小企業者等が販路拡大のため、見本市、フェア及び展示会などに出展した際の費用に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　45件	8,402	8,277	企業巡回訪問件数	件	50	61	100.0	50	42	84.0	産業振興課
							見本市等出展事業補助金交付件数	件	45	44	97.8	50	45	90.0	産業振興課
4	中小企業イノベーション支援事業	中小企業等の市場競争力の強化及び経営基盤の安定化・強化を図る。	製造業を営む市内中小企業及び小規模企業が行う設備投資に対し、補助金を交付する。 また、中小企業の特許等の取得に対し、補助金を交付する。 さらに、中小企業の環境負荷を軽減させる機器等の導入費用に対し、補助金を交付する。	①製造業を営む市内中小企業者が、生産の拡大及び生産の効率化を図るための設備に投資した経費に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　９件 ②市内中小企業者の新技術、新製品の保護及び研究開発を奨励するため、国内の産業財産権（特許、実用新案等）の取得に要する費用に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　４件 ③環境負荷を軽減させる機器等を導入した費用に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　14件	27,900	25,978	中小企業設備投資額	千円	280,000	167,400	59.8	290,000	161,099	55.6	産業振興課
							特許等出願支援補助金交付件数	件	11	8	72.7	12	4	33.3	産業振興課
							中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金交付件数	件	15	14	93.3	20	14	70.0	産業振興課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
5	中小企業事業資金融資事業	中小企業等の経営の安定化を図る。	中小企業等が低利な融資を受けることができるよう、特定金融機関に一定の資金を無利子で預託する。 また、融資制度を活用した中小企業に対し、利子補給金を交付するとともに、神奈川県信用保証協会に支払った保証料に対し、補助金を交付する。	①特定金融機関に一定の資金を無利子で預託し、中小企業者に低利な融資を行った。 ・融資件数　305件 ②厚木市中小企業融資制度（事業資金（運転・一時）、経営近代化資金（運転）を除く）、神奈川県中小企業制度融資の創業支援融資、日本政策金融公庫取扱いの小規模事業者経営改善資金（マル経資金）を利用した市内中小企業が、金融機関へ支払った利子に対し、利子補給金を交付した。 ・交付件数　1,207件 ③厚木市中小企業融資制度、神奈川県創業支援融資を利用した市内の中小企業者が、神奈川県信用保証協会へ支払った保証料に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　298件	1,790,000	1,792,641	中小企業融資件数	件	320	348	100.0	330	289	87.6	産業振興課
							中小企業資金融資利子補給金交付件数	件	1,260	1,072	85.1	1,260	1,207	95.8	産業振興課
							中小企業信用保証料補助件数	件	360	317	88.1	370	298	80.5	産業振興課
6	中小企業等ＳＤＧｓ推進事業	ＳＤＧｓの視点を踏まえた新製品や新技術の開発を支援することで、ステークホルダーである市内中小企業や大学等によるＳＤＧｓ目標の達成に向けた取組の推進を図る。	あつぎＳＤＧｓパートナーに登録する中小企業等が進める新製品や新技術の開発に係る経費を補助する。	あつぎＳＤＧｓパートナーに登録する中小企業等に対し、新製品や新技術の開発に係る経費の一部を補助した。 ・交付件数　２件	9,572	3,900	中小企業等ＳＤＧｓ推進事業補助金の交付件数	件	10	9	90.0	11	2	18.2	産業振興課
③　企業誘致の促進															
1	企業立地サポート事業	幹線道路整備による交通アクセスの優位性等をいかした企業誘致を促進し、雇用の創出や強い財政基盤の構築を図る。	市外企業の誘致及び市内企業の再投資を促進するため、企業立地活動の効果的な支援を行うとともに、「厚木市企業等の立地促進等に関する条例」に基づき、立地企業に対して立地奨励金の交付及び税制優遇措置の適用を行う。	①奨励措置を適用した。 ・適用件数　１件 ②各種奨励金を交付した。 ・企業立地奨励金　７件 ・戦略産業奨励金　１件 ・雇用奨励金　１件 ③新たに創出を予定している産業用地に適した業種を把握するため、産業立地可能性調査業務を実施した。	119,967	86,861	立地に伴う奨励措置の適用件数（累計）	件	13	15	100.0	15	16	100.0	産業振興課
④　先端技術産業の推進															
1	ロボット産業推進事業	「さがみロボット産業特区」を活用し、先進的な技術を有しロボットの製造・開発を行っている市内企業等の紹介をするとともに、将来のロボット産業を担う人材育成やロボットの普及促進を図る。	市民がロボットを身近に親しめるイベント等を開催するとともに、あつぎものづくりブランドプロジェクト（ＡＴＳＵＭＯ）との協働により、次世代を担う子どもたちを対象としたロボット教育や市内企業等を対象に先端技術に関する講演会を実施する。 また、市内中小企業がロボット、ＩＴ・ＩｏＴ、ＡＩ等の先端技術を導入する際に要した経費の一部を補助する。	①ロボット関連産業等促進事業補助金を交付した。 ・交付件数　４件 ②ロボットの動作の実演や講義を通じて、ロボットに親しむ機会を提供し、ロボットの動く仕組みや扱い方について、正しい知識を身に着けるため、ロボットリテラシー事業を実施した。 ・参加者数　768人 ③市におけるロボット関連事業への支援、企業及び大学の取組を他市町村や企業等に広く周知し、本市のロボット関連事業を含めた魅力をＰＲするため、あつぎ生まれのロボット発信事業を実施した。 ④ロボットを始めとした先進技術に関する講演会に外部講師を招いて、市民を対象に実施した。 ⑤厚木市青少年発明コンクール入賞作品を具体化した試作品を製作し発表し、ものづくりの楽しさを実感していただき、理科や科学への興味や関心を向上させるため、ＡＴＳＵＭＯ発明実現プロジェクトを実施した。	3,040	3,341	ロボットリテラシー事業への参加者数	人	740	589	79.6	750	768	100.0	産業振興課
							ロボット関連補助金交付件数	人	4	1	25.0	5	4	80.0	産業振興課

（令和７年度実施事業）

４－５　安心して働くことができるまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　勤労者支援の充実															
1	就労対策事業	市内企業の人材確保、技術承継の推進を図る。 また、様々な求職者の状況に対応する相談や講座を実施することにより、就労（転職）のための情報やスキルを提供して就労の促進を図る。	就労のための情報やスキルを提供するセミナー等を実施するとともに、就職支援や賃上げ支援、勤労者等相談を実施する。 また、障がい者又は高年齢者を１年以上常用雇用している中小企業者に対し、奨励金を交付する。 さらに、大学等在学中に利用した奨学金を返済している市内在住勤労者に対して助成金を交付する。	①障がい者又は高年齢者を１年以上常用雇用している中小企業者に対し、奨励金を交付した。 ・障がい者雇用交付件数　38件 ・高年齢者雇用交付件数　85件 ②市内在住かつ在勤の奨学金返還者に対し、奨学金返還の一部を補助する助成金を交付した。 ・勤労者奨学金交付件数　234件	44,324	36,351	高年齢者継続雇用奨励補助金交付件数	件	85	83	97.6	90	85	94.4	産業振興課
							障害者雇用奨励交付金交付件数	件	44	38	86.4	44	38	86.4	産業振興課
							勤労者奨学金返済助成金交付件数	件	160	202	100.0	170	234	100.0	産業振興課
2	技能振興事業	技能職団体等の活動を助成することにより、技能後継者の育成、優れた技能の継承を促進するとともに、技能職者の連携・地位向上を図る。	技能職団体の連携・地位向上を図るための活動及び職業訓練校に対し、補助金を交付する。 また、職人の技と伝統を伝え、若年者の職業選択の機会を拡大するため、市内外への広報活動を実施する。	①職業訓練校に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　１件 ②職人の技と伝統を伝え若年者の職業選択の機会を拡大するため、技能教室を開催した。 ・参加者数　31人	272	241	技能教室参加者満足度	%	100.0	93.5	93.5	100.0	87.1	87.1	産業振興課
②　勤労者の福利厚生支援															
1	中小企業勤労者助成事業	中小企業勤労者及びその家族のための福利厚生事業を推進するとともに、中小企業の振興及び安定した労働力の確保を図る。	（公財）厚木市勤労者福祉サービスセンターに対し、補助金を交付する。 また、（独法）勤労者退職金共済機構が実施する中小企業退職金共済又は厚木商工会議所が実施する特定退職金共済と共済契約を締結している中小企業者に対し、掛金の一部を補助する。	（公財）厚木市勤労者福祉サービスセンターに対し、補助金を交付した。	38,000	38,000	（公財）厚木市勤労者福祉サービスセンター加入会員数	人	5,200	4,815	92.6	5,300	4,960	93.6	産業振興課
							中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数	社	110	93	84.5	110	75	68.2	産業振興課
2	勤労者貸付融資預託事業	市内在住勤労者の教育、生活及び住宅資金等臨時的資金需要への低利かつ円滑な貸付けを行い、勤労者の負担を軽減することで、生活の安定と向上を図る。 また、住宅資金を借り入れた場合の金利負担を軽減し、定住を促進する。	勤労者のための福祉金融機関である中央労働金庫に対し、貸付金の原資を預託する。 また、中央労働金庫から、市内に自己居住用の住宅を購入するために資金を借り入れた勤労者に対し、利子補給金を交付する。	①勤労者の教育、生活及び住宅資金等臨時的資金需要への低利な融資を行った。 ・勤労者生活資金融資件数　43件 ②中央労働金庫から、市内に自己居住用の住宅を購入するために資金を借り入れた勤労者に対し、利子補助金を交付した。 ・勤労者住宅資金利子補給金交付件数　51件	200,994	200,642	勤労者生活資金融資件数	件	70	53	75.7	70	43	61.4	産業振興課

（令和７年度実施事業）

４－６　観光の振興

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　広域観光の推進															
1	広域連携観光推進事業	点在する観光資源を束ね、広域連携による観光プロモーションを行うことにより、回遊性や情報発信力を高め、観光地としての魅力を向上させ誘客の促進を図る。	近隣の自治体や観光協会、その他関係団体等と協働で該当エリア内の回遊性を高める事業を展開する。	丹沢大山宣伝協議会負担金を支出し、協議会を運営した。	75	75	大山エリア（厚木市・伊勢原市・秦野市）の観光消費額（年間）	千円	25,830,000	34,479,203	100.0	25,840,000	31,428,222	100.0	商業観光課
							宮ヶ瀬エリア（厚木市・愛川町・清川村）の観光消費額（年間）	千円	18,420,000	27,793,203	100.0	18,430,000	22,985,509	100.0	商業観光課
②　観光資源の磨き上げの推進															
1	観光資源活性化事業	豊かな自然や温泉等の既存の観光資源を活用するとともに、新たな地域資源を創出することにより、地域の活性化を図る。	地域団体や事業者との協働により、地域資源を整備するとともに、新たな観光資源を創出する。	①地域と共同で地域資源を活用した花の里づくりを推進するため、花の育成に必要な消耗品を購入した。 ②地域の観光資源活性化を図るために、活動する団体に対し、費用の一部を補助した。 ・交付件数　３件 ③観光総合ガイドブック等の作成に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　１件 ④観光地としての魅力づくりや集客アップを目的に鮎やホルモンを活用したイベントを実施した。	6,297	6,847	飯山・七沢地区の延べ観光客数（年間）	人	1,316,000	999,059	75.9	1,332,000	1,007,932	75.7	商業観光課
2	受入環境整備事業	市内の観光施設や飲食店などの受入環境を整備することで、訪れた観光客の満足度向上を図り、リピーターを含む観光客拡大につなげる。	本市を訪れた観光客の満足度を向上させるため、受入環境整備に係る費用の一部を補助するほか、受入者のおもてなし意識の向上やスキルアップを図る事業を展開する。 また、観光客のニーズを調査し、求められているサービスを提供することで観光客の増加につなげる。	①外国人観光客の方が快適に過ごせるよう、外国語表記のパンフレットやメニューなどを作成する事業者の方に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　３件 ②インバウンド観光を推進するため、外国人観光客を対象とした周遊観光ツアーを実施した。 ・参加者数　20人	1,700	1,375	市内の延べ観光客数（年間）	人	3,543,000	2,458,965	69.4	3,897,000	2,313,076	59.4	商業観光課
3	健康づくり村推進事業	地域における自然的特徴や文化、多様な人材の想像力などをいかした、市民協働による取組として「健康づくり村推進事業」を展開し、地域の活性化を図る。	本市の自然、文化、歴史等の観光資源を活用し、市民等の健康増進を目的とした事業を実施する団体等に対し補助金を交付する。 また、森林セラピーツアーの新たな展開や案内人のスキルアップを図るため、３年に一度、森林セラピー基地案内人の養成講座及び更新講座を実施する。	①本市の自然、文化、歴史等の観光資源を活用し、市民等の健康増進を目的とした事業を実施する厚木市観光協会に対し補助金を交付した。 ・交付団体　１団体 ・森林セラピー 実施回数　２回 参加者数　37人 ・健康づくり大学 実施回数　３回 参加者数　58人 ②森林セラピーツアーの新たな展開や案内人のスキルアップを図ることを目的に森林セラピー基地案内人の更新講座を実施した。 ・更新者数　５人	410	350	事業参加者満足度	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	商業観光課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
4	観光行事推進事業	魅力ある観光イベントを開催することで、市内への集客向上を促し、地域経済の活性化を図る。	あつぎ鮎まつりやあつぎ飯山桜まつり等、魅力ある観光イベントを開催するほか、活力ある地域づくりを担う地域観光まつり事業に対して補助金を交付する。	①あつぎ鮎まつりを２日間にわたって開催した。 ・来場者数　延べ約330,000人 ②あつぎ飯山桜まつりを９日間にわたって開催し、飯山白龍太鼓・白龍の舞、飯山花音頭、さくら奏などの催しのほか、桜のライトアップなどを実施した。（３月29日土曜日は雨天のため、全催しを中止） ・来場者数　延べ約15,000人 ③地域観光まつりに対し、補助金を交付した。 ・交付件数　４件（厚木観光桜まつり、相模川ローズガーデンフェスティバル、七沢森のまつり、南口ホコ天まつり）	104,400	104,255	観光消費額 （年間）	千円	19,100,000	26,587,536	100.0	19,550,000	21,690,977	100.0	商業観光課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
5	飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業	本市の観光拠点である飯山白山森林公園桜の広場及びその周辺の機能を充実し、観光地としての魅力向上を図る。	桜の広場を中心とするエリアについて、観光拠点としての機能強化に資する基本構想に基づき整備を進める。	飯山白山森林公園桜の広場整備構想に基づき、整備対象範囲内にて５件の整備を行った。 ・白山ハイキングコース男坂先階段設置修繕 ・白山ハイキングコース展望台下階段設置修繕 ・白山ハイキングコース女坂手摺柵修繕 ・白山ハイキングコース案内看板修繕 ・白山ハイキングコース女坂階段修繕	7,524	5,881	飯山白山森林公園桜の広場観光客数（年間）	人	490,700	395,656	80.6	539,700	347,440	64.4	商業観光課
③　情報発信の充実															
1	観光プロモーション事業	本市の魅力となる地域資源や特性などを市内外へ広く紹介するほか、ターゲットを絞った効果的なプロモーションを展開することで、観光客の誘致拡大を図り、地域経済の活性化につなげる。	パンフレットの作成や各種メディア、SNSを活用した情報発信を展開するほか、マスコットキャラクターや本市の魅力ある食を認定したOEC フードを積極的に活用したプロモーション活動を実施する。 さらに、大山・宮ヶ瀬を核とする本市の観光資源の良さを体験してもらうため、プロモーションを展開するなど、市内外に向け広く紹介する。	①ハイカー向け観光マップをリニューアルした。 ・作成部数　10,000部 ②観光プロモーションのツールとしてマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」を活用した、啓発物品を作成したほか、キャラクターイベントに出演し本市のＰＲを行った。 ・イベント出演件数　５件 ③本市の魅力となる優れた食を「あつぎ食ブランド」として認定した。 ・新規認定件数　１件 ④交流人口の増加を促すため、観光資源としてブラッシュアップした道標等の位置を管理する「厚木市道標マップ」の修正・更新を行った。 ⑤厚木パーキングエリアへリーフレットスタンドを設置し、丹沢・大山・宮ヶ瀬観光ＭＡＰを配架した。 ・配布部数　10,240部	4,571	3,748	厚木市観光協会ホームページのアクセス件数	件	1,836,300	2,086,794	100.0	1,884,650	2,071,299	100.0	商業観光課

（令和７年度実施事業）

4-7　シティプロモーションと定住促進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費 当初予算額（千円）	令和７年度事業費 決算額（千円）	指標名	単位	令和６年度事業指標 令和６年度目標値	令和６年度事業指標 令和６年度実績値	令和６年度事業指標 令和６年度達成率（%）	令和７年度事業指標 令和７年度目標値	令和７年度事業指標 令和７年度実績値	令和７年度事業指標 令和７年度達成率	令和８年度担当課
①　シティプロモーションの推進															
1	交流の場創出事業	第２期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略に掲げる将来の目標人口の実現を目指し、20・30歳代を中心とした若い世代の転入・定住促進と合計特殊出生率の上昇を図る。	若い世代で構成する組織において、新たな出会いの場や交流の場を創出するための事業を検討・実施する。	①婚活ツアーを実施し、結婚を希望する市民に対し、出会いの場を提供した。 ・参加者数　78人 ②プログラミング講座を通した交流会を開催し、新たな交流の場を提供した。 ・参加者数　120人 ③ｅスポーツを通した体験、イベント、交流会を開催し、新たな交流の場を提供した。 ・参加者数　延べ1,650人	6,300	6,298	事業（出会いの場・交流の場）参加者の満足度	%	100.0	94.3	94.3	100.0	97.4	97.4	企画政策課
2	魅力発信事業	市民が誇りを感じ、全国から憧れを抱かれるまちの実現を目指し、本市の魅力や優れた施策を広くＰＲする。	ホームページの充実やＰＲ動画の作成・発信、SNS広告など、インターネットやソーシャルメディアを効果的に活用し、本市の特長や魅力、施策等を市民はもとより、広く市外に発信する。	①「企業」と「教育」を題材としたＰＲ映像を制作した。 ・制作本数　２本 ②ＳＮＳ等広告事業として、ＹｏｕＴｕｂｅ広告においてシティプロモーション推進業務委託で制作したＰＲ映像、①で制作した映像を公開した。なお、①で制作した映像は小田急線の車内広告でも公開した。 ・公開本数　４本 ③講座予約システムを開発し、ＬＩＮＥの機能を拡張した。 ④ＬＩＮＥ公式アカウントを使った情報発信を実施した。 ・発信件数　468件	29,579	22,110	公式SNSの利用登録者数	人	88,000	83,652	95.1	95,000	94,964	100.0	広報シティプロモーション課
							あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	広報シティプロモーション課
②　定住促進に向けた取組の推進															
1	定住促進住宅取得等支援事業	バランスの取れた人口構成の実現による若年世代から高齢者まで、互いに支え合えるまちづくりを目指すとともに20歳代、30歳代の転出超過に歯止めをかけるため、若年世帯の「転入促進」と「転出抑制」の二つの視点から効果的に若年世帯の定住促進を図る。	市内に居住する親世帯と近居又は同居するために市外から転入し、住宅を取得又は増改築する世帯及び市外から転入又は市内に居住し、新たに住宅を取得する子育て中の若年世帯に対し、住宅の取得費用等の一部を補助する。	①親元近居・同居住宅取得等支援事業により、住宅の取得に係る費用の一部を補助した。 ・申請件数　55件 ・転入者　164人 ②若年世帯住宅取得支援事業により、住宅の取得に係る費用の一部を補助した。 ・申請件数　255件（870人） ・転入者　66件（212人） ・転居者　188件（658人） ・建替え　１件　（５人）	90,000	106,300	親元近居・同居住宅取得等支援事業による転入者数	人	130	171	100.0	130	164	100.0	住宅課
							若年世帯住宅取得支援事業による転入者数	人	190	190	100.0	190	212	100.0	住宅課
2	（再掲）2-1 介護職人材確保支援事業	市内の介護・福祉指定事業所等が、介護・障がいサービスの利用者に対し、継続した質の高いサービスを提供するために、優れた人材の確保及び定着の促進を図る。	市内の介護保険指定事業所等への就業希望者等に対して事業所説明会等を実施するとともに、介護従事者の研修費、人材確保を目的とした求人情報紙等への掲載に要した経費及び雇用継続のための職場環境の整備等、事業所が実施する様々な施策について費用の一部を助成する。 また、介護福祉士等の資格保有者等で市内介護事業所等に就労する方を対象に、転入や復職等に対し、奨励助成金を交付する。	①市内の事業所等に就労する介護職等有資格者に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金　０件 ・転入奨励助成金　14件（介護12件、障がい２件） ・復職等奨励助成金　８件（介護８件、障がい０件） ②介護従事者の研修費用等を助成した。 ・研修支援事業助成金　79件（介護66件（うち初任者研修・当該年度採用者数18件）、障がい13件（うち初任者研修・当該年度採用者数３件）） ・人材確保及び育成支援補助金　117件（介護64件、障がい53件） ③事業所説明会（就職相談会）を実施した。 ・採用者数　８人	34,790	25,364	介護職等に就職した人数	人	48	35	72.9	50	51	100.0	介護福祉課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
3	（再掲）2-2 幼稚園教諭確保助成事業	幼児教育・保育の無償化に伴う、教育・保育ニーズの増加・多様化に対応するため、幼児教育・保育に携わる人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。 また、新たな教育人材の確保を図るため、幼稚園等を設置する学校法人等に対し、幼稚園教諭等の雇用に係る費用の一部を補助する。	①市内の私立幼稚園に就労する幼稚園教諭有資格者に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金　２件 ・転入奨励助成金　２件 ・復職等奨励助成金　２件 ②市内幼稚園等の支援のため、人材確保及び雇用に関する経費について補助金を支出した。 ③採用から最長５年間、厚木市内の園に継続して勤務される方への支援策として、給付金制度をスタートさせた。	30,850	28,096	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	10	4	40.0	10	2	20.0	こども育成課
							幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	4	4	100.0	4	2	50.0	こども育成課
							幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	4	0	0.0	4	2	50.0	こども育成課
4	（再掲）2-2 保育士確保対策事業	待機児童ゼロを堅持するため、保育人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立保育施設に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。また、保育士確保を推進するための就職相談会を実施する。	市内の私立保育所等に就労した潜在保育士等に対し、助成金を交付した。 ①奨学金返済助成金　５件 ②転入奨励助成金　５件 ③復職等奨励助成金　５件	2,800	1,617	奨学金返済助成金支給者数	人	30	6	20.0	30	5	16.7	保育課
							転入奨励助成金支給者数	人	5	1	20.0	5	5	100.0	保育課
							復職等奨励助成金支給者数	人	5	3	60.0	5	5	100.0	保育課
5	（再掲）2-3 看護職等人材確保支援事業	更なる高齢化の進展に伴う医療需要に対応するため、看護職（保健師、看護師、助産師、准看護師）及び歯科衛生士の人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	市内の医療機関に勤務する方を対象に、奨学金を利用して看護職又は歯科衛生士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、看護職有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。	市内の医療機関に就労する看護職有資格者等に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金　24件 ・転入奨励助成金　78件 ・復職等奨励助成金　２件	19,000	11,250	奨学金返済助成金支給者数	人	60	36	60.0	60	24	40.0	健康医療課
							転入奨励助成金支給者数	人	145	58	40.0	145	78	53.8	健康医療課
							復職等奨励助成金支給者数	人	10	6	60.0	10	2	20.0	健康医療課

（令和７年度実施事業）

４－８　農業・林業・水産業の振興

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　農地有効利用の推進															
1	新規就農者支援事業	農業従事者の高齢化や後継者不足等の課題解決及び都市農業の持続的な発展に向け、新規就農者の創出及び育成を図る。	次世代を担う農業者となることを志向するものに対して、独立・自営就農直後の経営確立を支援する資金を交付するとともに、就農後の営農定着を促進するため、新規就農支度金を交付する。	新たな担い手となる新規就農者に対して、マッチングや営農後の経営確立に向けた資金の交付などの支援・育成を行った。	40,100	12,421	認定新規就農者数（累計）	人	42	41	97.6	46	43	93.5	農業政策課
2	農業担い手育成対策事業	本市農業の一層の推進を図るため、総合的な農業振興の調査・研究等を行うとともに、農業後継者や中心となる担い手の確保・育成を図る。	各農業関係団体、認定農業者及び農福連携に取り組む農業者を支援する。 また、市民に対する農業理解を深めるため、市民農園を運営する。	農業の後継者対策、都市農業の振興、新たな働き手の確保のため、担い手の確保・育成、農業振興の調査・研究及び農福連携を推進した。	7,735	4,398	認定農業者数	人	71	76	100.0	73	75	100.0	農業政策課
3	農業経営基盤強化促進事業	農業者及び農業関係団体等を支援することにより、農業の担い手の経営改善を図る。	厚木市農業協同組合が実施する各種営農相談事業に対し、補助金を交付するとともに、農業者の高齢化や担い手不足を支援するため、農業機械の導入に対し、補助金を交付する。	①営農集団の農業機械導入を支援した。 ②厚木市農業協同組合生産組合長会の運営を支援した。 ③営農相談及び作目別講習会等の開催を支援した。 ④経営所得安定対策等の申請受付及びデータの取りまとめ等を行った。	4,907	4,035	営農指導・相談件数	件	3,800	2,189	57.6	3,800	2,350	61.8	農業政策課
4	農業振興地域整備計画事業	「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、県が指定した厚木市内の農業振興地域について、農用地の用途区分、農業生産基盤の整備等を柱として策定した「厚木市農業振興地域整備計画」を定期的に見直し、土地農業上の利用と他の利用との調整に留意しながら、集団化した優良農地を保全する。	農用地等の保全及び利用の状況等を把握するため基礎調査等を行い、「厚木市農業振興地域整備計画」を改定する。	令和６年度に行った基礎調査の内容及び農業振興地域の整備に関する法律に基づき、計画の改定に係る関係機関との調整及び県への提出が必要な図面等の業務委託を実施した。	3,860	3,404	農業振興地域整備計画の改定	ー	基礎調査	基礎調査	100.0	関係機関等との調整	関係機関等との調整	100.0	農業政策課
5	耕作放棄地再生利用事業	耕作放棄地を農地に再生し、新規就農者が中心となり作付けを行うことにより、農地の保全及び農業経営の安定化を図る。	耕作放棄地を再生する費用の一部を補助する。 また、再生した農地で使用する出荷調製用機械等について、導入する費用の一部を補助する。	①耕作放棄地を再生するための費用の一部を補助することで、耕作放棄地の縮減を図った。 ②再生した土地を新たな担い手が有効活用するための機械の一部の補助を行った。	1,529	1,457	耕作放棄地再生利用面積	ha	1.05	1.39	100.0	1.08	0.96	88.9	農業政策課
							小麦の作付面積	ha	5.33	3.74	70.2	5.86	4.11	70.1	農業政策課
6	農地有効利用促進事業	遊休農地を解消するとともに、発生を予防することにより、食料生産及び景観形成等の多面的な機能を持つ農地を保全する。	「農業経営基盤強化促進法」に基づく利用権設定者に対し、奨励金を交付するとともに、関係機関と連携し、経営規模拡大志向の認定農業者等に、利用権設定を斡旋することにより、担い手への農地の集積及び農地の有効利用を促進する。	農地の貸し手と借り手に対する農地流動化奨励金の交付により、経営規模の拡大を希望する農業者への農地の集積、遊休農地の発生防止と解消を図った。	11,174	9,574	利用権設定面積（総数）	ha	169	171	100.0	173	181	100.0	農業政策課
7	農業基盤整備事業	農道や農業水利施設（かんがい用排水路及び取水堰等）の整備・改修を行うことにより、通行等の利便性の向上及び大型機械導入や農業用水管理が容易となり、労力の省力化が図られる等、農作業の効率化や生産性の向上を図る。	農業生産の基盤である農道、かんがい排水路及び取水堰の改修及び工事を実施する。	農道及びかんがい排水路の改修工事を実施した。	111,313	95,799	農道整備・改修路線数	路線	1	2	100.0	1	0	0.0	農業政策課
							農業水利施設整備・改修路線又は箇所数	路線（か所）	6	4	66.7	6	6	100.0	農業政策課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
②　地産地消の推進・６次産業化の推進															
1	地産地消推進事業	市民に新鮮で安心・安全な農畜産物を供給する場を提供するほか、農業まつりを通じて地場農産物を紹介するなど、地産地消の推進を図る。また、環境保全の効果が高い農業の取組を推進する。	各農産物直売所における直売所まつりの開催等に交付金を交付するほか、市民朝市や夕焼け市の開催及び農業まつりの開催支援等を行う。	厚木市民朝市や夕焼け市、各農産物直売所、直売所まつりの開催等に交付金等を支出し支援を行った。	4,780	4,780	朝市来場者数	人	18,600	25,300	100.0	18,800	24,500	100.0	農業政策課
							夕焼け市来場者数	人	11,800	10,150	86.0	12,000	9,020	75.2	農業政策課
							農業まつり・直売所まつり来場者数	人	8,700	15,200	100.0	8,800	15,400	100.0	農業政策課
2	畜産経営支援対策事業	畜産経営者の労働力軽減と畜産管理技術の向上を期するとともに、経営の安定を図る。	悪臭等を防止するための環境対策を支援する。 また、家畜排せつ処理施設の整備導入を補助するほか、優良牛・優良種豚等の導入や家畜伝染病等の予防に対する補助及び労働力の軽減を図るための酪農ヘルパーの活用を支援する。	畜産農家への環境対策や優良牛・優良種豚の導入、家畜伝染病の予防、酪農ヘルパー等に対して補助金を支出し、営農継続を支援した。	11,474	10,040	畜産農家数	戸	12	11	91.7	12	11	91.7	農業政策課
							酪農ヘルパー利用回数	回	300	236	78.7	300	229	76.3	農業政策課
3	園芸振興対策事業	都市近郊としての有利性をいかした都市農業の確立を図るとともに、新鮮で安全な農産物を生産するため、機械や最新技術等の導入による経営の合理化と省力化を推進することにより、園芸作物の振興を図る。	高品質な花きを生産するための園芸施設・機械及び消費者ニーズに合った新品種・優良品種の導入を補助するとともに、フラワーアレンジ教室の開催及び市内公共施設へのフラワーポット植栽事業等に交付金を交付する。 また、野菜生産の省力化・品質向上・価格の安定化、及び果樹の品質向上のための施設整備等に対し補助金を交付する。	新品種及び優良品種の導入に対して補助を実施するとともに、フラワーアレンジ教室の開催やフラワーポット植栽事業に交付金を交付した。	13,034	12,884	園芸協会会員数	人	106	100	94.3	106	97	91.5	農業政策課
							花苗・野菜苗売上個数	個	170,000	170,000	100.0	175,000	126,000	72.0	農業政策課
4	農産物ブランド化推進事業	持続可能な「あつぎの農業」の実現に向けた取組として、厚木ブランドの農産物を育成・発展させていく必要があることから、厚木の新しい農産物ブランドとして育成するための調査・研究を実施し、市独自のブランド品開発等の推進を図る。	新たな農産物ブランド化事業に意欲的に取り組む事業実施者に対して支援を実施する。	農産物のブランド化事業に取り組む事業実施者に対し、交付金を交付した。	6,000	6,000	交付金交付件数	件	2	4	100.0	2	3	100.0	農業政策課
5	国際園芸博覧会出展事業	新たな暮らし・地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催する国際園芸博覧会へ出展し、本市の魅力を広く発信する。	2027年国際園芸博覧会への出展に向けて、企画・立案・設計・庭園の造設等を実施する。	2027年国際園芸博覧会への出展に向けて、厚木市農業協同組合及び厚木市造園業協会との協力体制を構築したほか、庭園のイメージパースを作成した。	1,000	868	国際園芸博覧会出展事業の進捗状況	－	－	－		基本設計	基本設計	100.0	農業政策課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
③　鳥獣被害対策の強化															
1	鳥獣等被害対策事業	有害鳥獣の捕獲及び追い払い等により、野生動物の農耕地等への侵入を防ぎ、被害を減少させ、農業経営の安定化を図る。	ニホンザルの追い払い、ニホンザル、ニホンジカの管理捕獲及び有害鳥獣の捕獲を実施するとともに、個人防護柵を設置する農業者等に対し、補助金を交付する。 また、ヤマビルが生息しにくい環境を整備するため、地域住民との協働により、草刈りや落ち葉かき等を実施する。	①「追い払い員」等によるニホンザルの監視を実施した（出没時：煙火、エアガン等による群れの追い払い対応）。 ・監視日数　359日 ②捕獲ワナ貸出による中型動物の捕獲を実施した（アライグマ、タヌキほか）。 ・捕獲頭数　167頭 ③人里側に生息するニホンジカ、イノシシの捕獲に対する「捕獲報奨金」を交付し、捕獲推進に努めた。 ・捕獲頭数　145頭 ④個人防護柵設置者に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　17件 ⑤ヤマビル被害防除対策として、地域住民により「草刈り」「落葉かき」を実施した。また、希望する市民に対して「忌避剤」（木酢液）を配布した。 ・忌避剤配布本数　157本 ・参加者数　1,671人	26,493	27,671	有害鳥獣による農作物被害額減少率	%	95.4	80.7	84.6	97.4	76.7	78.7	農業政策課
							ヤマビル対策事業参加者数	人	1,900	1,651	86.9	1,900	1,671	87.9	農業政策課
④　林業への支援															
1	林業振興事業	材木の健全な育成を促進し、森林の持つ公益的な機能を効率的に発揮させるとともに、林業の振興を図る。	枝打ちや除間伐を行う厚木市森林組合に対し、補助金を交付するとともに、高性能林業機械の導入及び間伐材搬出を支援する。 また、地元産木材の活用をPRする。	①材木の健全な成長を促進するため、人工林を対象に、枝打・除伐・間伐を行う方に対し、補助金を交付した。 ②森林整備の円滑な実施に向け、高性能林業機械（バックホーグラップル等）のレンタルや間伐材の搬出を行った。	28,751	28,735	枝打ち・除間伐対象面積	ha	3.0	4.0	100.0	3.0	2.8	93.3	農業政策課
							間伐材の搬出量	m3	2,000	1,674	83.7	2,000	2,089	100.0	農業政策課
⑤　水産業の活性化															
1	浜の活力再生プラン推進事業	相模川・中津川の水産業等の活性化を図ることを目的とする「浜の活力再生プラン」に位置付けたアユの保護やアユを活用した６次産業化等の取組を、関係行政機関や関係漁業団体等と連携を図る。	水産業の活性化に向け、相模川の流域市町村及び内水面漁業関係者と連携し、漁業の生産性向上を支援していく。	内水面漁業関係者と協力して、相模川のアユの生態系調査等を実施するなど、漁業の生産性向上に努めた。	0	0	天然アユ遡上数	尾	8,000,000	10,000,000	100.0	8,000,000	5,150,000	64.4	農業政策課
							親アユの放流数	kg	800	800	100.0	800	800	100.0	農業政策課

（令和７年度実施事業）

５－１　地球温暖化対策の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　環境教育の推進と環境問題に対する意識啓発															
1	環境教育促進事業	将来に住みよいまちを残すため、環境保全の重要性等について市民の理解を深める。	環境教育を推進するため、厚木市環境教育推進プランに基づき環境学習講座を実施するとともに、「あつぎ環境フェア」を隔年で開催する。	①環境学習講座「昔の暮らしを体験しよう」を開催した。 ・開催時期　令和７年８月８日 ・参加者数　12人 ②環境学習講座「環境シンポジウム」を開催した。 ・開催時期　令和８年２月７日 ・参加者数　70人 ③環境学習講座「市内産の津久井在来大豆を使った味噌作り」を開催した。 ・開催時期　令和８年３月７日 ・参加者数　47人 ④11名のジュニアエコリーダーに講座を５回実施した。	847	634	環境学習講座の実施回数	回	90	78	86.7	95	86	90.5	環境政策課
							環境フェアで環境に対する理解が深まったと思う来場者の割合	%	－	－	－	90.0	85.2	94.7	環境政策課
2	環境基本計画改定事業	市民、事業者、民間団体・組織及び行政が協力・連携し、望ましい環境像「みんなでつくる、自然環境と共生する元気なまち」の実現を目指す。	これからの環境の保全等に関する施策を総合的・計画的に進めていくための基本的な計画として第６次厚木市環境基本計画を策定する。	環境基本計画改定の基礎資料として、市民、事業者及び小学生を対象にアンケート調査を実施した。 ・対象者数　1,795人 ・回答者数　187人	3,300	3,300	第６次環境基本計画の改定	－	－	－	－	調査・分析	調査・分析	100.0	環境政策課
②　再生可能エネルギーの導入推進															
1	カーボンニュートラル推進補助事業	カーボンニュートラル実現のため、再生可能エネルギーの導入を推進する。	再生可能エネルギーの導入等に係る経費に対し補助金を交付する。	①住宅省エネ設備導入促進奨励金を交付した。 ・住宅用太陽光発電システム　155件 ・住宅用蓄電池システム　156件 ・家庭用燃料電池　２件 ②省エネ住宅導入促進奨励金を交付した。 ・ＺＥＨ　10件 ・ＬＣＣＭ住宅　１件 ・断熱窓改修　33件 ③事業所用省エネ設備導入促進補助金を交付した。 ・太陽光発電システム　11件 ・蓄電池システム　６件 ④電気自動車等導入奨励金を交付した。 ・電気自動車　41件 ・Ｖ２Ｈ　８件	171,734	105,049	補助により導入された太陽光発電装置の発電容量	kW	1,000	1,110	100.0	1,100	1884	100.0	環境政策課
							省エネ住宅導入に対する補助金交付件数	件	10	13	100.0	12	10	83.3	環境政策課
							EV購入に対する補助金交付件数	件	80	37	46.3	90	41	45.6	環境政策課
③　温室効果ガスの排出抑制															
1	カーボンニュートラル推進事業	カーボンニュートラル実現のため、温室効果ガスの排出抑制を推進する。	カーボンニュートラルプラットフォームの運営管理やカーボンニュートラルネットワークの運営を行う。 また、市の事務事業の実施により排出されるCO2を削減するため、公共施設へ太陽光発電及び蓄電池の設置並びに照明のLED化を進める。	①カーボンニュートラルプラットフォームを活用し、カーボンニュートラルの普及・啓発を行った。 ・市内企業の取組記事掲載件数　11件 ②神奈中バスのデジタルサイネージを活用し補助金情報の広報を行った。 ・放映期間　５月～３月（11か月間） ③公共施設から排出されるＣＯ２を削減するため、太陽光発電及び蓄電池を設置するとともに照明のＬＥＤ化を実施した。 ・太陽光発電を設置した施設数　12施設 ・蓄電池を設置した施設数　９施設 ・ＬＥＤ化を実施した施設数　32施設	2,258	1,772	カーボンニュートラルプラットフォーム年間PV数	件	44,000	56,137	100.0	47,000	44,490	94.7	環境政策課
							公共施設へ新規に設置した太陽光発電の容量	kW	500	425	85.0	500	494	98.8	環境政策課
2	ＥＶごみ収集車導入事業	「第５次厚木市環境基本計画」及び「厚木市地球温暖化対策実行計画」で掲げる脱炭素社会の推進のため、ごみの焼却により発電した電力を使用するＥＶごみ収集車を導入、運用し、脱炭素社会の象徴として「2050年カーボンニュートラル」の浸透を図る。	「2050年カーボンニュートラル」を目指す市の立場を明確にするための先進的な取組として、ごみの焼却により発電した電力を使用するＥＶごみ収集車を順次導入、運用する。	①令和３年度及び令和５年度に導入したＥＶごみ収集車２台を運用し、ごみ収集業務を行った。 ②新たにＥＶごみ収集車１台を追加導入した。	15,937	12,385	ＥＶごみ収集車導入台数（累計）	台	2	2	100.0	3	3	100.0	資源循環推進課

（令和７年度実施事業）

５－２　未来へつなげる循環型都市の実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　３Rの推進による家庭系ごみの減量化・資源化															
1	ごみ減量化・資源化推進事業	循環型社会の形成を図るため、ごみの減量化・資源化を推進する。	もえるごみの減量や資源物の適正な収集及び処理を行うほか、適正な分別の周知・啓発活動を実施するとともに、家庭系ごみの排出量が少ない自治体の調査・研究及びもえるごみの戸別収集の効果等を総合的に検討する。	①資源物の適正な収集及び処理を行い、ごみの減量化・資源化の推進に努めた。 ②自治会及び地域団体等に、ごみの減量化・資源化の推進に向けて広報あつぎ等で広報啓発活動を実施した。 ③市内全戸にあつぎごみ減量化・資源化通信を配布し、ごみの減量化・資源化の推進に向けた周知啓発を行った。 ④家庭から出る生ごみの減量を推進するため、家庭用生ごみ処理機を購入した市民に対して補助金を交付した。	1,638,117	1,568,138	一人１日当たりの家庭系ごみの排出量	g	392	389	100.0	384	386	99.5	資源循環推進課
							家庭から出るごみの資源化率	%	38.9	33.7	86.6	39.8	33.1	83.2	資源循環推進課
②　事業系ごみの更なる減量化・資源化															
1	事業系ごみ対策事業	事業系ごみのごみ集積所への不適正排出が多いため、事業系ごみの適正処理による減量化・資源化を図るとともに、事業者への啓発及び戸別訪問指導の強化による適正排出と分別の徹底を図る。	事業活動に伴って排出される事業系ごみの適正処理及び減量化・資源化を推進するため、一般廃棄物処理業（収集運搬・処分）の許可を行い、許可業者及び直接搬入する事業者が環境センターに搬入したごみを定期的に検査し、市内事業者に対して排出事業者としての自己処理責任の徹底を図るとともに、事業系ごみの分別徹底に係る啓発及び指導を実施する。	①事業系ごみの適正排出を促すため、多量排出事業者への指導や、集積所における不適正排出事業者への戸別訪問指導を実施した。 ②事業系ごみの分別徹底を図るため、環境センターへ搬入された事業系ごみの内容物検査を実施し、不適正排出事業者への指導を実施した。	123,685	97,681	事業系ごみの減量化率	%	45.2	44.9	99.3	48.9	46.2	94.5	資源循環推進課
							事業系ごみの排出量	t	15,196	15,259	99.6	14,171	14,906	95.1	資源循環推進課
③　安定的なごみ処理体制の確立															
1	厚木愛甲環境施設組合負担事業	厚木市、愛川町及び清川村の３市町村で構成する、ごみ処理広域化の実施主体である厚木愛甲環境施設組合の円滑な運営及び事業推進を図る。	厚木愛甲環境施設組合の運営に係る経費や施設建設に係る経費について、構成市町村が応分の負担割合で負担金を支出する。	厚木愛甲環境施設組合の運営に係る経費や施設建設に係る経費を支出することで、円滑な運営、事業推進を図った。	969,059	870,322	新ごみ中間処理施設整備の進捗状況	―	本体工事・附帯工事	本体工事・附帯工事	100.0	完成	完成	100.0	資源循環推進課

（令和７年度実施事業）

５−３　自然との共生の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　多様な自然環境・生物多様性の保全と活用															
1	生物多様性あつぎ戦略推進事業	「生物多様性あつぎ戦略」に基づき、本市における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を計画的に推進し、豊かな生物の多様性を保全する。	エコツアーやフォーラムなどの普及啓発事業を通じて、市民に生物多様性の重要性の理解を深めてもらうとともに、市域の生物多様性の状況を把握するため調査等を実施する。	①市内の小学生とその保護者を対象に環境エコツアーを開催した。 ・農大で生きものさがしをしてみよう 実施日　令和７年８月４日 参加者数　21人 実施場所　東京農業大学厚木キャンパス ・外来生物駆除プロジェクト 実施日　令和７年10月５日 参加者数　14人 実施場所　広町公園 ・昆虫マンションをつくろう 実施日　令和８年１月31日 参加者数　17人 実施場所　あつぎこどもの森公園 ②市内在住在学在勤の小学４年生以上を対象にアミューあつぎで植物画講座を開催した。 ・実施日　令和７年８月23日 ・参加者数　14人 ③アミューあつぎで第25回さがみ自然フォーラムを開催した。 ・実施日　令和８年２月12日～16日 ・参加者数　延べ1,023人 ④アプリを使用した市民参加型生き物調査した。 ・実施期間　令和７年５月１日～７月31日 ・参加者数　312人 ・投稿件数　3,610件 ・投稿種数　1,279種類	5,860	5,259	生物多様性の言葉の意味を知っている市民の割合	%	40.0	55.4	100.0	50.0	66.7	100.0	環境政策課
2	里地里山保全等促進事業	「厚木市里地里山保全等促進条例」に基づき、里地里山の保全・活用を図る。	里地里山の保全等を進めるため、活動団体や活動協定の認定及び活動支援を行う。	①活動団体との意見交換会を７月に開催し、現状や課題の把握に取り組むとともに、市が認定する10団体に対して、補助金の交付や定期的なヒアリングなど活動支援を実施した。 ②市民等への里地里山保全活動の周知を図るとともに、新たな活動参加者を広く募るため、タウンニュースによる広報活動を行った。 ③活動団体の会員減少や高齢化への対応を進めるため、大学連携による学生ボランティアを募り、団体と一緒に保全活動を行った。	6,026	5,504	七沢地区、荻野地区で里地里山保全活動にボランティアとして参加した延べ人数	人	310	285	91.9	320	308	96.3	環境政策課
							「里地里山の保全や活用が進んでいる」と思う市民の割合	%	42.0	27.8	66.2	46.0	28.7	62.4	環境政策課
②　森林再生の推進															
1	森林再生事業	水源のかん養、地球温暖化防止及び山地災害の防止など、森林の持つ公益的な機能を効率的に発揮させる。 また、森林への愛護意識の向上を促進する。	枝打ちや除間伐等、地域水源林エリアの森林整備を行う。 また、森林ボランティア活動への支援及び森林づくり実技等体験教室の実施や間伐材を有効利用し出産祝い品の贈呈、市内小中学校に対し児童机天板等の交換事業を行う。	①地域水源林エリア内の森林の確保、除間伐等を実施した。 ・確保面積　1.60ha ・整備面積　11.78ha ②森林ボランティアによる広葉樹林等の手入れ、除草作業などの活動に対し、交付金を交付した。	28,552	24,456	地域水源林整備面積（2024−2026年度累計）	ha	11.0	12.0	100.0	16.0	13.0	81.3	農業政策課
							森林づくり実技等参加者数	人	150	147	98.0	150	144	96.0	農業政策課

（令和７年度実施事業）

５－４　緑豊かで美しいまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　緑豊かな公園緑地の整備															
1	公園緑地整備事業	市民の憩いと安らぎの場として、公園緑地の整備を推進する。	新規公園を整備するとともに、老朽化・機能低下している公園及び樹木により見通しの悪い公園等を安心して過ごすことができる公園として改修する。 また、健康増進やバリアフリー化等の市民ニーズに対応しながら整備を行う。	長寿命化計画に則って、老朽化した公園施設の更新を実施した。 ・施設更新数　13施設	43,614	56,209	新規・既存公園整備箇所数	か所	8	8	100.0	13	13	100.0	公園緑地課
2	緑を豊かにする事業	花と緑あふれる住みよいまちとしての発展を図るとともに、緑の大切さについて意識向上を図る。	緑に触れ合い、親しみながら緑の大切さについての認識を深めることができるよう、緑のまつり等のイベントを開催する。	厚木市制70周年記念事業として５月10日、11日の２日間、緑のまつりを開催し、廃棄される花（ロスフラワー）を使用したフラワーカーペットの製作や70周年のロゴマークを花びら等で彩るほか、ステージでのパフォーマンス、緑に親しもう教室、さつき等盆栽展、花き・野菜苗・植木等の即売会、樹木相談、環境に配慮したモノづくりワークショップ、神奈中バス展示及び出張ロマンスカーミュージアムなどを行い、緑を大切にする意識の啓発を行った。 ・来場者数　延べ約32,000人	5,500	5,500	緑を大切にする必要があると思うイベント参加者の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	公園緑地課
3	（仮称）北部地区公園整備事業	平常時には、レクリエーション等を通じて市民のコミュニティや安らぎの場を提供し、災害時には、市民生活や都市機能の早期回復を図る一時避難場所や救援施設等防災拠点としての機能を担う公園を整備する。	北部地区における市民の憩いと安らぎの場、レクリエーションの拠点及び災害時における一時避難場所等の地域の防災拠点としての機能を担う地区公園を整備する。	公園及び外周道路の基本設計を行い、都市計画決定及び都市計画事業認可を受けた。	46,580	42,957	（仮称）北部地区公園整備の進捗状況	―	測量等調査	測量等調査	100.0	基本設計	基本設計	100.0	公園緑地課
②　環境美化の推進															
1	まち美化推進事業	まちの環境美化の向上を図るとともに、良好な生活環境を確保する。	自治会やボランティアが行う美化清掃及び落書き消去の取組を支援する。 また、環境美化やマナー向上を図るため、市民や事業者との協働により、ポイ捨て防止や路上喫煙禁止に関する啓発活動を実施する。	①各地域の自治会やボランティア団体が行う地域美化清掃のごみ収集運搬を行った。 ・参加者数　14,816人(延べ162団体) ②年末に市内一斉の美化清掃を実施した。 ・参加者数　33,164人(212自治会) ③路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーンによる啓発活動を行った。 ・参加者数　108人(環境保全指導員)	14919	12916	地域美化清掃の実施件数	件	256	188	73.4	258	162	62.8	生活環境課
							路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーン、落書き防止対策活動参加者数	人	205	214	100.0	210	108	51.4	生活環境課
2	動物愛護管理推進事業	動物愛護精神の普及・啓発及び適正飼養を推進することにより、公衆衛生の向上を図る。	狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施するほか、猫不妊・去勢手術費用の一部を助成する。 また、関係機関と連携し、動物愛護精神の普及・啓発を図るキャンペーン等を実施する。	①動物愛護及び適正な飼養を図るため、猫の不妊・去勢手術費の一部を助成した。 ・助成件数　オス405匹、メス400匹 ②狂犬病の発生を予防するため、狂犬病予防法に基づき集合注射を実施した。 ・登録頭数　延べ11,652頭 ・注射頭数　8,564頭（うち集合注射実施頭数1,124頭） ③ペットを守ろう！みんなで作るペットひなんじょ大作戦、動物愛護ポスター児童作品募集、犬のしつけ教室及び体験型避難所運営シミュレーションゲーム（ＨＵＧ）ペット版をやってみよう！等を開催した。	8,486	6,675	動物愛護精神及び適正飼養の普及・啓発を図る事業への参加者数	人	1,250	1,171	93.7	1,300	993	76.4	生活環境課
3	不法投棄防止対策事業	ごみの不法投棄を防止するとともに、不法投棄されにくい環境を整備し、良好な生活環境の確保を図る。	不法投棄を未然に防ぐ必要があることから、監視（防止）パトロールの実施や、不法投棄防止看板の設置を進める。 また、不法投棄物に関しては、適正かつ速やかな処理を行う。	①不法投棄を防止するため、パトロールを実施するとともに、不法投棄防止看板を集積所等に設置した。 ②公共用地内の不法投棄物について、関係各課等と連携し、迅速かつ適正な処理を行った。	5,661	4,836	不法投棄件数	件	475	480	99.0	450	634	71.0	資源循環推進課

（令和７年度実施事業）

５−５　河川と共生するまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　良好な河川環境の保全															
1	水質汚濁防止対策事業	河川等の公共用水域や地下水の水質の現状を把握するほか、工場・事業所からの排水を監視することにより、市民の健康を保護するとともに、生活環境を保全する。	相模川ほか３河川の水質常時監視調査を行う。 また、市内河川や水路等の水質調査、工場・事業所の排出水、地下水の水質調査を行う。	環境調査として河川及び地下水の常時監視調査、市内河川水質調査及び市内地下水調査を実施したほか、規制のため工場・事業場を対象とした水質調査（検査）を実施した。	15,967	14,827	BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率	%	92.0	100.0	100.0	92.0	100.0	100.0	生活環境課
2	合併処理浄化槽普及促進事業	生活排水による水道原水の汚濁を防止し、水質の保全を図る。	公共下水道の整備予定区域外において、単独処理浄化槽又はくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換に対し、補助金を交付する。	単独処理浄化槽又はくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ転換した方に対し、補助金を交付した。 【補助金交付基数】 ・５人槽　２基（設置替２基、建替０基） ・７人槽　４基（設置替４基、建替０基） ・10人槽　０基	79,583	7,008	合併処理浄化槽の補助金交付基数	基	75	51	68.0	75	6	8.0	生活環境課
3	公共下水道整備事業（汚水整備）【公共下水道事業会計】	生活排水の処理を適切に行うため、市街化調整区域における効率的な下水道整備を促進し、河川環境の保全及び生活環境の改善を図る。	市街化調整区域の下水道整備については、人口減少や社会情勢等の変化に応じ、安定した経営の範囲内において汚水処理整備計画を策定しており、この計画に基づき、令和３（2021）年度から効率的かつ計画的に整備を進めている。	三田、関口において、２件の汚水管整備を実施した。	320,000	289,214	未普及地区の汚水処理整備の進捗状況	ー	工事	工事	100.0	工事	工事	100.0	河川下水道施設課
②　親しみやすい河川環境の整備															
1	河川学習事業	恩曽川に整備された親水広場や善明川を活用し、近隣小学校の児童による環境学習を実施する。	準用河川恩曽川にある２箇所の親水広場と善明川の親水広場を活用し、東京農業大学や、自然保護団体の協力を得て、近隣小学校の環境学習の中で、川の水生生物の観察、水質調査及び河川清掃などに取り組む。	環境学習を３日間開催する予定だったが、全日程において悪天候や熱中症の危険があることから、中止となった。	123	49	親水広場を活用した環境学習の実施回数	回	3	1	33.3	3	0	0.0	河川下水道総務課

（令和７年度実施事業）

６－１　市民参加・市民協働の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　市民協働の推進															
1	市民活動推進事業	市民活動団体等を支援することにより、市民活動の充実及び活性化を図る。	市民活動団体等に対し、活動拠点や交流の場を提供するとともに、活動支援や人材育成を行う。	①ボランティア相談を実施した。 ・相談件数　８件 ②ボランティア講座を開催した。 ・講座回数　２回 ③市民活動補償制度を運用した。 ・対象件数　３件 ④ボランティア団体及び市民活動団体に対し、補助金を交付した。 ・交付団体数　12団体	5,170	3,969	市民活動推進補助金の交付件数	件	10	13	100.0	11	12	100.0	市民協働推進課
2	市民対話事業	幅広い市民との対話を実施することにより、市民ニーズや地域課題等を的確に把握し、施策等へ反映させる。	幅広い年代や多様な立場の方々と対話を実施する。	あつぎタウンミーティングを開催した。 ・自治会　15回 ・市内に拠点を構える代表的な企業５社　１回 ・市内新規就農者、都市農業支援センター　１回 ・市内認可保育所園児、幼稚園児の保護者　１回 ・自然環境保全団体　１回	40	32	市民対話等要望対応率	%	87.8	82.8	94.3	89.6	81.5	91.0	広報シティプロモーション課
3	市民協働推進事業	「厚木市市民協働推進条例」に基づき、市民協働によるまちづくりを推進し、地域課題等の効果的な解決を図る。	「厚木市市民協働推進条例」に基づく施策及び取組を行うとともに、市民活動団体との協働により、地域課題の解決を目指す市民協働提案事業を実施する。	市民協働提案事業を実施した。 ・市民提案型事業実施件数　７件 ・行政提案型事業実施件数　０件 ・令和８年度実施事業採択件数　７件	10,005	9,617	市民協働事業の事業数	件	347	537	100.0	348	558	100.0	市民協働推進課
4	ＳＤＧｓ推進事業	ＳＤＧｓの理念である持続可能で多様性と包摂性のある「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に対して、分野横断的な取組を推進し、ＳＤＧｓの達成を目指す。	地方創生ＳＤＧｓを推進する地方創生推進プロジェクトが実施主体となり、市民や事業者等に対して、ＳＤＧｓの取組を普及・啓発する。	①まちのコイン「アユモ」を運営した。 ②あつぎＳＤＧｓフェスティバルを実施した。 ・来場者数　延べ約2,600人 ③あつぎＳＤＧｓパートナー第４期登録を実施した。 ・登録団体数　49団体	7,500	7,459	ＳＤＧｓ推進事業において、「ＳＤＧｓへの理解度が進んだ」と思う事業参加者の割合	%	100.0	84.2	84.2	100.0	83.9	83.9	企画政策課
5	市制７０周年記念事業	記念事業を実施することにより、令和７年２月１日に市制７０周年を迎えるという大きな節目を市全体で祝うため、厚木市発展のために、これまでたゆまぬ挑戦を続けてきた７０年の歩みを振り返り、先人が築いた業績を見つめ直すとともに、ふるさと「あつぎ」への愛着と誇りを深める機会とし、厚木愛があふれる新たなあつぎの実現につなげることを目的とする。	令和７年２月１日に市制施行７０周年を迎えるに当たり、その喜びを本市に関わる全ての人々が享受できるよう、市民、各種団体、企業及び行政の協働により市制７０周年記念事業を実施する	①本市出身アーティストの井上純氏による複合施設建設地の仮囲いの壁画制作やワークショップ開催のほか、厚木と毛利氏の歴史など紹介する歴史フォーラム等の特別事業を実施した。 ・実施件数　18件 ②市制70周年を市全体で祝うため、市内に活動拠点がある団体等が実施する記念事業に対し、補助金を交付した。 ・交付件数　32件	45,976	36,291	記念事業の実施	ー	実施	実施	100.0	実施	実施	100.0	企画政策課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
②　地域コミュニティ活動の充実															
1	コミュニティ推進事業	地域の特性をいかし、活力ある地域づくりを目指した諸事業を展開する15地区地域づくり推進委員会を支援することにより、地域コミュニティ活動の充実を図る。 また、市民相互のふれあいや交流を深めるため、平成27（2015）年２月１日に宣言した「あつぎ市民ふれあい都市宣言」の周知・啓発を推進し、市民自治の確立を図る。	15地区地域づくり推進委員会に補助金を交付し、地域活動を支援する。 また、「あつぎ市民ふれあい都市宣言」を啓発する。	①市内15地区の地域づくり推進委員会に対し、補助金を交付した。 ②「あつぎ市民ふれあい都市宣言」について、本庁舎２階に横断幕を掲出した。 ③自治会や市民活動団体が関連する事業の資料に宣言文を掲載し、啓発に取り組んだ。	17,851	17,843	「自治会やボランティア等との協働により、よりよいまちづくりが進んでいる」と思う市民の割合	%	44.9	43.3	96.4	45.9	47.1	100.0	市民協働推進課
2	地域集会施設建設費等補助事業	地域住民の福祉の向上の場となる地域集会施設の整備を支援することにより、自治会活動及び地域コミュニティ活動の充実を図る。	地域集会施設の新築、増改築及び修繕等に対し、補助金を交付する。	地域集会施設の新築等に対し、補助金を交付した。 ・修繕　14件 ・借地・借家　14件 ・冷暖房　２件 ・ＬＥＤの設置　４件	14,235	8,664	自治会館数	館	131	129	98.5	131	129	98.5	市民協働推進課
3	自治会支援事業	市にとって最も重要なパートナーである自治会が円滑に活動できるよう、自治会の加入率の維持・向上及び負担軽減に関する取組を行い、協働によるまちづくりを推進し、地域コミュニティ活動の充実を図る。	自治会の活動を周知し、その必要性をアピールするため、市内全世帯を対象としたパンフレットを配布する。 また、自治会の負担軽減・ＤＸを推進するため、電子回覧板を導入・運用する。	①自治会の活動を周知し、その必要性をアピールするため、市内全世帯を対象としたパンフレットを配布した。 ②自治会の負担軽減・ＤＸを図るため、電子回覧板を導入・運用した。 ・導入自治会数　41自治会	13,119	6,927	自治会加入率	%	－	－		55.8	53.2	95.3	市民協働推進課
③　情報発信力の強化															
1	映像メディア活用事業	広報あつぎと連動し、市政や市民活動に関する情報について、映像を中心とした多様なメディアで発信することにより、市内外に向けて、分かりやすく、効果的な情報提供を行う。	動画コンテンツや広報番組を制作し、テレビやインターネットなどで放送するほか、テレビ番組やＦＭ放送など各種メディアを活用し、効果的な情報発信を行う。	①ケーブルテレビで市広報番組を制作・放映し、ＹｏｕＴｕｂｅにも投稿した。 ②ｔｖｋ情報番組「猫のひたいほどワイド」及びＦＭヨコハマ「ラブリーデイ」の自治体情報コーナーで本市の取組をＰＲした。	19,723	19,615	映像メディアによる広報が効果的と感じた人の割合	%	83.5	69.9	83.7	84.0	74.7	88.9	広報シティプロモーション課

（令和７年度実施事業）

６－２　行財政改革の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　行政改革の推進															
1	総合計画策定事業	時代の変化に対応した行政運営を図り、将来を見据えたまちづくりを総合的かつ計画的に進める。	行政運営を総合的かつ計画的に進めるためのまちづくりの指針となる新たな総合計画を策定する。	令和８年度を始期とする第11次厚木市総合計画を策定した。	10,345	9,976	総合計画の策定	－	検討	検討	100.0	検討	策定	100.0	企画政策課
2	行政改革推進事業	市民サービスの向上を目指し、「第７次厚木市行政改革大綱」に掲げる三つの重点目標「強くしなやかな組織をつくる」、「強い財政基盤を確立する」、「市民協働により公共サービスを向上させる」の実現に向けた取組を着実に推進する。 また、市の業務等の現状把握と見直しを行い、効果的・効率的な行政運営を推進する。	「第７次厚木市行政改革大綱」実施計画を着実に推進するとともに、効果的・効率的な行政運営を行うため、事務事業評価等を実施する。	事務事業評価を実施し、事業の見直しを行った。 ・対象事業　281事業	1,571	1,337	「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている」と思う市民の割合	%	43.3	29.4	67.9	46.6	36.5	78.3	行政経営課
							第７次行政改革の推進度	%	100.0	85.4	85.4	100.0	87.8	87.8	行政経営課
3	まちづくり方針検討事業	少子高齢、人口減少等の社会情勢の変化に対応できる持続可能なまちづくりを実現する。	本市の将来都市構造を踏まえ、持続可能な経営基盤を確立するための方策を検討する。	令和８年４月を始期とする「第11次厚木市総合計画」の策定を鑑み、新たな総合計画で定める本市の目標人口との整合を図りながら施策を企画立案する必要があることから、最新のデータに基づく現状分析等を行い、人口の将来展望と目指すべき将来の方向性を示すため、「人口ビジョン」の改定を行った。	6,000	4,642	調査研究	－	実施	実施	100.0	実施	実施	100.0	企画政策課
4	公衆無線ＬＡＮ整備事業	市民や本市を訪れる方々が、気軽にインターネットに接続できる公衆無線LANサービス「Atsugi Free Wi-Fi」を広げ、更なる利便性の向上を図る。	災害時における避難者等への情報収集支援、公共施設を利用する市民等の利便性の向上の観点から、公衆無線LAN環境「Atsugi Free Wi-Fi」を市内公共施設に整備する。	令和６年度事業完了	－	－	無線LAN（Wi-Fi）整備箇所数	か所	2	2	100.0	－	－	－	DX推進課
5	総合窓口整備事業	来庁者の利便性向上と業務の効率化を両立するため、各種の申請、届出の受付業務を集約し、原則ワンストップで受付処理する「総合窓口」を設置する。	将来的な総合窓口の開設及び運用を見据えて、関連手続を所管する担当課相互の連携強化や、各種申請書の作成支援による来庁者の負担軽減につながる市民窓口支援システムを活用し、誰でも利用しやすく、少ない手順で目的が達成できる窓口を実現する。	市民窓口支援システムのシステム標準化対応と併せて、国保年金課長寿医療係における「書かない窓口」の運用開始、ＲＰＡによる住民記録システムにデータを入力する対象業務の拡大など、窓口ＤＸを推進したほか、「ワンストップサービス」の一環として、生活環境課で所管する「犬の登録事項変更手続」の代理受付を開始した。	8,247	8,935	市民窓口支援システムの構築の進捗状況	－	一部運用開始	一部運用開始	100.0	システム標準化準備	システム標準化準備	100.0	市民課
6	ＤＸ推進計画策定事業	デジタル技術を効果的、効率的に活用して、市民サービスの向上や行政事務の円滑な執行等を推進する。	市民サービスの向上や行政事務の円滑な執行等を行うための手段として、デジタル技術を効果的、効率的に活用するべく、本市のデジタル化に関する考え方や方向性を示す計画を策定する。	厚木市ＤＸ推進計画（2027～2032）の方向性を検討するため、無作為抽出で選ばれた18歳以上の市民に対し、アンケート調査を実施した。 ・対象者　3,300人 ・回答期間　令和７年７月29日～８月22日 ・回答数　1,348人（40.8%）	1,342	1,063	ＤＸ推進計画の策定	－	－	－		調査	調査	100.0	DX推進課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
③　公共施設最適化の推進															
1	公共施設最適化推進事業	「厚木市公共施設最適化基本計画」及び「厚木市公共施設個別施設計画」に基づき、公共施設の維持管理等費用の軽減・平準化を図るため、施設の設置目的及び利用状況等を考慮しながら、公共施設のより効率的かつ効果的な適正配置を推進する。	公共施設のより効率的かつ効果的な維持管理・運営方法及び適正配置について検討する。 また、公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画を改定する。	厚木市公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画に基づき、対象となる事業の計画的な取組を推進した。 ・対象施設数　２施設	1,514	1,095	第１期短期再編プログラムの進捗率	%	33.3	33.3	100.0	66.7	66.7	100.0	行政経営課
							公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画の改定	―	―	―	―	調査	調査	100.0	行政経営課
2	本庁舎敷地跡地等活用推進事業	本庁舎移転後の敷地跡地について、本市のまちづくりにおける課題や役割等を総合的に踏まえた活用を図るほか、周辺エリア全体のにぎわいや価値の向上など本厚木駅周辺の歩いて楽しいまちの実現に寄与する。	本庁舎移転後の敷地跡地利用について、まちづくりにおける課題や役割等を総合的に踏まえた周辺エリアを含む今後の活用方法を示す基本計画を策定する。	庁内会議や附属機関である新たな交流拠点検討委員会において、多目的アリーナの規模や事業手法等について検討を重ねるとともに、民間事業者へのサウンディング調査を実施し、多目的アリーナの条件を定める基本計画の骨子を策定した。	21,214	20,586	本庁舎敷地跡地利用の進捗状況	―	基本方針の策定	基本方針の策定	100.0	基本計画の検討	基本計画の検討	100.0	行政経営課
3	公共建築物長寿命化事業	「厚木市公共施設最適化基本計画」及び「厚木市公共施設個別施設計画」との整合を図りながら、長寿命化改修工事を実施し、各施設の長寿命化を図ることにより、今後の財政負担の軽減及び建築物の機能回復・機能向上を図る。	令和６（2024）年度から３年間の長寿命化事業を計画的に実施する。	厚木市公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画に基づき、予算化された公共施設の長寿命化改修工事等を実施した。	1,374,659	826,402	長寿命化事業の実施件数	件	19	17	89.5	33	18	54.5	行政経営課

（令和７年度実施事業）

６－３　都市間連携の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和７年度 主な実績内容	令和７年度事業費		指標名	単位	令和６年度事業指標			令和７年度事業指標			令和８年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）			令和６年度 目標値	令和６年度 実績値	令和６年度 達成率（%）	令和７年度 目標値	令和７年度 実績値	令和７年度 達成率	
①　広域連携の推進															
1	広域都市連携推進事業	周辺の自治体と共通する行政課題の多様化・専門化・広域化に対応するため、市域を越えた都市間の広域連携を推進する。	自治体相互の連携を図り、共通する行政課題の解決及び市民サービスの向上につながる取組を行う。 また、県央姉妹都市構想の推進を図るため、県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定に基づく取組を行う。	①県央相模川サミットにおいて、相模川における水の事故防止に向けた取組について協議を行った。 ②県央やまなみ協議会において、県央やまなみ地域における広域連携強化に関する協定に基づく取組を推進した。	0	0	都市間連携の実施件数	件	53	51	96.2	54	52	96.3	行政経営課
							県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定に基づく取組の実施件数	件	7	10	100.0	7	9	100.0	行政経営課
②　他都市との交流促進															
1	国内交流推進事業	国内友好都市との様々な分野での交流により、地域益や市民文化の向上を図るとともに、民間交流を促進する。	国内友好都市からの訪問団等の受入れ及び国内友好都市への訪問団等の派遣による市民交流のきっかけづくりを行うとともに、国内友好都市と交流を実施する市民団体に補助金を交付する。	①国内友好都市から訪問団を受け入れた。 ・横手市行政視察訪問団　３人 ・横手市まんが美術館厚木出張所訪問団　４人 ・糸満市戦争講和語り部招聘　２人 ・鮎まつり訪問団　３人（網走市２人、糸満市１人） ・あつぎ国際大道芸訪問団　６人（横手市４人、網走市２人） ②国内友好都市に訪問団を派遣した。 ・横手市の送り盆まつり代表訪問団　３人 ・全力！横手まつり訪問団　３人 ・横手市制施行20周年記念訪問団　２人 ・横手市雪まつり市民訪問団　15人 ・網走市七福神まつり経済交流訪問団　３人 ・網走市流氷まつり代表訪問団　３人 ・糸満市中学生平和学習訪問団　８人 ・糸満市産業まつり経済交流訪問団　７人 ③国内友好都市とオンライン交流を実施した。 ・網走市小学生オンライン交流　１回	7,030	4,318	国内友好都市との交流活動件数	件	28	25	89.3	29	29	100.0	企画政策課